

通信学習シラバス ・ 設題総覧 2017



法政大学 通信教育部

HOSEI UNIVERSITY School of Correspondence Education

はじめに

この冊子は、通信学習（レポート・試験）で学ぶ際の補助資料として作成されたものです。「通信学習シラバス」と「設題総覧」及び「単位修得試験の出題範囲」等、通信学習に必要な情報を1冊にまとめています。通信学習の際はこの冊子をよく読み学習を進めてください。

なお、この冊子には、スクーリングに関する情報は掲載していません。同一科目であっても、シラバスや指定テキストは異なりますので、ご注意ください。スクーリングに関する情報は、『法政通信』でお知らせします。

➤通信学習の進め方は、『学習のしおり 2017』pp.82-104 を参照してください。新入生の方は『学習のしおり 2017』pp.4-21「スタートアップガイド」で大学での学び方の概要を確認してから本誌をご覧ください。

この冊子の構成

この冊子では、2017 年度通信学習科目について、全学部共通の「教養課程（一般教育科目・外国語科目・保健体育科目）」と、各学科の「専門教育科目」及び「教職に関する科目」に区分し、各区分毎に以下の資料を掲載しています。

また、この冊子の巻頭では、それぞれの資料の見方及び注意点を記載していますので、必ず確認しましょう。また、巻末には参考資料として、レポート提出期間一覧や、学習計画表などを掲載しています。

●2017 年度 通信学習科目 指定テキスト・科目掲載ページ一覧

通信学習科目の 2017 年度指定テキストについて詳細を以下のとおり一覧で掲載しています。

*書籍名 *入手方法 *本学生協書籍部での通信販売価格（送料・税込）

また、一覧の最右列には、この冊子での「シラバス」や「レポート設題」、「試験範囲」の掲載ページを記載しています。目次として利用してください。

●2017 年度 通信学習シラバス

「通信学習シラバス」では、通信学習科目の概要や到達目標を記載しています。内容は、原則最新の指定テキストにのみ対応しています。経過措置テキストの内容は原則記載していません。

●2017 年度 設題総覧

「設題総覧」は、通信学習科目のレポート課題（設題）を掲載しています。2017 年度に新規に提出する設題は、この冊子の設題に従ってレポートを作成・提出してください。また、学科によっては、現在使用しているテキスト等教材の訂正情報を掲載していますので、確認してください。

※各科目に対する設題は原則として年度ごとに変わります。

※本書に掲載されている設題の新規提出有効期間は前期生・後期生ともに 2017 年 4 月から 2018 年 3 月までです。

●2017 年度 単位修得試験の出題範囲

2017 年度の単位修得試験の出題範囲（以下、「試験範囲」）を掲載しています。試験範囲が公開されない科目もあります。試験範囲の公開に関する留意点は、各学科の試験範囲の冒頭に掲載していますので、必ず確認してください。

●その他

学科毎に、お知らせ事項を掲載しています。

「法政大学 Web シラバス」について

通信学習シラバス及びスクーリングシラバスは、ウェブ（法政大学 Web シラバス）で公開しています。Web シラバスは、以下より参照できます。通信学習科目のシラバスは、トップページの学部・研究科一覧より「通信教育部（通信学習）」を選択すると参照できます。

法政大学WebシラバスQRコード



URL : <https://syllabus.hosei.ac.jp/web/show.php>

～Web シラバスでの通信学習シラバスの見方～

Web シラバストップページより「通信教育部（通信学習）」を選択します。

参照年度を選択できます

左側に表示されるメニューから、参照したい年度及び科目のグループを選択すると科目の一覧が表示されます。科目名をクリックするとシラバスが表示されます。

年度 / Year	学部 / Faculty	科目名 / Class Name	科目コード / Class Code	担当 / Instructor	備考 / Remarks
2016	通信教育部 (通信学習)	国文学	441	梅田 真	通信
2016	通信教育部 (通信学習)	国文学	442	梅田 真	通信
2016	通信教育部 (通信学習)	国文学	443	梅田 真	通信
2016	通信教育部 (通信学習)	国文学	444	梅田 真	通信
2016	通信教育部 (通信学習)	国文学	445	梅田 真	通信
2016	通信教育部 (通信学習)	国文学	446	梅田 真	通信
2016	通信教育部 (通信学習)	国文学	447	梅田 真	通信
2016	通信教育部 (通信学習)	国文学	448	梅田 真	通信
2016	通信教育部 (通信学習)	国文学	449	梅田 真	通信
2016	通信教育部 (通信学習)	国文学	450	梅田 真	通信

※この冊子で掲載する 2017 年度通信学習シラバスの内容に変更がある場合について
シラバスの内容に修正がある場合は、「法政大学 Web シラバス」で修正を反映し都度公開します。

※Web シラバスの掲載年度について
通信学習科目の Web シラバスでは、今年度シラバスの他に過去 2 年分のシラバスが参照できます。
2017 年度通信学習シラバスは、2017 年 3 月 16 日より公開します（予定）。上記 URL 先で表示される最新のシラバスは、2017 年 3 月 15 日まで 2016 年度シラバスとなりますのでご注意ください。
なお、参照年度は、通信教育部（通信学習）のページ左側の「年度 / Year」の選択ボタンで変更することができます。

通信学習シラバス・設題総覧

2017

指定テキスト・科目掲載ページ一覧の見方	4
通信学習シラバスの見方	5
設題総覧 —リポート設題と参考文献— の見方	6
リポート作成上の諸注意	7
リポートの書き方（一般例）	12

教養課程（全学部共通） —一般教育科目・外国語科目・保健体育科目—	15

法学部 法律学科 専門教育科目	45

文学部 日本文学科 専門教育科目	81

文学部 史学科 専門教育科目	109

文学部 地理学科 専門教育科目	147

経済学部 経済学科 専門教育科目	185

経済学部 商業学科 専門教育科目	229

教職に関する科目	289

（参考資料）

2017年度単位修得試験日／メディアスクーリング試験日及び試験登録期間一覧	312
2017年度リポート提出期間一覧	313
学習計画表	314

指定テキスト・科目掲載ページ一覧の見方

2017 年度通信学習（レポート・試験）用の指定テキストは、通信学習科目指定テキスト一覧で確認しましょう。

（※スクーリング授業で使用するテキストは、スクーリングシラバス（Web シラバス、『法政通信』に掲載）で確認してください。）

科目名

科目名の前に記載された以下の文字は、テキストの種類及び新旧を表します。設題総覧や単位修得試験問題にも同様の表記でテキストの新旧を表しています。

旧テキストは、経過措置期間が切れると、対応する問題が出題されなくなるため、これから学習を始める際は、新テキストで学習することをお勧めします。

「旧・」・・・旧テキスト（通教テキスト）／「新・」・・・新テキスト（通教テキスト）

「指①・」・・・旧テキスト（指定市販本）／「指②・」・・・新テキスト（指定市販本）

「指・」・・・指定市販本採用科目

＞テキストの新旧の詳細は『学習のしおり 2017』 p.82

この冊子でのそれぞれの項目の掲載ページを記載しています。

科目名	履修学年	構成単位	テキスト種別 (入手方法)	2017年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社（市販本のみ）／発行年／定価（税抜）	備考	教科書コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
								シラバス	設題	試験範囲
指①・民法総則 (～2019年3月迄)	1	4	指定市販本 (各自購入)	『法学講義 民法1総則』[第2版] 奥田昌道・安永正明・悠々社、 2007年、¥2,800	(テキスト変更： ～2019年3月迄) 経過措置テキスト	S-028	¥2,836	—	—	—
指②・民法総則 (2017年4月～)	1	4	指定市販本 (各自購入)	『民法の基礎 (1) 総則』[第3版] 佐久間毅・有斐閣、2008年、 ¥3,000	(テキスト変更：2017 年4月～) 最新の指定テキスト	S-027	生協に 問合せて 下さい			
指・憲法	2	4	指定市販本 (各自購入)	『現代日本の憲法』[第2版] 元山健・建石真公子編 法律文化社、2016年、¥2,800	※初版（2009年）も 使用可	S-026N	¥2,836			
指・物権法	2	4	指定市販本 (各自購入)	『マルシェ物権法・担保物権法』 (第3版) 宮本健蔵編著他 嵯峨野書院、2014年、¥3,600	※改訂第2版(2005年) も使用可 スタディガイドあり	S-029	¥3,634			

テキストの入手方法

配本・・・指定の通教テキストを、履修学年進学時に送付します。※

申告制・・・指定の通教テキストを、履修時に大学に請求してください。※

各自購入・・・指定市販本のため、履修時に各自で購入してください。

※科目生は、履修登録後に登録科目の通教テキスト（申告制を含む）を配本します。

＞詳細は『学習のしおり 2017』 pp.30-36

スタディガイド

スタディガイドが作成されているテキストを表します。

入手方法については、『学習のしおり 2017』 p.34 で確認してください。

備考

テキスト変更・改訂履歴や旧テキストの経過措置期間、その他特記事項を記載しています。

教科書コード

・生協書籍部販売価格

指定市販本の法政大学生協書籍部の通信販売価格（税込・送料込）です。

通信販売で購入する際は、こちらの価格を振り込んでください。

購入申込書は、『学習のしおり 2017』にあります。

また、申込書には、この表に記載の教科書コードを記入してください。

なお、年度途中の改版等により、販売価格が変更となる場合があります。

申込の前に、生協書籍部に価格変更の有無について確認することをお勧めします。

通信学習シラバスの見方

通信学習シラバスには、科目の到達目標や、学習内容、成績評価基準や指定テキストについて記載されています。

シラバスの見方

TA●●●●

○○○**概論**

教科担当責任者：

担当者：(氏名 50 音順)

単位数：

※2017 年 4 月よりテキスト(通教テキスト)改訂
※レポート(第1回・第2回)一括提出不可

1 学習の到達目標

学習の目的や、身につける知識・技能などの到達目標を記載しています。

2 科目の概要

科目の学習内容を記載しています。

3 成績評価基準

成績評価の方法、レポート添削・単位修得試験採点時のポイント等を記載しています。

4 テキスト名および詳細

指定テキストの詳細(タイトル、版数、著者、出版社、発行年、定価(税込)等)を記載しています。

5 学習指導、注意点等

学習を進めるうえでのアドバイス、注意点を記載しています。

「文部科学省コード(科目ナンバリング)」です。
これは、レポート提出や単位取得試験登録の際に使用する「科目コード」とは異なります。
[注意]
2017 年度は、本冊子のシラバスには記載していません。
Web シラバスにおいて公開します。

「科目名」は 2017 年度教育課程表に基づき記載しています。

「単位数」は各科目の構成単位を表します。

経過措置テキストが残る2016年度以降の指定テキストの改訂・変更履歴を記載しています。また、その他特記事項を記載しています。

レポートを4単位分(第1回と第2回)、一括で提出できない条件が設けられた科目に対し記載しています。

<記載の内容について>
・通教テキスト / 指定市販本
通信学習科目で使用するテキストの種類を表します。
教材の内容や入手方法は、『学習のしおり 2017』pp.31-35 を参照してください。
・※前・通教テキスト 『○○○』
指定テキストの旧タイトルを表します。カリキュラム変更等で科目名が変更され、表紙カバーのみ変更した科目に対し記載しています。

⚠ <経過措置期間中のテキストを使用している方へ>
シラバスには、最新の指定テキストについてのみ記載しています。経過措置期間中のテキストは記載していません。間違いのないよう注意してください。
経過措置期間中のテキストの詳細は、本誌の「通信学習科目指定テキスト一覧」で確認してください。

※「文部科学省コード」については、「Webシラバス—通信教育部(通信学習)」のお知らせをご覧ください。



URL <https://syllabus.hosei.ac.jp/web/show.php>

法政大学 Webシラバス QRコード

設題総覧 —リポート設題と参考文献— の見方

【例】（※サンプルの為、2017 年度の設題内容と異なります。）

	科目コード	科目名	経過措置テキスト（2018 年 3 月迄）に 対応した設題であることを示す	設題数	科目構成単位
A	34540	旧・日本古文書学		2 設題	（4 単位）
	※テキスト経過措置期間：～ 2018 年 3 月迄 ←				
B	【特記事項】 ◆リポートノートの使い方 （縦書き） ◆ワープロ使用の可否 （不可）				
C	第 1 回 (1) ① 古文書学とはどのような性格・歴史を持つ学問であるか述べよ。また古文書の伝来について、文書が有する本来の機能との関係から述べよ。 ② 公式様文書について説明せよ。その際、詔書、勅旨、符、移、牒、解についてはくわしく記すこと。 第 2 回 (1) ① 公家様文書について説明せよ。その際、宣旨、官宣旨、下文、庁宣、御教書についてはくわしく記すこと。 ② 武家様文書について説明せよ（鎌倉時代だけでもよい）。その際、下文、下知状、御教書・奉書、直状・書下については、くわしく記すこと。				
D	設題解答にあたっての解説・注意等 リポート作成に際し、テキストおよび参考文献の丸写しはしないこと。ただし、作成の際に使用した参考文献名は、リポートの最後に必ず明記すること。 ※テキストの付録（2008 年 10 月作成）は、各自で通信教育部事務局より取り寄せてください。なお、2009 年度以降にテキストを申告された方には付録付きで配本しています。				
E	参考文献 ●日本歴史学会編『概説古文書学 古代・中世編』吉川弘文館、1983 年、¥2,900 ●飯倉晴武著『古文書入門ハンドブック』吉川弘文館、1993 年、¥2,500 ●日本歴史学会編『演習古文書選 古代・中世編』吉川弘文館、1971 年、¥1,600 ●日本歴史学会編『演習古文書選 様式編』吉川弘文館、1976 年、¥1,300 ●佐藤進一著『新版古文書学入門』法政大学出版局、2003 年、¥3,300				
F	指定テキストおよびリポートノートの追加・訂正・補足 本誌 p.5 参照のこと。				

A－経過措置テキストがある科目は、科目名の前に文字（新／旧／指①など）を表記し、各テキストに対応する設題を区別しています。使用するテキストに対応した科目名の表記を、本誌の「指定テキスト一覧」で確認の上、該当の設題でリポートを提出してください。科目名を 1 行にまとめて掲載している場合は、最新テキストと経過措置テキストが同じ設題であることを示します。（例：指①／指②・〇〇〇概論）

B－教員からリポート作成形式を別に指定されている場合のみ、【特記事項】として記載されています。指定された通りにリポートを作成してください。指定が無い場合は、統一された形式（本誌 p.8 参照）で作成します。

C－この設題に対して解答します。（本誌 pp.8-11 参照）

D－設題を解答するにあたっての解説、注意等が書かれてあります。科目によっては記載されていないものもあります。

E－内容の濃いリポートを書くためには、参考文献の利用が必要となってきますが、入手困難なものもあるかと思いますが、各自が努力をしてできる範囲でこれらを参考にしてください。

F－指定テキストおよびリポートノートに追加、訂正、補足があります。各学科の「設題総覧」の項目に前年度までに周知した訂正内容をまとめてますので学習前に確認してください。なお、今年度新たに判明した訂正情報は『法政通信』で適宜お知らせします。

※記載した参考文献等の定価（税抜）は、変動する場合があります。

レポート作成上の諸注意

※ レポート作成にあたっての全体的な内容は『学習のしおり 2017』（pp.82-93）を参照してください。

(1) レポートノートの種類及び入手方法

レポートノートには、次の種類があります。

・一般レポートノート

特殊レポートノート対象科目以外のレポートを提出する際に使用してください。2 設題用（うぐいす色）と 1 設題用（びわ色）がありますので、提出時の設題の数に応じていずれかを使用してください（詳細は本誌 p.8 「(5) 一般レポートノートの使用方法」を参照）。

また、本科生は所属学科に応じて入学時及び進学時に、科目生は履修登録後に一定数を送付します。不足する場合は各自「補助教材・物品注文書」（『学習のしおり 2017』巻末に綴込みあり）で購入してください。

・特殊レポートノート（特定科目専用）

外国語科目及びその他一部の科目は、専用のレポートノートで提出してください。現在は以下の科目で発行しています。外国語科目は、レポートノートの表紙に新規提出の有効期間が記載されていますので確認してください。また、その他科目も設題の変更（レポートノートの改訂）により有効期間が発生する場合があります。その場合は、『法政通信』等でお知らせします。

科目名	入手方法
地理調査法（自然編）	本科生は入学・（履修学年）進学手続き後に、科目生は左記科目の履修登録後にテキストと同時に配本します。再提出など不足する場合は、原則「補助教材・物品注文書」（『学習のしおり』巻末）で購入してください。
簿記Ⅰ	
簿記Ⅱ	
簿記Ⅲ	
簿記Ⅳ	学習の際に『学習のしおり』巻末にある「スタディガイド・外国語科目レポートノート交付願」で大学に申請（無料）してください。 または、本学生協書籍部で指定テキストを購入すると付属しますのでそちらを利用してください。 ※スタディガイドが不要な場合や前年度以前のレポートノートを要する場合 封書で①科目名（発行年度）②学生証番号・氏名 ③送付先住所を明記し、レポート担当宛に送付してください。
英語 2	
英語 3	
仏語 1	
独語 1	

(2) レポート提出について

・ レポートは、「レポート受付期間」（本誌 p.313 参照）に提出してください。レポート受付期間外は受け付けません。

・ 2013 年度より レポートの提出回数は同一科目の 1 設題あたり 1 年間（年度内：4 ～ 3 月）で 3 回が上限です。

・ テキストは、5 年間を目安に変更・改訂があります。科目名の前に文字（旧／新／指①など）を表記しているテキストは扱いが異なりますので、以下をよく確認してください。

通教テキスト	旧：旧テキスト 新：新テキスト	指定市販本	指：指定市販本 指①：旧テキスト 指②：新テキスト

- ・旧テキストに対応する設題には、科目名の下に以下のとおりテキストの経過措置期間を記載しています。

※テキスト経過措置期間：～20●●年3月迄

この期間までは、旧テキストに対応する設題で提出（新規提出／再提出）することができます。なおテキストの経過措置の詳細は、『学習のしおり 2017』 pp.82-83 を参照してください。

(3) リポートの作成形式

- ・原則として下記の形式に従って提出してください。ただし、「設題総覧」の各科目の【特記事項】に特に指示がある場合はその指示に従ってください。
- ・筆記用具はペン（ボールペン・万年筆）で丁寧に書いてください。ただし「リポート提出票」（『学習のしおり 2017』 p.88）は、鉛筆で記入してください。

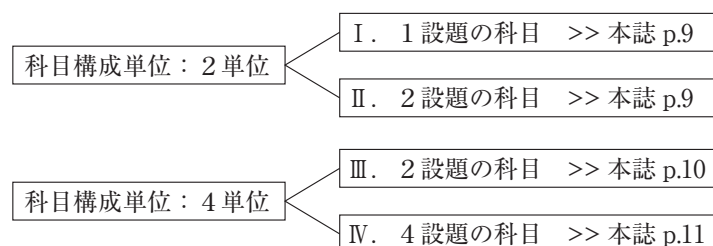
リポートノートの使い方	縦横指定なし
パソコン（ワープロ）使用の可否	原則的に可
一括提出の可否（第1回（1）～第2回（2））	原則的に可
記述字数	2000 字程度

(4) リポートの設題数について

- ・2単位構成科目の設題数は一部の科目を除き1題または2題です。
- ・4単位構成科目の設題数は一部の科目を除き2題または4題です。
- ・4単位構成科目を、2単位のみ通信学習で修得する場合の設題数は一部の科目を除き1題または2題です。

(5) 一般リポートノートの使用方法

- ・一般リポートノートは、科目の構成単位や設題数によって提出方法や使用できるリポートノートが一部異なります。次ページ以降に、下記Ⅰ～Ⅳの科目について、1設題用及び2設題用のリポートノートの使用方法を記載していますので、確認の上リポートを作成してください。



- ・「設題総覧」の中で特に指示がある場合は、その指示に従って作成してください。
- ・上記Ⅰ～Ⅳに当てはまらない設題数の科目は、当該科目の「設題総覧」の記載事項に沿ってリポートを作成してください。
- ・1設題用のリポートノートは、使用できない場合があります。
- ・2設題用のリポートノートは、1設題のみ提出する場合にも使用できます。その場合はリポートノートのページNo.1～No.12を使用してください。なお、再提出する場合は新しいリポートノートを使用してください。

- ・レポートノートの提出方法については、『学習のしおり 2017』 pp.84-93 も必ず確認しましょう。
- ・「設題総覧」で提出方法が指定されている科目や、過去のリポート提出状況によっては、以下のⅠ～Ⅳに記載した方法では受付できず不備リポートとして返却する場合があります。不明な点は事前にリポート担当に問い合わせてください。

Ⅰ. 1 設題の科目（構成単位：2 単位）

①設題形式・解答字数

99999	法政学概論	1 設題 （2 単位）
第 1 回	(1) …	・第 1 回 (1) の設題を、特別な指示のない限り 2000 字程度で解答する。 ・(1) の中で①、②と分かれているものは、①②合わせて 2000 字程度で解答する。

②レポートノートの使い方・使用可能なリポートノート

学習状況	レポートノートの使い方	注意事項	使用可否
新規提出	第 1 回 (1) をレポートノートに解答し提出する。	◆ 2 設題用を使用する場合は、レポートノートのページ No.1 ～No.12 を使用する。	○ 2 設題用 ○ 1 設題用
再提出	第 1 回 (1) をレポートノートに解答し、直近の再提出評価のリポートノートを添付し再提出する。	◆ 上記（新規提出）参照	○ 2 設題用 ○ 1 設題用

Ⅱ. 2 設題の科目（構成単位：2 単位）

①設題形式・解答字数

99999	法政学概論	2 設題 （2 単位）
第 1 回	(1) …	・第 1 回 (1)、第 1 回 (2) の設題を、特別な指示のない限りそれぞれ 2000 字程度で解答する。 ・(1) または (2) の中で①、②と分かれているものは、①②合わせて 2000 字程度で解答する。
第 1 回	(2) …	

②レポートノートの使い方・使用可能なリポートノート

学習状況	レポートノートの使い方	注意事項	使用可否
新規提出	2 設題用のレポートノートを使用し、第 1 回 (1) と第 1 回 (2) を 1 冊にまとめて解答し提出する。	◆ 同じ設題回の (1) と (2) は、1 冊にまとめて解答する。	○ 2 設題用 × 1 設題用
再提出 (2 題)	2 設題用のレポートノートを使用し、第 1 回 (1) と第 1 回 (2) を 1 冊にまとめて解答する。 直近の再提出評価のリポートノートを添付し再提出する。	◆ 上記（新規提出）参照	○ 2 設題用 × 1 設題用
再提出 (1 題)	再提出の設題をレポートノートに解答し、直近の再提出評価のリポートノートを添付し再提出する。	◆ 直近の再提出評価のリポートノートは、ばらさずにそのまま添付すること。	○ 2 設題用 ○ 1 設題用

Ⅲ. 2 設題の科目（構成単位：4 単位）

①設題形式・解答字数

99999	法政学概論	2 設題（4 単位）
第 1 回（1）… 第 2 回（1）…	・第 1 回（1）、第 2 回（1）の設題を、特別な指示のない限りそれぞれ 2000 字程度で解答する。 ・（1）の中で①、②と分かれているものは、①②合わせて 2000 字程度で解答する。 ・通信学習で 2 単位のみ修得する場合は、第 1 回（1）のみを解答する。（下記※を参照のこと）	

②レポートノートの使い方・使用可能なレポートノート

学習状況	レポートノートの使い方 方法①と方法②のいずれかの方法で提出すること。		注意事項	使用可否
新規提出	方法①	2 設題用のレポートノートを使用し、第 1 回（1）と第 2 回（1）を 1 冊にまとめて解答し提出する。	◆設題の特記事項に「一括提出不可」の旨が記載されている科目は、方法②で新規提出する。	○ 2 設題用 × 1 設題用
	方法②	第 1 回（1）と第 2 回（1）を異なるレポートノートに解答し提出する。	◆異なる受付期間に提出できる。 ◆通信学習で 4 単位を修得する場合、受験する単位修得試験の登録期間までに 2 題分のレポートノートの新規提出が必要。	○ 2 設題用 ○ 1 設題用
再提出 （2 題）	方法①	2 設題用のレポートノートを使用し、第 1 回（1）と第 2 回（1）を 1 冊にまとめて解答する。直近の再提出評価のレポートノートを添付し再提出する。	◆方法①で新規提出した場合のみ可能。	○ 2 設題用 × 1 設題用
	方法②	第 1 回（1）と第 2 回（1）を異なるレポートノートに解答する。それぞれ直近の再提出評価のレポートノートを添付し再提出する。	◆方法②で新規提出した場合のみ可能。 ◆異なる受付期間に提出できる。	○ 2 設題用 ○ 1 設題用
再提出 （1 題）	再提出の設題をレポートノートに解答し、直近の再提出評価のレポートノートを添付し再提出する。		◆直近の再提出評価のレポートノートは、ばらさずにそのまま添付すること。	○ 2 設題用 ○ 1 設題用

※通信学習で 2 単位のみ修得する場合（以下①②のケースに該当する科目のみ）

☐ ①編入等で 2 単位のみ認定済の科目

☐ ②スクーリング学習で 2 単位修得予定*または修得済の科目

（*単位修得試験は、スクーリング学習で 2 単位修得後でないと登録できません。）

学習状況	レポートノートの使い方	注意事項	使用可否
新規提出	第 1 回（1）をレポートノートに解答し提出する。	◆第 2 回（1）の提出は不要。	○ 2 設題用 ○ 1 設題用
再提出	第 1 回（1）をレポートノートに解答し、直近の再提出評価のレポートノートを添付し再提出する。		○ 2 設題用 ○ 1 設題用

【注意！】4 単位構成科目の学習方法について

通信学習で 4 単位を修得する場合、レポートはⅢ、Ⅳで記載した方法で、設題第 1 回と第 2 回の提出時期を分けることができます。しかし、単位修得試験は、単位認定やスクーリング学習で 2 単位修得済みでない限り、4 単位での登録（受験）が必要であるため、単位修得試験登録期間までに設題第 1 回と第 2 回のレポートをすべて提出してください。第 1 回のレポートのみを提出後、単位修得試験を 2 単位で登録することはできません。

Ⅳ. 4 設題の科目（構成単位：4 単位）

①設題形式・解答字数

99999	法政学概論	4 設題（4 単位）
第 1 回（1）… 第 1 回（2）…	・第 1 回（1）、第 1 回（2）、第 2 回（1）、第 2 回（2）の設題を、特別な指示のない限りそれぞれ 2000 字程度で解答する。 ・（1）や（2）の中で①、②と分かれているものは、①②合わせて 2000 字程度で解答する。	
第 2 回（1）… 第 2 回（2）…	・通信学習で 2 単位のみ修得する場合は、第 1 回（1）と第 1 回（2）を解答する。（下記※を参照のこと）	

②レポートノートの使い方・使用可能なレポートノート

学習状況	レポートノートの使い方	注意事項	使用可否
新規提出	・2 設題用のレポートノートを 2 冊使用する。 ・第 1 回（1）と（2）を 1 冊、第 2 回（1）と（2）を 1 冊にそれぞれまとめて解答し、提出する。	◆同じ設題回の（1）と（2）は、1 冊にまとめて解答する。 ◆4 設題科目の場合、設題回が異なる設題はレポートノートを分けること。 ◆第 1 回と第 2 回のレポートノートは、異なる受付期間に提出できる。	○2 設題用 ×1 設題用
再提出 （3 題以上）	1. 同じ設題回の（1）と（2）は、2 設題用のレポートノートにまとめて解答する。 2. 再提出評価が（1）と（2）のいずれか一方のみの設題は、1 と異なるレポートノートに解答する。 3. 上記 1、2 に直近の再提出評価のレポートノートをそれぞれ添付し再提出する。	◆1 設題用のレポートノートは、（1）または（2）のいずれかが再提出となった設題回に対してのみ使用可能。 ◆その他の注意事項は上記（新規提出）を参照。	○2 設題用 ○1 設題用 （再提出が 1 題の設題回のみ）
再提出 （同じ設題回の 2 題）	同じ設題回の（1）と（2）を 2 設題用のレポートノートにまとめて解答し、直近の再提出評価のレポートノートを添付し再提出する。	◆同じ設題回の（1）と（2）は、1 冊にまとめて解答する。	○2 設題用 ×1 設題用
再提出 （異なる設題回の 2 題）	再提出となった異なる設題回の設題を、1 題ずつ異なるレポートノートに解答し、直近の再提出評価のレポートノートをそれぞれ添付し再提出する。 （例）第 1 回（1）と第 2 回（1）が再提出評価の場合は、第 1 回（1）で 1 冊、第 2 回（1）で 1 冊のレポートノートに解答する。	◆4 設題科目の場合、設題回が異なる設題は、レポートノートを分けること。 ◆第 1 回と第 2 回のレポートノートは、異なる受付期間に提出できる。	○2 設題用 ○1 設題用
再提出 （1 題）	再提出の設題を解答し、直近の再提出評価のレポートノートを添付し再提出する。	◆直近の再提出評価のレポートノートは、ばらさずにそのまま添付すること。	○2 設題用 ○1 設題用

※通信学習で 2 単位のみ修得する場合（以下①②のケースに該当する科目のみ）

☐ ①編入等で 2 単位のみ認定済の科目

☐ ②スクーリング学習で 2 単位修得予定*または修得済の科目

（*単位修得試験は、スクーリング学習で 2 単位修得後でないと登録できません。）

学習状況	レポートノートの使い方	注意事項	使用可否
新規提出	第 1 回（1）と第 1 回（2）を 2 設題用のレポートノートにまとめて解答し提出する。	◆同じ設題回の（1）と（2）は、1 冊にまとめて解答する。 ◆第 2 回（1）、第 2 回（2）の提出は不要。	○2 設題用 ×1 設題用
再提出 （2 題）	第 1 回（1）と第 1 回（2）を 2 設題用のレポートノートにまとめて解答し、直近の再提出評価のレポートノートを添付し再提出する。	◆上記（新規提出）参照	○2 設題用 ×1 設題用
再提出 （1 題）	再提出の設題をレポートノートに解答し、直近の再提出評価のレポートノートを添付し再提出する。	◆直近の再提出評価のレポートノートは、ばらさずにそのまま添付すること。	○2 設題用 ○1 設題用

レポートの書き方（一般例）

1. テキストの熟読

まず、履修学年の科目の中から自分の興味のある科目のテキストを最初から最後まで熟読しましょう。その中で、重要だと思われるところは、マーカーでアンダーラインを引くことも大切です。また、わからない語句などは、辞書や辞典で調べたり、「設題総覧」で紹介されている参考文献などを読んだりして理解を深めましょう（参考文献の中には、入手困難なものも含まれますので、図書館等も利用してください）。

2. 設題の意図を把握する

テキストを一通り読み終えたら、その科目の設題を確認しましょう。まずは設題を読み、設題の意図することをきちんと把握しましょう。設題の意図を正確に把握しないと、的外れなりポートになってしまい、合格点には達しません。合格するレポートを作成するためには、まず設題の意図を把握することが重要です。

3. レポートの作成（下書き）

設題の意図を確認したら、レポートの構成を考えましょう。基本的には、序論→本論→結論という展開になります。そして構成を考えたら、実際にレポートを作成します。

パソコン（ワープロ）などは編集がしやすいので効率的です。ただ、各設題とも字数は2000字程度で収めるようにしましょう（科目によっては、記述字数を指定しているものやパソコン（ワープロ）使用不可のものもあります。詳細は各科目の【特記事項】を参照してください）。

他の文献を利用したときは、レポートの末尾に著者（訳者）名・書名・出版社名を必ず記載し、引用が必要なときは、引用符をつけて本文（自分の文章）と区別し、出典を明記しなくてはなりません。

4. レポートの作成（清書）

下書きが終わったら、次は清書です。パソコン（ワープロ）の使用が可能な科目の場合は、印字をして、その用紙をレポートノートに貼り付けてください。パソコン（ワープロ）の使用ができない科目は、レポートノートに手書きで写すようにしてください。そして、「レポート表紙」と「レポート提出票」に必要事項を全て記入します。また、返信用の帯封に住所を書き、切手も忘れずに貼ってください。

・提出方法の詳細は『学習のしおり』で確認しましょう。

5. レポートの提出

レポートを書き終えたら、最後に大学に提出します。ただし、ここでもう一度形式が守られているかどうか確認してください。特に指示がない科目に関しては形式が統一されています。また、提出の際には、「レポート受付期間」をよく確認して、必ずその期間内に提出してください。形式が守られていないもの、また受付期間外に提出されたレポートは、不備レポートとして返却の対象となりますので、十分注意してください。レポートが添削されて手元に戻ってくるのは、基本的にレポート締切日から2カ月後です。

上記の例は、基本的な流れのみを示したものです。詳しくは、市販のレポートの書き方に関する書籍等を参照のうえ作成してください。

注意：レポートを作成するにあたり、参考資料やインターネットのサイト等から、そのままコピーすることは剽窃であり、不正行為として処罰の対象となります。注意してください。

< 参考 >

1 原稿用紙の使い方

- (1) 原稿用紙には、1 ますに 1 文字ずつ書く。本文だけでなく、注も原則として同じように書く。
- (2) 文字は、読み易い字できちんと書く。特に固有名詞、紛らわしい文字は正確に、ペンではっきり書く。
- (3) 句読点（。、）および「 」や（ ）などのカッコは、1 字分として 1 マスに書く。
- (4) 欧文の大文字は 1 マスに 1 字、小文字は 1 マスに 2 字ずつ書く。
改行した場合も同じように書く。
- (5) 句読点や中黒（・）、くりかえし記号である「々」「く」、感嘆符や疑問符、カッコの受けである「 」や（ ）などは行の最初には書かない。逆に行の最後に、カッコの起こしである 「 」や（ ）を書かない。
- (6) 文章、文体の統一に注意する。「…です」「……であります」でなく、「……である」を使う。
- (7) 用字、用語など、表記の統一に注意する。
- (8) 引用文は原文の通り表記する。引用者は句読点をつけた場合は、そのことを付記しておく。
- (9) 引用文が長くなる場合は、全文を 1 字か 2 字下げて、前後を 1 行あけておく。
- (10) 原稿を書き上げたら、必ず読み返して誤字・脱字がないかも確認する。
- (11) 図、表、地図などは適当な用紙を使い、原稿用紙に貼るか、または折り込んで綴じ込んでもよい。

2 パソコン（ワープロ）書きリポートの提出方法（『学習のしおり』を参照しながら）

- (1) パソコン（ワープロ）でリポートを作成する場合は「設題総覧」の指定に従うこと。特に指定のない科目は白紙 A4 用紙に 40 字 × 30 行（1200 字行間を十分に空ける）で印字して末尾に記述字数を明記する。
- (2) パソコン（ワープロ）で作成したリポートは、見開きができるように、リポートノートのページ No 1（1 設題目）、No15（2 設題目）に糊付けをして提出する。

教養課程（全学部共通）

— 一般教育科目・外国語科目・保健体育科目 —

Contents

●2017年度 通信学習科目 指定テキスト・科目掲載ページ一覧……………	16
●2017年度 通信学習シラバス ……………	18
●2017年度 設題総覧	
・レポート設題と参考文献……………	30
・指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足……………	39
●2017年度 単位修得試験の出題範囲（p.40 に記載した留意事項を必ず確認してください） ……	40

2017年度 通信学習科目 指定テキスト・科目掲載ページ一覧

科目名	履修 学年	構成 単位	テキスト 種別 (入手方法)	2017年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社（市販 本のみ）／発行年／定価（税抜）	備考	教科書 コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
								シラバス	設題	試験範囲
指・文学	1	4	指定市販本 (各自購入)	『和歌文学の基礎知識』 谷 知子 角川学芸出版、2006 年、¥1,500	スタディガイドあり	S-001	¥1,543	18	30	—
指・西洋史	1	4	指定市販本 (各自購入)	『西洋世界の歴史』 近藤 和彦編 山川出版社、1999 年、¥3,200		S-002	¥3,245	18	30	40
指・日本史	1	4	指定市販本 (各自購入)	『概論 日本歴史』 佐々木潤之介 他 吉川弘文館、2000 年、¥1,900		S-004	¥1,961	19	30	—
指・哲学	1	4	指定市販本 (各自購入)	『哲学入門』（ちくま学芸文庫） ハートランドラッセル（著）， 高村 夏輝（翻訳） 筑摩書房、2005 年、¥1,000		S-005	¥1,047	19	31	40
指・東洋史	1	4	指定市販本 (各自購入)	『中国史』新版（世界各国史 3） 尾形勇・岸本美緒編 山川出版社、1998 年、¥3,500		S-006	¥3,537	19	31	40
指・論理学	1	4	指定市販本 (各自購入)	『改訂版 論理学の初歩』 大貫義久・白根裕里枝・菅沢龍文・ 中釜浩一著、 梓出版社、2013 年、¥2,000		S-007	¥2,039	20	31	40
指・法学（日本国憲法）	1	2	指定市販本 (各自購入)	『判例法学』（第 5 版） 西村健一郎・西井正弘・初宿正典 有斐閣、2012 年、¥2,400	同一テキスト	S-008	¥2,437	21	32	41
指・法学	1	2						21	32	41
旧・経済学 （～2018 年 3 月迄）	1	4	通教テキスト （—）※	『経済学』（第 2 版） 屋嘉宗彦、2014 年	（テキスト変更： ～2018 年 3 月迄） 経過措置テキスト ※原則「教材交付願 」での購入のみ	—	—	—	32	41
指・経済学 （2016 年 4 月～）	1	4	指定市販本 (各自購入)	『コーポレート・グローバリゼー ションと地域主権』 福田 泰雄、桜井書店、2010 年 ¥3,400	（テキスト変更： 2016 年 4 月～） 最新の指定テキスト 他、資料あり。	S-128	¥3,419	21	33	41
指・人文地理学	1	4	指定市販本 (各自購入)	『ジオグラフィー入門』（改訂新版） 高橋伸夫・谷内達・阿部和俊・ 佐藤哲夫・杉谷隆編 古今書院、2008 年、¥2,500		S-009	¥2,545	21	33	—
指・自然地理学	1	4	指定市販本 (各自購入)	『風景のなかの自然地理 改訂版』 杉谷隆・平井幸弘・松本淳著 古今書院、2005 年、¥2,500		S-010	¥2,525	22	33	—
指・政治学概論	1	4	指定市販本 (各自購入)	『政治学』 川出良枝、谷口将紀 東京大学出版会、2012 年、¥2,200		S-011	¥2,233	22	34	41
指・社会学	1	4	指定市販本 (各自購入)	『Do！ソシオロジー：現代日本を 社会学で診る』（有斐閣アルマ） 友枝敏雄・山田真茂留編 有斐閣、2007 年、¥1,800	改訂版も可 （生協では改訂版のみ 取扱）	S-012	¥1,844	23	34	41
指・文化人類学	1	4	指定市販本 (各自購入)	『グローバリゼーションのなかの 文化人類学案内』（第 7 刷） 中島 成久編著 明石書店、2016 年、¥2,500	スタディガイドあり	S-013N	¥2,535	23	35	42
指・心理学	1	4	指定市販本 (各自購入)	『伝えあい心理学原理』 亀谷 純雄著 文化書房博文社、2006 年、¥2,000		S-014	¥2,039	23	35	—
数学 1	1	2	通教テキスト （配本）	『数学』（第 1 版） 安東 祐希・池田 宏一郎・ 倉田 俊彦、2008 年	同一テキスト	—	—	24	35	42
数学 2	1	2						24	36	42
指・生物学 1	1	2	指定市販本 (各自購入)	『グラフィックライフサイエンス』 （増補版） 堀上英紀・月井雄二・矢崎和盛・ 小山力著、 相川書房、2010 年、¥1,900	スタディガイドあり	S-015	¥1,951	24	36	42
指・化学 1	1	2	指定市販本 (各自購入)	『グレイ 化学—物質と人間—』 H.B.Gray,J.D.Simon,W.C.Trogler 著 東京化学同人、1997 年、¥2,200	同一テキスト スタディガイドあり	S-016	¥2,243	25	36	—
指・化学 2	1	2						25	36	—

科目名	履修学年	構成単位	テキスト種別 (入手方法)	2017年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社（市販本のみ）／発行年／定価（税抜）	備考	教科書コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
								シラバス	設題	試験範囲
指・物理学 1	1	2	指定市販本 (各自購入)	『重力の物理学 - 知的好奇心のために』 小池康郎著 法政大学出版局、2005 年、¥2,500	代替テキスト対応ガイドあり*	—	取り扱い できません	25	36	—
				(上記テキストが入手できない場合の代替テキスト) 『物理学入門』 大西直毅著 東京大学出版会、1996 年、¥2,400		S-017	¥2,427			
指・物理学 2	1	2	指定市販本 (各自購入)	『文系人のためのエネルギー入門』 小池康郎著 勁草書房、2011 年、¥2,400		S-018	¥2,437	26	37	—
指①・英語 2 (～2018 年 3 月迄)	1	2	指定市販本 (各自購入)	『Reading Through the Skills: Stories on Life from Famous Authors』 George Ellington 著 McMillan Languagehouse、1998 年、¥1,800	専用レポートノート (テキスト変更： ～2018 年 3 月迄) 経過措置テキスト スタディガイドあり	—	取り扱い できません	—	37	—
指②・英語 2 (2016 年 4 月～)	1	2	指定市販本 (各自購入)	『Let's Learn English From American Literature II アメリカ文学から英語を学ぼう II』早瀬博範、江頭理江 編、英宝社、2015 年、¥1,900	専用レポートノート (テキスト変更：2016 年 4 月～) 最新の指定テキスト スタディガイドあり	S-129	¥1,931	26	37	—
指・英語 3	1	2	指定市販本 (各自購入)	『Get Reading! 大学生のための読解演習と基本文法』 Robert Hickling・市川泰弘 著 金星堂、2009 年、¥1,950	専用レポートノート スタディガイドあり	S-021	¥1,990	26	37	—
指・独語 1	1	2	指定市販本 (各自購入)	『素朴なぞもんからわかるドイツ文法』 高田 博行 郁文堂、2010 年、¥1,800	専用レポートノート スタディガイドあり	S-023	¥1,854	27	38	42
指・仏語 1	1	2	指定市販本 (各自購入)	『ゼロから始めるフランス語 (CD 付)』 猪狩廣志著 三修社、2007 年、¥1,600	専用レポートノート スタディガイドあり	S-024	¥1,660	28	38	43
指・健康・ スポーツ科学概論	1	2	指定市販本 (各自購入)	『基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』 伊藤 マモル監修 日本文芸社、2009 年、¥1,600	いずれか 1 冊で可	—	取り扱い できません	28	38	43
				『からだ・健康・スポーツ』 小島康昭著、サンウェイ出版、2002 年、¥2,000		S-127	¥2,049			

*物理学 1 の代替テキスト対応ガイドの参照方法は、シラバスを参照してください。

2017年度 通信学習シラバス

文学

教科担当責任者：阿部 真弓

担当者：園 明美
単位数：4 単位

※レポート（第1回・第2回）一括提出不可

1 学習の到達目標 本科目では、大学生なら知っておくべき古典和歌の基礎知識について学習します。テキストを熟読し、適宜、参考文献を読むことを通じ、以下の2点に到達することを目指します。

- (1) 古典和歌を的確に鑑賞できる読解力を養う。
- (2) 和歌の文学史的展開を理解する。

2 科目の概要 古典和歌を初めて学習する人、興味はあるけれどどのように勉強すればわからない人に配慮されたテキストを用い、レトリックやきまり、和歌の種類、歌人、文学・文化と和歌の関わりといった和歌の基本を学習します。和歌は、日本の文学史において、その根幹に存在し続けてきました。和歌を学習することによって、日本の古典文学、そして文化の基礎を理解することができるようになります。テキストをよく読み、古典和歌に関する知識を習得するとともに、種々の優れた作品を鑑賞し、和歌の美しさ、楽しさをぜひ味わってください。

3 成績評価基準 レポートおよび単位修得試験ともに、学習の到達目標の2点について、どの程度達しているかによって評価します。レポートについては、「設題総覧」に書かれた注意事項等が守られているか、レポートとして適切な表現・書式で書かれているかという点も、評価の基準となります。最終成績は単位修得試験により評価しますが、評価の際は先に提出されたレポートの内容も考慮します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『和歌文学の基礎知識』谷知子、角川学芸出版、2006年、¥1,500+税
※【スタディガイド（学習指導書）】あり

本書は、古典和歌を鑑賞する上での基本を学ぶために書かれたもので、古典和歌のきまりや特徴に関する31項目と、書名・歌人の解説、引用和歌索引から構成されています。

5 学習指導、注意点等 「学習の到達目標」の(1)については、和歌の歌体、和歌のレトリック（修辞）、詠歌の素材、詠歌の方法、という4点を意識しながら、テキストを読むようにしてください。また、(2)については、主要な歌人、和歌の時代的な変遷、和歌と他文芸との関わり、といった点に注意しながら、学習を進めるようにしてください。

なお、レポート執筆の際には、「設題総覧」およびスタディガイドに書かれていることを注意深く読んでください。まず、与えられた設題をしっかりと「理解」すること。レポートとしてどのような内容が求められているのか、テキストを熟読した上でよく考えてください。そして、レポートの体裁や提出に関する特記事項・注意等をよく確認し、それらに従って提出するようにしてください。それが守られていないレポートは採点しませんので、注意してください。また、剽窃行為は処分の対象となります。他の文献を引用する場合は、自分の書いた文章と引用部分を明確に区別して示すとともに、その出典を記載するようにしてください。

西洋史

教科担当責任者：中村 純

担当者：長谷川 岳男
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 1. 西洋史の重要な問題を、多くの文献を参照しながら自ら掘り下げて取り組むことにより、歴史的事象を多面的に分析できるようになる。

2. テキストを自学して、社会人として必要な一般教養としての西洋史の基礎知識を習得することにより、現代の日本社会に多大な影響を与えている西洋文明を深く理解できるようになる。

2 科目の概要 日本は幕末から明治維新の時期に西洋文明を大幅に取り入れて近代化を進めた結果、現在の日本社会は西洋文明に多大な影響を受けていることは自明のことであろう。そして我が国で西洋文明と接触したのは、16世紀にいくぶんあるものの、本格的には19世紀半ば以降のことであり、それゆえ近代のそれを、特に実益を中心に表面的に受け入れたこともまた否定できないと言える。しかし西洋文明はあくまで西洋古代からの長い歴史的な経験の産物であるのであるから、我が国の受容のプロセスは、外面的には西洋的な装いをしながらも本質的な性質を理解できない問題を生じさせていると思われる。そこで西洋の歴史を学ぶ必要があるわけで、この科目ではそのような問題意識から、広く西洋の歴史的経緯をテキストの講読で学び、重要と思われるテーマに関していくつかの文献も参考にしながらレポートを作成することで西洋世界の特性の理解を目的としている。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

レポートでは与えられた課題に対して、テキストで得た基礎知識をもとに、さらに様々な見解を挙げられた参考文献から学ぶことで、自分なりに消化して説明できているかで成績評価し、テストに関してはテキスト内容を正しく理解しているかで成績評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『西洋世界の歴史』、山川出版社、近藤和彦編、1999年、¥3,200+税

5 学習指導、注意点等 レポートに関しては、まずテキストの設題に関する時代地域を熟読することで、基礎的な理解を行う必要があろう。なぜなら、その理解をしないことには参考文献で述べられる様々な見解を理解することは不可能であると思われるからである。そして参考文献として挙げられている文献を少なくとも1冊は講読することで、テキストで述べられる内容をより深く知り、さらに一つの歴史事象にもさまざまな見方があることを理解して欲しい。その上で与えられた課題に対して、学んだことを自分なりに消化して自分の言葉で説明するようにすること。テキストの抜き書きや課題と無関係の説明は評価の対象とならないことを肝に銘じて欲しい。加えて挙げられた参考文献以外のものを参考にする際には、高校の教科書や参考書、あるいは塩野氏などの俗書の類いは叙述内容がただ歴史事象の羅列だけであったり、見解自体に根拠がなく怪しいものが多いために課題の求めることに応えることは困難であろう。

テストに関しては歴史的な基本事項を理解しているかを問うので、指定範囲の部分の正確な理解して臨むことが必要となろう。

日本史

教科担当責任者：小口 雅史

担当者：柏木 一郎
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 日本の歴史の大きな流れを把握し、歴史を考察する力を身につけ、日本の伝統と文化の特色を広い視野にたって考察し、史実を科学的に論証し未来を展望する術を会得することを目標とする。

2 科目の概要 指定したテキストを通して、古代・中世・近世・近代・現代の各時代の政治、社会、経済、文化を国際環境と関連させながら学ぶ。各時代の特色及びその変遷について認識を深め、歴史への関心を高める。

3 成績評価基準 最終成績は単位取得試験により評価する。指定したテキストの内容を十分理解し論述しているか、史実の羅列をしていないか、歴史を考察する視点を有しているかを評価の基準とする。レポート学習をしっかりとこない単位取得試験にのぞむこと。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 佐々木潤之介ほか編『概論 日本歴史』吉川弘文館、2000 年、¥1,900+税
日本史の全体像をコンパクトに記述した通史。高校のカリキュラムとの関係で日本史を履修しなかった大学生に対する教育的配慮を念頭におきつつ、古代から現代までの日本の歴史の大きな流れを把握できるよう編集されている。

5 学習指導、注意点等 テキストを熟読する。わからない史実や用語、人名があったらこまめに辞典をひく、テキストの内容をノートにまとめ内容を理解する。ノートは、レポート作成や単位取得試験の際に役立つので必ず作成すること。テキストの内容をしっかりとレポートにまとめ、単位取得試験に臨んでほしい。参考文献はテキスト巻末の「日本史参考文献」を参照のこと。

哲学

教科担当責任者：菅沢 龍文

担当者：大西 正人、菅沢 龍文
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 哲学にもさまざまな分野があるが、ここではラッセルの『哲学入門』を読んで考えることによって、日頃なにげなく知っているとと思っていることについて哲学的な反省を加える。自分が知っていると思っている事柄を吟味して、知識について考え、真の知識を拡張していくことにより、自我の殻を破っていくことが目指される。これは、他人と共通の知識の地盤に立ってコミュニケーションを成功させるための前提である。したがって、知識について深い見識を得ることが到達目標となる。

2 科目の概要 自分が持っていると感じる知識について、次の順序で哲学的反省を加えていく。1. なぜテーブルが存在すると考えるのか。2. なぜ外界が存在すると考えるのか。3. なぜ科学が扱う空間は私的ではないのか。4. なぜ私秘的でない観念があるのか。5. なぜ記述によって私的経験を越えていけるのか。6. なぜ帰納的な知識に限界があるのか。7. なぜ経験によらない知識があるのか。8. なぜ、矛盾律はただの思

考の法則ではない、といえるのか。9. なぜ普遍はたんなる心的なものではないのか。10. なぜ直観的知識が必要なのか。11. なぜ真の知識は事実と対応しなければならないのか。12. なぜ哲学と科学は区別されるのか。13. なぜ自我ならざるものの拡大は満足を与えるのか。

3 成績評価基準 最終成績は単位取得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたレポートの内容を考慮する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 パートランド・ラッセル著『哲学入門』高村夏輝訳 筑摩書房（ちくま学芸文庫）2005 年、¥1,000+税

5 学習指導、注意点等 レポートについては、テキストあるいは参考文献等の他人の文章をそのまま引き写しにしたものは、レポートとして認めません。設題の趣旨に沿うように自分の思考力でよくこなして、自分の文章で組み立て、理路を整えて書くように心がけてください。他の文献を利用したときは、レポートの末尾に著者名・書名・必要に応じて訳者名・出版社名を記載すること。引用が必要ときは、引用符を付けて本文（自分の文章）と区別し、出典を明記すること。

レポートの参考書については、テキストをよく読んで基本的な事柄を理解し、それを自らの問題として考察するための設題がなされているので、とくに必要としません。ただし、哲学の問題を考えるためには哲学史の知識も役立つので、必要に応じて哲学史の入門書や哲学事典なども参考にしてください。

東洋史

教科担当責任者：齋藤 勝

担当者：仲山 茂
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 他国史として中国史に関する十分な知識と認識を得ることを通じて、歴史を学ぶことの意義、他者を知ることで自らを相対化することの重要性を学ぶことができる。また概説書を正確に読み、内容を適切にまとめる能力を培うことができる。

2 科目の概要 指定市販教科書により、古代から現代に至るまでの中国の歴史を学んでいく。レポート・筆記試験の課題をこなしながら、各時代の特徴、時代間の連続性への理解を深めていきたい。

特に留意したいポイントは以下の通りである。

- ①中国という世界とその歴史・文化が如何に多様な要素から構成されているか。
- ②中国の人々が、時代にに応じて何を築き上げ、何を感じて生きてきたか。
- ③世界史の中で中国がどういう位置を占めてきたか。
- ④中国の歴史は現代とどのように繋がっているのか。

3 成績評価基準 最終成績は単位取得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

レポート・筆記試験ともに、与えられた課題を正確に理解していること、教科書に基づいて適切且つ過不足の無い説明を行っていることを評価の基準とする。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『中国史』（世界各国史 3）新版、山川出版社、尾形勇・岸本美緒編、1998 年、¥3,500+税

5 学習指導、注意点等 レポート・筆記試験については、指定教科書に基づくことが大前提となるが、他の文献によって補うことがあっても構わない。ただしその場合には、参照した

文献を明示することが条件となる。また、あくまでも評価基準が指定教科書にあることは忘れないでほしい。

知識を得るとともに、読解力、要点整理力、文章力を培っていくことも目的の一つである。よって大切なのは、教科書としっかり向き合い、自分の力で成果を残すことである。他人やインターネットに頼ることがあってはならない。また、きちんとした文章で書くことを求めるので、箇条書きによる整理などはできるだけ避けてほしい。

論理学

教科担当責任者：計良 隆世

担当者：大貫 義久、計良 隆世
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 論理学の基礎を学び、正しい論理的思考または正しい推論を行うのに必要とされる基礎的な知識と技術を習得することが、本科目の到達目標です。この学習を通して、自分が行う思考や推論のみならず、他者が述べる意見や論証が論理的に正しく行われているかどうか、批判する能力を身につけることも可能となります。

2 科目の概要 論理学は、思考の内容、即ち、何を考えるべきかを問題とする学問ではなく、正しく考えるためにはどのように考えるべきかという**思考の形式および法則**を研究する学問です。

本科目では、西洋論理学を学び、それ以外の論理学（例えば、古代インドの論理学等）は学びません。西洋論理学は、古代ギリシャのアリストテレス以来受け継がれてきた伝統的論理学と、19 世紀後半から 20 世紀にかけて、それが修正・拡張されて成立したと見なされる現代論理学（記号論理学）とに分かれます。本科目では、伝統的論理学の学習からスタートし、現代論理学の領域に少し入って、その最も基本的な事柄の学習までを行います。

伝統的論理学の学習では、テキストの構成に従い、概念論、判断（命題）論、推理論と順々に学んでいきます。

現代論理学については、否定・連言・選言・条件・等値といった論理的結合子の定義の理解、命題の真・偽を考えることによる真理値表の作成、命題文の記号化など、主に、命題論理学の基礎を学びます。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価しますが、評価の際は先に提出されたレポートの内容を考慮します。

レポートと試験の採点基準は、テキストで説明されている規則や解答法に従い、またそこで採用されている記号等を用いてレポートや試験答案を作成し、論理的に正しい答えを導くことができるかどうかによります。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『改訂版 論理学の初歩』、梓出版社、大貫義久・白根裕里枝・菅沢龍文・中釜浩一著、2013 年、¥ 2,000+税

本書は、「論理学」という学問を初めて学ぶ大学初年級の学生のために書かれた論理学の教科書です。

もともとは、「授業で使う教科書」として著されたものですが、例題や練習問題も比較的充実しており、独習者の手引き書ともなるように配慮されています。

本書の構成は以下のとおり：

- 第 1 部 伝統的形式論理学の基礎
 - 第 1 章 思考の根本原理
 - 第 2 章 概念

第 3 章 命題

第 4 章 推理 (1) 演繹推理（直接推理）

第 5 章 推理 (2) 演繹推理（間接推理）

第 6 章 伝統的論理学にベン図を適用する方法

第 2 部 近代以降の論理学

第 1 章 帰納法の論理学

第 2 章 命題論理学

第 3 章 述語論理学

5 学習指導、注意点等

まず何よりも、テキストを熟読して下さい。「論理学」で使われることば（専門用語）は、堅苦しい漢字熟語が多いですが、それほど理解困難なものではありません。テキストの説明を読み、例題を理解し、練習問題を解いてみる、という流れで学習を進めて下さい。練習問題の大半は、説明・例題を見れば、解けるはずです。

<学習のポイント>

1. 伝統的論理学

①概念論：概念の内包と外延とは何か。また内包と外延はどのような関係にあるのか。

②命題論：

a. 四種の定言命題において、どの主語概念（S）とどの述語概念（P）が周延され、どの S・P が不周延であるのか。

b. 四種の定言命題それぞれについて、主語概念（S）と述語概念（P）との外延的包摂関係をオイラー図で表すとどのようなになるか。オイラー図を書けるようにする。

c. 定言命題への標準形式化の方法とはどのようなものか。標準形式化を実際に自分で行えるようにする。

③直接推理：

a. 四種の対当関係それぞれにおいて、命題間の真偽関係はどのようなになっているか。真偽の判定をできるようにする。

b. 換質法・换位法・換質换位法によっては、それぞれ、どの種類の定言命題をどの種類の定言命題に変形することができるのか。実際に自分で変形をできるようにする。

④間接推理：定言三段論法・仮言三段論法・選言三段論法のそれぞれについて、どのような形式をもつ推理が妥当であり、どのような推理が妥当でないのか。それを理解した上で、実際に、三段論法による推理の妥当・非妥当を判定できるようにする。

2. 現代論理学（命題論理学）

①命題論理学は、否定と接続詞の論理学と言われるが、否定・接続詞（連言・選言・条件・等値）という論理的結合子の働きはどのように定義されているのか。5 種の論理的結合子の真理値表を書けるようにする。

②条件命題の逆・裏・対偶とは何か、ある条件命題とそれと逆・裏・対偶の関係にある命題との真偽の関係はどのようなになっているかを理解し、逆・裏・対偶の関係にある命題を作れるようにする。

③命題論理学における総合命題・恒偽命題・トートロジーとは何か。推理が妥当であるのは、どのような場合であるのか。真理値表を作成することにより、推理の妥当・非妥当を判定できるようにする。

<参考文献>

近藤洋逸・好並英司共著『論理学入門』岩波全書

野矢茂樹著『論理学』東京大学出版会

坂本百大・坂井秀寿共著『新版 現代論理学』東海大学出版会

法学（日本国憲法）

教科担当責任者：内藤 淳

担当者：葉 晶珠
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 日本国憲法を中心に、法学の基本概念と原則を判例なども交えて学び、自分で説明できるようになることを目的とする。

2 科目の概要 法は、社会の中で、どのような役割を果たしているか。また、どのような概念や原則に基づいて法は成り立っているか。これらの問いを、日本国憲法の理解を通じて考え、同時に、条文や判例を素材に、法的な思考方法を身につけられるようにする。取り上げるテーマは、指定のテキスト『判例法学』の以下の章の中から適宜選ぶことにする。

第 1 章「基本的人権と法」

第 6 章「国家と法」

3 成績評価基準 単位修得試験による。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 西村健一郎・西井正弘・初宿正典『判例法学』（第 5 版）有斐閣、2012 年、¥ 2,400+税

5 学習指導、注意点等 ・基本的に、指定のテキスト『判例法学』に沿って、関係する条文と判例と解説を熟読しておくことが大切となる。
・指定のテキスト『判例法学』のすべてを扱うのではないので注意すること。具体的には、上記の「科目の概要」を参照。『判例法学』は第 5 版を用いる。

法学

教科担当責任者：内藤 淳

担当者：葉 晶珠
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 現代日本法を中心に、法学の基本概念と原則を判例なども交えて学び、自分で説明できるようになることを目的とする。

2 科目の概要 法は、社会の中で、どのような役割を果たしているか。そして、どのような概念や原則に基づいて法は成り立っているか。これらの問いを、条文や判例などの学習を通じて考え、同時に、法的な思考方法を身につけられるようにする。取り上げるテーマは、指定のテキスト『判例法学』の以下の章の中から適宜選ぶことにする。

第 2 章「家族関係と法」

第 3 章「財産関係と法」

第 4 章「労働関係と法」

第 5 章「犯罪と法」

第 7 章「国際関係と法」

3 成績評価基準 単位修得試験による。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 西村健一郎・西井正弘・初宿正典『判例法学』（第 5 版）有斐閣、2012 年、¥ 2,400+税

5 学習指導、注意点等 ・基本的に、指定のテキスト『判例法学』に沿って、関係する条文と判例と解説を熟読しておくことが大切となる。
・指定のテキスト『判例法学』のすべてを扱うのではないので注

意すること。具体的には、上記の「科目の概要」を参照。『判例法学』は、第 5 版を用いる。

経済学

教科担当責任者：水野 和夫

担当者：福田 泰雄
単位数：4 単位

※ 2016 年 4 月よりテキスト変更（通教テキスト → 指定市販本）

1 学習の到達目標 今日、物があふれ膨大な金融資産が積み上げられる一方で、所得・資産格差が拡大し、貧困が広がっています。日本も例外ではありません。これは社会の矛盾であり、こうした矛盾がなぜ生じるのかを学びます。具体的には、巨大多国籍企業への富と権力の集中、およびその企業による政策・貿易ルール（新自由主義）の買収とその影響という視点から現代社会を見ることの重要性を学びます。

2 科目の概要 ①新自由主義政策 ② WTO 協定・TPP 協定 ③グローバル化と経営権限 ④新自由主義政策と所得・資産格差 ⑤アグリビジネスによる農業・食料支配 ⑥農業の工業化と環境破壊 ⑦途上国の貧困問題 ⑧資本主義のカジノ化

3 成績評価基準 単位習得試験の成績による。ポイントを理解しているか否かを重視する。可能であれば、自分の意見と根拠を述べることを望ましい。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 福田泰雄『コーポレート・グローバリゼーションと地域主権』（桜井書店、2010 年、3400 円+税）、
資料：福田泰雄「TPP 協定は国民の主権、生存権を放棄する」『経済』（新日本出版、2016 年 10 月号、<https://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/handle/10086/> からダウンロード可能）

5 学習指導、注意点等 テキストを精読し、ノートをとって理解を深めたいうえでレポートをまとめるようにしてください。設問を理解し、テーマ、結論、理由・根拠が明確になるように書いてください。自分の見解を述べる場合も同じです。長くても答えるべき論点から外れた答えは評価が低くなります。

人文地理学

教科担当責任者：米家 志乃布

担当者：高木 正
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 教養科目なので、地理学そのものを学ぶというよりも、地理学的な視点を通じて現代世界の理解を深めていくという勉強を目指したい。高校時代に地理科目を履修した経験がなくても構わない。学生諸君の世界観がより確かなものに高められるような設題を設定する。そして理解力をしっかりとつけたうえで自分の意見がはっきり述べられるようなトレーニングを積んでもらう。

2 科目の概要 社会科学としての人文地理学から現代世界が捉えられるようなテーマで勉強していくことになる。世界的テーマとしては、例えば地球環境問題、国際経済、領土紛争、南北問題、人種・民族問題などがあげられる。国内的には過密・過疎問題、高齢化社会問題、国内農業、都市問題、地域開発、立地論といった分野になる。これらのなかから毎年出される設題の

レポートを作成するが、これは論文執筆の基礎的トレーニングにもなるのでしっかり取り組んで欲しい。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

レポートについては、内容の前に、作成のルールを守っているかどうかでチェックする。その上で設題に対する理解ができているかどうか、論旨の展開（論文構成）がしっかりできているかどうか、文章表現が適切かどうかなどといった点から評価する。試験問題は当該年の設題および過去2年の試験問題（※）に関連させて出題する。

※過去の単位修得試験問題について（補足）

通信教育部では、過去の単位修得試験問題を原則公開していません。単位修得試験を受験すると、受験月の試験問題冊子（簿記以外の問題が印刷されています。）を持ち帰ることができます。ただし、簿記Ⅰ～Ⅳのみを受験する場合は、試験冊子は持ち帰りできません。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『ジオグラフィー入門』改訂新版、古今書院、高橋伸夫・谷内達・阿部和俊・佐藤哲夫・杉谷隆編、2008年、¥2,500+税

5 学習指導、注意点等 レポートの作成はあくまで自分自身の文章で書くのが基本である。論文や文献を参考・引用する際は、かならずルールを守って欲しい。どこかのサイトから文章をコピーして貼り付けるのがレポートを作ることと錯覚している学生さんが多いのはとても残念である。

自然地理学

教科担当責任者：米家 志乃布

担当者：吉野 徳康

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 本科目は、身近な風景の観察を通して地域の自然地理の特徴を見出し、基本的な事柄の理解を深めることを目標としています。また、地球温暖化が与える影響について、自然地理学の立場から学習します。

2 科目の概要 テキストの構成は、①火山、②山と川、③森林、④台地・丘陵、⑤平野、⑥湖、⑦海岸、⑧雨と風、全8章からなります。地形の成り立ちを中心に、気候や水辺環境も含め学習して下さい。

風景は場所によって見えるものが異なります。風景を意識して観察し、風景にみられる特徴を見出し、なぜそのような立地になっているのか、なぜ同一的な広がりが見られるのかなど、その理由を考えていきます。風景は、その地域の生い立ち（地形形成を含む自然環境の歴史や人間社会の歴史）の上に成り立っており、現在も変化し続けています。その地域のことを知れば知るほど、見えてくる風景は変わってきます。

地球温暖化の問題は、つい目先の諸問題に関心が集まりがちですが、時間軸を変え、地球の歴史（第四紀）からこの問題を考えると別なものが見えてきます。

3 成績評価基準 2回のレポート提出と試験で評価します。レポートを重視します。

レポートは、設題の内容を理解し、趣旨に沿ってまとめ、考察がしっかりできているかを確認します。試験は、風景にある自然地理的特徴について、用語や事柄を確認する問題と、記述する問題を出します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『風景のなかの自然

地理 改訂版』杉谷隆・平井幸弘・松本淳著（古今書院）、2005年、¥2,500+税

5 学習指導、注意点等 学習の基本はテキストと参考図書ですが、インターネットも積極的に活用して下さい。必要に応じて他の文献を積極的に調べる姿勢で取り組んで下さい。レポートをまとめる際には、引用したものを自分の意見と混同せず、必ず区別し、何を引用したのか明記するようにして下さい。なお、考察は思ったことをただ書くのではなく、文献や資料などでその根拠を示すことが重要になります。

試験については、テキストにある基本的な事柄の理解度を確認します。また、自分の考えを整理し自分の言葉で考察が書けるかどうかを確認します。

政治学概論

教科担当責任者：木村 正俊

担当者：岡崎 加奈子

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 本教科の政治学の基本的な知識の習得と政治的な概念についての理解を目指すものである。

テキストについての的確な理解に加え、課題にそった論述を作成をする力を養うことも目標として掲げる。

2 科目の概要 本教科は、政治学についての幅広い知識を習得し、さらには政治的な概念について理解を深めていくものである。テキストや参考文献を通じて、政治的な概念、政治体制、政治制度、政治過程などについて幅広く学ぶ。さらに、こうした学習を積み重ねるなかで、現代社会において政治はどのような問題を抱えているのか、自らの思考を深め、考察する力を養う。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたレポートの内容も考慮する。その際、・設問に沿った答案の作成。

- ・テキストおよび参考文献についての理解。
- ・基本的な用語に対する理解と適切な使用。
- ・論理的な文章の作成と表現能力。
- ・政治学に対する基本的な理解と概念整理の習得。

以上の要素を考慮し、総合的に成績を評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『政治学』、東京大学出版会、川出良枝・谷口将紀、2012年、¥2,200+税

政治学について、幅広く学ぶことができ、知識と理解を深めることができるテキストである。政治理論や制度のほか、地方自治や国際関係、さらに現代における政治的な課題についても取り上げられている。

5 学習指導、注意点等 まずは、テキストをしっかり読み進めてください。このときかならず、自分なりに整理し、ノートなどにまとめる作業をおこなってください。レポートについては、テキストや参考文献の内容について十分に理解したうえで取り組むことが望ましいです。日常的に、社会における政治的事象について関心をもち、考察する機会を設けることも、政治学を学ぶうえで大いに役に立つと思います。

社会学

教科担当責任者：山本 卓

担当者：山本 卓
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 1) 社会学の基本的な視点を習得する。
2) 上記の視点を身近な事柄や、報道等で伝えられる出来事にあてはめて考察できるようになる。
3) リポート作成力と文章力を磨き、表現し伝える力を向上させる。

2 科目の概要 「現代日本を社会学で診る」ことを通して、現代社会学の基礎を学習することを狙いとする『Do! ソシオロジー』をテキストとする。社会学の成り立ち（さらにその背景にあった「社会」の生成）を理解することから始まり、社会理論、教育社会学、若者文化論、地域社会学、階層研究、ジェンダー論、福祉社会学、国際社会学、の視点を、理論と具体例の考察の双方を通して学ぶ。また、そうして学習する社会学の基本的な視点を実践・応用する力を養うため、リポートにおいては受講生自身の関心にもとづいた調査、考察をおこなう機会も設ける。

3 成績評価基準 単位修得試験や提出リポートにより評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 友枝敏雄・山田真茂留編『Do! ソシオロジー：現代日本を社会学で診る』（有斐閣アルマ 2007 年）、¥1,800+税（※より最新のデータが記載されている版を手元に置きたい場合には、2013 年刊行の同タイトル改訂版もある）

5 学習指導、注意点等 リポート作成法、文章作成法については、自身で学習を進められることを勧める。その際に参考になる著書として、たとえば下記を挙げられる。
・小笠原喜康『新版 大学生のためのレポート・論文術』（講談社新書）
・中村明『悪文- 裏返し文章読本』（筑摩書房）
これら以外にも優れた類書が存在するので、自分に合うものを探し、この科目に限定されない基礎的なスキルに磨きをかけるよう心がけてほしい。

文化人類学

教科担当責任者：中島 成久

担当者：中島 成久
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 グローバル化のなか、個別の文化を大きなコンテクストのなかの現象としてとらえる。従来の文化人類学の基礎であった、「文化相対主義」「民族誌的現在」「フィールドワーク」などの問題を問い直す。

2 科目の概要 グローバリゼーションの進行する中、国家、「世界」との関係の中で、民族や地域社会の問題を考える。「フィールドワーク」と「文化相対主義」という文化人類学を成立させた中心的なコンセプトの問い直し、「文化の理論」、「家族、ジェンダー、地域社会」、「身体、自己、世界観」、「グローバリゼーションの中の国家、開発、民族」の 4 部構成で、文化人類学の最前線の問題を多面的に捉える。

3 成績評価基準 剽窃は厳禁です。できるだけ、自分自身の

問題として課題をどのように理解したかがわかるように書くのが、「いい」リポートとして評価されます。参考文献を挙げていても、そのどこを使ったのかわからないリポートの評価は「低い」と考えてください。課題をどこまで、自家薬籠中のものとして理解したかがわかるものが「いい」リポートです。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『グローバリゼーションのなかの文化人類学案内』明石書店、中島成久編著、2003 年（第 1 刷）、2016 年（第 7 刷）¥ 2,500+税
※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 1 課題について、教科書の内容を深く理解していること。
2 課題について、関連する文献を調べ、批判的に検討すること。
3 課題について、2000 字前後のリポートを作成する。
4 作成したリポートの誤字、脱字がないか、禁則処理はきちんと行っているか、段落の長さは適切かどうか など、リポートの形式的な検討を行うこと。
5 参考文献の表示は適切か、インターネットの記事だけの文献の表示になっていないかなどを検討すること。
6 リポートが「剽窃」に当たらないかどうかを最終的に検討すること。

心理学

教科担当責任者：浅川 希洋志

担当者：浅川 希洋志
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 心理学の対象である「こころ」は、私たちにとって身近です。誰もが専門的知識なしに、心について語ったり、分析したりすることができるからです。しかし反面、心についての熟知感（分かったつもり）は、思い込み、偏見、といった独断も生み出すことにもなります。そこで学習の姿勢として、私たちがもっている心についての常識を相対化する心理学の方法—ものの見方・考え方について、注目することが必要です。

2 科目の概要 心の形成・発展は、外界の変化の受容、その再構成、外界への働き返しといった一貫した心理過程の働きの中にあります。まず初めに、外界の反映に関わる心理機能を取り上げます。感覚・知覚の働きです。その上で、より心内の働きに注目し、それが外界への働き返し、すなわち行動とどう関わるかを考察することになります。記憶、感情、意志、動機について、生理学・心理学・社会心理学的知見を手がかりに理論的検討を進めます。最後に、心理機能の総合としての人格およびその発達について考えることにします。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価します（ただし、リポート学習もしっかり行うこと）。設題にそくしたテキストの理解、資料・文献の利用、それらを手掛かりにした文章の構成力を総合的に判断して、評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『伝えあい心理学原理』、文化書房博文社、亀谷純雄著、2006 年、¥2,000+税
【参考図書】『心理学小辞典』（有斐閣）

5 学習指導、注意点等 心理学が用いる概念は、私たちが日常使うコトバづかいと重なる部分がありますが、概念ですからあくまで科学的に定義されたものです。分かったつもりのコトバでも、辞書を引いて確かめることが必要です。辞書を引くことのもう一つの意味は、主要な心理学理論の研究者について知ることです。

心理学は初学である人が多いと思います。ですから、テキスト、資料、文献を引き写すことから学習が始まりますが、レポートや答案にするためには、いったんそれを崩して、再構成することが大切です。その際、引用を明記することは常識です。

数学 1

教科担当責任者：倉田 俊彦

担当者：倉田 俊彦

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 数学で用いられる基本的な考え方に接し、それを「手にとって」親しんでもらうことを目標とする。ここでは問題の例（教科書 37 頁）をひとつあげてみよう。

問題（帽子と眼鏡と付け髭） 市谷くんは帽子 $H_1, H_2, \dots, H_{15}$ と眼鏡 $G_1, G_2, \dots, G_{10}$ と付け髭 $M_1, M_2, \dots, M_{25}$ をもっていて、それぞれこの順番で毎日、日替わりで身に着けている。今年の 4 月 1 日は H_1, G_1, M_1 の組み合わせであった。市谷くんのお気に入りには H_{13}, G_8, M_{18} の組み合わせである。最初にお気に入りの組み合わせになるのは何月何日であるか。

組み合わせをひたすら並べて書いてゆけば、求める答えがいずれは得られるが、大変な労力が必要かもしれない。組み合わせは全部で 3750 通りもあるのだから。しかし、教科書第 1 章で扱う「連立合同式」の解法を用いれば、ちょっとした計算で答えることができる。

2 科目の概要 扱う項目は、①整数の理論、②代数系、③線形代数。また、様々な例で具体的なイメージを作りながら重要事項を理解する、という方法で学習を進めていくことができるよう、教科書には演習問題を多く取り入れてある。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。なお、レポート・試験ともに、結果の数値等を表すだけでなく、それに至る過程について十分に説明することが求められる。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『数学』第 1 版、安東祐希・池田宏一郎・倉田俊彦、2008 年（第 1～3 章）

5 学習指導、注意点等 演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、とにかく手を動かして（紙に書いて）考えること。

数学 2

教科担当責任者：池田 宏一郎

担当者：池田 宏一郎

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 数学で用いられる基本的な考え方に接し、それを「手にとって」親しんでもらうことを目標とする。ここでは問題の例（教科書 210 頁）をひとつあげてみよう。

問題（友人の友人は…） 市谷くん、四谷さん、麴町くん、神田さん、秋葉くんの計 5 人について、「市谷くんと四谷さん」「四谷さんと麴町くん」「麴町くんと神田さん」「市谷くんと神田さん」「市谷くんと秋葉くん」「四谷さんと秋葉くん」「神田さんと秋葉くん」が友人の関係にあることが分かっている。市谷くんが「私の友人の友人はある人の友人の友人であり、私とその人とのそのような関係は 18 通りある」といったとき、市谷くんという「ある人」とは誰のことか？

組み合わせをひたすら並べて書いてゆけば、求める答えがいずれは得られるが、大変な労力が必要かもしれない。しかし、教科書第 4 章で扱う「グラフ理論」の手法を用いれば、ちょっとした計算で答えることができる。

2 科目の概要 扱う項目は、①グラフ理論、②組み合わせ数学、③微分法と近似計算。また、様々な例で具体的なイメージを作りながら重要事項を理解する、という方法で学習を進めていくことができるよう、教科書には演習問題を多く取り入れてある。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。なお、レポート・試験ともに、結果の数値等を表すだけでなく、それに至る過程について十分に説明することが求められる。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『数学』第 1 版、安東祐希・池田宏一郎・倉田俊彦、2008 年（第 4～6 章）

5 学習指導、注意点等 演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、とにかく手を動かして（紙に書いて）考えること。

生物学 1

教科担当責任者：島野 智之

担当者：島野 智之

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 生物学の目的は、生命現象とは何かを明らかにするものですが、その範疇は多岐にわたり、遺伝学、分子生物学のように医学に近いものも生物学の範疇に含まれるようになってきており、マスコミなどでも注目されることが多くなってきています。同時に、情報量が増えることにより、健康に関する関心も増してきています。その中には、科学的なもののから似非（えせ）科学といわれるようなものまで含まれています。自分の身体のことを考え、生物とはなにかを考えることが重要になってきます。あふれる程の情報の中で、正しく科学的な眼を持って、理解できるようになることが望まれます。

2 科目の概要 生物の持っている最も基本的な特性、つまり生命現象の一つである、代謝について理解するように努めていただきたい。代謝とは食物を摂取、分解しエネルギーを作り出し、生命活動を営むことです。最も生物らしい現象です。最近は健康志向の高まりもあり、さまざまな健康食品やサプリメントなどの広告や記事を眼にします。これらの食品などがどのような仕組みで身体に有効なものとなるのかを正しく理解する必要がある。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価します。もちろんレポート学習もしっかりと行わなければなりません。レポート設題に関しては、百科事典や生物学辞典などの他に「インターネット」などを利用してよいのですが、とくに「インターネット」ではいくつかの記述を調べた方がよいです。必ずしもすべてが正しいとは限りません。いずれの場合も、書き写すのではなく、理解したことを自分の言葉で記述する必要がある。いわゆる「コピペ」は決してすべきではありません。使用した文に関しては、文末に出典を明記する必要があります。出典を明記せずに、他者の文章をそのまま書き写した場合は、剽窃（盗作）となることもあるので、くれぐれも注意すること。

単位修得試験については、1) 過去の試験問題などを利用して、出題の傾向をつかむことが解答の一助となることがある。2) お

なじ通信教育で学ぶ仲間たちの情報も役に立つことがある。3) 答案に少なくともキーワードが書かれている否かが、評価の重要な目安となる。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『グラフィックライフサイエンス』増補版、相川書房、堀上英紀・月井雄二・矢崎和盛・小山 力著、2010 年、¥ 1,900+税

※【スタディガイド（学習指導書）】あり

生物学のテキスト「グラフィックライフサイエンス」は理解を容易にするため、図版が主体の教科書であり、字数の制約のため説明がかなり簡略化されている。そのためこのテキストだけですべての項目を理解することは困難かも知れない。とくに「代謝」に関しては下記の参考文献を読まれることを勧めます。

【参考文献】

『代謝ガイドブック』 技術評論社 霜田幸雄著 ¥2,480+税 2014 年

5 学習指導、注意点等 通信教育は、一人で勉強する部分が多いため、勉強がはかどらないことが多いと思われる。その様な場合、スクーリングや支部活動などを通じて知り合った、先輩、同輩、後輩などの仲間たちから学ぶことも大切である。

レポートに関して、注意しておきたいことは、剽窃（盗作）などの行為は決してしないように。また、生物学のような自然科学の分野のレポートは文学的な表現は必用ありません。自分の考えを正しく相手（読者）に伝えることが一番重要です。

化学 1
教科担当責任者：中田 和秀
担当者：渡邊 永治 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 身近にある化学を理解し、役に立つ化学を身につけることをねらいとする。そのために、生活の中でよく出会う化学物質の性質を題材とする。化学物質の物性、構造、反応などを理論的に考察できるように、さらに、現代化学のトピックスについても、メカニズムを理解できるようにする。

2 科目の概要 第 1 章 周期表

第 2 章 錬金術師の夢

第 3 章 化学結合

第 4 章 ニュース性のある分子

第 5 章 化学反応性

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、その際先に提出されたりレポートの内容も考慮する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『グレイ 化学- 物質と人間-』、東京化学同人、H.B.Gray、J.D.Simon、W.C.Trogler 著、1997 年、¥ 2,200+税

※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 テキストの目次、索引などに載っているキーワードについて、まとめておくこと。また、テキストの本文中で、使用頻度の高い専門用語についても、説明できるようにしておくことと良い。

化学 2

教科担当責任者：中田 和秀

担当者：渡邊 永治

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 身近にある化学を理解し、役に立つ化学を身につけることをねらいとする。そのために、生活の中でよく出会う化学物質の性質を題材とする。合成材料、あるいは生命に関する化学について、物性や反応のメカニズムを理解できるようにする。また、地球温暖化、オゾンホール、環境ホルモンなどの環境問題についても、分子レベルで理解することを目的とする。

2 科目の概要 第 6 章 化学と工業

第 7 章 合成材料

第 8 章 生化学

第 9 章 光化学

第 10 章 大気化学

第 11 章 化学とがん

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、その際先に提出されたりレポートの内容も考慮する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『グレイ 化学- 物質と人間-』、東京化学同人、H.B.Gray、J.D.Simon、W.C.Trogler 著、1997 年、¥ 2,200+税

※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 テキストの目次、索引などに載っているキーワードについて、まとめておくこと。また、テキストの本文中で、使用頻度の高い専門用語についても、説明できるようにしておくことと良い。

物理学 1

教科担当責任者：石川 壮一

担当者：石川 壮一

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 ニュートン物理学のあらましを理解する。

2 科目の概要 近代社会の柱となる自然科学は 17 世紀にはじまり、そしてその土台がニュートン物理学である。ガリレオによる地上の運動の研究、ケプラーによる惑星の運動の研究、この二つを統一したニュートンによる物理学体系の構築は、17 世紀科学革命と呼ばれる。本科目では、このニュートン物理学のあらましを理解する。

3 成績評価基準 単位修得試験で評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『重力の物理学- 知的好奇心のために』法政大学出版局、小池康郎著、2005 年、¥ 2,500+税

※上記テキストを入手できない場合は、下記教材も使用可

『物理学入門』大西直毅著、東京大学出版会、1996 年、¥2,400+税

なお、代替テキスト『物理学入門』を使用する際は、「代替テキスト対応ガイド」を参照すること。参照方法は次のとおり。
①ウェブ学習サービスにログインし、ページ右側のリンクメニュー【教養課程_学習資料】から参照する。

②通信教育部レポート担当宛に請求する（電話／郵送／窓口で

受付)

③過年度シラバス(『通信学習シラバス・設題総覧 2016』pp.41-52)を参照する。

※郵送請求の場合は、自由書式に学生証番号、氏名、請求資料名、送付先住所を記載のこと。

5 学習指導、注意点等 教科書に書かれている色々な現象のイメージを頭に描きながら(、時には実践しながら)、また、単に教科書に書いてある法則や公式を暗記するのではなく、それらがどのような根拠で発見されたのかを理解しながら学習してほしい。

数式や数字が出てくると難しいと感じるかもしれないが、教科書には、数式の意味を文章で説明してあるので、注意深く読めば理解できるよう工夫されている。繰り返し読んで、自分で納得しながら学習を進めること。

物理学 2

教科担当責任者：石川 壮一

担当者：石川 壮一

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 エネルギーの概念を修得する。またエネルギー消費の実態を学習する。エネルギーの正しい理解と、エネルギー消費の実態把握により、地域での省エネを考えることができる。特に交通機関でのエネルギー消費を正しく理解することが重要である。

2 科目の概要 エネルギーの基礎知識を、身近なところから出発して学ぶ。生命体である人のエネルギー消費、家庭でのエネルギー消費、そしてそれをもとにして、資料によるエネルギー消費の実態をつかむ。また、交通のエネルギー、熱のエネルギーは特に重要なものであるから、詳しく学ぶことになる。

3 成績評価基準 単位修得試験で評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『文系人のためのエネルギー入門』、勁草書房、小池康郎著、2011 年、¥ 2,400+税

5 学習指導、注意点等 一般の人にエネルギーを理解してもらうという試みは、残念ながらあまり行われてない。エネルギーを部分的に見るのではなく、俯瞰的にトータルに見る、そのような視点が必要である。教科書はそのような目的を持った数少ない本である。ぜひとも精読していただきたい。インターネットなどの安易な記述に頼らず、ぜひ自分で考える姿勢をもっていただきたい。

【参考文献】

『物理学入門』大西直毅著、東京大学出版会、1996 年、¥2,400+税

英語 2

教科担当責任者：宇治谷 義英、中和 彩子

担当者：関口 奈津恵

単位数：2 単位

※ 2016 年 4 月よりテキスト(指定市販本)変更

1 学習の到達目標 1. 使える語彙を増やす。
2. 基礎的な文法と学んだ語彙を文章の読解に応用できる。
3. ストーリーの展開を理解できる。

4. 読んだ内容について英語の質問に答えることができる。

2 科目の概要 20 世紀のアメリカ文学の 7 作品(抜粋)を読む。基礎的な文法の知識と新たに学ぶ語彙を使って小説を読み、読んだ内容を英語で確認する力をつける。

テキストの各章は“Check the Vocabulary”、“Reading”、“Exercises”の 3 セクションで構成されている。“Check the Vocabulary”で、その作品に出てくる重要単語の定義を英語で確認した後、中心となる“Reading”で作品の抜粋を読む。各章の冒頭にある「作家を知ろう!」「作品紹介」にあらかじめ目を通すことで、抜粋部分だけでも読めるようになっている。

“Exercises”のセクションには 4 種類の問題が用意され、“True or False”と“Questions and Answers”で読んだ内容を英語で確認し、“Grammar”で本文中に使われたイディオムやコロケーションを確認し、“Agree or Disagree?”で作品の内容に一步踏み込んだ議論ができるようになっている。

3 成績評価基準 文法 40 % (基本文型、品詞、動詞の活用、代名詞の指す内容、関係詞と先行詞、並べ替え、穴埋め、など) 内容理解 60 % (タイトル確認*、日本語訳、内容の要約、語彙、英語または日本語での質問、小説の内容についての論述、など)
*作品の抜粋からタイトルがわかるようにしておくこと。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『Let's Learn English from American Literature II (アメリカ文学から英語を学ぼう II)』、早瀬博範、江頭理江編注、英宝社、2015 年、1,900 円+税

※【スタディガイド(学習指導書)】あり

5 学習指導、注意点等 “Check the Vocabulary” 作品中で使われる単語の定義が英語で書いてある。知っている単語であれば、定義を選ぶだけでよいが、知らない単語は英英辞典または英和辞典で調べる。ここで単語の意味をしっかりと把握しておくことで、小説が理解しやすくなる。

“Reading” 各章に掲載された小説は、長編や中編作品の抜粋ながら、書き直しなどはしていない原作のままの英文で、この部分が各章の中心となる。「作家を知ろう!」「作品紹介」に目を通し、どのような作品のどの部分を読むのかをあらかじめ理解しておく読みやすい。音声ダウンロードし、朗読を聞くことから始めるものよい。スタディガイドに文法的な解説を載せてあるので、必要に応じて参考にしつつ、しっかりと読んでほしい。

どの程度読めれば読めたと言えるのかは難しい問題で、テキスト編者は訳読をしなくても英語の質問に答えられれば理解できたと思わせると言っている。けれども英語の読解にあまり慣れていない学習者の場合、やはり間に訳読の作業を入れた方が確実かと思われる。訳せるほどに読めていればその後の練習問題も楽にこなせるはず。ご自分の力に応じて学習法を工夫してほしい。仕上げに音読をしてみるとさらによい。

“Exercises” 読んだ内容を英語で確認する。まずは質問の意味をしっかりと理解し、該当する箇所を本文中に探す。言い換えなどにも対応できる柔軟性が求められる。

英語 3

教科担当責任者：中和 彩子

担当者：辻 建一、溝部 敦子

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 1. 文法(grammar)の基礎を身につ

ける。

2. 使える語彙 (vocabulary) を増やす。
3. 学んだ文法や語彙を応用する力をつける。
4. 学んだ文法をもとに、文章を正確に読む力をつける。

2 科目の概要 基礎的な英文法をひととおり復習し、基礎をしっかりと身につけながら、読解力を向上させることをめざす。ここで学ぶことは、さらには総合的な英語力の向上につながるはずである。

使用するテキストは **22** のユニットで構成され、各ユニットにはポイントとなる文法事項が1つずつ配されている。はじめのページで文法の説明を読んだ後、英文を読み、練習問題を解きながら、文法の理解を深め、語彙を増やし、読解力をつけていく。また、文法的なテーマの他に、睡眠、人工知能、学生生活といった内容別のテーマも設けられており、長さの違う3つのパッセージを関連付けながら、楽しく読み進めることができる。

3 成績評価基準 単位修得試験の内容の内訳は次の通り。
語彙 **20%** (Putting Meaning to Words に挙げられている単語及び熟語。動詞の活用。)

文 (語彙、文法を含む) **40%** (空欄を埋めて英文を完成させる、指示に従って英文を書き換える、など)

文章 (語彙、文法、内容理解を含む) **40%** (パッセージの抜粋からの出題。空欄を埋めて文章を完成させる、代名詞の指す内容を説明する、日本語訳、など)

4 テキスト名および詳細 指定市販本『Get Reading! 大学生のための読解演習と基本文法』金星堂、Robert Hickling、市川泰弘 著、2009 年、¥1,950+税
※【スタディガイド (学習指導書)】あり

5 学習指導、注意点等 (1) 各ユニットの流れ

はじめのページに文法の説明がまとめられているので、まずはここをしっかりと理解すること。ノートに要点をまとめてみるとよい。テキストやスタディガイドを読んでもよく分からない、あるいはもっと詳しく知りたい場合は、文法の参考書を使って調べてみよう。

ポイントとなる文法事項を身につけるためにさまざまな練習問題が用意されており、その中心に3つのパッセージ (文) がある。自然な文章には当然いくつかの文法事項が含まれるため、少し難しく感じられるかもしれないが、スタディガイドの「文章読解の解説」を参考にじっくり読んでほしい。分からない単語はとにかく辞書で調べてみる。せっかく出会った単語はノートに記録しておこう。英文を日本語に訳すのもよい学習方法である。仕上げに CD を聞いて、音読してみよう。

スタディガイド巻末には練習問題の解答例を掲載してあるが、まずは自分の力で答えを出してみる。間違えた箇所は、なぜ違うのかしっかりと調べよう。そうした作業を繰り返すことで着実に力がついていく。

(2) テキスト全体の流れ

より基本的な文法事項から段階的に学べるよう構成されているので、ユニット順に勉強すると効率がよいが、目次を見ていただければ分かるように、Unit 1 と 2 は、時制を扱っているという点で後半のユニットと関連がある。ときどき戻って確認するとよい。

(3) リポートに取り組む際の注意

リポートノートの1ページはテキスト2～3ユニット分の内容に対応しているので、テキストの進捗に合わせてリポート作成を進めてもよいし、テキストの学習が一通り終わってからリポートに取り組んでもよい。分からない箇所や不確かな箇所は、テキスト、スタディガイド、辞書、参考書などを使って調べ、納得のいくリポートを仕上げよう。

独語 1

教科担当責任者：日中 鎮朗

担当者：佐々木 宗夫

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 ドイツ語を初めて学ぶ学生が対象です。文字・発音についての最も基本的な学習から始め、語・文章へと順に学んでいき、基本表現が理解できるようになることが目標です。

具体的には、主に次の事項について理解し修得できるように学習を進めます。

1. ドイツ語の基本的な単語の発音ができる。
2. 動詞の現在人称変化を理解し、適切な形に活用できる。
3. 名詞の文法上の性と格を理解し、適切な形で運用できる。
4. 不規則変化動詞を理解し、重要な動詞に関しては迷わず活用できる。
5. 様々な冠詞類について理解し、適切な形で運用できる。
6. 前置詞の格支配について理解し、適切に表現できる。
7. 主文と副文の構造、定動詞の位置について理解し、英語と異なる語順に慣れる。
8. 助動詞構文における不定形とその位置、完了形における過去分詞の形とその位置を理解する。

2 科目の概要 どんな言語でも、上達するには「習うより慣れる」と言われます。では、慣れるには？ 一番は「声に出して自分の耳に聞かせてやる」ことです。幸いドイツ語の発音はローマ字読みが原則ですから、英語やフランス語に比べれば、比較的シンプルです。大きな声で少し気取って発音してみてください。

単語も単独の語として覚えるのではなく、やさしくシンプルな句や文にして、それを暗誦してみてください…テキストにはそんな句や文がたくさん載っています。リズムよく発音できれば気持ちもよくなって、気持ちよく発音したものは、しっかりと記憶に留まるものなのです。これが上達への王道です。

文法は、覚えることがたくさんあって大変だと思いがちですが、ポイントをしれば学ぶのがずいぶん楽になります。例えば格変化などは、定冠詞と不定冠詞の変化を確実に覚えておけば、あとはその応用で済みます。

覚えた文法は、作文をして確認してみるのがよいでしょう。テキストにある文の名詞を変えてみたり、冠詞類を変えてみたりして練習してください。

テキストにある長文を、暗記するくらい何度も声に出して読んでみましょう。そうすれば自然に意味が理解できるようになります。それが初級後期から中級へのステップにつながるでしょう。

3 成績評価基準 試験には学習範囲についての総合的な理解が問われる問題が出されます。一つ一つの文法事項を学びながらも、何かを伝えようとする言葉としてドイツ語に接し、常に文章の意味を理解しようと心がけてください。

最終成績は単位修得試験により評価します。(ただし、リポート学習もしっかりと行うこと。)

4 テキスト名および詳細 指定市販本 高田 博行『素朴なぞもんからわかるドイツ文法』郁文堂、2010 年、¥1,800+税
※【スタディガイド (学習指導書)】あり

5 学習指導、注意点等 動詞の人称変化は、文法項目としてはさほど問題はないのですが、作文では、例えば **Er hast einen Wagen.** のようなミスが散見されます。これは、和訳や作文の際に〈主語—動詞〉がしっかりと意識されていないことが原因の一つと思われます。「何が〔誰が〕どうした」ということを常

に意識するようにしてください。

初級者にとっての最大の難関は、やはり格変化のようです。定冠詞と不定冠詞の格変化は、絶対に確実に覚えてください。ここが不確実のままだと、その後の学習のすべてが砂上の楼閣になってしまいます。

格変化については、2格の用法に問題を抱える人が多いようですが、克服の仕方は簡単です。基本的で単純な用例を確実に記憶しておくこと、これに尽きます…（他の場合も同様ですが）…。例えば **Das ist das Buch des Vaters.** の形と意味がしっかり記憶されていれば、**Das ist das Buch meines Vaters.** とか **Das ist das Buch dieses Mannes.** の斜字体部分の形も容易に理解されるでしょう。やさしく単純なものから難しく複雑なものへ、という手順を踏んでいけばよいのです。

作文する時の悩みは語順でしょう。作文で厳守しなければならないのは定動詞の位置です。定動詞は常に文章の二番目の位置に置かねばなりません…（副文は例外）…。でも、それ以外の文の構成要素の位置は驚くほど日本語に似ています。テキストの少し長めの文で確認してみてください。みなさんは英語の語順が頭にあるようですが、独作文では英語の語順は忘れましょう。

Übung macht den Meister.（練習次第で名人に）という諺があります。みなさんも効果的な練習でドイツ語マイスターへの道を歩みましょう。

仏語 1

教科担当責任者：廣松 勲

担当者：富田 正二
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 フランス語に親しむと同時に、初歩的な文法を習得し、実生活で用いられる簡単なフランス語を話したり、書いたりできるようになることを目指します。フランス語技能検定試験のレベルでいえば、4 級くらいです。

2 科目の概要 通信教育の語学学習ですから、すべて自習によります。教科書をもとにして、各文法項目に対応する問題を集めたものがリポートです。リポート作成の過程で教科書を熟読しておかなければなりません。

3 成績評価基準 リポートも単位取得試験も 100 点満点で問題が構成されています。取得した点数に基づいて成績を評価します。教室で対面して授業を行うことはありませんから、日常的な授業態度を考慮することはできません。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 『ゼロから始めるフランス語』猪狩廣志著（2000 年、三修社）、¥1,600+税

5 学習指導、注意点等 リポートで合格しても、単位取得試験でつまづくケースが多くみられます。リポート作成段階で文法項目が十分に理解されていないことが原因だと思われます。単位取得試験の問題構成はリポートで出題されている問題構成とほぼ一致します（同じ問題が出題されるという意味ではありません）。このことを考えて試験の対策と準備をしてください。

健康・スポーツ科学概論

教科担当責任者：伊藤 マモル

担当者：伊藤 マモル
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 健康は、「失って初めてその大切さがわかる」と良く言われる。これは、健康を害している人、あるいは害した経験がある人に比べ、健康に問題を感じていない人々は健康に対する関心が総じて薄いということではないだろうか。

多くの人にとって、健康は人生を支える基盤だという見方ができる。仕事、趣味、日常生活など、自分の目標を成し遂げようとするとき、心身がより健康な状態である時の方が、その達成度は高いと言えよう。自分が持つ最高のパフォーマンスを発揮しようと思うなら、少なからず健康である方が良いということだ。他方、近い将来、日本では不健康であることが経済的にも社会的にも不利になる時代が到来する可能性が高い。

そこで、この「健康・スポーツ科学概論」を通じて、「今の自分の心身」をいつまでも良好に保ち続け、より豊かな人生を築くための一助として、達成してほしい目標を以下に示す。

【到達目標】

- 1) 運動やスポーツを通じて行うセルフメディケーションについて意見を述べることができる。
- 2) 体脂肪率ならびに BMI を用いて自身の健康状態を分析できる。
- 3) 現在の柔軟性から自分自身の健康状態を分析できる。
- 4) 現在の筋力から自分自身の健康状態を分析できる。
- 5) 現在の全身持久力から自分自身の健康状態を分析できる。
- 6) 現在の肥満度、柔軟性、筋力、持久力の分析から、今後の健康づくりに関する課題を設定することができる。
- 7) スポーツや運動を行うことによる心身への効果を体系的に説明できる。
- 8) スポーツや運動を過度に行い過ぎた場合に心身に現れる問題を説明できる。
- 9) スポーツや運動を過度に行った場合の問題（疲労やスポーツ障害など）について、その対策を述べることができる。
- 10) 実生活に根付かせるための工夫や応用を実現可能なプログラムとして計画することができる。

2 科目の概要 この科目では、今後の自分自身の健康管理を、身体運動を用いたセルフメディケーションによって行うという立場で、到達目標に取り組み、自分自身の生活の質を高めていくことを目的としている。また、リポート作成によって取り組んだ自己学習の成果を筆記試験によって評価する。成績の判定は、それぞれに定めた基準によって、リポートと試験の評価を別々に行い、所定の基準を満たしたものに単位を認定する。

3 成績評価基準 【リポート評価基準】

リポートにおいては、以下に示した四段階の評価を行い、成績を判定する。

第一段階＞リポート作成のために取り組んだ学習内容が示していること。

具体的には、教材としたテキスト、ウェブサイトの URL、その他の資料を一覧にまとめた上で、主に使用した教材 1 編（冊）の概要を 400 字程度で説明できている。

第二段階＞リポートの書式や構成（頁を付ける、見出しを付けるなど）が適切であること。

具体的には、次の点が整っていること。

- 1) 資料、参考文献の引用や記載方法が正しい。

- 2) 解答のための文字数に過不足がない。
- 3) 頁が付けられ、適切な段落分けに適切な小見出しがあり、記述の流れに違和感がない。
- 4) 漢字や言葉の使い方が誤っていない。
- 5) 再提出の場合は、前回レポート講評を元に加筆修正されている。

第三段階＞レポート内容が設題からずれていないかを重点的にみながら、以下の5項目のうち3項目以上が満たされていること。

- 1) 設問の趣旨に沿った論点整理ができている（論旨や展開が明確である）。
- 2) 本科目で学習した専門用語を適切に使用している（テキスト・参考文献の理解や利用）。
- 3) 根拠や理由を踏まえた客観性のある明確な説明ができている（テキスト・参考文献の読解力・引用）。
- 4) 問題意識をもった独自の意見、反対論、創造的な発想が述べられている（柔軟性のある批判力・考察力）。
- 5) 建設的な意見や実感のこもった自分の言葉が読みやすく書いてあるか（光るポイントがある）。

第四段階＞到達目標として示した以下の10項目について、理解度、考察力、論理性、文章表現などから到達度を、極めて高いレベルで達成している〔4点〕、十分なレベルで達成している〔3点〕、達成している〔2点〕、最低限のレベルで達成している〔1点〕という評価を行い、A+〔37～40点〕、A〔32～36点〕、B〔20～31点〕、C〔10～19点〕、D〔0～9点〕の成績を決める。

- 1) 運動やスポーツを通じて行うセルフメディケーション
- 2) 体脂肪率ならびにBMIを用いた自身の健康状態の分析
- 3) 自分自身の健康状態に対する現在の柔軟性からの分析
- 4) 自分自身の健康状態を現在の筋力からの分析
- 5) 自分自身の健康状態を現在の全身持久力からの分析
- 6) 現在のBMI、柔軟性、筋力、持久力の分析から設定した今後の健康づくりに関する課題
- 7) スポーツや運動を行うことによる心身への効果
- 8) スポーツや運動を過度に行い過ぎた場合に心身に現れる問題
- 9) スポーツや運動を過度に行った場合の問題の対策
- 10) 実生活に根付かせるための工夫や応用を実現可能なプログラムとしての計画

【試験の評価基準】

試験問題は、レポート作成の過程で学習した内容に関連した問題を出題する。試験は4つの設問で構成され、配点は各25点で合計100点として採点する。評価については以下の1～7)の観点で行う。

- 1) 設問の趣旨に沿った正確な解答ができている。
- 2) 解答の論旨や展開が明確である。
- 3) 根拠や理由を踏まえた客観性のある解答である。
- 4) 本科目で学習した専門用語を適切に使用できている。
- 5) 漢字や言葉の使い方に誤りがない。
- 6) 適切な段落分けをして解答文が書かれている。
- 7) 解答のための文字数に過不足がない。

4 テキスト名および詳細

- 1) 伊藤マモル監修『基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』、2009年、(日本文芸社)、¥1,600+税
 - 2) 小島康昭著『からだ・健康・スポーツ』、2002年、(サンウェイ出版)、¥2,000+税
- テキストとして、1) または2) のいずれかを使用すること。

5 学習指導、注意点等

レポートの作成および試験の解答にあたっては、評価基準にそって成績が判定されることに注意してほしい。

【レポート作成の手引き】

レポート表紙に明記する「設題名」は、『健康管理に必要な運動・スポーツを“Self-medication”と“Exercise is Medicine”

から考える。』です。

レポートは、以下の手順にそって作成してください。設題解答にあたっての解説・注意等も必ず確認してください。

1. 【教材概要】

このレポートを作成するために主として使用した教材（教科書、参考書、Webサイトなど）の1つを選び、その概要を400文字程度で説明してください。

2. 【Self-medication と Exercise is Medicine】

Self-medication と Exercise is Medicine の意味をそれぞれ400文字以内で説明してください。

※以下の設題3～5は、Self-medication と Exercise is Medicine の視点から考察しているかどうかを重視します。

3. 【BMI の分析】

- 1) あなた自身のBMI（肥満度）を算出してください（少数第二位を四捨五入）。ただし、計算式も明記すること。
- 2) 肥満度を分析する場合、BMIと一緒に体脂肪率を測定した方が良い理由を述べた上で、あなたの肥満度を分析し、その結果を今後の健康管理にどう応用できるかを400文字程度で述べてください。

4. 【体力の分析】

あなた自身の1) 柔軟性、2) 筋力、3) 全身持久力を測定し自己分析してください。その上で、1～3)のそれぞれに関して、「a：測定方法」および「b：結果と考察」を述べてください。結果は主観ではなく数値で示してください。特に、測定は今後も継続していくという視点で、自宅で行える方法を可能な範囲で用いてください。また、何らかの事情でこれらの測定が困難な場合は、その理由などを述べてください。（文字数制限なし）

5. 【学習課題】

以下の各課題について各300文字程度で述べてください。

- 課題1) 解剖学を学ぶ目的
 課題2) 体力測定の目的
 課題3) 運動の原理・原則の各意味を箇条書きで示す（文字数制限なし）
 課題4) スキャモンの発育発達曲線（スポーツ障害発症との関連性に言及すること）
 課題5) スポーツ外傷の救急処置
 課題6) メタボリックシンドロームと生活習慣病の違い
 課題7) メタボリックシンドロームと生活習慣病の改善に効果的な運動と食事
 課題8) スポーツがもたらす心理的效果（メリットおよびデメリットを述べること）

6. 【健康管理と運動・スポーツ】

Self-medication と Exercise is Medicine の視点からあなたの健康管理に必要な運動やスポーツは何であるのか、その具体的種目とそれを選んだ理由を説明し、今後継続的に実践できるかどうかについて考察してください。文字数制限はありません。

実現可能な計画が時系列的に書かれているかどうかを重視します。特に考察では、あなたの計画が何らかの事情で実施できない場合（屋外スポーツ種目の場合は雨天時のプログラム、あるいは仕事で忙しくなった場など）の代案も含めてください。

以上、それぞれの設題の意図をしっかりと読み取りながらレポートを作成してください。テキストや参考文献をただ書き写すのではなく、自分自身で考えた意見が述べることが重要です。

2017年度 設題総覧

— リポート設題と参考文献 —

01109

指・文学

2 設題 (4 単位)

- 【特記事項】 ◆リポートノートの使い方 (縦書き)
◆パソコン (ワープロ) 使用の可否 (不可)
◆一括提出の可否 (第1回(1)合格後、第2回(1)提出)
◆考察対象は古典和歌のみとし、明治期以降の短歌等は除くこと。

- 第1回 (1) 古典和歌における修辞法「枕詞」・「序詞」・「掛詞」・「縁語」のそれぞれの用法および表現効果について説明せよ。
第2回 (1) 古典和歌における贈答歌について、自分なりの問題設定を行い、テキスト所載のもの以外の和歌を四首以上挙げて論述せよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

第1回については、指定テキストを熟読の上、その内容を要約して解答すること。
第2回設題については、必ず、「～について…という点を明らかにしてみたい。」のような形で、独自の問題を設定した上で考察し、持論を述べること。
なお、乱雑で判読不可能と判断される文字で解答したものは採点しない。

01116

指・西洋史

2 設題 (4 単位)

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

- 第1回 (1) アレクサンドロス大王の東方遠征とその後のヘレニズム世界の歴史的展開を説明し、この時代の特徴が何であったのかを述べて下さい。
第2回 (1) イギリスによるアメリカの植民地化がアメリカ世界とイギリスのそれぞれに与えた影響について論じて下さい。

設題解答にあたっての解説・注意等

ただ教科書をまとめるだけではなく、以下に挙げた参考文献を読んで、他の見解も参照して作成するようにしてください。また高校の教科書や参考書、資料集、あるいは塩野氏などの俗書の類を参照しても再提出になるので、学問的根拠のしっかりした文献を見るようにしましょう。最後に本の一部の抜き書きではなく、設題に対して自分なりに理解した上で自分の思い描いたイメージを前提に説明して下さい。

参考文献

- 澤田典子『アレクサンドロス大王—今に生き続ける「偉大なる王」』山川出版社、2013 年、¥800
- 服部良久・南川高志・山辺規子『大学で学ぶ西洋史 [古代・中世]』ミネルヴァ書房、2006 年、¥2,800
- 川北稔『世界システム論講義；ヨーロッパと近代世界』ちくま学芸文庫、2016 年、¥1,100
- 川北稔『砂糖の世界史』岩波ジュニア新書、1996 年、¥840
- 和田光弘『タバコが語る世界史 (世界史リブレット)』山川出版社、2004 年、¥729

01117

指・日本史

2 設題 (4 単位)

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

- 第1回 (1) 古代国家の社会と文化の特色について国際環境と関連づけて述べなさい。
第2回 (1) 太平洋戦争と戦後の改革について国際環境と関連づけて述べなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- (1) 指定したテキストをよく読みその内容をリポートにまとめてください。
- (2) 参考文献はテキストを理解するために使用し、参考文献の内容をリポートにまとめないでください。
- (3) インターネットの記述を切り貼りしないでください。

参考文献

テキスト 311 頁「日本史参考文献」に記載されている文献を参照してください。

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

第 1 回 (1) 「物的対象 (テーブルなど) についての知識の確実性について」というテーマで、教材のバートランド・ラッセル著『哲学入門』(主に第 1 章から第 7 章)をよく読んで理解したうえで論じなさい。

第 2 回 (1) 「哲学的知識を追究することの意義について」というテーマで、教材のバートランド・ラッセル著『哲学入門』(主に第 8 章から第 15 章)をよく読んで理解したうえで論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- (1) 教材のテキストあるいは参考文献をそのまま引き写したものはリポートとして認めません。課題の趣旨に沿うように自分の思考力でよくこなし、自分の文章で組み立て、理路を整えて書くように心がけてください。
- (2) 他の文献を利用したときには、リポートの末尾に参考文献を記載すること。引用が必要なときは、カギ括弧「」をつけて本文 (自分の文章) と区別し、カギ括弧を閉じたすぐ後で丸括弧 () 内に必要に応じて出典と参照頁を指示すること。
- (3) バートランド・ラッセル著『哲学入門』の本文は一読するだけではなく、繰り返し読み、さらに「訳註」や「解説」、「訳者解説」の箇所を読むことも、テキスト理解のために必要です。また、教材の「原註」の後に出ている「参考文献」も、哲学の古典的テキストですが、発展的に読んでおくといよい。

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

第 1 回 (1) 紀元前から 19 世紀までの中国の歴史において、黄河流域及びそれ以北の地域の果たした役割について、時代を追って具体的に論じなさい。

第 2 回 (1) 19 世紀以降の中国の歴史における民衆・学生運動について、時代を追って具体的に論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

指定教科書を読んでリポートを作成すること。また、指定教科書をはじめとする既存文献の丸写しではなく、文献の内容を自分なりに咀嚼・整理し、そのうえで自己の文章で自己の見解を述べること。

序論・本論・結論の体裁をとり、自分なりの独自の視点・見解を打ち出すこと。

指定教科書以外の文献を参照・引用する際には、著者・書名・出版社名・出版年を明記すること。また、引用部分は、本文中でカギ括弧を使うなどして、その部分を明示すること。

大学のリポートであるため、高校教科書・通俗書の引用は避けること。指定教科書附録にあげる概説・通史が、最初に参考とすべき基本的な文献である。

【特記事項】 ◆記述字数 (字数制限なし)

第 1 回 (1) テキスト第 1 部第 2～3 章を通読し、以下の命題 1～10 について、①各命題を (参考文献第 2 章第 1 節 2-1-1 を参照して) 定言命題を標準形式に直し、②主語概念 (S) と述語概念 (P) とを下線を引いて指摘し、③定言命題の種類 (A・E・I・O) を指摘して、SaP などのように記号化し、さらに④オイラー図を書いて、⑤ S と P のそれぞれの周延・不周延を図示しなさい：

1. テングタケは毒キノコである。
2. 牛は肉食動物ではない。
3. 毒針をもつ貝が存在する。
4. 政治家の中には国民の意思を考慮しない者もいる。
5. インターネットを利用しない研究者はいない。
6. 花子はケーキを食べるときいつも必ず、紅茶を飲む。
7. 熱い温泉が湧き出すところはたいてい、火山に近い。
8. 芸人だからといって、お酒好きとは限らない
9. 学生だけがこの施設を利用できる。
10. 正三角形は等角三角形である。

第 2 回 (1) テキスト第 1 部第 4～5 章を通読し、以下の定言三段論法 1～5 のそれぞれについて、①必要ならば (参考文献第 2 章第 1 節 2-1-1 を参照して) 大前提・小前提・結論を定言命題 (A・E・I・O) の標準形式に直し、②主

語概念 (S)・述語概念 (P)・媒概念 (M) を各々下線を引いて指摘し、③ S・P・M 各概念の周延ないし不周延を指摘し、④定言三段論法の格と式、そして⑤その推論の妥当・非妥当を答え、もし非妥当の場合には、テキスト第1部第5章第1節に説かれる「定言三段論法の6つの規則」の内のどの規則に違反し、どの誤謬を犯しているのか、説明しなさい：

1. ある小説は教訓的である。小説は虚構の物語である。ゆえに、ある虚構の物語は教訓的である。
2. 数学を好む者は皆、頭が良い。気分屋は数学を好まない。ゆえに、気分屋は頭が良くない。
3. すべて感情の豊かな人は芸術を好む。芸術を好む人の中には、裕福な人がいる。
ゆえに、ある裕福な人は感情の豊かな人である。
4. 論理学者の中には、数学者もいる。哲学者の中には、数学者ではない者もいる。
ゆえに、哲学者のすべてが論理学者であるとは限らない。
5. オペラを愛する者は皆、美食家である。ロック演奏家は皆、オペラを愛する者ではない。
ゆえに、ロック演奏家は誰も、美食家ではない。

設題解答にあたっての解説・注意等

テキスト・参考文献をそのまま写したものは、レポートとして認めません。

学習のポイントについては、シラバスを見ること。

参考文献

- 野矢茂樹『論理学』初版、東京大学出版会、1994年、¥2,600

01215 指・法学（日本国憲法）

1 設題 （2 単位）

【特記事項】 ◆記述字数 2,000 字程度、極端に少ないものは再提出になる。

第1回 (1) 代表的な判例を取り上げて、表現の自由について論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

指定のテキスト『判例法学』のみならず、他の文献も参照してレポートを作成しなさい。引用・参照した文献につき、レポートの末尾に文献リストをつけること。他の文献や資料などから直接引用した箇所は、必ず「」でくくった上、出典を明記すること。なお、ウィキペディアなどからの引用は認めない。

01219 指・法学

1 設題 （2 単位）

※ 2017 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

【特記事項】 ◆記述字数 2,000 字程度、極端に少ないものは再提出になる。

第1回 (1) 代表的な判例を取り上げて、所有権の絶対性とその制限について論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

指定のテキスト『判例法学』のみならず、他の文献も参照してレポートを作成しなさい。引用・参照した文献につき、レポートの末尾に文献リストをつけること。他の文献や資料から直接引用した箇所は、必ず「」でくくった上、出典を明記すること。なお、ウィキペディアなどからの引用は認めない。

01204 旧・経済学

2 設題 （4 単位）

※テキスト経過措置期間：～2018年3月迄

【特記事項】 ◆A4の用紙にワープロ（パソコン）で記述。
◆『ウィキペディア』からの引用は評価しない。

第1回 (1) A. スミスの投資・経済発展の自然的秩序について説明せよ。

第2回 (1) 剰余価値生産の方法について説明せよ。

- 【特記事項】 ◆A 4 の用紙にワープロ（パソコン）で記述。
◆『ウィキペディア』からの引用は評価しない。

- 第 1 回 (1) 今日の格差・貧困の拡大について論じなさい。その際、新自由主義政策、およびグローバリゼーションが格差・貧困拡大とどうかかわるのか必ず論じなさい。テキスト第 1 章、第 3 章を参照。
- 第 2 回 (1) WTO 協定、TPP 協定は多国籍企業の要望を土台として作成されたものである。両協定の目的・狙いについて論じなさい。テキスト第 2 章、テキスト論文「TPP 協定は、国民の主権、生存権を放棄する」参照。

設題解答にあたっての解説・注意等

自分の文章と区別するため、他人の書物からの引用分は必ず「……」（出典、〇〇頁）とすること。自分の意見とその理由・根拠を述べるのが望ましい。

参考文献

- 福田泰雄『コーポレート・グローバリゼーションと地域主権』桜井書店、2010 年、¥3,400
- 福田泰雄「TPP 協定は国民の主権、生存権を放棄する」『経済』（「CiNii 論文－TPP 協定は国民の主権、生存権を放棄する」からダウンロード可能）新日本出版、2016 年 10 月号、¥954

- 第 1 回 (1) テキスト p.110 の図 2 をみて、日本における IC 工場の分布の特徴を述べよ。また同工場が多く立地するようになった 1980 年代の時代状況を、関連する地域開発政策を含めて説明せよ。
- 第 2 回 (1) ASEAN 加盟国のなかから 5 か国を各自で選び、それぞれの工業の特徴を述べよ。また 5 か国の貿易相手国を調べ（可能な限り最新のデータを使うこと）、気づいたことを指摘せよ。記述にあたっては、必ず AFTA あるいは AEC にふれること。（第 3 章-18 参照）

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①他の文献や資料、インターネットなどから引用する際は、必ず引用符（「……」）をつけて直接引用し、そのつど出所を明らかにすること。
- ②ウィキペディアからの安易な引用は認めない。参考にした際は必ず他の資料で裏付けすること。
- ③レポートの末尾に引用・参考文献を明記すること。『自立学習の手引き』を参照。これができていないと例外なく不合格にする。

参考文献

- 高橋信夫他編『改訂新版ジオグラフィー入門』古今書院、2008 年
- 『データブック・オブ・ザ・ワールド』二宮書店（レポート作成時点における最新版を使用すること）
- 財団法人矢野恒太記念会編集『日本国勢図会』（レポート作成時点における最新版を使用すること）
- 財団法人矢野恒太記念会編集『世界国勢図会』（レポート作成時点における最新版を使用すること）
- 『新詳資料 地理の研究』帝国書院

- 【特記事項】 ◆レポートで取り上げる場所はどこでも良いが、実際に行ったことがある場所にすること。
第 1 回と第 2 回の課題は、同じ場所でもなくても良い。

- 第 1 回 (1) 任意の場所を決め、その場所から見える風景の特徴について説明し、風景の背後にある自然地理的特徴について説明せよ。
- 第 2 回 (1) 将来の地球環境の変化で、海水面が現在より 10 m 上昇した場合と、逆に 10 m 低下した場合において、風景および自然環境がどのように変わるのか、それぞれ考察せよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

- 第 1 回：風景を 360 度見渡し、どの方位に何があるのか、見えるもの（自然や人工構造物）と見えないもの（地形形成や人間社会等のバックグラウンド）を整理し、自由な発想で総合的に考察して下さい。
- 第 2 回：海面の高さは一定ではなく、海面の上下変化は過去の地球の歴史で繰り返されています。知識や調べた事柄をベースに、多くの視点で想像力を膨らませて考察して下さい。

参考文献

- 水野一晴『自然のしくみがわかる地理学入門』ベレ出版、2015年、¥1,800
- 貝塚爽平『東京の自然史』講談社学術文庫、2011年、¥1,080
- 皆川典久『凹凸を楽しむ 東京「スリパチ」地形散歩』洋泉社、2012年、¥2,200
- 新之介『凹凸を楽しむ 大阪「高低差」地形散歩』洋泉社、2016年、¥2,200

01206

指・政治学概論

2 設題 (4 単位)

第1回 (1) 戦後日本における、議院内閣制、官僚制、政党制の特性について整理したうえで、政治決定過程における特性とその問題性について論述すること。

第2回 (1) 代議制民主主義と直接的な政治参加の関係について、自治体における市民の政治参加に注目し論述すること。

設題解答にあたっての解説・注意等

まず、テキストおよび参考文献を熟読し、まとめた上で、レポートを作成してください。

このとき、課題の意図をよく理解し、自らの考えを明らかにすることを心がけてください。レポートの構成については、①問題設定→②本論→③まとめ、という流れを意識して作成してください。また、参考文献は十分に活用してください。テキストに挙げられている理論や用語を補い考察を広げるためにも、テキスト同様に参考文献を熟読し、まとめる作業をおこなってください。

引用した文献は必ず明記してください。特に以下の点に注意してください。

- ・語句や文章など直接引用した箇所は、「」区切り、文献名および引用ページを明記する。
- ・テキスト・参考文献以外の資料を引用した場合も同様とする。
- ・インターネットからの引用は原則として避けるが、やむを得ず使用する場合は同様に出典を明記する。

参考文献

- 飯尾潤『日本の統治構造—官僚内閣制から議院内閣制へ』中公新書、2007年、¥800
- 篠原一『市民の政治学—討議デモクラシーとは何か』岩波新書、2004年、¥740
- 待鳥聡史『代議制民主主義—「民意」と「政治家」を問い直す』中公新書、2015年、¥840

01217

指・社会学

2 設題 (4 単位)

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

【特記事項】 ◆記述字数 (2,500 字程度)

◆レポート用紙が足りない場合は、市販の A 4 判原稿用紙を使用し、講評欄の前に貼付すること。

第1回 (1) テキストの序章では、①社会学の方法 (第1節)、ならびに、②社会学が対象とする「社会」について (第2節)、論じられています。そのうちの②については、1) 現代社会は西欧を起源とする近代社会の延長線上にあること、2) 近代社会の特徴は、複数の要素から成る社会の「近代化」という観点から把握しうること、3) 近代社会は「国民国家」と重ねて考えられてきたが、グローバリゼーションの進展を背景にその前提が変化しつつあること、4) 近年では、「第1の近代から第2の近代へ」という議論に代表されるように、近代社会そのものが変容してきているとする見方が提示されていること、が主に論じられています。これら4つのポイントを確認した上で、各ポイントのより具体的な内容を、参考文献を参照して、発展的に要約してください。なお上記ポイントのいずれかに比重を置いて論じること可とする。また、引用・参照した文献等は必ず明記すること。

第2回 (1) 現在、私たちの日常生活にかかわる諸課題の多くは、国レベルと並んで、国際・グローバルレベルや地域レベルでも対応していくことが必要になっています。このうち地域レベルでの対応が求められている分野として、下記【分野の例】に挙げたようなものがあります。それらの諸分野のうち、あなたが身近に感じているもの、あるいは、あなた自身が関心のある分野の一つ (具体的なもの) を取り上げ、それについて、①なぜ地域での取り組みが必要なのか、②誰が主導的な役割を担っているのか、③どんなことが課題や問題になっているのか、を調査し、その成果をレポートしてください。

【分野の例】 ①防災、②高齢者、障害者、癌や認知症等の患者、子ども、単身者、生活困窮者などを対象とする医療・保健・介護・福祉、保育、③雇用、④産業や人口構成の変化に対応した地域再開発、⑤国際化に対応する「共生社会」への取り組み、⑥図書館、公民館 (生涯学習センター)、郷土資料館等を拠点とする文化・教育、⑦「男女共同参画社会」を理念とする取り組み、等。

※課題の趣旨を踏まえて、例に挙げたもの以外の分野を取り上げることも可とする。調査は、関係者へのインタビュー、自治体や関連団体が発信している情報や報告書、地域の図書館や役場・施設に実際に出向いて得られる情報等を元におこなってください。

設題解答にあたっての解説・注意等

第1回(1)で言う参考文献とは、1) 下記に挙げるもの、2) テキスト記載のもの、3) 自分で文献調査して見つけたもの、を指す。大学図書館や公共図書館を活用しましょう。

参考文献

- 三上剛史『社会の思考—リスクと監視と個人化』学文社、2010年、¥1,300
- 篠原一『市民の政治学—討議デモクラシーとは何か』第1、2章、岩波書店、2004年、¥740
- 森岡清志『地域の社会学』有斐閣、2008年、¥1,900

01211

指・文化人類学

2 設題 (4 単位)

第1回 (1) 教科書第I部、第II部の以下のテーマのなかから、一つを選んで、レポートを作成しなさい。
ホモ・サピエンス、文化相対主義、未開と文明、現代社会と家族

第2回 (1) 教科書第III部、第IV部の以下のテーマのなかから一つを選んで、レポートを作成しなさい。
宗教と日本社会、象徴体系としての宗教、辺境の支配と管理、現代の人種、危機に瀕する熱帯雨林、屋久島の開発と環境

設題解答にあたっての解説・注意等

与えられたテーマに関する事項だけではなく、教科書をまず丹念に読むこと。

レポート書く際、自説を補強する参考文献を探し、自説を論理的に展開すること。

ネット上の記事を参考にした場合にはその旨を記すこと。PDF以外のネットの記事だけのレポートは不可。誤字・脱字が多いので、作成後読み直し、自分でチェックすること。

01323

指・心理学

2 設題 (4 単位)

第1回 (1) ユングが科学としての心理学を誕生させるに至った思想や諸科学の変遷についてまとめよ。

第2回 (1) 記憶の変容と忘却の要因について、諸説を説明しながらまとめよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

書き始める前に、記述の構成をあらかじめ練ってください。起承転結が大切です。テキスト、文献の引用は、わかるようにカッコをつけ、明示してください。

参考文献

- サトウタツヤ他著『流れを読む心理学史—世界と日本の心理学』有斐閣アルマ、2003年、¥1,700

01311

数学 1

1 設題 (2 単位)

第1回 (1) 次の各問いに答えよ。なお、①については教科書第1章、②については教科書第2章、③については教科書第3章をそれぞれ参照せよ。

① 1次合同式 $66x \equiv 21 \pmod{39}$ を解け。

②教科書 2.3.3 節の説明に従って、置換 $\begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & 5 \\ 3 & 4 & 1 & 5 & 2 \end{pmatrix}$ を互換の積で表せ。

③行列 $\begin{pmatrix} 1 & -3 & 1 \\ 1 & -2 & -1 \\ 2 & -5 & -1 \end{pmatrix}$ の逆行列を求めよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

解答は途中の過程が分かるように省略せずに書き、誰がみても計算の流れを理解できるように内容を説明すること。

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.39 参照のこと。

01312

数学 2

1 設題 (2 単位)

【特記事項】 ◆記述字数は指定しない。

第 1 回 (1) 次の各問いに答えよ。なお、1 については教科書第 4 章、2 については教科書第 5 章、3 については教科書第 6 章をそれぞれ参照せよ。

① グラフ $\{1, 2, 3, 4\}, \{1, 2\}, \{1, 3\}, \{1, 4\}, \{2, 4\}\}$ において、頂点 2 から頂点 3 への長さ 3 の歩道の総数を求めよ。

② $p(7) = 15$ が成り立つことを、教科書 284 頁の事実 5.3.10 と事実 5.3.11 を用いて示せ。

③ $f(x) = \sqrt[3]{x}$ とおく。 $k = 1, 2, 3, 4$ に対し、 $f(x)$ の第 k 階導関数 $f^{(k)}(x)$ をそれぞれ求めよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

結果だけでなく、それを導くための過程も十分に論述すること。

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.39 参照のこと。

01314

指・生物学 1

1 設題 (2 単位)

第 1 回 (1) どのような生物にとっても、もっとも基本的なことは、個体の生命維持と種の維持です。このため生物は、外界の有機物や無機物を摂取して、それらを分解し生体内で新たなエネルギー源として利用しています。このような仕組みを代謝といいます。3 大栄養素とはなにか、それらが体内に吸収された後、どのように変化し、利用されているのか。分解されてエネルギーが作られるまでの過程について記述してください。また、代謝にとって、もう一つ大事な点である、代謝産物を排出する仕組みがどのようなものか記述してください

設題解答にあたっての解説・注意等

自然科学のレポートは、随筆や小説とは違います。自分の思っていることを、書き連ねるだけではレポートにはなりません。理論的に組み立てて記述されるように望みます。

参考文献

●霜田幸雄『代謝ガイドブック』第 1 版、技術評論社、2014 年、¥2,480

01317

指・化学 1

1 設題 (2 単位)

第 1 回 (1) 1,3-ブタジエンに、エチレンが付加して環化するディールス・アルダー反応の反応メカニズムを説明せよ。

キーワード：ディールス・アルダー反応、分子軌道、フロンティア軌道、基底状態、励起状態

設題解答にあたっての解説・注意等

設問のキーワードを頼りに調べ、全てのキーワードを正しく使って解答すること。有用なインターネット情報も多くあるので、積極的に活用してください。

01318

指・化学 2

1 設題 (2 単位)

第 1 回 (1) 尿素回路は、アンモニアの代謝経路として重要である。この尿素回路を、分子レベルで説明せよ。

キーワード：尿素回路、アンモニア、オルニチン、シトルリン、アルギニノコハク酸、フマル酸、アルギニン、アスパラギン酸、尿素

設題解答にあたっての解説・注意等

設問のキーワードを頼りに調べ、全てのキーワードを正しく使って解答すること。有用なインターネット情報も多くあるので、積極的に活用してください。

01320

指・物理学 1

1 設題 (2 単位)

第 1 回 (1) あなたの身の回りで起こっている運動に関係する現象の中からいくつか選び出し、それぞれがニュートンの運動法則によってどのように説明することができるのか論ぜよ。

ただし以下の語句を本文中に用いること。

力、速さ、加速度、エネルギー、質量
(注：“速さ”は“速度”でもよい)

設題解答にあたっての解説・注意等

教科書をよく読み、そこで述べられている事例を参考にして、さらに身の回りのいろいろな現象から事例を選んでレポートを作成すること。空気抵抗を小さいものとして無視するなどの現象の単純化をすることは構わない。どのような単純化を行ったのかも含めてレポートを作成すること。

01321

指・物理学 2

1 設題 (2 単位)

第 1 回 (1) 「エネルギーの変換と保存」について、次の中からテーマを一つ選んで、具体例をあげながら論ぜよ。ただし、選択したテーマに応じて適当な副題をつけること。

- ① 太陽エネルギーとその利用
- ② 乗り物
- ③ 発電

設題解答にあたっての解説・注意等

教科書をよく読み、そこで述べられている事例を参考にして、さらに身の回りのいろいろな現象から事例を選んでレポートを作成すること。定量的な記述があることが望ましい。

参考文献

- 大西直毅著『物理学入門』東京大学出版会、1996 年、¥2,400

02102

指①・英語 2 (専用レポート)

(2 単位)

(指定テキスト：*Reading Through the Skills : Stories on Life from Famous Authors*)

※テキスト経過措置期間：～2018 年 3 月迄

この科目は、専用レポートノートがあり、設題はレポートノートに記載されています。

レポートノートの入手方法は、本誌 p.7 を参照してください。

「指①・英語 2」は経過措置テキスト科目のため、このテキストに対応したレポートノートの新規提出及び再提出期限は表紙に記載の有効期間に関わらず最長で 2018 年 3 月迄となります。

02102

指②・英語 2 (専用レポート)

(2 単位)

(指定テキスト：*Let's Learn English From American Literature II* アメリカ文学から英語を学ぼう II)

この科目は、専用レポートノートがあり、設題はレポートノートに記載されています。

レポートノートの入手方法は、本誌 p.7 を参照してください。

レポートノートの新規提出有効期間は、レポートノートの表紙に記載しています。

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

スタディガイドを参照のこと。

02103

指・英語 3 (専用レポート)

(2 単位)

(指定テキスト：*Get Reading!* 大学生のための読解演習と基本文法)

この科目は、専用レポートノートがあり、設題はレポートノートに記載されています。

レポートノートの入手方法は、本誌 p.7 を参照してください。

レポートノートの新規提出有効期間は、レポートノートの表紙に記載しています。

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.39 参照のこと。

02207 指・独語 1（専用レポート）

（2単位）

（指定テキスト：『素朴なこともんからわかるドイツ文法』）

この科目は、専用レポートノートがあり、設題はレポートノートに記載されています。
レポートノートの入手方法は、本誌 p.7 を参照してください。
レポートノートの新規提出有効期間は、レポートノートの表紙に記載しています。

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.39 参照のこと。

02301 指・仏語 1（専用レポート）

（2単位）

（指定テキスト：『ゼロから始めるフランス語』）

この科目は、専用レポートノートがあり、設題はレポートノートに記載されています。
レポートノートの入手方法は、本誌 p.7 を参照してください。
レポートノートの新規提出有効期間は、レポートノートの表紙に記載しています。

03406 指・健康・スポーツ科学概論

1 設題 （2単位）

【特記事項】 ◆レポートノートの使い方（横書き）

◆記述字数

各課題について、文字数制限があるのでシラバスを確認すること。

◆レポート作成の手順や諸注意などをシラバスに明記したので、必ず確認すること。

第1回 (1) 『健康管理に必要な運動・スポーツを“Self-medication”と“Exercise is Medicine”から考える。』

以下の各課題の全てをレポートしてください。

1. 教材概要
2. Self-medication と Exercise is Medicine
3. BMI の分析
4. 体力の分析
5. 学習課題（8 課題）
6. 健康管理に必要な運動・スポーツ

設題解答にあたっての解説・注意等

レポートの成績は、シラバスの評価基準にそって判定します。

参考文献

- 伊藤マモル『若さを伸ばすストレッチ』平凡社新書、2009 年、¥720
- 山本利春『疲れたときは、からだを動かす』岩波新書、2006 年、¥1,200

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.39 参照のこと。

— 指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足 —

以下の科目は追加・訂正・補足があります。配本された教材の中にはすでに訂正されているものもあります。
新たに明らかになった追加・訂正・補足は、随時『法政通信』に掲載します。

科目名	種別	掲載更新
数学	通教テキスト	2015 年 3 月
独語 1 (2014 年度版「指②・独語 1」)	レポートノート	2015 年 3 月
英語 3 (2015 年度版「指②・英語 3」)	レポートノート	2016 年 3 月
健康・スポーツ科学概論 (基礎から学ぶスポーツトレーニング理論)	指定市販本	2015 年 3 月
英語 3 (<i>Get Reading!</i> 大学生のための読解演習と基本文法)	指定市販本	2015 年 3 月

[通教テキスト]

■数学	(安東 祐希 池田宏一郎 倉田 俊彦)

- p.36 上から 9 行目及び 10 行目
(誤) 解答 事実 1.2.31 より
 $170x \equiv 65x \pmod{655} \Leftrightarrow 34x \equiv 15 \pmod{131}$ である。
 $34x \equiv 15 \pmod{131}$ の解は $x \equiv 89 \pmod{131}$ であるの
で (例題…
(正) 解答 事実 1.2.31 より
 $170x \equiv 65x \pmod{655} \Leftrightarrow 34x \equiv 13 \pmod{131}$ である。
 $34x \equiv 13 \pmod{131}$ の解は $x \equiv 89 \pmod{131}$ であるの
で (例題…

2014 年 3 月現在

- p.10 上から 11 行目
(誤) 最小公約数 $[a, b]$
(正) 最小公倍数 $[a, b]$

- p.18 上から 19 行目
(誤) $|9x - 34y| = 1$
(正) $|19x - 34y| = 1$

- p.18 上から 20 行目
(誤) $9x - 34y = 1$
(正) $19x - 34y = 1$

- p.19 上から 2 行目
(誤) $9x - 34y = -1$
(正) $19x - 34y = -1$

2015 年 3 月現在

[レポートノート]

◆指②・独語 1 2014 年黄色のレポートノート (有効期間 2014 年 4 月～2017 年 3 月) ※ 2017 年度以降は再提出のみ受付

- No. 5 独文の 3 行目
(誤) liegt in dieser ruhigen Gegend.
(正) liegt in dieser ruhigen Gegend.
※ 「in」の下線を削る

2015 年 3 月現在

◆指②・英語 3 2015 年灰色のレポートノート (有効期間 2015 年 4 月～2018 年 3 月)

- p.9 問Ⅲ問題文
(誤) 手紙の抜粋を読み、動名詞と不定詞に関する誤りを・・・

- (正) 手紙の抜粋を読み、場所と移動を表す前置詞に関する誤りを・・・

2016 年 3 月現在

[指定市販本]

●基礎から学ぶスポーツトレーニング理論 (健康・スポーツ科学概論)

- p.87 カルバーネン法公式の 4 行目
(誤) (C) 一安静時心拍数＝目標心拍数
(正) (C) 土安静時心拍数＝目標心拍数
p.108 1 段目 1. 炭水化物からの生産
(誤) 「グリコーゲン」に再合成されるか、乳酸菌にまで・・・
(正) 「グリコーゲン」に再合成されるか、乳酸にまで・・・
p.149 ハムストリングスの位置
(誤) 大腿二頭筋、半腱様筋、半膜様筋
(正) 大腿二頭筋、半腱様筋、半膜様筋
p.199 サプリメントの分類
筋力の向上・筋肉の生成と修復などを目的とするもの
(誤) 分枝鎖アミノ酸 (BCAA) などのアミノ酸
(正) 分枝鎖アミノ酸 (BCAA) などのアミノ酸
p.199 サプリメントの分類
エネルギーの補給、疲労蓄積の回避などを目的とするもの
(誤) 重層 (重炭酸ナトリウム)
(正) 重曹 (重炭酸ナトリウム)

2015 年 3 月現在

● <i>Get Reading!</i> 大学生のための読解演習と基本文法 (英語 3)

- p.20 Proofreading 設問
(誤) 名詞に関する誤りをあと 13 個探し、…
(正) 名詞に関する誤りをあと 12 個探し、…
p.20 下から 4 行目
(誤) and returned Home.
(正) and returned home.
p. 30 下から 15 行目
(誤) …例にならない、形容詞と形容動詞に関する誤りをあと 11 個探し、…
(正) …例にならない、形容詞と副詞に関する誤りをあと 11 個探し、…
p.110 1 行目 Proofreading 設問
(誤) Which of the following items…kit.
(正) Which of the following items…kit?

2015 年 3 月現在

2017年度 単位修得試験の出題範囲

【留意事項】

- 試験範囲は担当教員が認めた科目に限り公表しています。
- 試験範囲が公表される場合であっても、その科目のテキスト全体を熟読することが前提となりますので、科目によってはここに記載された内容以外からも出題される場合があります。
- ここに発表されていない科目（テキスト）は、原則テキスト全体からの出題となります。ただし、科目によっては学習範囲がテキストの一部に限定されている場合があります。詳細は、シラバスで確認してください。
※経過措置テキストの場合は、経過措置テキストに対応した過年度のシラバスを参照してください。
- 記載内容の意味など、出題範囲に関する質問は一切受け付けません。また、試験終了後に試験問題と範囲に関する照会も受け付けません。
- この表の科目名の表記は、「設題総覧」及び単位修得試験の表記に合わせています。

科目名	出題範囲	
指・西洋史	2題の範囲を列举します。	
	4月	古代ギリシア世界と近世の始まり
	5月	古代ローマ世界と主権国家
	6月	中世盛期・末期の社会と主権国家
	7月	中世盛期・末期の社会と植民帝国
	10月	古代ギリシア世界と植民帝国
	11月	中世世界と革命の時代
	12月	中世盛期・末期の社会と第一次世界大戦
	1月	古代ローマ世界と第一次世界大戦
指・哲学	テキスト（ラッセル著『哲学入門』）の内容が全回を通じての出題範囲である。	
	4月	現象と実在
	5月	物質は存在するか、物質の本性
	6月	観念論、面識による知識と記述による知識
	7月	帰納について、一般的原理の知識について
	10月	アプリアリナ知識はいかにして可能か、普遍の世界
	11月	普遍に関する私たちの知識、直観的知識について
	12月	真と偽、知識、誤謬、蓋然的な見解
	1月	哲学的知識の限界、哲学の価値
指・東洋史	4月	「中国」とは何か・殷周～春秋戦国時代前後
	5月	秦漢時代前後
	6月	魏晋南北朝～隋唐時代前後
	7月	宋元時代前後
	10月	明清時代前後
	11月	アヘン戦争前後の清朝末期
	12月	辛亥革命～中華人民共和国の建国
	1月	中華人民共和国建国以後
指・論理学	4月	思考の根本原理、概念
	5月	命題（命題の区分、定言命題の4種類、標準形式化）
	6月	命題（定言命題の4種類、オイラー図、周延・不周延、標準形式化）
	7月	直接推理（対当による推理）
	10月	直接推理（命題の変形による推理）
	11月	間接推理（定言三段論法）
	12月	間接推理（仮言三段論法）
	1月	命題論理学（論理的結合子、真理表の作成、真理表による恒真命題・恒偽命題・結合命題の判定）

科目名	出題範囲	
指・法学（日本国憲法）	4月	人権の主体、私法関係における適用問題
	5月	幸福追求権、法の下の平等
	6月	幸福追求権、法の下の平等
	7月	精神の自由
	10月	経済的自由権、社会権
	11月	人身の自由、裁判手続の保障
	12月	近代憲法の成立、統治原理
	1月	司法権とその限界、違憲審査
指・法学	4月	親子の法律関係、相続の問題
	5月	親子の法律関係、相続の問題
	6月	労働基準法の沿革と意義、男女雇用機会の均等など
	7月	労働契約法の制定と意義、労働契約の成立と展開
	10月	刑法の役割、刑法の基本原則
	11月	刑法の役割、刑法の基本原則
	12月	国際法の諸形態
	1月	国際法の諸形態
旧・経済学 （※経過措置テキスト）	4月	A．スミス
	5月	A．スミス
	6月	A．スミス
	7月	K．マルクス
	10月	K．マルクス
	11月	K．マルクス
	12月	J．M．ケインズ
	1月	現代資本主義
指・経済学	4月	テキスト第1章
	5月	テキスト第2章
	6月	テキスト第3章
	7月	テキスト第1章、第3章
	10月	テキスト第4章
	11月	テキスト第4章
	12月	テキスト第6章
	1月	テキスト論文「TPP協定は国民の主権、生存権を放棄する」
指・政治学概論	4月	政治体制、民主政治
	5月	福祉国家、福祉政策
	6月	選挙・投票行動
	7月	国会（議会）・内閣・政党
	10月	官僚制・利益団体・世論
	11月	地方自治・自治体政策
	12月	国際政治、国際社会、
	1月	市民社会、市民の政治参加
指・社会学	4月	初期の社会学、「親密性の氾濫」
	5月	「個人化」と近代の変容、個人化・孤人化と社会性
	6月	自己実現の規範、教育制度の国際比較
	7月	非行文化の消滅と少年犯罪、「純粋な自分」と「優しい関係」
	10月	「パラサイト・シングル」論、「一億総中流社会」から「格差・不平等社会」へ
	11月	ジェンダー・性別役割分業
	12月	福祉社会と福祉国家、「福祉国家の危機」
	1月	リスクの「普遍化」と「個人化」、リスクの変容と社会保障

科目名	出題範囲	
指・文化人類学	4月	文化人類学の学説
	5月	文化人類学の理論
	6月	ジェンダー論／社会進化論
	7月	政治とリーダーシップ／贈与交換論
	10月	宗教の理論
	11月	身体論
	12月	先住民論争／ナショナリズム
	1月	国家、開発、エスニシティ
数学 1	教科書 1, 2, 3 章から 1 題ずつ出題	
数学 2	教科書第 4 章～第 6 章	
指・生物学 1	4月	テーマ「生命の誕生」：GLS § 1、SG「生物学」
	5月	テーマ「細胞の成立」：GLS § 1、§ 2、SG「生物学」
	6月	テーマ 1「生殖」：GLS § 10、SG「生物学」
		テーマ 2「細胞分裂」：GLS § 2、§ 3、§ 10、SG「生物学」
	7月	テーマ 1「生体のエネルギー」：GLS § 2、SG「生物学」
		テーマ 2「人の死」：GLS § 6、§ 8、SG「生物学」
	10月	テーマ「病気（感染症）と流行」：GLS § 3、§ 4、§ 6、§ 10、SG「生物学」
	11月	テーマ 1「ウイルス」：GLS § 2、§ 4、SG「生物学」
		テーマ 2「生命科学がもたらした新技術」：GLS § 3、§ 4、§ 5、§ 10、SG「生物学」
	12月	テーマ「生態と地球環境」：GLS § 1、§ 9、SG「生物学」
1月	テーマ 1「形質発現」：GLS § 2、§ 3	
	テーマ 2「万能細胞」：GLS § 2、§ 3、§ 4、§ 5、§ 10、SG「生物学」	
※ GLS はグラフィックライフサイエンスを、SG「生物学」は通信教育部発行のスタディガイド（学習指導書）「生物学」を現す。§ は各章を現す。テーマが一つの月は、そのテーマから二題出題される。GLS については、右頁を熟読するだけでなく、この GLS の特徴である左頁の図についても十分理解しておく事が必要である。上記の GLS および SG「生物学」について公開された範囲は、各試験のテーマについて勉強を進めるための基礎となる範囲を示したものであり、試験問題はここに記載されているか否かに拘わらず出題される事も有るので、受験の際には他の書籍やネットなどで更に勉強してから試験に臨む事を薦める。		
指・独語 1	動詞の人称変化（規則動詞、sein、haben）と、定冠詞（類）、不定冠詞（類）の格変化は毎回出題。現在完了、語法の助動詞（特に、können、müssen）の問題もほぼ毎回出題。	

科目名	出題範囲
指・仏語 1	問題は、毎回出題される問題と月によって異なる問題からなります。 1. 4月から1月までの試験で毎回出題される問題 1) 不定冠詞，定冠詞，部分冠詞，指示形容詞，所有形容詞と名詞の記述式問題 2) 動詞の活用（直説法現在形）の記述式問題 3) 動詞活用（直説法複合過去形・単純未来形・前未来形・半過去形・大過去形，受動態）の選択問題 4) 代名詞（強勢形人称代名詞，補語人称代名詞，副詞的代名詞，中性代名詞）の選択問題 5) 非人称構文と否定形の選択問題 6) 比較級と最上級の選択問題 2. 月によって異なる問題 4月 形容詞の女性形と名詞の複数形に関する記述式問題 疑問詞（疑問副詞，疑問代名詞，疑問形容詞）の選択問題 5月 倒置疑問形に関する記述式問題 疑問詞（疑問副詞，疑問代名詞，疑問形容詞）の選択問題 6月 形容詞の女性形と名詞の複数形に関する記述式問題 疑問詞（疑問副詞，疑問代名詞，疑問形容詞）の選択問題 7月 強調構文の記述式問題 関係代名詞の選択問題 10月 形容詞の女性形と名詞の複数形に関する記述式問題 疑問詞（疑問副詞，疑問代名詞，疑問形容詞）の選択問題 11月 前置詞と定冠詞の縮約に関する選択問題 疑問詞（疑問副詞，疑問代名詞，疑問形容詞）の選択問題 12月 形容詞の女性形と名詞の複数形に関する記述式問題 関係代名詞の選択問題 1月 倒置疑問形に関する記述式問題 疑問詞（疑問副詞，疑問代名詞，疑問形容詞）の選択問題
指・健康・スポーツ科学概論	指定したテキストおよびレポートで扱った内容

法学部 法律学科 専門教育科目

Contents

●2017年度 通信学習科目 指定テキスト・科目掲載ページ一覧……………	46
●2017年度 通信学習シラバス ……………	48
●2017年度 設題総覧	
・レポート設題と参考文献……………	62
・指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足……………	75
●2017年度 単位修得試験の出題範囲 (p.76 に記載した留意事項を必ず確認してください) ……	76
●その他 (レポート作成前に必ず確認してください)	
・[法学部教授会通知] レポートにおける文献の引用・出典の表示について (注意喚起) ……	80

2017年度 通信学習科目 指定テキスト・科目掲載ページ一覧

科目名	履修 学年	構成 単位	テキスト 種別 (入手方法)	2017年度通信学習用 指定テキスト	備考	教科書 コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
				書籍名・版／著者／出版社（市販 本のみ）／発行年／定価（税抜）				シラバス	設題	試験範囲
指①・民法総則 (～2019年3月迄)	1	4	指定市販本 (各自購入)	『法学講義 民法1総則』[第2版] 奥田昌道・安永正明・悠々社、 2007年、¥2,800	(テキスト変更： ～2019年3月迄) 経過措置テキスト	S-028	¥2,836	—	62	—
指②・民法総則 (2017年4月～)	1	4	指定市販本 (各自購入)	『民法の基礎 (1) 総則』[第3版] 佐久間毅、有斐閣、2008年、 ¥3,000	(テキスト変更：2017 年4月～) 最新の指定テキスト	S-027	生協に 問合せて 下さい	48	62	—
指・憲法	2	4	指定市販本 (各自購入)	『現代日本の憲法』[第2版] 元山健・建石真公子編 法律文化社、2016年、¥2,800	※初版(2009年)も 使用可	S-026N	¥2,836	48	62	76
指・物権法	2	4	指定市販本 (各自購入)	『マルシェ物権法・担保物権法』 (第3版) 宮本健蔵編著他 嵯峨野書院、2014年、¥3,600	※改訂第2版(2005年) も使用可 スタディガイドあり	S-029	¥3,634	48	63	—
指・刑法総論	2	4	指定市販本 (各自購入)	『Legal Quest 「刑法総論」』 (第2版) 今井 猛嘉・小林 憲太郎・ 島田 聡一郎・橋爪 隆著 有斐閣、2012年、¥2,900		S-034	¥2,933	49	63	76
指・債権総論	3	4	指定市販本 (各自購入)	『マルシェ債権総論』第2版 宮本 健蔵編著他 嵯峨野書院、2010年、¥3,800		S-030	¥3,828	49	64	76
指・債権各論	3	4	指定市販本 (各自購入)	『民法概論4 債権各論』[補訂版] 川井 健 有斐閣、2010年、¥4,700		S-031	¥4,703	50	64	—
指・商法総則・商行為法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『商法総則・商行為法 (第4版)』 田邊光政著 新世社、2016年、¥2,980		S-032	¥3,011	50	65	76
指・会社法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『会社法詳解』[第2版] 柴田 和史著 商事法務、2015年、¥5,400	スタディガイドあり	S-033N	¥5,383	51	65	—
刑法各論	3	4	通教テキスト (配本)	『刑法各論』第1版 今井 猛嘉、2015年		—	—	52	66	—
指・国際法総論	3	4	指定市販本 (各自購入)	『講義国際法 [第2版]』 小寺彰・岩沢雄司・森田章夫編 有斐閣、2010年、¥4,300	スタディガイドあり (2016年3月一部補訂)	S-037	¥4,314	52	66	—
指・行政法 (～2018年3月迄)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『新現代行政法入門(1)』[補訂版] (現代法双書) 室井 力編 法律文化社、2005年、¥2,700	(テキスト変更： ～2018年3月迄) 経過措置テキスト	S-039	¥2,739	—	66	77
新・行政法 (2016年4月～)	3	4	通教テキスト (配本)*	『行政法』第1版 西田 幸介、2016年	(テキスト変更：2016 年4月～) 最新の指定テキスト ※2016年度新3年生よ り配本対象となります。	—	—	53	67	77
指・行政救済法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『判例から考える行政救済法』 岡田正則・榊原秀訓・本多滝夫 編 日本評論社、2014年、¥2,500		S-130	¥2,525	54	68	77
指・労働法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『基礎から学ぶ労働法Ⅰ労働法総 論・個別的労働関係法』(第3版) 金子 征史・藤本 茂・大場 敏 彦・高野 敏春著 エイデル研究所、2012年、¥2,381	2017年に第4版発行 予定 2冊使用します	S-040	¥2,439	54	68	78
				『基礎から学ぶ労働法Ⅱ集团的労 働関係法・社会保障法』(第2版) 金子 征史・藤本 茂・ 大場 敏彦編、 エイデル研究所、2016年、¥2,300		S-041	¥2,370			
指・民事訴訟法	4	4	指定市販本 (各自購入)	『民事訴訟法』[第6版補訂] (有斐閣Sシリーズ) 上原敏夫・池田辰夫・山本和彦 有斐閣、2012年、¥1,700		S-036	¥1,747	55	69	78
刑事訴訟法	4	4	通教テキスト (配本)	『刑事訴訟法』(第2版) 福井 厚、2008年		—	—	55	69	78
指・国際法各論	4	4	指定市販本 (各自購入)	『講義国際法 [第2版]』 小寺 彰・岩沢 雄司・ 森田 章夫 有斐閣、2010年、¥4,300	スタディガイドあり (2016年3月一部補訂)	S-037	¥4,314	56	69	78
指・刑事政策	2	4	指定市販本 (各自購入)	『刑事政策』 川出敏裕・金光旭著 成文堂、2012年、¥3,500		S-038	¥3,527	56	70	78

科目名	履修学年	構成単位	テキスト種別 (入手方法)	2017年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社（市販本のみ）／発行年／定価（税抜）	備考	教科書コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
								シラバス	設題	試験範囲
指・教育法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『ガイドブック教育法』[新訂版] 金子 征史ほか編 三省堂、2015年、¥2,800		S-042N	¥2,826	56	70	—
指・親族法・相続法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『家族法 第4版』 (新法学ライブラリ9) 二宮 周平著 新世社、2013年、¥3,250	※2013年11月以前 入学者のみ第3版 (2009年)も使用可	S-043	¥3,294	57	70	—
指・手形法・小切手法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『商法III手形・小切手』[第4版] (有斐閣Sシリーズ) 大塚 龍児・林 靖・福瀬 博之 著 有斐閣、2011年、¥2,100		S-045	¥2,136	57	71	79
指・保険法・海商法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『商取引法』[第7版] (法律学講座双書) 江頭 憲治郎著 弘文堂、2013年、¥4,000	※第6版(2010年) も使用可 スタディガイドあり	S-046	¥4,033	58	71	79
指・日本法制史	3	4	指定市販本 (各自購入)	『日本近代法制史』第2版 (新法学ライブラリー<29>) 川口 由彦著 新世社、2014年、¥3,600		S-047	¥3,644	58	72	79
指・西洋法制史	3	4	指定市販本 (各自購入)	『概説西洋法制史』 勝田有恒・山内進・森征一 ミネルヴァ書房、2004年、¥3,200		S-131	¥3,225	59	72	79
指・労使関係論	3	4	指定市販本 (各自購入)	『基礎から学ぶ労働法Ⅰ労働法総論・個別的労働関係法』(第3版) 金子 征史・藤本 茂・大場 敏彦・高野 敏春著 エイデル研究所、2012年、¥2,381	2017年に第4版発行 予定 2冊使用します	S-040	¥2,439	59	72	79
				『基礎から学ぶ労働法Ⅱ集団的労働関係法・社会保障法』(第2版) 金子 征史・藤本 茂・大場 敏彦編、エイデル研究所、2016年、¥2,300		S-041	¥2,370			
指・民事執行法	4	4	指定市販本 (各自購入)	『民事執行・保全法』[第4版] (有斐閣アルマ) 上原 敏夫・長谷部由紀子・山本和彦 有斐閣、2014年、¥1,900		S-044	¥1,941	59	72	—
指・社会経済学A	4	2	指定市販本 (各自購入)	『現代経済と経済学』(新版) 増田壽男・沢田幸治編 有斐閣、2007年、¥2,800	同一テキスト	S-088	¥2,826	60	73	79
指・社会経済学B	4	2						60	73	79
指・経済政策論A	4	2	指定市販本 (各自購入)	『マクロ経済学入門』 麻生良文著 ミネルヴァ書房、2009年、¥3,500		S-095	¥3,527	60	73	—
指・経済政策論B	4	2	指定市販本 (各自購入)	『公共経済学』(有斐閣アルマ) 林 正義・小川 光・別所俊一郎 有斐閣、2010年、¥2,300		S-096	¥2,330	61	74	—

2017年度 通信学習シラバス

民法総則

教科担当責任者：大澤 彩

担当者：大久保 慎太郎、大澤 彩
単位数：4 単位

※ 2017 年 4 月よりテキスト（指定市販本）変更

1 学習の到達目標 通則、人、法律行為、時効制度など、民法総則の基本知識・考え方を理解するとともに、高齢化社会、契約トラブルなど現代社会における法的問題について、民法総則の知識を生かして幅広い視点から考える力を身につける。

2 科目の概要 民法は、市民社会における市民相互の関係を規律する私法の基礎である。その中でも、民法総則には、市民社会の主体である人に関するルールから、契約を中心とする法律行為に関するルール、時効制度など、民法全体を把握する上で不可欠である基本ルールが定められている。本科目ではこれらの民法の基本ルールについて、判例の状況や学説の動向を理解し、民法の基本的な考え方を身につけることを目的とする。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 指定市販本『民法の基礎（1）・総則』第3版、有斐閣、佐久間毅、2008年、¥3,000+税

5 学習指導、注意点等 学習にあたっては、必ず六法を傍らに置くこと。もっとも、民法総則の条文には抽象的なものが多いので、条文を見ただけでは具体的な要件・効果が判然としないことがほとんどである。そこで、テキストを熟読し、各条文の要件・効果を判例や学説をふまえて具体的に理解することが必要となる。その際、判例や学説は必ずしも単一ではないことから、指定されたテキストはもちろん、推薦されている参考書や『民法判例集（総則・物権）』、『民法判例百選』等で判例や学説の理解を深めることが大切である。また、民法を勉強する上で判例は非常に重要な素材である。判例を理解するにあたっては、単に判例の結論のみにとらわれず、当該事案の具体的な内容や争点をふまえながらなぜそのような結論が提示されたのかを考察するよう努めてほしい。

さらに、総則の一部については改正が予定されている。審議経過や法案等は法務省の HP で確認すること。

憲法

教科担当責任者：建石 真公子

担当者：建石 真公子、土屋 仁美
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 第1に、近代憲法の原理を学ぶとともに、日本の憲法の特徴は何かを理解する
第2に、日本国憲法の保護している人権の内容、その保障の現状および課題について理解する
第3に、日本国憲法における統治機構、三権分立、違憲審査制、地方自治について理解する

2 科目の概要 この科目では、憲法という法を支えている「原理」、憲法制定の目的である「人権」、及び統治機構の原理と運用及びその課題について理解することを目的としている。

現在の国際社会の約 190 カ国において、ほぼどの国も「憲法」を制定している。しかし、具体的な内容や実際の運用において

は、各国の歴史や社会、宗教、国際関係などの影響により多様である。

日本は、最初の明治期の大日本帝国憲法、敗戦後の日本国憲法ともに、西欧の立憲主義を受容したものであり、それまでの日本の社会を制度的にも思想的にも大きく変えたという特徴を持っている。

この科目では、このように歴史や社会のあり方、国際社会などとの関係によって影響を受ける憲法について、憲法という法を支えている基本的な「原理」である国民主権や民主主義、権力分立、また人権の概念やその保障について理解することを目的とする。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたりレポートの内容を考慮する。

4 テキスト名および詳細 ・指定市販本『現代日本の憲法 [第2版]』、法律文化社、元山 健・建石真公子編、2016年、¥2,800+税

※初版（2009年）も使用可

【参考文献】

『（別冊ジュリスト）憲法判例百選Ⅰ 第6版』有斐閣、2013年
『（別冊ジュリスト）憲法判例百選Ⅱ 第6版』有斐閣、2013年

5 学習指導、注意点等 憲法の学習としては、まず、教科書を読み理解し、次に、教科書で参照されている判例について判例集を読んで具体的な事件との関係で理解する、というのが基本である。

まずは、近代憲法の原理、人権の基本原則をつかんだうえで、人権を保障し民主主義を維持する、という目的に照らして、裁判所や国会、行政などの仕組みを学ぶと理解しやすいだろう。

より深く学習するには、教科書に紹介されている論文や専門書を読み、また法学セミナー、法律時報、法学教室、ジュリストなどの法律雑誌に掲載されている関連する論文等を読むと興味が深まるだろう。

憲法は政治や歴史、国際関係と密接な関連を持っているため、日ごろから新聞などに目を通し、国内政治や国際政治等に関心を持ってください。

物権法

教科担当責任者：川村 洋子

担当者：川村 洋子、宮島 薫
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 ① 物権・担保物権法に関する民法上の制度の基本を正確に理解できること

② その知識を活用して、具体的な問題を解決する能力を身につけること

2 科目の概要 「物権法」は、物権と担保物権を学習する分野で、民法の条文としては、「第2編 物権」に含まれる 175 条から 398 条の 22 までを扱う。

民法上の権利は、財産上の利益を内容とする財産権と身分上の利益を内容とする身分権に大別され、財産権は物権と債権とに分かれる。債権とは特定人に対して特定人が一定の給付を求めることを内容とする権利であるのに対して、物権は、物を直接的・排他的に支配する権利を指す。物権の中心は、物の使用価値と交換価値に及ぶ完全な支配力を内容とする権利（使用・収益・処分権原）である所有権である。民法には、合意による所有権の移転プロセスを主に対象とする、物権変動に関する重要な規定がある。

この所有権のもつ価値支配権のいずれかのみを行使できるとどまるものを制限物権、或いは他人の所有物上に成立するという意味において他物権と呼ぶ。制限物権には、他人の土地の利用を内容とする用益物権（地上権、永小作権、地役権）と、（直接または間接的に）交換価値支配を主たる内容とする担保物権（留置権、先取特権、質権、抵当権）がある。

上記物権のほか、物を事実上支配していることに基づいて認められる占有権がある。物権としては沿革を引きずった特殊な権利であるが、占有に関する規定はとりわけ動産の所有権取得との関係で重要である。

全体としては、体系的に整った学習しやすい分野と言えるが、民法に規定がなくもっぱら取引社会の要請から判例法により定着した担保形態（譲渡担保に代表される非典型担保）があるなど、判例により形成された法理の学習が不可欠である。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 指定市販本『マルシェ物権法・担保物権法』第3版、嵯峨野書院、宮本健蔵編著他、2014年、¥3,600+税
※改訂第2版も使用可
※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 ① 物権法に限らず、およそ民法を学ぶに際しては、条文を必ず参照する習慣をつけること。条文を使いこなす能力を身につけていることが法学部生の強みである。

② 物権法・担保物権法上の基本的な概念を正確に理解すること。例えば、「所有権」とは、或いは「抵当権」とはいかなる権利か、「占有」と「占有権」の概念の違いはあるか、などの基本的理解に関わる問いに答えることができるためには、テキストを各概念の定義から丁寧に読みおこすことが必要である。

③ 同時に、上記基本概念は、訴訟において原告・被告が具体的な法的主張を行う根拠として機能する。例えば、「所有権」は所有権に基づく返還請求権を行使する局面で、また「留置権」は返還を拒絶する反論において、それぞれの攻撃・防御の主張を支える「道具」となる。このような実践的な展開を意識しながら、要件・効果を学習していくことが望まれる。

④ 民法は、各部分が他の部分と関連し合い、全体として有機的の一体をなしている。物権法・担保物権法を学習するに際しても、民法総則、債権総論、債権各論、親族法に関わる説明がなされているときは、できるだけ該当分野のテキスト・参考書を参照していただきたい。とりわけ担保物権法は、債権総論の責任財産保全制度や人的保証とともに、債権回収手段として活用されている分野であるから、債権法の知識を身につけていないと理解が難しい。さらに、担保物権のなかでも抵当権については、民事執行法の基礎的な知識があると、一層、理解を深めることができる。また、物権・担保物権に関するテキスト・参考書は当該権利そのものの説明が中心となるが、物権変動にせよ、用益物権・担保物権の設定にせよ、それを媒介するのは当事者間の契約であり（売買契約、抵当権設定契約など。法定の制限物権を除く）、契約法理を考慮すべき場面が多いことに留意していただきたい。

刑法総論

教科担当責任者：今井 猛嘉

担当者：内田 幸隆、内山 良雄
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 刑法総論の基本的な理解を得ることを目標とする。刑法総論では、犯罪の一般的な成立要件、刑罰の種類と内容について、概括的な理解を得ることを目指す。

2 科目の概要 刑法とは何が犯罪であるか、それに対してどのような刑罰が科されるかを問う学問領域であり、刑法典に沿って学習がなされる。このうち刑法総論では、刑法典総則（1条～72条）を基礎として各犯罪類型のいわば共通項としての一般的な要件（構成要件該当性、違法性、有责性）を中心に学習する。犯罪とは何か、犯罪者に科される刑罰とは何かについて、大まかな理解を得ることを目指す。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたレポートの内容を考慮する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『Legal Quest「刑法総論」』第2版、有斐閣、今井猛嘉・小林憲太郎・島田聡一郎・橋爪隆著、2012年、¥2,900+税

5 学習指導、注意点等 刑法総論の学習では、犯罪と刑罰の一般原理を学習するため、とすると、抽象的な話題に触れることも多くなる。これは、避けることができないが、具体的な事例を踏まえた学習を心掛けてもらいたい。

債権総論

教科担当責任者：宮本 健蔵

担当者：比嘉 正
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 債権総論を学習するにあたっては、テキストに掲げられた事柄に関する十分な基礎的知識の修得と法的思考力を涵養することが最も重要である。また、現実の取引関係から生ずる具体的な法律問題について法的な視点から自分で分析し検討しうる能力を養うことを目指して欲しい。

2 科目の概要 債権法は、物権法と並んで現代自由主義経済社会を法的側面から支える基礎法である。民法典は第3編で債権について規定するが、これは第1章総則、第2章契約、第3章事務管理、第4章不当利得、第5章不法行為の5つの章で構成される。

第2章以下は債権の発生原因ごとに規定したものであるが、第1章はこのような債権の発生原因とは無関係に、すべての債権に共通する事柄を定める。具体的には、債権の目的、債権の効力、多数当事者の債権および債務、債権の譲渡、債権の消滅である。債権総論はこれらを対象とするものである。

3 成績評価基準 成績評価にあたっては、①基本的な法的知識が身についているかどうか、②問題点の把握が十分になされているか、③判例や学説を踏まえた上で、論理的に論旨が展開されているかなどを考慮して行う。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『マルシェ債権総論』第2版、嵯峨野書院、宮本健蔵編著他、2010年、¥3,800+税

5 学習指導、注意点等

学習するに際しては、テキスト以外に次の参考文献を活用して下さい。

①「民法判例百選Ⅱ－債権」（第7版） 有斐閣

これは重要な判例を選んで解説したものです。これによって、具体的な事実関係と判旨、および当該判例の意義とこれに関する学説を理解することができます。

②「基本法コンメンタール－債権総論」（第4版） 日本評論社

これは条文毎にその意味と内容を解説したものです。各条文の意味が知りたいときは、これを読んで下さい。

③「法律学小辞典」有斐閣

法律の専門用語が分からないときにこれを使用します。すべての法律科目に共通して役立ちますので、是非これを手元において学習して下さい。

債権各論

教科担当責任者：川村 洋子

担当者：足利 沙緒理、川村 洋子
単位数：4 単位

1 学習の到達目標

- ① 契約の概念及び双務契約上の権利義務の発生・関係・消滅に関わるルールを説明することができること
- ② 民法に規定された契約類型についてその権利義務の発生・関係・終了に関わるルールを説明することができること
- ③ 基本型不法行為の類型並びに要件・効果、複合型不法行為の種類・適用領域並びに要件・効果、及びその他の法定債権（不当利得・事務管理）の基本的内容を説明することができること
- ④ ①から③の知識を活用して、具体的な問題を解決する能力を身につけること

2 科目の概要

「債権各論」は、民法第三編「債権」の第二章から第五章までの各種の債権発生原因を扱う。条文としては521条から724条にわたる、相当に広範な領域を対象とする。

債権は、その発生原因を基準にすると、契約的債権と、不法行為に代表される法定債権（事務管理、不当利得、不法行為）の二つに大別される。契約的債権に関する法は、さらに、契約総則（契約の成立、基本的効力、解除）と、13の契約類型（売買、贈与、賃貸借、使用貸借、消費貸借、請負、委任等）別に規定が置かれている契約各則に分かれる。法定債権を発生させる原因には、先に挙げた不法行為の他、不当利得と事務管理が含まれる。

いずれも、今日的な課題に直面している。契約法理を、契約当事者が私的自治としてつくりだす新しい契約現象を国による保障の結びつく契約関係として法的構成していく道具と捉えたとき（契約関係の構成システム）、どのような構成システムが有効であり得るか、を主体的に問わなければならない。また、産業革命以降の社会が生み出した現代的な過失（間接加害型）不法行為は、単純な過失行為から、危殆責任、医療過誤、広域被害までの広い振幅をもつ。明治期につくられた民法の不法行為の条文とのくい違いに対して判例がどのように対応し、また学説がどのような理論をもってそのくい違いを埋めようと試みているか、を学習することが不可欠な分野である。

3 成績評価基準

最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細

指定市販本『民法概論4 債権各論』補訂版、有斐閣、川井 健、2010年、¥4,700+税

5 学習指導、注意点等

- ① 債権各論に限らず、およそ民

法を学ぶに際しては、条文を必ず参照する習慣をつけること。条文を使いこなす能力を身につけていることが法学部生の強みである。

② 契約制度及び不法行為制度に関わる基本的な概念を正確に理解すること（不法行為における「過失」とは、或いは「不法原因給付」とは何か）。そのためには、まず各概念について説明している箇所を丁寧に読み、整理することが必要である。

③ さらに、契約も不法行為も古くから存在する法制度であり、時代の変遷とともにその役割を変容させつつ時代的適応を図ってきた制度である。したがって、基本概念や制度の歴史的生い立ち、社会的背景、それを問題処理基準とする紛争類型についての理解に努めるとともに、判例の展開とその意義や射程についての学習に力を注いでいただきたい。とりわけ、時代を画した判例（特に破棄判例）については、判決内容はもとより、その事実関係、原判決、上告理由まで押さえていくと、理解が深まる。

④ 上記基本概念は、訴訟において原告・被告が具体的な法的主張を行う根拠として機能する。例えば、「過失」は被告の不法行為を理由とする損害賠償請求権を行使する局面で、また「責任能力」は不法行為責任を免れるための反論において、それぞれの攻撃・防御の主張を支える「道具」の一つとなる。このような実践的な展開を意識しながら、要件・効果を学習していくことが望まれる。

⑤ 民法は、各部分が他の部分と関連し合い、全体として有機的の一体をなしている。債権各論を学習するに際しても、民法総則、物権・担保物権、債権総論、親族法に関わる記述が出てくるときは、できるだけ該当分野のテキスト・参考書を参照していただきたい。とりわけ契約法は、民法総則（人、意思表示など）や債権総論（債権の目的、受領遅滞、債務不履行、弁済など）と密接に関わることが多く、不法行為（債権侵害など）や不当利得（給付利得類型）においても契約法理との交渉が問題になる。

⑥ 法定債権を除く債権法分野については民法改正法案が近く成立すると見込まれており、改正法の適用は数年後と目されている。改正法の内容は、確立された判例法理の明文化を中心とするが、多数説をとりいれた領域などもあり、改正に備える意味でも現行の成果を十分に学習しておいていただきたい。

商法総則・商行為法

教科担当責任者：椋川 泰史

担当者：松谷 秀祐
単位数：4 単位

1 学習の到達目標

企業組織・企業取引に関してわが国ではどのようなルール・仕組みが用意されているかについて基本的な知識を修得しており、それらルール・仕組みの概要を説明することができる。

2 科目の概要

本科目は、商法（明治32年法律48号）第1編総則（第1条から第32条）、第2編商行為（第501条から第628条）を主たる対象とします。

具体的には、上記2編における重要な規定、および関連する重要判例について出題を行い、企業組織および企業取引の法的特色、基本的なルール・仕組みについて理解することを目標とします。

3 成績評価基準

レポートの完成度および単位修得試験の成績で評価する。

4 テキスト名および詳細

指定市販本『商法総則・商行為法』第4版、新世社、田邊光政著、2016年、¥2,980+税

5 学習指導、注意点等

- 本科目の学習に際しては、以下の5点について注意しながら学習を進めるよう心がけてください。
- (1) 概念や法技術の「つながり」を意識しながら学習を進める。
- 商法は他の法分野と比較して、なじみが浅く興味が持ちにくいと考えられがちです。確かに、商法の中には、特有な意味を有する特殊な概念や法技術が多く用いられています。しかし、それらの概念や法技術は、当然、一定の目的を達成するために、商法の中に用いられているのです。そこで、テキストを通読する際には、商法上の概念や法技術はそれぞれどのような目的や狙いを持っているのか、それぞれの概念や法技術は相互にどのような関連性を有しているのかという点に留意しながら読み進めていってください。そうすれば学習を進めていくにつれて、理解も深まり、商法の学習に興味を持てるようになるでしょう。
- (2) テキストを自分だけの本に加工する。
- ただ、漫然とテキストを読んでいるだけでは、情報が右から入って左から出ていくだけです。そこで、テキストを通読する際には、必ずペンなど筆記用具を持ちながら、読み進めていってください。
- その際、たとえば、条文の内容など、重要そうな概念を説明した箇所には赤のアンダーラインを引く、条文の文言が曖昧なために、判例・学説上争いがある箇所（このような箇所を「論点」とも言います。）には青のアンダーラインを引く、一読して意味がよくわからなかった箇所には「？」マークを余白に鉛筆で書く、というように、テキストを自分だけの本に加工していってください。最初は「？」マークだらけ、あるいは1ページ読み進めるのに1日かかることもあるでしょうが（私も法律の勉強を始めたころにはそうでした。）、着実に一步一步、歩みを進めていってください。
- (3) 常に傍らに六法、法律学小事典などを置いてテキストを通読する。
- テキストを読み進める際に、条文が出てきたら六法で該当条文を調べる、また、意味がわからない用語が出てきたら、有斐閣の『法律学小辞典』などの法律学辞典を調べるというくせをつけるようにして下さい。ごくまれに、テキストに書いてある文章を丸写しして、該当条文も調べない、自身で意味がよくわかっていない用語も調べていないリポートに出会いますが、そのような「手抜き」リポートは見た瞬間にわかります。一語一語、調べながら読み進めることは一見すると遠回りのようですが、実は、リポート合格、単位修得試験合格への一番の近道なのです。
- (4) 当事者の関係図などをメモにとりながらテキストを読み進める。
- テキストを読んでいると、多数の当事者が出てくる事例にも遭遇します。たとえば、次のような事例があります。「XはA会社に対する貸金債権の担保のためA会社からアンゴラ毛糸を譲渡担保にしていた。A会社の倒産後、Xはこれを換価処分しようとしたが、Xは金融業者であり、自ら買主を探すことはできなかったため、A会社の代表に毛糸の売却を依頼し、BはこれをYに売却した。Bは毛糸の売買の際、Xのためにすることを示さず、また、Y会社はその毛糸がA会社よりXに譲渡担保に供されていたことを知らなかった。XがY会社に代金を請求したところ、Y会社はA会社に対する反対債権と売買代金債務を相殺したと主張した（テキスト179ページ）。」どうでしょうか。一読して、当事者関係および事案の流れを明確に把握できたでしょうか。テキストではこのような複雑な事例が多く出てきますので、そのような事例に遭遇した際には、頭の中だけで悩むのではなく、実際に当事者関係の図（例：X→A会社代表B→Y）や、時系列の図（例：譲渡担保→倒産→代理行為）を付箋やノートに書きながら読みすすめていってください。
- (5) 商法総則・商行為法はそれ自体で完結した科目ではないこ

とに注意する。

シラバス冒頭で商法総則・商行為法は企業の組織及および取引に関する科目であると説明しましたが、企業の組織および取引に関する規定の全てが商法・会社法に定められているわけではありません。

そのため、テキストを読み進める際、また、リポート作成の際、あるいは単位修得試験の対策の際には、他分野、特に、私人間の関係について広く一般的に規定した民法に関する知識が必要不可欠になります。

通学部あるいは通信教育部を問わず、受講生から、商法総則・商行為法の内容が難しい、理解できないという質問をよく受けるのですが、実はその悩みの主たる原因は、基本となる民法の知識及び思考方法が身につけていないことである場合が多いと感じています。ですから、遠回りのように感じるかもしれませんが、まずは民法各科目のテキストあるいは、たとえば、野村豊弘『民事法入門〔第6版〕』（有斐閣、2014年）などを通読し、民法の規定についてひととおり学習（復習）した上で、本科目の学習を始めると理解度が全く異なったものになるでしょう。

会社法

教科担当責任者：柴田 和史

担当者：笹久保 徹

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 会社法の重要かつ基礎的な知識を習得すること。

- ① 株式会社および持分会社に関する会社法上の制度の基本を正確に理解すること。
- ② 上記の知識を活用して、具体的な問題を解決する能力を身につけること。

2 科目の概要 株式会社に関する会社法上の基礎知識を学習する。

「会社法」は、2005年（平成17年）に単独法典として成立したものであり、株式会社および持分会社について規定する。それ以前においては、1899年（明治32年）以来、現行商法典の中に株式会社および持分会社に関する多くの規定が存在していた。したがって、会社法が成立する以前に株式会社や持分会社を勉強した人は、株式会社・持分会社に関する規定は、会社法〇〇条ではなく、商法〇〇条として記憶している。

会社法において重要かつ基本的なことを述べておこう。

株主になろうとする者が、通常、一定の金額の金銭を出資すると、株式会社に対する請求権の束としての「株式」が生じる。株式を表章する有価証券が株券である。株券を持つ者は、正当に株式を有するということが推定される。正当に株式を有する者を「株主」という。株主は、出資した金銭の集積されたものをうまく運用してその金額を増加させるために「取締役」を選任する。取締役は、①法令・定款・株主総会決議を遵守し、②善管注意義務を尽くし、③忠実義務を遵守しながら、株式会社の経営を行なわなければならない。取締役は会社の経営をうまく行い、剰余金を産出しなければならない。取締役が会社を営んだ結果として剰余金を産出した場合、株主は、その剰余金をさらなる出資に当てることもできるし、また、自分たちが受け取り、個人的に消費することもできる。この産出された剰余金のうち、株主が受け取るころの金銭を「配当」という。わが国には、約250万社の株式会社が存在し、その中の約4000社の株式会社の株式のみが金融商品取引所に上場され、常に売買されている。このような株式を上場株式という。上場株式は、多

くの場合、その需要供給のバランスから株価が定まる。上場株式を有する株主にとっては、配当が増加すること、および、上場株式の株価が上昇することが、利益となる。

会社法は、比較的、まとまった法体系を規定しており、その意味では、学習しやすい法律といえることができる。なお、条文のほかに、判例によって形成された部分も少なからず存在するので、判例法についても十分に注意を払わなければならない。

3 成績評価基準 最終評価は単位修得試験で評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 柴田和史著『会社法詳解〔第2版〕』（商事法務、2015年）、¥5,400+税
※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 六法等を開いて会社法の条文を参照しつつ、指定したテキスト（柴田和史著『会社法詳解〔第2版〕』）をていねいに読み込むこと。また、電車の中など時間のあるときに、参考図書の柴田和史著『ビジュアル 図でわかる会社法（日経文庫）』（日本経済新聞出版社、2014年）を見てほしい。

① 会社法に限らず、およそ商法・民法・会社法・手形法などを学ぶに際しては、必ず条文を参照する習慣をつけること。六法を愛用し、とまかく、六法の必要なページを開く習慣を身につけて欲しい。このようにして物事の根拠となる条文を使いこなす能力を習得していることが、法学部生の最大の長所である。
② 会社法で用いられている基本的な概念を正確に理解すること。たとえば、「株式」とは何か、「忠実義務」とはいかなる義務か、「株式」と「株券」の違いを正確に説明できるか、「吸収合併」と「株式交換」はどこが異なるか、などの基本的理解に関わる問いに答えることができるためには、テキストに述べてある各概念の定義や説明を丁寧に注意深く読むことが必要である。

③ 会社法は、比較的、ほかの法律の知識を必要としないで理解することのできる法律といえる。もちろん、民法における契約や債権債務関係の知識、不法行為に関する知識などは当然の前提として要求される。しかし、もっとも大きな問題は、全文で979条もあり、そのうえ、各条文が長いこと、六法のページ数を比較すれば、民法典の約2.5倍の分量があるということである。したがって、会社法に関しては、各条文がどのような内容を規定しているかを理解することが最初の大きな仕事となる。

④ 会社法においては、「株主」、「取締役」、「監査役」、「会社債権者」などが、基本的な登場人物である。取締役が具体的に会社法上のなんらかの行為をするとき、場合によっては、株主の利益を増加させ、同時に、会社債権者の不利益を増加させることがある。また、場合によっては、その逆のことがある。さらに、場合によっては、株主の不利益を増加させ、取締役の利益を増加させることがある。このように、会社法で規定されているさまざまな事象は、誰かと誰かの利害関係を緊張させる場合が多く、会社法は、その問題をさまざまな法的テクニックを駆使することによりバランスの取れた結論が導かれるように条文を設定している。学生は、条文の定めた内容をただ丸暗記するのではなく、ぜひそのあたりを理解した上で、会社法を内容豊かなものとして学んで欲しい。

学習に際して、指定テキスト（柴田和史『会社法詳解〔第2版〕』（商事法務、2015年））以外にも以下の図書が参考となる。

1. 柴田和史著『ビジュアル 図でわかる会社法（日経文庫）』（日本経済新聞出版社、2014年）、¥1,000（税抜）
2. 柴田和史著『類型別 中小企業のための会社法〔第2版〕』（三省堂、2015年）、¥2,800（税抜）
3. 北村雅史＝柴田和史＝山田純子著『現代会社法入門〔第4版〕』（有斐閣、2015年）、¥2,900（税抜）
4. 近藤光男＝柴田和史＝野田博著『ポイントレクチャー会社法〔第2版〕』（有斐閣、2015年）、¥3,800（税抜）

5. 岩原紳作ほか編『会社法判例百選〔第3版〕』（別冊ジュリスト229号）（有斐閣、2016年）、¥2,400（税抜）

なお、以上の参考図書を利用する場合に改訂版が出版されているときは、改訂版を参考にすること。

刑法各論

教科担当責任者：今井 猛嘉

担当者：今井 猛嘉、若林 豪史
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 刑法とは何が犯罪であるか、それに対してどのような刑罰が科されるかを検討する学問領域であり、刑法典に沿った学習がなされる。刑法各論では刑法典各則（77条～264条）、その他の刑罰法規における個別的成立要件を具体的に検討する。

学習の中心は個人的法益に対する罪になるが社会的法益に対する罪、国家的法益に対する罪等も適宜、学習が指示されることになる。

2 科目の概要 刑法各論では刑法典各則（77条～264条）の条文に基づき、その具体的な意義の解釈を通じて、犯罪（例えば、殺人罪、窃盗罪）が如何なる場合に成立するのか、これを犯した者にはどのような刑罰が予定されているのかを学習する。総論の学習と同様に、条文、判例、学説についての学習が要請されることになる。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたりレポートの内容を考慮する。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『刑法各論』今井猛嘉、第1版、2015年

5 学習指導、注意点等 刑法各論の学習では、具体的な犯罪（例えば、殺人罪、窃盗罪）が、どのような場合に成立するのかを、判例を通じて具体的に理解することが重要である。そこで、学習に際しては、総論の学習と同様に、条文を読み、関連する判例を確認し、その上で教科書を熟読することで確認するという作業を続けてもらいたい。

国際法総論

教科担当責任者：田中 佐代子

担当者：田中 佐代子、土屋 志穂
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 現代国際法の総論分野について基本的な法制度を説明できるようになることが、最低限の到達目標である。

これに加えて、各法制度の歴史的展開と今日の実態を、その背景にある国際社会のあり方をふまえながら深く理解することが求められる。それにより、日々生起する国際問題を法的視点からどのように捉えるべきかを自ら考えるための基礎を築くことが、最終的な到達目標である。

2 科目の概要 国際法は国際社会の法であり、主として主権国家相互の関係を規律する。このうち、国際法総論では、現代国際法の特徴（国内法との比較、近代国際法との比較）、法源、条約法、国際法と国内法の関係、国家、外交関係法、国家管轄権、裁判権免除、国際組織法の概要、国家責任法、国家領域など

を扱う。

詳細は、スタディガイド（学習指導書）参照。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 指定市販本『講義国際法』第2版、有斐閣、小寺 彰・岩沢雄司・森田章夫、2010年、¥4,300+税 ※【スタディガイド（学習指導書）】あり（スタディガイドは、2016年3月一部補訂しました。）

5 学習指導、注意点等 国際法総論で扱われる内容には理論的色彩の強い問題も多いが、それについて論じる実際的な意義がどこにあるのかを常に意識しながら学習することがきわめて重要である。そのための一つのポイントとして、判例については『国際法判例百選〔第2版〕』（有斐閣、2011年）をはじめとする判例集で事実の概要と判旨を確認し、当該事件の位置づけを理解しなければならない。

また、ある主題について学説対立があるような場合には、単に、学説の内容を知るだけではなく、それぞれの主張の背景にどういった問題意識があるのかまで学ばなければならない。（つまり、「A説とB説があり、現在では後者が一般的である」といったことを知るだけの平面的な理解では不十分である。その学説は、どのような時代状況において、あるいはどのような利害対立の中で、何のために提示されたものだったのか、学説の相互関係はどのようにになっているのか、などに注意しなければならない。例えば「B説はA説のどのような問題を克服しようとするものなのか」とか「B説が一般的になった今でもA説をとる論者がいるのはなぜか」といったことまで考えてみる必要がある。そのようにして学説対立を立体的に把握する努力をすることで、国際法総論の学習は格段に面白くなる。）

学習の際には、テキストに出てきた条文を必ず条約集で確認しなければならない。複数の種類の条約集が出版されており、いずれを使用してもよいが、『国際条約集』（有斐閣）または『ベーシック条約集』（東信堂）を推奨する。

その他の詳細は、スタディガイド（学習指導書）参照。

行政法
教科担当責任者：西田 幸介
担当者：氏家 裕順、西田 幸介 単位数：4 単位 ※ 2016 年 4 月よりテキスト変更（指定市販本 → 通教テキスト）

1 学習の到達目標 (1) 行政法における基本的な概念（行政行為、行政契約、法律による行政の原理など）について、正確に説明することができる。
(2) 行政主体（国や地方公共団体など）と私人との法律関係を把握することができる。
(3) 行政主体と行政機関の関係について、正確に説明することができる。
(4) 行政の各種の行為（行為形式）について、それぞれの概念や分類、法的規制の概略について、正確に説明することができる。
(5) 行政の実効性確保について、その手段、それに対する法的規制の概略について、正確に説明することができる。
(6) 行政法の基本原理、行政組織および行政作用について、それが抱える問題点や現代的課題を理解し、その解決策を論じることができる。

2 科目の概要 行政法とは、行政に関する、それに特有の

法をいう。行政法が他の法分野と大きく異なるのは、行政法という名前の法律が存在していないこと、言い換えれば、一般法典を欠くところにある。この科目では、このような行政法について、その基礎的な事項を学ぶ。そこで取り上げられるのが、個別の行政領域に見られる各種の法律問題ではなく、行政の全領域にわたって通用する一般的な法理であることに注意が必要である。

行政法は、行政法総論、行政組織法、行政作用法および行政救済法に分けて、検討されるのが一般的である。この科目では、行政と行政法の意義、行政法の基本原理、行政組織法の基本概念、各種の行政の行為とその法的規制について学ぶ。これらは、上の行政法の諸領域のうち、行政法総論、行政組織法および行政作用法に属する。行政救済法については、別に同名の科目が開設されている。

行政作用とは、行政主体の活動を指し、これを規律するのが行政作用法である。行政作用は人権に関わる。たとえば、営業規制は営業（職業選択・職業活動）の自由を、建築規制は財産権を、それぞれ規制するものであるし、生活保護は生存権を実現するためのものといえる。この意味で行政法は、人権侵害に対抗するための法律論である。

行政の行為とは、行政主体ないし行政機関が行政作用として行う行為のことをいう。従来から行政法学が考察の対象としてきた行政の各種の行為として、行政による規範制定（法規命令と行政規則）、行政計画、行政行為、行政契約、実力行使（即時強制と強制執行行為）および行政指導がある。これら行政の行為が恣意的に行われてはならないことはいくまでもない。そこで、行政の行為に対しては、実体・手続の両面から各種の法的規制が行われている。これら行政の行為のうち、行政行為は、これまで行政法学において最も重要なものと考えられてきた。このため、行政行為の法理について、より詳細に検討する必要がある。その具体的内容は、①行政行為の効力、②行政行為の瑕疵、③行政行為の手続、④行政行為の職権取消しと撤回、⑤行政裁量である。伝統的に行政法学では、行政作用ないし行政の行為の議論のほとんどは行政行為論に当てられてきた。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は提出されたりレポートの内容も考慮する。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『行政法』第1版、西田幸介著、2016年

5 学習指導、注意点等 一般的な注意点として、学習に当たっては、まず指定されたテキストおよび参考書を通読することが必要である。また、教科書の各項目を学ぶに当たっては、関連する法律の条文や判例（の原文）を必ず通読すること。

行政法を学ぶに当たっては、やや抽象的な法概念を理解する必要がある。抽象的なものを抽象的に考えていても、普通は理解できないので、具体的な問題と関連づけながら学ぶのがいいだろう。行政法で登場する概念の多くは、食品衛生法、都市計画法、建築基準法などの個別行政分野の諸法律を解釈するための道具である。このため、これらの法律を参考にとることなく、行政法を理解することはほぼ困難である。行政法の学習には、判例を読むことといった実定法のどの法分野でも必要なことに加えて、行政法学が作り出した道具概念を具体例としての個別法を参照しつつ理解することが不可欠といえる。

行政救済法

教科担当責任者：西田 幸介

担当者：氏家 裕順、西田 幸介
単位数：4 単位

- 1 学習の到達目標** (1) 行政救済に関する主要法律（行政事件訴訟法、行政不服審査法、国家賠償法）について、その概要を正確に説明することができる。
- (2) 行政活動をめぐる紛争について、その具体的事案に応じて、紛争解決にとって適切と考えられる法的手段を選択し、その適否を論じることができる。
- (3) 行政事件訴訟について、抗告訴訟と当事者訴訟の区別を理解し、抗告訴訟のうち取消訴訟について、その訴訟要件や判決について、正確に説明することができる。
- (4) 行政上の不服申立てについて、その類型、申立要件、裁断行為（裁決・決定）、抗告訴訟との違いについて、正確に説明することができる。
- (5) 国家賠償について、国家賠償責任の類型、類型ごとの成立要件、民法が定める不法行為責任との違いについて、正確に説明することができる。
- (6) 損失補償について、その要否と内容、国家賠償との違いについて、正確に説明することができる。

2 科目の概要 「行政救済法」では、別に開講されている「行政法」の内容を前提に、行政救済に関する法を取り上げる。行政救済とは、行政作用によって不利益を受けこれを不服とする私人が、行政を相手に自己の権利利益を主張して、その回復を求めるための制度をいう。これは、行政争訟と国家補償とに区別される。行政争訟は行政作用をめぐる争訟（ないしそのための制度）であり、行政事件訴訟や行政上の不服申立てを含む。国家補償とは行政作用を中心とする国家活動により損害または損失を受けた私人がそれに対する賠償または補償を求めるための制度の総称である。

行政事件訴訟は、行政作用について争いがある場合に利害関係者または法定の原告からの訴訟の提起に基づき裁判所が特殊な訴訟手続を通して争いを解決するものである。行政上の不服申立ては、行政をめぐる紛争につき私人が行政機関に不服を申し立て、行政機関の裁断により紛争を解決するものである。

国家賠償とは、国家賠償法に基づいて、国家が私人に対し違法に損害を与えた場合にそれを填補することをいう。不法行為に基づく損害賠償の一種である。国家賠償責任には公権力行使責任と営造物管理責任が含まれる。損失補償とは、国家が私人に対してした適法な行為により加えられた財産上の損失を填補することをいう。これは、個人の財産に対する公用収用が行われたときに、それを原則として金銭で填補するものである。その典型例として、土地収用の場合の補償を挙げることができる。

行政救済の主要な手段は行政事件訴訟であるといえるが、行政上の不服申立てや国家賠償・損失補償が果たす役割は必ずしも小さいものではない。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は提出されたレポートの内容も考慮する。単位修得試験は、論述式により、出題される各論点に関する正確な知識とともに、適確に行政救済法を理解することができているかを問うものとする。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『判例から考える行政救済法』榊原秀訓・岡田正則・本多滝夫（編著）日本評論社、2014 年、2,500 円+税

5 学習指導、注意点等

一般的な注意点として、学習に当たっては、まず指定されたテキストおよび参考書を通読することが必要である。また、教科書の各項目を学ぶに当たっては、関連する法律の条文や判例（の原文）を必ず通読すること。

行政救済法の学習に当たっては、判例を欠かすことができない。というのも、法律学の学習において判例法理を知ることが大切であると同時に、行政救済法は、行政活動をめぐる紛争を解決し、被害者を救済するためのものであって、その学習において、現実被害者がどのような救済されたのか（あるいは救済されなかったのか）を具体的に考えながら学ぶことが大切であるからである。

労働法

教科担当責任者：藤本 茂

担当者：沼田 雅之、藤本 貴史、山本 圭子
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 （労働法総論・労働契約法）労働法の意義、目的を正確に把握し、労働契約法の仕組みを理解することが望まれる。

（労働基準法）労働基準法、最低賃金法など労働法規における労働条件基準を正確に理解することが目標である。

（労働組合法）労働組合の機能、団体交渉、争議行為等団体行動の法的保障と限界を正確に理解することが目標である。

2 科目の概要 労働者と使用者との労働関係を規律する労働法を個別的労働関係法と集団的労働関係法の二つに分けて学習する。近年、前者の個別労働関係法領域において、労働契約法や労働審判法などの新しい法律が制定されたり、労働基準法の大きな法改正がなされたりするなど、動きが激しい。他方、後者の集団的労働関係法領域についても、最近、労働組合法の改正がなされている。こうした絶えず法制度の改編が進む労働法のダイナミックな動きを具体的テーマに即してテキストをよく読んで、理解を深めてほしい。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 ・指定市販本『基礎から学ぶ労働法Ⅰ労働法総論・個別的労働関係法』第3版、エイデル研究所、金子征史・藤本 茂・大場敏彦・高野敏春著、2012 年、¥2,381+税・指定市販本『基礎から学ぶ労働法Ⅱ集団的労働関係法・社会保障法』第2版、エイデル研究所、金子征史・藤本 茂・大場敏彦編、2016 年、¥2,300+税

なお、上記指定テキスト『基礎から学ぶ労働法Ⅰ』は 2017 年に第4版が発行される予定である。学習開始時に第4版が発行されている場合は、その版を使用すること。

5 学習指導、注意点等 ・労働法は憲法 25 条の生存権保障理念の実現を労働者に保障することを目的とする一連の法体系である。こうした目的の実現を図るために、憲法では、労働者に対して、27 条で、労働権保障・労働条件基準の法定化要求などを定めるとともに、28 条で、団結権、団体交渉権、その他団体行動権を保障している。こうした労働者の権利の実現を具体的に定める法が労働法である。こうした労働法は、大別すれば、憲法 27 条に基づく個別的労働関係法（労働基準法、最低賃金法、労働契約法など）の法体系と、憲法 28 条に基づく集団的労働関係法（労働組合法、労働関係調整法など）の法体系によって構成されているが、今日の労働者の置かれた状況を見ると、雇用保障法領域や社会保障法領域なども、労働者の生存権保障にとって

は重要な意義を有する労働法のもう一つの法体系となっている。
 ・労働法の学習は、まず、労働法の意義をあきらかにし、労働者に保障されている具体的労働法の内容を理解するところから始めなければならない。大学での限られた時間のなかで学ぶ労働法の対象は、そのすべてに及ぶわけではないが、少なくとも個別的労働関係法の中心となっている労働基準法、労働契約法、さらに、集团的労働関係法の中心となっている労働組合法は必ず学ばなければならない。

そのうえで、余力があれば、社会保障法や雇用保障法にまで手を伸ばして勉強できればさらに充実した労働法の学習になると思われる。使用テキストは、社会保障法など労働法の関連法領域にまで意を尽くして記述しているので、テキストを丁寧に読んで学ぶことを心掛けてほしい。学問に王道はないといわれるが、労働法の世界でもまったくそのとおりであるので、テキストを熟読したうえで、レポートを作成してほしい。

民事訴訟法
教科担当責任者：倉部 真由美、杉本 和士
担当者：杉本 和士 単位数：4 単位

- 1 学習の到達目標** (1) 民事訴訟手続の全体の流れを理解する。
 (2) 民事訴訟手続を支える基本理念を理解する。
 (3) 民事訴訟手続における個別の問題について、これまでに展開されてきた学説の議論および判例の考え方を理解する。
 (4) 民事訴訟手続に関する具体的な事例に、適切な条文を適用し、上記の到達目標に掲げた内容を踏まえて、基本的な解釈論を自ら展開する。

2 科目の概要 この講義では、判決手続に関する民事訴訟法を学修する。民事訴訟法に限らず、およそ手続法と呼ばれる法分野の学習にあたっては、その具体的な時系列上の手続の流れと手続全体に通底する審理構造や基本原理の双方を把握する必要がある。加えて、手続法は、手続の運営に関して技術的な規律を多く含むが、これらの規律は常に上記の手続全体の流れと審理構造との関係において理解し習得しなければならない。その上で、具体的な民事紛争を念頭に置きながら、民事紛争の解決という観点からみて民事訴訟がどのような性格を有しているのか、また、具体的にはどのような手続として運営されているのかについて理解するとともに、民事訴訟における概念や訴訟の審理構造について基本的な理解と知識を修得することを目的とする。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する（なお、十全なりポート学習を前提とする）。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『民事訴訟法』第6版補訂（有斐閣Sシリーズ）、有斐閣、上原敏夫・池田辰夫・山本和彦、2012年、¥1,700+税

5 学習指導、注意点等 民事訴訟法の学習に限らないが、法律学の学習は、教科書や体系書を1回通読して全体を十分に理解することは難しい。このことを覚悟の上で、辛抱して繰り返しテキストを読み返すことである。まずは、細かい点、わからない点にこだわらずに、ざっと全体を一読し、民事訴訟手続の全体的な流れを大まかに把握することに努めて欲しい。

なお、テキストを通読する前に、福永有利＝井上治典著・中島弘雅＝安西明子補訂『アクチュアル民事の訴訟』（有斐閣、補訂版、2016年）や山本和彦『よくわかる民事裁判』（有斐閣、第2

版補訂、2008年）を一読することを強くお勧めする。いずれも民事訴訟手続の具体的な流れを小説風に解説する本であり、いずれか一冊を読めば、民事訴訟の第1審手続の概要を具体的に把握することができるであろう。

次に、手続の段階ごとに、発展的な学習に挑戦してもらいたい。この段階では、指定するテキストだけではなく、必要に応じてより詳しい教科書や参考文献を読むことが望ましい。参考文献として、判例については、高橋宏志＝高田裕成＝畑瑞穂編『民事訴訟法判例百選〔第5版〕』（有斐閣、2015年）、個別の論点については、伊藤眞＝山本和彦編『民事訴訟法の争点』（有斐閣、2009年）を挙げておく。

学習の際して、丁寧に条文を参照し、条文を起点として理解する習慣を身につけることが必須であることは、民事訴訟法の学習に限られない。

刑事訴訟法

教科担当責任者：田中 開

担当者：田中 開
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 刑事訴訟法について、判例・実務を中心としつつ、主要な学説も含め、基本的な理解を得ることを目的とする。

2 科目の概要 まず捜査では、逮捕・勾留、捜索・押収の学習が基本となる。その学習を基礎に、捜査上の諸問題にアプローチするのがオーソドックスな学習方法である。その上で、（被疑者の）取調べの学習に進めば、分かりにくいこの問題の理解も容易となる。公訴の提起については、「審判の対象」論がポイントとなるが、それは「裁判の効力」論と有機的に関連していることを意識しながら学習する必要がある。次いで公判については、証拠法の学習が中心となる。もっとも、証拠法の学習には事実認定論が前提となるので、ここでは幅広い常識が要求されることを忘れてはならない。というのも、事実認定とは、経験則に基づく推論を本質とするものだからである。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『刑事訴訟法』第2版、福井 厚、2008年

5 学習指導、注意点等 最新の判例等は以下の参考文献で確認すること。

【参考文献】

- 井上正仁・大澤裕・川出敏裕編（別冊ジュリスト）「刑事訴訟法判例百選」（第10版）（2017）有斐閣
- 井上正仁・酒巻匡編（ジュリスト増刊）「刑事訴訟法の争点」（新・法律学の争点シリーズ6）（2013）有斐閣
- 長沼範良・田中開・寺崎嘉博著「刑事訴訟法」（第5版）（2017）有斐閣

国際法各論

教科担当責任者：田中 佐代子

担当者：田中 佐代子、土屋 志穂
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 現代国際法の各論分野について基本的な法制度を説明できるようになることが、最低限の到達目標である。

これに加えて、各法制度の歴史的展開と今日の実態を、その背景にある国際社会のあり方をふまえながら深く理解することが求められる。それにより、日々生起する国際問題を法的視点からどのように捉えるべきかを自ら考えるための基礎を築くことが、最終的な到達目標である。

2 科目の概要 国際法は国際社会の法であり、主として主権国家相互の関係を規律する。このうち、国際法各論では、海洋・空域・宇宙といった国家領土以外の空間、個人の地位、人権、国際紛争の平和的解決、武力行使・武力紛争の規律などを扱う。詳細は、スタディガイド（学習指導書）参照。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 指定市販本『講義国際法』第2版、有斐閣、小寺 彰・岩沢雄司・森田章夫、2010年、¥ 4,300+税 ※【スタディガイド（学習指導書）】あり（スタディガイドは2016年3月一部補訂しました。）

5 学習指導、注意点等 学習の際には、テキストに出てきた条文を必ず条約集で確認しなければならない。複数の種類の条約集が出版されており、いずれを使用してもよいが、『国際条約集』（有斐閣）または『ベーシック条約集』（東信堂）を推奨する。

判例については『国際法判例百選〔第2版〕』（有斐閣、2011年）をはじめとする判例集で事実の概要と判旨を確認し、当該事件の位置づけを理解する必要がある。

本科目の学習には、国際法総論で扱われる内容についての理解が前提となる。テキスト第1章～第9章を参照しながら学習を進めることが重要である。

その他の詳細は、スタディガイド（学習指導書）参照。

刑事政策

教科担当責任者：須藤 純正

担当者：田内 清香
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 ①近時の刑事政策に関する「犯罪を予防・鎮圧するための方策」、「犯罪者及び非行少年の処遇」、「犯罪被害者の支援施策」等の国際及び国内社会の動向を理解すること。②その理解を深めることにより、人生における「自分で考え、意見を表明する力」を養うこと。

2 科目の概要 「刑事政策」には、犯罪対策のためになされる活動自体を意味する「事実としての刑事政策」と、事実としての刑事政策を研究対象とする科学という意味での「学問としての刑事政策」との2つの意味がある。

「学問としての刑事政策」を取り上げるこの科目のテーマは、犯罪を予防・鎮圧するためには、どのような立法上、司法上、行

政上の強制措置、または多機関連携による支援施策を講ずることが最も合理的であるかを研究することである。具体的には、刑罰論、犯罪者及び非行少年の処遇を扱う。

また、「犯罪学」とも呼ばれる研究領域が含まれることとなり、犯罪原因論、犯罪被害者の救済、ホワイトカラー犯罪をはじめとする各種犯罪の特徴及びこれらへの対策についても検討する。

ここでのテーマは法解釈学ではなく、手法として法学のほか、社会学、経済学、心理学、生物学といった種々の科学が関連している。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験によって評価するが、評価の際は先に提出されたりレポート及びスクーリング試験の内容も考慮する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 川出敏裕・金光旭著『刑事政策』2012年、成文堂、¥3,500+税

5 学習指導、注意点等 ここでのテーマは、事実としての刑事政策を研究対象とするため、例えば、犯罪白書を参考とするなどして、犯罪情勢、司法的処遇、施設内処遇、社会内処遇の動向等についての統計的なデータを踏まえることが必要となる。

また、死刑存廃論、厳罰化の功罪、司法的・社会的処遇における各種再犯防止施策、少年法の改正、司法取引等の「アップ・ツー・デートな問題」とも大きく関わっているため、近時の新聞、ニュースで取り上げられている時事的な論点についても広く関心を持って、現代の社会事象を洞察することが有益である。

そうした意味からも図書館を大いに活用し、テキストのみならず、紹介されている参考文献を積極的に数多く読むことが大いに望まれる。

教育法

教科担当責任者：藤本 茂

担当者：村元 宏行
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 2006年に教育基本法が全面改正され、2007年には学校教育法、教員職員免許法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（いわゆる教育三法）の大幅な改正があり、わが国の教育法制は大きく転換されてきている。その結果、教育法の意義や対象も従来のままでよいのか、抜本的に検討されなければならない。教育法学者の間でも再検討が必要とされてきている。他方、今日の学校では、いじめ問題をはじめとしたさまざまな現実的問題も生じてきており、教育法理論の重要性がいまほど必要とされることはない。こうした転換期の教育法について時代状況を把握したうえで学び取ることが教育法の目標である。

2 科目の概要 教育法の定義については諸説あるが、ここでは、教育法は、憲法26条で規定された「教育基本権」「教育人権」を保障するための法体系のあり方について考究することを目的とする現代法学の一領域である。しかし、学説では、教育法の定義に関する見解は分かれていて、今日でも、依然として議論が深められているとは言い難い状況にある。

戦後のわが国における教育法は、国家による教育内容統制から、いかに国民の教育の自由を守るのかといった視点からの研究が深められてきたが、近年では、このような伝統的な教育法学説に加え、学校現場での、いじめ、体罰やその他の学校事故などの多発化のなかで、社会的にこうした事件に対する対策の必要性が強く求められてきていることから、これらの事件の原因と対策の究明などが広く求められてきている。

こうした状況を踏まえて、教育法では、教育法の理念と構造（教育法の定義）、近年における教育法の動向などを踏まえ、まず、わが国教育法制度のしくみと内容を学ぶことが必要である。その上で、いじめ、体罰など「子ども問題」、幼保一元化、養護施設、非行問題など「教育と福祉問題」、教科書検定、全国学力テスト、君が代・日の丸問題など「教育活動」、「学校運営・教育措置」、「教職員問題」、「教育行政問題」など、具体的事例を用いて学ぶことが肝要となる。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと）。問題の的確なとらえ方とその法的処理が確実にできているかどうかが問われる。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『ガイドブック教育法〔新訂版〕』、三省堂、金子征史ほか編、2015年、¥2,800+税

5 学習指導、注意点等 科目概要で述べたように教育法の定義を明確にしたうえで学ぶ必要がある。テキストでは、定義に関する理論的異同を明確に認識し、教育基本権、教育人権の視点から体系的に教育法を考えることを試みる必要がある。

また、今日的な具体的教育事件について、その事実関係の正確な把握をしたうえで、それが教育法的にどのような問題があるのか、そしていかなる法的効果があるのかといったことを、各具体的事案ごとに考察しなければならない。テキストは、こうした問題にかなり広範囲にわたって検討する手法をとっているため、よくテキストを読むことから始めて欲しい。

親族法・相続法

教科担当責任者：和田 幹彦

担当者：足利 沙緒理、和田 幹彦

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 （親族法）学説や判例を覚えるだけでなく、「答えは一つではない」との大前提の下に、「自分の頭で考え」、親族法の説得的な解釈論を展開できる実力を身につける。（相続法）学説や判例を覚えるだけでなく、「答えは一つではない」との大前提の下に、「自分の頭で考え」、相続法の説得的な解釈論を展開できる実力を身につける。

2 科目の概要 民法典の「第四編 親族」「第五編 相続」の法解釈（と、一部は望ましい法改正案）を取り上げる。

履修内容：1. 導入：親族法・相続法の民法典における位置付け
2. 親族法

- ・親族：親族の意義と範囲
- ・婚姻：婚姻の成立 婚姻の効力（夫婦同氏／夫婦別氏） 夫婦財産制 法律婚と事実婚
- ・離婚：協議離婚 裁判離婚（破綻主義離婚） 離婚給付 離婚と子
- ・親子：実子（嫡出子・非嫡出子と認知・準正・人工生殖）
- ・養子：普通養子 特別養子
- ・親権と後見（任意後見・成年後見を含む）
- ・扶養：扶養と社会保障 扶養義務の二類型 扶養当事者 扶養の順位
- ・氏と戸籍

3. 相続法

- ・相続の意義と根拠
- ・法定相続人・相続分
- ・相続の効果
- ・相続の過程：相続の開始 遺言の有無 相続の承認・放棄 遺産分割

・遺言と遺留分

3 成績評価基準 （親族法）単位修得試験により、100 点満点で評価。

（相続法）単位修得試験により、100 点満点で評価。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 『家族法』〔第4版〕（新法学ライブラリ9）二宮周平著、新世社、2013年、¥3,250+税 ※ 2013年11月以前に通信教育課程に入学した者に限り、同書・第3版（2009年）の使用も許可するが、経済的に可能ならば、第4版を入手することを、強く勧める。

5 学習指導、注意点等 (1) 民法典「第四編 親族」と「第五編 相続」は「家族法」と呼ばれ、親族法・相続法とも言われます。家族法は、結婚・相続などよく聞く身近な話題についての規定です。結婚する人もしない人も、知れば役に立つ。相続は誰もが体験します。「限定承認・放棄」を知ると、親の借金の子が負担しなくても良い方法もわかります。家族法は身近な法律なのです。だからおもしろい。そして、役に立ちます。

(2) 2014年度から指定する新たな教科書：二宮周平著『家族法・第4版』とします。「時代の波にもまれる家族法——夫婦別氏・成年後見・人事訴訟法、そして人工生殖・遺伝学」について、詳しい解説が載った最新の教科書だからです。メディアでも取り上げられた以下の最高裁判例の事件も載っています：ア）高田延彦・向井亜紀さんが第三者の女性に依頼した代理母出産事件の嫡出子関係の成否；イ）夫の死後の、夫の凍結精子を用いて出産された子と、夫の間の父子関係の成立の可否。しっかり勉強してください。

(3) このシラバスを書いているのは、2016年11月22日です。2015年12月16日に、現在の民法の「（強制的）夫婦同氏」（「選択的夫婦別氏」が無いこと）は合憲であり、「女性の待婚禁止期間（6か月）」は「100日を超える部分は違憲である」という趣旨を、最高裁大法廷が判決を出しました。後者については、国会は、速やかに民法を改正しました。女性の再婚禁止期間を離婚後6カ月間とする規定を100日に短縮し、離婚時に妊娠していないことなどを証明できれば禁止期間内でも再婚を認めるとする改正民法が2016年6月1日に国会を通過しています。上記の教科書には載っていませんが、図書館で判例集や当時（2015年12月、2016年6月）の新聞解説を読むなど、しっかり学んでおくようにして下さい。

手形法・小切手法

教科担当責任者：椋川 泰史

担当者：金尾 悠香、清水 真人

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 手形も小切手もそれ自体は徐々に使われなくなってきた道具ですが、そこで用いられている解釈技術は、民法（特に債権法）の理解を深め、現代的な決済システムにも応用できる有用な知識ですので、これを身につけるように努めていただきたいと思います。

2 科目の概要 手形には約束手形及び為替手形があります。わが国では、約束手形が主に利用されています。

手形（以下、小切手も含む）の総論（たとえば、手形行為など）を学び、さらに手形の振出、譲渡及び支払などを勉強します。

3 成績評価基準 最終成績は、単位修得試験により評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『商法Ⅲ手形・小切

手』第4版（有斐閣Sシリーズ）、有斐閣、大塚龍児・林靖・福瀧博之著、2011年、¥2,100+税

5 学習指導、注意点等 民法総則・債権法を履修していることが望ましい。

保険法・海商法
教科担当責任者： 神谷 高保
担当者： 遠山 聡 単位数： 4 単位

1 学習の到達目標 商法第3編海商の規定および平成22年に施行された保険法、国際海上物品運送法などの規定のみならず、各種約款や標準契約書式などを含めた実務的な内容を含めた契約ルールを正確に理解したうえで、従来の判例や学説における議論の状況を踏まえて、保険・海商分野における紛争解決を目的とした法の解釈適用を適切に行えるようになることを目標とします。

2 科目の概要 保険法では、①損害保険契約、②生命保険契約、③傷害保険や疾病保険などの生命保険以外の人に関する保険契約（損害保険としての性格を有するものも、生命保険のような定額保険としての性格を有するものもあります）について、(a) 保険契約成立の際の告知義務などが問題となる段階から、(b) 保険契約が締結された後の契約の変動（通知義務や広く危険の変動など）、(c) 保険事故が発生したときの保険金の支払い、そして、(d) 保険契約の終了、といった各段階に適用される各種のルール（準則・規制）について、そのようなルールが用意されている目的、そのようなルールの問題点や限界といったものを理解していただきたいと考えています。最近の最高裁判所の判決の中に占める保険関係の判例の重要度も高まっています。

また、海商法は、大別して、海上企業の組織（船舶などの物的組織、船主や船長といった人的組織）に関するルール、取引や活動（海上運送取引と船荷証券、海上売買取引など）に関するルール、海上危険（共同海損、海難救助、船舶衝突など）との関係者の利害調整（海上保険）ルールなどがあり、とくに、この科目では、海上運送に関係する様々なルールを理解していただきたいと考えていますので、国際海上物品運送法など、統一条約に基づいた国際ルールの内容も重要です。

3 成績評価基準 最終成績は、単位修得試験により評価します。ただし、レポート学習もしっかり行うこと。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『商取引法』第7版、弘文堂、江頭憲治郎著、2013年、¥4,000+税
第6版（2010年）も使用可
※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 上記テキストは内容が実務的で難解な箇所が少なくないため、スタディガイドを参考にしつつ、他の参考書等も利用しながら、一つ一つ丁寧に理解を深めてください。

日本法制史

教科担当責任者：**川口 由彦**

担当者：**宇野 文重**
単位数：**4 単位**

1 学習の到達目標 現代日本法は、制定法を主体とし、六法典を中心に据えるという形態をとっている。しかし、このようなあり方は、必ずしも近代法一般の態様ではない。近代国家の下でも、判例法を主体とする国もあるし、法典主義の国でも法典の数が異なることはよくあるからである。

なぜ、日本の近代法はこのような姿なのか、それはどのような経緯を経てそうなったのかを理解するのがこの科目の目標である。

2 科目の概要 人類社会は、生まれたときから何らかのルールをもってきた。それは、形態、内容、実質、執行システム等いずれも多様なものである。

法といわれているものは、こうしたルールの中のあるグループのことなのだが、こうしたグループは、歴史上発生を見た社会もあれば、発生しなかった社会もある。日本社会は、幸か不幸か、この法というグループをもつにいたった社会である。

しかし、そうはいっても、この法という社会規範は、国により民族により、時代によりきわめて多様で、簡単に一般論を語らせてくれない難物である。

この難物を扱うには、いろいろな方法があるが、各時代の人々から「法」と呼ばれたものをピックアップして相互に比較し、そのうえで、おのおのの特徴を捉えるというのは有効なアプローチの方法である。法史学という学問の意義も一つには、そのあたりにある。

この科目では、明治以降の、通常「近代法」と呼ばれる「法」のあり方を座標軸とした、今日の法の特徴を考えてみたい。

現代日本法は、ほとんどが明治期に作られたものである。試みに六法をみてみよう。すると、民法の制定年は明治29年（1896年）となっていて19世紀の産物であることがわかる。商法も明治32年（1899年）と19世紀の産物である。刑法は、明治40年（1907年）制定だから、何とか20世紀の所産といえるが、いずれにせよ明治時代の産物で、しかも、この刑法は、明治13年（1880年）に制定された刑法（旧刑法）の条文をかなりひきずっているから、やはり、歴史ある法典といえる。日本の法典には、一世紀以上の長い歴史があるのである。

このような法は、一体どのようにして、どのような考え方の下でつくられたのか。考えてみれば、これら諸法典は、封建領主支配が解体してから、ほんのわずかの年数を経て外国法を摂取しつつつくられているのだから、その営為たるや驚異的といえる。

この急速な法の形成は、当然ながら、江戸時代にみられた法との「断絶」を生み出した。この「断絶」には、封建法から近代法への変化という他国にも共通してみられるものと、日本的なものから西欧的なものへの変容という二様のものがある。

しかも、こうした「近代法」の形成は、一概に既存の法との「断絶」とのみは特徴づけられず、すぐれて日本的なもの・東アジア的なものの継承という要素を多分に残したものであった。

この科目では、このような諸契機、諸要素が、どのように絡み合っているかに焦点をあてつつ、日本の「近代法」の形成過程を考察したい。

3 成績評価基準 論述式筆記試験によって単位を認定する。その際、テキストで触れられた重要法令の特徴を正確に理解しているかないかを重視する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 川口由彦『日本近代法制史』第2版、2014年、新世社、¥3,600+税

5 学習指導、注意点等 教科書、参考書（「設題総覧」に記載）を読んで学習すること。

西洋法制史

教科担当責任者：高 友希子

担当者：高 友希子、藤野 奈津子
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 ・日本が、明治以来受け入れてきた西洋の法制度や法システムを、歴史的視点から理解する。
・西洋中世・近代法を中心に考察することにより、西洋近現代法の形成・発展過程を理解する。
・法理や法システム形成・発展の背景となった社会や文化についても、併せて理解する。

2 科目の概要 西洋法制史は、西洋における法の歴史を、法理や法制度、法システムだけでなく、それらが形成・発展する背景となった社会や文化を踏まえて理解していく科目である。日本が明治以来、西洋の法制度や法システムを導入してきたことを踏まえると、西洋における法の歴史を知ることは、日本近現代法を理解していくうえで大きな助けとなるはずである。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかり行うこと。）

4 テキスト名および詳細 指定市販本 『概説西洋法制史』、ミネルヴァ書房、勝田有恒・森征一・山内進編著、2004年、¥3,200+税

5 学習指導、注意点等 学習にあたっては、指定されたテキストを通読することが必要である。更に理解を深めたい場合、各章の末尾にある「もっと学びたい人のために」に記載されている各種文献を参照するとより学習効果があがるであろう。ただし、指定されたテキストは世界史の知識があることが前提となっているので、世界史に自信のない場合には、予め西洋史のテキストを通読しておくことを薦める。西洋史のテキストについては、気に入ったものでよいと思われるが、参考までに『教養のための西洋史入門』、『大学で学ぶ西洋史』を挙げておきたい。

労使関係論

教科担当責任者：藤本 茂

担当者：大原 利夫
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 かつてわが国の労使関係は、終身雇用制で年功加俸式賃金制度をとることが一般的で、なおかつ企業別労働組合を特徴としていた。それが日本の戦後経済復興を実現してきた支えでもあった。しかし、こうした日本的雇用慣行は、高度経済成長の終焉とともに徐々に崩れ始めてきたといわれてから久しい。今日では、労働人口の3分の1強を非正規労働者が占めるに至り、労使関係のありようが様変わりしてきた。労使関係論では、こうした労使関係の構造的変化を直視して、その現実と問題点、将来的展望を学びとることに目標設定をしてほしい。

2 科目の概要 近年、日本の雇用慣行が緩やかに崩壊し、

労使関係のあり方も様変わりしつつある。経済のグローバル化や産業構造の変容等により、労働者の働き方や処遇のあり方も大きく変化している。本講義では、こうした状況を踏まえて雇用関係や労使関係に関する主要テーマを取り上げながら、労使関係において急速に進んでいる変化を追っていくことにしたい。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかり行うこと。）テキストをよく読み、正確に労使関係の課題を把握し、考えてほしい。

4 テキスト名および詳細 ・指定市販本『基礎から学ぶ労働法Ⅰ労働法総論・個別的労働関係法』第3版、エイデル研究所、金子征史・藤本 茂・大場敏彦・高野敏春著、2012年、¥2,381+税・指定市販本『基礎から学ぶ労働法Ⅱ団体の労働関係法・社会保障法』第2版、エイデル研究所、金子征史・藤本 茂・大場敏彦編、2016年、¥2,300+税

5 学習指導、注意点等 労使関係のありようは、今日はきわめてダイナミックな動きのなかにある。したがって、我々は現実の動向に眼を奪われがちになるが、それでもこの問題も基本的には歴史的展開を顧みるなかで考えなくてはならない。そうすることによって、将来を展望することもできるようになるからである。その意味では、やはりテキストに忠実に取り組む勉強をする必要がある。

ただ、労使関係論は社会の様々な問題と深くかかわっているので、テーマごとに経済、経営、国の政策、国際関係、法的構造など多面的に勉強しなければならないものでもある。したがって、日常的に新聞などを通じた社会全体の動きを綿密にチェックするよう心掛けてほしい。

民事執行法

教科担当責任者：廣尾 勝彰

担当者：廣尾 勝彰
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 「民事執行法（昭和54年法律4号）」及び「民事保全法（平成11年法律91号）」に係る基本条文と基礎概念・理論を正しく理解すること

2 科目の概要 まず総論として、「請求権の実現」、「民事執行法と民事執行の概念」、「執行手続の種類・意義」、「民事執行手続の理念と基本構造」について学ぶ。
つぎに各論として、＜執行手続の主体＞との関係では、「執行当事人」、「執行機関」、「執行機関の処分に対する不服申立て」について、＜強制執行手続の開始と進行＞との関係では、「強制執行の要件」、「債務名義」、「執行文」、「執行の対象」、「執行関係訴訟」、「執行手続の進行」について、＜金銭債権の実現（金銭執行）＞との関係では、「不動産に対する強制執行」、「船舶等に対する強制執行」、「動産に対する強制執行」、「債権及びその他の財産権に対する強制執行」について、＜非金銭債権の実現（非金銭執行）＞との関係では、「物の引渡し・明渡しの強制執行」、「作為・不作為の強制執行」、「意思表示の強制執行」について、＜担保権実行手続および換価のための競売＞との関係では、「担保権実行制度の意義」、「担保不動産競売」、「担保不動産収益執行」、「動産競売」、「債権その他の財産権に対する担保権の実行」、「留置権による競売・換価のための競売」について、＜民事保全手続＞との関係では、「保全命令の発令手続」、「不服申立手続」、「保全執行」について学ぶ。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。

(ただし、レポート学習もしっかり行うこと。)

4 テキスト名および詳細 指定市販本『民事執行・保全法』第4版(有斐閣アルマ)、有斐閣、上原敏夫・長谷部由紀子・山本和彦、2014年、¥1,900+税

5 学習指導、注意点等 テキストを読む前に、「目次」をコピーする。
テキスト読む前後に、「目次」のコピーを参照する。
テキストに出できた条文は、六法ですべて確認する。
テキストは、3回以上繰り返し読む

社会経済学 A

教科担当責任者：原 伸子

担当者：相沢 裕紀、原 伸子
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 1. 資本主義経済システムの歴史的性質を理解すること。
2. 現代資本主義において生起する諸問題を基礎理論にまでさかのぼって理解するための概念を習得すること。

2 科目の概要 社会経済学の対象は歴史的に存在し発展する資本主義社会の経済システムです。したがって社会経済学の内容を理解するためには歴史的視点が重要になってきます。歴史的視点とは、われわれが生活する資本主義社会およびそれを理論化する体系を動的にとらえ、展開することです。すなわち、18世紀末から19世紀初頭の産業革命によって成立した資本主義社会、20世紀初頭の独占資本の成立と国家の介入、戦後の福祉国家体制、グローバリゼーションと福祉国家の変容などを理解するための理論体系を学びます。社会経済学Aでは、価値・商品(市場システム)、資本の生産の基礎理論に重点をおきます。

3 成績評価基準 成績は規定にもとづいて、レポートと試験で評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『現代経済と経済学[新版]』、有斐閣、増田壽男・沢田幸治編、2007年、¥2,800+税

5 学習指導、注意点等 学習は本来、受動的なものではなく、主体的に行われるものです。通信教育課程はそのような本来の学問姿勢がまさに試される場です。日頃から現実に対する問題関心を持ちながら勉学に励むことによって、充実した学生生活を送ることができるでしょう。レポート作成にさいしては、テキストをよく読んで与えられた課題に正確に答えることがまず前提になりますが、それとともに、現実に対する自らの問題意識との関連性が問われる場でもあります。質問も含めて積極的な取り組みに努めてください。

社会経済学 B

教科担当責任者：原 伸子

担当者：相沢 裕紀、原 伸子
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 1. 資本主義経済システムの歴史的性質を理解すること。
2. 現代資本主義において生起する諸問題を基礎理論にまでさかのぼって理解するための概念を習得すること。

2 科目の概要 社会経済学の対象は歴史的に存在し発展する資本主義社会の経済システムです。したがって社会経済学の内容を理解するためには歴史的視点が重要になってきます。歴史的視点とは、われわれが生活する資本主義社会およびそれを理論化する体系を動的にとらえ、展開することです。すなわち、18世紀末から19世紀初頭の産業革命によって成立する資本主義社会、20世紀初頭の独占資本の成立と国家の介入、戦後の福祉国家体制、グローバリゼーションと福祉国家の変容などを理解するための理論体系を学びます。社会経済学Bでは、資本蓄積(雇用・失業・成長)、社会的再生産、競争と価格、信用、農業、産業循環、福祉国家の危機(新保守主義の登場)などを理解するための基礎理論に重点をおきます。

3 成績評価基準 成績は規定にもとづいて、レポートと試験で評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『現代経済と経済学[新版]』、有斐閣、増田壽男・沢田幸治編、2007年、¥2,800+税

5 学習指導、注意点等 学習は本来、受動的なものではなく、主体的に行われるものです。通信教育課程はそのような本来の学問姿勢がまさに問われる場です。日頃から現実に対する問題関心を持ちながら勉学に励むことによって、充実した学生生活を送ることができるでしょう。レポート作成にさいしては、テキストをよく読んで与えられた課題に正確に答えることがまず前提になりますが、それとともに、現実に対する自らの問題意識とその関連性が問われる場でもあります。質問も含めて積極的な取り組みに努めてください。

経済政策論 A

教科担当責任者：小黒 一正

担当者：小黒 一正、持元 江津子
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 ①古典派の理論を学び、経済成長の諸要因を理解する。②ケインジアン理論を学び、景気変動の諸要因を理解する。③財政金融政策がマクロ経済に及ぼす短期的・長期的影響を理解する。

2 科目の概要 経済政策は非常に範囲が広いが、その理解や考察には「マクロ経済学」「公共経済学」の知識が必要不可欠である。このうち前者の「マクロ経済学」には二つの対立する考え方が存在する。一つは市場の円滑な機能を前提に組み立てられた「古典派」の理論であり、もう一つは(少なくとも短期的には市場が円滑に機能しないことを前提に)財に対する総需要の大きさが財の総供給や経済全体の所得を決定すると仮定する「ケインジアン」の理論である。このどちらの理論が妥当かという判断によって、財政政策・金融政策をはじめ、マクロ経済政策の処方箋が異なってくる。そこで、「経済政策論A」では、財政政策・金融政策との関係を含め、現代的な「マクロ経済学」の基礎的な内容を学んで欲しい。

3 成績評価基準 成績評価は100%「単位修得試験」による。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『マクロ経済学入門』ミネルヴァ書房、麻生良文著、2009年、¥3,500+税

5 学習指導、注意点等 現在のマクロ経済学は応用ミクロ経済学の色彩を強めており、本来はミクロ経済学の基礎知識が履修の前提となるが、本科目のテキスト(『マクロ経済学入門』麻生良文、ミネルヴァ書房、2009年)は、そのような知識がない初学者でも学習できるように構成されている。なお、本テキ

ストには一定の数式が登場するが、「古典派」「ケインジアン」の理論が対立する形式で記載されている良書であるため、意欲的に取り組んで欲しい。

なお、以下の書籍も有益である。

マンキュー『マンキュー経済学Ⅱ マクロ編』東洋経済新報社（入門用）

マンキュー『マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ』東洋経済新報社（中級）

福田慎一・照山博司『マクロ経済学・入門』有斐閣アルマ

スティグリッツ『スティグリッツ マクロ経済学』東洋経済新報社

経済政策論 B

教科担当責任者：小黒 一正

担当者：小黒 一正、持元 江津子

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 ①「政府の役割」や「価格メカニズムの役割」を理解する。②公共財の供給決定メカニズムや外部性の解決方法を理解する。③課税や公債の負担、財政政策の効果について理解する。

2 科目の概要 経済政策は非常に範囲が広いが、その理解や考察には「マクロ経済学」「公共経済学」の知識が必要不可欠である。このうち後者の「公共経済学」では「政府の役割」「価格メカニズムの役割」を考察しつつ、政府はどの分野に干渉すべきで、どの分野は市場に任せておけば良いのかという議論を扱う。また、「政府の失敗」「市場の失敗」が起こる原因や解決方法、課税や公債の負担、財政政策の効果についての理解も重要である。そこで、「経済政策論 B」では、公共財の供給決定メカニズムを含め、現代的な「公共経済学」の基礎的な内容を学んで欲しい。

3 成績評価基準 成績評価は 100 %「単位修得試験」による。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『公共経済学』（有斐閣アルマ）、有斐閣、林 正義・小川 光・別所俊一郎、2010 年、¥ 2,300+税

5 学習指導、注意点等 理論経済学と財政学の学際分野である「公共経済学」は応用ミクロ経済学の一分野として位置づけられ、本来はミクロ経済学の基礎知識が履修の前提となるが、本科目のテキスト（『公共経済学』（林正義・小川光・別所俊一郎、有斐閣、2010 年）は、そのような知識がない初学者でも学習できるように構成されている。なお、本テキストには一定の数式が登場するが、所得税や消費税といった税制の根本問題や公債の負担に関する議論を丁寧に考察している良書であるため、意欲的に取り組んで欲しい。

なお、以下の書籍も有益である。

スティグリッツ『公共経済学 上』東洋経済（入門用）

スティグリッツ『公共経済学 下』東洋経済（入門用）

麻生良文『公共経済学』有斐閣（中級）

井堀利宏『基礎コース公共経済学』新世社（中級）

井堀利宏『公共経済の理論』有斐閣（上級）

2017年度 設題総覧

— リポート設題と参考文献 —

14515

指①／指②・民法総則

2 設題 (4 単位)

※ (指①・民法総則) テキスト経過措置期間：～2019年3月迄

- 第1回 (1) 1. Aさんは自己が代表者となっているボランティア団体（経済的困難を抱えている家庭の子供達に物資の提供を行うことを主たる活動内容としており、約100名からなる団体である）を法人化したいと考えている。この場合に関して次の3つの問いに答えなさい。
- ①民法その他の特別法によればどの種類の法人になることが考えられ、その場合、どのような手続きで当該法人になることができるのかについて、複数の法人類型を候補にあげつつ論じなさい。
 - ②法人になった場合のメリット、および、法人になった場合に民法34条の規定によって活動内容にどのような制約が生じるかについて論じなさい。
 - ③仮に法人になることができなかった場合、このボランティア団体は法的にどのような団体として扱われるかについて論じなさい。
- 第2回 (1) 民法の学説・判例上、いわゆる動機の錯誤が「法律行為の要素の錯誤」にあたるか否かについてどのように考えられているか、議論の内容および民法改正法案における新規定でこの問題に対してどのような立法的対処がなされたかをふまえて論じなさい。

参考文献

民法総則のスタンダードな概説書として、

- 佐久間毅『民法の基礎 I 総則』（第3版）有斐閣、2008年、¥3,000
- 大村敦志『基本民法 I』（第3版）有斐閣、2007年、¥2,800
- 佐久間毅ほか『リーガルクエスト民法1 総則』有斐閣、2010年、¥2,600
- 河上正二『民法総則講義』日本評論社、2007年、¥3,900
- 内田貴『民法 I』（第4版）東京大学出版会、2008年、¥3,300
- 四宮和夫・能見善久『民法総則』（第8版）弘文堂、2010年、¥3,300
- 滝沢昌彦『民法がわかる民法総則』（第3版）弘文堂、2015年、¥2,000

判例教材として、

- 内田・山田・大村・森田編『民法判例集総則・物権』（第2版）有斐閣、2014年、¥2,900
- 潮見・道垣内編『民法判例百選 I 総則・物権』（第7版）有斐閣、2015年、¥2,100
- 奥田・安永・池田編『判例講義民法1』（第2版）悠々社、2014年、¥3,600

論点ごとの発展的な学習のために、

- 内田・大村編『民法の争点』有斐閣、2007年、¥3,000
- 鎌田薫ほか編『民事法（1）総則・物権』（第2版）日本評論社、2010年、¥3,900
- 山野目章夫ほか『ひとりで学ぶ民法』（第2版）有斐閣、2012年、¥2,600

民法総則に関する読み物として興味深いものとして、

- 大村敦志『民法読解 総則編』有斐閣、2009年、¥5,200
- 大村敦志『もうひとつの基本民法1』有斐閣、2005年、¥2,200
- 河上正二『民法学入門 民法総則講義・序論』（第2版増補版）日本評論社、2014年、¥3,000

民法改正法案の内容については、法務省の法制審議会民法（債権関係）検討部会のサイト等で確認すること。

14501

指・憲法

2 設題 (4 単位)

- 第1回 (1) 自己決定権とはどのような権利ですか。解釈、判例をあげて説明しなさい。
- 第2回 (1) 「統治行為」について、違憲審査制の意義、三権分立に留意し、判例をあげて説明しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

第1回 (1) の自己決定権については、憲法13条の解釈を理解したうえで、人格権については指定テキストに掲載の判決を参照し、また「エホバの証人輸血拒否事件」（最高裁判決2000年2月29日）、「外国での代理懐胎による出産における子と依頼母との親子関係」に関する最高裁判決（2007年3月23日）などの参照が望ましい。

第2回 (1) の「統治行為」に関しては、テキストの「司法権」の定義から「司法権の限界」が合理性をもつかを記述してください。

またテキストの「憲法訴訟」の項目を勉強し、「統治行為」は違憲審査制の意義から見て合理性をもつのかについても検討してみてください。

参考文献

- 芦部信喜著・高橋和之編『憲法』第6版、岩波書店、2015年、¥3,100
- 長谷部恭男ほか編『ケースブック憲法』第4版、弘文堂、2013年、¥4,900

14516

指・物権法

2 設題 (4 単位)

第1回 (1)〔動産の譲渡担保と即時取得〕

A は、B から事業資金の貸付けを受けるにあたって、他に目ぼしい物件がなかったため、自己の営む町工場の大型工作機械甲を担保としてBに譲渡し、占有改定の方法で対抗要件を具備した。その後も、AはBの了承のもとに甲を使用して事業を続けていたが、再び運転資金に窮し、甲をBと同様の方法でCに担保として譲渡して、Cからも貸付けを受けた。

返済期限経過後もAが借入金を弁済しないので、Cは甲の引渡しをAに求めたが、Aは、先にBに対して担保に供したのだから、Cに引き渡せないと述べた。

この場合、①CはAに引渡しを請求できるか、②仮にCが無理やり甲を引き取ってしまった場合、BはCに対して甲の返還を求められるか、を検討しなさい。

第2回 (1)〔抵当権の効力〕

A銀行はB社に対して1億円を融資し、2008年2月1日、貸付債権を担保するためにB所有の甲建物に抵当権の設定を受け、その旨の登記を経由した。2010年3月、B社が約定期日に弁済をせず債務不履行に陥ったため、Aは抵当権に基づいて競売の申立を行おうと考えて、現地におもむいたところ、Cが「C金融」の看板を掲げて甲建物を占有し、建物内にも立ち入れない状態になっていた。

Aは、甲建物の抵当権を実行する準備のために、甲建物を占有者がいない状態にしたい。以下の(1)、(2)の場合に分けて、Aが、BおよびCに対していかなる請求ができるか、検討しなさい。

(1) Cが甲建物を不法占拠している場合

(2) Cが、2009年12月1日、Bから甲建物を、期間5年、賃料月額200万円、敷金5千万円の約定で借り受けて、甲建物に入居している場合（適正賃料は月額50万円とする）

設題解答にあたっての解説・注意等

解答にさいしては、結論だけを述べるのではなく、必ず法律上の根拠をあげて説明すること。

参考文献

- 指定テキスト
- 佐久間毅『民法の基礎2 物権』有斐閣、2006年、¥2,400
- 道垣内弘人『担保物権法』第3版、有斐閣、2008年、¥3,200
- 高木多喜男『担保物権法』第4版、有斐閣、2005年、¥3,900
- 川井健『民法概論2 物権』第2版、有斐閣、2005年、¥4,600
- 田井義信他『新 物権・担保物権法』第2版、法律文化社、2005年、¥3,800
- (古典的体系書として) 我妻栄『新訂 物権法(民法講義Ⅱ)』岩波書店、1983年、¥4,700
- (古典的体系書として) 我妻栄『新訂 担保物権法(民法講義Ⅲ)』岩波書店、1968年、¥6,200
- 潮見・道垣内編『民法判例百選Ⅰ』(別冊ジュリスト223号)第7版、有斐閣、2015年、¥2,100
- 松本・潮見編『判例プラクティス 民法Ⅰ』信山社、2010年、¥3,600
- その他の体系書、判例集

14521

指・刑法総論

2 設題 (4 単位)

第1回 (1)「過剰防衛」について、問題の所在を明らかにし、学説の状況を分析したうえで、各自の意見を論述しなさい。

第2回 (1)「被害者の承諾」について、問題の所在を明らかにし、判例および学説の状況を分析したうえで、各自の意見を論述しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

学説を分析する際には、「何を主張しているか」だけでなく、「なぜ、そのように主張するのか」を意識し、自説を論述する際には、結論だけ述べるのではなく、そのように考える理由を明示すること。判例は、教科書、参考書等に紹介されている要旨で済ませず、必ず原文を参照すること。参考文献は、以下に掲記するものだけでなく、それらに引用されている文献を「芋づる式に」網羅してゆく労力を惜しまないこと。記述内容について責任の所在（どこの誰が書いたか）が明示されていない情報（たとえば、インターネット上の匿名の記述）を参照してはならない。

参考文献

- 山口厚『刑法総論』第2版、有斐閣、2007年、¥2,900
- 井田良『講義刑法学・総論』第1版、有斐閣、2008年、¥3,900
- 大塚裕史『刑法総論の思考方法』第4版、早稲田経営出版、2012年、¥4,000
- 高橋則夫『刑法総論』第2版、成文堂、2013年、¥4,000
- 曾根威彦・松原芳博『重点課題刑法総論』第1版、成文堂、2008年、¥2,700

14517

指・債権総論

2 設題 (4 単位)

- 第1回 (1) AはBからBの唯一の所有不動産である甲・乙2筆の土地(時価各3000万円)を時価相当額で譲り受けたが、未登記である。その後、BはCから2回にわたり各2000万円の融資を受けた。
CからBへの融資後、BからAへの移転登記がなされ、Bは現在無資力である。CはAに対し債権者取消権を行使することができるか。
AB間の売買契約が、BC間の2回の消費貸借契約の中間時点でなされていたらどうか。
CがBから上記2筆の土地を代物弁済として譲り受け、BからCへの移転登記がAより先になされた場合のAC間の法律関係を論ぜよ。
《参考判例》
1. 大判明治44年10月3日民録538頁
2. 大判昭和3年5月9日民集7巻329頁
3. 最判昭和36年7月19日民集15巻7号1875頁
4. 最判昭和53年10月5日民集32巻7号1332頁
- 第2回 (1) Aは所有する自動車が故障続きのため、それを秘して、Bに60万円(時価は80万円相当)で売却し、代金の支払は60日後とした。
Aは、Bに対する代金債権を、全く事情を知らないCに譲渡し、Bに債権譲渡の承諾書を書かせた(Bは単に署名してしまった)。
Bは買った自動車が故障続きで、修理費がかさむため、Aに対し売買契約の解除の意思表示をし、代金の返還請求をした。
しかし、Aはこれを見逃し、Cも代金支払期日到来後、60万円をBに請求した。
Bは、Cの請求を拒絶できるか検討せよ。仮にCが債権の譲受当時、噂として、Bが故障がちな自動車を知らずに買ったことを聞いていたとするとどうなるか。
《参考判例》
1. 最判昭和42年10月27日民集21巻8号2161頁

設題解答にあたっての解説・注意等

解答にあたっては、事実だけを列挙して結論を導くのではなく、論点を整理したうえで、理由づけをしっかりと書いて説明して下さい。

参考文献

- 宮本健蔵『マルシェ債権総論』第2版、嵯峨野書院、¥3,800
- 山田卓生他『分析と展開 民法Ⅱ債権』第2版、弘文堂、¥3,200
- 中田裕康他『民法判例百選Ⅱ』第7版、有斐閣、¥2,095

14518

指・債権各論

2 設題 (4 単位)

- 第1回 (1) [契約の成立と契約類型]
① 民法は何をもって契約が成立したと評価するか、以下に列挙した語を必ず用いて説明しなさい。
「合致」「申込」「到達主義」「書面」
② 贈与契約が売買契約と共通している点と異なっている点をそれぞれ述べなさい。
- 第2回 (1) [自動車事故をめぐる法]
① 22歳のAは、両親と同居して両親の営む農業を手伝いながら資格試験の勉強をしていた。ある日、Aは、父Bの所有する自動車を運転して映画に行く途中、信号のない横断歩道を渡っていたCを見落としてひいてしまった。重傷を負ったCは、誰に対していかなる請求ができるか、説明しなさい。
② 上記の例で、被害者Cが左右を確認せずに突然飛び出てきていたとしたら、そのCの行為はどのように評価されるか。(a) Cが成人である場合、(b) Cが3歳の幼児である場合、(c) Cは3歳の幼児だが、付き添っていた保育士Dが目を見失った隙に飛び出した場合、に分けて検討しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

解答にさいしては、結論だけを述べるのではなく、必ず法律上の根拠をあげて説明すること。

参考文献

- 指定テキスト
- (鳥瞰しやすいものとして) 我妻栄他『民法2』第3版、勁草書房、2009年、¥2,200
- 平井宜雄『債権各論Ⅰ上 契約総論』第3版、弘文堂、2008年、¥2,300
- 平井宜雄『債権各論Ⅱ 不法行為』弘文堂、1992年、¥2,140
- 藤岡康宏他『民法Ⅳ債権各論』第3版補訂版、有斐閣(Sシリーズ)、2009年、¥2,400
- 中田・窪田編『民法判例百選Ⅱ』(別冊ジュリスト224号)第7版、有斐閣、2015年、¥2,200
- 松本・潮見編『判例プラクティス 民法Ⅱ』信山社、2010年、¥3,600
- その他の標準的な債権各論の体系書

14519

指・商法総則・商行為法

2 設題 (4 単位)

第1回 (1) (架空の事例であり、実在の企業・施設名とは一切関係ない。)

X 株式会社は、「金沢ハイランド」という名称で長年経営していた遊園地事業(遊園地自体は会社ではない。)を Y 株式会社に譲渡した。Y は当該遊園地の名称を「新金沢ハイランド」に変更した一方で、「金沢ハイランド」に対して債権を有する者に対しては、「この度、弊社は X 株式会社様が経営されておりました遊園地事業を譲り受け、この金沢の地にて新たに遊園地事業を展開することとなりましたので、よろしくお願い致します。」などと記載された挨拶状を出した。「金沢ハイランド」に対して買掛金債権を有している Z は、この挨拶状を受け取った数日後に、Y に対して債務の履行を求めた。しかし、Y はそれぞれ以下のような主張をして Z の請求を拒んだ。これらの場合の Y の主張の当否について検討しなさい(それぞれ独立した問いである。)

- ①「自身が譲り受けたのは、ジェットコースターなどの営業財産のみであり、債務などのマイナス財産は譲り受けていない。」
- ②「商号の続用はないので、譲渡前の債務について責任を負うことはない。」

第2回 (1) (架空の事例であり、実在の企業・事業内容とは一切関係ない。)

X は、冷蔵倉庫業を営んでいる。8月のある日、通販業者 Y は、冷凍マグロ1トン(時価3000万円相当)を1ヶ月間 X の倉庫内で保管してもらうことにし、X と倉庫寄託契約を締結し、冷凍マグロ1トンを X の倉庫内に搬入した。しかし、預け入れてから1週間後、冷凍装置の故障で倉庫内の温度が上がり、冷凍マグロは解凍マグロになってしまい、故障に気づいたときには売り物にならなくなってしまっていた。これらの事実関係を前提にして、以下の問いに答えなさい(それぞれ独立した問いである。)

- ① Y が X に対して損害賠償請求する際の法的構成について検討しなさい。
- ② Y が X に対して損害賠償請求したところ、X は倉庫寄託約款の中に「寄託中の物品に毀損が生じたとしても当社は一切の責任を負わないものとします。」という条項があることを根拠に請求を拒んだ。この場合の XY 間の法律関係について検討しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・下記記載の参考文献も最低1冊は用いてレポートを作成すること。
- ・引用元 URL の記載がない、インターネット上の文章のコピー＆ペーストは不正行為とみなす。
- ・ここ数年、インターネット上の質問サイトで、設題に対する回答を求める投稿を行う受講生がおり、さらには返ってきた回答が模範解答であると勘違いしてそのまま貼り付けて提出する受講生も見受けられるが、出題の意図および模範解答から大きくかけ離れた答えしか返ってこない。また、提出されたりレポートは全てコピーして保存してあるので、他人の合格済みレポートを名前の部分やフォントだけ変えて提出してもすぐにわかる。これらのレポートは一律「不受理」とする。レポートは自身の力で作成すること。

参考文献

- 江頭憲治郎・山下友信『商法(総則・商行為)判例百選』第5版、有斐閣、2008年、¥2,400
- 近藤光男『商法総則・商行為法(有斐閣法律学叢書)』第6版、有斐閣、2013年、¥2,800
- 弥永真生『リーガルマインド商法総則・商行為法』第2版補訂版、有斐閣、2014年、¥2,000

14520

指・会社法

2 設題 (4 単位)

- 【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (横書き)
◆パソコン(ワープロ)使用の可否 (不可) パソコン(ワープロ)を使用した場合は採点せず不可とする。

第1回 (1) 取締役の忠実義務の意義を論じ、その類型およびそれらの規制について論ぜよ。

- 第2回 (1) 吸収合併における少数株主の保護について説明しなさい。
(前提として吸収合併に関する説明もすること)

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・指定教科書(柴田和史『会社法詳解〔第2版〕』)をよく読んで解答すること。
- ・根拠条文を必ず確認し、必要に応じて条文番号を示すこと。
- ・箇条書きやレジュメのような記載をしないこと。

参考文献

- 柴田和史『ビジュアル 図でわかる会社法 (日経文庫)』日本経済新聞社、2014年、¥1,000
- 北村雅史・柴田和史・山田純子『現代会社法入門』第4版、有斐閣、2015年、¥2,900
- 近藤光男・柴田和史・野田博『ポイントレクチャー会社法』第2版、有斐閣、2015年、¥3,800
- 柴田和史『類型別 中小企業のための会社法』第2版、三省堂、2015年、¥2,800
- 岩原紳作ほか編『会社法判例百選』(別冊ジュリスト 229号)第3版、有斐閣、2016年、¥2,400

14522 刑法各論

2 設題 (4 単位)

- 第1回 (1) 遺棄罪における遺棄と不保護の概念について、具体的な事例を挙げつつ論ぜよ。
第2回 (1) 名誉毀損罪における名誉の概念と、刑法 230 条の2の意義について論ぜよ。

14524 指・国際法総論

2 設題 (4 単位)

- 第1回 (1) Xは第二次世界大戦中、旧日本軍の占領地域において民間抑留者収容所に収容され、日本により強制労働をさせられたと主張する。戦後、Xは日本の国内裁判所で訴えを起こし、1907年の「陸戦ノ法規慣例ニ関スル条約」(ヘーグ陸戦条約)に付属する「陸戦ノ法規慣例ニ関スル規則」の違反を根拠として、日本に対し損害賠償を請求した。ヘーグ陸戦条約3条の国内適用可能性(あるいは自動執行性)について、裁判所はどのように判断すべきか。
第2回 (1) A国とB国はいずれも「文学的及び美術的著作物の保護に関するベルヌ条約」(ベルヌ条約)の当事国となっているが、A国はB国を国家として承認していない。A国は、B国国民の著作物をベルヌ条約にもとづき保護する義務を負うか。肯定論と否定論の双方を説明した上で、自身の法的見解を述べよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・参考文献の記載のないリポートは不合格となるので注意すること。
- ・第1回設題については、下記の『国際法判例百選(第2版)』22-23頁および『判例国際法(第2版)』641-645頁で解説されているヘーグ陸戦条約3条損害賠償請求事件(オランダ元捕虜等損害賠償請求事件)を参考にしつつ、自身の法的見解を述べよ。それらの解説の中で引用・言及されている参考文献もリポート作成に有用である。
- ・第2回設題については、ベルヌ条約事件判決(最判平成23年12月8日民集65巻9号3275頁)を参考にしつつ論じよ。下記の『国際法判例百選(第2版)』および『国際法基本判例50(第2版)』にベルヌ条約事件の解説がある(ただし前者では下級審判決の解説)。さらに、それらの解説の末尾に参考文献として挙げられた判例評釈(一例として、北村朋史「北朝鮮ベルヌ条約事件—未承認国に対する多数国間条約上の権利義務」『平成24年度重要判例解説』(ジュリスト臨時増刊1453号)279-280頁)も参照されたい。

参考文献

- 小寺彰、森川幸一、西村弓『国際法判例百選』(別冊ジュリスト204号)第2版、有斐閣、2011年、¥2,476
- 松井芳郎ほか『判例国際法』第2版、東信堂、2006年、¥3,800
- 杉原高嶺、酒井啓亘『国際法基本判例50』第2版、三省堂、2014年、¥2,200

14606 指・行政法

2 設題 (4 単位)

※テキスト経過措置期間：～2018年3月迄

- 【特記事項】 ◆パソコン(ワープロ)使用の可否 可。ただし、パソコンやワープロを用いた場合は、末尾に字数を明記すること。
- ◆記述字数 2000字以上2400字以内
- ◆形式上の不備は理由の如何を問わずに不合格とする。

- 第1回 (1) 次の問いのすべてに答えなさい。
①行政主体(行政体ともいう)と行政機関は、それぞれどのようなものか。
②行政行為(行政処分)とは、行政の行為のうち、どのようなものをいうのか、民法上の契約と比較しながら説

明しなさい。

- ③行政行為（行政処分）を行う行政庁に裁量権が認められるとき、裁判所はこれをどのように審査することになるのか、説明しなさい。
- ④行政行為（行政処分）によって課せられた義務が義務者によって任意に履行されないときに、その義務の履行を行政が強制する手段としてどのようなものがあるか。

第2回 (1) 次の問いのすべてに答えなさい。

- ①取消訴訟とはどのような訴訟なのか、原告適格、出訴期間、仮処分の排除など、取消訴訟が民事訴訟と比較して特徴的であると見える点のいくつかにふれながら、説明しなさい。
- ②取消訴訟と無効等確認訴訟の差異は何か説明しなさい。
- ③国家賠償法1条1項にいう「公権力の行使」とは何か説明しなさい。
- ④行政の権限の不行使（不作為）を争う方法には複数のものが考えられる。その方法を2つ指摘し、それぞれの概要を説明しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・下記の参考文献欄にある書物のうち、少なくとも1冊（該当箇所だけではなく全体）を読んだうえでレポートを作成すること。また、レポートで取り上げる判例は判例集で、法令は六法等で、それぞれ確認すること。なお、近年、行政法分野では主要な法律の改正が相次いでいるので、六法や教科書は最新のものをを用いること。
- ・参照した文献はすべて各回のレポートの末尾に一括して掲記すること。参考文献の記載のないレポートは、添削対象とはせず直ちに不合格とする。なお、参考文献の記載や注など本文に当たらないものは、最少文字数には含まないこととする。
- ・設題中の各問いの番号（①、②…）を示したうえで記述し、すべての問いに漏れなく解答すること。また、レポート本文中に設題文を書いてはならない。これらの点にかかる誤りも形式上の不備として取り扱う。

参考文献

- 石川敏行ほか『はじめての行政法』第3版補訂版、有斐閣、2015年、¥1,800
- 宇賀克也ほか『ブリッジブック行政法』第2版、信山社、2012年、¥2,500
- 稲葉馨ほか『行政法』第3版、有斐閣、2015年、¥2,600
- 芝池義一『行政法読本』第4版、有斐閣、2016年、¥3,000
- 曾和俊文ほか『現代行政法入門』第3版、有斐閣、2015年、¥2,600

14606

新・行政法

2設題（4単位）

【特記事項】 ◆パソコン（ワープロ）使用の可否 可。ただし、パソコンやワープロを用いた場合は、末尾に字数を明記すること。

- ◆記述字数 2,000字以上2,400字以内
- ◆形式上の不備は理由の如何を問わずに不合格とする。
- ◆文献の引用に当たっては、公正な慣行に従い、剽窃と疑われることのないようにすること。
- ◆指定テキストであっても、引用したり参照したりする場合には、公正な慣行に従い、引用・参照の表示をすること。
- ◆指定テキスト以外に、参考文献を利用した場合には、本文中の引用・参照の表示とは別に、レポート末尾に一覧にして掲記し（本文中に引用・参照文献として表示したものを再掲する）、参照・引用していない文献は掲記しないこと。

第1回 (1) 行政行為と行政指導の相違について、①行為形式ないし法的性質、②法律の根拠の要否、③手続的規制に着目して、論じなさい。

第2回 (1) 規制行政において行政契約や行政指導が用いられる場合の法的問題点について、行政契約や行政指導を実現しあるいはその実効性を確保するための手段にもふれながら、論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

設題は、第1回、第2回とも、指定テキストの複数箇所を参照しないとレポートを作成できないものとなっている。指定テキストの全体をよく読んだうえで、レポートを執筆することが必要である。第1回については、①では、行政行為と行政指導の意義や行為形式としての特質が問われ、②では、行政行為や行政指導に法律の根拠が必要か否かについて、法律の留保の原則にも十分に言及しながら論じることが求められ、③では、とくに行政手続法による行政行為や行政指導の手続的規制について論じるのが適切であろう。第2回については、規制行政において行政契約や行政指導を用いることが困難であると考えられるにもかかわらずそれらが利用されている実態を踏まえ、その法的諸問題を複数挙げて検討することが必要である。その法的諸問題の中には、行政契約や行政指導の実現ないし実効性確保の手段に関するものが含まれるが、必ずしもそれに限定されないことに注意が必要である。なお、いうまでもなく、第1回、第2回とも、論じるべき事項が多岐に及ぶので、十分に整理された簡明な論述が求められる。

参考文献

- 宇賀克也『行政法概説Ⅰ』第5版、有斐閣、2013年、¥3,400
- 小早川光郎『行政法（上）』初版、弘文堂、1999年、¥2,800
- 塩野宏『行政法Ⅰ行政法総論』第6版、有斐閣、2015年、¥2,600
- 芝池義一『行政法読本』第4版、有斐閣、2016年、¥3,000
- 原田尚彦『行政法要論』全訂第7版、補訂2版、学陽書房、2012年、¥3,300
- 藤田宙靖『行政法総論』初版、青林書院、2013年、¥7,400

14533

指・行政救済法

2 設題 (4 単位)

- 【特記事項】 ◆パソコン（ワープロ）使用の可否 可。ただし、パソコンやワープロを用いた場合は、末尾に字数を明記すること。
- ◆記述字数 2,000 字以上 2,400 字以内
 - ◆形式上の不備は理由の如何を問わずに不合格とする。
 - ◆文献の引用に当たっては、公正な慣行に従い、剽窃と疑われることのないようにすること。
 - ◆指定テキストであっても、引用したり参照したりする場合には、公正な慣行に従い、引用・参照の表示をすること。
 - ◆指定テキスト以外に、参考文献を利用した場合には、本文中の引用・参照の表示とは別に、レポート末尾に一覧にして掲記し（本文中に引用・参照文献として表示したものを再掲する）、参照・引用していない文献は掲記しないこと。

- 第1回 (1) 行政事件訴訟法が規定する取消訴訟、無効確認訴訟および差止訴訟について、①対象となる行政の行為、②原告適格、③訴えの客観的利益、④出訴期間、⑤仮の救済に着目して、相互にどのような差異があるのか検討しなさい。
- 第2回 (1) 国家賠償法1条1項に基づく責任の成立要件のうち過失と違法性との関係について、①処分（処分の不作為を除く）、②規制権限の不行使、③国会の立法活動がそれぞれ不法行為に当たるとして争われる場合に着目して、検討しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

設題は、第1回、第2回とも、指定テキストの複数箇所を参照しないとレポートを作成できないものとなっている。指定テキストの全体をよく読んだうえで、レポートを執筆することが必要である。第1回については、行政事件訴訟法が規定する取消訴訟、無効確認訴訟および差止訴訟について、それら相互間の差異を問うものである。①から⑤の事項は、たとえば、取消訴訟では必要とされるが無効確認訴訟や差止訴訟では不要とされるもの、取消訴訟と差止訴訟で共通して必要とされ無効確認訴訟では基本的に取消訴訟や差止訴訟と同じだか加重がみられるもの、3種類の訴訟で共通しているものが含まれる。論述に当たっては、事項ごとの差異が明確になるように心がけるべきであろう。第2回では、国家賠償法1条1項の責任の成立要件に含まれる過失と違法性の関係について、整理することが求められている。過失とは不注意な心理状態ではなく客観的な注意義務の違反を指すから、それと違法性との違いが、国家賠償法1条1項においても問題となる。違法の意義に関する職務行為基準説と公権力発動要件欠如説（客観的違法説）との違いにも触れながら、処分（処分の不作為を除く）、規制権限の不行使、国会の立法活動に分けて検討するのが適切であると考えられる。

参考文献

- 宇賀克也『行政法概説Ⅱ』第5版、有斐閣、2015年、¥3,600
- 塩野宏『行政法Ⅱ行政救済法』第5版補訂版、有斐閣、2013年、¥2,400
- 芝池義一『行政法読本』第4版、有斐閣、2016年、¥3,000
- 原田尚彦『行政法要論』全訂第7版、補訂2版、学陽書房、2012年、¥3,300
- 藤田宙靖『行政法総論』初版、青林書院、2013年、¥7,400

14603

指・労働法

2 設題 (4 単位)

- 第1回 (1) 労働条件の不利益変更について論じなさい。
- 第2回 (1) 労働契約上の権利・義務について論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

第1回 (1) については、労働協約による労働条件の不利益変更についても検討すること。また、山梨県民信用組合事件・最2小判平28・2・19民集70巻2号123頁でおもな争点となった点についても検討すること。なお、変更解約告知については検討しなくてよい。

第2回 (1) については、使用者・労働者のそれぞれにわけて論ずること。また、付随義務（附随義務）についても検討すること。

参考文献

- 村中孝史・荒木尚志編『労働判例百選』第9版、有斐閣、2016年、¥2,400
- 土田道夫・山川隆一編『労働法の争点』有斐閣、2014年、¥2,600

14523 指・民事訴訟法

2 設題 (4 単位)

【特記事項】 ◆パソコン（ワープロ）使用の可否 原則としてワープロ

- 第1回 (1) いわゆる弁論主義の3つのテーゼの下で、民事訴訟法は、事実の主張及び立証についてどのように規律しているか。
①事実の主張、②主張事実に関する争点整理、③争点とされた主張事実の立証の三段階に分けながら説明をなささい。
- 第2回 (1) 既判力の消極的作用及び積極的作用とは何か、具体例を挙げながら説明しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・「リポートにおける文献の引用・出典の表示について（注意喚起）」の記載内容を遵守すること。これを遵守しないリポートは評価の対象とならない。
- ・参照した文献については、必ず参照した箇所において引用をすること。文献から文章を引用する際には、必ず該当箇所を「」（括弧書き）で示すこと。なお、引用をすることなく文献から文章を転記したと認められる場合には、不合格となる。

参考文献

- 上原敏夫ほか『基本判例民事訴訟法』第2版補訂、有斐閣、2010年、¥2,500
- 伊藤真・山本和彦編『民事訴訟法の争点』有斐閣、2009年、¥2,400

14513 刑事訴訟法

2 設題 (4 単位)

- 第1回 (1) 接見交通と接見指定について、論じなさい。
- 第2回 (1) 拳証責任について、論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

シラバスの参考文献の2「刑事訴訟法の争点」の「39 被疑者と弁護人の接見交通」、「56 拳証責任と推定」が参考になります。

指定テキストおよびリポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.75 参照のこと。

14525 指・国際法各論

2 設題 (4 単位)

- 第1回 (1) A国の軍艦がB国の領海を航行中に、B国沿岸警備隊から「ここは我々の海である。直ちに退去せよ」との警告を受けた。これに対して、A国が「国際法にもとづく正当な航行である」と主張することはできるか。根拠と条件を詳細に論じよ。また、当該海域が国際海峡である場合はどうか。なお、A、B両国は国連海洋法条約の当事国である。
- 第2回 (1) C国は、隣国D国と敵対関係にあり、D国の反政府組織Xを援助するためXに武器を供与していた。このことを理由として、D国と友好関係にあるE国は、自ら雇用した人員を用いてC国の石油施設を攻撃した。E国はこの攻撃を集団的自衛権の行使であると主張するが、これに対してC国はどのように反論すべきか。なお、C、D、Eいずれの国家も国連加盟国である。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・参考文献の記載のないリポートは不合格となるので注意すること。
- ・第1回設題については国際司法裁判所コルフ海峡事件本案判決（1949年）を、第2回設題については国際司法裁判所ニカラグア事件本案判決（1986年）を参照せよ。それらの判決については下記の判例集に解説がある。

参考文献

- 小寺彰、森川幸一、西村弓『国際法判例百選』（別冊ジュリスト204号）第2版、有斐閣、2011年、¥2,476
- 松井芳郎ほか『判例国際法』第2版、東信堂、2006年、¥3,800
- 杉原高嶺、酒井啓巨『国際法基本判例50』第2版、三省堂、2014年、¥2,200

14532 指・刑事政策

2 設題 (4 単位)

第 1 回 (1) 19 世紀後半の犯罪原因論のうち、人間の素質を重視する犯罪人類学派について論述しなさい。

第 2 回 (1) 刑事施設から釈放された高齢者に対する社会内処遇について論述しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・第 1、2 回 (1) については、参考文献である川出敏裕・金光旭『刑事政策』を参照すること。
- ・第 2 回 (1) については、参考文献である『平成 28 年版犯罪白書』を参照すること。
- ・参考文献である『平成 28 年版犯罪白書』を購入できない場合は、法務省のホームページ上から「平成 28 年版犯罪白書」を参照すること。
- ・引用及び参照した文献を、レポート末尾に一覧で記載すること。

参考文献

- 川出敏裕・金光旭『刑事政策』第 2 版、成文堂、2012 年、¥3,500
- 瀬川晃『犯罪学』成文堂、1998 年、¥3,500
- 藤本哲也・生島浩・辰野文理編著『よくわかる更生保護』ミネルヴァ書房、2016 年、¥2,500
- 大谷實『新版刑事政策講義』弘文堂、2009 年、¥4,800
- 法務省法務総合研究所編『平成 28 年版犯罪白書』日経印刷、2016 年、¥2,856

14531 指・教育法

2 設題 (4 単位)

※ 2013 年 3 月 31 日時点で、履修途中の場合 【科目コード：14637】

【特記事項】 ◆記述字数 2000 字以上

第 1 回 (1) 教育行政をめぐる法改正について、改正前の教育基本法 10 条と、改正後の教育基本法 16 条を比較して説明しなさい。そして教育行政をめぐる当初の理念を踏まえて検討しなさい。

第 2 回 (1) 体罰について、法的視点から検討しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・指定テキストや関連文献を精読し、教育法全体についての基礎的理解を踏まえた上でレポート作成すること。レポート作成に最低限必要な範囲でテキストを読むだけ、という勉強をしないこと。
- ・いずれの設題も、必ず判例（裁判例を含む）を取り上げること。特に第 1 回については、旭川学力テスト事件最高裁判決（最大判昭 51. 5.21 刑集 30 巻 5 号 615 頁）を参照すること。
- ・第 2 回については、体罰をめぐる最新の行政資料や判例を調べて用いること。
- ・レポートには参考文献を掲記すること。
- ・テキスト・参考文献・判例の引用は最小限に止めること。

参考文献

- 日本教育法学会編『教育法の現代的争点』法律文化社、2014 年、¥3,800

14526 指・親族法・相続法

2 設題 (4 単位)

第 1 回 (1) ① (a) 女性の再婚禁止期間と、(b) 強制的夫婦同氏制度の合憲性について論ぜよ。((a) は 1995 年、(a)(b) とともに 2015 年 12 月 16 日の最高裁判例に必ず言及すること。) (1500 字程度)

② さらに民法を改正するならば、(a) について期間を何日とするのが妥当か、2015 年 12 月 16 日の最判の多数意見と反対意見の内容にも言及した上で、自説と根拠（計算式も）を述べよ。(500 字程度)

第 2 回 (1) (被相続人 A の法定相続人が嫡出子 B と C のみの場合) 遺言のない A の唯一の遺産である土地建物甲の分割前に、C が勝手に自己名義に相続登記をした後、第三者 D に譲渡し、移転登記をした。B は D に対して、どれだけの範囲の所有権を登記なしに対抗できるか？ (2000 字程度)

設題解答にあたっての解説・注意等

各問とも、必ず六法（特に民法）を参照せよ。(1) については「参考文献」の最後を良く読むこと。重要な関連条文がある場合には、民法ならば条文番号のみ、他の法律なら法律名と条文番号を必ず引用すること（条文自体を長々と引用しないこと）。条文からスタートする論理的・説得的な解釈を評価する。また、関連する重要判例がある場合、必ず解答内容と関連させつつ言及すること。

参考文献

- 内田貴著『民法Ⅳ』東京大学出版会（2002年初版でも構わないが、2004年の補訂版を用いることが望ましい）、¥3,500
- 二宮周平著『家族法』新世社（第3版は2009年10月に¥3,200で発行、第4版は2013年11月に¥3,250で発行されたが、どちらを用いても良い）
- 別冊法学セミナー 基本法コンメンタール『親族 [第5版]』『相続 [第5版]』、（順に2008・2007年）、順に¥3,200 ¥2,900
- 2015年12月17日のメジャーな全国新聞の朝刊。図書館で「新聞縮刷版」を調べても良いし、インターネットで「夫婦別姓」「再婚禁止期間」「最高裁」「判決」のキーワードで検索しても良い。

14528

指・手形法・小切手法

2 設題 (4 単位)

第1回 (1) 約束手形の裏書の効力について説明せよ。

①裏書の一般的効果の原則と例外について説明し、その説明においては、②裏書の連続ある約束手形の所持人が手形金請求を認められない場合、③約束手形の裏書譲渡が、手形外に存在する保証債務へ与える影響、にも留意・言及しながら、論述すること。

第2回 (1) Aは、Bとの間で鋼材1トンの売買契約を締結し、その買掛金債務の支払いのため、Bを受取人とする10万円の約束手形を振り出した。Bは、友人Cから、車を譲り受ける約束をし、その売買代金支払いのため、当該約束手形をCに裏書譲渡した。しかし、その後、Cは車を手放すことが惜しくなり、引渡期日になっても車を引き渡さなかったため、BはCに対して車の売買契約を解除するに至り、当該約束手形がCの手元にあるまま、約束手形の満期日を迎えた。Cは、Aに対して、手形金を請求することができるか、検討せよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・ここ数年、レポートのなかに、テキストの剽窃や検討なくしてリーディングケースの存在を指摘するだけのものが増加しています。このようなレポートの評価は厳しいものとお考えください。
- ・各問とも、関連条文を必ず参照・引用しながら（条文番号の指摘は必要。解釈対象となる条文明言の指摘が必要な場合はあるが、条文明言をすべて長々と引用することは不要）、基礎的理解を示してください。
- ・問題の所在を明確にしたうえで、各見解については根拠・内容・それに対する批判を含めた検討を要します。
- ・判例理論を指摘する場合は、事案概要・判旨を踏まえた検討を要します。

14529

指・保険法・海商法

2 設題 (4 単位)

第1回 (1) 保険法30条・57条・86条は、保険契約者などが故意に保険事故を招致した場合や保険金の詐欺的請求を行った場合などにつき、保険者に解除権を認めている（重大事由解除）。前条3号はいわゆるバスケット条項であり、「保険者の保険契約者又は被保険者に対する信頼を損ない、当該損害保険契約の存続を困難とする重大な事由」を解除事由とする規定である。傷害疾病保険の各種約款には「他の保険契約等との重複によって、被保険者に係る保険金額等の合計額が著しく過大となり、保険制度の目的に反する状態がもたらされるおそれがあること」が規定されることがある。このように保険契約者が短期間に高額な保険に集中的に加入したような場合、この3号に定める事由に該当するか。重大事由の解除の趣旨を明らかにしたうえで論じなさい。

第2回 (1) 保険金受取人が被保険者を殺害したことは、法定の免責事由であり、各種生命保険約款・傷害保険約款においても同様の規定が置かれている。法定相続人を保険金受取人に指定したようなケースでは、故殺者である保険金受取人の権利については免責されるとしても、他の法定相続人の保険金請求権には影響しないとするのが保険法の立場であるところ（保険法51条但書）、故殺者である保険金受取人であっても、「特段の事情」がないかぎり、他の法定相続人の保険金請求権を相続し、その行使または処分をすることができるとした裁判例がある（東京高判平成18年10月19日判タ1234号179頁）。生命保険における故意免責規定の趣旨を明らかにしたうえで、上記裁判例の当否について論じなさい。なお、「特段の事情」がある場合とは、どのような場合が考えられるかにも言及すること。

設題解答にあたっての解説・注意等

判例の考え方を正確に理解した上で、なるべく批判的に考察を行いながら判例理論の是非を検討し、具体的な問題解決方法としてどのような考え方が妥当か、私見を展開させてください。

参考文献

- 山下友信『保険法』有斐閣、2005年、¥5,000
- 甘利公人・福田弥夫『ポイントレクチャー保険法』有斐閣、2011年、¥2,600
- 山下友信ほか『保険法』第3版、有斐閣、2010年、¥2,100
- 『保険法判例百選』（別冊ジュリスト202号）有斐閣、2010年、¥2,400
- 山下友信・永沢徹編『論点体系保険法1』第一法規、2014年、¥4,800

14604 指・日本法制史

2 設題 (4 単位)

- 第 1 回 (1) 明治初期の「新律綱領」「改定律例」から旧刑法（明治 13 年刑法）、明治 40 年刑法に至るまでの刑法史について、「罪刑法定主義」をキーワードとして、各法の特徴や思想に言及しながら概観しなさい。なお、ボアソナードの刑法思想についても必ず触れること。
- 第 2 回 (1) 明治 31（1898）年制定の明治民法について、旧民法から継承した部分と相違する部分とを具体的に挙げながら、その特徴について論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・必ず、指定テキストの川口由彦『日本近代法制史』を熟読し、その内容を踏まえてレポートを作成すること。ただし、テキストの文章をそのまま引き写さないように注意すること。
- ・指定テキスト以外の文献も複数参照し、著者名・書名・出版社等を明記すること。引用する場合には、脚注などを設け、引用箇所と出典を必ず記載すること。
- ・参考文献に挙げている論文作成の指針となるテキストを読み、論文・レポート作成のルールをきちんと踏まえること。

参考文献

- 浅古弘・伊藤孝夫・植田信廣・神保文夫編『日本法制史』初版、青林書院、2010 年、¥3,800
- 水林彪・大津透ほか編『法社会史』初版、山川出版社、2001 年、¥4,500
- 戸田山和久『新版 論文の教室』第 2 版、NHK ブックス、2012 年、¥1,200
- 学習技術研究会編『知へのステップ』第 3 版、くろしお出版、2011 年、¥1,800

14534 指・西洋法制史

2 設題 (4 単位)

【特記事項】 ◆参考文献については、テキスト章末の「参考文献」「もっと学びたい人のために」に記載された文献を用いることを勧める。

- 第 1 回 (1) 日本による西洋法の継受について、具体的な事例を挙げながら論じてください。
- 第 2 回 (1) 主権理論について、公権／私権の峻別の有無に着目しつつ、論じてください。

参考文献

※特に個別の文献は指定しない。基本的には、特記事項で指示したとおり。

14634 指・労使関係論

2 設題 (4 単位)

【特記事項】 ◆パソコン（ワープロ）使用の可否 パソコン（ワープロ）を用いた場合は、末尾に字数を明記すること。

◆記述字数 2000 字以上 2400 字以内。字数を厳守すること。

◆手書きの場合は、楷書で丁寧に書くこと。

- 第 1 回 (1) 不当労働行為制度の概要とその問題点について論じなさい。
- 第 2 回 (1) 派遣労働に関する法制度の概要とその現代的課題について論じなさい。

参考文献

- 浜村彰ほか『ベーシック労働法』第 6 版補訂版、有斐閣、2016 年、¥1,900
- 浅倉むつ子ほか『労働法』第 5 版、有斐閣、2015 年、¥2,600

14527 指・民事執行法

2 設題 (4 単位)

【特記事項】 ◆パソコン（ワープロ）使用の可否 原則としてパソコン（ワープロ）

- 第 1 回 (1) 不動産の差押え後から売却前までに実施されるべき手続について、すべて条文を引用しながら説明しなさい。
- 第 2 回 (1) 担保不動産競売と担保不動産収益執行の①共通点と②相違点について、それぞれまとめて別々に、すべて条文を引用しながら説明しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・引用条文はレポート本文中にカッコ書きですべて明記すること。
- ・他人の書いた文章（テキストや論文）をそのまま引用した場合または要約して引用した場合には該当箇所に注を入れて出典を明記すること（これをしないと「盗作」になります。）。
- ・レポート作成の参考とした文献はレポートの末尾に一覧表としてすべて掲載すること。

参考文献

- 山本和彦・小林昭彦・浜秀樹・白石徹編『新基本法コンメンタール民事執行法』日本評論社、2014年、¥4,500

54518

指・社会経済学 A

2 設題 (2 単位)

- 第 1 回 (1) 市場による生産と分配の調整について述べよ。労働の社会性、労働生産物と商品との違い、貨幣の役割について言及すること。(テキストの序章、第 1 章が参考になる。)
- 第 1 回 (2) 剰余価値の生産について説明せよ。労働力商品の特殊性、可変資本と不変資本、労働過程と価値増殖過程について言及すること。(テキストの第 1 章、第 2 章が参考になる。)

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①テキストの内容を十分に理解した上で、全体の論理構成をよく練って解答すること。
- ②文献からの引用・抜粋にあたっては、括弧で括った上で典拠を明記すること。
- ③論旨にそった見出しなどを用いて、読みやすくすること。

参考文献

- 大谷禎之介『経済原論』(通信教育部、旧テキスト)
- 大谷禎之介『図解 社会経済学』桜井書店、2002 年

54519

指・社会経済学 B

2 設題 (2 単位)

- 第 1 回 (1) 資本主義社会における人口法則と失業との関連について述べよ。相対的過剰人口論と絶対的過剰人口論との違い、有機的構成の高度化と産業予備軍、現代の労働市場の動向に言及すること。
- 第 1 回 (2) 価値の生産価格への転化について述べよ。費用価格、利潤、剰余価値率の利潤率への転化、平均利潤率の形成について言及すること。(テキストの第 5 章が参考になる。)

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①テキストの内容を十分に理解した上で、全体の論理構成をよく練って解答すること。
- ②文献からの引用・抜粋にあたっては、括弧で括った上で典拠を明記すること。
- ③論旨にそった見出しなどを用いて、読みやすくすること。

参考文献

- 大谷禎之介『経済原論』(通信教育部、旧テキスト)
- 大谷禎之介『図解 社会経済学』桜井書店、2002 年

54538

指・経済政策論 A

1 設題 (2 単位)

- 【特記事項】 ◆パソコン（ワープロ）使用の可否 (不可)
- ◆記述字数（1 設題） (5000 字程度)
- ◆レポート用紙が足りない場合は、市販の A4 判原稿用紙を使用し、講評欄の前に貼付すること。

- 第 1 回 (1) 古典派モデルとケインジアン・モデルの概要を説明したうえで、財政政策（政府支出の増加と減税）の効果に違いが発生する理由について整理してまとめなさい。必要ならば図を用いてもよい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①教科書や参考文献の丸写しをしないこと。
- ②引用は該当箇所をカッコで括り、引用文献各ページを明記すること。

参考文献

- 田代洋一・萩原伸次郎・金澤史男編『現代の経済政策』有斐閣、2011 年、¥2,900
- 岩田規久男・飯田泰之著『ゼミナール経済政策入門』日本経済新聞出版社、2006 年、¥3,200
- 林正義・小川光・別所俊一郎著『公共経済学』有斐閣、2010 年、¥2,300

- 【特記事項】 ◆パソコン（ワープロ）使用の可否 (不可)
 ◆記述字数（1 設題） (5000 字程度)
 ◆レポート用紙が足りない場合は、市販の A4 判原稿用紙を使用し、講評欄の前に貼付すること。

- 第 1 回 (1) リカード＝バローの中立命題が成立する場合、政府支出を課税で賄っても、公債で調達しても、経済全体に及ぼす影響は変わらない。この命題の内容と中立命題が成り立つ条件を説明したうえで、子どものいない世帯が存在したり、子どもの数が内生的に決まったりするケースでは、なぜ中立命題が成立しないのか論じなさい。必要ならば図や数式を用いてもよい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①教科書や参考文献の丸写しをしないこと。
 ②引用は該当箇所をカッコで括り、引用文献各ページを明記すること。

参考文献

- 田代洋一・萩原伸次郎・金澤史男編『現代の経済政策』有斐閣、2011 年、¥2,900
- 岩田規久男・飯田泰之著『ゼミナール経済政策入門』日本経済新聞出版社、2006 年、¥3,200
- 麻生良文著『マクロ経済学入門』ミネルヴァ書房、2009 年、¥3,500

— 指定テキストおよびリポートノートの追加・訂正・補足 —

以下の科目は追加・訂正・補足があります。配本されたテキストはすでに訂正されているものもあります。
新たに明らかになった追加・訂正・補足は、随時『法政通信』に掲載します。

科目名	種別	掲載更新
刑事訴訟法	通教テキスト	2010 年 3 月

[通教テキスト]

■刑事訴訟法

(福井厚)

p.25 上から 12 ～ 14 行目

(誤) …制度として、(i)不利益取扱いの禁止 (裁判員 71 条)、(ii)裁判員を特定するに足る情報の取扱い (同 72 条)、(iii)裁判員又は補充裁判員に対する接触の禁止 (同 73 条)、に…

(正) …制度として、(i)不利益取扱いの禁止 (裁判員 100 条)、(ii)裁判員を特定するに足る情報の取扱い (同 101 条)、(iii)裁判員又は補充裁判員に対する接触の禁止 (同 102 条)、に…

p.25 下から 14 ～ 11 行目

(誤) 裁判員等に対する請託罪等 (裁判員 77 条)、裁判員等に対する威迫罪 (同 78 条)、裁判員等による秘密漏示罪 (同 79 条)、裁判員の氏名等秘密漏示罪 (同 80 条)、裁判員候補者による虚偽記載罪等 (同 81 条) の罰則や裁判員候補者の虚偽記載等 (同 82 条) 及び不出頭 (同 83 条) に対する過料規定も…

(正) 裁判員等に対する請託罪等 (裁判員 106 条)、裁判員等に対する威迫罪 (同 107 条)、裁判員等による秘密漏示罪 (同 108 条)、裁判員の氏名等秘密漏示罪 (同 109 条)、裁判員候補者による虚偽記載罪等 (同 110 条) の罰則や裁判員候補者の虚偽記載等 (同 111 条) 及び不出頭 (同 112 条) に対する過料規定も…

p.25 下から 4 行目

(誤) 裁判所速記官・同補 (裁 60 条の 2・60 条の 3)

(正) 裁判所速記官 (裁 60 条の 2)

p.35 上から 2 行目

(誤) (291 条 2 項、規 197 条 1 項)。

(正) (291 条 3 項、規 197 条 1 項)。

p.171 下から 5 行目

(誤) (ロ) (因対象説)。

(正) (ロ) (訴因対象説)。

p.245 上から 10 行目

(誤) …過料が課されます (同 83 条 3 号)。

(正) …過料が課されます (同 112 条 4 号)。

p.247 上から 6 行目

(誤) …守秘義務が課せられています (同 70 条 1 項・79 条。……)。

(正) …守秘義務が課せられています (同 70 条 1 項・108 条。……)。

p.247 下から 7 行目

(誤) …必要がありますが (裁判員 63 条 1 項本文)、…

(正) …必要がありますが (裁判員 63 条 1 項本文・112 条 5 号)、…

p.354 上から 11 行目

(誤) 受刑者に仮出獄の…

(正) 受刑者に仮釈放の…

2010 年 3 月現在

2017年度 単位修得試験の出題範囲

【留意事項】

- 試験範囲は担当教員が認めた科目に限り公表しています。
- 試験範囲が公表される場合であっても、その科目のテキスト全体を熟読することが前提となりますので、科目によってはここに記載された内容以外からも出題される場合があります。
- ここに発表されていない科目（テキスト）は、原則テキスト全体からの出題となります。ただし、科目によっては学習範囲がテキストの一部に限定されている場合があります。詳細は、シラバスで確認してください。
※経過措置テキストの場合は、経過措置テキストに対応した過年度のシラバスを参照してください。
- 記載内容の意味など、出題範囲に関する質問は一切受け付けません。また、試験終了後に試験問題と範囲に関する照会も受け付けません。
- この表の科目名の表記は、「設題総覧」及び単位修得試験の表記に合わせています。

科目名	出題範囲	
指・憲法	4月	憲法とは何か、憲法の保障・憲法改正
	5月	憲法史
	6月	国民主権、参政権、選挙制度
	7月	地方自治、憲法訴訟
	10月	平和主義、外国人の人権
	11月	私人間適用、非嫡出子の権利
	12月	平等、思想・良心の自由
	1月	信教の自由、生存権
指・刑法総論	4月	刑法の基本原則、刑罰論
	5月	構成要件論（総説・各説）、違法性とその阻却
	6月	構成要件論（総説・各説）、違法性とその阻却
	7月	構成要件論（総説・各説）、違法性とその阻却
	10月	構成要件論（総説・各説）、違法性とその阻却
	11月	故意、過失、責任とその阻却
	12月	故意、過失、責任とその阻却
	1月	未遂、共犯
指・債権総論	4月	金銭債権
	5月	自然債務
	6月	債権侵害
	7月	債務不履行
	10月	債権者代位権
	11月	保証
	12月	債権譲渡
	1月	相殺
指・商法総則・商行為法	4月	商法総則の分野から出題する。
	5月	商行為法の分野から出題する。
	6月	商法総則の分野から出題する。
	7月	商行為法の分野から出題する。
	10月	商法総則の分野から出題する。
	11月	商行為法の分野から出題する。
	12月	商法総則の分野から出題する。
	1月	商行為法の分野から出題する。

科目名	出題範囲
指・国際法総論	教材第1－9章
指・行政法 (※経過措置テキスト)	指・行政法の単位修得試験では、いずれの月においても、2つの設問を出題する。 このうち、第1問は語句説明問題とし、次の語群の中から、2つを選択して出題する。いずれも3行程度で説明することとする予定である。 (語群) 法律の留保の原則、法律の法規創造力の原則、行政主体、行政機関、行政庁、補助機関、執行機関、行政行為、行政裁量、行政契約、行政指導、即時強制、代執行、理由の提示(理由付記ともいう)、聴聞、審査基準、処分基準、取消訴訟、無効確認訴訟、不作為の違法確認訴訟、公権力の行使、出訴期間、行政上の不服申立て 第2問は、一般的な論述問題とする。4・5・6・7月の単位修得試験では行政作用の分野(指定市販本の第2編「行政作用」に該当)を中心に、10・11・12・1月の単位修得試験では行政救済の分野(指定市販本の第3編「行政救済」に該当)を中心に出题する。なお、採点においては、答案から指定市販本の該当箇所以外を勉強していないことを読み取ることができる場合、相当程度の減点とする。第1問と異なり語句の意味等を説明するのではなく、問われている事項について詳しく論述することが求められる。第2問について設問と無関係な事項が解答として記述されている場合、第2問が0点となるため、第1問の解答が適切であったときでも、不合格となる。
新・行政法	新・行政法の単位修得試験では、いずれの月においても、2つの設問を出題する。 このうち、第1問は語句説明問題とし、次の語群の中から、2つを選択して出題する。いずれも3行程度で説明することとする予定である。 (語群) 行政主体、行政機関、行政庁、補助機関、執行機関、法律の留保の原則、法律の法規創造力の原則、比例原則、法規命令、行政規則、行政行為、理由の提示(理由付記ともいう)、聴聞、審査基準、処分基準、瑕疵の治癒、違法行為の転換、違法性の承継、行政裁量、行政契約、行政指導、即時強制、代執行、直接強制、課徴金 第2問は、一般的な論述問題とする。4・5月の単位修得試験では行政組織法を中心に、6・7月の単位修得試験では行政法の基本原則を中心に、10・11月の単位修得試験では行政行為を中心に、12・1月の単位修得試験では行政による規範制定、行政契約、即時強制、行政指導、行政の実効性確保を中心に出题する。なお、採点においては、答案から指定テキストの該当箇所以外を勉強していないことを読み取ることができる場合、相当程度の減点とする。第1問と異なり語句の意味等を説明するのではなく、問われている事項について詳しく論述することが求められる。第2問について設問と無関係な事項が解答として記述されている場合、第2問が0点となるため、第1問の解答が適切であっても、不合格となる。
指・行政救済法	指・行政救済法の単位修得試験では、いずれの月においても、2つの設問を出題する。 このうち、第1問は語句説明問題とし、次の語群の中から、2つを選択して出題する。いずれも3行程度で説明することとする予定である。 (語群) 法律上の争訟、処分性、原告適格、訴えの客観的利益、出訴期間、執行停止、無効確認訴訟、義務付け訴訟、仮の義務付け、差止訴訟、仮の差止め、当事者訴訟、民衆訴訟、機関訴訟、損失補償、国家賠償、国家賠償法1条1項における公務員、国家賠償法1条1項における職務関連性、国家賠償法2条1項にいう公の営造物、国家賠償法2条1項にいう公の営造物の設置・管理の瑕疵 第2問は、一般的な論述問題とする。4・5月の単位修得試験では取消訴訟を中心に、6・7月の単位修得試験では無効確認訴訟、義務付け訴訟、差止訴訟を中心に、10・11月の単位修得試験では民事訴訟と抗告訴訟の関係、当事者訴訟、民衆訴訟、機関訴訟を中心に、12・1月の単位修得試験では損失補償、国家賠償を中心に出题する。なお、採点においては、答案から指定テキストの該当箇所以外を勉強していないことを読み取ることができる場合、相当程度の減点とする。第1問と異なり語句の意味等を説明するのではなく、問われている事項について詳しく論述することが求められる。第2問について設問と無関係な事項が解答として記述されている場合、第2問が0点となるため、第1問の解答が適切であったときでも、不合格となる。

科目名	出題範囲	
指・労働法	指定した範囲が1問目になるのか2問目になるかまでは公表しない。 『基礎から学ぶ労働法Ⅰ労働法総論・個別的労働関係法』（第3版）2012年を「労働法Ⅰ」と『基礎から学ぶ労働法Ⅱ集団的労働関係法・社会保障法』（第2版）2016年を「労働法Ⅱ」と略称する。 「労働法Ⅰ」にあつては「編」単位、「労働法Ⅱ」にあつては「編」または「章」単位で示している。	
	4月	「労働法Ⅰ」雇用平等、多様な雇用・就労形態 「労働法Ⅱ」労働組合の活動
	5月	「労働法Ⅰ」労働条件論 「労働法Ⅱ」労働条件の決定システム
	6月	「労働法Ⅰ」労働契約論 「労働法Ⅱ」労働組合の法的地位
	7月	「労働法Ⅰ」労働法総論 「労働法Ⅱ」労働組合の活動
	10月	「労働法Ⅰ」労働条件論 「労働法Ⅱ」労働条件の決定システム
	11月	「労働法Ⅰ」雇用平等、多様な雇用・就労形態 「労働法Ⅱ」労働組合の法的地位
	12月	「労働法Ⅰ」労働契約論 「労働法Ⅱ」労働組合の活動
	1月	「労働法Ⅰ」労働条件論 「労働法Ⅱ」公務員労働
指・民事訴訟法	4月	訴え
	5月	当事者
	6月	訴訟要件
	7月	口頭弁論における審理
	10月	口頭弁論における審理
	11月	証明
	12月	訴訟の終了
	1月	多数当事者訴訟、不服申立手続
刑事訴訟法	4月	強制捜査と任意捜査、強制処分法定主義、令状主義
	5月	職務質問、所持品検査
	6月	別件逮捕・勾留、余罪の取調べ
	7月	接見交通、接見指定
	10月	訴因変更の要否・可否
	11月	拳証責任、推定
	12月	自白法則、補強法則
	1月	伝聞法則、伝聞証拠、伝聞例外
指・国際法各論	教材第10－13、16－18章	
指・刑事政策	4月	犯罪の情勢、犯罪原因論
	5月	犯罪原因論、犯罪対策（刑罰と保安処分）
	6月	犯罪対策（犯罪者の処遇、司法的処遇）
	7月	犯罪対策（犯罪者の処遇、施設内処遇）
	10月	犯罪対策（犯罪者の処遇、社会内処遇）
	11月	各種犯罪とその対策（少年非行）
	12月	各種犯罪とその対策（薬物犯罪、高齢者による犯罪）
	1月	各種犯罪とその対策（ファミリーバイオレンス、犯罪の国際化）

科目名	出題範囲	
指・手形法・小切手法	4月	手形・小切手の法的構造、手形・小切手の完全有価証券性、手形・小切手の経済的機能
	5月	手形行為の意義と成立要件
	6月	手形行為の性質、手形行為と原因関係
	7月	他人による手形行為、手形の偽造
	10月	手形の変造、抹消・毀損・喪失、白地手形
	11月	約束手形の裏書
	12月	約束手形の支払
	1月	支払拒絶と遡求、利得償還請求権、手形訴訟
指・保険法・海商法	4月	総説
	5月	損害保険契約
	6月	損害保険契約
	7月	損害保険契約
	10月	生命保険契約・傷害疾病定額保険契約
	11月	生命保険契約・傷害疾病定額保険契約
	12月	生命保険契約・傷害疾病定額保険契約
	1月	国際海上物品運送
指・日本法制史	4月	憲法（中央国制）・刑事法の領域から出題する。
	5月	憲法（中央国制）・刑事法の領域から出題する。
	6月	憲法（中央国制）・刑事法の領域から出題する。
	7月	憲法（中央国制）・刑事法の領域から出題する。
	10月	民事法・司法制度（調停制度を含む）の領域から出題する。
	11月	民事法・司法制度（調停制度を含む）の領域から出題する。
	12月	民事法・司法制度（調停制度を含む）の領域から出題する。
	1月	民事法・司法制度（調停制度を含む）の領域から出題する。
指・西洋法制史	4月	ローマ市民法の世界、古典期ローマ法曹と法学、古ゲルマンの法と社会
	5月	部族法典とユスティニアヌス法典、フランク王国の法と帝国、封建社会
	6月	中世法の理念と現実、ヨーロッパ法システムへの転轍、ボローニャ大学とローマ法のルネサンス
	7月	中世ローマ法学と条例理論、カノン法、学識法曹とローマ法継受
	10月	帝室裁判所と宗派對立、糾問訴訟と魔女裁判、ローマ法の相対化
	11月	身分制議會と絶対主権国家、パンデクテンの現代的慣用、自然法論の展開
	12月	啓蒙主義と法典編纂、歴史法学派、パンデクテン法学と私法実証主義
	1月	近代公法学の誕生、近代法システムの完成、ワイマールからナチズムへ、法の継受
指・労使関係論	雇用保険、労働災害を除き、社会保障の分野からは原則として出題しない。	
指・社会経済学A	4月	市場経済
	5月	貨幣の成立と諸機能
	6月	資本と生産、賃労働
	7月	資本と生産、剰余価値の生産
	10月	過剰人口
	11月	産業循環、失業
	12月	資本蓄積
	1月	現代の労働市場
指・社会経済学B	4月	再生産過程の分析
	5月	利潤と価格①
	6月	利潤と価格②
	7月	利潤率の動態過程
	10月	信用論と金融システム
	11月	農業と土地所有
	12月	世界市場の成立と恐慌・産業循環
	1月	国家と経済政策

レポートにおける文献の引用・出典の表示について（注意喚起）

法学部教授会

最近、通信学習科目のレポートにおいて、教科書・参考書等の文献に書かれている文章を丸写ししたことによって不正行為と取り扱われる例がみられます。文献から書き写した文章が、レポート執筆者が参考文献一覧に掲げた文献に書かれているものであって、かつ当該文献の一部にすぎない場合でも、具体的に参照した箇所を特定できる情報を、注を付してあるいは本文中に括弧書きをする形で示すことなく文献を写せば、不正行為に当たり、学則に基づく懲戒処分の対象となることもあります。法学部教授会は、ここに学生の皆さんに注意を喚起します。

レポート執筆に当たり各種の文献を参考にするのは当然のことです。ただし、文献をレポートに引用する際には、公正な慣行に従う必要があります。とりわけ、次の点に留意してください。

- ① 文献に書かれている文章をそのまま引用する場合、引用部分をかぎ括弧でくくるなどして引用であることを明示し、かつ、どの文献のどのページから引用したものであるかが分かるように、出典表示を注を付すかあるいは本文中に括弧書きする形で明記すること
- ② 文献に書かれている文章を、表現を変更して利用し、または要約して、レポート中の自身の文章に取り入れる場合、どの文献のどのページを利用しまたは要約したものであるかが分かるように、出典表示を注を付すかあるいは本文中に括弧書きする形で明記すること
- ③ 参考文献一覧をレポート末尾に付す場合には、自身がレポート執筆に当たり参考にした文献のみを掲記し、参考にしていなかったり実際に読んでいなかったりする文献を示さないこと
- ④ インターネットのWebサイトを参照してそこに書かれた文章を引用する場合、上記①に準じて引用であることを明示し、当該サイトのURLおよび閲覧年月日を、注を付してまたは本文中に括弧書きする形で明記すること

また、このような当然のルールを守って執筆されたレポートでも、文献からの引用文が大半に及ぶ場合には、不正行為とはなりませんが、学習の到達度が確認できず不合格となることがあります。

なお、法学部では、以上に示したレポートに関する取扱いとは異なり、通信教育課程の卒業論文に関しては、引用または参照した文献の出典を本文中に括弧書きで表示することを認めていません。卒業論文では、引用または参照した文献の出典を表示する場合には、必ず注を付してください。本文中に括弧書きをする方法での文献の出典表示を認めるのは、通信学習科目のレポートのみです。

以上

文学部 日本文学科 専門教育科目

Contents

●2017年度 通信学習科目 指定テキスト・科目掲載ページ一覧……………	82
●2017年度 通信学習シラバス ……………	84
●2017年度 設題総覧	
・レポート設題と参考文献……………	95
・指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足……………	106
●2017年度 単位修得試験の出題範囲 (p.107 に記載した留意事項を必ず確認して下さい) ……	107

2017年度 通信学習科目 指定テキスト・科目掲載ページ一覧

科目名	履修 学年	構成 単位	テキスト 種別 (入手方法)	2017年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社（市販 本のみ）／発行年／定価（税抜）	備考	教科書 コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
								シラバス	設題	試験範囲
旧・日本文学概論 (～2018年3月迄)	1	4	通教テキスト (一)※	『日本文学概論』(第1版) 小田切 秀雄、1983年	(テキスト変更： ～2018年3月迄) 経過措置テキスト ※原則「教材交付願 」での購入のみ	—	—	—	95	—
指・日本文学概論 (2016年4月～)	1	4	指定市販本 (各自購入)	『文学講義 文学作品が書か れるまで』 小田切 秀雄、 葺柿堂（セイシドウ）、2016年、 ¥2,000	(テキスト変更：2016 年4月～) 最新の指定テキスト	S-132	¥2,039	84	95	—
指・日本語学概論	1	4	指定市販本 (各自購入)	『言語学入門 これから始める人 のための入門書』 佐久間 純一・加藤 重広・ 町田 健著 研究社、2004年、¥1,800		S-048	¥1,844	84	95	107
指①・文学概論 (～2018年3月迄)	2	4	指定市販本 (各自購入)	『近代日本文学案内』 (岩波文庫別冊19) 十川 信介、岩波書店、2008年、 ¥760	(テキスト変更： ～2018年3月迄) 経過措置テキスト	—	取り扱い できません	—	96	—
指②・文学概論 (2016年4月～)	2	4	指定市販本 (各自購入)	『日本近代小説史』(中公選書) 安藤宏、中央公論新社、2015年、 ¥2,000	(テキスト変更：2016 年4月～) 最新の指定テキスト	S-133	¥2,029	85	96	—
日本文芸史Ⅰ	2	4	通教テキスト (配本)	『日本文芸史Ⅰ』(第1版) 近藤 忠義、1980年	※前・通教テキスト 『日本文芸史』	—	—	85	97	—
日本文芸史Ⅱ	2	4	通教テキスト (申告制)	『日本文芸史Ⅱ』(第1版) 立石 伯、2009年	※前・通教テキスト 『日本文学特講2』	—	—	86	97	107
日本文芸研究特講・上代	1	4	通教テキスト (配本)	『日本文芸研究特講・上代』 (第1版) 西郷 信綱、1968年	※前・通教テキスト 『日本文学作品作家研 究(古代)』	—	—	86	97	—
指・日本文芸研究特講・ 中古	1	4	指定市販本 (各自購入)	『日本語の古典』(岩波新書) 山口 仲美、岩波書店、2011年、 ¥800	2冊使用します	S-050	¥862	86	98	—
				『王朝文学の楽しみ』(岩波新書) 尾崎 左永子、岩波書店、2011年、 ¥760		S-051	¥823			
指・日本文芸研究特講・ 中世	1	4	指定市販本 (各自購入)	『編年中世の文学』 浅見 和彦・天野 文雄・ 小島 孝之・田村 柳壺著、新典 社、1990年、¥2,000		S-052	¥2,049	87	98	—
指・日本文芸研究特講・ 近世	1	4	指定市販本 (各自購入)	『江戸の詩歌と小説を知る本』 初版 鈴木 健一編 笠間書院、2006年、¥1,700		S-053	¥1,747	87	98	—
日本文芸研究特講・近代	1	4	通教テキスト (配本)	『日本文芸研究特講・近代』 (第2版) 勝又 浩、2009年	※前・通教テキスト 『日本文学作品作家研 究(近代)』	—	—	88	99	107
指・日本文芸研究特講・ 漢文	1	4	指定市販本 (各自購入)	『教養のための中国古典文学史』 松原朗ほか、研文出版、2009年、 ¥1,600	スタディガイドあり	S-057	¥1,650	88	99	—
日本文芸研究特講・現代	2	4	通教テキスト (配本)	『日本文芸研究特講・現代』第1版 小田切 秀雄、1982年	※前・通教テキスト 『日本文学作品作家研 究(現代)』	—	—	89	100	—
指・日本文芸研究特講・ 言語	2	4	指定市販本 (各自購入)	『万葉異説一歌ことばへの誘い』 間宮厚司著 森話社、2011年、¥1,900		S-054	¥1,931	89	100	107
中国文芸史	2	4	通教テキスト (申告制)	『中国文芸史』(第1版) 安藤 信廣、1992年		—	—	90	101	—
日本語史	2	4	通教テキスト (配本)	『日本語史』(第1版) 外間守善、内間直仁、1986年		—	—	90	101	108
指・日本文法論	2	4	指定市販本 (各自購入)	『ここから始まる日本語文法』 森山 卓郎 ひつじ書房、2002年、¥1,800		S-061	¥1,844	91	101	108
指・日本芸能史	2	4	指定市販本 (各自購入)	『日本の伝統芸能講座 舞踊・演 劇』 服部 幸雄監修、 淡交社、2009年、¥3,800		S-062	¥3,848	91	102	—
指・日本美術史	2	4	指定市販本 (各自購入)	『カラー版 日本美術史』 〔増補新装版〕 辻 惟雄監修 美術出版社、2003年、¥1,900		S-063	¥1,961	92	102	108

科目名	履修 学年	構成 単位	テキスト 種別 (入手方法)	2017年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社（市販 本のみ）／発行年／定価（税抜）	備考	教科書 コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
								シラバス	設題	試験範囲
指・西洋美術史	3	4	指定市販本 (各自購入)	『カラー版西洋美術史』 〔増補新装版〕 高階 秀爾監修 美術出版社、2002 年、¥1,900	いずれか 1 冊で可*	S-058	¥1,961	92	103	—
			指定市販本 (各自購入)	『西洋美術の歴史』 H.W. ジャンソ ン、A.F. ジャンソン著、木村重信・ 藤田治彦訳、創元社、2001 年、 ¥3,400		S-134	¥3,509			
社会思想史	3	4	通教テキスト (配本)	『社会思想史』（第 2 版） 濱田 義文、加来 彰俊、 湯川 桂一郎、牧野 英二、 星野 勉、安孫子 信、笠原 賢 介、酒井 健、2010 年		—	—	92	103	—
世界文芸思潮	3	4	通教テキスト (申告制)	『世界文芸思潮』（第 2 版） 渡辺 廣士、長谷 俊雄 編著、 2010 年		—	—	93	104	108
指・書道史	3	2	指定市販本 (各自購入)	『書道テキスト＜第 2 巻＞中国書 道史』 大東文化大学書道研究所編 二玄社、2011 年、¥1,600	2 冊使用します	S-059	¥1,660	93	104	108
				『書道テキスト＜第 3 巻＞日本書 道史』 大東文化大学書道研究所編 二玄社、2010 年、¥1,600		S-060	¥1,660			
書道実技	3	2	通教テキスト (申告制)	『書道教本』第 1 版、井澤秀彦、 2010 年	教本のほか半紙、リポ ート提出台紙等一式が同 封されています。	—	—	94	104	—
			指定市販本 (各自購入)	『明解書写教育』増補新訂版 全国大学書写書道教育学会 萱原書房、2013 年、¥1,500		S-064	¥1,553			

* 2016 年度に経過措置テキストになった『カラー版 西洋美術史』は経過措置の取扱いが変更されました。詳細は『法政通信』2017 年 3 月号及
び 10 月号で確認してください。

2017年度 通信学習シラバス

日本文芸学概論

教科担当責任者：藤村 耕治

担当者：岡野 幸江
単位数：4 単位

※ 2016 年 4 月よりテキスト変更（通教テキスト → 指定市販本）

- 1 学習の到達目標** 1. 文学鑑賞とはどういうことか、また、その鑑賞の方法について理解する。
2. 文学研究とはどういうことか理解する。
3. 文学のさまざまな研究方法について学ぶ。
4. 以上のことをふまえ、実際に文学研究を実践し、論文を書く。

2 科目の概要 本講座では、まず「文学とは何か」について考え、「文学を学ぶとはどういうことか」ということ、つまり文学鑑賞と文学研究についての認識を深めていく。その過程で、多くの古典といわれる名作や現代の作品も読んでほしいと思う。また、研究の方法について、特にきわめて基本となる在り方や作品分析の方法について、具体的な作品に即して学んでいく。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により以下の点から評価する（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと）。
1. 指定市販本 小田切秀雄『文芸学講義—文学作品が書かれるまで』などを使って、文学鑑賞や文学研究について理解している。
2. 課題の作品について、きちんとした作品研究を行っている。
3. 作品について、論理と実証を心がけて論文としてまとめられている。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 小田切秀雄『文芸学講義—文学作品が書かれるまで』青柿堂、2016 年、¥2,000+税【参考文献】『別冊国文学No. 51 近代文学現代文学 論文・レポート作成必携』学燈社、1998 年『新研究資料 現代日本文学』①～⑦明治書院、2000 年※ その他、『国文学 解釈と教材の研究』学燈社、『国文学 解釈と鑑賞』至文堂、『日本文学』日本文学協会、『昭和文学研究』昭和文学会、などのバックナンバーなどに、各作家作品の研究論文が多数あります。また、それぞれの作家・作品の研究書・論文集も多数出版されています。

5 学習指導、注意点等 1. 指定市販本 小田切秀雄『文芸学講義—文学作品が書かれるまで』などを使って、文学鑑賞や文学研究について、まず学習する。
2. 課題作品を、丁寧に読み込む。その際の疑問点や問題だと思う点についてメモしておく。
3. 作品について研究する。その際、先行の研究論文を一つ以上読み、比較検討する。また、論文の書き方の参考にもする。
4. 論理と実証を旨に、論文として研究をまとめる。縦書きで、よく推敲して、提出する。
5. 参考文献・引用の出典を明示する。

※ まず、予備知識無しに作品を読み込み、自身の論文のテーマを設定し、その後、先行の研究を読み、それを手本にしつつ、具体的な作品自体に当たって分析考察することが大切です。

日本言語学概論

教科担当責任者：尾谷 昌則

担当者：古牧 久典
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 言語学の基本的な概念と考え方を理解し、音声学韻論、形態論、統語論、意味論、語用論、社会言語学などの言語学分野の基礎事項を学ぶ。

2 科目の概要 日本語ということばから言語に対する考え方を学ぶ。言語学とは言語の本質とは何かを考えるための科目（学問分野）である。言語の性質や特徴を知るためには、様々な切り口が考えられる。

本科目は、テキスト（『言語学入門 これから始める人のための入門書』）に沿って進める。テキストでは大きく分けて七つのテーマから言語に迫っている。七つのそれぞれのテーマに下位項目が設けられ、全体で 26 講（1 講平均 5 ページ程度）から成る。七つのテーマには、[1] 言語の特性や諸側面をまとめた言語学の概説（第 1-4 講）、[2] ことばの音の側面に注目した音声学・音韻論（第 5-9 講）、[3] 単語の構造を対象とした形態論（第 10-13 講）、[4] 文という単位の構造に焦点を当てた統語論（第 14-17 講）、[5] ことばの意味を考える意味論（第 18-21 講）、[6] ことばのコミュニケーションの側面を理解する語用論（第 22-23 講）、[7] 言語の変種・変化・種類に着眼する社会言語学や歴史言語学など（第 24-26 講）がある。

こうしたテーマを学ぶことで、日本語に限らず、様々な言語の特性に迫るための考察技法を学習する。

3 成績評価基準 各講ごとに設定されているキーワードを正確に理解している。

当該テーマに対して、適切な例を挙げて説明できる。言語学に基づく視点から、日本語などの言語を鳥瞰することが出来る。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『言語学入門 これから始める人のための入門書』佐久間純一・加藤重広・町田健著、2004 年、研究社、1,800 円+税

本書は、はじめて言語学に触れる人へ向けた入門書であり、七つの言語学分野（言語学の概説／音声学・音韻論／形態論／統語論／意味論／語用論／社会言語学・歴史言語学）が紹介されている。各講の最後には練習問題が用意されており、解答例が巻末に用意されている。

5 学習指導、注意点等 テキスト各講冒頭のキーワードに対して意識することを心がけ、自分で一講ごと概括しながら、読み進めて下さい。また、それぞれの講が終わったら練習問題にも挑戦し、自身でテキスト付属の解答を確認して下さい。練習問題の解答例も付録程度と考えずに、併せて読むことで理解を深めましょう。

文学概論

教科担当責任者：中丸 宣明

担当者：伊藤 博

単位数：4 単位

※ 2016 年 4 月よりテキスト（指定市販本）変更

※ リポート（第 1 回・第 2 回）一括提出不可

1 学習の到達目標 日本近代文学の歴史を概観し、名作と評価されている文学作品を様々な角度から検討し、理解することを目指します。近代の作家たちが描いた人間像を当時の歴史、経済、政治、社会、文化との関係にも注意を払いながら読解することによって近代文学の特徴を把握することが学習の到達目標です。

2 科目の概要 文学の領域といえば、詩歌、説話、物語、随筆、小説、戯曲、評論などのジャンルがすぐに思い浮かぶように非常に広大です。本教科は主に日本の近代に限定し、その時代のみならず、現代においても強い影響力をもち、今なおその文学的生命力を喪失していない文学作品（小説）を分析・検討します。その際、文学作品（小説）を研究する方法についても理解を深めることを目指します。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価しますが、評価の際は先に提出されたリポートの内容も考慮します。リポートに限らず、文章は他者に読まれ、理解されて初めて、書き手の考え方が読み手に伝わるものです。したがって、リポートの分量はもちろんのこと、その内容、たとえば、設問の内容を正しく理解し、矛盾のない論理によってリポートを作成しているか否かが評価の主な基準となります。その前提として、リポートの形式、たとえば、段落の区切り方や句読点の付け方、誤字脱字がないようにすることなども要求されます。リポートを作成する上での基本事項を守ることが大切です。

4 テキスト名および詳細 テキストは指定市販本『日本近代小説史』〔中公選書〕（安藤宏、中央公論新社、2015・1、¥2,000+税）を使用します。この著作は明治時代から現代に至る主要な文学作品を概観しているので、文学作品を読む際に、有益なヒントを得ることができるでしょう。また、現在、絶版となっているため入手が難しいかもしれませんが、図書館等を利用し、『文学概論』（小田切秀雄、勁草書房、1972・12）、及び『文学入門』（吉田精一、旺文社文庫、1974・11）、『文学概論』（板垣直子、用美社、1990・3）も参考にしてください。『現代にとって文学とは何か』（読売新聞社編、1971・11）は 23 名の作家・文芸評論家によって文学の存在理由を問いかけた書籍として参考になる筈です。

5 学習指導、注意点等 原稿用紙を使用する際、書き方は縦書きにしてください。リポートの内容は先行論文・批評をきちんと踏まえ、他者の意見と自分の意見を明確に区分し、そのことが分かるように作成して下さい。単なる思い込みや感想ではなく、また参考文献からの引用の羅列ではないリポートを作成して下さい。そのためには設問の内容を正しく理解し、なにが、どのように描かれた作品なのか、そのことに留意することが重要です。また、リポートの最後に「参考文献一覧」（書名、著者名、出版社名、刊行年月）を記載して下さい。パソコンでリポートを作成する場合は末尾に字数を明記して下さい。添削・返却されたリポートを再読し、自分自身のリポートの内容や表現に不備や不足があれば、それらを的確に把握・理解し、その後のリポートを作成するために活用して下さい。

日本文芸史 I

教科担当責任者：坂本 勝

担当者：谷口 卓久

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 リポート作成と単位修得試験の設題には、総論的なものと各論的なものとを併せて掲げている。その意図は、日本文芸史の史的展開について個々の作品のよせ集めとしてではなく、相互の繋がりについて丁寧に考察しつつ全体として理解することを目指としているからである。リポート作成は、研究報告にとどまらず、文学研究・人間史研究についての自らの問題意識の切実さをも問う営為であり、文学研究の「方法」について広く学び、自分で考え、自分のことばで表現できる人材の教育を目標としている。

2 科目の概要 日本文芸史は、日本文芸の史的展開について考究する科目であり、人間の学としての文学の視座に立ち、諸ジャンルがそれぞれ異なる時期に生成する過程と意義を分析・研究する。広く表現史において、文学のジャンルが、歴史の内部でどのようににはたらき、歴史とともに動いているかについて考察する。リポートと単位修得試験の設題は、総論と各論とで出題している。

文学史を個々の作品のよせ集めとしてではなく、書くということはどういうことか、個々の作品が時代の文法の中で、何を言おうとしていたのか、全体として理解する必要がある。ミクロとマクロの両眼をもって、ことばの始原を探究し、古人が求めたものについて考察する。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたリポートの内容を考慮する。

既成の研究の狭隘なジャンル意識にとらわれることなく、ジャンルの本質を意味づけし直すくらいの意識で臨むことを学生には期待している。時代区分・ジャンル・作品の生成過程の研究について、自分の頭で考えているかどうかを成績判定の評価基準にしている。

(A+) …… 課題の求めに応じた内容・構成がしっかりしたリポートと成っていること。研究史をふまえつつ独自の意見を述べていること。

(A) …… 調査・研究はなされているが、先学の研究や独自性が稀薄であること。誤字・脱字があり、文章表現に少し未熟さがあること。

(B) …… 誤字・脱字があること。文学史的常識を欠く内容が少しあること。自論を述べるが論証の浅いこと。

(C) …… 広く調査・研究することなく、身近にある一般書で済ませていること。内容が表層的通史にすぎないこと。

(D) …… 求めに応じた内容となっていないこと。誤字・脱字が多くあること。文学常識に決定的な誤りがあること。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『日本文芸史 I』第 1 版、近藤忠義、1980 年
(※ 前・通教テキスト『日本文芸史』)

5 学習指導、注意点等 学生には、科目の主要課題と目標について理解してほしい。問うことは教えられないが、学ぶことと問うことは相い半ばの関係にあり、リポートの添削を通して学生の文学研究に対する意識を挑発してゆきたい。教師が学生を挑発し、学生自身が奮いつつ学習環境であってほしい。

リポート作成上の注意点としては、①必要な文献は、必ず原文で読み、注や参考文献は、リポートの本文の後に著者（编者）・刊行年・出版社名を記すこと。②作品や研究書・注釈書からの

引用には、引用符（「」）を用い、典拠を明示し、自分の意見と引用部分とをはっきり分けること。③提出前に繰り返し読み返し誤字・脱字がないようにすることの三点を特に心懸けてほしい。

文学が探究する始原とは、創造的精神を挑発する根拠・本性の謂であり、先学の研究を批判的に継承しようとする新奇性・独自性・当事者性を尊重したい。レポート作成にあたって、傍らにある研究書・一般書をもって足れりとせず、広く調査・研究する姿勢を指導したい。学ぶ者としての精神を忘れずに、高い志と誇りをもって日々の学習生活に臨んでほしい。

日本文芸史Ⅱ

教科担当責任者：藤村 耕治

担当者：山田 稔
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 戦後以降の日本文芸史への認識を深め、その多様な特質について学ぶ。その上で、問題とされた作品によって、人・思想・時代・表現方法への理解を及ぼし、究極において、自らの一定の見解を打ち立てることを目標とする。

2 科目の概要 近・現代の日本文芸史において画期的な意味を持った第二次世界大戦後の文学の代表者と、その文学精神の継承者について、個々の存在性と表現の独自性を探り出す。戦後文学とは、政治と文学の関係についての鋭い問題意識、実存主義的傾向、在来の日本的リアリズムと私小説の揚棄、文学的視野の拡大などを指す。そうした特質を、無頼派、戦後派、第三の新人を代表する、石川淳、埴谷雄高、武田泰淳、庄野潤三、小田切秀雄など、テキストで論じられている作家・評論家たちを中心に、その作品世界を通して理解し、考察する。

3 成績評価基準 設問の要求をきちんと満たしていること。テキストとそこで扱われている作品を読了し、それをふまえて論じられていること。問題となる作家や作品については、具体的に作品に即して論じられていること。自身の見解がそれとわかるように述べられていること。さらに、必要な参考文献に目をとおしていることがわかるように記述することが望ましい。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『日本文芸史Ⅱ』第1版、立石 伯、2009年
※【申告制】テキスト

（※前・通教テキスト『日本文学特講2』）

【必読文献】

テキストで語られている作家の作品。特に石川淳、埴谷雄高、武田泰淳、庄野潤三、大江健三郎の諸作品

【参考文献】

『埴谷雄高文学論集』講談社文芸文庫他

江藤 淳『成熟と喪失』講談社文芸文庫他

大江健三郎『同時代としての戦後』講談社文芸文庫他

磯田光一『戦後史の空間』新潮文庫・新潮選書他

加藤典洋『敗戦後論』ちくま学芸文庫他

5 学習指導、注意点等

- ・戦後派、無頼派、第三の新人について理解を及ぼすこと。
- ・二作品以上について、十分に具体的な論述がなされていること。
- ・縦書きとし、関連する作品論、作家論（解説なども含む）に目を通し、それらをレポートの末尾に必ず参考文献として明記すること。
- ・引用と自説とは、はっきり区別すること。
- ・必読文献は読了しておくこと。参考文献は関係するところを中心に読み、文芸史的認識を深めておくこと。

- ・手書きでなく、印字原稿の場合は総字数を明記すること。
- ・分量不足とならないこと。

日本文芸研究特講・上代

教科担当責任者：坂本 勝

担当者：山崎 和子
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 上代の作品『古事記』『日本書紀』『風土記』『万葉集』『懷風藻』などを通して、当時の社会状況なども鑑みながら、人々の考え方や表現の方法を読み取り、上代文学がどのようなものかを全体的に見通すことを目指す。

2 科目の概要 『古事記』『日本書紀』では、神話の世界から歴史を記すことへの過程を、文体や書かれた内容から学ぶことや、『万葉集』では、口誦からくやまことばとして表記すること、共同体の歌から個別的な歌への歩みを見ていくことなどによって、文学・文芸の発生を考えることにもなるだろう。上代の人々のものの見方や考え方、表現の方法を考察することによって、作品読解を深めていく。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたりポートの内容も考慮する。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『日本文芸研究特講・上代』第1版、西郷信綱、1968年

（※前・通教テキスト『日本文芸作品作家研究（古代）』）

上記テキストの pp.1-146 を学習範囲とする。

【参考文献】『古事記』『日本書紀』『風土記』『万葉集』『懷風藻』などのテキストを、新編日本古典文学全集（小学館）、新日本古典文学大系（岩波書店）、新潮日本古典集成（新潮社）など、適宜用いること。

5 学習指導、注意点等 上記テキストの熟読と、文学史を通覧すること。詳しい参考書としては、古橋信孝『日本文芸史－表現の流れ 第一巻・古代Ⅰ』（河出書房新社）などもある。

レポート作成においては、設題に即して、①注釈や現代語訳の付いている作品テキスト（本文）を必ず読み、どのテキストを用いたかを明示する。②雑誌『国文学 解釈と鑑賞』『国文学 解釈と教材の研究』や国文学研究資料館のデータベースなどを検索し参考文献にもあたり、考察を深める。③参考文献の引用は明示し、まとめる際には、参考文献をつぎはぎして要領よくまとめるのではなく、自分の考察、自分なりのことばで書く。④段落構成を考え、誤字脱字に注意しながら、解りやすく簡潔にまとめる、などに注意すること。

自己学習の困難さを克服するために、スクーリングや情報収集なども積極的に心掛けるとよい。

日本文芸研究特講・中古

教科担当責任者：加藤 昌嘉

担当者：山崎 和子
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 A. 中古（平安時代）に成った歌集・日記・物語など、個々の作品の概要（成立・作者・構成・表現・影響）を学ぶ。
B. 中古（平安時代）に成った、主要な歌集・日記・物語が、ど

のように研究され、どこまで明らかにされているのかを学ぶ。
C. 中古文学（平安文学）全体を、歴史的な流れとして見渡せる目を養う。

2 科目の概要 中古（平安時代）には、平仮名・片仮名が発明され、勅撰和歌集・私家集、仮名日記、歌物語・作物語・歴史物語・説話集など、さまざまな種類の文芸作品が生まれた。

本科目では、主要な作品の成立・作者・構成・表現・影響などを学びつつ、それらが日本文学史の中でどのような位置を占めるのか、ジャンルごとに習得してゆく。

3 成績評価基準 ◆最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は、先に提出されたりレポートの内容を考慮する。
◆中古（平安時代）に成った文芸作品の概要を把握できているか否か、問う。

◆8世紀から13世紀までの文学史の流れを把握できているか否か、問う。

4 テキスト名および詳細 ◎指定市販本『日本語の古典』（岩波新書）、岩波書店、山口仲美、2011年、¥800+税
◎指定市販本『王朝文学の楽しみ』（岩波新書）、岩波書店、尾崎左永子、2011年、¥760+税
……両書とも、古典文学史全体を見据えつつ、中古文学（平安文学）それぞれの面白さをわかりやすく紹介した、すぐれた入門書。

5 学習指導、注意点等 ◆上記テキストを熟読し、個々の作品の概要と文学史の流れを学習すること。

◆より詳しい参考書として、以下のものを推薦しておく。
◎小峯和明 編『日本文学史 古代・中世編』（ミネルヴァ書房）
◆また、個々の作品・作家については、『日本古典文学大事典』（明治書院）を引いたり、『新潮古典文学アルバム』シリーズを見たりするなどし、研究上の問題点を確認しておくこと。
◆なお、『新編日本古典文学全集』シリーズ、『新潮日本古典集成』シリーズ、『角川ソフィア文庫』シリーズなどで、個々の作品を実際に読んでみることを薦める。

日本文芸研究特講・中世

教科担当責任者：小秋元 段

担当者：中司 由起子

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 中世に成立した文学作品の作者・成立時期・特徴などの基本的な知識を獲得するとともに、個々の作品の時代背景や影響関係を通して、中世の文学の特質を考えることを目標とする。

2 科目の概要 中世に成立した著名な文学作品をとりあげ、作品の作者・成立時期・内容等の基本的事項を整理し、作品の解釈をおこなう。作品本文をていねいに読むことを大切にしたい。テキストの脚注だけでなく、辞書・注釈書を参照し、正確な解釈をする。そのうえで、先行する研究もふまえて自分なりの論を展開する。

3 成績評価基準 ・レポート評価

課題が的確に論じられているかという点を評価したい。作品の梗概や参考文献の論をそのまま記すのではなく、作品を精読したかどうか注目する。基本的な作文技術、形式（引用や注の仕方等）についても評価に入れる。

・筆記試験

中世の著名な文学の基礎的事項や特徴と中世文学の特質を問う。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『編年中世の文学』、新泉社、浅見和彦・天野文雄・小島孝之・田村柳菫著、1990年、¥2,000+税

本テキストは、作品を和歌、説話、軍記物語といったジャンルごとにまとめて扱うのではなく、編年の方法によって構成され、中世文学史を体系的にとらえることを目的としている。時代、歴史の流れに沿って、各ジャンルの変遷の実態を的確におさえてほしい。

本書の構成は、50年ごとに年代を区切り、その各期で作品の年表と解説がまとめられ、続いて各期を代表する作品本文を掲載するというかたちをとっている。また掲載作品に関連する文学歴史作品も載っている場合があり、巻末に「中世文学小事典」を付す。

本書の各期で示された解説は簡略であるので、必ず以下の方法で学習にとりくんでほしい。

① 解説にとり上げられている作品名を、巻末の「中世文学小事典」や文学辞典などで調べ、その内容、作者、成立等の作品の基本的事項を整理し把握する。

② 下記にあげた参考文献の概説書を参照して、テキストに本文が掲載された作品の特質を、本文とつき合わせる。

③ 本文を解釈するには、本文の脚注、辞書類のほか、新日本古典文学大系（岩波書店）・新編日本古典文学全集（小学館）・新潮日本古典集成（新潮社）等の注釈書を参照する。

概説書で指摘されている文学作品の特質を、本文から読みとり、中世文学史への理解を深めていくことを期待する。

なお単位修得試験では、作品本文の口語訳を出題することはない。

5 学習指導、注意点等 リポート作成にあたっては、作文の基本的な事項（誤字脱字・文法・段落等）に加え、論の構成や注の付け方、引用の仕方、参考文献のあげ方などにも注意する。作品のあらすじは長々と記すのではなく、論の展開上必要な場合において簡潔にまとめる。課題は感想文やエッセイではないので、客観的、論理的な視点で取り組むことが必要である。

上記4のテキストの詳細を読んでから、作品本文をじっくりと読み、諸注釈書や辞書類を活用しながら解釈をし、理解したうえで課題にのぞんでほしい。本文を読まずに、はじめから注釈書や先行研究論文等の論に従って課題にとりくむのではなく、まずは作品本文を精読すること。

日本文芸研究特講・近世

教科担当責任者：小林 ふみ子

担当者：山口 恭子

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 この科目では、近世文学（つまりおもに江戸時代の文学）を構成する諸ジャンルを知り、その主要な作品に触れることによって、近世文学の素材や内容、表現の多様性を知ることを目指します。大衆性ばかりが強調されがちな近世文学ですが、そうした面はもちろんのこと、高尚で雅な表現もあり、高度に機知的な技法を活かした笑いもあり、挿絵から見えてくる読みを求める作品もあり、流麗な文体の本格的な読み物もあり。そうした多様性の中から、等身大の江戸の人々の姿を捉えてみましょう。

2 科目の概要 20の巻から成るテキストに「問題」がありますので、それを解き、「現代語訳」や「解説」を読んで、その要点や論点、疑問点をまとめるところから学習を進めてください。

テキストは比較的薄いものですので、むしろそれを第一の手がかりとして、興味を持った項目についてそれぞれの巻の「もっと読みたい人への読書案内」などを参考にして、学習を深めていただきます。

3 成績評価基準 単位修得試験では、テキストの内容を把握しているかどうかを評価基準とします。テキストに取り上げられているジャンル、作品、その作家や内容、史的意義等についての理解を重視します。

レポートでは、近世文学について学習を深めることができているかどうかを評価基準とします。各自の考察のありようを重視しますので、テキストに書かれていることを単になぞるのではなく、「もっと読みたい人への読書案内」に示された参考文献などをも用いた、検討・研究を行うようにしてください。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『江戸の詩歌と小説を知る本』初版、笠間書院、鈴木健一編、2006年、¥1,700+税

5 学習指導、注意点等 テキストは非常に基礎的なもので、取り上げている部分も各作品やそのジャンル全体のごく一部に限られます。

むしろこれはさらに広く深い近世文学への入り口として捉え、基本的な内容を調べ直し、理解したうえで、興味を持った作品やジャンルについて、疑問や考えたい、考えるべきテーマを見つけて掘り下げていこうという姿勢で臨んでください。

日本文学研究特講・近代

教科担当責任者：田中 和生

担当者：永岡 杜人

単位数：4 単位

※レポート（第1回・第2回）一括提出不可

1 学習の到達目標 「日本近現代文学」の主軸を為す作家、作品について理解を深めるとともに、「近代」・「日本」・「文学」それぞれが抱えた（あるいは抱えている）諸問題の意味について、具体的に論じられる学力を醸成する。

2 科目の概要 「近代」とは、ひとことで言えば、人々に「自由」な「個人」になり得る、という夢を与えた時間のはじまりのことだが、同時にその「自由な個人」なるものの内実とそれを成り立たしめる困難とに彼らを絶えず向かいあわせた。本授業では、四迷、鴎外、漱石の明治作家から、志賀直哉、中島敦、小林秀雄ら大正・昭和の作家、批評家、そして戦後の梅崎春生、小島信夫など多数の作家たちの作品を読み解くことを通じて、各時代にそれぞれの主人公たちが深く潜り抜けようとした問題の核心を考察する。

3 成績評価基準 ・レポート評価

参考文献（文学史・先行論文など）を「調べる」ことによって得られた「知識」はむしろ大切だが、それ以上に自らが「作品」それ自体と「向き合った」、「読んだ」かが読み手にしっかりと伝わるような内容を心がけること。「文学研究」もまた、「文学」であることが目指されなければならない。すなわちレポート作成にあたっては、「先行研究」をしっかりと包み込みながら、オリジナリティ溢れる場所へと出る、「論文」の手続きと文体とを徐々に獲得していくことが望ましい。

・単位修得試験

テキスト精読とレポート作成によって培われた「近現代文学」への知識量、理解力とをあらためて総合的に問い直すのが目的である。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『日本文学研究特講・近代』第2版、勝又 浩、2009年
（※前・通教テキスト『日本文学作品作家研究（近代）』）

5 学習指導、注意点等 レポート及び論文作成の基礎的事項については確認しておくこと。また学習者自身が、テキストで論じられている作家、作品はもとより、つねに良質の「文学」「文学研究」「文芸評論」に触れていることが大切である。

日本文学研究特講・漢文

教科担当責任者：遠藤 星希

担当者：大西 陽子

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 漢文（本科目では中国古典文学を指す）についての基礎知識および評論する能力を習得目標とします。本科目における学習の到達目標は以下の通りです。

- ①漢文を読むための基礎的な読解能力を習得する。
- ②漢文における基礎的な知識（作者・作品・文化史的背景）などについて理解し説明できる。
- ③作品分析を通して、中国古典文学の特徴や独自性などについての確な解釈や論理的分析をすることができる。

2 科目の概要 本科目では漢文全般にわたる基本的な知識、および具体的作品を読解する基礎的能力を習得することを主眼とします。学習するにあたって中国古典文学の流れを時系列的に把握するだけではなく、中国特有の文学ジャンルや表現方法がどのような時代背景の下でどのような経過によって発展・盛行したのかという点にも着目しながら幅広い視野の下で多くの作品に接してもらいたいと考えています。そのためにも、各時代を代表する文学ジャンルや作者についての理解を深め、実際に作品を数多く読む必要があります。中国文学史関連の書籍を最低でも1冊は通読して文学史の流れを把握し、その上で原文（原文が掲載してある翻訳でも可）で具体的に作品にふれ、中国文学の奥深さ面白さを自分なりに発見していただきたいと考えています。レポート執筆にあたっては指定テキストだけでは不十分ですので、設題に附記する参考文献などを参照してテーマに沿った考察をしてください。

3 成績評価基準 レポートの主な評価基準

- ・レポート設題の内容をきちんと理解し、正確な知識を習得できているか。
 - ・該当作品の内容をきちんと読解した上で、自分の独自の観点により考察・評論がなされているか。
 - ・レポートの構成・論述・引用の仕方などが適正であるか。
 - ・誤字脱字や文脈の不整合などがなく、正しい文章であるか。
- 単位修得試験の主な評価基準
- ・設題の内容をきちんと理解し、正確な知識を習得できているか。
 - ・明確で論理的な文章で論述されているか。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 松原朗 佐藤浩一 児島 弘一郎 著『教養のための中国古典文学史』研文出版、2009年、¥1,600+税

※【スタディガイド（学習指導書）】あり

本テキストは中国文学あるいは文芸を理解するうえで重要だと考えられる人物、作品、ジャンルなどを、テーマごとに各項目が全て2ページの見開きで収まるように書かれた解説書の形式になっています。それぞれの項目が簡潔で読みやすい文章なので、自分の興味のある箇所から読み始めることができます。また全体を通読することによって中国古典文学の流れを通史的に

理解することができるようになっています。

文末には詳細な参考文献目録、中国文学関連年表、索引などが付録されており、テキストだけでは不十分な項目や更に発展的に学びたい人への手引きとしての便を図っています。是非熟読して大いに活用してください。

5 学習指導、注意点等 リポート課題および単位修得試験の設題は、文学史的知識だけを問うのではなく、できるだけ広い視角から考察・論述できるようにテーマ設定をします。テーマによっては指定テキストだけでは不十分で、より専門的な参考文献が必要になる場合があるかも知れません。特にリポート執筆に際しては、設題テーマに関連する先行論文などについては各自で調べ、実際に作品を読み、作品分析を通してテーマに沿った考察を進めるようにしてください。またリポート作成方法として、以下の基本ルールは遵守してください。

- ① リポートの課題に即したテーマ設定をし、自分のリポート独自の題をつけて提出してください。
- ② リポートに無駄に細かい章立ては不要です。必要な場合でも三章程度にしてください。章立てはしなくてもかまいません。
- ③ 参考文献を引用する場合はカギ括弧でくくってどこまでが引用であるのか明示し、注（脚注でも傍注でも形式は問いません。）に参考文献の書誌的事項を明記してください。
- ④ **Web** や他人の論文などから文章の引き写しはしないでください。
- ⑤ 作品を用例として引用する場合は、原文をどのように解釈したのかがわかるように、訳文、書き下し文（文脈によっては原文のみでも可）のいずれかの方法で記載してください。その際、何を参考にしたのか出典を必ず明記し、原文と照合できるような形で記載してください。（翻訳書などを参考にした場合は出版社名、タイトル、当該ページを記載してください。）
- ⑥ 孫引きはしないこと。初出の出典がある場合はできる限り原典にあたって引用してください。

日本文芸研究特講・現代

教科担当責任者：田中 和生

担当者：沼田 真里

単位数：4 単位

※リポート（第1回・第2回）一括提出不可

1 学習の到達目標 日本現代文学を時代の流れとともに学び、作品読解を通じて、作家や作品への理解を深め、当時の社会状況や文学思潮、文学上の諸問題をふまえつつ、具体的に論じられる学力を醸成します。

2 科目の概要 この科目では、テキスト『日本文芸研究特講・現代』（小田切秀雄著）をもとに現代文学の流れを学び、作家・作品に対する理解を深めます。また、二度の設題によるリポート制作により、論文作成の基礎的な力を身につけます。試験については、日本の現代文学史の大まかな流れ、特に文芸思潮や流派、テキストに出てくる作家（作品）についての理解を問います。リポートにおいては、作品を鑑賞するだけではなく、論じること（テーマを設定し結論を導き出すこと）を求めます。

3 成績評価基準 ・リポート評価

テキストを熟読したうえで、個々の作家・作品に対し、自分の論やテーマをもって論じられているかどうかを評価します。また、他の文学史や作家研究の参考文献も幅広く参考にして、よ

く推敲し、論文の基本的な構造・形式をそなえているか、ふさわしい文章（文体）になっているかも評価します。

・単位修得試験

テキストや参考書の丸暗記ではなく、リポート作成やテキストの精読を通して現代文学の知識が、作家・作品や文学史に対する総合的理解に至っているかを評価します。※最終成績は単位取得試験により評価しますが、評価の際は先に提出されたリポートの内容も考慮します。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『日本文芸研究特講・現代』、小田切秀雄、1982 年
（※前・通教テキスト『日本文芸作品作家研究（現代）』）

5 学習指導、注意点等 まずはテキストをよく読み、テキストに書かれている作品・作家とその時代の特徴が、実際の作品においてどう現れているのかを確かめてみましょう。その後、作品を熟読し、自分の観点や疑問を探りながら、他の参考文献も広くあたってください。その上で、最終的に自分なりの観点やテーマを絞りこみ、文章の形式・構成を考えて、レポートをまとめましょう。

文学史は書き手によって微妙な違いがあるので、その他の文学史もよみ、参考にしてください。

参考文献を引用する際は、自分の考え・論を明確に分け、引用文献の出典情報を明記しましょう。

リポート作成の際には、「設題総覧」の注意事項をよく読んで臨んでください。

【参考文献】

『日本文学史 近代から現代へ』38 版、中公新書、奥野健男、2002 年、¥ 740

『書く前に読もう超明解文学史』第2刷、集英社文庫、三田誠広、2005 年、¥ 514

日本文芸研究特講・言語

教科担当責任者：間宮 厚司

担当者：阿部 美菜子

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 1000 年以上前に書かれた『万葉集』の短歌を言語学的に読み解くプロセスを通して、上代日本語の歌ことばについて学習します。まずは、テキストを入手して、「まえがき」と「I『万葉集』の基礎知識」を読みましょう。次に「II 万葉異説一訓読の再検討と類歌の表現比較」を第1話から順々に読み進めて下さい。そこから、具体的な研究方法（問題点の発見・論証の仕方・論の展開・結論の出し方）を学びます。学習の到達目標は、テキストに書かれている内容を十分に理解し、人に説明出来るようになることです。

2 科目の概要 本科目では、万葉歌の訓読の再検討と類歌の比較を通して、上代日本語の表記・文法・表現などについての理解を深めます。

3 成績評価基準 テキスト中の「第1話～第10話、第12話～第13話、第16話～第19話」の中から、指定された2話を各1200字程度で要約するリポート（20%）、そして、テキスト「第1話～第10話、第12話～第13話、第16話～第19話」に書かれている内容を十分に理解しているか否かを確認する単位修得試験（80%）の出来をみて、総合的に評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『万葉異説－歌ことばへの誘い』、森話社、間宮厚司著、2011 年、¥ 1,900+税

5 学習指導、注意点等

テキストの内容を十分に理解できるまで、熟読しましょう。また『万葉集』に関する注釈書の中で比較的入手しやすいものをテキストの 144 頁に一覧しましたので、図書館などを活用し、自ら積極的に勉強して下さい。

中国文芸史

教科担当責任者：遠藤 星希

担当者：大西 陽子

単位数：4 単位

1 学習の到達目標

本科目は中国の文芸（主に詩文・戯曲・小説などの中国古典文学全般を指します）についての基礎的知識を習得し、かつ正確に理解し自ら探求する能力を向上させることを到達目標とします。本科目の到達目標を以下に列挙します。

①中国の古典作品（詩文）を原文（書き下し文や翻訳本などを参考にして理解することも可）で読むための基礎的な読解能力を習得する。

②中国独自の文芸の成立と展開について、その歴史的背景を踏まえて理解し、基礎的な知識（作者・作品・文化史的背景）などについての的確に説明できる。

③作品分析を通して、中国の文芸の特徴や独自性などについての確な解釈や論理的分析をすることができる。

2 科目の概要

本科目で扱う中国文芸とは、主に詩文・戯曲・小説などの古典文学を指しますが、文学と深く関連する書・絵画・音楽などの芸術全般についても視野を広げて考察の対象とします。時代的には清朝末までの作品が対象となります。中国の古典文学および芸術は、各時代の社会思潮や文化と深く関連しながら形成・発展を遂げてきました。本科目では中国文芸の通史的理解や基本的知識を習得した上で、中国独自の文芸の特徴や中国人の思考様式を、作品分析を通して考察していくことを主眼とします。まずは中国文芸の歴史の流れを知るためにも、中国文学史関連の書籍を最低でも 1 冊は通読してください。その上で、具体的に作品を分析考察して中国古典文学作品への理解を深め、中国文芸の奥深さや面白さを自分なりに発見していただきたいと考えています。レポート執筆にあたってはテキストだけでは不十分ですので、設題に附記する参考文献を参照してテーマに沿った考察をしてください。

3 成績評価基準

レポートの主な評価基準

- ・レポート設題の内容をきちんと理解し、正確な知識を習得できているか。
- ・該当作品の内容をきちんと読解した上で、自分の独自の観点により考察・評論がなされているか。
- ・レポートの構成・論述・引用の仕方などが適正であるか。
- ・誤字脱字や文脈の不整合などがなく、正しい文章が書けているか。

単位修得試験の主な評価基準

- ・設題の内容をきちんと理解し、正確な知識を習得できているか。
- ・明確で論理的な文章で論述されているか。

4 テキスト名および詳細

通教テキスト 『中国文芸史』第 1 版・安藤信廣著・1992 年
※【申告制】テキスト

テキストの内容は、上古（殷王朝）から近世（清朝末）までの中国文学の展開の道筋を、古代、中世、近世と三期に大別したうえで、歴史の流れに沿って概説されています。ただし、一般的な中国文学史と異なり、どの時代にどのような作者や作品が流行したかという概説ではなく、それぞれの時代や作者を紹介す

るにあたって必ず具体的作品の言語表現を提示し、作品論を通じて展開された文学史となっています。さらに文学の背景となる社会的状況についても端的に特徴づけて、文学と時代の相互関連性を明確に位置づけながら論述されています。いわゆる文学だけでなく、広く芸能や演芸などについても言及されており、時代の特徴だけでなくテーマやジャンルから調べようとする場合にも参照しやすく、かつ大変わかりやすいテキストですので、熟読して大いに活用してください。

5 学習指導、注意点等

レポート課題および単位修得試験の設題は、文学史的知識だけを問うのではなく、できるだけ広い視角から考察・論述できるようにテーマ設定をします。テーマによっては指定テキストだけでは不十分で、より専門的な参考文献が必要になる場合があるかも知れません。特にレポート執筆に際しては、設題テーマに関連する先行論文などについては各自で調べ、実際に作品を読み、作品分析を通してテーマに沿った考察を進めるようにしてください。

またレポート作成方法として、以下の基本ルールは遵守してください。

- ① レポートの課題に即したテーマ設定をし、自分のレポート独自の題をつけて提出してください。
- ② レポートに無駄に細かい章立ては不要です。必要な場合でも三章程度にしてください。章立てはしなくてもかまいません。
- ③ 参考文献を引用する場合はカギ括弧でくくってどこまでが引用であるのか明示し、注（脚注でも傍注でも形式は問いません。）に参考文献の書誌的事項を明記してください。
- ④ Web や他人の論文などから文章の引き写しはしないでください。
- ⑤ 作品を用例として引用する場合は、原文をどのように解釈したのかがわかるように、訳文、書き下し文（文脈によっては原文のみでも可）のいずれかの方法で記載してください。その際、何を参考にしたのか出典を必ず明記し、原文と照合できるような形で記載してください。（翻訳書などを参考にした場合は出版社名、タイトル、当該ページを記載してください）。
- ⑥ 孫引きはしないこと。初出の出典がある場合はできる限り原典にあたって引用してください。

日本言語史

教科担当責任者：間宮 厚司

担当者：松永 明

単位数：4 単位

1 学習の到達目標

①未だ定説が存在しない日本語の系統と、日本言語史上の時代区分法を把握する。

②上代から近現代までの各時代における音韻・文法・語彙それぞれの特徴を把握する。

③日本語に大きな変化をもたらした言語史上重要な言語現象を把握する。

2 科目の概要

現在我々が日常使用している日本語は、いつどのように始まったと考えられているのか、またどのような生成・発展を経て現在の状況に至ったのか、日本語の音韻・文法・語彙は各時代を通じてどのように変化してきたのかなどを学ぶ。

3 成績評価基準

最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

レポートは下記の項目ごとにそれぞれ基準を設定し評価する。

①設題・テキスト・参考文献・学術用語の理解度（設題やテキ

- ト、参考文献の対応箇所、学術用語などを正確に理解できているかどうか)
- ②構成力と論述展開の妥当性(論の構成と論旨の展開が無理なく、また緊密であるかどうか)
- ③設題に応じた内容の充実度(内容が設題に正対し、充実しているかどうか)
- ④文章表現力(正確で理解しやすい文章として表現されているか。誤字・脱字などの表記を含む)
- ⑤レポート執筆上の規則遵守(参考文献一覧の有無・長さ・引用と意見の明確なきき分けなど、執筆上の規則が遵守されているかどうか)

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『日本言語史』第1版、外間守善・内間直仁、1986年

【参考文献】

『国語学大辞典』国語学会編(東京堂出版)1980年、19,950円
 『日本語百科事典』金田一春彦他編(大修館)1988年、16,800円
 『日本語史要説』渡辺実著(岩波書店)1997年、2,310円
 『よくわかる日本語史』真田信治著(アルク)1999年、2,100円
 『日本語学研究辞典』飛田良文他著(明治書院)2007年、16,800円

- 5 学習指導、注意点等 ①テキストの『日本言語史』に基づいてすべての課題は設定される。従って日本語史の概説書としての本書を徹底的に熟読することが必須である。
- ②上述の文献以外にも積極的に資料を探し活用することが高評価には必要である。

日本文法論
教科担当責任者：尾谷 昌則
担当者：村島 祥子 単位数：4単位

- 1 学習の到達目標 日本語学の入門書を読むことを通じて、日本語学及び日本語文法の基礎的知識を身につけることを目指します。

- 2 科目の概要 日本文法における様々なテーマについて、その基本的な定義や分類をおさえ、具体的な用例を観察しながら日本語についての理解を深めていきます。

- 3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価します(ただしレポート学習もしっかりと行うこと)。試験は教科書から出題しますので、必ず指定教科書を読んでから試験に臨んでください。レポートもまず教科書をよく読み、その後参考文献等と比較し、用例を挙げながら自分の考えを述べてください。

4 テキスト名および詳細 【指定市販本】『ここから始まる日本語文法』ひつじ書房、森山卓郎、2002年、¥1,800+税

【参考文献】

『日本語の文法』高橋太郎 ひつじ書房 2005年
 『基礎日本語文法 改訂版』増岡隆志・田窪行則 くろしお出版 1992年

- 5 学習指導、注意点等 日本文法について、大学にふさわしいレベルの答えを要求します。高校生向けの教科書や辞書、大学受験用の参考書の内容をそのまま書き写すことはしないでください。英文法との安易な比較や、自らの日常会話の感覚を独断的に回答するようなことも好ましくありません。まずは指定教科書を熟読し、次に基本的な辞書や入門書等を読み比べてください。その他色々な考えを比較し、自分なりの結論を述べるのに必要な用例をなるべく多く挙げ、解説しながらまとめあげ

るように心がけましょう。

日本芸能史
教科担当責任者：伊海 孝充
担当者：本塚 亘 単位数：4単位

- 1 学習の到達目標 多様な展開を見せた日本芸能の歴史の概略を理解することが目標である。日本の芸能は、宗教的儀礼・宮中行事・各地の民俗・各時代の「観客」の要請など、その背景にある要素が多様であり、そのすべてを一度に理解することは困難である。本科目では、どの時代にどのような芸能が生まれ、各芸能がどのような影響関係にあるのかを中心に、日本芸能史の展開を理解していく。

- 2 科目の概要 指定テキストに従って、雅楽・寺社芸能・芸能民・能楽・歌舞伎・浄瑠璃・舞踊・曲舞・大衆芸能・沖縄芸能の10のテーマ別に学習する。まずは、各芸能の成り立ちと展開をよく理解し、その上で他芸能との影響関係をしっかり理解できるようにしたい。そのため、レポート・単位修得試験ともに、この2点に焦点を当てて出題をする。また、テキストはあくまでも日本芸能史の概説である。今後の研究のためには、テキスト以上の知識を必要とする場合が多い。テキストに挙がっている参考文献、教員が指示した書籍などを積極的に活用し、そうした学習の成果をレポートに発揮してほしい。

- 3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたレポートの内容も考慮する。
- ・レポート

内容面は、まずテキストに書かれている芸能の基本的知識を理解することが必要である。その上で、自分自身で考究した結果をレポートに盛り込んでほしい。また、技術面では、大学生としてふさわしい文章力が身につけていることが必要である。そのため、内容だけでなく、文意が他者に伝わる文章になっているか否かも重要な採点基準とする。さらに、『日本文学科のしおり』などをよく読み、レポート・論文を書く上での正しい書式もしっかり理解しておくこと。特に、引用・参考文献に関する記述の方法については、十分確認しておくこと。

・単位修得試験

試験は、テキストに書かれている内容から出題する。すなわち、基本的な知識問題が中心となる。設題になっている芸能がどのような芸能なのか、また、それに関わる重要人物は誰かなどをしっかり説明できるよう学習し、試験に臨むこと。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 『日本の伝統芸能講座 舞踊・演劇』淡交社、服部幸雄監修、2009年、¥3,800+税

- 5 学習指導、注意点等 ・この科目は、日本芸能の概論である。ここで出会った芸能を自分の興味にそって、さらに深く学ぶことが重要である。この授業で学んだことが、他の履修科目、自宅学習、卒業論文と有機的に繋がることを期待したい。
- ・この科目は、芸能文化コースで卒業論文を執筆する学生には、必修科目となる。将来、芸能で論文を書く予定の者は、必ず履修すること。また、現段階で他コースに進む予定の者も履修しておくことを勧める。

・この科目での学習を契機として、実際に現在行われている伝統芸能に触れる機会をもってほしい。座学では実感できないようなことも、具体的な体験によって理解を深めることができる。また、実見によって得た着想を、レポートや単位修得試験、卒業論文のテーマ決定等に役立ててほしい。

日本美術史

教科担当責任者：小秋元 段

担当者：萩原 哉
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 ①飛鳥時代から江戸時代までの日本美術史の大きな流れを理解する。

②各時代の代表的な作品を知り、それぞれの作品に認められる様式的・技法的な特色を理解する。

③日本美術史の変遷を促した歴史的・社会的な要因について理解する。

2 科目の概要 日本列島の文化は、中国や朝鮮半島などからもたらされた外来文化の影響を絶えず受容しながら、時代ごとにさまざまな美術作品を生み出してきた。本科目では、飛鳥時代から江戸時代までを対象に、各時代の代表的な作品について学び、日本美術史の概略とその特質を理解することを目的とする。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたりポートの内容も考慮する。

なお、リポート、単位修得試験は、以下の3点を基準として採点をおこなう。

①飛鳥時代から江戸時代までの日本美術史の大きな流れを理解していること。

②各時代の代表的な作品について、それぞれの様式的・技法的な特色を的確に理解していること。

③それぞれの作品が生み出された時代背景を理解していること。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『カラー版 日本美術史』増補新装版、美術出版社、辻 惟雄監修、2003 年、¥1,900+税

5 学習指導、注意点等 まずテキストを熟読し、日本美術史の大きな流れを把握すること。各時代の代表的な作品については、テキストとともに美術全集等の図版解説や事典類を参照し、基礎データ（名称、作者、制作年代、材質、寸法、所蔵者）、制作の目的と経緯、様式的・技法的な特色、そこに認められる外来文化の影響などを明確に整理し、理解すること。また、それぞれの作品については、必ず美術全集等の大型図版を参照し、具体的ななかたちのイメージ（主題、表現、造形的特徴など）の把握につとめるとともに、自らの視点により作品の比較・分析を試みる。

なお、美術史を学ぶ上で、実際に作品を鑑賞することが何よりも重要である。受講者は、美術作品を所蔵する社寺や博物館等に積極的に足を運び、作品を鑑賞する機会を得よう心がけて欲しい。

西洋美術史

教科担当責任者：小秋元 段

担当者：濱西 雅子
単位数：4 単位

※ 2017 年 4 月より経過措置テキストの取扱変更（経過措置の取り消し）

1 学習の到達目標 西洋美術の名作について、主題（図像内容）、（時代・地域・個人）様式、技法、造形的表現の特質、美術史上の意義といった美術史的な観点から、総合的に理解を深め

ることを目指す。

2 科目の概要 美術史は、時代・社会・文化の鏡ともいえる芸術作品を巡る学問である。本科目では、西欧古典古代から、中世ロマネスク・ゴシック、近世ルネサンス、近代 19 世紀の時代にかけて、建築・彫刻・絵画・工芸等多様な表現形式をとる美術作品を考察の対象とする。課題のなかから各自作例を選択し、具体的に美術史的なアプローチを行うことにより、様々な側面からの理解を深めることを目指す。また文化交流という視点も併せて考えたい。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたりポートの内容を考慮する。

4 テキスト名および詳細 下記のいずれか一冊で可

●指定市販本『カラー版 西洋美術史』[増補新装版]、美術出版社、高階秀爾監修、2002 年、¥1,900+税

本書は古代から 20 世紀末までの西洋美術の歴史を、340 点の豊富なカラー図版とともに、時代ごとに建築・彫刻・絵画・工芸各分野にわたりわかりやすく概観するものである。2002 年刊行の増補新装版には、1990 年刊行の旧版に、最終章と簡単な用語解説等が加えられている。本文のコラムとともに、こうした巻末の用語解説、新たな美術史年表も学習の手引きとされたい。

●指定市販本 H. W. ジャンソン、A. F. ジャンソン著、木村重信、藤田治彦訳、『西洋美術の歴史』、創元社、2001 年、¥3,400+税

本書は古代から 20 世紀までの西洋美術の歴史を、カラー 219 点、白黒 300 点の豊富な図版とともに、時代ごとに建築・彫刻・絵画・工芸等各分野にわたりわかりやすく概観するものである。巻末に加えられている、地図・用語解説・年表等も学習の手引きとされたい。

5 学習指導、注意点等 まずテキストを通読し、西洋美術史の全体的な枠組み、大まかな流れを掴み、基本を押さえておくこと。

その上で各自リポート課題に沿った専門文献にあたり理解を深めることが望まれる。すなわち、入門書・通史概説書以外にも、個別の課題に沿った美術史の専門文献を広く参照する必要がある。その際、『世界美術大全集』（西洋編全 28 巻、小学館、1992-97 年、各巻税抜 28,000 円）、画家別の画集等、大型図版も適宜参照し、不明な用語は『新潮世界美術辞典』（新潮社、1985 年、絶版）等の美術辞典類で明らかにすること。また可能な限り、実際に美術館（国立西洋美術館・国立新美術館・東京都美術館他）等で作品を鑑賞する機会を得るように努めること。

そして選択した作品の基本データ（制作年代・規模等）や時代様式の特徴を踏まえた上で、図像内容、造形的表現の特質、美術史上の意義等について考察して欲しい。西洋美術史の専門文献で得た知識を基に、与えられたテーマについて自ら論ずる力を見る。

なおインターネット情報の利用は、原則として評価の対象外。美術史の専門文献を三冊以上参照し、実際に用いた文献データ（著者名、書名、出版社名、発行年、及び参照ページも忘れずに）をリポート末に明記すること。

社会思想史

教科担当責任者：伊海 孝充

担当者：伊藤 直樹
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 古代から 20 世紀にまでおよぶヨー

ロッパを中心とした社会思想史について、各時代ごとの思想の特徴を理解し、一定程度自分の言葉で語ることができるようにすることに。

2 科目の概要 社会思想史とは、社会について、あるいは国家について、ひとがどのように考えてきたかを、歴史的にたどるものである。私たちは「個」として生きている。だが、その「個」は、逃れようもなく社会のなかに生きている。だとすれば、その「個」が生きているところの「社会」は、どのようなものであろうか。思想家たちが、古代において、16,17世紀において、また19世紀において、それぞれに社会をとらえ、またあるべき社会の姿を提示しようとしてきた。そうした社会についての思想をとらえることが、本科目の課題である。ただし、その社会のあり方は、現在私たちがもっているイメージと、共通している点もあれば、そうでない点もある。「歴史」という目を持ってみれば、おのずとそうなる。社会思想「史」であるとは、社会についての思想を歴史的に見ることであり、現在の私たちの状況と、過去のそれとを見比べながら学ぶこともまた必要である。

3 成績評価基準 ・リポート評価

ごく基本的なこととして、誤字脱字、文章の主部と述部とが乱れていないか、また段落のつけ方が適切であるかといった点には注意されたい。ときおり、口語調の文体で、そうした点に無頓着な文章を見かける。これらのことは、内容の理解と密接に関係していると思われるからである。

次に、課題についてよく考えることである。その課題がなにを要求しているかを、自分なりに見極めること。よく調べ、丁寧に論述されていても、課題に相応しくなければダメである。

また、学ぶ内容は、過去の思想である。したがって、けっして自分の思い込みでリポートを書くことはできないはずである。まずは、自分の思い込みを脇に置いて、通教テキストに沿って理解してゆくことが大切である。だから、「自分なりの理解」は重要であるが、それは、レポートをまとめるさいの、その「まとめ方」や、ときとして必要になるはずの自分の言葉での「要約」に現われてくる。評価のさいには、そこに注目する。自分なりの「意見」を加えてもよいが、それは、そうした「自分なりの理解」を踏まえてのものであるだろう。

・筆記試験

リポートでの課題と関連した内容を問う。思想内容を客観的に理解できているかどうか、評価の基準となる。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『社会思想史』第2版、濱田義文・加来彰俊・湯川桂一郎・牧野英二・星野勉・安孫子信・笠原賢介・酒井健、2010年

まずは、通教テキストを、精読してもらいたい。そのうえで、章末に掲載されている参考文献、あるいは入手可能な関連文献などにあたってもらいたい。

5 学習指導、注意点等 リポートを書く際には、『自立学習の手引き』などを参照してもらいたい。

上述したが、まずは、通教テキストを精読して欲しい。テキストの精読を踏まえて課題を考え抜くことで、どのような内容と構成をもったリポートを書くべきかが、見えてくるはずである。その内容を決めてはじめて、参考文献にあたって欲しい。このような手順を踏んだかどうかは、リポートに如実に現われる。あえて言う、この手順を逆にして作成されたリポート、つまり、課題をちらっと見て、関係ありそうな参考文献から抜き書きしただけのもの、そういうものは、書き手の理解がともなわない、ただ難しいだけのものになってしまう。これでは、学びとは言えない。

世界文芸思潮

教科担当責任者：伊海 孝充

担当者：長谷 俊雄
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 あなたが日本文学を専攻したのは「日本文学」が好きだからですか？ それとも「文学」が好きだからですか？

選択基準のなかに、「文学」を本当に味わいたい、もっと知って、もっと感動したいという気持ちがあるならば、ぜひ この機会に、西洋文学の世界も覗いてみてください。西洋文学のあたえる感動を体験したあとの、日本文学を見つめるあなたの眼は、今まで以上に研ぎ澄まされたものになっているはずです。これが到達目標です。

2 科目の概要 この科目は、西洋文学の大きな思潮を代表的作品に触れながら説明するものです。西洋文学は、古代ギリシア・ローマの文化と、キリスト教という共通の源をもっています。同じ源をもつ西洋文学を、国民文学史としてとらえることは出来ません。地域性を越えた大きな流れとして、ひとつの全体としてとらえることによって、初めて理解、感動することが出来る世界なのです。文学以外の芸術や時代精神も視野に入れながら考えてゆきます。また映画化された作品も多く出てきます。大いに参考にしてください。

3 成績評価基準 設題に答えるリポートと筆記試験による総合評価。

リポート：作品を読み、自分の考えをきちんとまとめてから書いてください。テキスト、参考文献等も活用してください。

筆記試験：教科書から出題します。教科書を理解してから試験に臨んでください。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『世界文芸思潮』第2版（渡辺廣士、長谷俊雄編著、2010年）

※【申告制】テキスト

5 学習指導、注意点等 テキストの中で気に入った作品に出会ったとき、その作品を直接読むようにしてください。名作は歴史を生き抜き、私たちの手もとに残されたものです。かならず何かを語ってくれます。

テキストに出てくる作品はいずれも、文庫本等で容易に入手できるものばかりです。

書道史

教科担当責任者：小秋元 段

担当者：山口 恭子
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 中国、および日本の書芸の流れと、それに関わる基本的な事項の習得を目標とします。とくに、主要な書道史的事項（様々な書体や、「三筆」「三蹟」等の用語など）、書家、書作品、それらの書道史上の意義について理解することが重要です。

2 科目の概要 中国、および日本における書の史的展開について学びます。上記のように、主な書道史的事項、書家や作品、そしてその史的意義といった、基本的なことがらの理解を目指していますが、そうした学習を通して、広い視野で書芸術の多

様な世界を眺め味わうということも試みてゆきましょう。そのためには、図書館等で、『書道全集』（平凡社、1974年）、石川九楊『書の宇宙』（二玄社、1996年）といった全集、図版類を見たり、博物館に足を運ぶなどして、色々な作品に触れて下さい。

3 成績評価基準 単位修得試験では、書道史の基礎的ことがらを把握しているかどうかを評価基準とします。とくに、テキストに取り上げられている事項、書家、書作品、それらの書道史上の意義についての理解を重視します。

レポートでは、書道史について学習を深めることができているかどうかを評価基準とします。各自の考察のありようを重視しますので、テキストや参考文献に書かれていることを単になぞるのではなく、設問に応じた検討を行うようにしてください。

4 テキスト名および詳細 ・指定市販本『書道テキスト＜第2巻＞中国書道史』、二玄社、大東文化大学書道研究所編、2011年、¥1,600+税
・指定市販本『書道テキスト＜第3巻＞日本書道史』、二玄社、大東文化大学書道研究所編、2010年、¥1,600+税

5 学習指導、注意点等 テキストの学習にあたっては、まず、時代の様相やおおまかな史的展開を把握し、そのうえで細やかな事項の理解に努めてください。

なお、テキストに書かれていることがらは、非常に多岐にわたります。他の書道史に関する文献も必ず参考にし、「何が書道史のポイントであるのか」をきちんとつかみながら学習を進めることが重要です。

4 テキスト名および詳細 ・通教テキスト『書道教本』（第1版）、井澤秀彦、2010年 ※【申告制】テキスト
・指定市販本『明解書写教育』増補新訂版、全国大学書写書道教育学会、荳原書房、2013年、¥1,500+税

5 学習指導、注意点等 最初に『明解書写教育』をよく読み、書写とは何かということと、基本的な用語や姿勢・執筆法、用具・用材の扱い方、楷書および行書の基本点画と用筆・運筆、文字の組み立て方などを正しく理解をすること。

筆…使用する筆は中鋒・兼毫が望ましい。氏名および細字には小筆を使用すること。

墨…固形墨を磨墨する。極端な濃淡に注意し、適切な濃度・美しい墨色を出せるよう努力すること。墨汁（墨液）は使用不可。硯…石製の硯を使用すること。プラスチック製やセラミック製の硯は使用不可。

紙…提出用の半紙は指定半紙が望ましい。指定半紙以外では、色のついた半紙や表面のツルツルしている加工紙等は使わず、多少滲むくらいのものを使用すること。

※上記の用具・用材は一般的に安価なものは扱いにくいものが多い。ある程度しっかりした良いものを使用すること。

【レポート作成上の諸注意】

教本をよく観察し、基本点画や用筆・運筆、文字の組み立て方をしっかり学ぶこと。我流にならずに、まずは細部まで教本と同じように書けることが必要である（教本の敷き写しは厳禁）。

書道実技

教科担当責任者：小秋元 段

担当者：井澤 秀彦

単位数：2単位

1 学習の到達目標 ①中学校国語科書写の指導者として、楷書および行書の特徴や用筆・運筆を正しく理解し（知識）、基本点画の習得と表現力を身につける（技能）。

②用具・用材【筆墨硯紙】の特徴を理解し（知識）、正しい扱い方ができるようになる（技能）。

③書写の授業者として教壇に立つ際に、生徒に対する全体指導と個別指導が行えるようになる（態度）。

④生徒が学習した内容を、実生活に役立てる書写指導ができるようになる（態度）。

2 科目の概要 中学校国語科書写の指導では、目的や必要に応じて、文字を正しく整えて速く調和よく書く能力を身に付けさせるとともに、生活に役立てる態度を育てることを目標としている。

中学校段階で学習する楷書および行書と、それぞれに調和する仮名の理解と技能の習得、また、正しい姿勢や執筆法、用具・用材の基本的な扱い方など、指導者としての基礎的な知識・技能・態度の育成を目標とする。

3 成績評価基準 ○楷書 楷書の基本点画と正しい用筆・運筆、文字の組み立て方の理解。半紙に対する適切な文字の大きさの理解。氏名の位置と大きさ。

○行書 行書の基本点画と正しい用筆・運筆、文字の組み立て方の理解。行書の特徴（変化・連続・省略など）と筆脈。半紙に対する適切な文字の大きさの理解。氏名の位置と大きさ。

○漢字と仮名の調和 漢字と仮名の大きさの違いと全体の調和。書式（行書き・散らし書き）の理解。

2017年度 設題総覧

— リポート設題と参考文献 —

24501 旧／指・日本文芸学概論

2 設題 (4 単位)

※ (旧・日本文芸学概論) テキスト経過措置期間: ~ 2018 年 3 月迄

- 【特記事項】 ◆リポートノートの使い方 (縦書き)
◆記述字数 (1 設題) (2000 字 ~ 2400 字程度)

- 第 1 回 (1) 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」(新潮文庫、ちくま文庫ほか) を読んで鑑賞しなさい。また、第 3 次稿と第 4 次稿 (最終形) の違いが主題にどう影響しているかについても述べなさい。
- 第 2 回 (1) 樋口一葉「にごりえ」(新潮文庫ほか) の登場人物の心理を分析し、結末部の解釈と作品の主題について論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

この設題は、通教『日本文芸学概論』(小田切秀雄)・『文芸学講義—文学作品が書かれるまで』(小田切秀雄) のテキストに書かれている文学研究についての実践・応用を目指しています。よくテキストを学習してから書いてください。また、リポートは縦書きで提出してください。作品を十分に読み込み、分析し、自分の問題意識に照らして考え、論理的、実証的に論文としてまとめてみてください。引用文献・参考文献の出典も明示してください。

参考文献

- 『別冊国文No.51 近代文学現代文学・論文レポート作成必携』学燈社、1998 年、¥2,100
- 浅井清ほか『新研究資料 現代日本文学』①②、明治書院、2000 年、¥4,300
- 岩見照代ほか『樋口一葉事典』おうふう、1996 年、¥4,900
- 宮沢賢治『宮沢賢治全集 7』筑摩書房、1991 年、¥1,000

24509 指・日本言語学概論

2 設題 (4 単位)

- 第 1 回 (1) 課題 A, B のうちから、どちらか一つを選んで論じなさい。
- A. 日本語の母音について、例を挙げて論じなさい。
- B. 外国語という視点からみた日本語文法について、例を挙げて論じなさい。
- 第 2 回 (1) 課題 A, B のうちから、どちらか一つを選んで論じなさい。
- A. 意味関係について、日本語の例を挙げて論じなさい。
- B. 日本語の人称表現について、社会言語学の見地から例を挙げて論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

第 1 回 (1) の A は、科目指定テキストの該当箇所を熟読した上で、参考文献『日本語音声学入門 改訂版』(第 2 章) を必ず参照し、例を自身で収集して論じること。ワープロによる原稿作成で音声記号が入力できない場合には手書きで補うこと。

第 1 回 (1) の B は、科目指定テキストの該当箇所を熟読した上で、参考文献『日本語という外国語』(第 4 章・第 5 章) を必ず参照し、論じること。

第 2 回 (1) の A は、科目指定テキストの該当箇所を熟読した上で、参考文献『意味論 (朝倉日英対照言語学シリーズ 6)』(第 2 章)、『よくわかる語彙』(第 6 章) のいずれか一方 (あるいは両方) を必ず参照し、論じること。なお、文献に記載されているもの以外の例を挙げ、リポートに組み込むこと。

第 2 回 (1) の B は、科目指定テキストの該当箇所を熟読した上で、参考文献『日本語は「空気」が決める』(第七章とそれに関連する章) を必ず参照し、論じること。

参考文献

- 斎藤純男著『日本語音声学入門改訂版』改訂版、三省堂、2006 年、¥2,000
- 荒川洋平著『日本語という外国語』講談社、2009 年、¥800
- 中野弘三編『意味論 (朝倉日英対照言語学シリーズ 6)』初版、朝倉書店、2012 年、¥2,700
- 秋元美晴著『よくわかる語彙 (日本語教師・分野別マスターシリーズ)』初版、株式会社アルク、2002 年、¥2,000
- 石黒圭著『日本語は「空気」が決める—社会言語学入門』初版、光文社、2013 年、¥840

※テキスト経過措置期間：～2018 年 3 月迄

- 【特記事項】 ◆リポートノートの使い方 (縦書き)
 ◆一括提出の可否 (第1回(1)合格後、第2回(1)提出)
 ◆記述字数 (2000 字以上)
 ◆パソコン (ワープロ) 使用の場合は、リポート末尾に総文字数を記載すること。

- 第1回 (1) 次の課題から一つを選択し、交通手段が描かれていることに注目し、小説の主題を明らかにしなさい。
 ①樋口一葉『十三夜』について論じなさい。
 ②田山花袋『少女病』について論じなさい。
- 第2回 (1) 次の課題から一つを選択し、手紙の役割に注目し、小説の主題を明らかにしなさい。
 ①夏目漱石『門』について論じなさい。
 ②夏目漱石『行人』について論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

1. 先行研究を批判的に検討し、自分自身の考えを明確に述べること。
2. 引用文献、参考文献については出典情報(書名・著者名・出版社名・刊行年月)をリポートの末尾に明記すること。
ネット情報からの引用や要約のリポートは不可。
3. 『日本文学科のしおり』(法政大学通信教育部)を熟読し、リポートの形式を理解した上で作成すること。

参考文献

- 田中優子著『樋口一葉「いやだ!」と云ふ』初版、集英社、2004 年、¥720
- 関礼子著『樋口一葉』初版、岩波書店、2004 年、¥740
- 五井信著『田山花袋 人と文学』初版、勉誠出版、2008 年、¥2,000
- 石原千秋著『漱石入門』初版、河出書房新社、2016 年、¥830
- 『国文学 解釈と教材の研究』(学燈社)、『国文学 解釈と鑑賞』(至文堂)等も参照のこと。

- 【特記事項】 ◆リポートノートの使い方 (縦書き)
 ◆一括提出の可否 (第1回(1)合格後、第2回(1)提出)
 ◆記述字数 (2000 字以上)
 ◆パソコン (ワープロ) 使用の場合は、リポート末尾に総文字数を記載すること。

- 第1回 (1) 次の課題から一つを選択しなさい。
 ①田山花袋『蒲団』の文学的方法と主題について論じなさい。
 ②葛西善蔵『酔狂者の独白』の文学的方法と主題について論じなさい。
- 第2回 (1) 次の課題から一つを選択しなさい。
 ①坂口安吾『白痴』を『墮落論』との関係を踏まえて、この小説の主題について論じなさい。
 ②椎名麟三『深夜の酒宴』と太宰治『トカトントン』を比較し、主人公「須巻」の戦後意識を明らかにしなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

1. 先行研究を批判的に検討し、自分自身の考えを明確に述べること。
2. 引用文献、参考文献については出典情報(書名・著者名・出版社名・刊行年月)をリポートの末尾に明記すること。
ネット情報からの引用や要約のリポートは不可。
3. 『日本文学科のしおり』(法政大学通信教育部)を熟読し、リポートの形式を理解した上で作成すること。

参考文献

- 五井信著『田山花袋 人と文学』初版、勉誠出版、2008 年、¥2,000
- 伊藤博著『貧困の逆説—葛西善蔵の文学—』初版、晃洋書房、2010 年、¥3,800
- 七北数人著『評伝 坂口安吾 魂の事件簿』初版、集英社、2008 年、¥1,900
- 斎藤末弘著『評伝 椎名麟三』初版、朝文社、1992 年、¥2,500
- 『国文学 解釈と教材の研究』(学燈社)、『国文学 解釈と鑑賞』(至文堂)等も参照のこと。

24511

日本文芸史Ⅰ

2 設題 (4 単位)

- 第1回 (1) 「日本文芸史とは何か」の論題で、文学の発生・成立について論述せよ。但し、通史的なものではなく作品・ジャンルなどをめぐって具体的に論述せよ。
- 第2回 (1) 日本文学の歴史をふまえて『平家物語』の文学としての特質と文学史的意義について論述せよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・参考文献名は、レポートの最後に掲げ、自分の意見と引用部分とははっきり分けること。
- ・レポートの作成は、研究報告にとどまらず、文学研究・人間史研究についての自らの問題意識の切実さを問う営為であり、文学研究の「方法」について広く学び深く考えてほしい。文学を学び研究する者としての責任において課題に取り組んでほしい。

参考文献

- 西郷信綱・永積安明・広末保著『日本文学の古典（新書）』第2版、岩波書店、2000年、¥700
- 久保田淳『日本文学史』おうふう、1997年、¥1,900
- 梶原正昭・山下宏明校注『平家物語（新日本古典文学大系）』岩波書店、1991年、¥3,700
- 杉本圭三郎著『平家物語・全訳注（学術文庫）』講談社、1979年、¥880

24513

日本文芸史Ⅱ

2 設題 (4 単位)

【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (縦書き)

- 第1回 (1) 武田泰淳『蝮のすゑ』（『蝮のすゑ・愛のかたち』講談社文芸文庫他）を中心に、武田泰淳に特有の戦後のテーマについて論じなさい。
- 第2回 (1) 庄野潤三『静物』（『プールサイド小景・静物』新潮文庫他）を中心に、庄野文学の特質について論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・テキスト『日本文芸史Ⅱ』（立石伯）をよく読み込んで、無頼派・戦後派・第三の新人について深く学び、テキストに関連する作家の作品・それに対する批評を多く読むこと。
- ・それぞれの設題に関連する作品論・作家論を参考として2つ以上読み、レポートの末尾に必ず参考文献として明記すること。
- ・論文として構成等を十分に考え、引用と自説をはっきり区別して記述する。
- ・ここであげている参考文献は、できるだけしっかり学び、戦後以降の文学史的認識を深め、レポートの考察に生かすこと。

参考文献

- 埴谷雄高『埴谷雄高文学論集』講談社文芸文庫他、2004年、¥1,400
- 江藤淳『成熟と喪失』講談社文芸文庫他、1993年、¥1,400
- 大江健三郎『同時代としての戦後』講談社文芸文庫他、1993年、¥1,400
- 磯田光一『戦後史の空間』新潮文庫・新潮選書他、2000年、¥555
- 加藤典洋『敗戦後論』ちくま学芸文庫他、2015年、¥1,200

24558

日本文芸研究特講・上代

2 設題 (4 単位)

【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (縦書き)

- ◆総字数を明記すること
- ◆引用文献・参考文献を明記すること

- 第1回 (1) 『万葉集』における大伴旅人の歌について述べなさい。
- 第2回 (1) 『万葉集』における「夕されば小倉の山に鳴く鹿は今夜は鳴かず寝ねにけらしも」（巻八 1511）と「夕されば小倉の山に臥す鹿し今夜は鳴かず寝ねにけらしも」（巻九 1664）の歌について述べなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

作品は必ず原文にあたり、注釈や現代語訳を参照し、熟読してください。参考文献・引用箇所は明記し、自分の考えが明らかになるように、できるだけ自分の言葉でわかりやすく簡潔にまとめましょう。

参考文献

●新編日本古典文学全集『万葉集』小学館

テキストは他のものも可。

参考文献は、『国文学 解釈と鑑賞』『国文学 解釈と鑑賞別冊』（ともに至文堂）、『国文学 解釈と教材の研究』『別冊国文学』（ともに学燈社）、国文学資料館のデータベースなどを積極的に検索し、活用して下さい。

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.106 参照のこと。

24559

指・日本文芸研究特講・中古

2 設題 (4 単位)

- 【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (縦書き)
◆総字数を明記すること
◆引用文献・参考文献を明記すること

第1回 (1)『和泉式部日記』について述べなさい。

第2回 (1)『源氏物語』桐壺巻について述べなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

作品は必ず原文にあたり、注釈や現代語訳を参照し、熟読して下さい。参考文献・引用箇所は明記し、自分の考えが明らかになるように、できるだけ自分の言葉で簡潔にまとめましょう。

参考文献

●新編日本古典文学全集『和泉式部日記』小学館

●新編日本古典文学全集『源氏物語』小学館

テキストは他のものも可。

参考文献は『国文学 解釈と鑑賞』『国文学 解釈と鑑賞別冊』（ともに至文堂）、『国文学 解釈と教材の研究』『別冊国文学』（ともに学燈社）、国文学資料館のデータベースなどを積極的に検索し、活用してください。

24560

指・日本文芸研究特講・中世

2 設題 (4 単位)

- 【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (縦書き)

第1回 (1)『徒然草』から一章段をとり上げ、『徒然草』の特質を論じなさい。

第2回 (1)能『舟弁慶』の劇構成に注目して、その特質を論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

テキスト本文は必ず『編年 中世の文学 中世文学小事典』（新典社）を用いること。

下記の参考文献を参照して、テキスト本文を解釈、理解したうえで解答を記述すること。

テキストの学習方法については、「2017 年度通信学習シラバス」を必ず参照すること。

作品の内容、あらすじは簡潔にまとめ、解答者自身の意見を中心に述べること。

参考文献

●小川剛生訳注『徒然草』新版・角川ソフィア文庫、角川学芸出版、2015 年、¥1,080

●三木紀人校注『徒然草（一）～（四）』講談社学術文庫、講談社、1979 年～1982 年、¥1,050～¥1,150

●伊藤正義『謡曲集』（下）新潮日本古典集成・新装版、新潮社、2015 年、¥3,000

●伊藤正義『能を読む④信光と世阿弥以後』角川学芸出版、2013 年、¥6,500

24561

指・日本文芸研究特講・近世

2 設題 (4 単位)

- 【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (縦書き)

第1回 (1) 井原西鶴『日本永代蔵』を読み、西鶴の創意について論じなさい。

第2回 (1) 上田秋成『雨月物語』巻之二「浅茅が宿」について、先行文芸との関係に留意しながら、秋成が描こうとした作品のテーマについて論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

課題の作品は、参考文献の注釈などを参照しながら熟読してください。また、レポートの執筆にあたっては、自分自

身の言葉で論じることが大切です。そのためにも、図書館等も活用しながら、下記以外の参考文献も広く読み、それらに書かれていることをきちんと理解したうえで、各々の考察を試みてください。なお、先行研究を引用した際はその出典（著者・書名・出版社等）を明らかにし、文末には参考文献を必ず明記してください。

参考文献

- 『井原西鶴集③』（新編日本古典文学全集）、小学館、1996年、¥4,657
- 谷脇理史著『経済小説の原点『日本永代蔵』』清文堂、2004年、¥2,800
- 『英草子・西山物語・雨月物語・春雨物語』（新編日本古典文学全集）、小学館、1995年、¥4,657
- 井上泰至著『雨月物語論—源泉と主題』笠間書院、1999年、¥9,500
- 瞿佑作著、飯塚朗訳『剪燈新話』（東洋文庫48）、平凡社、1965年、¥2,400

24562

日本文学研究特講・近代

2 設題 (4 単位)

【特記事項】 ◆一括提出の可否 (第1回(1)合格後、第2回(1)提出)

第1回 (1) 設題A・Bのうち、どちらかひとつを選び論じなさい。

- A. 夏目漱石『三四郎』『それから』『こころ』、森鷗外『舞姫』を読み、ふたりの作家を比較し、主人公たちがその時代のなかで向きあわねばならなかった問題について論じなさい。
- B. 梶井基次郎か中島敦の二作品を読み解くことを通して、作家の資質や方法について論じなさい。

第2回 (1) 設題A・Bのうち、どちらかひとつを選び論じなさい。

- A. 小島信夫『抱擁家族』、安岡章太郎『海辺の光景』のいずれか一作品を選び、作品にあらわれている戦後の主題について論じなさい（二作品を比較しながら論じてよい）。
- B. 川端康成、志賀直哉、井伏鱒二、梅崎春生、島尾敏雄、古井由吉、小林秀雄のうち一人を選び、作品読解を通して、作家（批評家）の資質や方法について論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

レポート作成にあたっては、必ず先行研究や評論に目を通し、それを参照しつつ、自分が具体的に作品をどう読んだのかが伝わる内容であることを心がけること。

参考文献

- (1)『近代文学作品論集成』クレス出版、各¥4,800
 - (2)『群像日本の作家』小学館、絶版
 - (3)『鑑賞日本現代文学』角川書店、絶版
- ただし(2)、(3)については絶版につき、図書館で閲覧のこと。
- ほかに『国文学解釈と教材の研究』学燈社、『国文学解釈と鑑賞』至文堂、などのバックナンバーを調べてみることに。その際、『現代文学研究—情報と資料』至文堂、などが役立つ。

24565

指・日本文学研究特講・漢文

2 設題 (4 単位)

第1回 (1) 中国古典文学と〈史書（正史）〉との関連性について、具体的に作品もしくはジャンルを選び、作品分析を加えながら自己の見解を述べなさい。

第2回 (1) 中国古典文学における恋愛描写について、特定の時代もしくはジャンル・作家などを選び、作品を分析を加えながら自己の見解を述べなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

いずれにおいてもいくつかの作品を精読し、作品内容を理解した上で根拠のある考察をすること。
また参考文献および扱った作品の底本（原文がわかるものであれば訳本でもかまわない）を必ずレポート内で明記すること。

参考文献

- 浅見洋二・高橋文治・谷口高志『皇帝のいる文学史 中国文学概説』大阪大学出版会、2015年、¥2,500
- 竹内康浩『「正史」はいかに書かれてきたか』あじあブックス（大修館書店）、2002年、¥1,500
- 大木康『中国近世小説への招待』NHKライブラリー、2001年、¥870
- 川合康三『中国の恋のうた 詩経から李商隠まで』岩波書店、2011年、¥2,200
- 斎藤茂『妓女と中国文人』東方選書（東方書店）、2000年、¥1,600

- 【特記事項】 ◆リポートノートの使い方 (縦書き)
 ◆一括提出の可否 (第1回(1)合格後、第2回(1)を提出)
 ◆記述字数 (2000～4000字程度)
 ◆リポート用紙が足りない場合は、市販のA4判原稿用紙を使用し、講評欄の前に貼付すること。

- 第1回 (1) 次の二つの設題から、いずれか一つを選び、論じなさい。
 A, 葉山嘉樹『海に生くる人々』を読み、本作の構造と主題について論じなさい。
 B, 芥川龍之介『河童』を読み、本作の構造と主題について論じなさい。
- 第2回 (1) 次の二つの設題から、いずれか一つを選び、論じなさい。
 A, 徳田秋声『仮装人物』を読み、この作家の資質と特徴、主題について論じなさい。
 B, 三島由紀夫『仮面の告白』または『金閣寺』を読み、この作家の資質と特徴、主題について論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①原稿用紙の使い方といった、全ての科目に共通するような基礎的事項も、確認してください。
- ②テキストとあわせて、文学史(昭和文学史、戦後文学史等)を一冊は読みましょう。
 現代文学の大まかな流れをふまえた上で、作品に向き合い、自分の論をつくりましょう。
- ③必ず一つは、文献類(先行研究その他)にあたり、できるかぎり引用してください。
 どの作品も、参考になる文献は沢山ありますが、自分の論の分析や考察に必要なものだけを厳選しましょう。
 なお、文献を利用するにあたっては、以下の点に注意してください。
 ・文献を引用する際は、自分の意見と明確に区別すること。また、実際に引用した文献については必ず出典情報を明記すること。
 ・引用の仕方、引用文献の出典情報の明記の仕方については、リポート作成の参考書や様々な文献を読むついでに身につけましょう。
 ・引用した文献の他にも、参考にした文献があれば「参考文献」としてリポート末に出典情報を明記しましょう。
- ④リポートは、いずれ卒業論文を書くための練習です。論文としての形式・スタイルも意識し、論の構成を考えて書きましょう(序も結論もないと、感想文になってしまう)。
 また、先行研究を鵜呑みにせず、参照した上で、可能な限り、独自の考えや新しい視点を提出できるよう試みましょう。

参考文献

- 『近代文学現代文学論文・レポート作成必携』學燈社、1998年、¥2,000
- 『日本近代文学を学ぶ人のために』世界思想社、1997年、¥2,380
- 『新研究資料現代日本文学』第1、2巻、明治書院、2000年、¥4,300
- 『別冊國文學』『國文學解釈と教材の研究』各作家、作品の特集号、學燈社
- 『国文学解釈と鑑賞』各作家、作品の特集号、至文堂

- 【特記事項】 ◆リポートノートの使い方 (縦書き)
 ◆記述字数 (1 設題) (1200 字程度)

- 第1回 (1) テキスト「第1話～第10話、第12話～第13話、第16話～第19話」の計16話の中から1話を選択し、1200字程度で要約しなさい。
 ※第2回(1)とは異なる箇所を選択すること。
- 第2回 (1) テキスト「第1話～第10話、第12話～第13話、第16話～第19話」の計16話の中から1話を選択し、1200字程度で要約しなさい。
 ※第1回(1)とは異なる箇所を選択すること。

設題解答にあたっての解説・注意等

テキストの「まえがき」と「I『万葉集』の基礎知識」を読んでから、本編を読み進めて下さい。テキストの内容を十分に理解してから要約する箇所を選択し、解答しましょう。

24608

中国文芸史

2 設題 (4 単位)

- 第1回 (1) 中国古典文学と科挙との関連性について、具体的な作品・ジャンルもしくは作家などを選び、作品分析を加えながら自己の見解を述べなさい。
- 第2回 (1) 中国古典詩における「家族」をテーマとする詩の表現描写の特徴について、複数の具体的作品分析を通して考察し、自分自身の観点によってテーマを設定して論述しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

いずれにおいてもいくつかの作品を精読し、作品内容を理解した上で根拠のある考察をすること。

また参考文献および扱った作品の底本（原文がわかるものであれば訳本でもかまわない）を必ずレポート内で明記すること。

参考文献

- 大木康『不平の中国文学史』筑摩書房、1996年、¥2,400
- 村上哲見『科挙の話』講談社、学術文庫、2000年、¥800
- 宮崎市定『科挙 中国の試験地獄』中公新書、1963年、¥680/ 中公文庫、2003年、¥914
- 佐藤保『漢詩のイメージ』大修館書店、1992年、¥2,500
- 石川忠久『漢詩と人生』文春新書、2010年、¥800

24510

日本言語史

2 設題 (4 単位)

- 【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (縦書き)
- ◆記述字数 (1 設題につき 2000 ～ 4000 字)
- ◆パソコン使用のレポートは末尾に総文字数を明記すること
- ◆引用箇所は引用であることを明示し、出典を示すこと。また参考文献一覧を必ず添えること
- ◆レポート用紙が足りない場合は、市販の A4 判原稿用紙を使用し、講評欄の前に貼付すること。

- 第1回 (1) 日本語の系統について説明せよ。
- (注) まずテキスト『日本言語史』の関連箇所 (p. 8-) を熟読し、テキスト以外の参考文献も必ず参照した上で、どのような研究者がどのような系統論を主張しているか明らかにしつつまとめること。
- 第2回 (1) 連体形による終止形の駆逐 (終止形と連体形の合一化、統合ともいう) について説明せよ。
- (注) まずテキスト『日本言語史』の関連箇所 (pp.93-94,136-140,144,147,177-181 など) を熟読し、テキスト以外の参考文献も必ず参照した上で、時代ごとの状況や変遷についてまとめるとよい。

設題解答にあたっての解説・注意等

◇レポートは以下の基準に従って評価します。

- ①設題を理解しテキストを熟読した上で、参考文献・学術用語をきちんと理解しているか
- ②レポートを緊密に構成しているか、論述展開が妥当か
- ③設題に正対した上で、内容が充実しているか
- ④文章表現力 (誤字などの表記も含む)
- ⑤レポート執筆上の規則を遵守しているか (参考文献一覧の有無、字数、引用と意見の書き分けなど)

参考文献

- 渡辺実著『日本言語史要説』初版、岩波書店、1997年、¥2,200
- 山口仲美著『日本語の歴史』初版、岩波新書、2006年、¥820
- 飛田良文他編『日本語学研究事典』初版、明治書院、2007年、¥28,000
- 沖森卓也著『はじめて読む日本語の歴史』初版、ベレ出版、2010年、¥2,130
- 木田章義編『国語史を学ぶ人のために』初版、世界思想社、2013年、¥2,900

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.106 参照のこと。

24503

指・日本文法論

2 設題 (4 単位)

- 第1回 (1) 現代日本語の助詞「は」と「が」の違いについて論じなさい
- 第2回 (1) 現代日本語の受け身について論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

まず指定の教科書を熟読し、次に基本的な辞書や文献をいくつも読み比べながら、自分の考えをまとめていきましょう。結論を導くための用例はできるだけ多く挙げ、それらを解説しながら自分なりの結論を述べる。ワープロ可。執筆者や発表年次が確定できないネット上の情報（ウィキペディア等）は参考文献になりません（それらのコピー＆ペーストは厳禁）。

参考文献

- 益岡隆志・田窪行則『基礎日本語文法 一改訂版一』くろしお出版、1992年、¥2,200
- 林巨樹他編『日本語文法がわかる事典』東京堂出版、2004年、¥2,940
- 高橋太郎『日本語の文法』ひつじ書房、2005年、¥2,400
- 日本語文法学会『日本語文法事典』大修館書店、2014年、¥8,000

24514

指・日本芸能史

2 設題 (4 単位)

【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (詞章などを引用する場合、縦書きが望ましい。)

- 第1回 (1) 指定テキスト『日本の伝統芸能講座 舞踊・演劇』から、芸能分野を2つ選択し、素材・原拠を同じくする具体的な演目を取り上げ、両者の差異について論じなさい。
- 第2回 (1) 指定テキスト『日本の伝統芸能講座 舞踊・演劇』から、芸能分野を1つ選択し、その芸能分野と宗教、あるいは政治との関係について、時代による変化をふまえて論じなさい

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・選択する芸能分野の例としては、雅楽、寺社芸能、放浪芸、能楽、狂言、歌舞伎、浄瑠璃、曲舞(幸若舞)、大衆芸能、沖縄芸能など。
- ・一次資料(詞章本文、芸能論、芸能記録など)を適切に参照している場合、より高く評価できる。
- ・それぞれの芸能について論じるにあたって、現行のものと古態のものとを混同しないこと。
- ・指定テキストで述べられている定説をふまえること。
- ・回答内容に以下のような問題が含まれる場合、例外なく不合格とする。
 - ①引用・参考箇所(ページ等)が明記されず、評価者が典拠資料にたどり着くことができない。
 - ②引用箇所と回答者自身による考察との判別ができない。

24640

指・日本美術史

2 設題 (4 単位)

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

【特記事項】 ◆パソコン(ワープロ)使用の場合は、総文字数(参考文献を除く)を文末に記載すること。
◆記述字数は、各回 2000 字以上 2400 字以下とする。
◆参考文献(編著者名・書名・出版社名・刊行年・参照ページ)を文末に記載すること。
◆インターネット情報の利用は、原則として不可とする。
◆引用文は「」内に記すこと。なお、長文の引用、引用文の多用は不可とする。

- 第1回 (1) 飛鳥時代から江戸時代までの日本美術史について、外来文化の影響という観点から、具体的作例を挙げて論述しなさい。なお、論述にあたっては、対象とする時代、分野を限定してもよい。
- 第2回 (1) 下記の2つの論争のうち、いずれか1つを選択し、その論争の争点、発端から近年にいたるまでの経緯、日本美術史研究上の意義などについて解説しなさい。
① 法隆寺論争
② 薬師寺論争

設題解答にあたっての解説・注意等

まずテキストを何度も通読し、日本美術史の大きな流れの把握につとめること。次に設題に関連する文献を幅広く読み、それぞれの内容を正しく理解したうえで、自分自身の言葉で丁寧に論述すること。各時代の代表的な作品については、必ず美術全集等の大型図版を参照し、それぞれの作品のかたちのイメージの把握につとめるとともに、図版解説や『日本美術史事典』(平凡社、1987年)、『仏教美術事典』(東京書籍、2002年)等の事典類を参照し、制作事情や様式的・技法的な特色についての理解を深めること。とくに第1回については、日本の作品との関連が指摘される日本以外の作品についても詳しく調べ、自らの視点により分析・比較を試みながら、外来文化が日本美術に与えた影響について具体的に考察すること。

なお、受講者は、社寺や展覧会、博物館、美術館等に積極的に足を運び、実際に作品を鑑賞する機会を設けるよう心がけて欲しい。

参考文献

- 山下裕二・高岸輝監修『日本美術史』初版、美術出版社、2014年、¥2,800
- 辻惟雄著『日本美術の歴史』初版、東京大学出版会、2005年、¥2,800
- 辻惟雄・泉武夫・山下裕二・板倉聖哲編集『日本美術全集 全20巻』初版、小学館、2012～2016年、各巻¥15,000
- 前川誠郎他編集『日本美術全集 全25巻』初版、講談社、1990～1994年、各巻¥7,282
- 水野敬三郎監修『カラー版 日本仏像史』初版、美術出版社、2001年、¥2,500
- 朴亨國監修『東洋美術史』初版、武蔵野美術大学出版局、2016年、¥2,400
- 『世界美術大全集 東洋編 全18巻』初版、小学館、1997～2001年、各巻¥28,000

24603

指・西洋美術史

2 設題 (4 単位)

【特記事項】 ◆美術史の専門文献を三冊以上参照し、実際に用いた文献データ（著者名、書名、出版社名、発行年、及び参照ページも忘れずに）をレポート末に明記すること。

◆インターネット情報の利用は、原則として評価の対象外。

◆記述字数は、各回 2000 字以上。ワードを用いた場合は、文末に総字数を明記すること。

第1回 (1) 設題A・Bのどちらか一つ選択すること。

A. パルテノン神殿について、建築・彫刻という観点から総合的に論じなさい。

B. シャルトル大聖堂について、建築・彫刻・ステンドグラスという観点から総合的に論じなさい。

第2回 (1) 設題A・Bのどちらか一つ選択すること。

A. イタリアと北方のルネサンス美術について、任意の芸術家を一人ずつ選び、それらの芸術家を中心に具体的な作例を挙げながら論じなさい。

B. 印象主義・後期印象主義絵画における、ジャポニスムの影響関係について、任意の芸術家を一人ずつ選び、具体的な作例を挙げながら論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

まずテキストを通読し、基本を押さえておくこと。その上で、各自レポート課題に沿った専門文献にあたり理解を深めることが望まれる。すなわち、入門書・通史概説書以外にも、個別の課題に沿った美術史の専門文献を広く参照する必要がある。その際、『世界美術大全集』、画家別の画集等、大型図版も適宜参照し、不明な用語は『新潮世界美術辞典』（新潮社、1985年、20,388円、絶版）等の美術辞典類で明らかにすること。

また可能な限り、実際に美術館（国立西洋美術館・国立新美術館・ブリヂストン美術館他）等で作品を鑑賞する機会を得るように努めること。

そして選択した作品の基本データ（制作年代・規模等）や時代様式の特徴を踏まえた上で、図像内容、造形的表現の特質、美術史上の意義等について考察して欲しい。西洋美術史の専門文献で得た知識を基に、与えられたテーマについて自ら論ずる力をみる。

参考文献

- H・W・ジャンソン他著 木村重信他訳『西洋美術の歴史』創元社、2001年、¥3,400
- 高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』増補新装版、美術出版社、2002年、¥1,900
- 高階秀爾著『名画を見る眼』岩波新書、1969年、¥740
- 高階秀爾著『続・名画を見る眼』岩波新書、1971年、¥740
- 高階秀爾著『近代絵画史（上）』中公新書、1975年、¥660
- 『世界美術大全集』（西洋編全28巻中、課題には第4、9、12、22巻参照）、小学館、1992～1996年、各¥28,000

24605

社会思想史

4 設題 (4 単位)

第1回 (1) 「古代ギリシアにおける正義と国家」というテーマでレポートを作成せよ。

第1回 (2) 「社会契約論とはなにか」というテーマでレポートを作成せよ。

第2回 (1) 以下のテーマのうちいずれかを選んで論ぜよ。

○「18世紀後半のドイツ社会思想」について論ぜよ。

○「ドイツ観念論の社会思想」について論ぜよ。

第2回 (2) 「18世紀末から19世紀フランスの社会思想」について論ぜよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

設題の「 」内の言葉について、よく考え、なにが問われているのかに注意を払うこと。シラバスも参照のこと。

参考文献

- 通教テキスト『社会思想史』（第2版）の各章、末尾の文献表を参照のこと。

24624

世界文芸思潮

2 設題 (4 単位)

第1回 (1) デカルトあるいは(そして)パスカルについて、考えるところを書きなさい。

第2回 (1) フィリップ・ロスの文学について考えるところを書きなさい。

24613

指・書道史

1 設題 (2 単位)

【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (縦書き)

第1回 (1) 平安時代の三跡(蹟)について述べよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

三跡が登場した当時の社会的状況、文化の傾向、ならびに、三跡に至るまでの日本書道史の展開についても言及すること。その上で、三跡それぞれの書作品やその特徴等について述べる。特に書風に関しては、作品に即して自身で考え、かつ自身の言葉で具体的に論ずることが大切です。また、日本書道史における三跡の意義についても必ず考えを述べてください。なお、先行研究の引用に際しては、その出典(著者・書名・出版社等)を明らかにし、文末には参考文献を必ず明記してください。

参考文献

- 小松茂美編『日本書道辞典』二玄社、1987年、¥4,800
 - 石川九楊編『書の宇宙』第11冊：受容から変容へ〔三蹟〕、二玄社、1997年、¥2,400
 - 石川九楊著『日本書史』名古屋大学出版会、2001年、¥15,000
 - 石川九楊・加藤堆繫著『書家101』新書館、2004年、¥1,600
 - 名兄耶明監修『日本書道史』芸術新聞社、2009年、¥3,300
- ※図書館等も活用してください。

24639

書道実技

10 設題 (2 単位)

レポート提出方法の詳細は以下及び「清書用紙貼付台紙」(裏面)を参照のこと。

なお、科目コードは台紙に記載のコードではなく上記コードを用いること。

【レポート提出について】

(1) 教本の課題数は計10課題となっています。この10課題をすべて提出・合格することが必要です。最初から順番に提出することが望ましい。

(2) 清書レポートは、1通について同じものを3枚提出してください。また、半紙の左側には指定書体で氏名を丁寧に揮毫すること。

(3) 3枚の清書は、清書用紙貼付台紙の貼付欄に3枚重ねて貼り付けてください。

添付された清書レポート用紙は、3枚のうち1枚を選んで添削指導を加えて返送します。

※提出課題である『書道教本』の拡大コピーの写し書き(なぞり書き)や、本人以外が書いた作品を提出することは不正行為です。

疑いのある場合は呼び出しのうえ、担当者の眼前で揮毫させるなどの対応をします。不正と認められた場合は「通信教育部不正行為の処分基準」に則り、厳重に対処することになります。

【レポート作成上の諸注意】

教本をよく観察し、用筆法をしっかり学ぶこと。我流にならずに、細部まで教本と同じように書けることが必要である(教本の敷き写しは厳禁)。

観察とは、全体観(文字の構成・全体の構成)を主体的に把握することであり、用筆法とは、基本点画等を学び習得することである。

筆…使用する筆は中鋒・兼毫が望ましい。氏名には小筆を使用すること。

墨…固形墨を磨墨する。極端な濃淡に注意し、美しい墨色を出せるよう努力すること。墨汁は使用不可。

硯…石製の硯を使用すること。プラスチック製やセラミック製の硯は磨墨できません。

紙…提出用の半紙は色のついたものを使用しないこと。表面のツルツルしている加工紙等は使わず、多少滲むくらいのものを使用すること。

※ 上記の用具・用材は一般的に安価なものは使いにくいものが多い。ある程度しっかりした良いものを使用すること。

【注意事項】

書道実技レポートの再提出について(全書体)

書道実技の再提出の場合、再提出する清書レポート(3枚組み)の上に、D評価を受けた前回のレポート1枚添付して提出してください。

◎レポート再提出に際し、誤解のないよう補足説明します。

清書添削は、あくまでも本人の書字力の育成・向上を第一に考えています。スクーリング試験の場合はC（60点～69点）をつけますが、レポートでは少なくともB（70点～79点）以上を取ってほしいのでCは極力つけません。添削はできるだけ早く返却します。再提出を何回繰り返されても、成績には関係しませんので、指導を受けた点をよく学び、頻繁に添削が受けられるよう努力してください。

履修方法について

書道実技2単位の修得には下表に示したように、「通信添削とスクーリング」「スクーリング2回」のいずれかの方法がある。通信添削のみでは修得できないため注意すること。

単位数	修得方法	内訳（添削課題＋スクーリング）
2	通信添削＋スクーリング	添削10課題 + スクーリング受講及びスクーリング試験合格（1単位）
	スクーリング＋スクーリング	スクーリング受講及びスクーリング試験合格（1単位） + スクーリング受講及びスクーリング試験合格（1単位）

履修期間について

通信添削で履修する場合、「履修期間」が設けられている。「履修期間」は次のとおりである。履修期間中に全ての課題が合格しなかった場合、合格した課題も全て無効となる。

（i）本科生の場合

：前期生・後期生ともに、初めて書道実技の課題を提出した年度を含めて3年間（翌々年度の1月まで）。

上記以前に卒業となる場合は、卒業判定の対象となるレポート受付期間まで。

※1課題以上レポート課題を提出した年度を始期とするので注意すること。

（ii）科目等履修生の場合

：前期生・後期生ともに、科目登録をした年度を含めて3年間（※翌々年度の1月まで）。

上記以前に在籍期間が満了となり更新しない場合は、その在籍年度内の成績に反映されるレポート提出期間まで。

※レポート課題の新規提出時期ではなく、科目登録年度を始期とするので注意すること。

（例）2017年度（2017年4月～2018年3月）に課題を初めて提出し（本科生）、または科目登録（科目等履修生）した場合の履修期間（最終受付）

レポート課題最終受付は、前期生・後期生ともに、2019年度の1月（2020年1月）までとなる。ただし、2019年9月に卒業、または在籍期間が満了する（更新しない）場合の最終受付は、2019年7月までとなる。

参考文献

- 全国大学書写書道教育学会編『明解 書写教育』改訂版、萱原書房、2013年、¥1,500
- 通教テキスト『書道教本』

— 指定テキストおよびリポートノートの追加・訂正・補足 —

以下の科目は追加・訂正・補足があります。配本されたテキストはすでに訂正されているものもあります。
新たに明らかになった追加・訂正・補足は、随時『法政通信』に掲載します。

科目名	種別	掲載更新
日本文芸研究特講・上代	通教テキスト	2017 年 3 月
日本言語史	通教テキスト	2017 年 3 月

[通教テキスト]

■日本文芸研究特講・上代 (西郷信綱)

p.84 2 行目

(誤) 口誦

(正) 口誦

2017 年 3 月現在

■日本言語史 (外間守善、内間直仁)

p.6 (目次) 5 章現代

(誤) 七 語彙…323

(正) 七 語彙…343

2017 年 3 月現在

2017年度 単位修得試験の出題範囲

【留意事項】

- 試験範囲は担当教員が認めた科目に限り公表しています。
- 試験範囲が公表される場合であっても、その科目のテキスト全体を熟読することが前提となりますので、科目によってはここに記載された内容以外からも出題される場合があります。
- ここに発表されていない科目（テキスト）は、原則テキスト全体からの出題となります。ただし、科目によっては学習範囲がテキストの一部に限定されている場合があります。詳細は、シラバスで確認してください。
※経過措置テキストの場合は、経過措置テキストに対応した過年度のシラバスを参照してください。
- 記載内容の意味など、出題範囲に関する質問は一切受け付けません。また、試験終了後に試験問題と範囲に関する照会も受け付けません。
- この表の科目名の表記は、「設題総覧」及び単位修得試験の表記に合わせています。

科目名	出題範囲	
指・日本言語学概論	言語学概要（テキスト 第1講～第4講）は各月、共通の出題範囲とする。	
	4月	音声学・音韻論（テキスト 第5講～第9講）
	5月	形態論／統語論（テキスト 第10講～第17講）
	6月	意味論／語用論（テキスト 第18講～第23講）
	7月	言語と社会 ほか（テキスト 第24講～第26講）
	10月	音声学・音韻論（テキスト 第5講～第9講）
	11月	形態論／統語論（テキスト 第10講～第17講）
	12月	意味論／語用論（テキスト 第18講～第23講）
	1月	言語と社会 ほか（テキスト 第24講～第26講）
日本文芸史Ⅱ	戦後以降の文学史について学び、それと関連するテキスト以外の作家の作品も読んでおくこと。	
	4月	テキストの第一章と、関連する参考文献
	5月	テキストの第一章と、関連する参考文献
	6月	テキストの第二章～第四章と、関連する参考文献
	7月	テキストの第二章～第四章と、関連する参考文献
	10月	テキストの第二章～第四章と、関連する参考文献
	11月	テキストの第五章～第八章と、関連する参考文献
	12月	テキストの第五章～第八章と、関連する参考文献
	1月	テキストの第九章～第十章と、関連する参考文献
日本文芸研究特講・近代	各月の単位修得試験の出題範囲は、以下の通りとするが、受験にあたってはテキストを通読しておくこと。	
	4月	夏目漱石、森鷗外、二葉亭四迷、梶井基次郎、中島敦ら作家と作品
	5月	夏目漱石、森鷗外、二葉亭四迷、梶井基次郎、岡本かな子、井伏鱒二ら作家と作品
	6月	志賀直哉、佐多稲子、中島敦、井伏鱒二ら作家と作品
	7月	私小説作家と作品、島尾敏雄、幸田文、安岡章太郎ら作家と作品
	10月	小林秀雄、古井由吉、高橋たか子、中沢けいら批評家・作家と作品
	11月	小島信夫、安岡章太郎、川端康成ら作家と作品
	12月	川端康成、志賀直哉ら作家と作品
	1月	夏目漱石、森鷗外、二葉亭四迷、川端康成、井伏鱒二、島尾敏雄、古井由吉、小林秀雄ら批評家・作家と作品
指・日本文芸研究特講・言語	4月	家持の万葉秀歌「堅香子の花を攀ぢ折りし歌一首」／難訓歌「邑礼左変」
	5月	人麻呂の名歌「乱友」／類歌「宿り悲しみ」と「廬り悲しみ」
	6月	類歌「忘れかねつる」と「忘らえぬかも」／類歌「潤和川辺の」と「潤八川辺の」
	7月	類歌「恋しければ」と「恋しくは」／類歌「鳴く鳥の」と「居る雲の」
	10月	類歌「ほととぎす」と「うぐひすの」／異伝歌「生跡毛無」と「生刀毛無」
	11月	「強佐留」の読み方／「鳥翔成」の読み方
	12月	「風尔乱而」の読み方／「心異」の読み方
	1月	「居明而」の読み方／「入潮為」の読み方

科目名	出題範囲	
日本言語史	出題範囲が同じでも、月が異なれば問題は異なります。同じ出題範囲が並んでいる場合は、その範囲から異なる二題が出題されます。	
	4月	①日本語の時代区分について ②上代（奈良時代）の音韻について
	5月	①上代（奈良時代）の語彙について ②上代（奈良時代）の語法について
	6月	①上代（奈良時代）の語法について ②中古（平安時代）の音韻について
	7月	①中古（平安時代）の音韻について ②中古（平安時代）の語法について
	10月	①中古（平安時代）の音韻について ②中世（鎌倉・室町時代）の語法について
	11月	①中世（鎌倉・室町時代）の語法について ②中世（鎌倉・室町時代）の語法について
	12月	①近世（江戸時代）の音韻について ②近世（江戸時代）の語法について
	1月	近現代全般から出題
指・日本文法論	4月・10月	第1章「序論」～第2章「形態論」から出題
	5月・11月	第3章「格とボイス」～第4章「時間・空間・意志性」から出題
	6月・12月	第5章「文の成分」～第6章「モダリティ」から出題
	7月・1月	第7章「複文構造」～第9章「待遇表現」から出題
指・日本美術史	飛鳥時代から江戸時代までの日本美術史（テキスト第Ⅱ章～第Ⅸ章、巻末の用語解説を含む）	
世界文芸思潮	4月	第1章
	5月	第3章
	6月	第6章
	7月	第7章
	10月	第8章
	11月	第11章
	12月	第14章
	1月	第16章
指・書道史	4・6・10・12月：中国の書道史	
	5・7・11・1月：日本の書道史	

文学部 史学科 専門教育科目

Contents

●2017年度 通信学習科目 指定テキスト・科目掲載ページ一覧……	110
●2017年度 通信学習シラバス ……………	112
●2017年度 設題総覧	
・レポート設題と参考文献……………	127
・指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足……………	143
●2017年度 単位修得試験の出題範囲 (p.144 に記載した留意事項を必ず確認して下さい) ……	144

2017年度 通信学習科目 指定テキスト・科目掲載ページ一覧

科目名	履修 学年	構成 単位	テキスト 種別 (入手方法)	2017年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社（市販 本のみ）／発行年／定価（税抜）	備考	教科書 コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
								シラバス	設題	試験範囲
日本史概説	1	4	通教テキスト (配本)	『日本史概説』(第1版) 豊田 武、1975年		—	—	112	127	—
指・史学概論	2	4	指定市販本 (各自購入)	『歴史学ってなんだ?』(PHP新書) 小田中直樹、PHP研究所、2004年、 ¥680		S-065	¥735	112	127	—
指・西洋史概説	2	4	指定市販本 (各自購入)	『西洋の歴史〈古代・中世編〉』 山本 茂他、ミネルヴァ書房、 1988年、¥2,400	2冊使用します	S-066	¥2,447	112	127	144
				『西洋の歴史〈近現代編〉』増補版 大下 尚一他、ミネルヴァ書房、 1998年、¥2,400		S-067	¥2,447			
旧・東洋史概説 (～2019年3月迄)	2	4	通教テキスト (一) *1	『東洋史概説』(第1版) 河原正博、 1975年	(テキスト変更： ～2019年3月迄) 経過措置テキスト	—	—	—	128	144
指・東洋史概説 (2017年4月～)	2	4	指定市販本 (各自購入)	『概説 中国史(上)』 富谷 至・森田 憲司編、昭和堂、 2016年、¥2,300	(テキスト変更：2017 年4月～) 最新の指定テキスト 2冊使用します。	S-139	¥2,340	113	128	144
				『概説 中国史(下)』 富谷 至・森田 憲司編、昭和堂、 2016年、¥2,300		S-140	¥2,350			
指・日本美術史	3	4	指定市販本 (各自購入)	『カラー版 日本美術史』 [増補新装版] 辻 惟雄監修 美術出版社、2003年、¥1,900		S-063	¥1,961	113	128	144
日本近代史	3	4	通教テキスト (配本)	『日本近代史』(第3版) 安岡 昭男、2004年		—	—	114	129	144
指・日本近世史	3	4	指定市販本 (各自購入)	『江戸時代(日本の歴史6)』 (岩波ジュニア新書336) 深谷克己、岩波書店、2000年、 ¥840	他、史料あり	S-070	¥901	114	129	—
指①・日本古代史 (～2018年3月迄)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『改訂日本古代史新講』 梅村 喬・神野 清一 梓出版社、2004年、¥2,600	(テキスト変更： ～2018年3月迄) 経過措置テキスト スタディガイドあり	—	取り扱い できません	—	130	—
指②・日本古代史 (2016年4月～)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『日本の時代史(4) 律令国家と 天平文化』 佐藤信編、吉川弘文館、2002年、 ¥3,200	(テキスト変更：2016 年4月～) 最新の指定テキスト	S-135	¥3,235	114	130	—
旧・日本中世史 (～2019年3月迄)	3	4	通教テキスト (一) *1	『日本中世史』中野栄夫、1985年	(テキスト変更： ～2019年3月迄) 経過措置テキスト	—	—	—	131	144
指・日本中世史 (2017年4月～)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『大学の日本史2 中世』 五味彦彦編、山川出版社、2016年、 ¥1,800	(テキスト変更：2017 年4月～) 最新の指定テキスト スタディガイドあり	S-141	¥1,844	115	131	144
指・日本法制史	3	4	指定市販本 (各自購入)	『日本近代法制史』第2版 (新法学ライブラリー<29>) 川口 由彦著 新世社、2014年、¥3,600		S-047	¥3,644	115	131	144
日本史特講(地方史学)	3	4	通教テキスト (配本)	『日本史特講(地方史学)』(第1版) 村上 直、馬場 憲一、1985年	※前・通教テキスト 『地方史学』	—	—	116	132	145
指・日本史特講(日本思想史)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『概説日本思想史』 佐藤 弘夫編 ミネルヴァ書房、2005年、¥3,200		S-069	¥3,225	116	132	—
旧・日本史特講(日本仏教史) (～2019年3月迄)	3	4	通教テキスト (一) *1	『日本史特講(日本仏教史)』 笠原一男、小栗純子、1990年	(テキスト変更： ～2019年3月迄) 経過措置テキスト ※前・通教テキスト『日 本仏教史』	—	—	—	132	—
指・日本史特講(日本仏教史) (2017年4月～)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『日本仏教史』 義輪頭量、春秋社、2015年、 ¥2,400	(テキスト変更：2017 年4月～) 最新の指定テキスト スタディガイドあり	S-142	¥2,427	117	132	—
日本古文書学	3	4	通教テキスト (申告制)	『日本古文書学』(第1版) 佐藤 進一、1968年	※前・通教テキスト 『古文書学』付録誌付	—	—	117	133	—
日本史特講(日本科学史)	3	4	通教テキスト (申告制)	『日本史特講(日本科学史)』 (第1版) 大森 實、1996年	※前・通教テキスト 『日本科学史』	—	—	117	133	145

* 1) 原則「教材交付願」での購入のみ。

科目名	履修 学年	構成 単位	テキスト 種別 (入手方法)	2017 年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社（市販 本のみ）／発行年／定価（税抜）	備考	教科書 コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
								シラバス	設題	試験範囲
東洋美術史	3	4	通教テキスト (申告制)	『東洋美術史』（第1版） 林 良一、1975 年		—	—	118	134	145
東洋史特講（中国経済史）	3	4	通教テキスト (申告制)	『東洋史特講（中国経済史）』 (第1版) 河上 光一、1978 年	※前・通教テキスト 『中国経済史』	—	—	118	135	—
指・日本文芸研究特講・ 漢文	3	4	指定市販本 (各自購入)	『教養のための中国古典文学史』 松原朗ほか、研文出版、2009 年、 ¥1,600	スタディガイドあり	S-057	¥1,650	119	135	—
東洋史特講（中国思想史）	3	4	通教テキスト (配本)	『東洋史特講（中国思想史）』 (第1版) 小倉 芳彦、1958 年	※前・通教テキスト 『中国思想史』	—	—	120	135	—
東洋史特講（中国近世史）	3	4	通教テキスト (配本)	『東洋史特講（中国近世史）』 (第1版) 佐久間 重男、1983 年	※前・通教テキスト 『中国近世史』	—	—	120	136	145
東洋史特講（南海史）	3	4	通教テキスト (申告制)	『東洋史特講（南海史）』（第1版） 河原 正博、1978 年	※前・通教テキスト 『南海史』	—	—	120	136	—
東洋史特講（中国現代史）	3	4	通教テキスト (配本)	『東洋史特講（中国現代史）』 (第1版) 栃木利夫、1982 年	※前・通教テキスト 『中国現代史』	—	—	121	137	145
指・経済史 A	3	2	指定市販本 (各自購入)	『図説西洋経済史』 飯田 隆著 日本経済評論社、2005 年、¥2,500	スタディガイドあり	S-090	¥2,545	121	137	—
指・経済史 B	3	2	指定市販本 (各自購入)	『日本経済史』（改訂新版） 宮本又郎編著、放送大学教育振興 会、2012 年、¥2,700		S-091	¥2,729	121	137	—
旧・西洋史特講 (西洋哲学史) (～2019 年 3 月迄)	3	4	通教テキスト (一) *1	『西洋史特講（西洋哲学史）』 (第1版) 長谷川克彦、1986 年	(テキスト改訂： ～2019 年 3 月迄) 経過措置テキスト ※前・通教テキスト『西 洋哲学史』	—	—	—	138	—
新・西洋史特講 (西洋哲学史) (2017 年 4 月～)	3	4	通教テキスト (配本)	『西洋史特講（西洋哲学史）』 (第1版) 鶴岡健、2017 年	(テキスト改訂：2017 年 4 月～) 最新の指定テキスト	—	—	122	138	—
指・西洋美術史	3	4	指定市販本 (各自購入)	『カラー版西洋美術史』 [増補新装版] 高階 秀爾監修 美術出版社、2002 年、¥1,900	いずれか 1 冊で可 *2	S-058	¥1,961	122	138	—
				『西洋美術の歴史』 H.W. ジャンソ ン、A.F. ジャンソン著、木村重信・ 藤田治彦訳、創元社、2001 年、 ¥3,400		S-134	¥3,509			
指・西洋史特講 (キリスト教史)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『聖書 新共同訳 旧約聖書統編 つき』 N144DC、¥3,600	いずれか 1 冊で可	S-073	¥3,624	123	139	145
				『聖書 新共同訳 中型/ハンディ バイブル旧約聖書統編つき』 N134DCH、¥3,100		S-074	¥3,138			
西洋史特講（ロシア史Ⅰ）	3	2	通教テキスト (配本)	『西洋史特講（ロシア史Ⅰ）』 (第1版) 加藤 一郎、1997 年	※前・通教テキスト 『ロシア史Ⅰ（ロシア 古代中世史）』	—	—	123	139	145
西洋史特講（ロシア史Ⅱ）	3	2	通教テキスト (配本)	『西洋史特講（ロシア史Ⅱ）』 (第1版) 倉持 俊一、1980 年	※前・通教テキスト 『ロシア史Ⅱ（ロシア 近代史）』	—	—	124	139	146
西洋史特講（アメリカ史）	3	4	通教テキスト (配本)	『西洋史特講（アメリカ史）』 (第1版) 清水 博、1976 年	※前・通教テキスト 『アメリカ史』	—	—	124	140	—
指・日本考古学	2	4	指定市販本 (各自購入)	『はじめて学ぶ考古学』 (有斐閣アルマ) 佐々木 憲一・小杉康・ 菱田 哲郎・朽木 量・若狭 徹、 有斐閣、2011 年、¥2,000		S-068	¥2,049	125	140	—
日本史特講（海外交渉史）	3	4	通教テキスト (配本)	『日本史特講（海外交渉史）』 (第1版) 永積 洋子、1995 年	※前・通教テキスト 『海外交渉史』	—	—	125	141	146
指・文化地理学	3	4	指定市販本 (各自購入)	『文化地理学入門』 高橋伸夫・田林明・小野寺淳・ 中川正著、東洋書林、1995 年、 ¥2,500	スタディガイドあり	S-087	¥2,535	126	141	—
指・経済地理学	3	4	指定市販本 (各自購入)	『経済地理学入門ー地域の経済発 展』（新版）山本健児、原書房、 2005 年、¥2,800		S-078	¥2,816	126	141	—

* 2) 2016 年度に経過措置テキストになった『カラー版 西洋美術史』は経過措置の取扱いが変更されました。詳細は『法政通信』2017 年 3 月号
及び 10 月号で確認してください。

2017年度 通信学習シラバス

日本史概説

教科担当責任者：松本 剣志郎

担当者：川上 真理
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 日本史の個々の史実を、通史的・概説的に理解することを目標としています。

この目標は、単に日本史上の個々の事象のみをマニアックに学習する事でもなく、列島で起こった史実を世界史の中に普遍主義的に当て嵌めようとするだけでも、また、経済の進歩や政治制度の変遷ばかりを追うのみでも達成できません。史実を、列島社会に固有の文化的伝統との関連のなかで解釈するという方法が必要となってくるでしょう。これによって日本人のアイデンティティの確立にとって日本史上の個々の史実はどんな意味を持っていたのかについての見通しを得ていければよいと考えています。

2 科目の概要 原始、古代、中世、近世、近代の通説的な時代区分にそって、政治の展開と社会経済の動きを、日本文化の発展との関係において理解できればよいと考えています。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価しますが、レポート学習もしっかりと行ってください。

レポート作成では、まず個々の事象についての通説を正確に理解していることが必要です。その際、それぞれの事項がどのような事実であるか、それらが各時代でどのような意義を持つものであるかに留意してください。そのうえで、同時代の他の事象との相互連関や、前後の時代との関連にまで視野を広げて考察してほしいと考えています。また、構成・引用・参考文献などレポートの体裁が整っていることも重視します。

試験は、歴史用語を正しく理解していること、歴史的事象を時系列で整理し、事実に基づく解釈を行っていることを重視します。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト 豊田武『日本史概説』第1版、1975年

5 学習指導、注意点等 日本史概説という科目は、資格科目ではありませんので、この本とあの本を勉強しておけば試験は万全だといった万能薬はありません。歴史的な用語の理解については『国史大辞典』を使えば充分ですが、具体的な史実に関しては膨大な量の書籍が出版されていますので、大きめの書店や図書館などに足を運び、テキストのみではなく多くの書物に目を通してみてください。そして、日本史の理解の仕方には、時宜に応じて多様な視点があるという点を学んでください。日本史への関心がより深まるでしょう。

参考文献として、若干紹介します。

○朝尾直弘・上田正昭・上横手雅敬・山本四郎編『要説日本歴史』東京創元社、2000年、¥2,800+税

○佐々木潤之介・佐藤信・中島三千男・藤田覚・外園豊基・渡辺隆喜編『概説日本歴史』吉川弘文館、2000年、¥1,900+税

○尾藤正英『日本文化の歴史』（岩波新書）岩波書店、2000年、¥700+税

○網野善彦『「日本」とは何か』（日本の歴史 00）講談社、2000年、¥2,200+税

○五味文彦・高埜利彦・鳥海靖編『詳説日本史研究（改訂版）』山川出版社、2008年、¥2,381+税

○大津透・桜井英治・藤井譲治・吉田裕・李成市編『岩波講座日本歴史』全22巻、岩波書店、2013年～2016年、¥3,200+税

史学概論

教科担当責任者：後藤 篤子

担当者：秋山 千恵
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 歴史学を学ぶ際の基本的な知識を整理し、歴史を学ぶことの意味や意義を考えることを目標とします。

2 科目の概要 指定市販テキストにもとづいて、歴史学とは何か、歴史的事実とは何か、史料とは何か、歴史認識とは何かという基本的な問題を考えます。また、世界史の理解をめぐる理論と分析方法がどのように構築されてきたのか、現在、歴史学はいかなる問題に直面しているのかを把握していきます。

3 成績評価基準 指定のテキストをよく読み込んで、内容を理解し、自分なりにまとめているかどうかを評価します。構成、引用、参考文献などレポートの体裁を整えているかどうかにも重視します。最終成績は単位修得試験により評価しますが、評価の際は先に提出されたレポートの内容も考慮する場合があります。

試験はテキストの内容に沿って出題しますので、各章ごとに内容を理解し、全体を見通してください。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『歴史学ってなんだ？』（PHP 新書）PHP 研究所、小田中直樹、2004年、¥680+税

歴史学とは何かという問題を、現在直面している諸状況のもとで、事例を挙げながら丁寧かつわかりやすく論じています。

5 学習指導、注意点等 テキストの各章で何が論じられているのかを考えながら読んでください。また、テキストとあわせて、次の参考書も熟読して、理解を深めてください。

浜内 謙『現代史を学ぶ』岩波新書、1995年、¥820+税

E. H. カー著・清水幾太郎訳『歴史とは何か』岩波新書、1962年、¥820+税

さらに、以下を紹介します。

塚塚忠躬『史学概論』東京大学出版会、2010年、¥6,800+税

良知力『青きドナウの乱痴気』平凡社、1993年、¥1,200+税

西洋史概説

教科担当責任者：加納 格

担当者：池本 今日子
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 西洋の歴史について、時代の特徴、歴史用語や諸事象の意味について理解し、説明出来る。

2 科目の概要 指定テキスト（指定市販本）の自主学習と、レポートの作成により、西洋史について理解するための科目です。

指定テキスト（指定市販本）の学習によって、歴史用語や重要な事象の意味、時代の特徴を理解することが重要です。その理解度を試す試験を実施します。また、特定のテーマに関するレポートを作成します。レポートの作成にあたっては、指定教科書だけでなく、独自に文献を調べてよく読み、設題に関係する時代の特徴、事件や制度、歴史用語などについて理解を深め、それを文章で的確に表現しようとする姿勢が大切です。

積極的な姿勢を期待します。

3 成績評価基準 単位修得試験は、指定市販本から出題します。歴史用語を理解し、重要な歴史事象について、原因と結

果に留意しながら、その内容を把握するようにしましょう。時系列に整理しておくこと。

レポートについては、専門用語や時代、事象について理解しているか、積極的に勉強しているかを評価します。

まず、指定市販本以外に積極的に文献を調べること。そのうえで、教科書や参考文献を単に要約したりするのではなく、一つのことに複数の文献に当たる姿勢が重要です。そして、設題に関して調べた結果をよく整理し、丁寧に掘り下げ、具体的かつ時系列に説明すること。学説にも注意しながら、書くこと。さらに、レポート作成の原則に従っていること。

4 テキスト名および詳細 ・指定市販本『西洋の歴史〈古代・中世編〉』ミネルヴァ書房、山本 茂他、1988年、¥2,400+税
・指定市販本『西洋の歴史〈近現代編〉』増補版、ミネルヴァ書房、大下尚一他、1998年、¥2,400+税

5 学習指導、注意点等 レポート作成にあたっては、「設題解答にあたっての解説・注意等」を読むこと。制度などの意味と年号に注意しながら、積極的に文献を調べて下さい。何故そうだったのか、という疑問を追究する姿勢が大切です。また、書いたら、必ず読み直して下さい。主題と関係のない記述や重複しているところは削除し、文意が不明瞭なところは直し、説明不足のところは補いましょう。内容をなるべく濃くするつもりですとよいでしょう。

東洋史概説
教科担当責任者：塩沢 裕仁
担当者：宇都宮 美生 単位数：4 単位
※ 2017 年 4 月よりテキスト変更（通教テキスト → 指定市販本）

1 学習の到達目標 東洋史の中軸をなす中国史について、時代の特徴、時代の流れ、史実について学習し、史料、学説に基づいて説明できるようにする。

2 科目の概要 通教テキストに基づき、各王朝の特徴と史実を理解する。テキストにより歴史学の方法を学び、関連する論文などを自ら探して通読し、テキスト以外の参考図書などを参照してレポートを提出する。単位修得試験は指定テキストの内容に準じているため、十分に準備して試験に臨む。

3 成績評価基準 レポートについては設題の意図を理解し、テキストおよび参考図書を参照して内容を理解した上で論述し、構成・引用・参考文献などレポートの体裁を整える（2000 字程度）。百科事典的な概説は不可とし、論理の展開を重視する。筆記試験では、テキストの内容に基づき、経緯と背景、発生の条件、内容、結果や影響などについての包括的な説明を求める。

4 テキスト名および詳細 『概説 中国史（上）』富谷 至・森田 憲司編、昭和堂、2016 年、¥2,300+税
『概説 中国史（下）』富谷 至・森田 憲司編、昭和堂、2016 年、¥2,300+税

5 学習指導、注意点等 学習にあたり、各時代の特徴として、政治、法制、軍制、財政（税・貨幣）、農業、文化、対外政策に分けて考察するとわかりやすい。まず、経緯、社会情勢、発生の条件、内容、結果、影響などに着目して史実をみていく。さらに、前王朝の特徴が次王朝へどのように継承されているか、どのような影響を与えているか、あるいは何が否定されているか、理解しながら中国史をみていくと全体の流れが把握できる。テキストに線を引くだけでなく、自分なりのノートを作成するこ

とを勧める。また、年表や地図を自分で作成すると、複雑な事象も比較的理解しやすくなる。レポートの提出および筆記試験は手引きの諸注意を理解したうえで臨み、「とりあえず書く」という態度では取り組まないで欲しい。

【参考文献】

平勢隆郎他『中国の歴史』全 12 巻、講談社、1974 年～1975 年、2004 年～2005 年

愛宕元・富谷至・森田憲司編『中国の歴史』上下、昭和堂、2005 年
譚其驤主編『中国歴史地図集』全 8 巻、中国地図出版社、1982 年

【論文検索】

CiNii Articles (<http://ci.nii.ac.jp/>)

日本美術史
教科担当責任者：小秋元 段
担当者：萩原 哉 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 ①飛鳥時代から江戸時代までの日本美術史の大きな流れを理解する。
②各時代の代表的な作品を知り、それぞれの作品に認められる様式的・技法的な特色を理解する。
③日本美術史の変遷を促した歴史的・社会的な要因について理解する。

2 科目の概要 日本列島の文化は、中国や朝鮮半島などからもたらされた外来文化の影響を絶えず受容しながら、時代ごとにさまざまな美術作品を生み出してきた。本科目では、飛鳥時代から江戸時代までを対象に、各時代の代表的な作品について学び、日本美術史の概略とその特質を理解することを目的とする。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたレポートの内容も考慮する。

なお、レポート、単位修得試験は、以下の 3 点を基準として採点をおこなう。

①飛鳥時代から江戸時代までの日本美術史の大きな流れを理解していること。
②各時代の代表的な作品について、それぞれの様式的・技法的な特色を的確に理解していること。
③それぞれの作品が生み出された時代背景を理解していること。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『カラー版 日本美術史』増補新装版、美術出版社、辻 惟雄監修、2003 年、¥1,900+税

5 学習指導、注意点等 まずテキストを熟読し、日本美術史の大きな流れを把握すること。各時代の代表的な作品については、テキストとともに美術全集等の図版解説や事典類を参照し、基礎データ（名称、作者、制作年代、材質、寸法、所蔵者）、制作の目的と経緯、様式的・技法的な特色、そこに認められる外来文化の影響などを明確に整理し、理解すること。また、それぞれの作品については、必ず美術全集等の大型図版を参照し、具体的なかたちのイメージ（主題、表現、造形的特徴など）の把握につとめるとともに、自らの視点により作品の比較・分析を試みることを。

なお、美術史を学ぶ上で、実際に作品を鑑賞することが何よりも重要である。受講者は、美術作品を所蔵する社寺や博物館等に積極的に足を運び、作品を鑑賞する機会を得よう心がけて欲しい。

日本近代史

教科担当責任者：長井 純市

担当者：柏木 一郎、狩野 雄一、長井 純市

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 ペリー来航から今日に至る歴史について、封建制の幕藩体制から主権在君の立憲君主制国家へ、そして敗戦を経て主権在民の立憲君主制国家へと変化したことを鳥瞰しつつ、中央集権の国民国家の形成・展開に関わる諸事象および欧米列強を中心とする国際社会の情勢に関わる諸事象を基にして理解し、自分のことばで説明できるようになること。

2 科目の概要 テキストに基づいて、ペリー来航から明治時代の終わりまでを、政治・経済・文化など多様な視点から学び、理解する科目である。日本近代史を、幕藩体制の崩壊、中央集権国家の形成・展開、欧米列強や近隣諸国との関係、対外戦争、経済・産業の発展、文化・生活の変化・向上という視点から捉え、それらを理解するのに必要な諸事象を学ぶ。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。
・レポート
上記「科目の概要」に記された諸事象および事象相互の関係が正しく理解され、習得されているかが問われる。テキストや参考文献によって得られた理解をもとに、自分のことばで正確に記述し、また矛盾や一面的な見方・解釈を含まない論理展開となっているかどうかを評価基準とする。参考文献の引き写しであってはならない。必要と考えれば出典註記を行うこと。

・単位修得試験
レポートにおける学習到達度をふまえ、個々の事象の理解・習得をふまえた一定の歴史叙述（すなわち、より幅広い、そしてより深い歴史事象の説明）が課題となり、受講生の歴史認識の正確性や論理的整合性、さらに幅広い視点を有しているかどうか、自分のことばで叙述されているかどうかを評価基準とする。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『日本近代史』第3版、安岡昭男、2004 年
ペリー来航から明治時代の終わりまでの時期を、正確な史実理解をねらいとして、政治・外交・軍事・経済・産業・文化・生活など多様な視点から構成したものである。

5 学習指導、注意点等 学習開始時に、テキストのはしがきを読み、日本近代史全体の捉え方や学習の目安について理解すること。次に、目次を読み、日本近代史を通観するのに必要な諸事象を、たとえば大項目・中項目・小項目というように構造的に整理し、理解すること。さらに、本文を読み、諸事象の因果関係や時間の経過に伴う変化、あとの時代への影響を理解すること。最後に、一定の事象を想定し、それを説明するのに必要と思われる個々の事象を想起し、当該事象の理解が定着したかどうかを確認すること。

日本近世史

教科担当責任者：松本 剣志郎

担当者：安田 寛子

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 史学科の学生は卒業までに必ず卒論を書かなければならず、そのことは常に念頭に置いて学習していかなければならない。日々の学習は、そのための知識や技術を習得するためのものだともいえる。しかし、これは直接的な到達目標ではあるが、決して学ぶことの最終目標ではない。真に求められるのは、学びを通して物事の本質を見抜く眼を養い、考え、判断する力を身につけていくことである。

2 科目の概要 日本近世史が対象とする時代の始まりと終わりについては、議論を要するところであるが、中心となるのは徳川幕府が政権を担っていた時期、すなわち江戸時代である。江戸時代は幕藩体制と呼ばれる仕組みのうえに、260 年余りも平和が続いた時代である。このような長期政権をどのようにして持続することができたのか、その中で人々はどのように生活していたのか、またそれだけ続いた政権がなぜ崩壊することになったのか。これらについて考えていくことが、この時代の特徴を明らかにしていくことになる。

3 成績評価基準 通信課程の場合、スクーリング受講とともに、レポートを提出して単位修得試験を受けることが学習の重要な柱となる。特にレポートは試験を受けるための単なる手段ではなく、学び、考え、表現する貴重な場であり、何より卒論を書くための実践的な訓練の場である。そのためには、単に持論を展開するのではなく、設題に関する史料や論文を探索し、研究史を整理し、よく考え、理解し、自分の言葉で書くということが重要である。それらが十分になされているかどうかの評価の基準となる。

4 テキスト名および詳細 ①指定市販本『江戸時代（日本の歴史6）』（岩波ジュニア新書 336、深谷克己著、岩波書店、2000 年、¥840+税）②史料『新版 史料による日本の歩み（近世編）』（兄玉幸多・佐々木潤之介編、吉川弘文館、1996 年、¥3,800+税）①は江戸幕府の成立からペリー来航に至るまでを、多岐にわたってわかりやすく書かれており、その記述に対応する史料を②から探しながら読み進めることで、さらに理解を深めることができる。

5 学習指導、注意点等 指定されたテキストはあくまでも入り口であり、その他にどれだけ関連する史料や学術論文、研究書などの参考文献を探し出せるかが重要である。そのためには、実際に図書館や文書館に足を運ぶのはもちろんであるが、あらかじめ当該機関のサイトにアクセスして必要な史・資料を探索しておくのも有効である。

ただし、インターネットの利用には十分な注意が必要である。出所不明な情報を安易に信用したり、無批判に引用したりすることのないようにしなければならない。まして、参考文献やインターネットの記述をそのまま転載するなどの行為は厳禁である。

日本古代史

教科担当責任者：小口 雅史

担当者：菊地 照夫

単位数：4 単位

※ 2016 年 4 月よりテキスト（指定市販本）変更

※レポート（第1回・第2回）一括提出不可

1 学習の到達目標 3 世紀から 12 世紀までの日本古代史の通史的展開を理解し、日本列島における古代国家の形成と展開の様相を説明することができること、また日本古代史研究における主要な論点や課題についてその研究状況を把握することを到達目標とする。学習を通して日本古代史に関心をもち、自ら進んで史跡・文化財や博物館の見学をおこない、主体的に歴史を学んでいく姿勢が身につくことを期待したい。

2 科目の概要 テキストにもとづいて律令国家が形成され確立する 7 世紀末から 8 世紀の諸問題を学習する。この時代の歴史像は、従来続日本紀や律令を基本的な史料として制度・政争を中心に描かれてきたが、近年の古代史研究の進展により大きく変容している。その背景には考古学の発掘成果の増大、木簡等出土文字史料の増加、日本という一國史の枠組みを超えたグローバルな視点の導入、国文学・仏教史・美術史・建築史などとの学問の枠組みを超えた連携などの要因があるが、ここではそうした新しい研究動向を踏まえた日本古代史研究の最新の成果を学んでいく。

3 成績評価基準 リポートは設題が求めているテーマについての確に答えられていることが最も重要である。テキストをしっかりと読み込んでおり、基本的な用語が理解できているか、今日の研究状況が掌握できているかという点も重視する。単位修得試験では、テキストに提示されている主要な論点についての理解、認識を問う問題を出題する。出題されたテーマについて理解、認識の度合いをチェックするとともに、通史の中にもそれが正しく位置づけられているのかも重視する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 佐藤信編『律令国家と天平文化(日本の時代史4)』吉川弘文館、2002 年、¥3,200 + 税

5 学習指導、注意点等 まずはテキストを熟読する。あわせて最近刊行されている日本古代史の概説書(岩波新書『シリーズ日本の古代史』全 6 巻、吉川弘文館の『日本古代の歴史』全 6 巻、小学館の『全集日本の歴史』第 2～4 巻など)を読み、日本古代史の全般的な流れを理解していただきたい。またテキストと同シリーズ『日本の時代史』(吉川弘文館)の他の古代史の巻(2・3・5・6)にも目を通し、古代国家の形成と展開の様相を学んでほしい。それとともに博物館や史跡を積極的に見学し、その成果がリポートや単位修得試験に反映されることを期待する。

日本中世史
教科担当責任者：大塚 紀弘
担当者：仁平 義孝 単位数：4 単位 ※ 2017 年 4 月よりテキスト変更(通教テキスト → 指定市販本) ※ リポート(第 1 回・第 2 回)一括提出不可

1 学習の到達目標 日本中世史に関する基礎的な知識を習得し、具体的な事象に対する解説、評価を自分の言葉で示すことができるようになることを目標とする。

2 科目の概要 テキストをもとにして、院政時代から室町・戦国時代までの政治史、社会経済史、文化史を学習し、日本中世史の基礎的な知識を習得する。その上でリポートの設題に取り組む。リポート作成にあたっては、自分自身で設題に関連する史料や論文などを検討し、その成果を十分に反映するよう心がけてほしい。単位修得試験は、テキストに書かれている内容について問う。

3 成績評価基準 リポートは、①設題の意図をよく理解し、テキスト以外に関連する史料や論文、専門書等に広くあたって作成する、②テキスト等から引き写すのではなく、設題に関して勉強したことをまとめて自分の言葉で表現する、この 2 点が評価の基準となる。誤字・脱字のないように注意し、設題総覧にある書式を厳守すること。
単位修得試験では、テキストに書かれている歴史事象、歴史的語句などについて出題するので、テキストをよく読んでおくこ

と。ある事象の具体的内容を正しく理解しているか、その事象の歴史的位置付けができているかなどを基準として評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 五味文彦編『大学の日本史 2 中世』(山川出版社、2016 年、¥1,800+税)

※【スタディガイド(学習指導書)】あり
日本中世の政治、社会経済、文化について全 20 章で概観する。放送大学のテキストをもとにしたもので、4 名の研究者が分担執筆している。一つひとつの歴史事象について詳細に論じるのではなく、その時代の論点となる事柄を中心に叙述されている。

5 学習指導、注意点等 テキストをしっかりと読み込んだ上で、設題総覧に挙げる概説書や講座論文を読んで勉強してほしい。なかでも 2016 年に完結した『岩波講座日本歴史』に収められた諸論文は、現時点での学界の到達点を示すものの一つなので、じっくりと取り組んでもらいたい。

日本法制史
教科担当責任者：川口 由彦
担当者：宇野 文重 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 現代日本法は、制定法を主体とし、六法典を中心に据えるという形態をとっている。しかし、このようなあり方は、必ずしも近代法一般の態様ではない。近代国家の下でも、判例法を主体とする国もあるし、法典主義の国でも法典の数が異なることはよくあるからである。

なぜ、日本の近代法はこのような姿なのか、それはどのような経緯を経てそうなったのかを理解するのがこの科目の目標である。

2 科目の概要 人類社会は、生まれたときから何らかのルールをもってきた。それは、形態、内容、実質、執行システム等いずれも多様なものである。

法といわれているものは、こうしたルールの中のあるグループのことなのだが、こうしたグループは、歴史上発生を見た社会もあれば、発生しなかった社会もある。日本社会は、幸か不幸か、この法というグループをもつにいたった社会である。

しかし、そうはいっても、この法という社会規範は、国により民族により、時代によりきわめて多様で、簡単に一般論を語らせてくれない難物である。

この難物を扱うには、いろいろな方法があるが、各時代の人々から「法」と呼ばれたものをピックアップして相互に比較し、そのうえで、おのおのの特徴を捉えるというのとは有効なアプローチの方法である。法史学という学問の意義も一つには、そのあたりにある。

この科目では、明治以降の、通常「近代法」と呼ばれる「法」のあり方を座標軸とした、今日の法の特徴を考えてみたい。

現代日本法は、ほとんどが明治期に作られたものである。試みに六法をみてみよう。すると、民法の制定年は明治 29 年(1896 年)となっていて 19 世紀の産物であることがわかる。商法も明治 32 年(1899 年)と 19 世紀の産物である。刑法は、明治 40 年(1907 年)制定だから、何とか 20 世紀の所産といえるが、いずれにせよ明治時代の産物で、しかも、この刑法は、明治 13 年(1880 年)に制定された刑法(旧刑法)の条文をかなりひきずっているから、やはり、歴史ある法典といえる。日本の法典には、一世紀以上の長い歴史があるのである。

このような法は、一体どのようにして、どのような考え方の下でつくられたのか。考えてみれば、これら諸法典は、封建領主支

配が解体してから、ほんのわずかの年数を経て外国法を摂取しつつつくられているのだから、その営為たるや驚異的といえる。

この急速な法の形成は、当然ながら、江戸時代にみられた法との「断絶」を生み出した。この「断絶」には、封建法から近代法への変化という他国にも共通してみられるものと、日本的なもののから西欧的なものへの変容という二様のものがある。

しかも、こうした「近代法」の形成は、一概に既存の法との「断絶」とのみは特徴づけられず、すぐれて日本的なもの・東アジア的なものの継承という要素を多分に残したものであった。

この科目では、このような諸契機、諸要素が、どのように絡み合っているかに焦点をあてつつ、日本の「近代法」の形成過程を考察したい。

3 成績評価基準 論述式筆記試験によって単位を認定する。その際、テキストで触れられた重要法令の特徴を正確に理解しているかいないかを重視する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 川口由彦『日本近代法制史』第2版、2014年、新世社、¥3,600+税

5 学習指導、注意点等 教科書、参考書（「設題総覧」に記載）を読んで学習すること。

日本史特講（地方史学）

教科担当責任者：松本 剣志郎

担当者：中山 学、馬場 憲一
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 1945年の敗戦を契機に新たな学問領域として確立してきた地方史学について研究の目的・意義・沿革をはじめ、その研究に関わる史料保存と文化財保存の課題、地域で展開される歴史と生活、さらに地方史研究に用いる古文書の整理と調査方法などを理解することを目標とする。

2 科目の概要 日本における歴史研究は、1945年の敗戦を契機に大きく変化し、民衆を主体とする歴史と地方（地域）史が一体となった新たな学問領域が確立してきている。これが地方史学であり、歴史学の研究分野の中でも重要な位置を占めている。地方史学は、地方史研究の深化とともに体系化が図られている。

本科目では、地方史学とは何か、またその研究の目的と意義を学び、同時に在野民間史学の上に発展してきた地方史の沿革や、研究に関わる史料保存・文化財保存の課題などをはじめ、地域の歴史と生活、さらに研究に用いる古文書の整理と調査方法などについて学習する。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価しますが、評価基準は以下の通りです。

・レポート

テキストの内容を踏まえ、設題に適切に答えているか否かを評価対象とします。

・単位修得試験

問題を正しく理解し、その問いに適切に答えているか否かを評価対象とします。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『日本史特講（地方史学）』第1版、村上 直、馬場憲一、1985年（※ 前・通教テキスト『地方史学』）

5 学習指導、注意点等 ・新しい学問領域として確立してきている地方史学について、一般史との関わりの中でその目的や意義などを理解すること。

・地方史研究の流れを第二次世界大戦以前から行われてきた郷土史研究や、1970年代から提起されている地域史研究との関連の中で考察すること。

・地方史研究と密接な関わりをもつ史料保存や文化財保存が抱える課題などについて理解を深めること。

・テキストで取り上げた地方の歴史と生活を参考に自らが暮らす地域の歴史と生活についても理解を深めること。

・地方史研究を行う上で基本となる古文書の整理と調査方法をはじめ、研究に用いる史料・文献などについて習熟すること。

・上記諸点の理解にあたっては、指定テキスト以外にも市販されている文献があるので、それらも参考にするをお勧めする。ここでは、とりあえず、以下の文献を紹介しておくので参照のこと。

塚本学「地域史研究の課題」（『岩波講座 日本歴史』25 岩波書店 1976年 所収）、『岩波講座 日本通史 別巻2・地域史研究の現状と課題』（岩波書店 1994年）。また地方史学全般に関わる学術雑誌として『地方史研究』（地方史研究協議会 年6回発行）がある。

日本史特講（日本思想史）

教科担当責任者：長井 純市

担当者：岡野 浩二
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 日本の古代から近現代に至るまでの思想について、時代・カテゴリーを意識しながら学習し、「日本」がどのように自覚されてきたのか、その歴史をアジア・世界のものの「日本」という国際性を意識しながら説明できるようにする。

2 科目の概要 指定市販教科書と巻末の年表を活用して、古代・中世・近世・近現代の思想の大きな流れと時代ごとの特色を理解する。レポートの第1回の設題では、日本の古代国家形成に強い影響を与えた外来思想（仏教・儒教・道教など）を理解し、その受容と日本における変容、特に「日本」国号や「天皇」号、記紀神話の成立などについて考察する。第2回の設題では、神道・仏教・儒教の関係に留意して中世以降の日本思想の展開を理解し、神道思想の形成など、「日本」がどう自覚されてきたかを考察する。さらに、近代における神仏分離から国家神道の形成、西洋思想の受容などについてもまとめて、それぞれの時代に外来思想がどのように受容され、「日本」についての思想がどのように展開したかを整理して、単位修得試験に臨む。

3 成績評価基準 ・レポート評価

テキストだけでなく、参考書などをひろく読み、それぞれの課題に対する問題点を整理し、しっかりとした論点を持ってレポートを作成する。決して辞書的な項目ごとのまとめにしない。重要な文献は書名だけでなく内容を把握する。その上で内容・構成を考え、註や参考文献を明記した学術レポートとしての体裁を整えること。ワープロ使用の場合は字数を明記すること。

・単位修得試験

上記レポートと指定市販教科書のすべてを試験範囲として出題する。日本思想史の流れを理解し、古代・中世・近世・近現代という時代ごとの相違が論じられること。日本思想の形成に影響を与えた外来思想と、神道思想など「日本」を自覚したものを整理するだけでなく、両者の関係を歴史的に考察する。関連する書目・思想家が正しく認識されているか、日本思想の特色がまとめられているかも重要な評価の対象である。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『概説日本思想史』ミ

ネルヴァ書房、佐藤弘夫編、2005 年、¥3,200+税

知的文化財産としての日本思想に関する基礎知識を、歴史学・文学・仏教学・民俗学などの周辺領域にも細かに目配りしながら、正確にわかりやすく記述している。日本思想史の全体像をイメージしやすく設計され、Ⅰ「古代の思想」、Ⅱ「中世の思想」、Ⅲ「近世の思想」、Ⅳ「近現代の思想」それぞれの冒頭に付けられている概説では、思想史の大きな流れが把握でき、各章では、より専門的な視点から各時代の思想を詳しく考察できる。所々に挿入されているコラムでも、簡潔ながら重要な指摘がなされている。巻末の年表と索引は総復習に、参考文献は更に深く勉強するために役立つ。

5 学習指導、注意点等 リポート作成には、テキストの「古代の思想」「中世の思想」「近世の思想」全体を良く読み、その中から重要なポイントに絞って歴史の変遷を考察すること。単位修得試験には、リポートに対するコメントを参照しながら復習し、さらに「近現代の思想」についても同様の勉強をして臨むこと。巻末（293～297 頁）の参考文献や『日本思想史講座』全5巻（ぺりかん社）も参照すること。

日本史特講（日本仏教史）

教科担当責任者：松本 剣志郎

担当者：岡野 浩二

単位数：4 単位

※ 2017 年 4 月よりテキスト変更（通教テキスト → 指定市販本）

1 学習の到達目標 日本の古代から近現代に至るまでの仏教について、僧尼の学と行という観点から理解するとともに、世俗世界からの視点にも留意して、多様な諸相を把握する。また各時代の仏教の特色・特質を説明できるようになる。

2 科目の概要 仏教伝来から現代までの仏教を概観します。そのさい、僧侶を主語に据えて、その「学」（頭脳を使う学問仏教）と「行」（心や体を使う修行）の変遷を説明したテキストを用います。また為政者による仏教政策など、テキストが省略した事項を、スタディガイドが補足しています。それらをもとに、日本仏教の変遷を理解してください。

3 成績評価基準 最終成績は、単位修得試験によって評価します。テキストとスタディガイドの内容を全体にわたって理解したうえで受験してください。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『日本仏教史』袁輪顕量、春秋社、2015 年、¥2,400+税

※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 リポートは、テキストとスタディガイドだけでなく、参考文献を利用して、特定の人物・集団の活動を理解し、自身の文章でその内容をまとめてください。また同時代の他の僧・宗派との比較など、全体像をつかむ視点を盛り込んだ記述にしてください。単位取得試験は、テキストとスタディガイドの内容を理解したうえで受けてください。段落を構成し、5 W 1 H の必要事項を盛り込んだ自分の文章であることが求められます。

日本古文書学

教科担当責任者：大塚 紀弘

担当者：大塚 紀弘、和氣 俊行

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 日本古代史・中世史の基本史料である古文書について、その文体や語彙になじんで古代・中世の時代の文章を読解する力を培い、また、文書の形態や様式、機能などを知って史料として文書を活用する力を身につけることにより、日本古代史・中世史をより深く学ぶことができるようになる。

2 科目の概要 日本には古代・中世の時代の古文書が多数伝存しており、歴史学の重要な史料となっているが、これを史料として活用するためには、まず、古文書の文章を読み解き、その内容を理解する力が必要であり、また、文書それぞれの独特の様式や作られ方、使われ方についての知識が必要となる。この科目は、古代・中世古文書の代表的な様式とその機能の概要を学ぶとともに、古文書の多くの実例に即して実際の読み方を学び、内容を具体的に捉える訓練を積み重ねる学習を通じて、古文書の実読能力が高まることを目指す。

3 成績評価基準 リポートは、古文書の主要な様式の種類と特徴、機能、および時代的な変化を十分に理解したかどうかを確かめる。リポートとしての体裁や構成、日本語としての正しい表現に注意すること。

単位修得試験は、様式の知識とともに、文書を正確に読むことができるかどうか、内容を的確に理解できるかどうかを特に重視する。

最終成績は単位修得試験により評価する（ただし、リポートの学習もしっかり行うこと）。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『日本古文書学』第1版、佐藤進一、1968 年

※【申告制】テキスト

（※ 前・通教テキスト『古文書学』付録誌付）

5 学習指導、注意点等 教科書を徹底的に学習することが大切である。特に教科書に載っている文書の一つ一つひとつを丁寧に学習すること。その際、文書を大きな声で読むのがよい。古い時代の言葉や言い回しを繰り返し耳から聞いて、そのリズム感を身体で覚えるのがきわめて効果的である。

同時に、返り点の打ち方を習得すること。教科書で文書に返り点が打たれているものにその打ち方を学び、読下し文を参考にして、漢字だけの原文に返り点を打つ練習をしてほしい。これを習得すれば、どのような文書も自力で読めるようになる。

学習には大きな辞書を活用すること。『日本国語大辞典』（小学館）、『新大辞典』（講談社）、『新漢和辞典』（学研）、『国史大辞典』（吉川弘文館）など。

日本史特講（日本科学史）

教科担当責任者：長井 純市

担当者：土井 康弘

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 日本史を学ぶ人の多くは、種々の事情で理工系に関わる事象についてあまり興味を抱くことがないように思われる。政治史もしくは経済史を歴史学の王道としてとら

え、文化史とりわけ科学史にまで思いをはせることも少なからう。しかしながら、科学はいつの時代でも身近に存在しており、人の歴史を顧みる上で蔑ろにするわけにはいくまい。

本科目では、西洋科学がはじめて伝来したキリシタンの世紀から近世の時代に日本人がどのような科学文化を培っていたのかについて基礎的知識を身につけることを到達目標とする。また、現今の日本人の原型が完成したといわれる江戸時代における科学文化の形成過程を見ることで、どうして科学技術立国として世界に冠たる地位を築くに至ったのかもあわせて考察してもらいたい。

2 科目の概要 キリシタンの時代に南蛮人と呼ばれた人々から、我が国ではどのような形でどのような科学文化を受容していたのか。また、いわゆる鎖国期に西欧の国として唯一交流のあったオランダから、そしてペリーの来航を機に開国した日本が科学文化を洋学として受容した実態について学習する。さらには、日本独自の和算や中国から受容し続けてきた科学文化である天文・暦学、医学などの分野がどのように学として根付いていったのかについても知り、政治経済などの他分野からも考察できるようになることを求めたい。

3 成績評価基準 リポートを論文と勘違いしている者が多い。設題は問題であり、これに対して応えるリポートは試験なのである。必要な事柄をまんべんなく記すこと。自分の書きたいことばかりを書いても評価できません。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『日本史特講（日本科学史）』第1版、大森實、1996年
※【申告制】テキスト
（※前・通教テキスト『日本科学史』）

5 学習指導、注意点等 いつ、どこで、誰が何をどのように考えたかなど4W1Hを明確にすること。その際、人物については「平賀源内（一七二八～一七七九（享保一三～安永八）」）などのように、不明な人物を除き生没年はかならず記し、不明ならその旨をしっかりと記すこと。また最大字数を二四〇〇字とし、その九割以上を執筆するとともに、ワープロで作成する場合は字数を明記すること。

なお、現今と同じように西暦と和暦の日付が同じだと思っている者が多い。歴史学とりわけ日本史を学ぶものとして致命傷であり、これだけで却下せざるを得ない。よくよく気をつけてもらいたい。また、レポート作成の際に、参考文献ばかりに頼る傾向がある。基本である教科書をしっかりと学習して理解し、かならず作文の基本を守り、自分の力を過信しないことを強く申し添える。しかし、どうしても必要な下記参考文献などを使用すること。

教科書にあるもののほか、『洋学関係研究要覧（1868～1982）』（日蘭学会編、1984年4月、日外アソシエーツ）や『日蘭学会会誌』に掲載されている「洋学関係研究文献目録」にある文献、さらには『史学雑誌』などを参照のこと。

東洋美術史

教科担当責任者：塩沢 裕仁

担当者：蘇 哲、高瀬 奈津子
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 東アジアを中心に、周辺地域との交流を視野に入れながら、東洋美術の流れを把握することを目標とする。さらに彫刻（仏教彫刻・陵墓石造物・俑・画像石）・絵画（帛画・墳墓壁画・石窟壁画）・工芸（青銅器・漆器・陶磁器・金銀

器）などの分野に関する基本的な知識を身につけることも求められている。

2 科目の概要 指定教科書（林良一『東洋美術史』）にもとづき、殷周時代から隋唐時代にかけての中国美術を主軸として、東アジア美術の発展に大きな影響を与えたスキタイ美術・インド及び中央アジアの仏教美術、ペルシアの金属工芸も学習の内容として取り上げる。単位修得試験を実施するから、十分な準備をして臨みなさい。また、課題レポートの提出も求められる。課題の意図を把握するうえで、自ら資料の収集、選択、分析を行い、これまでの先行研究を批判的に検討し、最新の研究動向も視野に入れ、自分なりの視点をもって課題を考察することを期待している。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたレポートの内容も考慮する。
・レポート評価の基準

自分なりの考え方が書かれているかどうかということは、レポート審査のもっとも重要なポイントとなる。そのほか、レポートは論理的に展開されているか、論拠としたデータの信頼性は吟味されているか、引用した資料や使用した専門用語の意味について正確に理解しているか、引用した文献の著者名・書名・出版社名を明示しているか、なども評価の項目となる。

・単位修得試験

教科書の内容から出題するので、時代や民族・地域・社会などの歴史的背景を十分に理解したうえで、東アジア（中国・朝鮮半島・日本）美術の発展に大きな影響を与えた王朝・民族・地域的美術の特徴や歴史的意義を暗記する必要がある。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『東洋美術史』第1版、林 良一、1975年
※【申告制】テキスト

【主な参考文献】

・『世界美術大全集 東洋編』1-4・10・13・15・16巻、小学館、1997～2001年
・前田耕作、前田龍彦ほか『増補新装カラー版東洋美術史』美術出版社、2012年03月、¥2,625+税
・竹内順一（監修）『すぐわかる東洋の美術—絵画・仏像・やきもの&アジアの暮らしと美術』改訂版、東京美術、2012年11月、¥2,000+税

5 学習指導、注意点等 日本には、中国・朝鮮半島・西アジアの美術品を所蔵する美術館が多く、各地で催されている特別展で美術品を鑑賞する機会にも恵まれている。皆さんが積極的に博物館や美術館に行き、実作品を見るよう努めて下さい。また、地元の図書館を利用して参考文献などを調べてください。

東洋史特講（中国経済史）

教科担当責任者：塩沢 裕仁

担当者：江川 式部
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 東アジア世界の基盤を築いた中国唐～宋時代について、とくに社会・経済の面から理解を深める。

①これまでの研究概要や近年の研究動向を把握・理解すること、②歴史研究の方法を習得すること、③当該時代史における具体的な研究課題を、自身の関心と先行研究から得た知識に基づき、自ら導き出せる力を養成すること、の3つを到達目標とする。

2 科目の概要 唐宋時代をひとつの画期とする中国経済史に関する諸問題について学習する。基本的な研究概要と研究動向を把握し、それに基づく個別の課題についてレポートを提出、単位修得試験を受験する。

はじめにテキスト及び当該時代史の概説書を読み、唐宋時代の基本事項を押さえる。次に『中国史研究入門 上』（山川出版社）・『中国歴史研究入門』（名古屋大学出版会）・『史学雑誌』の回顧と展望を通読し、何が問題となっているのかを把握・整理する。

レポート執筆に際しては、参考文献の内容を抜き書きするのではなく、自分の言葉で文章を組み立てること。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。もちろん、レポート学習もしっかり行うこと。

・レポート評価

先行研究ならびに近年の情報については、単に論文名を列記するのではなく、取り上げた論文・文献に目を通すこと。評価にあたっては構成・内容も重視するが、学術レポートとしての体裁や、末尾に参考文献が列記されているかなど、基本的な点にも比重をおく。

・単位修得試験

教科書の内容に基づいて筆記試験を実施するので、十分な準備をして臨むこと。特に設題に関連した問題点には注意を払っておくこと。レポートの執筆がしっかりとできていれば、それは当然試験の答案にも反映されることになる。問題の本質を理解し歴史的な意義が論述されているかに比重をおいて評価する。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『東洋史特講（中国経済史）』第1版、河上光一、1978年

※【申告制】テキスト

（※前・通教テキスト『中国経済史』）

【参考文献】「設題総覧」に記載するので参考のこと。

5 学習指導、注意点等 漢字の表記、国語文法には特に注意を払うこと。主語・述語が不明確なために、文意が理解できないものが多い。なおレポートに、用語・漢字の変換ミスが5か所以上あった場合は、内容の如何にかかわらず再提出とする。

日本文芸研究特講・漢文

教科担当責任者：遠藤 星希

担当者：大西 陽子

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 漢文（本科目では中国古典文学を指す）についての基礎知識および評論する能力を習得目標とします。本科目における学習の到達目標は以下の通りです。

- ①漢文を読むための基礎的な読解能力を習得する。
- ②漢文における基礎的な知識（作者・作品・文化史的背景）などについて理解し説明できる。
- ③作品分析を通して、中国古典文学の特徴や独自性などについての確な解釈や論理的分析をすることができる。

2 科目の概要 本科目では漢文全般にわたる基本的な知識、および具体的作品を読解する基礎的能力を習得することを主眼とします。学習するにあたって中国古典文学の流れを時系列的に把握するだけではなく、中国特有の文学ジャンルや表現方法がどのような時代背景の下でどのような経過によって発展・盛行したのかという点にも着目しながら幅広い視野の下で多くの作品に接してもらいたいと考えています。そのためにも、各時代を代表する文学ジャンルや作者についての理解を深め、実際

に作品を数多く読む必要があります。中国文学史関連の書籍を最低でも1冊は通読して文学史の流れを把握し、その上で原文（原文が掲載してある翻訳でも可）で具体的に作品にふれ、中国文学の奥深さ面白さを自分なりに発見していただきたいと考えています。レポート執筆にあたっては指定テキストだけでは不十分ですので、設題に附記する参考文献などを参照してテーマに沿った考察をしてください。

3 成績評価基準 レポートの主な評価基準

・レポート設題の内容をきちんと理解し、正確な知識を習得できているか。

・該当作品の内容をきちんと読解した上で、自分の独自の観点により考察・評論がなされているか。

・レポートの構成・論述・引用の仕方などが適正であるか。

・誤字脱字や文脈の不整合などがなく、正しい文章であるか。

単位修得試験の主な評価基準

・設題の内容をきちんと理解し、正確な知識を習得できているか。

・明確で論理的な文章で論述されているか。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 松原朗 佐藤浩一 児島 弘一郎 著『教養のための中国古典文学史』研文出版、2009年、¥1,600+税

※【スタディガイド（学習指導書）】あり

本テキストは中国文学あるいは文芸を理解するうえで重要だと考えられる人物、作品、ジャンルなどを、テーマごとに各項目が全て2ページの見開きで収まるように書かれた解説書の形式になっています。それぞれの項目が簡潔で読みやすい文章なので、自分の興味のある箇所から読み始めることができます。また全体を通読することによって中国古典文学の流れを通史的に理解することができるようになっていきます。

文末には詳細な参考文献目録、中国文学関連年表、索引などが付録されており、テキストだけでは不十分な項目や更に発展的に学びたい人への手引きとしての便を図っています。是非熟読して大いに活用してください。

5 学習指導、注意点等 レポート課題および単位修得試験の設題は、文学史的知識だけを問うのではなく、できるだけ広い視角から考察・論述できるようにテーマ設定をします。テーマによっては指定テキストだけでは不十分で、より専門的な参考文献が必要になる場合があるかも知れません。特にレポート執筆に際しては、設題テーマに関連する先行論文などについては各自で調べ、実際に作品を読み、作品分析を通してテーマに沿った考察を進めるようにしてください。

またレポート作成方法として、以下の基本ルールは遵守してください。

- ① レポートの課題に即したテーマ設定をし、自分のレポート独自の題をつけて提出してください。
- ② レポートに無駄に細かい章立ては不要です。必要な場合でも三章程度にしてください。章立てはしなくてもかまいません。
- ③ 参考文献を引用する場合はカギ括弧でくくってどこまでが引用であるのか明示し、注（脚注でも傍注でも形式は問いません。）に参考文献の書誌事項を明記してください。
- ④ Web や他人の論文などから文章の引き写しはしないでください。
- ⑤ 作品を用例として引用する場合は、原文をどのように解釈したのかわかるように、訳文、書き下し文（文脈によっては原文のみでも可）のいずれかの方法で記載してください。その際、何を参考にしたのか出典を必ず明記し、原文と照合できるような形で記載してください。（翻訳書などを参考にした場合は出版社名、タイトル、当該ページを記載してください）。
- ⑥ 孫引きはしないこと。初出の出典がある場合はできる限り

原典にあたって引用してください。

東洋史特講（中国思想史）
教科担当責任者：齋藤 勝
担当者：小寺 敦 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 今日中国中核地域における思想に関する基礎的事項を、その歴史的な展開過程に即して把握する。

2 科目の概要 テキストや指定の参考文献を利用しながら、殷代にはじまり、清代に至る思想のおおまかな流れを、その思想の背景となる社会とも関連づけながら学んでいく。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと）。

レポート：課題につき、テキスト・参考文献の内容が咀嚼されているか（当然ながら、参考文献丸写しは不可）。また、論点につき、提出者独自の見解が示されていればなおよい（但し、エッセイ調・時評風のものは不可）。

単位修得試験：通信教育部規定の評点を取得すること。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『東洋史特講（中国思想史）』第1版、小倉芳彦、1958年（※前・通教テキスト『中国思想史』）

内容：殷代から清代までの中国思想史の要点が、簡潔に記されている。社会経済史的な視点が入るように編集されているのが特徴である。

5 学習指導、注意点等 レポートについて。わずか1つ2つの参考文献のみを参照し、かつその内容を丸写しすることはしてはならない。また、これはエッセイや読書感想文ではないので、その種の文章にみられる感想の類を書くことは不要。

単位修得試験について。テキストの内容をしっかりとマスターしておけば、合格可能な問題となっている。しかしながら、何もテキストを丸暗記する必要はなく、その項目ごとにポイントとなる事項を押さえておけばよい。ただ、何がポイントとなるのか、よく分からない場合があるかもしれない。だが、テキストをきちんと学習すれば、それなりに分かるようになっている。

東洋史特講（中国近世史）
教科担当責任者：齋藤 勝
担当者：芦沢 知絵 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 文献（教科書）を正確に読めること、一つの時代を多角的に捉え時代像を把握できること、それらを自分の言葉で的確にまとめられること、以上の三点を学習の到達目標とする。

2 科目の概要 明という時代は、異民族支配を乗り越えて久々に誕生した漢人の統一王朝であり、最後の漢人王朝でもある。そのため、そこで育まれた文化・社会構造・世界像は、中国の「伝統」において大きな部分を占めている。これらを多角的に捉え、明の以前・以後と何が断絶し、何が継承されているのか、そしてその背後にある中国を取り巻く世界と中国社会の変化を知り、中国という世界への理解を深めていきたい。

レポート・筆記試験は以上のような認識の下で課題を設定し

ていくので、広く且つ深く教科書を読み込み、まずは自分なりの整理をしてもらいたい。その上で課題をこなすことで、理解はより深まるものと思われる。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたレポートの内容を考慮する。

レポート・筆記試験ともに、与えられた課題を正確に理解していること、教科書に基づいて適切且つ過不足の無い説明を行っていることを評価の基準とする。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『東洋史特講（中国近世史）』第1版、佐久間重男、1983年（※前・通教テキスト『中国近世史』）

5 学習指導、注意点等 レポート・筆記試験については、指定教科書に基づくことが大前提となるが、より理解を深めるために教科書以外の諸文献（とくに明に関する概説書）を読んでも問題とはしない。ただ、参照した文献について明示することが条件となる。また、あくまでも評価基準が指定教科書にあることは忘れないでもらいたい。

知識を得るとともに、読解力、要点整理力、文章力を培っていくことも目的の一つである。よって大切なのは、教科書として向き合い、自分の力で成果を残すことである。他人やインターネットに頼ることがあってはならない。また、きちんとした文章で書くことを求めるので、箇条書きによる整理などは出来るだけ避けてもらいたい。

東洋史特講（南海史）
教科担当責任者：塩沢 裕仁
担当者：塩沢 裕仁 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 中国南部地域からベトナム・カンボジアにかけての歴史問題を理解し、その研究状況や研究動向を徹底的に理解することで歴史研究に不可欠な探究方法の習得を図るとともに、具体的な課題を自らの手で導き出す力を養成することが目標である。

2 科目の概要 南海とは中国南部からベトナム・カンボジアにかけての地域を指している。東南アジア史そのものではないが、東南アジア中東部史と理解してよい。東南アジア地域の重要性が注目されるにつれ、近年当該地域史の再編も進んでおり、本科目はその歴史課題を学習する通信学習の科目である。基本的な研究動向を把握し、それに基づき関心をもった個別の問題についてレポートを提出したのち、単位修得試験を受験することになる。

まずはテキスト及び近刊の参考書をよく読み、当該地域の基本事項をおさえることが肝要であり、その上で『史学雑誌』の回顧と展望を通読し、何が問題となっているのかをしっかりと捉えることが必要である。

レポート執筆に際しては、参考文献の内容を抜書きするのではなく、自分の言葉で文章を組み立てることが必要であり、参考にした文献については、記述の矛盾を指摘するくらいの読み込みを要求する。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと）。

・レポート評価

先行研究ならびに近年の情報について単に論文名を列記するのではなく、取り上げた論文に目を通してあることが必須であ

る。評価にあたっては構成・内容も重視するが、学術レポートとしての体裁を整えることは基本であり、末尾に参考文献がきちんと列記されているかなど基本的な点にも比重をおく。

・筆記試験

教科書の内容にもとづいて筆記試験を実施するので、十分な準備をして臨むこと。特に設題に関連した問題点には注意を払っておくこと。レポートの執筆がしっかりとできていれば当然にして試験の答案にも反映されることになるので、問題の本質を理解し歴史的な意義が論述されているかに比重をおいて評価する。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『東洋史特講（南海史）』第1版、河原正博、1978年

※【申告制】テキスト

（※前・通教テキスト『南海史』）

【参考文献】「設題総覧」に記載するので参考のこと。近刊の概説書は必読。

5 学習指導、注意点等 漢字の表記、国語文法には特に注意を払うこと。主語述語の関係が不明確なために文意が理解できないものが多い。用語・漢字のミスが5箇所以上あった場合は、内容の如何にかかわらず再提出とする。

東洋史特講（中国現代史）
教科担当責任者：塩沢 裕仁
担当者：竹茂 敦 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 (1) 辛亥革命から中華人民共和国成立にかけての時期の中国への理解を深めること、(2) 中国近現代史に関する先行研究や史料を収集・読解・整理するために必要な能力を養うこと。

2 科目の概要 辛亥革命から中華人民共和国成立にかけての時期を対象とする。受講者には導入としてテキストを熟読してもらった上で、「設題総覧」の課題に従ってレポートを作成し、単位修得試験を受験してもらう。レポートについては、自らテーマを設定し、そのテーマに関する先行研究（書籍、論文等）や史料を収集・整理し検討を加えて執筆してもらう。単位修得試験については、テキストで扱っているテーマから出題する。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたレポートの内容も考慮する。〔レポート〕主に以下の点を総合的に勘案して評価する：①テーマ＝2,000～3,000字という限られた紙幅に適当で、独自性のあるテーマを設定できているか、②参考文献・史料＝自ら定めたテーマに適した先行研究（書籍、論文等）や史料を探し出すことができているか、③記述内容＝歴史展開がきちんと整理できているか④参考文献や史料に基づいた実証的な考察（根拠を示した論証）ができているか⑤テキスト・参考文献からの抜き書きではなく、自らの言葉で叙述できているか、⑥体裁・構成＝大学生のレポートとしての体裁や構成が整っているか⑦とりわけ、「はじめに」でレポートのテーマや目的・意義が、「おわりに」で結論の要約がそれぞれ提示され、「参考文献一覧」「注」が付いているか。

〔単位修得試験〕歴史的な事項・人物について、時系列的な展開、時代的な背景や歴史的な意義などを理解した上で、整理した記述ができているかを評価基準とする。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『東洋史特講（中

国現代史）』第1版、栃木利夫、1982年（※前・通教テキスト『中国現代史』）

5 学習指導、注意点等 〔レポート〕2,000から3,000字というレポートはとても短いものなので、テーマは焦点をよくしぼること。概説書ばかりに頼るのではなく、図書館の蔵書目録（OPAC）や各文献の「参考文献一覧」などを活用して、テーマについてできるだけ詳しく言及している書籍・論文や関連する史料を探し出し、それらをよく読み比べること。執筆に際しては、テキスト・参考文献の文章の継ぎ接ぎや、歴史的な事件・人物に対する漠然とした「感想文」にならないように注意するとともに、先行研究や史料に基づいた実証的な「考察」を心がけてほしい。

〔単位修得試験〕テキストで扱っているテーマより出題するので、テキストの熟読を基本としつつ、必要に応じて「設題総覧」で挙げた参考文献などを参照しながら、基本事項の理解を深めておくこと。

経済史 A
教科担当責任者：杉浦 未樹
担当者：杉浦 未樹 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 1) 市場経済がどのように発展していったかを理解する。
2) またそれには様々な類型があったことを理解する。
3) 論理的な文章が書けるようになること。

2 科目の概要 本科目の目的は、その成立以来200年以上に及ぶ市場経済の歴史を概観することによって、経済社会の仕組みを理解するとともに経済学の考え方を身に付けることにある。その主要素材として、市場経済システムが最初に確立した欧米の経済史を取り上げる。経済史である以上、生産・流通・金融・財政の各方面の動きを追っていくが、企業経営の歴史にも留意する。

3 成績評価基準 レポート評価に当たっては、下記を重視する。
1) 教科書、参考書等の丸写しは不可。必ず自分の考えを盛り込む。
2) レポート作成に使用した参考文献は脚注で明記する。
3) 誤字、脱字に注意すること。
4) 字数の標準を遵守すること。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『図説西洋経済史』、日本経済評論社、飯田隆著、2005年、¥2,500+税
※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 テキストだけでなく、その中で引用されている関連文献なども積極的に学習すること。現代的視点から歴史を理解する態度を身につけてほしい。

経済史 B
教科担当責任者：牧野 文夫
担当者：牧野 文夫 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 1) 日本における市場経済がどのように

発展していったかを理解する。

2) またそれに対し、国内的、国際的要因がどのように作用したかを理解する。

3) 論理的な文章が書けるようになること。

2 科目の概要 本科目の目的は、近世（徳川時代初期）から現在に至る時期までの日本の経済の発展の過程を概観することによって、日本の経済・社会の発展の仕組みを理解し、また現在の日本経済の到達点やそれが抱えている問題を歴史的経路から理解することにある。

3 成績評価基準 リポート評価に当たっては、下記を重視する。

- 1) 教科書、参考書等の丸写しは不可。必ず自分の考えを盛り込む。
- 2) リポート作成に使用した参考文献は脚注で明記する。
- 3) 誤字、脱字に注意すること。
- 4) 字数の標準を遵守すること。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『日本経済史』改訂新版、放送大学教育振興会、宮本又郎編著、2012年、¥2,700+税

5 学習指導、注意点等 テキストだけでなく、その中で引用されている関連文献なども積極的に学習すること。現代の視点から歴史を理解する態度を身につけてほしい。

西洋史特講（西洋哲学史）

教科担当責任者：後藤 篤子

担当者：鶴岡 健

単位数：4 単位

※ 2017 年 4 月より通教テキスト改訂

1 学習の到達目標 古代ギリシアに始まる古代哲学、その後のキリスト教哲学を中心とした中世哲学、それに続く近世哲学と現代哲学の思想の歴史の流れを、通教テキストを通して把握し、それぞれの時代状況とその思想の成立過程を理解し、さらにその上でその思想が、後世に与えた影響を捕捉して、思想史に対する視野の形成を計る。

2 科目の概要 まず古代哲学の流れに沿ってイオニア・イタリアでの自然哲学・アテナイにおけるソフィストとソクラテス、プラトン、アリストテレスの哲学、さらにヘレニズム期・ローマ期の哲学を、次に中世哲学の流れに沿って教父哲学・スコラ哲学・普遍論争を、次に近世哲学の流れに沿ってルネサンス哲学・大陸合理論哲学・イギリス経験論哲学・ドイツ観念論哲学を、最後に現代哲学の流れに沿って生命の哲学・分析哲学・現象学を、通教テキストを拠りどころにして学ぶ。以上のことに併せてその時代思潮についても考察し、その影響を理解する。

哲学史は、思想の流れ（歴史）を論述することが肝要なことであり、個々の哲学者の、その哲学思想を、ただ紹介するだけでは、哲学史の単位修得は困難です。あくまでも哲学史の流れに沿って考察し、なおかつその時代との関連性を加味して論述されることが、「西洋哲学史」では要求されています。

3 成績評価基準 ・リポート評価

設題要求を満たすべくリポートが提出されているか。通教テキストを十分に理解して、リポートに着手しているか。上述の哲学史のリポートの要件を満たしているか。論拠からきちんと結論が帰結する論理的首尾一貫性を、リポートが保持しているか。結論は、導入部の問いに対応した形できちんと書かれているか。

リポート書式の形式（①段落分けの適切性 ②文頭と文末の

対応が取れているか ③誤字、脱字の有無 ④注は適切か ⑤引用の仕方は適切か ⑥引用した文献の提示の有無）が、整っているか。以上の点を総合して成績を評価します。

・単位修得試験

通教テキストの全体の内容から出題します。そこで上記の科目概要の総べての内容を、通教テキストでよく勉強しておいて下さい。特に設題要件については、念入りに勉強しておくことが必要です。評価基準は、上記のリポート評価基準と同様の基準を適用し、哲学史についての習熟度に応じて成績を評価します。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『西洋史特講（西洋哲学史）』（第1版）、鶴岡 健、2017 年

5 学習指導、注意点等 通教テキスト 4 ページの「哲学史の学習について」の箇所を、最初によく読んで下さい。リポートの設題の意図・試験の出題の意図をよく考えて、それに該当する答えは何かを、しっかりと把握したうえで解答に着手して下さい。次に答案の構想を練ったうえで、筋道立てて論述して下さい。そして最後に、作成した答案の推敲を、時間の許す限り、必ず行って下さい。

西洋美術史

教科担当責任者：小秋元 段

担当者：濱西 雅子

単位数：4 単位

※ 2017 年 4 月より経過措置テキストの取扱変更（経過措置の取り消し）

1 学習の到達目標 西洋美術の名作について、主題（図像内容）、（時代・地域・個人）様式、技法、造形的表現の特質、美術史上の意義といった美術史的な観点から、総合的に理解を深めることを目指す。

2 科目の概要 美術史は、時代・社会・文化の鏡ともいえる芸術作品を巡る学問である。本科目では、西欧古典古代から、中世ロマネスク・ゴシック、近世ルネサンス、近代 19 世紀の時代にかけて、建築・彫刻・絵画・工芸等多様な表現形式をとる美術作品を考察の対象とする。課題のなかから各自作例を選択し、具体的に美術史的なアプローチを行うことにより、様々な側面からの理解を深めることを目指す。また文化交流という視点も併せて考えたい。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたリポートの内容を考慮する。

4 テキスト名および詳細 下記のいずれか一冊で可

●指定市販本 『カラー版 西洋美術史』〔増補新装版〕、美術出版社、高階秀爾監修、2002 年、¥1,900+税

本書は古代から 20 世紀末までの西洋美術の歴史を、340 点の豊富なカラー図版とともに、時代ごとに建築・彫刻・絵画・工芸各分野にわたりわかりやすく概観するものである。2002 年刊行の増補新装版には、1990 年刊行の旧版に、最終章と簡単な用語解説等が加えられている。本文のコラムとともに、こうした巻末の用語解説、新たな美術史年表も学習の手引きとされたい。

●指定市販本 H. W. ジャンソン、A. F. ジャンソン著、木村重信、藤田治彦訳、『西洋美術の歴史』、創元社、2001 年、¥3,400+税

本書は古代から 20 世紀までの西洋美術の歴史を、カラー 219 点、白黒 300 点の豊富な図版とともに、時代ごとに建築・彫刻・絵画・工芸等各分野にわたりわかりやすく概観するものである。

巻末に加えられている、地図・用語解説・年表等も学習の手引きとされたい。

5 学習指導、注意点等 まずテキストを通読し、西洋美術史の全体的な枠組み、大まかな流れを掴み、基本を押さえておくこと。

その上で各自レポート課題に沿った専門文献にあたり理解を深めることが望まれる。すなわち、入門書・通史概説書以外にも、個別の課題に沿った美術史の専門文献を広く参照する必要がある。その際、『世界美術大全集』（西洋編全 28 巻、小学館、1992-97 年、各巻税抜 28,000 円）、画家別の画集等、大型図版も適宜参照し、不明な用語は『新潮世界美術辞典』（新潮社、1985 年、絶版）等の美術辞典類で明らかにすること。また可能な限り、実際に美術館（国立西洋美術館・国立新美術館・東京都美術館他）等で作品を鑑賞する機会を得るように努めること。

そして選択した作品の基本データ（制作年代・規模等）や時代様式の特徴を踏まえた上で、図像内容、造形的表現の特質、美術史上の意義等について考察して欲しい。西洋美術史の専門文献で得た知識を基に、与えられたテーマについて自ら論ずる力を見る。

なおインターネット情報の利用は、原則として評価の対象外。美術史の専門文献を三冊以上参照し、実際に用いた文献データ（著者名、書名、出版社名、発行年、及び参照ページも忘れずに）をレポート末に明記すること。

西洋史特講（キリスト教史）
教科担当責任者：後藤 篤子
担当者：上村 静 単位数：4 単位 ※レポート（第 1 回・第 2 回）一括提出不可

- 1 学習の到達目標** (1) 旧新約聖書の読解を通して、ユダヤ教およびキリスト教の成立史を理解する。
(2) 聖書の著者・編者たちの多様な思想をその社会背景を踏まえて理解する。
(3) 聖書の主要な登場人物それぞれの思想をその社会背景を踏まえて理解する。
(4) キリスト教がユダヤ教から分離・独立するプロセスを思想面および政治面双方から理解する。

2 科目の概要 旧新約聖書の読解を通して、ユダヤ教がどのように形成され、聖書が編纂されるにいたったか、聖書を聖典とするユダヤ教がどのように発展していったか、イエスが生きた時代のユダヤ教がどのような性格のものであり、イエスの活動と思想がそれとどのようにかかわっているか、イエスの死後どのようにキリスト信仰が生まれたか、そしてそれがパウロを通してどのように発展していったか、そしてキリスト教がどうしてユダヤ教から分離するにいたったか、そうした大きな歴史全体を視野に収めることが求められる。

そのためには、聖書に書かれている内容を知るだけでなく、それが書かれた時代について、またそれとの関連において著者・編者の意図を読み取る分析的な視点が必要とされる。

そこで、以下にあげる参考文献を精読し、歴史の全体像を掴むとともに、聖書の各著者・編者、主要な登場人物の思想を理解されたい。参考文献を読むに際しては、必ずそこに言及されている聖書箇所を自分でも読み、なぜそのように解釈できるのかをきちんと理解することが必須である。

歴史の全体像及び主要な登場人物の思想については、上村静

『宗教の倒錯』（岩波書店、2008 年）、聖書各書（著者・編者）については上村静『旧約聖書と新約聖書』（新教出版社、2011 年）を使用すること（図書館等を利用して入手）。聖書はいくつかの版がありどれを利用してもよいが、推奨するのは、日本聖書協会発行の『聖書 新共同訳 旧約聖書続編つき』である。レポート及び試験は聖書及び上記の参考文献から出題される。

レポートについてはその他の参考文献も利用してよいが、その場合は、出典を明記すること。

レポート課題は、旧約聖書および古代ユダヤ史から 2 問、新約聖書および初期キリスト教史から 2 問の計 4 問が出題される（2 単位の受講生は、それぞれから各 1 問）。試験問題も、旧約聖書（ユダヤ教）および新約聖書（キリスト教）それぞれから各 1 問ずつ出題される。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験およびレポートの内容を総合的に評価する。

レポートについては、テキスト（聖書）と突き合わせながら参考文献を精読し、理解した事柄を課題に即して、参考文献の要約にならないように聖書テキストを根拠に示しながら、自分の言葉で適切に表現できているかどうかを評価する。

単位習得試験については、テキスト及び参考文献の内容を適切に理解できているかどうかを評価する。

4 テキスト名および詳細 【テキスト】指定市販本『聖書 新共同訳 旧約聖書続編つき』日本聖書協会（その他の訳、版でも構わないが、旧約と新約の両方が必要）

聖書にはいくつかの版があり、「旧約聖書」だけ、「新約聖書」だけなどもあるが、旧約聖書と新約聖書が 1 冊になっているものを使用するのが便利である。「旧約聖書続編」も一緒になって 1 冊になっているものはさらに便利なので、新規に購入する場合にはこれを推奨する。

標準サイズ（小型）の『聖書 新共同訳 旧約聖書続編つき』は ¥3,600+税、ハンディタイプは ¥3,100+税

【参考文献】

上村静『宗教の倒錯——ユダヤ教・イエス・キリスト教』岩波書店、2008 年、¥2,800+税

上村静『旧約聖書と新約聖書——「聖書」とはなにか』新教出版社、2011 年、¥2,000+税

5 学習指導、注意点等 (1) レポート作成に当たっては、設題に関係する聖書箇所および参考文献を精読し、根拠を示しつつ論ずること。他の文献を参照・引用してもよいが、インターネットから安易にコピーしないこと。著者の解釈に疑問や異論がある場合には、根拠を記して反論すること。

(2) 参考文献はメモを取りながら（ページを付して）読み、章ごと、節ごとにまとめておくとレポートおよび試験に対応しやすい。

(3) 引用文には、著者、書名、ページ数を付すこと。

(4) 聖書および参考文献からの引用は必要最小限にとどめること。

(5) 聖書の各文書と箇所は、略記してよい（例：マタイによる福音書 20 章 1-16 節＝マタ 20:1-16、ローマの信徒への手紙 7 章 1-20 節＝ロマ 7:1-20、コリントの信徒への手紙一 15 章 3-5 節＝I コリ 15:3-5 等）。

西洋史特講（ロシア史 I）
教科担当責任者：加納 格
担当者：池本 今日子 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 17 世紀初頭までのロシアの歴史につ

いて、時代の特徴、歴史用語や諸事象の意味について理解し、説明出来る。

2 科目の概要 教科書の自主学習と、レポートの作成により、ロシア史について理解するための科目です。

教科書の学習にあたっては、歴史用語や重要な事象の意味、時代の特徴を理解することが重要です。その理解度を試す試験を実施します。

レポートの作成にあたっては、教科書だけでなく、独自に文献を調べてよく読み、設題に関係する時代の特徴、事件や制度、歴史用語などについて理解を深め、それを文章で的確に表現しようとする姿勢が大切です。

積極的な姿勢を期待します。

3 成績評価基準 単位修得試験は教科書の範囲から出題します。歴史用語を理解しておくこと。重要な歴史事象について、原因と結果に留意しながら、その内容を把握するようにしましょう。

レポートについては、専門用語や時代、事象について理解しているか、積極的に勉強しているかを評価します。

まず、教科書以外に積極的に文献を調べること。そのうえで、教科書や参考文献を単に要約したりするのではなく、一つのことについて複数の文献に当たる姿勢が重要です。そして、設題に関して調べた結果をよく整理し、深く掘り下げ、具体的かつ時系列に説明すること。学説にも注意しながら、書くこと。さらに、レポート作成の原則に従っていること。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『西洋史特講（ロシア史Ⅰ）』第1版、加藤一郎、1997年
（※ 前・通教テキスト『ロシア史Ⅰ（ロシア古代中世史）』）

5 学習指導、注意点等 レポート作成にあたっては、「設題解答にあたっての解説・注意等」を読むこと。制度などの意味と年号に注意しながら、積極的に文献を調べて下さい。何故そうなったのか、という疑問を追究する姿勢が大切です。また、書いたら、必ず読み直して下さい。主題と関係のない記述や重複しているところは削除し、文意が不明瞭なところは直し、説明不足のところは補いましょう。内容をなるべく濃くするつもりですとよいでしょう。

西洋史特講（ロシア史Ⅱ）

教科担当責任者：加納 格

担当者：池本 今日子
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 17 世紀初頭から 20 世紀のロシアの歴史について、時代の特徴、歴史用語や諸事象の意味について理解し、説明出来る。

2 科目の概要 教科書の自主学習と、レポートの作成により、ロシア史について理解するための科目です。

教科書の学習にあたっては、歴史用語や重要な事象の意味、時代の特徴を理解することが重要です。その理解度を試す試験を実施します。

レポートの作成にあたっては、教科書だけでなく、独自に文献を調べてよく読み、設題に関係する時代の特徴、事件や制度、歴史用語などについて理解を深め、それを文章で的確に表現しようとする姿勢が大切です。

積極的な姿勢を期待します。

3 成績評価基準 単位修得試験は、教科書の範囲から出題

します。歴史用語を理解しておくこと。重要な歴史事象について、原因と結果に留意しながら、その内容を把握するようにしましょう。

レポートについては、専門用語や時代、事象について理解しているか、積極的に考察しているかを評価します。

まず、教科書以外に積極的に文献を調べること。そのうえで、教科書や参考文献を単に要約したりするのではなく、一つのことについて複数の文献に当たる姿勢が重要です。そして、設題に関して調べた結果をよく整理し、深く掘り下げ、具体的かつ時系列に説明すること。学説にも注意しながら、書くこと。さらに、レポート作成の原則に従っていること。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『西洋史特講（ロシア史Ⅱ）』第1版、倉持俊一、1980年
（※ 前・通教テキスト『ロシア史Ⅱ（ロシア近代史）』）

5 学習指導、注意点等 レポート作成にあたっては、「設題解答にあたっての解説・注意等」を読むこと。制度などの意味と年号に注意しながら、積極的に文献を調べて下さい。何故そうなったのか、という疑問を追究する姿勢が大切です。また、書いたら、必ず読み直して下さい。主題と関係のない記述や重複しているところは削除し、文意が不明瞭なところは直し、説明不足のところは補いましょう。内容をなるべく濃くするつもりですとよいでしょう

西洋史特講（アメリカ史）

教科担当責任者：加納 格

担当者：岩崎 佳孝
単位数：4 単位

※レポート（第1回・第2回）一括提出不可

1 学習の到達目標 アメリカ合衆国は、政治、経済、社会、文化など、日本との多方面での関わりが非常に深い国である。ここでは、合衆国の植民地期から現代に至るまでの歴史を様々な局面から学ぶことによって、この国家の在り様だけではなく、現在の合衆国の国内・国外への様々な問題への対処の性質とその意味についての知見を深めることを目標とする。

2 科目の概要 アメリカ合衆国の植民地、建国期から現代までの歴史についての理解を深める。まずは通信教育部指定テキストで、さらに参考文献を読み込むことによって知識と理解を深め、指定テキストや参考文献によってまとめたレポートを提出し、最後に単位修得試験を受験する。

3 成績評価基準 最終成績は、レポート提出に伴う学習をしっかりと行った上で、最後に単位修得試験によって評価する。
・レポート評価

設題に対し正確な知識を得た上で、構成を検討し、まとめる必要がある。その際には、答えるべき重要な論点を適切にまとめ、それを指定テキストや参考文献の丸写しではない、自分の言葉で書き表すことが重要である。

また単なる事実の羅列に終わらず、自身の「考察」がなされているかどうか重要である。

参考文献から直接引用した部分については、それを明らかにするため、必ず本文中に括弧や注を付けて明示すること。また、使用した参考文献については、レポートの末尾に列記すること。文章も主語、述語が一致しているか、長い文章はコンマで適切に区切られているか、誤字、脱字がないか、十分に注意すること。

・単位修得試験

単位修得試験には、設題の復習や、指定テキストや参考文献の熟読などによって十分に準備して臨むこと。文章の正確さは勿論のこと、問われている歴史的事象の具体的内容や時系列の理解、専門用語の理解、歴史的意義についての解釈の理解がどの程度なされているかを評価する。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『西洋史特講（アメリカ史）』第1版、清水 博、1976 年
（※ 前・通教テキスト『アメリカ史』）

【主要参考文献】

阿部 珠里編著『アメリカ先住民を知るための 62 章』明石書店、2016 年、¥2,000+税

有賀 貞・大下 尚一編『新版 概説アメリカ史 ニューワールドの夢と現実』有斐閣、1990 年、¥1,900+税

有賀 貞・大下 尚一・志邨 晃佑・平野 孝『アメリカ史〈1〉 17 世紀～1877 年』山川出版社、1994 年、¥5,343+税

有賀 貞・大下 尚一・志邨 晃佑『アメリカ史〈2〉 1877 年～1992 年』山川出版社、1994 年、¥5,343+税

有賀夏紀・油井大三郎編『アメリカの歴史—テーマで読む多文化社会の夢と現実』有斐閣アルマ、2003 年、¥2,200+税

岩崎 佳孝『アメリカ先住民ネーションの形成』ナカニシヤ出版、2016 年、¥3,500+税

大下 尚一・志邨 晃佑・平野 孝他編『史料が語るアメリカ 1584 - 1988』有斐閣、1989 年、¥ 2,600+税

紀平英作編『アメリカ史』山川出版社、1999 年、¥3,500+税

5 学習指導、注意点等 本科目の指定テキストの熟読を中心に、さらには指定された参考文献も参照しつつ、十分に学ぶこと。レポートによっては、指定された参考文献以外からも積極的に学ぶことが望ましい。その他、設題総覧も参照し「特記事項」に留意すること。

日本考古学
教科担当責任者：小倉 淳一
担当者：板倉 敏之、小倉 淳一 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 日本考古学の概要と方法を学び、考古学によって検討されてきた日本列島を中心とする歴史過程について、物質資料にもとづいて理解するとともに、自らの力によって具体的な遺跡や考古学的事象、学説、研究方法などを提示・解説することができるようになる。

2 科目の概要 指定市販教科書（テキスト）によって、考古学の概要と方法、それにもとづく成果を十分に理解するための通信学習科目とする。考古学の方法と資料をもとに、それらから再構成することのできる歴史過程や社会の姿を学び、それを基礎にレポートを提出し、単位修得試験を受験することとする。レポートにおいては、日本考古学に関する特定のテーマをもとにした課題を設定する。これは単に教科書の内容を焼き直すものではなく、自ら資料を探索し、それらを提示するとともに、解釈・要約して独自の検討を加えて立論するべきものである。よって、大学生としてオリジナリティーのあるレポートを作成することを求める。また、筆記試験においてはテキストの内容をもとにして出題するので、十分な準備をして臨むことを期待している。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかり行うこと。）
・レポート評価

学術レポートとしての体裁を整えるとともに、独自の内容をもつことがレポート成立の第一条件である。表題や章立てを工夫するとともに参考書等にひろくあたること。特に実際の遺跡に関しては発掘調査報告書等を参照すること。それらを利用できる公立図書館等の活用も望ましい。物質文化を扱うレポートであるから、必要に応じて図表や写真を添付し、解説の水準を高めること。また、註や参考文献を付して引用を明らかにした上で、レポートとしての体裁を整えること。評価にあたっては構成・内容も重視する。

・筆記試験

テキストの内容をもとにして出題するので、内容を十分に理解しておくこと。一般的に、歴史学系の試験においては、学術分野の考え方や方法をふまえているか、専門用語等の正しい理解がなされているか、歴史事象の時系列上の整理ができていないか、事実（資料）をもとにした歴史解釈が正しくなされているか等が評価基準となる。本科目においても上記の基準をもとにして、物質資料を扱う分野としてふさわしい立論がなされているか、物質文化にもとづいた検討結果をふまえた答案が書かれているかどうかを重視する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『はじめて学ぶ考古学』（有斐閣アルマ）、有斐閣、佐々木憲一・小杉康・菱田哲郎・朽木量・若狭徹、2011 年、¥2,000+税

5 学習指導、注意点等 テキストは「考古学の考え方と方法」「考古学からみた日本列島の人類史」の二部構成になっている。初学者のためにわかりやすくまとめられているので、まずは全体を読み通し、内容を十分に理解した上で学習を進めてほしい。

なお、本テキストは平易な入門書の体裁をとっているため「です・ます」体によって全体の記述が統一されているが、試験・レポートでは学術文献を意識して「である」体で記述すること。

日本史特講（海外交渉史）
教科担当責任者：松本 剣志郎
担当者：土井 康弘 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 海外交渉史は、外交史、政治史、文化史といった分野と密接に関係しており、身につけなければならない知識が多いため、研究が困難な分野といえる。また、基礎知識として身につけようとしても、多くの著作は専門家が読むように執筆されており学習も困難であると言わざるを得ない。しかしながら、まずは教科書に記されている知識を身につけることを到達目標とする。さらには、日本国内からだけでなく国際社会の一員としての立場から日本という国を見て卒業論文に反映できる力も身につけてもらいたい。

2 科目の概要 本科目では、徳川家康が幕府を開いた後、アジアの諸国との国交をどのように修復していったのかをみる。また、江戸時代中期ごろまで日本と交際のあった国との関係がいかなるものであったのかを外交史、政治史、文化史の立場から考察する。とりわけ、台湾、オランダ、中国さらにはイギリスとの交際を見るときに、日本国内での対応がいかなる体制で行われたのかも見ていく。

3 成績評価基準 レポートを論文と勘違いしている者が多い。設題は問題であり、これに対して応えるレポートは試験なのである。必要な事柄をまんべんなく記すこと。自分の書きたいことばかりを書いても評価できません。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト 『日本史特講（海外交渉史）』第1版、永積洋子、1995年
（※前・通教テキスト『海外交渉史』）

5 学習指導、注意点等 いつ、どこで、誰が何をどのように考えたかなど4W1Hを明確にすること。その際、人物については「平賀源内（一七二八～一七七九（享保一三～安永八）」などのように、不明な人物を除き生没年はかならず記し、生没年不明ならその旨をしっかりと記すこと。また最大字数を二四〇〇字とし、その九割以上を執筆するとともに、ワープロで作成する場合は字数を明記すること。

なお、現今と同じように西暦と和暦の日付が同じだと思っている者が多い。歴史学とりわけ日本史を学ぶものとして致命傷であり、これだけで却下せざるを得ない。よくよく気をつけてもらいたい。また、レポート作成の際に、参考文献ばかりに頼る傾向がある。基本である教科書をしっかりと学習して理解し、かならず作文の基本を守り、自分の力を過信しないことを強く申し添える。しかし、どうしても必要なら下記の参考文献などを使用すること。

教科書にあるもののほか、『洋学関係研究要覧（1868～1982）』（日蘭学会編、1984年4月、日外アソシエーツ）や『日蘭学会会誌』に掲載されている「洋学関係研究文献目録」にある文献、さらには『史学雑誌』など。また、森岡美子『世界史の中の出島一日欧通交史上長崎の果たした役割一』（長崎文献社、二〇〇一年五月）の一読を勧めたい。教科書の内容を易しく理解できるものと思われるからである。

文化地理学

教科担当責任者：中俣 均

担当者：中俣 均
単位数：4 単位

※レポート（第1回・第2回）一括提出不可

1 学習の到達目標 文化地理学は、幅広い内容を有するがゆえに、欧米では時に「人文地理学」とほぼ同内容の学問分野であると考えられているほどである。したがって、本科目においてはまず20世紀前半のアメリカでC. SauerおよびBerkeley学派によって構想された「文化地理学」の基本的な考え方を了解し、同時に「人文地理学」全般に通底する思想・考え方を学ぶことを目標とする。

2 科目の概要 20世紀に確立された古典的な「文化地理学」、すなわちアメリカの地理学者・C. Sauerとその衣鉢を継ぐBerkeley学派の文化地理学の基本について、その精神を理解しながら学ぶ。キーワードは、「文化景観」。それを通じて地理学的なもの見方・考え方を身に着けることを目指す。

3 成績評価基準 ・レポート評価

設題をしっかりと読んで、その狙いがどこにあるかを確かめることがまず大切。自分勝手な自己流の解釈ではいけない。また、長々と書かれたレポートは、えてして出来のよくないものになることが多い。必然性のない部分は思い切って削る勇気をもつこと。テキストや参考文献からの引用に際しては、総量をレポート全体の2割以下とし、引用部分はカッコでくくってその出典を明示すること。

・単位修得試験

テキストの内容から出題されるので、人名や概念的事項などポイントを押さえた学習を心がけること

4 テキスト名および詳細 指定市販本 高橋伸夫・田林明・小野寺淳・中川正著『文化地理学入門』、1995年、東洋書林、¥2,500+税

※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 本テキストは本来、教室で教員が中身について詳しく解説しながら理解を進めていくように作られている。したがって学習者は、テキストの中身をザッと読んでだけでは理解が十分には出来ない恐れがある。それを克服するには、各章末にある具体的な参考文献をできるだけ数多く読みながら、自分でテキストに示された骨格に肉付けしてゆく努力が必要である。具体的にはまず、第1章を読んでこの学問分野の概要をつかむこと。次に、第2章は飛ばして第3章から読み進め、第9章まで読み終わったら、最後に第2章に戻ってこの分野の学説史を頭の中で整理するとよい。『スタディガイド（学習指導書）』をよく参照することが大切である。

経済地理学

教科担当責任者：伊藤 達也

担当者：伊藤 達也
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 経済地理学の基本的な考え方、方法を学ぶことによって、社会・経済現象に対して経済地理学からどのように捉えることができるかについて理解することを目的とする。

2 科目の概要 経済地理学は人文地理学の中で、特に経済現象を地理学的視角からとらえていくことを目的とする。テキストとして山本健児『経済地理学入門－地域の経済発展』（新版）を使用する。本テキストは経済地理学の基本的な考え方、方法論を最も適切かつ簡潔に記している。

3 成績評価基準 成績評価は設題に対するレポートと単位修得試験による。

レポートについては、特に引用文献を適切に提示することに注意すること。

単位修得試験の場合、必ずテキストをすべて理解した上で臨むこと。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 山本健児『経済地理学入門－地域の経済発展』（新版）、原書房、2005年、¥2,800+税

5 学習指導、注意点等 成績評価基準に書いた通り。レポートは適切な引用と、自らのオリジナルな調査結果によって記述されるものである。その際、多くのレポートは引用によって成り立つものであるため、必ず、どの文献のどの部分を引用したかがわかるように本文中に記述すること。引用の仕方がわからない場合は、専門論文などを参考にして欲しい。

単位修得試験は解答者の意見を聞く場ではなく、解答者の適切な理解度を問う場である。テキストをしっかりと理解した上で臨むこと。

2017年度 設題総覧

— リポート設題と参考文献 —

34501

日本史概説

2 設題 (4 単位)

- 第1回 (1) 2つのうち1つを選択し回答
- ① 律令制度下の地方制度について述べよ。
 - ② 荘園の構造について述べよ。
- 第2回 (1) 2つのうち1つを選択し回答
- ① 幕藩体制の構造について述べよ。
 - ② 自由民権運動について述べよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・それぞれの事項がどのような事実であるかを述べ、それらが各時代でどのような意義をもつものであるかを指摘し、その後の歴史にどのように関連していくのかを考えて記述すること。
- ・持論を展開するのではなく、先行研究の流れを理解して整理すること。
- ・指定テキストの他に複数の参考文献を用いること。
- ・参考文献は、啓蒙書・概説書・インターネット等に依らず、学術論文・研究書等から探すこと。
- ・指定テキストや参考文献、インターネットの記述をそのまま記載する等の行為は厳禁である。
- ・リポート末尾に参照した文献を列挙すること。

参考文献

- 大津透・桜井英治・藤井謙治・吉田裕・李成市編『岩波講座 日本歴史』全22巻、岩波書店、2013年～2016年、¥3,200
- 『要説日本歴史』東京創元社、¥2,800
- 『概論日本歴史』吉川弘文館、¥1,900
- 『日本歴史大系』全18巻、山川出版社、¥2,913～¥3,398
- 『国史大辞典』全15巻、吉川弘文館、¥18,000

34504

指・史学概論

2 設題 (4 単位)

- 第1回 (1) 歴史小説と歴史研究者が書いた歴史書のちがいについて論じなさい。
- 第2回 (1) 「歴史は書きかえられる」とは何を意味しているのか論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- 第1回(1)
- 「根拠を問いつける」ことの意味をよく考えながら、「史料批判」に踏み込んで論じること。
- 第2回(1)
- カー『歴史とは何か』および溪内謙『現代史を学ぶ』をあわせて読んでまとめること。

参考文献

- E・H・カー『歴史とは何か』岩波書店、1962年、¥820
- 溪内謙『現代史を学ぶ』岩波新書、1995年、¥820
- 遅塚忠躬『史学概論』東京大学出版会、2010年、¥6,800
- 良知力『青きドナウの乱痴気』平凡社ライブラリー、1993年、¥1,068

34503

指・西洋史概説

2 設題 (4 単位)

- 第1回 (1) ドイツにおける叙任権闘争の経緯とその意義、その結果がドイツ史、ヨーロッパ史に与えた影響について述べなさい。
- 第2回 (1) フランス絶対主義の時代について、その特徴を、その社会構造と王権の関わりに注目しつつ、述べなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

指定テキスト以外に参考文献を3冊以上用いる。テーマについて十分詳細に扱っているものを選ぶ。文献の選択に際しては、下記文献巻末の文献一覧も参照する。

使用した文献をリポート末尾に列挙する。

参考文献

- 成瀬治『ドイツ史 1』（世界歴史大系）山川出版社、1997 年、¥5,619
- 柴田三千雄『フランス史 2』（世界歴史大系）山川出版社、1996 年、¥5,343

34502

旧／指・東洋史概説

2 設題 (4 単位)

※（旧・東洋史概説）テキスト経過措置期間：～ 2019 年 3 月迄

- 第 1 回 (1) 官制、法制、軍制、財政、農業のうち 1 つ以上選んで、隋から宋までの変遷過程における隋の果たした役割と歴史的意義について述べなさい。
- 第 2 回 (1) 明朝成立の背景について、宋から元までの歴史を踏まえて述べなさい。ただし、明の歴史について述べる必要はない。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①指示された王朝（隋・唐・宋（北宋のみで可）あるいは北宋・金・南宋・元）のそれぞれの特徴と変遷過程を明記した上で、隋または元について論ずること。参考文献は公共の図書館で利用できる。
- ②箇条書き、体言止め、文学的表現、参考図書の丸写し、新聞・雑誌・小説・随筆などにみられる婉曲・誇張・修飾的な表現を不可とする。
- ③リポートを書く前に、一つ以上の史学関係の学術論文（『史学雑誌』『東洋史研究』『法政史学』等の雑誌掲載の論文）を読み、論の展開の仕方、結論の導き方、文章表現、年号表記、参考文献の書き方を理解したうえで、自分のリポートを完成させる。リポートの場合、目次、章立て、章の題名、先行研究、脚注、図表は省略していいが、最後に参考文献を明記する。
- ④リポートを書いた後、全く事情の知らない人が自分のリポートを読んで理解できるか、誤字・脱字・重複表現・接続詞の連続使用がないか、推敲した上で提出する。

参考文献

（旧・東洋史概説）

- 富谷至・森田憲司編『概説 中国史（上）』昭和堂、2016 年、¥2,300
- 富谷至・森田憲司編『概説 中国史（下）』昭和堂、2016 年、¥2,300

（共通）

- 布目潮風・栗原益男『中国の歴史 第 4 巻 隋唐帝国』初版、講談社、1974 年
- 周藤吉之・中嶋敏『中国の歴史 第 5 巻 五代・宋』初版、講談社、1974 年
- 愛宕松男・寺田隆信『中国の歴史 第六巻 元・明』初版、講談社、1974 年
- 愛宕元・富谷至『中国の歴史 上 古代・中世』初版、昭和堂、2005 年、¥2,300
- 愛宕元・森田憲司『中国の歴史 下 近世・近現代』初版、昭和堂、2005 年、¥2,300

※参考文献の上記 3 冊は古いため現在出版されていないものですが、図書館で利用可能で、参考にするには最適な本です。

24640

指・日本美術史

2 設題 (4 単位)

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

- 【特記事項】 ◆パソコン（ワープロ）使用の場合は、総文字数（参考文献を除く）を文末に記載すること。
- ◆記述字数は、各回 2000 字以上 2400 字以下とする。
- ◆参考文献（編著者名・書名・出版社名・刊行年・参照ページ）を文末に記載すること。
- ◆インターネット情報の利用は、原則として不可とする。
- ◆引用文は「 」内に記すこと。なお、長文の引用、引用文の多用は不可とする。

- 第 1 回 (1) 飛鳥時代から江戸時代までの日本美術史について、外来文化の影響という観点から、具体的作例を挙げて論述しなさい。なお、論述にあたっては、対象とする時代、分野を限定してもよい。
- 第 2 回 (1) 下記の 2 つの論争のうち、いずれか 1 つを選択し、その論争の争点、発端から近年にいたるまでの経緯、日本美術史研究上の意義などについて解説しなさい。
- ① 法隆寺論争
 - ② 薬師寺論争

設題解答にあたっての解説・注意等

まずテキストを何度も通読し、日本美術史の大きな流れの把握につとめること。次に設題に関連する文献を幅広く読

み、それぞれの内容を正しく理解したうえで、自分自身の言葉で丁寧に論述すること。各時代の代表的な作品については、必ず美術全集等の大型図版を参照し、それぞれの作品のかたちのイメージの把握につとめるとともに、図版解説や『日本美術史事典』（平凡社、1987年）、『仏教美術事典』（東京書籍、2002年）等の事典類を参照し、制作事情や様式的・技法的な特色についての理解を深めること。とくに第1回については、日本の作品との関連が指摘される日本以外の作品についても詳しく調べ、自らの視点により分析・比較を試みながら、外来文化が日本美術に与えた影響について具体的に考察すること。

なお、受講者は、社寺や展覧会、博物館、美術館等に積極的に足を運び、実際に作品を鑑賞する機会を設けるよう心がけて欲しい。

参考文献

- 山下裕二・高岸輝監修『日本美術史』初版、美術出版社、2014年、¥2,800
- 辻惟雄著『日本美術の歴史』初版、東京大学出版会、2005年、¥2,800
- 辻惟雄・泉武夫・山下裕二・板倉聖哲編集『日本美術全集 全20巻』初版、小学館、2012～2016年、各巻¥15,000
- 前川誠郎他編集『日本美術全集 全25巻』初版、講談社、1990～1994年、各巻¥7,282
- 水野敬三郎監修『カラー版 日本仏像史』初版、美術出版社、2001年、¥2,500
- 朴亨國監修『東洋美術史』初版、武蔵野美術大学出版局、2016年、¥2,400
- 『世界美術大全集 東洋編 全18巻』初版、小学館、1997～2001年、各巻¥28,000

34647

日本近代史

2 設題 (4 単位)

第1回 (1) 王政復古から西南戦争に至る内政について論述しなさい。

第2回 (1) 王政復古から西南戦争に至る外政について論述しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

指定したテキストをよく読みレポートをまとめて下さい。テキスト以外の参考文献を参照し、本文中にその内容を引用した場合はレポートの最後に書名を明記して下さい。

参考文献

- 高橋幸八郎ほか『日本近代史要説』東京大学出版会、1980年、¥3,500
- 佐々木潤之助ほか『概論 日本歴史』吉川弘文館、2000年、¥1,900
- 坂野潤治『近代日本政治史』岩波書店、2006年、¥2,500
- 藤井譲治ほか『日本の歴史 近世・近現代編』ミネルヴァ書房、2010年、¥2,800
- 小風秀雅『大学の日本史 近代』山川出版社、2016年、¥1,800

34618

指・日本近世史

2 設題 (4 単位)

第1回 (1) 日本近世史について深谷克己『江戸時代』（日本の歴史6 2000年 岩波書店ジュニア新書336）を読み、下記のテーマについて一つを選んで論述せよ。

- 〈1〉江戸幕府の成立と新しい国際関係
- 〈2〉幕藩体制の社会と文化
- 〈3〉十八世紀の改革政治と社会
- 〈4〉江戸時代後半の文化
- 〈5〉内憂外患の時代と復興意欲

第2回 (1) 日本近世史について深谷克己『江戸時代』（日本の歴史6 2000年 岩波書店ジュニア新書336）を読み、下記のテーマについて第1回で選んだテーマ以外より一つを選んで論述せよ。

- 〈1〉江戸幕府の成立と新しい国際関係
- 〈2〉幕藩体制の社会と文化
- 〈3〉十八世紀の改革政治と社会
- 〈4〉江戸時代後半の文化
- 〈5〉内憂外患の時代と復興意欲

設題解答にあたっての解説・注意等

レポートでは、単に持論を展開するのではなく、設題に関する史料や論文を探索し、研究史を整理し、よく考え、理解し、自分の言葉で書くということが重要である。

また、指定のテキストだけで書くようなことがあってはならない。

参考文献には概説書・啓蒙書・教訓書・愛好書・歴史小説の類を利用することは避け、学術論文・研究書などから探索して利用すること。また、参考文献やインターネットの記述をそのまま転載するなどの行為は厳禁である。

その他記述にあたっては、年表・日本史辞典・国語辞典・漢和辞典などを机上に準備し、必要に応じて利用するようにされたい。

なお、記述の最後には参照した文献名を必ず明記すること。

参考文献

- 児玉幸多・佐々木潤之介編『新版 史料による日本の歩み（近世編）』吉川弘文館、1996年、¥3,800

- 歴史学研究会・日本史研究会編『日本史講座』近世5～7、東京大学出版会、2004～2005年、各¥2,200
 - 家永三郎・他編『岩波講座 日本歴史』近世1～5、岩波書店、1963～1964年
 - 朝尾直弘・他編『岩波講座 日本歴史』近世1～5、岩波書店、1975～1977年
 - 朝尾直弘・他編『岩波講座 日本通史』近世1～5、岩波書店、2000年再刊
 - 歴史学研究会・日本史研究会編『講座 日本歴史』近世1・2、東京大学出版会、1985年
 - 深谷克己・他編『講座 日本近世史』1～10、有斐閣、1980年
 - 藤野保編『論集幕藩体制史』全11巻第一期、雄山閣出版、1993～1996年
 - 古島敏雄編『日本経済史大系3・4』近世上・下、東京大学出版会、1965年
 - 井上光貞・他編『幕藩体制の成立と構造』上（日本歴史大系8）、山川出版社、1996年、¥3,398
 - 井上光貞・他編『幕藩体制の成立と構造』下（日本歴史大系9）、山川出版社、1996年、¥2,913
 - 井上光貞・他編『幕藩体制の展開と動揺』上・下（日本歴史大系10・11）、山川出版社、1996年、各¥2,913
 - 井上光貞・他編『開国と幕末政治』（日本歴史大系12）、山川出版社、1996年、¥2,913
 - 村上直・他編『日本近世史研究事典』東京堂出版、1989年、¥3,800
 - 歴史学研究会編『日本史年表』第4版、岩波書店、2001年、¥2,800
 - 朝尾直弘・他編『角川日本史辞典』角川書店、1996年、¥3,400
 - 国史大辞典編集委員会編『国史大辞典』全17巻、吉川弘文館、1990～1997年
 - 日本国語大辞典第二版編集委員会編『日本国語大辞典』全14巻、第2版、小学館、2000～2002年
 - 諸橋轍次著『大漢和辞典』全15巻、大修館書店、1989～2000年
- ※現在入手困難な出版物も含まれますので、図書館等も利用してください。

34544

指①・日本古代史

2 設題 (4 単位)

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

※テキスト経過措置期間：～2018 年 3 月迄

- 【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (縦書き)
◆一括提出の可否 (第1回(1)合格後、第2回(1)提出)

- 第1回 (1) 日本の古代国家（律令国家）および古代天皇制の特質について神祇祭祀の観点から論述しなさい。
第2回 (1) 律令国家の財政制度について説明し、それが9～10世紀にどのように変質するかを論述しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

第1回はテキストの第21～24章、第2回はテキストの第15、27、28、30章をそれぞれよく読んだ上で下記の参考文献にあたってレポートを作成してください。

参考文献

- 中村英重『古代祭祀論』吉川弘文館、1999年、¥3,300
 - 吉川真司編『列島の古代史7 信仰と世界観』岩波書店、2006年、¥2,900
 - 梅村喬『日本古代財政組織の研究』吉川弘文館、1989年、¥6,000
 - 早川庄八『日本古代の財政制度』名著刊行会、2000年、¥3,000
 - 『岩波講座日本歴史2・3』岩波書店、2014年、各¥3,200
- ※現在入手困難な出版物は、図書館等も利用してください。

34544

指②・日本古代史

2 設題 (4 単位)

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

- 【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (縦書き)
◆一括提出の可否 (第1回(1)合格後、第2回(1)提出)

- 第1回 (1) 日本古代の律令国家の構造について、貴族の地位が相対的に高い貴族共和制国家とする「畿内貴族政権論」と称される学説があるが、この学説について説明しなさい。それとともにこの学説に対する批判的な意見についても紹介し、どのような点が問題とされているかを指摘しなさい。
第2回 (1) 律令国家の地方支配において国司・郡司が担った役割について、それぞれ説明しなさい。その際発掘調査等で明らかとなった国府（国衙）・郡家（郡衙）の機能や構造と国司・郡司の職掌との関係にも言及すること。

設題解答にあたっての解説・注意等

第1回についてはテキスト「Ⅰ 律令国家の王権と儀礼」、第2回についてはテキスト「(序章) 律令国家と天平文化」
「Ⅲ 地方官衙と在地の社会」をよく読んだ上で、下記の参考文献にあたってレポートを作成すること。

参考文献

- 早川庄八『日本古代官僚制の研究』岩波書店、1986年、¥7,100
 - 吉村武彦・吉岡真之編『争点日本の歴史3』新人物往来社、1991年、¥3,592
 - 大津透『律令国家支配構造の研究』岩波書店、1993年、¥5,400
 - 山中敏史『古代地方官衙遺跡の研究』塙書房、1994年、¥7,500
 - 佐藤信『古代の地方官衙と社会』山川出版社、2007年、¥800
- ※現在入手困難な出版物は、図書館等も利用してください。

34628

旧／指・日本中世史

2 設題 (4 単位)

※ (旧・日本中世史) テキスト経過措置期間：～2019年3月迄

【特記事項】	◆レポートノートの使い方	(縦書き)
	◆一括提出の可否	(第1回(1)合格後、第2回(1)提出)
	◆記述字数	(参考文献を含めて2,400字以内厳守)

第1回 (1) 鎌倉時代初期の文治～建久年間における公武関係について論述しなさい。

第2回 (1) 将軍足利義教期の幕府政治について論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

第1回(1)については、テキストをはじめ、概説書などでも必ず触られていますので、それらの文献を読み込んでレポートを作成してください。

第2回(1)については、義教が行った政治改革、鎌倉公方との関係など論ずる点は多いので、テーマを絞って論述するのがよいでしょう。

レポートを作成するにあたり、テキストのほか以下に挙げる概説書や講座に収められた諸論文などを読んで理解を深め、その上で設題に取り組んでください。また設題に関する近年の研究成果については、下記概説書や講座論文、『史学雑誌』の文献目録などを参考にして各自で調べて参照してください。参考文献は必ずレポート末尾に列記してください。

【概説書】

『日本の歴史』(講談社)『日本の時代史』(吉川弘文館)『日本の中世』(中央公論新社)『日本の歴史』(小学館)『日本中世の歴史』(吉川弘文館)河内祥輔・新田一郎『天皇と中世の武家』(講談社)

【講座物】

『岩波講座日本歴史』(1962～64年、1975～77年、2013～16年)・『岩波講座日本通史』(以上岩波書店)『講座日本史』『講座日本歴史』『日本史講座』(以上東京大学出版会)

このうち、2016年に完結した『岩波講座日本歴史』に収められた諸論文は、現時点での学界の到達点を示すものの一つなので、しっかり読んで勉強してください。

第1回合格後、最低1ヶ月程度は間をおいて第2回を提出、同時提出は認めません。また、横書きは不可です。毎年何人か横書きで提出する人がいますが、注意してください。

14604

指・日本法制史

2 設題 (4 単位)

第1回 (1) 明治初期の「新律綱領」「改定律例」から旧刑法(明治13年刑法)、明治40年刑法に至るまでの刑法史について、「罪刑法定主義」をキーワードとして、各法の特徴や思想に言及しながら概観しなさい。なお、ボアソナードの刑法思想についても必ず触れること。

第2回 (1) 明治31(1898)年制定の明治民法について、旧民法から継承した部分と相違する部分とを具体的に挙げながら、その特徴について論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・必ず、指定テキストの川口由彦『日本近代法制史』を熟読し、その内容を踏まえてレポートを作成すること。ただし、テキストの文章をそのまま引き写さないように注意すること。
- ・指定テキスト以外の文献も複数参照し、著者名・書名・出版社等を明記すること。引用する場合には、脚注などを設け、引用箇所と出典を必ず記載すること。
- ・参考文献に挙げている論文作成の指針となるテキストを読み、論文・レポート作成のルールをきちんと踏まえること。

参考文献

- 浅古弘・伊藤孝夫・植田信廣・神保文夫編『日本法制史』初版、青林書院、2010年、¥3,800
- 水林彪・大津透ほか編『法社会史』初版、山川出版社、2001年、¥4,500
- 戸田山和久『新版 論文の教室』第2版、NHK ブックス、2012年、¥1,200
- 学習技術研究会編『知へのステップ』第3版、くろしお出版、2011年、¥1,800

34526

日本史特講（地方史学）

2 設題 （4 単位）

第1回 (1) 地方史学とは何か。それを学ぶ目的と意義を含めて述べなさい。

第2回 (1) 江戸周辺農村の支配と水利負担、農民生活などについて述べなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

テキストを熟読し、ポイントを整理してからまとめること。

参考文献

- 塚本学『地域史研究の課題』（『岩波講座日本歴史』25 所収）岩波書店、1976年、¥1,800
- 村上直『日本近世史研究事典』初版、東京堂、1989年、¥3,800
- 『岩波講座日本通史』別巻2、岩波書店、1994年、¥2,800

34524

指・日本史特講（日本思想史）

2 設題 （4 単位）

【特記事項】 ◆リポートの最後に必ず参考文献を記すこと。ワープロ（パソコン）使用の場合は字数を明記すること。

第1回 (1) 日本思想の形成を、律令国家の成立、外来思想の受容との関係から説明せよ。

第2回 (1) 日本中世の思想と、日本近世の思想との相違を、仏教・神道・儒教の3者の関係を軸に据えて説明せよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

第1回については、テキストの第1章だけでなく、I「古代の思想」（概説と第1～第5章）全体をよく読み、日本の古代国家形成に強い影響を与えた外来思想と、その日本における受容について考察すること。第2回については、テキストの第8章以降（特に第9・14・16・19章）をよく読み、仏教・神道・儒教の关系到留意し、中世と近世の思想が大局的にみてどのように異なるのかを説明すること。

参考文献

- 荻部直ほか編『日本思想史講座 1 古代』ぺりかん社、2012年、¥3,800
- 荻部直ほか編『日本思想史講座 2 中世』ぺりかん社、2012年、¥3,800
- 小倉慈司ほか編『天皇の歴史 9 天皇と宗教』講談社、2011年、¥2,600
- 岡田荘司編『日本神道史』吉川弘文館、2010年、¥3,500
- 今井淳ほか編『日本思想論争史』ぺりかん社、1979年、¥2,200

34525

旧／指・日本史特講（日本仏教史）

2 設題 （4 単位）

※（旧・日本史特講（日本仏教史））テキスト経過措置期間：～2019年3月迄

【特記事項】 ◆リポートの最後に必ず参考文献を記すこと。ワープロ（パソコン）使用の場合は字数を明記すること。

第1回 (1) 鎌倉～室町時代の僧を1人取り上げて、その行動と思想を説明し、中世仏教における位置づけを論述せよ。

第2回 (1) 江戸幕府や藩の仏教統制と、特徴的な人物や集団を1つ取り上げて説明し、そのうえで近世仏教の特質を論述せよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

（旧・日本史特講（日本仏教史））

第1回は、テキストの第3部をよく読み、参考文献も参照すること。事実関係だけでなく、歴史的な位置づけを考えて記すこと。第2回は、テキストの第4部をよく読み、参考文献も必ず参照し、具体例を示したうえで、近世仏教の特質を考察すること。取り上げる人物や事例によっては、参考文献を自身で探す必要がある。参考文献とテキストで記述や評価が異なる場合は、その点を明記し、依拠した書籍を示すこと。

（指・日本史特講（日本仏教史））

テキスト（第1回は5～7章、第2回は8章）およびスタディガイドをよく読み、参考文献も参照すること。第1回は、特定の僧の行動（事績）と思想（著作その他）を紹介したうえで、同時代の他の僧との対比などの考察を通して、特徴や位置づけを論じること。第2回は、幕府・藩の仏教統制と、特徴的な人物・集団とを紹介したうえで、近世仏教の特質を自身の言葉で論じること。第1回・第2回とも、取り上げる対象によって、参考文献を自身で探す必要がある。

参考文献

- 中尾堯編『日本の名僧 重源』吉川弘文館、2004年、¥2,600
- 松尾剛次編『日本の名僧 叡尊・忍性』吉川弘文館、2004年、¥2,600
- 寺尾英智ほか編『日本の名僧 日親・日奥』吉川弘文館、2004年、¥2,600
- 末本文美士『近世の仏教』吉川弘文館、2010年、¥1,700
- 圭室文雄『日本仏教史 近世』吉川弘文館、1987年、¥2,800

34540

日本古文書学

2 設題 (4 単位)

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

【特記事項】 ◆リポートノートの使い方 (縦書き)

- 第1回 (1) ① 古文書学とはどのような性格・歴史を持つ学問であるか述べよ。また古文書の伝来について、文書が有する本来の機能との関係から述べよ。
- ② 公式様文書について説明せよ。その際、詔書、勅旨、符、移、牒、解についてはくわしく記すこと。
- 第2回 (1) ① 公家様文書について説明せよ。その際、宣旨、官宣旨、下文、庁宣、御教書についてはくわしく記すこと。
- ② 武家様文書について説明せよ（鎌倉時代だけでもよい）。その際、下文、下知状、御教書・奉書、直状・書下については、くわしく記すこと。

設題解答にあたっての解説・注意等

リポート作成に際し、テキストおよび参考文献の丸写しはしないこと。ただし、作成の際に使用した参考文献名は、リポートの最後に必ず明記すること。

※テキストの付録（2008 年 10 月作成）は、各自で通信教育部事務局より取り寄せてください。なお、2009 年度以降にテキストを申告された方には付録付きで配本しています。

参考文献

- 日本歴史学会編『概説古文書学 古代・中世編』吉川弘文館、1983年、¥2,900
- 飯倉晴武著『古文書入門ハンドブック』吉川弘文館、1993年、¥2,500
- 日本歴史学会編『演習古文書選 古代・中世編』吉川弘文館、1971年、¥1,600
- 日本歴史学会編『演習古文書選 様式編』吉川弘文館、1976年、¥1,300
- 佐藤進一著『新版古文書学入門』法政大学出版局、2003年、¥3,300

指定テキストおよびリポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.143 参照のこと。

34528

日本史特講（日本科学史）

2 設題 (4 単位)

【特記事項】 ◆記述字数 (規定字数の9割程度から超過しない程度)

◆教科書にある、参考文献の中には手に入りにくいものもありますが、参照できれば行ってください。

- 第1回 (1) 京都の山脇東洋（1706～1762）が、宝暦四（1754）年閏二月に日本で初めての人体解剖を行なった背景にはどのようなものがあったのか。またこれが遠因となり、どのような過程で『解体新書』本文四巻、解体図一卷（安永三年（1774）刊）が誕生したのか。説明しなさい。
- 第2回 (1) 宇田川榕菴（1798～1846）により著された『舎密開宗』（1837～1847？）とは、どのような書物か。誕生の背景と、以後に与えた影響もあわせて説明しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

リポートは、問題に答える試験です。論文ではありません。そのため、長い引用をしたりしなさい。また、参照した文献からいちいちページまで記さなくてもかまいません。

かならず、こちらが書いたシラバスを読んで、執筆してください。

第2回目の設題は、教科書の学習により十分執筆できるはずですが、そのため、手に入りにくい文献についてはあまり

気にしないで結構です。

参考文献

石原明『漢方 中国医学の精華』吉川弘文館、2014年、¥2,200

片桐一男『知の開拓者 杉田玄白『蘭学事始』とその時代』勉誠出版、2015年、¥2,400

鳥井裕美子『前野良沢 生涯一日のごとく』思文閣出版、2015年、¥2,700

芝哲夫『日本の化学の開拓者たち』裳華房、2006年、¥1,500

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.143 参照のこと。

34609

東洋美術史

2 設題 (4 単位)

【特記事項】 ◆第1回 (1) を1冊、第2回 (1) を1冊に解答して提出すること (合計2冊)。

第1回 (1) 南朝墓の竹林七賢磚画の構成と意味について

三国時代・魏の末期に、司馬氏が国家権力を篡奪するために、包み隠せず弑君と廢立行動を取り続け、貴族社会に強い不信感を招いた。阮籍、嵇康、山濤を中心とした七人の名士は残酷な現実から逃げようとして、河内郡山陽の竹林に集まり、清談と飲酒に耽溺し、儒教の礼法を軽蔑し、孤高、放達な生活態度を世間に見せた。世人は彼らのことを「竹林七賢」と呼んだ。

竹林七賢図は東晋時代 (314 ~ 420) にすでに成立し、当時の最も流行した画題の一つであった。東晋の顧愷之 (344 年? - 405 年?)、史道碩、戴逵 (338 ~ 395) および劉宋の陸探微、南齊の毛惠遠など有名な画家が「七賢」または「竹林像」を描いたことがあり、戴逵はさらに『竹林七賢論』も書いたという。こうした、隱逸の世界へのあこがれから、近世日本でも、障屏画の主題として取り上げられた。

1960年代以来、南京郊外の西善橋墓、丹陽県胡橋仙塘湾・呉家村と建山金家村南朝陵墓から竹林七賢と榮啓期的大型磚画が相次いで発見された。これらの磚画が同系統の粉本による作品と思われる。そのうち西善橋墓は保存状態と磚画の出来がともによいので、その作品を読み解き、七賢図の構図法および描かれた隱遁者たちの造形的特徴について述べてください。

第2回 (1) 「仏教美術の中国化」

北方の遊牧民族鮮卑族が建国した北魏は、華北の統一後、仏教興隆の政策を推進し、国をあげて大規模な仏像の造像活動が展開された。造像事業の中心となったのが、前期の雲岡石窟と後期の龍門石窟である。雲岡から龍門へ移る過程で、西方からもたらされた仏教美術が中国文化の影響を受け、造形の上で変化が見られる。その背景には、異民族王朝であった北魏が急速に中国化を進めた、いわゆる「漢化政策」がある。龍門石窟をてがかりに、歴史的背景も含めて、外来の仏教美術がどのように中国化していったのか述べなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

《第1回 (1) 設題》

参考文献 曾布川寛「南朝帝陵の石獸と磚畫」を京都大学学術情報リポジトリからダウンロードすることが可能

<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/66727?locale=ja>

井口喜晴「正倉院宝物にみる神仙世界—天平人の桃源郷—」を宮内庁正倉院ホームページ『正倉院紀要』からダウンロードすることが可能

<http://shosoin.kunaicho.go.jp/en-US/Bulletin/Pdf?bno=0000000016>

参考文献

《第1回 (1) 設題》

●曾布川寛『東方学報』京都 第63冊「南朝帝陵の石獸と磚畫」京都大学人文科学研究所、1991年

<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/66727?locale=ja>

●井口喜晴「正倉院宝物にみる神仙世界—天平人の桃源郷—」『正倉院紀要』第26号、宮内庁正倉院事務所、平成16年

<http://shosoin.kunaicho.go.jp/en-US/Bulletin/Pdf?bno=0000000016>

●蘇哲『魏晋南北朝壁画の世界』白帝社、2007年、¥1,800

《第2回 (1) 設題》

●石松日奈子著『北魏仏教造像史の研究』ブリュッケ、2005年、¥9,333

●八木春生著『中国仏教美術と漢民族化—北魏時代後期を中心として—』法藏館、2004年、¥16,000

●曾布川寛・岡田健編『世界美術全集 東洋編』第3巻 三国・南北朝、小学館、2000年、¥30,000

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.143 参照のこと。

【特記事項】 ◆パソコン（ワープロ）使用の可否（可。ただし、用語の変換ミスには注意すること。誤変換が5か所以上あった場合には、内容の如何を問わず再提出とする。）

- 第1回 (1) 中国唐宋時代の経済史に関する、近十年の研究動向をまとめなさい。
近年の研究論文情報は、『史学雑誌』の毎年5月号「回顧と展望」を参照すること。このほか基本的な先行研究については、以下の研究入門書を参照してください。『中国史研究入門 上』（山川出版社、1991年増補改訂版）、『中国歴史研究入門』（名古屋大学出版会、2006年）、『中国経済史』（名古屋大学出版会、2013年）。レポートでとりあげる論文には、可能な限り目を通すこと。
- 第2回 (1) 以下の課題の中から、1つを選択して論述せよ。
各題とも、はじめに課題選択の理由と当該課題に関する最近の研究動向について簡単に述べる。また各課題の下に主要参考文献をあげておくので参照してください。
- ①唐宋時代の都市生活について論述せよ。[参考文献] 妹尾達彦「都市の生活と文化」（『魏晋南北朝隋唐時代史の基本問題』、山川出版社、1997年）、佐藤武敏『長安』（講談社学術文庫、2004年）。
 - ②唐宋時代における塩の専売について論述せよ。[参考文献] 河上光一『宋代塩業史の基礎的研究』（吉川弘文館、1992年）。
 - ③唐宋時代の貨幣経済について論述せよ。[参考文献] 宮崎市定「五代宋初の通貨問題」（『宮崎市定全集9』、岩波書店、1992年）、伊原弘編『宋銭の世界』（勉誠出版、2009年）。

設題解答にあたっての解説・注意等

辞書・事典の記事の丸写しや、インターネットからの転載はしないこと。テキスト及び文献をよく読み、基本事項を理解したうえで、自分の言葉で文章を執筆してください。またレポート末尾に参照した文献（辞書・事典・論文・単行本）のリストを挙げてください。

参考文献

- 岡本隆司編『中国経済史』初版、名古屋大学出版会、2013年、¥2,700
- 伊原弘編『宋銭の世界』初版、勉誠出版、2009年、¥4,500
- 礪波護・杉山正明・岸本美緒編『中国歴史研究入門』初版、名古屋大学出版会、2006年、¥3,800
- 松田孝一編『東アジア経済史の諸問題』初版、阿吽社、2000年、¥2,700

- 第1回 (1) 中国古典文学と〈史書（正史）〉との関連性について、具体的に作品もしくはジャンルを選び、作品分析を加えながら自己の見解を述べなさい。
- 第2回 (1) 中国古典文学における恋愛描写について、特定の時代もしくはジャンル・作家などを選び、作品を分析を加えながら自己の見解を述べなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

いずれにおいてもいくつかの作品を精読し、作品内容を理解した上で根拠のある考察をすること。
また参考文献および扱った作品の底本（原文がわかるものであれば訳本でもかまわない）を必ずレポート内で明記すること。

参考文献

- 浅見洋二・高橋文治・谷口高志『皇帝のいる文学史 中国文学概説』大阪大学出版会、2015年、¥2,500
- 竹内康浩『「正史」はいかに書かれてきたか』あじあブックス（大修館書店）、2002年、¥1,500
- 大木康『中国近世小説への招待』NHKライブラリー、2001年、¥870
- 川合康三『中国の恋のうた 詩経から李商隠まで』岩波書店、2011年、¥2,200
- 斎藤茂『妓女と中国文人』東方選書（東方書店）、2000年、¥1,600

- 第1回 (1) 「気」は中国思想史における重要な概念の一つである。その「気」について、時代を選び、その歴史的背景を考慮しながら説明せよ。
- 第2回 (1) 中国思想の支柱といってよい経学について、時代を選び、その思想的・歴史的背景に配慮しながら説明せよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

特定の概説書・事典などの丸写しは避けてください。

参考文献をいくつか読み、その内容を十分理解した上で、自分の言葉で書いてください。

教科書が基本であるのはもちろんですが、必ずしもその説明に従う必要はありません。

参考文献

- 溝口雄三・丸山松幸・池田知久『中国思想文化事典』第1版、東京大学出版会、2001年、¥6,800
- 松丸道雄他『世界歴史大系 中国史 全5巻』第1版、山川出版社、2003年、¥5,619-6,400
- 溝口雄三・池田知久・小島毅『中国思想史』第1版、東京大学出版会、2007年、¥2,500

34530

東洋史特講（中国近世史）

2 設題 （4 単位）

第1回 (1) 明代のキリスト教及び西洋科学の伝来について述べよ。

第2回 (1) 明代の朝貢貿易と海禁政策の変化について述べよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

テキストを通読し、課題で求められているところをよく考え、その上で過不足無く要点を整理し、冗長になることなく文章にまとめてもらいたい。箇条書きによる整理などは、出来る限り避けてもらいたい。教科書以外の参考文献を用いる場合は、必ず文献名を明示してもらいたい。

参考文献

- 佐久間重男『中国近世史—明代史—』（通教教科書）

34531

東洋史特講（南海史）

2 設題 （4 単位）

【特記事項】 ◆ワープロ使用の可否 不可（手書きのみ）

第1回 (1) 11世紀までの南海地域をめぐる研究動向をまとめなさい。なお、情報については『史学雑誌』の毎年5月号「回顧と展望」を参照のこと（少なくとも過去15年分）。

第2回 (1) 以下に挙げた諸問題の中から一つを選択し執筆しなさい。なお、次の点を必ず踏まえること。

◎選択の理由を明記し、論点を明確にした上で執筆する。

◎固有名詞については、欄外に読み仮名を付ける。

◎冒頭には内容に関する編別構成（目次）を付け、末尾には参考文献（論文に限る。単行本ではない点に注意）一覧を添付する。

選択問題

- 1、秦・漢の嶺南経営をめぐる諸問題。
- 2、呉・南朝の交趾経営をめぐる諸問題。
- 3、隋・唐の交趾経営をめぐる諸問題。
- 4、10世紀より11世紀初頭にかけての交趾地域の状況。
- 5、林邑国をめぐる諸問題。
- 6、扶南国をめぐる諸問題。
- 7、番禺をめぐる諸問題。
- 8、南漢をめぐる諸問題。

設題解答にあたっての解説・注意等

第1回・第2回とも2000字以上。

漢字表記には十分に注意すること。特に、王朝・人物などの固有名詞には誤字が目立つので細心の注意を払うこと。

『岩波講座 東南アジア史』所収の個別文献は、論文に含めるものとする。また、論文に関する情報は『史学雑誌』毎年5月号「回顧と展望」を参照のこと。

参考文献

- 山本達郎『岩波講座 東南アジア史1—原史東南アジア世界—』岩波書店、2001年、¥4,400
- 石澤良昭『岩波講座 東南アジア史2—東南アジア古代国家の成立と展開—』岩波書店、2001年、¥4,400
- 石澤良昭・生田滋『東南アジアの伝統と発展』（世界の歴史13）中央公論新社、2009年、¥1,905
- 石井米雄・桜井由躬雄『東南アジア史1—大陸部—』（世界各国史5）山川出版社、1999年、¥3,700

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

- 【特記事項】 ◆記述字数 (2,000 字から 3,000 字程度)
 ◆ワープロ使用の可否 (可。ただし、総字数を明記すること)
 ◆レポート用紙が足りない場合は、市販の A4 判原稿用紙を使用し、講評欄の前に貼付すること。

- 第 1 回 (1) 第 2 次世界大戦（日中戦争）終結前後から中華人民共和国成立までの期間の中国に関する歴史的事項（例えば、政治・社会・経済的な事件、運動や対外関係など。あるいは、この時期に活躍した人物の行動や思想についてなど）を取り上げて、その概略、背景、歴史的意義などについて論じなさい。
- 第 2 回 (1) 辛亥革命から中華人民共和国成立までの期間の中国に関する歴史的事項（同上。ただし第 1 回で設定した主題は除く）を取り上げて、その概略、背景、歴史的意義などについて論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- (1) レポートのテーマは、2,000 ～ 3,000 字という制限字数をよく考慮して、焦点をしぼること。
- (2) 「タイトル」を冒頭に必ず明示し、「はじめに」「本文」「おわりに」「注一覧」「参考文献一覧」等に分けて叙述すること。「はじめに」ではレポートのテーマや目的などを、「おわりに」にはレポートの結論、残された課題などを記すこと。「本文」は小見出し（章立て）を整えて、結論に関わる重要な箇所には「注」を付けて根拠となる先行研究や史料を明示すること（5 箇所以上）。活用した文献は「参考文献一覧」に明記すること。
- (3) 執筆に際しては、テキスト以外に少なくとも 3 つの文献（書籍、論文、史料等）をよく読み比べること。法政大学図書館や地元の図書館を活用して、選定したレポートのテーマについてできるだけ詳しく言及している文献を探し出してください。
- (4) テキスト・参考文献からの抜き書きや漠然とした感想ではなく、自分の言葉による叙述と先行研究・史料に基づいた実証的な考察（根拠を示した論証）を心がけること。

参考文献

- 石川禎浩著『革命とナショナリズム 1925 - 1945』岩波書店、2010 年、¥820
 - 礪波護・岸本美緒・杉山正明編『中国歴史研究入門』名古屋大学出版会、2006 年、¥3,800
 - 横山宏章著『中華民国一賢人支配の善政主義』中央公論社、1997 年、¥820
 - 小島晋治・並木頼寿編『近代中国研究案内』岩波書店、1993 年、¥4,466
 - 姫田光義・阿部治平・石井明ほか著『中国 20 世紀史』東京大学出版会、1993 年、¥2,800
- *現在入手困難な出版物も含まれますので、図書館等も利用してください。

- 第 1 回 (1) 経済政策を支えた経済理論が、1960 年代の「ケインズ経済学」から、1980 年代の「サプライサイド経済学」に転換した背景を当時の経済状況の変化から説明しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

引用箇所を、脚注を使用するか、本文にて明示してください。

参考文献

- 猪木武徳著『戦後世界経済史：自由と平等の視点から』中公新書、2009 年、¥940
- ポール・クルーグマン著『経済政策を売り歩く人々』ちくま学芸文庫、2009 年、¥1,400

- 第 1 回 (1) 明治維新期の様々な経済的制度改革を江戸時代の制度と比較しながら、何がどう変わり、どのような結果を招いたか説明しなさい。

参考文献

- 南亮進著『日本の経済発展』第 3 版、東洋経済新報社、2002 年、¥3,600
- 速水融・他編『日本経済史 全 8 巻』岩波書店、1988 年、各 ¥3,000 ～ 3,300
- 杉山伸也著『日本経済史』岩波書店、2012 年、¥4,000

※（旧・西洋史特講（西洋哲学史））テキスト経過措置期間：～2019 年 3 月迄

- 第 1 回** (1) プラトン、アリストテレス、アウグスティヌス、トマス・アクィナスの思想が、哲学史の中でどのような意味をもっているのか、まず記すこと。
次にその思想形成にそれ以前のどのような哲学者の思想が影響を与えたのか、その思想の背景を調べて記すこと。
最後にその哲学者の思想が、後世の哲学史にどのような影響を及ぼしたかを記すこと。
かならず四人をリポートすること。
- 第 2 回** (1) デカルト、ロック、カント、ヘーゲルの思想が、哲学史の中でどのような意味をもっているのか、まず記すこと。
次にその思想形成にそれ以前のどのような哲学者の思想が影響を与えたのか、その思想の背景を調べて記すこと。
最後にその哲学者の思想が、後世の哲学史にどのような影響を及ぼしたかを記すこと。
かならず四人をリポートすること。

参考文献

- 今道友信『西洋哲学史』第 1 版、講談社学術文庫、1987 年、¥1,100
- 木田元『反哲学史』第 1 版、講談社学術文庫、2000 年、¥920
- 岩田靖夫『西洋思想のあゆみ』第 1 版、有斐閣 S シリーズ、1993 年、¥2,200

- 【特記事項】** ◆美術史の専門文献を三冊以上参照し、実際に用いた文献データ（著者名、書名、出版社名、発行年、及び参照ページも忘れずに）をリポート末に明記すること。
◆インターネット情報の利用は、原則として評価の対象外。
◆記述字数は、各回 2000 字以上。ワードを用いた場合は、文末に総字数を明記すること。

- 第 1 回** (1) 設題 A・B のどちらか一つ選択すること。
A. パルテノン神殿について、建築・彫刻という観点から総合的に論じなさい。
B. シャルトル大聖堂について、建築・彫刻・ステンドグラスという観点から総合的に論じなさい。
- 第 2 回** (1) 設題 A・B のどちらか一つ選択すること。
A. イタリアと北方のルネサンス美術について、任意の芸術家を一人ずつ選び、それらの芸術家を中心に具体的な作例を挙げながら論じなさい。
B. 印象主義・後期印象主義絵画における、ジャポニスムの影響関係について、任意の芸術家を一人ずつ選び、具体的な作例を挙げながら論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

まずテキストを通読し、基本を押さえておくこと。その上で、各自リポート課題に沿った専門文献に当たり理解を深めることが望まれる。すなわち、入門書・通史概説書以外にも、個別の課題に沿った美術史の専門文献を広く参照する必要がある。その際、『世界美術大全集』、画家別の画集等、大型図版も適宜参照し、不明な用語は『新潮世界美術辞典』（新潮社、1985 年、20,388 円、絶版）等の美術辞典類で明らかにすること。

また可能な限り、実際に美術館（国立西洋美術館・国立新美術館・ブリヂストン美術館他）等で作品を鑑賞する機会を得るように努めること。

そして選択した作品の基本データ（制作年代・規模等）や時代様式の特徴を踏まえた上で、図像内容、造形的表現の特質、美術史上の意義等について考察して欲しい。西洋美術史の専門文献で得た知識を基に、与えられたテーマについて自ら論ずる力をみる。

参考文献

- H・W・ジャンソン他著 木村重信他訳『西洋美術の歴史』創元社、2001 年、¥3,400
- 高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』増補新装版、美術出版社、2002 年、¥1,900
- 高階秀爾著『名画を見る眼』岩波新書、1969 年、¥740
- 高階秀爾著『続・名画を見る眼』岩波新書、1971 年、¥740
- 高階秀爾著『近代絵画史（上）』中公新書、1975 年、¥660
- 『世界美術大全集』（西洋編全 28 巻中、課題には第 4、9、12、22 巻参照）、小学館、1992～1996 年、各 ¥28,000

【特記事項】 ◆一括提出の可否

(第1回(1)(2)合格後、第2回(1)(2)提出)

◆記述字数

(1 設題につき 2400 字程度)

- 第1回 (1) 預言者エリヤ、アモス、イザヤ、第2イザヤについて、それぞれの活動の時代背景に触れつつ、それぞれの使信（メッセージ）についてまとめよ。
- 第1回 (2) モーセ五書全体が読者に伝えようとしている使信（メッセージ）について、その編纂の時代背景と歴史観に触れつつ論じよ。
- 第2回 (1) 史的イエスの活動と思想について、いくつかの聖書箇所を分析しつつ論じよ。
- 第2回 (2) キリスト教がユダヤ教から分離するプロセスについて、パウロ神学とローマのユダヤ人に対する政策に触れつつ論じよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

①第1回の参考文献

上村静『宗教の倒錯』第I部

上村静『旧約聖書と新約聖書』第一章

②第2回の参考文献

上村静『宗教の倒錯』第III部、第IV部

③聖書記事については、書名、章節への言及で十分であり、引用は最小限にとどめること。

④上記以外の文献を参照してよいが、言及、引用する際は出典（著者、書名、ページ数）を明記すること。インターネットの記事は使用しないこと。

⑤聖書の各文書と箇所は、略記してよい（例：マタイによる福音書 20 章 1-16 節＝マタ 20：1-16、ローマの信徒への手紙 7 章 1-20 節＝ロマ 7：1-20、コリントの信徒への手紙 15 章 3-5 節＝I コリ 15：3-5 等）。

テキスト

旧新約聖書（推奨：『聖書 新共同訳 旧約聖書続編つき』日本聖書協会）

参考文献

●上村静著『宗教の倒錯——ユダヤ教・イエス・キリスト教』岩波書店、2008 年、¥2,800

●上村静著『旧約聖書と新約聖書——「聖書」とはなにか』新教出版社、2011 年、¥2,000

●『聖書 新共同訳 旧約聖書続編つき』日本聖書協会、標準サイズ（小型）、¥3,600、ハンディタイプ、¥3,100

- 第1回 (1) 大貴族と勤務士族に注目して、イヴァン4世の政策の内容とその意義について述べなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

指定テキスト以外に参考文献を3冊以上用いる。テーマについて十分詳細に扱っているものを選ぶ。文献の選択に際しては、下記文献巻末の文献一覧も参照する。

使用した文献をレポート末尾に列挙する。

参考文献

●田中陽児『ロシア史』1（世界歴史大系）山川出版社、1995 年、¥5,343

●和田春樹『ロシア史』（新版世界各国史）山川出版社、2002 年、¥3,500

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

- 第1回 (1) 1905 年革命後に帝政ロシア政府が行った諸改革の内容とその意義について述べなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

加納先生の著作を含めて、教科書以外に参考文献を3冊以上用いる。テーマについて十分詳細に扱っているものを選ぶ。文献の選択に際しては、下記文献巻末の文献一覧も参照する。

使用した文献をレポート末尾に列挙する。

参考文献

●加納格『ニコライ二世とその治世』東洋書店（ユーラシア・ブックレット）、2009 年、¥600

- 田中陽児『ロシア史』2 (世界歴史大系)、山川出版社、1994 年、¥5,343
- 木畑洋一・南塚信吾・加納格『帝国と帝国主義』有志舎、2012 年、¥2,400

34538

西洋史特講 (アメリカ史)

4 設題 (4 単位)

- 【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (横書き)
 ◆ワープロ使用の可否 (できる限りパソコン (ワープロ) を使用のこと; 手書きも可)
 ◆一括提出の可否 (第 1 回 (1)(2) 合格後、第 2 回 (1)(2) 提出)

- 第 1 回 (1) 19 世紀後半の合衆国の西部 (フロンティア) への拡大と、そこに居住する先住民 (インディアン) が置かれることになった状況について、同時期に建国されたカナダとの関連も踏まえ、以下の語句を 全て使用して 説明しなさい。
 南北戦争、大陸横断鉄道、「サンド・クリークの虐殺」、ブラック・ヒルズ、クレージー・ホース、シッティング・ブル、「リトル・ビッグホーンの戦い」、ドーズ法、ジェロニモ、「ウーンデッド・ニーの虐殺」、ターナー、フロンティアの消滅
- 第 1 回 (2) T・ローズベルト政権期における「革新主義」の内容を、その前後の「金箔時代」「ニューディール」期との関連についても言及しながら説明しなさい。
- 第 2 回 (1) 19 世紀の合衆国における西部への領土拡張 (新たに州をつくる時の手順についても言及すること) と黒人奴隷制度に関連した、北部と南部の対立から、南北戦争の勃発に至るまでの経緯を述べなさい。そして戦中と戦後に制定された合衆国憲法修正 13、14、15 条について、北部の南部再建策とも関連付けて説明しなさい。
- 第 2 回 (2) 「ジェファソニアン・デモクラシー」と「ジャクソニアン・デモクラシー」を比較し、その相違について以下の語句を 全て使用して 説明しなさい。
 バージニア王朝、リパブリカンズ、デモクラット、コモン・マン

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・指定テキストをよく読み、必要によっては参考文献も参照して下さい (シラバスに併せて記載してあります)
- ・単なる史実の列記ではなく、関連 (原因、経緯、結果、後の時代への影響等) を整理した上で、説明を行って下さい
- ・丸写しではなく、自分の言葉で記述して下さい

参考文献

- 阿部珠里編『アメリカ先住民を知るための 62 章』明石書店、2016 年、¥2,000
- 有賀 貞・大下尚一編『新版 概説アメリカ史 ニューワールドの夢と現実』有斐閣、1990 年、¥1,900
- 有賀 貞・大下 尚一・志邨 晃佑・平野 孝『アメリカ史〈1〉17 世紀～1877 年』山川出版社、1994 年、¥5,343
- 有賀 貞・大下 尚一・志邨 晃佑・平野 孝『アメリカ史〈2〉1877 年～1992 年』山川出版社、1993 年、¥5,343
- 有賀夏紀・油井大三郎編『アメリカの歴史—テーマで読む多文化社会の夢と現実』有斐閣アルマ、2002 年、¥2,200
- 岩崎佳孝『アメリカ先住民ネーションの形成』ナカニシヤ出版、2016 年、¥3,500
- 紀平英作編『アメリカ史』山川出版社、1999 年、¥3,500

34601

指・日本考古学

2 設題 (4 単位)

- 第 1 回 (1) あなたの住んでいる地域にある著名な遺跡をひとつあげ、その内容を紹介し、あわせて日本考古学上の意義について論じなさい。
- 第 2 回 (1) 弥生時代の生産と流通について、具体例を挙げて論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- 表題を付け、章立てを工夫するとともにひろく文献にあたること。ここに示した文献はあくまで基本的なものであり、特に実際の遺跡に関しては必ず発掘調査報告書等をあたること。
- 物質文化を扱うレポートであるから、必要に応じて図表や写真を添付し、解説の水準を高めること。また、註や参考文献を付し引用を明らかにした上で、レポートとしての体裁を整えること。

参考文献

- 勅使河原彰『日本考古学の歩み』名著出版、1995 年、¥2,718
- 藤本強『考古学の方法—調査と分析』東京大学出版会、2000 年、¥2,700
- 設楽博己・藤尾慎一郎・松木武彦編『弥生時代の考古学 6 弥生社会のハードウェア』同成社、2009 年、¥5,000
- 甲元真之・寺沢薫編『講座日本の考古学 5 弥生時代 (上)』青木書店、2011 年、¥7,000
- 武末純一・森岡秀人・設楽博己『列島の考古学 弥生時代』河出書房新社、2011 年、¥2,800

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

- 【特記事項】 ◆記述字数 （規定字数の 9 割程度から超過しない程度）
◆教科書にある、参考文献については、余裕があれば参照してください。

第 1 回 (1) 朝鮮出兵後、日本は同国とどのようにして国交を回復したのかについて概述せよ。

第 2 回 (1) 江戸時代において長崎における沿岸防衛体制は、どのように確立したかについて概述せよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

リポートは、問題に答える試験です。論文ではありません。そのため、長い引用をしたりしないこと。また、参照した文献からいちいちページまで記さなくてもかまいません。

かならず、こちらが書いたシラバスを読んで、執筆してください。

なお、参考文献には高価なものも載せましたが、執筆には教科書に記されているものでも十分であることをあらかじめ申し添えておきます。

参考文献

- 鄭杜熙編ほか『壬辰戦争 16 世紀日・朝・中の国際戦争』明石書店、2009 年、¥6,000
- 山本博文『鎖国と海禁の時代』校倉書房、1995 年、¥3,800
- 松尾晋一『江戸幕府と国防』講談社、2013 年、¥1,500

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

- 【特記事項】 ◆リポートノートの使い方 （横書き厳守）
◆ワープロ使用が望ましい。その場合、別紙にプリントアウトしたものを、リポートノートに貼りつけるとよい。
◆一括提出の可否 （第 1 回 (1) 合格後、第 2 回 (1) を提出。）

第 1 回 (1) テキスト p.23 にある「図 2-1 C.O.Sauer による景観形成モデル」に示されている内容を、詳しく説明せよ。そのモデルがどのような意図をもって作られたのかについても示すこと。

第 2 回 (1) 自分の居住地の近辺などで見かけられる「シンボルとしての建築物」（テキスト pp.170-171 参照）を 1 枚の写真におさめたとて、①その建築物がシンボライズしているものは何かを考察せよ。単にその建築物が生まれた経緯を記すのではない。また、②その建築物を含む景観についてのあなたの評価をまとめよ。①と②とを分けて論述すること。写真は、ごく普通のサイズ（L 判）を添付してもよいし、あるいは本文中に図像として取り込んでもよい。ただし、自分で撮影したものに限る（ほかの媒体からの転用は不可）。なお、撮影日時とおおよその撮影地点の説明も必ず付すこと。

設題解答にあたっての解説・注意等

- (1) 長々と書かれたリポートは、往々にして出来の悪いことが多い。書きあげた後の推敲が不十分だと、リポートが長々しいものになるのである。設題が要求しているものに対しての答えとして必然性がない部分は、できるだけ削ってしまう勇気を持つこと。
- (2) テキストや参考文献から引用する場合には、リポートの文章中の引用部分をカッコで明瞭にくくって示し、その出典（執筆者名、著作名、引用部分の該当ページ数など）を明示したうえで、自分のリポートの文章中に適切に位置づけること。テキストから引用する場合は、引用部分末尾にカッコ書きで「(テキスト p. ○○より)」としておけばよい。

参考文献

テキスト各章末の参考文献一覧を参照してほしい。

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

第 1 回 (1) わが国の工業の変化について、ある特定の業種（例一繊維産業）を取り上げて説明しなさい。その際、当該業種の変化の理由とともに、当該業種の地域的集積の特徴についても説明すること。

第2回 (1) わが国の地域間経済格差について説明しなさい。その上で地域の衰退から抜け出す試みを行っている地域事例を具体的に紹介しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

レポート作成にあたって使用した参考（引用）文献は、レポートの最後に提示するだけでなく、本文中の使用したところでも必ず提示してください。

参考文献

- 藤田佳久・阿部和俊編『日本の経済地理学 50 年』古今書院、2014 年、¥7,000
- 竹内淳彦・小田宏信編『日本経済地理読本』第 9 版、東洋経済新報社、2014 年、¥2,300
- 青山裕子ほか『経済地理学キーコンセプト』古今書院、2014 年、¥3,000
- 藤田佳久編『山村政策の展開と山村の変容』原書房、2011 年、¥3,600
- 富田和暁『地域と産業－経済地理学の基礎－』新版、原書房、2006 年、¥2,000

— 指定テキストおよびリポートノートの追加・訂正・補足 —

以下の科目は追加・訂正・補足があります。配本されたテキストはすでに訂正されているものもあります。
新たに明らかになった追加・訂正・補足は、随時『法政通信』に掲載します。

科目名	種別	掲載更新
日本史特講（日本科学史）	通教テキスト	2008 年 11 月
日本古文書学	通教テキスト	2014 年 3 月
東洋美術史	通教テキスト	2017 年 3 月

[通教テキスト]

■日本史特講（日本科学史）（大森實）

p.196 最後の行
 (誤) 元文元（一七四〇）年
 (正) 元文五（一七四〇）年

2008 年 11 月現在

■日本古文書学（佐藤進一）

p.3 3 行目
 (誤) 大秦殿
 (正) 大秦殿
 ルビを削除

p.3 3 行目
 (誤) (あるいは、太秦殿カ)
 (正) (太秦殿カ)
 「あるいは、」を削除

p.3 7 行目
 (誤) 重宝
 (正) 重宝
 ルビを訂正

p.11 7 行目
 (誤) 弥よ専ら役を勤めんとす
 (正) 弥よ勤役を専らにせんとす

p.16 4 行目
 (誤) 西市正
 (正) 西市正
 ルビを訂正

p.24 10 行目
 (誤) 菅野
 (正) 菅野
 ルビを訂正

p.24 11 行目
 (誤) 知家事
 (正) 知家事
 ルビを訂正

p.28 10 行目
 (誤) 見入役
 (正) 見入役
 ルビを付ける

p.29 8 行目
 (誤) 菅野
 (正) 菅野
 ルビを訂正

2014 年 3 月現在

■東洋美術史（林良一）

p.85 2 行目
 (誤) 第三章 東トルキスタン美術
 (正) 第一節 東トルキスタン美術

2017 年 3 月現在

2017年度 単位修得試験の出題範囲

【留意事項】

- 試験範囲は担当教員が認めた科目に限り公表しています。
- 試験範囲が公表される場合であっても、その科目のテキスト全体を熟読することが前提となりますので、科目によってはここに記載された内容以外からも出題される場合があります。
- ここに発表されていない科目（テキスト）は、原則テキスト全体からの出題となります。ただし、科目によっては学習範囲がテキストの一部に限定されている場合があります。詳細は、シラバスで確認してください。
※経過措置テキストの場合は、経過措置テキストに対応した過年度のシラバスを参照してください。
- 記載内容の意味など、出題範囲に関する質問は一切受け付けません。また、試験終了後に試験問題と範囲に関する照会も受け付けません。
- この表の科目名の表記は、「設題総覧」及び単位修得試験の表記に合わせています。

科目名	出題範囲	
指・西洋史概説	4月	古代オリエント、ギリシャ、ローマ
	5月	古代オリエント、ギリシャ、ローマ
	6月	ヨーロッパ中世
	7月	ヨーロッパ中世
	10月	ヨーロッパ近世
	11月	ヨーロッパ・ブルジョア革命と産業革命
	12月	ナショナリズムと帝国主義
	1月	20世紀
旧／指・東洋史概説	4月	清の対外政策と国内政策
	5月	宋の国際関係
	6月	漢の対外政策
	7月	清末民国
	10月	秦の国内政策
	11月	唐の国際関係
	12月	元の国内政策
	1月	明の対外政策
指・日本美術史	飛鳥時代から江戸時代までの日本美術史（テキスト第Ⅱ章～第Ⅸ章、巻末の用語解説を含む） 通教テキスト「日本近代史」（安岡昭男著）から出題する。	
日本近代史	4月	幕末期の内政
	5月	幕末期の外交
	6月	明治維新期の内政
	7月	明治前半期の内政
	10月	明治期の国の機関
	11月	明治期の内政全般
	12月	明治期の文化
	1月	明治期の経済・産業
旧・日本中世史 （※経過措置テキスト）	4月～7月	平安時代～鎌倉時代
	10月～1月	南北朝時代～室町・戦国時代
指・日本中世史	4月～7月	院政時代～鎌倉時代
	10月～1月	南北朝時代～室町・戦国時代
指・日本法制史	4月	憲法（中央国制）・刑事法の領域から出題する。
	5月	憲法（中央国制）・刑事法の領域から出題する。
	6月	憲法（中央国制）・刑事法の領域から出題する。
	7月	憲法（中央国制）・刑事法の領域から出題する。
	10月	民事法・司法制度（調停制度を含む）の領域から出題する。
	11月	民事法・司法制度（調停制度を含む）の領域から出題する。
	12月	民事法・司法制度（調停制度を含む）の領域から出題する。
	1月	民事法・司法制度（調停制度を含む）の領域から出題する。

科目名	出題範囲	
日本史特講（地方史学）	4月	農村 下級武士
	5月	近世文書 整理 調査方法
	6月	地方史研究 あゆみ 課題
	7月	江戸幕府 地方行政
	10月	江戸 町人
	11月	地方史 地域史
	12月	在郷町
	1月	地方史研究 史料保存
日本史特講（日本科学史）	教科書を十二分に学習すること。	
	4月	南蛮科学の伝来と影響
	5月	南蛮科学の伝来と影響
	6月	近世前期の科学
	7月	近世前期の科学
	10月	近世中期の科学
	11月	近世中期の科学
	12月	幕末期の科学
	1月	洋学の受容と江戸時代の科学との関連について
東洋美術史	[教科書]は指定テキスト（通教テキスト「東洋美術史」林良一）を指す	
	4月	教科書第Ⅰ章第三節を参照
	5月	教科書第Ⅱ章第三節を参照
	6月	教科書第Ⅲ章第一節（東トルキスタンの美術）4・5を参照
	7月	教科書第Ⅳ章第一節1を参照
	10月	教科書第Ⅳ章第一節2を参照
	11月	教科書第Ⅳ章第一節3を参照
	12月	教科書第Ⅳ章第一節4を参照
	1月	教科書第Ⅳ章第一節4を参照
東洋史特講（中国近世史）	4月	明代の政治①：元末の反乱と朱元璋の興起～明の統一と独裁体制の確立
	5月	明代の政治②：靖難の変と永楽・宣徳の盛世～土木の変と北虜南倭
	6月	明代の政治③：万暦帝の治世～闘争の激化と明朝の衰亡
	7月	明代の対外関係①：朝貢貿易と海禁政策～永楽帝の対外政策と日本
	10月	明代の対外関係②：明代中期の対外政策の推移と日明関係～明代後期の対外関係の変化
	11月	社会と経済①：中国社会の変化～農業生産と手工業の発達
	12月	社会と経済②：陶磁器業の発達～製鉄業の発達と変遷
	1月	社会と経済③：茶馬貿易と通商法～都市と農村
東洋史特講（中国現代史）	テキストで扱っている内容を試験範囲とし、1910～20年代を中心に1問、1930～40年代を中心に1問の計2問を出題する。	
指・西洋史特講（キリスト教史）	古代ユダヤ史（前10～後2世紀）および旧約聖書（モーセ五書、歴史書、預言書）。 初期キリスト教史（後1～2世紀）および新約聖書（共観福音書、使徒言行録、パウロの手紙）。	
西洋史特講（ロシア史Ⅰ）	4月	自然環境、スラヴ族、キエフ・ルーシ
	5月	自然環境、スラヴ族、キエフ・ルーシ
	6月	タタールの軛とリトアニア
	7月	タタールの軛とリトアニア
	10月	モスクワ大公国
	11月	モスクワ大公国
	12月	動乱時代
	1月	動乱時代

科目名	出題範囲	
西洋史特講（ロシア史Ⅱ）	4月	18世紀ロシア
	5月	農奴解放
	6月	反体制思想
	7月	第1次世界大戦と二月革命
	10月	十月革命
	11月	初期のソ連
	12月	スターリン体制
	1月	第2次世界大戦とソ連
日本史特講（海外交渉史）	教科書を十二分に学習すること	
	4月	江戸時代初期のオランダ、イギリスとの関係について
	5月	江戸時代初期の外交文書の作成について
	6月	台湾貿易について
	7月	日本人の海外進出
	10月	外国に移住した日本人
	11月	鎖国完成と輸入
	12月	幕末に至るまでのオランダの日本貿易
	1月	鎖国期の日本とオランダ

文学部 地理学科 専門教育科目

Contents

●2017年度 通信学習科目 指定テキスト・科目掲載ページ一覧……	148
●2017年度 通信学習シラバス ……………	150
●2017年度 設題総覧	
・レポート設題と参考文献……………	164
・指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足……………	181
●2017年度 単位修得試験の出題範囲 (p.182 に記載した留意事項を必ず確認して下さい) ……	182

2017年度 通信学習科目 指定テキスト・科目掲載ページ一覧

科目名	履修 学年	構成 単位	テキスト 種別 (入手方法)	2017年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社（市販 本のみ）／発行年／定価（税抜）	備考	教科書 コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
								シラバス	設題	試験範囲
人文地理学概論（１）	1	2	通教テキスト (配本)	『人文地理学概論（１）（２）』 第1版 中俣 均、近藤彰夫、片岡義晴、 小原文明、伊藤達也、米家志乃布、 2014年		—	—	150	164	—
自然地理学概論（１）	1	2	通教テキスト (配本)	『自然地理学概論（１）』第1版 三井嘉都夫、1996年	※前・通教テキスト 『地理学概論』	—	—	150	164	182
地理調査法（人文編）	1	4	通教テキスト (配本)	『地理調査法（人文編）』第1版 山口不二雄、1992年		—	—	150	165	—
地理調査法（自然編）	1	4	通教テキスト (配本)	『地理調査法（自然編）』第1版 東郷正美・佐藤典人・井上奉生、 1983年	専用レポートノート (2016年度改訂)	—	—	151	166	—
人文地理学概論（２）	1	2	通教テキスト (配本)	『人文地理学概論（１）（２）』 第1版 中俣 均、近藤彰夫、片岡義晴、 小原文明、伊藤達也、米家志乃布、 2014年		—	—	151	167	—
指・経済地理学	3	4	指定市販本 (各自購入)	『経済地理学入門—地域の経済発 展』（新版） 山本健児 原書房、2005年、¥2,800		S-078	¥2,816	151	167	—
指①・人文地理学（都市） (～2019年3月迄)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『現代都市地理学』北川建次、古 今書院、2004年	(テキスト変更： ～2019年3月迄) 経過措置テキスト	—	取扱い できません	—	168	—
指②・人文地理学（都市） (2017年4月～)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『よくわかる都市地理学』藤井正・ 神谷浩夫編著、ミネルヴァ書房、 2014年、¥2,600	(テキスト変更：2017 年4月～) 最新の指定テキスト	S-143	¥2,624	152	168	—
指・人文地理学（農業）	3	4	指定市販本 (各自購入)	『グローバル化に対抗する農林水 産業』 高柳長直・川久保篤志・中川秀一・ 宮地忠幸 農林統計出版、2010年、¥2,300	スタディガイドあり	S-085	¥2,330	152	168	—
指・人文地理学特講 (地域・産業・生活)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『南北・南南問題』（世界史リブレ ット56） 室井義雄、山川出版社、1997年、 ¥729	2冊使用します テキストガイドあり*1	S-082	¥783	152	169	—
				『民族とネイション』（岩波新書） 塩川伸明、岩波書店、2008年、 ¥780		S-083	¥833			
指・文化地理学	3	4	指定市販本 (各自購入)	『文化地理学入門』 高橋伸夫・田林明・小野寺淳・中 川正著 東洋書林、1995年、¥2,500	スタディガイドあり	S-087	¥2,535	153	169	—
指・自然地理学概論（２）	1	2	指定市販本 (各自購入)	『自然地理学概論』 (地理学基礎シリーズ2) 高橋日出男、小泉武栄編著 朝倉書店、2008年、¥3,300		S-076	¥3,312	153	170	182
指・地学概論	2	4	指定市販本 (各自購入)	『図説 地球科学』 杉村新、中村保夫、井田喜明、 岩波書店、1988年、¥3,800	スタディガイドあり	S-075	¥3,798	154	170	—
				(上記テキストが入手できない場 合の代替テキスト) 『地球の教科書』 井田喜明、岩波書店、2014年、 ¥1,800		S-144	¥1,834			
自然地理学（地形）	3	4	通教テキスト (配本)	『自然地理学（地形）』第1版 岡山俊雄、1976年		—	—	154	171	—
指・自然地理学 (生物・土壌)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『世界の土壌』 EM・ブリッジズ著 古今書院、2004年、¥3,600	法政大学生協で購入し てください スタディガイドあり	S-077	¥3,594	154	171	—
自然地理学 (気候・気象)	3	4	通教テキスト (配本)	『自然地理学（気候・気象）』 第1版 佐藤典人、2015年		—	—	154	171	—
自然地理学（海洋・陸水）	3	4	通教テキスト (申告制)	『自然地理学（海洋・陸水）』 第1版 三井嘉都夫、1984年		—	—	155	172	182
指・地誌学概論	2	4	指定市販本 (各自購入)	『地誌学概論』（地理学基礎シリー ズ3） 矢ヶ崎典隆・加賀美雅弘・古田悦 造編著 朝倉書店、2007年、¥3,300		S-086	¥3,312	155	172	—

* 1) 「人文地理学特講（地域・産業・生活）」のテキストガイドの参照方法はシラバスを参照してください。

科目名	履修学年	構成単位	テキスト種別 (入手方法)	2017年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社（市販本のみ）／発行年／定価（税抜）	備考	教科書コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
								シラバス	設題	試験範囲
日本地誌（１）（自然編）	2	4	通教テキスト (申告制)	『日本地誌Ⅰ（自然編）』第2版 三井嘉都夫、市瀬由自、佐藤典人、 1994年		—	—	156	173	182
指・日本地誌（２）（人文編）	2	4	指定市販本 (各自購入)	『授業のための日本地理〔第5版〕』 地理教育研究会編 古今書院、2010年、¥3,000		S-079	¥3,021	156	173	—
世界地誌（１）（アジア）	3	4	通教テキスト (申告制)	『世界地誌Ⅰ（アジア）』第1版 多田文男、1972年		—	—	156	174	182
指・世界地誌（２） （アメリカ・大洋州）	3	4	指定市販本 (各自購入)	『世界の国々を調べる』〔改訂版〕 矢ヶ崎典隆・椿真智子編 古今書院、2012年、¥2,800	同一テキスト	S-081	¥2,826	157	174	—
指・世界地誌（３） （欧・アフリカ）	3	4						157	174	—
地図学	3	4	通教テキスト (配本)	『地図学Ⅰ』第1版、清水靖夫、 2001年 『地図学Ⅱ』第1版、金澤 敬、 1981年	2冊使用します	—	—	157	175	182
指・史学概論	3	4	指定市販本 (各自購入)	『歴史学ってなんだ？』(PHP新書) 小田中直樹、PHP研究所、2004年、 ¥680		S-065	¥735	158	175	—
日本史概説	3	4	通教テキスト (配本)	『日本史概説』（第1版） 豊田 武、1975年		—	—	158	175	—
旧・東洋史概説 (～2019年3月迄)	3	4	通教テキスト (一) *2	『東洋史概説』（第1版）河原正博、 1975年	(テキスト変更： ～2019年3月迄) 経過措置テキスト	—	—	—	176	182
指・東洋史概説 (2017年4月～)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『概説 中国史（上）』 富谷 至・森田 憲司 編、昭和堂、 2016年、¥2,300	(テキスト変更：2017 年4月～) 最新の指定テキスト 2冊使用します。	S-139	¥2,340	159	176	182
				『概説 中国史（下）』 富谷 至・森田 憲司 編、昭和堂、 2016年、¥2,300		S-140	¥2,350			
指・西洋史概説	3	4	指定市販本 (各自購入)	『西洋の歴史〈古代・中世編〉』 山本 茂 他、ミネルヴァ書房、 1988年、¥2,400	2冊使用します	S-066	¥2,447	159	176	183
				『西洋の歴史〈近現代編〉』増補版 大下 尚一他、ミネルヴァ書房、 1998年、¥2,400		S-067	¥2,447			
指・社会経済学A	3	2	指定市販本 (各自購入)	『現代経済と経済学』（新版） 増田壽男・沢田幸治編 有斐閣、2007年、¥2,800	同一テキスト	S-088	¥2,826	159	177	183
指・社会経済学B	3	2						160	177	183
旧・日本史特講（日本仏教史） (～2019年3月迄)	3	4	通教テキスト (一) *2	『日本史特講（日本仏教史）』 笠原一男、小栗純子、1990年	(テキスト変更： ～2019年3月迄) 経過措置テキスト ※前・通教テキスト『日 本仏教史』	—	—	—	177	—
指・日本史特講（日本仏教史） (2017年4月～)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『日本仏教史』 養輪顕量、春秋社、2015年、 ¥2,400	(テキスト変更：2017 年4月～) 最新の指定テキスト スタディガイドあり	S-142	¥2,427	160	177	—
指・日本史特講（日本思想史）	3	4	指定市販本 (各自購入)	『概説日本思想史』 佐藤 弘夫編 ミネルヴァ書房、2005年、¥3,200		S-069	¥3,225	160	178	—
東洋史特講（中国現代史）	3	4	通教テキスト (配本)	『東洋史特講（中国現代史）』 (第1版) 栃木利夫、1982年	※前・通教テキスト 『中国現代史』	—	—	161	178	183
旧・西洋史特講 （西洋哲学史） (～2019年3月迄)	3	4	通教テキスト (一) *2	『西洋史特講（西洋哲学史）』 (第1版) 長谷川克彦、1986年	(テキスト改訂： ～2019年3月迄) 経過措置テキスト ※前・通教テキスト『西 洋哲学史』	—	—	—	179	—
新・西洋史特講 （西洋哲学史） (2017年4月～)	3	4	通教テキスト (配本)	『西洋史特講（西洋哲学史）』 (第1版) 鶴岡健、2017年	(テキスト改訂：2017 年4月～) 最新の指定テキスト	—	—	161	179	—
指・西洋史特講 （キリスト教史）	3	4	指定市販本 (各自購入)	『聖書 新共同訳 旧約聖書続編 つき』N144DC、¥3,600	いずれか1冊で可	S-073	¥3,624	162	179	183
				『聖書 新共同訳 中型ハンディ バイブル旧約聖書続編つき』 N134DCH、¥3,100		S-074	¥3,138			
西洋史特講（ロシア史Ⅱ）	3	2	通教テキスト (配本)	『西洋史特講（ロシア史Ⅱ）』 (第1版) 倉持 俊一、1980年	※前・通教テキスト 『ロシア史Ⅱ（ロシア 近代史）』	—	—	163	180	183

*2) 原則「教材交付願」での購入のみ。

2017年度 通信学習シラバス

人文地理学概論(1)

教科担当責任者：中俣 均

担当者：中俣 均
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 人文地理学の全体像を大づかみに把握し、それが形成されてきた時代的背景（学説史）などにも目を配りながら、同時に学習者各自の興味関心をその文脈の中に位置づけること。

2 科目の概要 本科目のテキストは、「人文地理学とは世界の多様さを知りその依って立つ基盤を考える学問分野である」と指定している。そして、多様さの実相をできるだけ身近な材料の中から学び取り、地理学的思考を日常生活の場から鍛えることを促す内容になっている。このテキストにしたがって、地理学にとって非常に重要な分布図（主題図）の読解を中心におきながら、地理学的な発想および思考を身につけることに努める。

3 成績評価基準 ・レポート評価

設題をしっかりと読んで、その狙いがどこにあるかを確かめることがまず大切。自分勝手に自己流の解釈ではいけない。また、長々と書かれたレポートは、えてして出来のよくないものになることが多い。必然性のない部分は思い切って削る勇気をもつこと。テキストや参考文献からの引用に際しては、総量をレポート全体の2割以下とし、引用部分はカッコでくくってその出典を明示すること。

・単位修得試験

テキストの内容から出題されるので、人名や概念的事項などポイントを押さえた学習を心がけること。なお、最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際には先に提出されたレポートの内容も考慮する。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『人文地理学概論(1)(2)』第1版、中俣均・近藤章夫・片岡義晴・小原文明・伊藤達也・米家志乃布著、2014年刊行 の第1部「人文地理学概説」の部分

5 学習指導、注意点等 本テキストは、上記「科目の概要」に記されているような観点から書かれているが、しかしこれが人文地理学とは何かという問いへの唯一の解答だというわけではない。できれば人文地理学を概説した市販の教科書をいくつか参照しながら、その内容を本テキストと比較してほしい。また、自分の普段の暮らしの中で接する様々な情報（たとえば新聞記事など）の中に、分布図（主題図）がどれだけ活用されているかを注意深く意識してほしい。分布図をたくさん「読む」ことは、地理学的発想を身につけるのに非常に有効な手段だからである。

自然地理学概論(1)

教科担当責任者：小寺 浩二

担当者：小寺 浩二、永保 敏伸
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 地理学の重要な一分野である自然地理学を総合的に学習する。人間活動の主要な舞台である地球表面の自然環境を総合的に理解することで、地域の特徴が理解できるようにする。また、様々な人為が自然環境に与える影響についても、日本の様々な地域での具体的な事例をもとに学習する。

2 科目の概要 自然地理学の基礎となる「気候学」、「地形学」、「水文学・陸水学」について基礎的な知識を学び、日本国内の様々な地域での「人為の影響による自然環境変化」について具体的な調査結果のデータから学ぶことで、総合的な力の育成をはかる。レポート設題での具体的なデータをもとにした解析・考察でさらに理解を深め、単位修得試験に向けた教科書の再学習で知識の定着をはかる。

3 成績評価基準 教科書の学習を踏まえたレポート設題で、具体的な課題に取り組む能力の育成をはかり、そのステップを踏んだ上での単位修得試験の結果で成績を評価する。

インターネットで集めた情報や、参考書類などからの内容をそのまま要約して転記するような姿勢ではなく、自分が当事者になった場合を想定し、具体的な議論をできるかどうかが重要である。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『自然地理学概論(1)』第1版、三井嘉都夫、1996年
(※ 前・通教テキスト『地理学概論』)

5 学習指導、注意点等 教科書では、日本国内の具体的な課題についての調査結果を中心に示しているが、それらの正しい理解のためには、基本的な自然地理学に関する知識が必要なので、テキストに示された参考文献などを中心に、自然地理学全般に関する知識を補う学習をする必要がある。

レポート設題も、単位修得試験も、そうした総合的な学習を前提として問題が出されているので、テキストの学習だけでは不十分であると考えて頂きたい。なお、レポート回答時に「設題解答にあたっての解説・注意」をよく吟味すること。

総合的な学習を進めた上で、しっかり時間をかけて具体的な資料・データを収集しレポート課題に取り組み、添削指導結果を踏まえて再学習した上で、単位修得試験に臨むことを期待する。

地理調査法（人文編）

教科担当責任者：片岡 義晴

担当者：片岡 義晴、前畑 明美
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 人文地理学の卒業論文を作成する上で必要とされる基礎的技術を身につけること、それと同時に人文地理学における論文の形式、人文地理学の論文のまとめ方を学ぶこと、それがこの科目の到達目標です。

2 科目の概要 5つの設題をこなしていくことによって、人文地理学の卒業論文作成に必要な基礎的技術を身につけていきます。論文を読み読書ノートを作成すること、論理を実証するための図・統計地図を作成すること、研究目的を達成するためのオリジナルな調査票を作成すること、論文の中でもっとも重要な論理、それを示す目次案を作成すること、それらが各設題の意図です。

各課題をこなしていくことによって、卒業論文作成の技術を身に付け、同時に人文地理学の論証方法を学んでいきます。

3 成績評価基準 レポートは設題(1)～(5)すべてを同時に提出し、それらに全て合格することによって試験に合格したと見なし、単位が与えられます。レポートそのものが試験なのです。5設題のうち一つでも不合格の場合は、当該設題について再提出を求めます。

設題(1)は論文をキチンと読み、適切に要約できているか否か、設題(2)・(3)は資料（統計等の「原典」）に自らあたり、そ

れをもとに独自に図・統計地図を作成し、それらに基づいて論理展開できているか否かがそれぞれ評価基準です。図の表現方法の適切さも評価基準の一つに含まれます。設題(4)は研究目的が適切に設定され、その目的達成のためにオリジナルな資料(既存の統計等では得られない資料のこと)を得ようとしたとき必要になる「調査票」が適切であるか否か、設題(5)は研究目的を実証するための論理展開、それが反映されることになる「目次」が明確であるか否か、それらが評価基準です。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『地理調査法(人文編)』第1版、山口不二雄、1992年

5 学習指導、注意点等 どこかの報告書の図表や調査票を転載したり、二次資料を利用することでは、この科目の目的は達成されません。統計等の資料、その原典にあたり、それを加工、つまり図や表を作成し、それらに基づいて論理展開できるようにして下さい。そのためには、まず最初に論文をキチンと読むことから始めなければなりません。論文に示されている図表には、使用した資料名が明記されています(図表の下に「資料」とか「出典」等として明記されています)。それらを参考にして資料原典(具体的な資料名)を確認し、それらをさがすことから始めて下さい。

地理調査法(自然編)
教科担当責任者：山口 隆子
担当者：狩野 真規、山口 隆子 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 地理学を構成している主要分野である「自然地理学」を学ぶ上で必要とされる基本的な実習作業を適正に学び、習得することに本科目の目標がある。これは卒業要件となっている「卒業論文」の作成に際しての統計処理や図作成作業を習得する基礎的な科目として位置づけている。

2 科目の概要 上記の目標達成のために、自然地理学を構成している地形・地質、気候・気象、水文などの各分野における基礎的な実習作業の狙いとその作業手順を適正に理解・習得するため、分野に偏りなく課題を課して、その作業結果をもとに達成度を相互に認識することを、主目的に実施する。

3 成績評価基準 この科目の性格から、通常の筆記試験での評価は馴染まない。そこで自然地理学を構成する各分野の課題に総合的な課題を加えて、通常よりも1設題多い、計5設題を課して、その設題への作業結果などをもとに評価する。各設題とも8割以上の適正な作業結果、および作業の正確度を一つの目安としてチェックした上で、5設題合計でこの科目の最終評価としている。よってすべての課題の合格が単位認定の基準となる。なお、設題は5設題を一括して提出すること。また、紙媒体の「設題総覧」を合わせて読むことを求める。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『地理調査法(自然編)』第1版、東郷正美・佐藤典人・井上奉生、1983年

5 学習指導、注意点等 前項の指定テキストを十分に読み、基本的な作業の狙いと手順を適正に理解した上で、個々の設題に取り組むことが、結果的に時間的にも無駄が少なく、単位修得への近道となる。それゆえ往々にして見られる、設題に関連していそうなページのみをつまみ食いの読んで対応しているレポートもあるが、結局、不正確な内容が多くて、時間的にはロスとなっている。

人文地理学概論(2)

教科担当責任者：中俣 均

担当者：中俣 均
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 人文地理学は、いくつかの下位分野(分岐)からなる。本科目では、それら下位分野の内容(対象と方法)をそれぞれ大づかみに把握し、その分野の基本的知識を整理・獲得するとともに、自らの関心分野の方向性について自己確認することが目標である。

2 科目の概要 本科目は、上記のような人文地理学を構成する各下位分野が、どのような対象に対しどういった方法・視点によってそれを分析・考察するものであるかを、できるだけ平易かつ具体的に学ぶものである。

3 成績評価基準 ・レポート評価

設題をしっかりと読んで、その狙いがどこにあるかを確かめることがまず大切。自分勝手な自己流の解釈ではいけない。また、長々と書かれたレポートは、えてして出来のよくないものになることが多い。必然性のない部分は思い切って削る勇気をもつこと。テキストや参考文献からの引用に際しては、総量をレポート全体の2割以下とし、引用部分はカッコでくくってその出典を明示すること。

・単位修得試験

テキストの内容から出題されるので、人名や概念的事項などポイントを押さえた学習を心がけること

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『人文地理学概論(1)(2)』第1版、中俣均・近藤章夫・片岡義晴・小原文明・伊藤達也・米家志乃布著、2014年刊行の第2部～第4部の部分。

5 学習指導、注意点等 テキストの各章は、それぞれの分野を専門とする教員の手によって執筆されている。まずはテキスト全体を、細部にあまりこだわらずにざっと読んでその内容をつかみとり、そのうえで自分の興味をひかれた個別の章から、ノートを取りつつ詳細に読み込んでいくとよい。

経済地理学

教科担当責任者：伊藤 達也

担当者：伊藤 達也
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 経済地理学の基本的な考え方、方法を学ぶことによって、社会・経済現象に対して経済地理学からどのように捉えることができるかについて理解することを目的とする。

2 科目の概要 経済地理学は人文地理学の中で、特に経済現象を地理学的視角からとらえていくことを目的とする。テキストとして山本健児『経済地理学入門－地域の経済発展』(新版)を使用する。本テキストは経済地理学の基本的な考え方、方法論を最も適切かつ簡潔に記している。

3 成績評価基準 成績評価は設題に対するレポートと単位修得試験による。

レポートについては、特に引用文献を適切に提示することに注意すること。

単位修得試験の場合、必ずテキストをすべて理解した上で臨むこと。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 山本健児『経済地理学入門―地域の経済発展』（新版）、原書房、2005年、¥2,800+税

5 学習指導、注意点等 成績評価基準に書いた通り。レポートは適切な引用と、自らのオリジナルな調査結果によって記述されるものである。その際、多くのレポートは引用によって成り立つものであるため、必ず、どの文献のどの部分を引用したかがわかるように本文中に記述すること。引用の仕方がわからない場合は、専門論文などを参考にしたい。

単位修得試験は解答者の意見を聞く場ではなく、解答者の適切な理解度を問う場である。テキストをしっかりと理解した上で臨むこと。

人文地理学（都市）

教科担当責任者：伊藤 達也

担当者：伊藤 達也、小原 文明

単位数：4 単位

※ 2017 年 4 月よりテキスト（指定市販本）変更

1 学習の到達目標 この科目では、地理学、とりわけ都市地理学の観点から、都市における諸現象を理解することを目指します。具体的には、都市に関わるさまざまな理論を踏まえつつ、都市における経済、社会、政治、文化などの諸現象について、その要因や影響などを理解できるようになることを目指します。

2 科目の概要 この科目は人文地理学のうち、特に「都市」に関わる地理学を学ぶものです。都市を「点」（研究対象・単位）として、あるいは「面」（研究フィールド）として捉え、それぞれの観点に基づく事象について学んでいきます。具体的には、「点」としての観点では都市システムや都市分類などについて、「面」としての観点では都市化や都市構造、都市圏構造、都市における産業などについて学びます。また、創造都市やコンパクトシティ、多文化共生、都市災害、都市問題など現代に関わる事象についても考えていきます。

3 成績評価基準 主として単位修得試験の結果を成績評価に反映させます。ただし、2 回のレポートの評価も成績評価に加味するので留意してください。

単位修得試験およびレポートの評価は、都市地理学の原理・理論が正しく把握できているのか、都市に関わる諸現象の要因・プロセス・影響などを理解できているのか、空間に則した分析・考察ができているのか、そしてアカデミックな文章作成のルールが守られているのか、などのポイントを総合的にみて判断します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『よくわかる都市地理学』ミネルヴァ書房、藤井 正・神谷浩夫編著、2014 年、¥2,600+税

5 学習指導、注意点等 この科目では地理学の観点から都市を理解し、分析・考察する力を修得することを目指しますが、都市におけるさまざまな事象を扱う授業の性質上、地理学のみならず、社会学や経済学、行政学、都市計画学など隣接分野の関連文献にも注意を払うことが求められます。

また、レポート作成の際には以下の点に留意してください。

- ・文献を引用・参照する場合は、必ずルールにしたがって、引用元・参照元を明示するようにし、自身の意見であるのか、あるいは既往文献の見解であるのかの区別がつくように気を付けてください。
- ・統計など具体的なデータを基に分析し、議論を展開するよ

うにしてください。

- ・レポートには表題（タイトル）を付けてください。

<参考文献>

加藤政洋・大城直樹編著（2006）：『都市空間の地理学』ミネルヴァ書房、3,150 円

高橋伸夫・村山祐司・菅野峰明・伊藤 悟（1997）：『新しい都市地理学』東洋書林、2,625 円

林 上（2012）：『現代都市地理学』原書房、3,990 円

人文地理学（農業）

教科担当責任者：片岡 義晴

担当者：片岡 義晴、今野 絵奈

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 グローバリゼーションが急速に進展しつつある今日の日本において、農業の現状（現象面）把握と、それに伴う様々な困難（矛盾）からの脱却をこころみようとする日本各地の取り組みを把握すること、それらの相互関係（「相互依存」もあれば「対立」もある）を把握することによって、日本農業の仕組みと実態を理解できるようになることをめざします。

2 科目の概要 まずは、グローバル化がどのようなかたちをとりつつ農業において進展しているかを把握します。その上で、それらからの脱却、あるいは克服のためのこころみを日本各地の事例に学んでいきます。

3 成績評価基準 テキスト、参考文献の「丸写し」は評価対象外です。それらを「疑い」つつ読む、すなわち「読みこなせているか否か」「整理できているか否か」がレポート評価の基準です。単位修得試験の評価基準は、テキストをきちんと読んでいるか否か、記載されている内容が理解できているか否かです。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『グローバル化に抵抗する農林水産業』、農林統計出版、高柳長直・川久保篤志・中川秀一・宮地忠幸編著、2010 年、¥2,300+税
※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 テキストや参考文献の「丸写し」は進歩につながりません。そこに記載されている「現象」を大きな「仕組み」、たとえば日本の社会・経済、世界の社会・経済の中に位置づけ、その現象は、それらの「何」を反映しているのか考えながらレポートを作成して下さい。

テキストに記載されていることがらも決して「鵜呑み」にせず、「疑い」の目を向けつつ読んでいって下さい。参考文献もまた、同様に「鵜呑み」は厳禁です。

レポート作成に際し、参考・引用した文献がある場合は、それを明記して下さい（著者、タイトル、発行・出版年、雑誌名、発行・出版社、ページ等）。これは地理調査法（人文編）でも学んだことです。

人文地理学特講（地域・産業・生活）

教科担当責任者：片岡 義晴

担当者：高木 正

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 (a) 南北問題の認識を深める。南北問題とは、先進地域と発展途上地域の経済格差およびこれを主たる

原因として発生する諸問題の総称で、この具体的な事例を学ぶ。
(b) 近代世界における民族ならびに国民国家の問題への知識を深める。

2 科目の概要 (a) 15、16 世紀のスペイン・ポルトガルなどヨーロッパ諸国がヨーロッパの外部にでた大航海時代以降、ヨーロッパ中心の、資本主義世界経済が、如何に形成・拡大してきたかを学ぶ。その中で生じた先進地域と発展途上地域の格差（南北問題）、近年になって拡大してきた発展途上国間の格差（南南問題）、そして新興国の台頭などについて考える。

(b) 近代世界における「民族」の位置づけ、ならびに近代国家の基本制度となっている「国民国家」(nation state) と民族の関係について、世界各地の民族紛争の実情を踏まえて考えていく。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。レポートについては、作成のルールを守っているかどうかを最初にチェックする。その上で設題に対する理解ができていのかどうか、論旨の展開（論文構成）がしっかりできているかどうか、文章表現が適切かどうかなどと言った点から評価する。

4 テキスト名および詳細 (a) 指定市販本『南北・南南問題』（世界史リブレット 56）、山川出版社、室井義雄、1997 年、¥ 729+税

(b) 指定市販本『民族とネーション』（岩波新書）、岩波書店、塩川伸明、2008 年、¥ 780+税

【参考資料】

この科目には、上記テキストの補足として「テキストガイド」が作成されている。参照方法は次のとおり。

①ウェブ学習サービスにログインし、ページ右側のリンクメニュー【地理学科_学習資料】から参照する。

②通信教育部レポート担当宛に請求する（電話／郵送／窓口で受付）

③過年度シラバス（『通信学習シラバス・設題総覧 2016』）pp.190-195 を参照する。

※郵送請求の場合は、自由書式に学生証番号、氏名、請求資料名、送付先住所を記載のこと。

5 学習指導、注意点等 リポートの作成はあくまで自分自身の文章で書くのが基本である。論文や文献を参考・引用する際は、かならずルールを守って欲しい。

文化地理学
教科担当責任者：中俣 均
担当者：中俣 均 単位数：4 単位 ※リポート（第 1 回・第 2 回）一括提出不可

1 学習の到達目標 文化地理学は、幅広い内容を有するがゆえに、欧米では時に「人文地理学」とほぼ同内容の学問分野であると考えられているほどである。したがって、本科目においてはまず 20 世紀前半のアメリカで C. Sauer および Berkeley 学派によって構想された「文化地理学」の基本的な考え方を了解し、同時に「人文地理学」全般に通底する思想・考え方を学ぶことを目標とする。

2 科目の概要 20 世紀に確立された古典的な「文化地理学」、すなわちアメリカの地理学者・C. Sauer とその衣鉢を継ぐ Berkeley 学派の文化地理学の基本について、その精神を理解しながら学ぶ。キーワードは、「文化景観」。それを通じて地理学的なものの方・考え方を身に着けることを目指す。

3 成績評価基準 ・リポート評価

設題をしっかりと読んで、その狙いがどこにあるかを確かめることがまず大切。自分勝手な自己流の解釈ではいけない。また、長々と書かれたリポートは、えてして出来のよくないものになることが多い。必然性のない部分は思い切って削る勇気をもつこと。テキストや参考文献からの引用に際しては、総量をリポート全体の 2 割以下とし、引用部分はカッコでくくってその出典を明示すること。

・単位修得試験

テキストの内容から出題されるので、人名や概念的事項などポイントを押さえた学習を心がけること

4 テキスト名および詳細 指定市販本 高橋伸夫・田林明・小野寺淳・中川正著『文化地理学入門』、1995 年、東洋書林、¥2,500+税

※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 本テキストは本来、教室で教員が中身について詳しく解説しながら理解を進めていくように作られている。したがって学習者は、テキストの中身をザッと読んでだけでは理解が十分には出来ない恐れがある。それを克服するには、各章末にある具体的な参考文献をできるだけ数多く読みながら、自分でテキストに示された骨格に肉付けしてゆく努力が必要である。具体的にはまず、第 1 章を読んでこの学問分野の概要をつかむこと。次に、第 2 章は飛ばして第 3 章から読み進め、第 9 章まで読み終わったら、最後に第 2 章に戻ってこの分野の学説史を頭の中で整理するとよい。『スタディガイド（学習指導書）』をよく参照することが大切である。

自然地理学概論(2)
教科担当責任者：小寺 浩二
担当者：小寺 浩二 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 地理学の重要な一分野である自然地理学の基礎を学び、地域における人間活動の舞台として自然環境を捉え、その分析を通して人間・社会と自然環境との相互関係について理解を深める。

2 科目の概要 人間活動の舞台である地球表面の自然環境を構成する要素は、大きく岩圏、気圏、水圏及び生物圏にわけられる。それぞれ内部に独自の仕組みを持ち、さらに相互作用を及ぼしあっている多様で複雑なシステムである。自然地理学は、このような自然環境のシステムに対応した地形学、気候学、水文学（陸水学）、生物地理学などの多様な分野から構成されており、自然環境を理解するための広範な視野と学問的な基礎力を身につけることができる。

3 成績評価基準 テキストの学習を踏まえたリポート設題に取り組み、その添削指導によって具体的な課題への取り組み方を学習した上で単位修得試験を受け、その結果をもとに成績評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『自然地理学概論』（地理学基礎シリーズ 2）、朝倉書店、高橋日出男・小泉武栄編著、2008 年、¥ 3,300+税

5 学習指導、注意点等 テキストの内容は多岐にわたるが、15 章全てをまんべんなく学ぶ必要がある。その上で、リポート設題で示されたいくつかの課題の中から具体的なテーマを選び、対象地域を選定してより深く学習する。

単位修得試験では、そのステップを踏まえて、総合的な問題が出るので、改めてテキストを学習しなおして受験することを期待する。

地学概論
教科担当責任者：前杵 英明
担当者：羽田 麻美、前杵 英明 単位数：4 単位
※レポート（第1回・第2回）一括提出不可

1 学習の到達目標 地球の現在の姿、地球内部の構造と物質、地球の形成の歴史および地殻変動や火成活動をもたらすプレートテクトニクス等についての基礎的な事項を正しく理解し、知識を習得することを目標とする。

2 科目の概要 地球史を踏まえて地球の現在の姿を総合的に理解する。とくに固体地球についての理解を深めるために、太陽系の中での地球の位置づけ、地球の構成とそれをつくる物質、プレートテクトニクスと地殻変動・火成活動、古生物からみた地球史について詳しく学ぶ。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかり行うこと。）

4 テキスト名および詳細 指定市販本『図説地球科学』杉村 新・中村保夫・井田喜明、岩波書店、1988 年、¥3,800+税 ※【スタディガイド（学習指導書）】あり。
なお、この指定市販本は版元品切れで、手に入らない場合があります。その場合は以下の市販本を代替テキストといたします。井田善明著『地球の教科書』岩波書店、2014 年、¥1,800+税 ISBN978-4-00-006251-0

5 学習指導、注意点等 まずは指定教科書とスタディガイドを熟読して下さい。その上で、最新の地球科学の内容を補うため、以下の参考書を読むことを推奨します。わかりやすい映像教材として、NHK が制作した「地球大紀行」「地球大進化」は DVD 製品として販売されており、本科目の導入として見ておくことをお勧めします。

日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』、古今書院、1987 年、¥2,200+税

酒井治孝著『地球学入門』、東海大学出版会、2003 年、¥2,800+税
川上伸一・東條文治著『図解入門 地球史がよくわかる本』第 2 版、秀和システム、2009 年、¥2,000+税

平 朝彦著『地質学 1～3』、岩波書店、2001～2007 年、¥3,800～5,200+税

自然地理学（地形）
教科担当責任者：前杵 英明
担当者：前杵 英明 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 地球表面の形態である地形について、地形を決定する要因（スケール、時間、作用、物質、環境）に関して理解し、基礎的な知識を身に付けることを目標とする。

2 科目の概要 地球システムの中での地形の意味、地形を形成する作用（内作用、外作用）について理解した上で、各地形

形成作用（重力、河川、海岸、氷河、火山、地殻変動など）ごとに、形成される地形の特徴、形成メカニズムなどについて、学習する。また農業や自然災害など、人々の生活に関係した事象がどのように地形と結びついているかについても考察する。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたりレポートの内容も考慮する。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『自然地理学（地形）』第 1 版、岡山俊雄、1976 年

5 学習指導、注意点等 テキストを熟読すること。通教のテキストは発行が古いため、情報がやや古くなっております。下記の参考文献は理解を深めるために大変役立ちます。新しい情報でレポートを作成して下さい。図書館や地理学科事務室などで見られるものもあります。

『写真と図で見る地形学』（復刻版）、太田陽子ほか、東京大学出版会、2007 年（初版は 1985 年）、¥4,800+税

『発達史地形学』貝塚爽平、東京大学出版会、1998 年、¥4,200+税

『日本列島の地形学』太田陽子ほか、東京大学出版会、2010 年、¥4,500+税

『東京の自然史』貝塚爽平、講談社学術文庫、2011 年、¥1,080+税

『日本の地形』貝塚爽平、岩波新書、1977 年、¥800+税

自然地理学（生物・土壌）
教科担当責任者：前杵 英明
担当者：羽田 麻美 単位数：4 単位
※レポート（第1回・第2回）一括提出不可

1 学習の到達目標 私達の最も身近にあり、恩恵に浴している土壌や植生に着目し、それらの分布様式のもつ規則性を理解することを目的とする。

2 科目の概要 土壌の定義、土壌の生成作用について述べ、土壌は自然条件によってその特性を異にすることを詳述する。その上で、世界の土壌の分布特性を考察する。特に、気候条件、植生の条件などにより、土壌特性が異なっていることを理解してほしい。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたりレポートの内容も考慮する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『世界の土壌』、古今書院、EM・ブリッジズ著、2004 年、¥3,600+税
テキストは法政大学生協で購入して下さい。
※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 【学習にあたっての注意事項】テキストを十分に読んで理解して下さい。
【参考文献】特に指定しません。専門用語がわからない場合は、『地学事典』（平凡社）などを活用して下さい。

自然地理学（気候・気象）
教科担当責任者：山口 隆子
担当者：山口 隆子 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 自然地理学的主要分野の一つである気

候・気象学に関して学ぶことが本科目の目的である。昨今の気候環境や地球温暖化の問題が強く叫ばれている関係から、多くの関心を集めている本科目に関わる基礎的な内容を適正に理解することが到達目標である。

2 科目の概要 大気に関して地理学の視点から学ぶことが本科目の根幹的な狙いである。そのためには、大気物理である気象学の必要最低限の知識を踏まえつつ、「気候学」の基礎、すなわち大気現象のスケールに応じて、大気候、総観気候、中気候、小気候、微気候、応用気候の各分野を適正に理解することが肝要なので、履修者にはその点を要請する。

3 成績評価基準 基本的には、通信教育の基礎である設題へのレポート作成を通して、気候学の理解度をチェックし、選択した2設題に合格した後に、単位修得試験(筆記試験)を課している。

最終的な評価は、筆記試験を基礎にして評価する。ただし、必要に応じて設題へのレポート内容を加味する場合もある。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『自然地理学(気候・気象)』佐藤典人、2015年

5 学習指導、注意点等 まず指定しているテキスト(2015年4月に新規刊行)を最初の方から読み、その内容を適正に理解・把握した上で、設題に臨むことを要請する。つぎに各設題では何を求めているのか設題との整合性に十分、留意して欲しい。往々にして的外的な内容のレポートを拝見するので、それでは単位修得は望めない。またレポートの構成を意識することが大事である。このレポートの作成内容と単位修得試験の結果とは、多くの点で整合することからも、やはり日ごろからの勉学が肝要と言える。

自然地理学(海洋・陸水)
教科担当責任者：小寺 浩二
担当者：小寺 浩二 単位数：4単位
※レポート(第1回・第2回)一括提出不可

1 学習の到達目標 自然地理学を学ぶ上で地理学における重要な一分野である「海洋・陸水学」について、系統的な「水圏」に関する基礎知識の習得を目指す。

2 科目の概要 基礎水文学として、水収支・水循環の視点から、水の性質が、その場所の環境とどのように反応し、その場所に則した存在となるか、といった広範囲な水の性格を取り上げる。

3 成績評価基準 教科書による学習を踏まえた上で、2つのレポート設題に答え、単位修得試験での3つの問題に適切に回答することが条件である。レポートと試験結果を総合して評価する。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『自然地理学(海洋・陸水)』第1版、三井嘉都夫、1984年
※【申告制】テキスト

5 学習指導、注意点等 教科書でふれられている「湖沼」、「地下水」分野に加えて、「水文学」、「陸水学」の観点から、水収支・水循環を前提にした「河川」や「雪水」についても学習し、総合的な力を修得することを期待する。

また、教科書で示されている各地域での具体的な事例にとどまらず、様々な地域の水環境や水問題についても興味を持って

学習を進めてほしい。特に、レポート設題では、具体的な地域を選定して、実際のデータを収集し、図表などを作成した上で、自分なりの解析を行った結果をまとめることを求めているので、そうした総合的な力の育成も平行して求めている。

それらの十分な学習を踏まえた上で、単位修得試験に取り組むことが必要なので、十分な時間をかけて学習して頂きたい。

地誌学概論
教科担当責任者：米家 志乃布
担当者：川元 豊和 単位数：4単位

1 学習の到達目標 「所かわれば品かわる」といわれるように、各地域で見られる生活様式も多様な様相を呈しています。これらの生活様式の多様性を地理的現象(自然的現象や人文的現象など)の諸要素のかかわりあいから捉える視点を養うことを目標とします。

2 科目の概要 地誌とは、「土地の記述」という意味です。その記述の視点と方法を学ぶのが本科目の主要な目的の1つです。まず、どのような空間スケールで地域を設定するのか、そして、設定された地域の特色(個性)は、どのような地理的現象によって表現されるのか、その際、地域の特色を醸し出す地理的現象を構成するいくつかの「意味ある事象」を見出すことが重要です。それらの事象の関連から地域の特色について記述を加えてほしいところです。なお、現在見られる地域的諸現象は歴史的重層性の上に成立し、変化してきたことも考慮してほしいところです。特に、テキストの「1. 地誌学の視点と方法」を熟読して下さい。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価します。(ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。)レポートおよび単位修得試験の評価は、地誌学的な視点が正しく把握されているのか、対象地域の空間的スケールに即した考察がなされているのか、そして設題内容を正しく理解し、記述されているのか、などです。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『地誌学概論』(地理学基礎シリーズ3)、朝倉書店、矢ヶ崎典隆・加賀美雅弘・古田悦造編著、2007年、¥3,300+税

5 学習指導、注意点等 レポート作成の際、テキストや参考文献からのそのままの引用(丸写し)は避けて下さい。レポートの文章のなかで引用部分はカッコで区切り、誰の見解なのかを明確に示して下さい。参考文献からの引用があるときは、必ずその出典(著者名・発行年・文献名・発行所・参考または引用頁など)を明記して下さい。また、具体的な統計資料が必要な場合は、出来るだけ最新のものを示して下さい。多くの国々の統計局が、インターネット上に統計資料を公開しています。インターネットにアクセスできない人は、矢野恒太郎記念会編『世界国勢図会』国勢社や二宮書店編集部編『データブック・オブ・ザ・ワールド』二宮書店などを参考にして下さい。なお、地図帳で対象地域の位置を確認しながら、学習を進めてほしいと思います。

<参考文献>

長谷川典夫『地誌学研究—地誌作成法とその事例—』、大明堂、1994年
矢ヶ崎典隆・椿真知子編『世界の国々を調べる—改訂版—』(東京学芸大学地理学会シリーズ4)、古今書院、2012年

日本地誌(1) (自然編)

教科担当責任者：山口 隆子

担当者：内藤 次郎、中山 秀晃、前空 英明、山口 隆子
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 地理学を構成している地誌の分野の一つとして本科目は位置づけられている。それゆえ「地誌」的な見方に立脚して、日本の自然地理的な現象の理解を図ることが本科目の狙いである。

2 科目の概要 本科目では、自然地理を構成している地形、気候、水文の各分野の視点から日本の自然地理的事象を地誌的に捉え・理解することを狙いとしている。よってそれらの事象の特性を、地域単位、および日本全体で履修者には適正に理解して欲しい。

3 成績評価基準 本科目は、前項に示したように主に3分野で構成しているので、まず各分野ごとのレポート設題を指示に従って選択して作成することが要求される。それらのレポートに合格した後、単位修得試験(筆記試験)を受験することを要求している。その筆記試験の結果で最終的な評価をする。ただし、評価に臨んでは、個々の分野を担当する複数の教員の評価を総合して評価する。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『日本地誌Ⅰ(自然編)』第2版、三井嘉都夫、市瀬由自、佐藤典人、1994年
※【申告制】テキスト

5 学習指導、注意点等 まず指定のテキストを十分に読むことから学習を始動して欲しい。その上で、各設題を念頭に、個々の設題で何が求められているのか、熟慮し、下書き作成に入ってほしい。この下書きを書いたら、修正を入れ、この作業を数回した上で、清書することを要請する。またレポート全体の構成を意識することは言わずもがなである。なお、参考となる書籍を読まれることは自由であるが、出典の文献明記はお忘れなく。

日本地誌(2) (人文編)

教科担当責任者：伊藤 達也

担当者：前畑 明美
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 日本は、世界各国の中で面積は決して小さくなく、人口は大変多いという特徴を持っている。さらに地形は南北に長く、地域は多様である。本科目では、こうした地域の多様性、特徴を、特に人文・社会現象について理解することを目標とする。

2 科目の概要 日本各地の地域の多様性、特徴について、地域のユニークな現象としてではなく、日本、そして世界を貫徹するメカニズムの一環として理解することは大変難しい。テキストとして使用する地理教育研究会編『授業のための日本地理[第5版]』は、そうした地域の多様性に貫徹する法則に注意を払いながら記述されたものであり、わが国の地域的多様性の理解において大変優れたテキストである。テキストの各章には、全国各地の代表的なトピックが適切に記述されている。

3 成績評価基準 成績評価は、設題によるレポートと単位修得試験の総合評価による。レポートについては、特に引用文献

を適切に提示することに注意すること。丁寧な推敲により、レポートの完成度が高められているか、この点も重要な評価ポイントとしたい。単位修得試験に際しては、必ずテキストをすべて読み、重要な点を理解した上で臨むこと。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 地理教育研究会編『授業のための日本地理[第5版]』古今書院、2010年、¥3,000+税

5 学習指導、注意点等 成績評価基準に書いた通り。レポートは適切な引用と、自らのオリジナルな調査結果によって記述されるものである。その際、多くの学習レポートは引用によって成り立つものであるため、必ず、どの文献のどの部分を引用したかがわかるように記述すること。引用の仕方がわからない場合は、専門論文などを参考にして欲しい。また、一度書き上げてからの推敲も、様々な発見の機会となる。ぜひ大切な学びの時間として捉えていただきたい。

単位修得試験は解答者の意見を聞く場ではなく、解答者の適切な理解度を問う場である。テキストをしっかりと理解した上で臨むこと。

世界地誌(1) (アジア)

教科担当責任者：小寺 浩二

担当者：大八木 英夫、小寺 浩二
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 地理学において、系統地理学と並び重要な「地誌学」の基礎を理解し、中でも世界地誌・広域地誌の対象地域としてのアジアの具体的な地誌を学び、様々な地域特性とその地誌としての記述方法について学習する。

2 科目の概要 アジア全域を対象とした地誌から、気候・地形・植生・水環境など様々な自然環境の特徴とアジア各地の違いを理解する。その上で、文化・社会的な特徴についても理解し、地誌の記述方法についても学ぶ。

特に、東アジアを中心に詳細に記述された地誌により、日本との比較を行い、日本の地誌についてもアジアにおける位置づけの中で理解を深める。

3 成績評価基準 テキストの学習を踏まえたレポート設題により、理解を深め、テキスト内容に即した単位修得試験の結果により、成績を評価する。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『世界地誌Ⅰ(アジア)』第1版、多田文男、1972年
※【申告制】テキスト

5 学習指導、注意点等 テキストは、出版年が古いため、最近の変化についてはふれられていない。テキストの学習によって得られた知識と理解をもとに、様々な文献にあたって、近年の状況についても理解を深める努力をしてほしい。

特に、レポート設題でも単位修得試験でも、現在のアジアの状況を前提とした問題となっているので、注意されたい。

【参考文献】

●倉嶋厚著『モンスーン 季節をはこぶ風』河出書房新社、1972年、¥580+税

●朝倉正他著『新版気象ハンドブック』朝倉書店、1995年、¥28,000+税

●鈴木秀夫著『風土の構造』講談社、1988年、¥800+税

●河野通博編『世界地誌ゼミナールⅠ東アジア』大明堂、1971年、¥1,800+税

●岩田慶治編『世界地誌ゼミナールⅡ南アジア』大明堂、1972年、¥2,175+税
 ※現在入手困難な出版物も含まれますので、図書館等も利用してください。
 また、複数の会社から出版されているいわゆる「地図帳」（名称は様々）は、毎年更新されており、様々な主題図や最新の情報が開催されていますので、参考にしてください。

世界地誌(2) (アメリカ・大洋州)
教科担当責任者：前杵 英明
担当者：小原 文明、前杵 英明 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 本科目では、アメリカ・大洋州を対象地域として、地誌学的なモノの見方・考え方を理解し、修得することを目標とします。そして、それを踏まえて、対象地域に関連するあらゆる事象の要因・プロセス・影響・相互関連性などについて分析・考察できるようになることを目指します。

2 科目の概要 地理学には地誌学（特殊地理学）と系統地理学（一般地理学）がありますが、地誌学とは、ある地域の特徴を記述することから、その地域の特徴を浮かび上がらせることを目的としています。

この科目では、世界のなかでも南北アメリカ・大洋州（オセアニア）を対象とし、それぞれの地域の特徴について、主にその地域を構成する国家を中心に、さまざまな参考文献や統計・図表を用いて、自分なりの視点で論述してみることを学習していきます。

3 成績評価基準 主として単位修得試験の結果を成績評価に反映させます。ただし、2回のレポートの評価も成績評価に加味するので注意してください。

単位修得試験およびレポートの評価は、アメリカおよび大洋州に関わる現象の要因・プロセス・影響などを理解できているのか、地誌学的なモノの見方・考え方（それぞれの事象を有機的に関連させて考える）が正しく把握できているのか、空間に則した分析・考察ができているのか、そしてアカデミックな文章作成のルールが守られているのかなどのポイントを総合的にみて判断します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 矢ヶ崎典隆・椿真智子編『世界の国々を調べる（改訂版）』古今書院、2012年、¥2,800+税

5 学習指導、注意点等 地誌学の性質上、対象地域に関わるさまざまな事象を扱います。それゆえ、教科書および下記の参考文献にとどまらず、多くの文献を用いて学習することが望めます。その際、地誌学や地理学の文献だけでなく、あらゆる学問分野の文献を参照し、その内容を地誌学的なモノの見方・考え方に則して把握することが必要となります。

また、レポート作成の際には以下の点に留意して下さい。
 ・文献を引用・参照する場合は、必ずルールにしたがって、引用元・参照元を明示するようにし、自身の意見であるのか、あるいは既往文献の見解であるのか区別がつくように気を付けてください。

・統計など具体的なデータに基づいて分析結果などを議論するようにしてください。

・レポートには表題（タイトル）を付けてください。

<参考文献>

熊谷圭知・片山一道編（2010）『オセアニア 朝倉世界地理講

座 15』朝倉書店、¥19,000+税

小塩和人・岸上伸啓編（2006）『アメリカ・カナダ 朝倉世界地理講座 13』朝倉書店、¥16,000+税

小林 泉・加藤めぐみ・石川栄吉ほか監修（2010）『オセアニアを知る事典（新版）』平凡社、¥5,200+税

坂井正人・鈴木 紀・松本栄次編（2007）『ラテンアメリカ 朝倉世界地理講座 14』朝倉書店、¥18,000+税

世界地誌(3) (欧・アフリカ)
教科担当責任者：米家 志乃布
担当者：米家 志乃布 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 本科目では、世界の諸地域のなかでも、ヨーロッパ、ロシア、アフリカの国々を自ら調べ、その特徴を理解し、記述することを目標とします。これらの作業を通して、各国についての知識と深い理解を得るとともに、現代世界を自らの眼で考える訓練をすることが本科目の目標です。

2 科目の概要 本科目では、網羅的に薄く学習するのではなく、主にヨーロッパの国々のなかでも、EUの主要な国であるドイツ、歴史的に大きな影響力をもつイギリス、日本と深いかわりのあったポルトガル、広大な隣国ロシア、アフリカの優等生ケニアに絞って、一般常識的な知識や理解を超えて、より深く学びます。これらの国々を深く学習することから、自分なりに日本と異なる国々の在り方を理解し、それらを通して、世界における日本を相対化し、広い視野を身につけることができると考えます。

3 成績評価基準 最終成績は、単位修得試験で評価します。ただし、レポート学習をしっかりと行わなければ試験は難しいと思われます。レポートでは、節題の趣旨に沿って、自分なりに調べたデータで、各国の特徴を理解し、記述できているかどうか、を評価します。試験では、テキストの理解を第一とし、試験問題に対して的確に答えているかどうか、で判断します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 矢ヶ崎典隆・椿真智子編『世界の国々を調べる（改訂版）』古今書院、2012年、¥2,800+税
 上記書籍のロシア、ヨーロッパ、アフリカの部分をテキストとします。

5 学習指導、注意点等 （1）レポート作成について
 節題の意図を理解したうえで、参考文献や統計データなどをもとに、自分の言葉で記述してください。

（2）試験について
 テキストの記述を十分理解してください。ロシア、ヨーロッパ、アフリカの部分を何度も読んで、それをもとに自分の言葉で書けるようにしてください。

地図学
教科担当責任者：山口 隆子
担当者：羽佐田 紘大 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 1. 地図の基本事項・作成技術・歴史・表現の基礎を理解するとともに、適切に地図を使えるようになる。

2. 地図作成にかかわる測量の基礎を理解する。
3. 地図や測量にかかわる技術の変化と新しい技術を理解する。

2 科目の概要 本科目は、地理学における地図の担う役割とその作成・利用について学習する。関連する分野として、地図や地理に関する歴史、および地図作成にかかわる測量技術、日本における地図にかかわる社会制度についても触れる。さらに、地図にかかわりを持つ最新技術としての空中写真測量やリモートセンシング、GNSS 測量などについての基礎知識も学ぶ。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたレポートの内容も考慮することがある。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『地図学Ⅰ』第1版、清水靖夫、2001年
通教テキスト『地図学Ⅱ』第1版、金澤 敬、1981年

5 学習指導、注意点等 本科目を学ぶ上では、地図学と測量学に共通する幅広い分野の理解が必要である。従って地理・歴史はもちろんのこと、その他に美術・印刷・数学・測量・情報などといった多岐にわたる関連分野に興味を持ち、知識を吸収してほしい。また幾何学や三角関数の知識が必要なので、必要に応じて学習すること。

史学概論

教科担当責任者：後藤 篤子

担当者：秋山 千恵
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 歴史学を学ぶ際の基本的な知識を整理し、歴史を学ぶことの意味や意義を考えることを目標とします。

2 科目の概要 指定市販テキストにもとづいて、歴史学とは何か、歴史的事実とは何か、史料とは何か、歴史認識とは何かという基本的な問題を考えます。また、世界史の理解をめぐる理論と分析方法がどのように構築されてきたのか、現在、歴史学はいかなる問題に直面しているのかを把握していきます。

3 成績評価基準 指定のテキストをよく読み込んで、内容を理解し、自分なりにまとめているかどうかを評価します。構成、引用、参考文献などレポートの体裁を整えているかどうかにも重視します。最終成績は単位修得試験により評価しますが、評価の際は先に提出されたレポートの内容も考慮する場合があります。試験はテキストの内容に沿って出題しますので、各章ごとに内容を理解し、全体を見通してください。

4 テキスト名および詳細 指定市販『歴史学ってなんだ?』（PHP 新書）PHP 研究所、小田中直樹、2004 年、¥680+税
歴史学とは何かという問題を、現在直面している諸状況のもとで、事例を挙げながら丁寧かつわかりやすく論じています。

5 学習指導、注意点等 テキストの各章で何が論じられているのかを考えながら読んでください。また、テキストとあわせて、次の参考書も熟読して、理解を深めてください。

浜内 謙『現代史を学ぶ』岩波新書、1995 年、¥820+税
E. H. カー著・清水幾太郎訳『歴史とは何か』岩波新書、1962 年、¥820+税
さらに、以下を紹介します。

遅塚忠躬『史学概論』東京大学出版会、2010 年、¥6,800+税
良知力『青きドナウの乱痴気』平凡社、1993 年、¥1,200+税

日本史概説

教科担当責任者：松本 剣志郎

担当者：川上 真理
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 日本史の個々の史実を、通史的・概説的に理解することを目標としています。

この目標は、単に日本史上の個々の事象のみをマニアックに学習する事でもなく、列島で起こった史実を世界史の中に普遍主義的に当て嵌めようとするだけでも、また、経済の進歩や政治制度の変遷ばかりを追うのみでも達成できません。史実を、列島社会に固有の文化的伝統との関連のなかで解釈するという方法が必要となってくるでしょう。これによって日本人のアイデンティティの確立にとって日本史上の個々の史実はどんな意味を持っていたのかについての見通しを得ていければよいと考えています。

2 科目の概要 原始、古代、中世、近世、近代の通説的な時代区分にそって、政治の展開と社会経済の動きを、日本文化の発展との関係において理解できればよいと考えています。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価しますが、レポート学習もしっかりと行ってください。

レポート作成では、まず個々の事象についての通説を正確に理解していることが必要です。その際、それぞれの事項がどのような事実であるか、それらが各時代でどのような意義を持つものであるかに留意してください。そのうえで、同時代の他の事象との相互関連や、前後の時代との関連にまで視野を広げて考察してほしいと考えています。また、構成・引用・参考文献などレポートの体裁が整っていることも重視します。

試験は、歴史用語を正しく理解していること、歴史的事象を時系列で整理し、事実に基づく解釈を行っていることを重視します。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト 豊田武『日本史概説』第1版、1975 年

5 学習指導、注意点等 日本史概説という科目は、資格科目ではありませんので、この本とあの本を勉強しておけば試験は万全だといった万能策はありません。歴史的な用語の理解については『国史大辞典』を使えば充分ですが、具体的な史実に関しては膨大な量の書籍が出版されていますので、大きめの書店や図書館などに足を運び、テキストのみではなく多くの書物に目を通してみてください。そして、日本史の理解の仕方には、時宜に応じて多様な視点があるという点を学んでください。日本史への関心がより深まるでしょう。

参考文献として、若干紹介します。

朝尾直弘・上田正昭・上横手雅敬・山本四郎編『要説日本歴史』東京創元社、2000 年、¥2,800+税
○佐々木潤之介・佐藤信・中島三千男・藤田覚・外園豊基・渡辺隆喜編『概論日本歴史』吉川弘文館、2000 年、¥1,900+税
○尾藤正英『日本文化の歴史』（岩波新書）岩波書店、2000 年、¥700+税
○網野善彦『「日本」とは何か』（日本の歴史 00）講談社、2000 年、¥2,200+税
○五味文彦・高埜利彦・鳥海靖編『詳説日本史研究（改訂版）』山川出版社、2008 年、¥2,381+税
○大津透・桜井英治・藤井譲治・吉田裕・李成市編『岩波講座日本歴史』全 22 巻、岩波書店、2013 年～2016 年、¥3,200+税

東洋史概説
教科担当責任者：塩沢 裕仁
担当者：宇都宮 美生 単位数：4 単位 ※ 2017 年 4 月よりテキスト変更（通教テキスト → 指定市販本）

1 学習の到達目標 東洋史の中軸をなす中国史について、時代の特徴、時代の流れ、史実について学習し、史料、学説に基づいて説明できるようにする。

2 科目の概要 通教テキストに基づき、各王朝の特徴と史実を理解する。テキストにより歴史学の方法を学び、関連する論文などを自ら探して通読し、テキスト以外の参考図書などを参照してレポートを提出する。単位修得試験は指定テキストの内容に準じているため、十分に準備して試験に臨む。

3 成績評価基準 レポートについては設題の意図を理解し、テキストおよび参考図書を参照して内容を理解した上で論述し、構成・引用・参考文献などレポートの体裁を整える（2000 字程度）。百科事典的な概説は不可とし、論理の展開を重視する。筆記試験では、テキストの内容に基づき、経緯と背景、発生の条件、内容、結果や影響などについての包括的な説明を求める。

4 テキスト名および詳細 『概説 中国史（上）』富谷 至・森田 憲司編、昭和堂、2016 年、¥2,300+税
『概説 中国史（下）』富谷 至・森田 憲司編、昭和堂、2016 年、¥2,300+税

5 学習指導、注意点等 学習にあたり、各時代の特徴として、政治、法制、軍制、財政（税・貨幣）、農業、文化、対外政策に分けて考察するとわかりやすい。まず、経緯、社会情勢、発生の条件、内容、結果、影響などに着目して史実をみていく。さらに、前王朝の特徴が次王朝へどのように継承されているか、どのような影響を与えているか、あるいは何が否定されているか、理解しながら中国史をみていくと全体の流れが把握できる。テキストに線を引くだけでなく、自分なりのノートを作成することを勧める。また、年表や地図を自分で作成すると、複雑な事象も比較的理解しやすくなる。レポートの提出および筆記試験は手引きの諸注意を理解したうえで臨み、「とりあえず書く」という態度では取り組まないで欲しい。

【参考文献】
平勢隆郎他『中国の歴史』全 12 巻、講談社、1974 年～1975 年、2004 年～2005 年
愛宕元・富谷至・森田憲司編『中国の歴史』上下、昭和堂、2005 年
譚其驥主編『中国歴史地図集』全 8 巻、中国地図出版社、1982 年
【論文検索】
CiNii Articles (<http://ci.nii.ac.jp/>)

西洋史概説
教科担当責任者：加納 格
担当者：池本 今日子 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 西洋の歴史について、時代の特徴、歴史用語や諸事象の意味について理解し、説明出来る。

2 科目の概要 指定テキスト（指定市販本）の自主学習

と、レポートの作成により、西洋史について理解するための科目です。

指定テキスト（指定市販本）の学習によって、歴史用語や重要な事象の意味、時代の特徴を理解することが重要です。その理解度を試す試験を実施します。また、特定のテーマに関するレポートを作成します。レポートの作成にあたっては、指定教科書だけでなく、独自に文献を調べてよく読み、設題に関係する時代の特徴、事件や制度、歴史用語などについて理解を深め、それを文章で的確に表現しようとする姿勢が大切です。

積極的な姿勢を期待します。

3 成績評価基準 単位修得試験は、指定市販本から出題します。歴史用語を理解し、重要な歴史事象について、原因と結果に留意しながら、その内容を把握するようにしましょう。時系列に整理しておくこと。

レポートについては、専門用語や時代、事象について理解しているか、積極的に勉強しているかを評価します。

まず、指定市販本以外に積極的に文献を調べる。そのうえで、教科書や参考文献を単に要約したりするのではなく、一つのことに複数の文献に当たる姿勢が重要です。そして、設題に関して調べた結果をよく整理し、丁寧に掘り下げ、具体的かつ時系列に説明すること。学説にも注意しながら、書くこと。さらに、レポート作成の原則に従っていること。

4 テキスト名および詳細 ・指定市販本『西洋の歴史（古代・中世編）』ミネルヴァ書房、山本 茂他、1988 年、¥ 2,400+税
・指定市販本『西洋の歴史（近現代編）』増補版、ミネルヴァ書房、大下尚一他、1998 年、¥ 2,400+税

5 学習指導、注意点等 レポート作成にあたっては、「設題解答にあたっての解説・注意等」を読むこと。制度などの意味と年号に注意しながら、積極的に文献を調べて下さい。何故そうなったのか、という疑問を追究する姿勢が大切です。また、書いたら、必ず読み直して下さい。主題と関係のない記述や重複しているところは削除し、文意が不明瞭なところは直し、説明不足のところは補いましょう。内容をなるべく濃くするつもりですとよいでしょう。

社会経済学 A
教科担当責任者：原 伸子
担当者：相沢 裕紀、原 伸子 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 1. 資本主義経済システムの歴史的性質を理解すること。
2. 現代資本主義において生起する諸問題を基礎理論にまでさかのぼって理解するための概念を習得すること。

2 科目の概要 社会経済学の対象は歴史的に存在し発展する資本主義社会の経済システムです。したがって社会経済学の内容を理解するためには歴史的視点が重要になってきます。歴史的視点とは、われわれが生活する資本主義社会およびそれを理論化する体系を動的にとらえ、展開することです。すなわち、18 世紀末から 19 世紀初頭の産業革命によって成立した資本主義社会、20 世紀初頭の独占資本の成立と国家の介入、戦後の福祉国家体制、グローバリゼーションと福祉国家の変容などを理解するための理論体系を学びます。社会経済学 A では、価値・商品（市場システム）、資本の生産の基礎理論に重点をおきます。

3 成績評価基準 成績は規定にもとづいて、レポートと試験

で評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『現代経済と経済学〔新版〕』、有斐閣、増田壽男・沢田幸治編、2007年、¥2,800+税

5 学習指導、注意点等 学習は本来、受動的なものではなく、主体的に行われるものです。通信教育課程はそのような本来の学問姿勢がまさに試される場です。日頃から現実に対する問題関心を持ちながら勉学に励むことによって、充実した学生生活を送ることができるでしょう。レポート作成にさいしては、テキストをよく読んで与えられた課題に正確に答えることがまず前提になりますが、それとともに、現実に対する自らの問題意識との関連性が問われる場でもあります。質問も含めて積極的な取り組みに努めてください。

社会経済学B

教科担当責任者：原 伸子

担当者：相沢 裕紀、原 伸子
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 1. 資本主義経済システムの歴史的性格を理解すること。
2. 現代資本主義において生起する諸問題を基礎理論にまでさかのぼって理解するための概念を習得すること。

2 科目の概要 社会経済学の対象は歴史的に存在し発展する資本主義社会の経済システムです。したがって社会経済学の内容を理解するためには歴史的視点が重要になってきます。歴史的視点とは、われわれが生活する資本主義社会およびそれを理論化する体系を動態的にとらえ、展開することです。すなわち、18世紀末から19世紀初頭の産業革命によって成立する資本主義社会、20世紀初頭の独占資本の成立と国家の介入、戦後の福祉国家体制、グローバリゼーションと福祉国家の変容などを理解するための理論体系を学びます。社会経済学Bでは、資本蓄積（雇用・失業・成長）、社会的再生産、競争と価格、信用、農業、産業循環、福祉国家の危機（新保守主義の登場）などを理解するための基礎理論に重点をおきます。

3 成績評価基準 成績は規定にもとづいて、レポートと試験で評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『現代経済と経済学〔新版〕』、有斐閣、増田壽男・沢田幸治編、2007年、¥2,800+税

5 学習指導、注意点等 学習は本来、受動的なものではなく、主体的に行われるものです。通信教育課程はそのような本来の学問姿勢がまさに問われる場です。日頃から現実に対する問題関心をもちながら勉学に励むことによって、充実した学生生活を送ることができるでしょう。レポート作成にさいしては、テキストをよく読んで与えられた課題に正確に答えることがまず前提になりますが、それとともに、現実に対する自らの問題意識とその関連性が問われる場でもあります。質問も含めて積極的な取り組みに努めてください。

日本史特講（日本仏教史）

教科担当責任者：松本 剣志郎

担当者：岡野 浩二
単位数：4 単位

※2017年4月よりテキスト変更（通教テキスト→指定市販本）

1 学習の到達目標 日本の古代から近現代に至るまでの仏教について、僧尼の学と行という観点から理解するとともに、世俗世界からの視点にも留意して、多様な諸相を把握する。また各時代の仏教の特色・特質を説明できるようになる。

2 科目の概要 仏教伝来から現代までの仏教を概観します。そのさい、僧侶を主語に据えて、その「学」（頭脳を使う学問仏教）と「行」（心や体を使う修行）の変遷を説明したテキストを用います。また為政者による仏教政策など、テキストが省略した事項を、スタディガイドが補足しています。それらをもとに、日本仏教の変遷を理解してください。

3 成績評価基準 最終成績は、単位修得試験によって評価します。テキストとスタディガイドの内容を全体にわたって理解したうえで受験してください。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『日本仏教史』養輪顕量、春秋社、2015年、¥2,400+税
※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 レポートは、テキストとスタディガイドだけでなく、参考文献を利用して、特定の人物・集団の活動を理解し、自身の文章でその内容をまとめてください。また同時代の他の僧・宗派との比較など、全体像をつかむ視点を盛り込んだ記述にしてください。単位取得試験は、テキストとスタディガイドの内容を理解したうえで受けてください。段落を構成し、5W1Hの必要事項を盛り込んだ自分の文章であることが求められます。

日本史特講（日本思想史）

教科担当責任者：長井 純市

担当者：岡野 浩二
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 日本の古代から近現代に至るまでの思想について、時代・カテゴリーを意識しながら学習し、「日本」がどのように自覚されてきたのか、その歴史をアジア・世界の中の「日本」という国際性を意識しながら説明できるようにする。

2 科目の概要 指定市販教科書と巻末の年表を活用して、古代・中世・近世・近現代の思想の大きな流れと時代ごとの特色を理解する。レポートの第1回の設題では、日本の古代国家形成に強い影響を与えた外来思想（仏教・儒教・道教など）を理解し、その受容と日本における変容、特に「日本」国号や「天皇」号、記紀神話の成立などについて考察する。第2回の設題では、神道・仏教・儒教の関係に留意して中世以降の日本思想の展開を理解し、神道思想の形成など、「日本」がどう自覚されてきたかを考察する。さらに、近代における神仏分離から国家神道の形成、西洋思想の受容などについてもまとめて、それぞれの時代に外来思想がどのように受容され、「日本」についての思想がどのように展開したかを整理して、単位修得試験に臨む。

3 成績評価基準 ・リポート評価

テキストだけでなく、参考書などをひろく読み、それぞれの課題に対する問題点を整理し、しっかりとした論点を持ってリポートを作成する。決して辞書的な項目ごとのまとめにしない。重要な文献は書名だけでなく内容を把握する。その上で内容・構成を考え、註や参考文献を明記した学術リポートとしての体裁を整えること。ワープロ使用の場合は字数を明記すること。

・単位修得試験

上記リポートと指定市販教科書のすべてを試験範囲として出題する。日本思想史の流れを理解し、古代・中世・近世・近現代という時代ごとの相違が論じられること。日本思想の形成に影響を与えた外来思想と、神道思想など「日本」を自覚したものを整理するだけでなく、両者の関係を歴史的に考察する。関連する書目・思想家が正しく認識されているか、日本思想の特色がまとめられているかも重要な評価の対象である。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『概説日本思想史』ミネルヴァ書房、佐藤弘夫編、2005年、¥3,200+税

知的文化財産としての日本思想に関する基礎知識を、歴史学・文学・仏教学・民俗学などの周辺領域にも細かに目配りしながら、正確にわかりやすく記述している。日本思想史の全体像をイメージしやすく設計され、I「古代の思想」、II「中世の思想」、III「近世の思想」、IV「近現代の思想」それぞれの冒頭に付けられている概説では、思想史の大きな流れが把握でき、各章では、より専門的な視点から各時代の思想を詳しく考察できる。所々に挿入されているコラムでも、簡潔ながら重要な指摘がなされている。巻末の年表と索引は総復習に、参考文献は更に深く勉強するために役立つ。

5 学習指導、注意点等 リポート作成には、テキストの「古代の思想」「中世の思想」「近世の思想」全体を良く読み、その中から重要なポイントに絞って歴史的変遷を考察すること。単位修得試験には、リポートに対するコメントを参照しながら復習し、さらに「近現代の思想」についても同様の勉強をして臨むこと。巻末（293～297頁）の参考文献や『日本思想史講座』全5巻（ぺりかん社）も参照すること。

東洋史特講（中国現代史）

教科担当責任者：塩沢 裕仁

担当者：竹茂 敦
単位数：4単位

1 学習の到達目標 （1）辛亥革命から中華人民共和国成立にかけての時期の中国への理解を深めること、（2）中国近現代史に関する先行研究や史料を収集・読解・整理するために必要な能力を養うこと。

2 科目の概要 辛亥革命から中華人民共和国成立にかけての時期を対象とする。受講者には導入としてテキストを熟読してもらった上で、「設題総覧」の課題に従ってリポートを作成し、単位修得試験を受験してもらう。リポートについては、自らテーマを設定し、そのテーマに関する先行研究（書籍、論文等）や史料を収集・整理し検討を加えて執筆してもらう。単位修得試験については、テキストで扱っているテーマから出題する。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたリポートの内容も考慮する。〔リポート〕主に以下の点を総合的に勘案して評価する：①テーマ＝2,000～3,000字という限られた紙幅に適当で、独自性のあるテーマを設定できているか、②参考文献・史料＝自ら定めた

テーマに適した先行研究（書籍、論文等）や史料を探し出すことができているか、③記述内容＝歴史展開がきちんと整理できているか④参考文献や史料に基づいた実証的な考察（根拠を示した論証）ができているか⑤テキスト・参考文献からの抜き書きではなく、自らの言葉で叙述できているか、⑥体裁・構成＝大学生のリポートとしての体裁や構成が整っているか⑦とりわけ、「はじめに」でリポートのテーマや目的・意義が、「おわりに」で結論の要約がそれぞれ提示され、「参考文献一覧」「注」が付いているか。

〔単位修得試験〕歴史的な事項・人物について、時系列的な展開、時代的な背景や歴史的な意義などを理解した上で、整理した記述ができているかを評価基準とする。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『東洋史特講（中国現代史）』第1版、栃木利夫、1982年（※前・通教テキスト『中国現代史』）

5 学習指導、注意点等 〔リポート〕2,000から3,000字というリポートはとて短いものなので、テーマは焦点をよくしぼること。概説書ばかりに頼るのではなく、図書館の蔵書目録（OPAC）や各文献の「参考文献一覧」などを活用して、テーマについてできるだけ詳しく言及している書籍・論文や関連する史料を探し出し、それらをよく読み比べること。執筆に際しては、テキスト・参考文献の文章の継ぎ接ぎや、歴史的な事件・人物に対する漠然とした「感想文」にならないように注意するとともに、先行研究や史料に基づいた実証的な「考察」を心がけてほしい。

〔単位修得試験〕テキストで扱っているテーマより出題するので、テキストの熟読を基本としつつ、必要に応じて「設題総覧」で挙げた参考文献などを参照しながら、基本事項の理解を深めておくこと。

西洋史特講（西洋哲学史）

教科担当責任者：後藤 篤子

担当者：鶴岡 健
単位数：4単位

※2017年4月よりテキスト（通教テキスト）改訂

1 学習の到達目標 古代ギリシアに始まる古代哲学、その後のキリスト教哲学を中心にした中世哲学、それに続く近世哲学と現代哲学の思想の歴史の流れを、通教テキストを通して把握し、それぞれの時代状況とその思想の成立過程を理解し、さらにその上でその思想が、後世に与えた影響を捕捉して、思想史に対する視野の形成を計る。

2 科目の概要 まず古代哲学の流れに沿ってイオニア・イタリアでの自然哲学・アテナイにおけるソフィストとソクラテス、プラトン、アリストテレスの哲学、さらにヘレニズム期・ローマ期の哲学を、次に中世哲学の流れに沿って教父哲学・スコラ哲学・普遍論争を、次に近世哲学の流れに沿ってルネサンス哲学・大陸合理論哲学・イギリス経験論哲学・ドイツ観念論哲学を、最後に現代哲学の流れに沿って生命の哲学・分析哲学・現象学を、通教テキストを拠りどころにして学ぶ。以上のことに併せてその時代思潮についても考察し、その影響を理解する。

哲学史は、思想の流れ（歴史）を論述することが肝要なことであり、個々の哲学者の、その哲学思想を、ただ紹介するだけでは、哲学史の単位修得は困難です。あくまでも哲学史の流れに沿って考察し、なおかつその時代との関連性を加味して論述されることが、「西洋哲学史」では要求されています。

3 成績評価基準 ・リポート評価

設題要求を満たすべくリポートが提出されているか。通教テキストを十分に理解して、リポートに着手しているか。上述の哲学史のリポートの要件を満たしているか。論拠からきちんと結論が帰結する論理的首尾一貫性を、リポートが保持しているか。結論は、導入部の問いに対応した形できちんと書かれているか。

リポート書式の形式（①段落分けの適切性 ②文頭と文末の対応が取れているか ③誤字、脱字の有無 ④注は適切か ⑤引用の仕方は適切か ⑥引用した文献の提示の有無）が、整っているか。以上の点を総合して成績を評価します。

・単位修得試験

通教テキストの全体の内容から出題します。そこで上記の科目概要の総べての内容を、通教テキストでよく勉強しておくことが必要です。評価基準は、上記のリポート評価基準と同様の基準を適用し、哲学史についての習熟度に応じて成績を評価します。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『西洋史特講（西洋哲学史）』（第1版）、鶴岡 健、2017年

5 学習指導、注意点等 通教テキスト 4ページの「哲学史の学習について」の箇所を、最初によく読んで下さい。リポートの設題の意図・試験の出題の意図をよく考えて、それに該当する答えは何かを、しっかりと把握したうえで解答に着手して下さい。次に答案の構想を練ったうえで、筋道立てて論述して下さい。そして最後に、作成した答案の推敲を、時間の許す限り、必ず行って下さい。

西洋史特講（キリスト教史）

教科担当責任者：後藤 篤子

担当者：上村 静

単位数：4 単位

※リポート（第1回・第2回）一括提出不可

- 1 学習の到達目標** (1) 旧新約聖書の読解を通して、ユダヤ教およびキリスト教の成立史を理解する。
(2) 聖書の著者・編者たちの多様な思想をその社会背景を踏まえて理解する。
(3) 聖書の主要な登場人物それぞれの思想をその社会背景を踏まえて理解する。
(4) キリスト教がユダヤ教から分離・独立するプロセスを思想面および政治面双方から理解する。

2 科目の概要 旧新約聖書の読解を通して、ユダヤ教がどのように形成され、聖書が編纂されるにいたったか、聖書を聖典とするユダヤ教がどのように発展していったか、イエスが生きた時代のユダヤ教がどのような性格のものであり、イエスの活動と思想がそれとどのように関わっているか、イエスの死後どのようにキリスト信仰が生まれたか、そしてそれがパウロを通してどのように発展していったか、そしてキリスト教がどうしてユダヤ教から分離するにいたったか、そうした大きな歴史全体を視野に収めることが求められる。

そのためには、聖書に書かれている内容を知るだけでなく、それが書かれた時代について、またそれとの関連において著者・編者の意図を読み取る分析的な視点が必要とされる。

そこで、以下にあげる参考文献を精読し、歴史の全体像を掴むとともに、聖書の各著者・編者、主要な登場人物の思想を理解されたい。参考文献を読むに際しては、必ずそこに言及され

ている聖書箇所を自分でも読み、なぜそのように解釈できるのかをきちんと理解することが必須である。

歴史の全体像及び主要な登場人物の思想については、上村静『宗教の倒錯』（岩波書店、2008年）、聖書各書（著者・編者）については上村静『旧約聖書と新約聖書』（新教出版社、2011年）を使用すること（図書館等を利用して入手）。聖書はいくつかの版がありどれを利用してもよいが、推奨するのは、日本聖書協会発行の『聖書 新共同訳 旧約聖書続編つき』である。リポート及び試験は聖書及び上記の参考文献から出題される。

リポートについてはその他の参考文献も利用してよいが、その場合は、出典を明記すること。

リポート課題は、旧約聖書および古代ユダヤ史から2問、新約聖書および初期キリスト教史から2問の計4問が出題される（2単位の受講生は、それぞれから各1問）。試験問題も、旧約聖書（ユダヤ教）および新約聖書（キリスト教）それぞれから各1問ずつ出題される。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験およびリポートの内容を総合的に評価する。

リポートについては、テキスト（聖書）と突き合わせながら参考文献を精読し、理解した事柄を課題に即して、参考文献の要約にならないように聖書テキストを根拠に示しながら、自分の言葉で適切に表現できているかどうかを評価する。

単位習得試験については、テキスト及び参考文献の内容を適切に理解できているかどうかを評価する。

4 テキスト名および詳細 【テキスト】指定市販本『聖書新共同訳 旧約聖書続編つき』日本聖書協会（その他の訳、版でも構わないが、旧約と新約の両方が必要）

聖書にはいくつかの版があり、「旧約聖書」だけ、「新約聖書」だけなどもあるが、旧約聖書と新約聖書が1冊になっているものを使用するのが便利である。「旧約聖書続編」も一緒になって1冊になっているものはさらに便利なので、新規に購入する場合にはこれを推奨する。

標準サイズ（小型）の『聖書 新共同訳 旧約聖書続編つき』は¥3,600+税、ハンディタイプは¥3,100+税

【参考文献】

上村静『宗教の倒錯——ユダヤ教・イエス・キリスト教』岩波書店、2008年、¥2,800+税

上村静『旧約聖書と新約聖書——「聖書」とはなにか』新教出版社、2011年、¥2,000+税

5 学習指導、注意点等 (1) リポート作成に当たっては、設題に関係する聖書箇所および参考文献を精読し、根拠を示しつつ論ずること。他の文献を参照・引用してもよいが、インターネットから安易にコピーしないこと。著者の解釈に疑問や異論がある場合には、根拠を記して反論すること。

(2) 参考文献はメモを取りながら（ページを付して）読み、章ごと、節ごとにまとめておくとリポートおよび試験に対応しやすい。

(3) 引用文には、著者、書名、ページ数を付すこと。

(4) 聖書および参考文献からの引用は必要最小限にとどめること。

(5) 聖書の各文書と箇所は、略記してよい（例：マタイによる福音書 20章 1-16節＝マタ 20:1-16、ローマの信徒への手紙 7章 1-20節＝ロマ 7:1-20、コリントの信徒への手紙 15章 3-5節＝Iコリ 15:3-5等）。

西洋史特講（ロシア史Ⅱ）

教科担当責任者：加納 格

担当者：池本 今日子

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 17 世紀初頭から 20 世紀のロシアの歴史について、時代の特徴、歴史用語や諸事象の意味について理解し、説明出来る。

2 科目の概要 教科書の自主学習と、レポートの作成により、ロシア史について理解するための科目です。

教科書の学習にあたっては、歴史用語や重要な事象の意味、時代の特徴を理解することが重要です。その理解度を試す試験を実施します。

レポートの作成にあたっては、教科書だけでなく、独自に文献を調べてよく読み、設題に関係する時代の特徴、事件や制度、歴史用語などについて理解を深め、それを文章で的確に表現しようとする姿勢が大切です。

積極的な姿勢を期待します。

3 成績評価基準 単位修得試験は、教科書の範囲から出題します。歴史用語を理解しておくこと。重要な歴史事象について、原因と結果に留意しながら、その内容を把握するようにしましょう。

レポートについては、専門用語や時代、事象について理解しているか、積極的に考察しているかを評価します。

まず、教科書以外に積極的に文献を調べること。そのうえで、教科書や参考文献を単に要約したりするのではなく、一つのことに複数の文献に当たる姿勢が重要です。そして、設題に関して調べた結果をよく整理し、深く掘り下げ、具体的かつ時系列に説明すること。学説にも注意しながら、書くこと。さらに、レポート作成の原則に従っていること。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『西洋史特講（ロシア史Ⅱ）』第1版、倉持俊一、1980 年
(※ 前・通教テキスト『ロシア史Ⅱ（ロシア近代史）』)

5 学習指導、注意点等 レポート作成にあたっては、「設題解答にあたっての解説・注意等」を読むこと。制度などの意味と年号に注意しながら、積極的に文献を調べて下さい。何故そうなったのか、という疑問を追究する姿勢が大切です。また、書いたら、必ず読み直して下さい。主題と関係のない記述や重複しているところは削除し、文意が不明瞭なところは直し、説明不足のところは補いましょう。内容をなるべく濃くするつもりですとよいでしょう

2017年度 設題総覧

— リポート設題と参考文献 —

44507

人文地理学概論（1）

1 設題 （2 単位）

- 【特記事項】 ◆リポートノートの使い方 （横書き厳守）
◆ワープロ使用が望ましい。その場合、別紙にプリントアウトしたものを、リポートノートに貼り付けるとよい。

- 第1回 (1) 手近にある新聞・雑誌などのメディア（単行書や資料集、地図帳のたぐい、および web ページは避けること）の記事の中から、地域差のある現象について示した分布図（主題図）をさがしだし、①その分布図（主題図）に描かれている現象の分布の特徴を説明せよ。また、②その現象を分布図化したことにどのような意義があったのかについて論ぜよ。①と②とを分けて論述すること。なお、主題図は、日本全体をベースにしたものと、世界全体をベースにしたものとを、それぞれ一つずつ、合計2枚を選ぶこと。また、選んだ主題図は、出典（新聞や雑誌の発行年月日も含む）を必ず明記したうえで、リポートに主題図だけを貼付（コピーしたものでよい）すること。2枚の主題図は、できるだけ同じテーマを扱ったものでないほうがよい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- (1) 長々と書かれたリポートは、往々にして出来の悪いことが多い。書きあげた後の推敲が不十分だと、リポートが長々しいものになるのである。設題が要求しているものに対しての答えとして必然性がない部分は、できるだけ削ってしまう勇氣を持つこと。
- (2) テキストや参考文献から引用する場合には、リポートの文章中の引用部分をカッコで明瞭にくくって示し、その出典（執筆者名、著作名、引用部分の該当ページ数など）を明示したうえで、自分のリポートの文章中に適切に位置づけること。テキストから引用する場合は、引用部分末尾にカッコ書きで「(テキスト p. ○○より)」としておけばよい。

参考文献

テキスト各章末の参考文献一覧を参照してほしい。

44508

自然地理学概論（1）

1 設題 （2 単位）

- 【特記事項】 ◆リポートノートの使い方 （横書き）
◆パソコン（ワープロ）使用を原則とする
◆記述字数 （3,000 字程度）

- 第1回 (1) 自分の身近に起こっている、人為の影響と考えられる自然環境の変化に着目し、その発生原因を解析せよ。また、その対策を考察せよ。
※「設題解答にあたっての解説・注意等」に必ず目を通すこと。

設題解答にあたっての解説・注意等

1. 教科書や、参考文献、ホームページなどから内容等を転記しただけ、もしくは、語尾や言い回しを変えただけの類のリポートは、採点対象外とする。
※本条件を隠匿しようとした形跡が見られた場合、以後の提出を認めないことがある。
 2. 内容的に、取り上げた事象の現状をまとめる（要約する）だけでなく、解析結果から考察できることを十分に検討すること。その際、着目した事項に関して、自分の見解がよく反映されるようにすること。
※この条件を満たさないリポートが多いので、各自よく検討すること。
 3. 文字数に制限があるので、順守すること。また、教科書や文献からの直接的引用は行わないこと。内容上、止むを得ず、引用する場合は、その引用部分を明記すること。
 4. 文末に参考文献や引用文献を明記すること。その際の記述方法は、本講義の教科書を参考にすること。
 5. どちらの設題も、饒舌な文章で記述せず、データをもとに、身近で具体的な事例を挙げるなどしながら考察した結果を示すこと。その際、様々な資料やデータを用い、論理的に比較を行うこと。
 6. 最低1つ以上のオリジナル地図を用い、解答の意図を解りやすく説明せよ。なお、作図をする際、フリーハンドではなく、縮尺や海陸分布の正確性を確保すること。
- ◎上記条件を十分に理解したうえで、設題の意図をよく吟味し、何を問われているのかを意識して、筆者の考えを具体的に現したリポートを作成すること。

- 【特記事項】 ◆リポートノートの使い方 （横書き）
 ◆一括提出の可否 一括提出すること
 ◆記述字数 設題によっては 4,000 ～ 5,000 字を超えても可
 ◆リポート用紙が足りない場合は、市販の A 4 判原稿用紙を使用し、講評欄の前に貼付すること。

リポートは 1 ～ 5 設題のすべてを同時に提出し、そのすべてに合格することにより、試験に合格したものと見なし、単位が与えられます。つまりリポートそのものが試験なのです。したがって 5 設題のうち一つでも再提出（＝不合格）の場合は、当該設題につき再提出を行い、合格の評価ができるまで単位の修得とはなりません。

試験結果通知について

リポートの総合評価がそのまま履修成績となりますが、試験の結果としてお知らせする際は、リポート受付日を試験登録日とみなし、その試験登録受付期間に対応する試験日を受験日として設定し、「試験結果通知」（ハガキ）を送付します。リポート受付日が試験登録受付期間でない場合は、その次の試験登録受付期間の試験登録とみなします。したがって、再提出の場合はリポートの返却と試験結果通知送付の時間差により、返却されたリポートより前の評価による試験結果通知が届く場合がありますので注意して下さい。

- 設題 1** 日本地理学会『地理学評論』、人文地理学会『人文地理』、経済地理学会『経済地理学年報』などの、地理学分野の「学会誌」に掲載された、人文地理学に関係する論文を取り上げ、その読書ノートを作成せよ（「読書ノート」は、論文を的確に要約し、その内容に関してコメントすることを主目的とする。テキスト参照のこと）。
- 設題 2** 人文地理学に関係する統計に基づき、適当なテーマで適当な形式のグラフを作成し、そこから読み取れる内容を解説せよ。
- 設題 3** 人文地理学に関係する統計に基づき、適当なテーマで適当な形式の地図を作成し、そこから読み取れる内容を解説せよ。
- 設題 4** 人文地理学に関係する適当なテーマで調査票を作成し、その調査目的、調査方法、質問の趣旨と配列原理、結果のまとめ方を解説せよ。
- 設題 5** 人文地理学に関する適当なテーマを取り上げ、それに関する論文の目次案を作成し、解説せよ。

リポート作成上の諸注意

※この科目のリポートは通常のリポートノートで作成してください。「（自然編）」のような特別のリポートノートはありません。

- この科目では、その性格上、単位修得試験は実施しない。
- この科目は、設題 1 から設題 5 までのリポートすべてが合格となることにより単位を与える。
- この科目は、上記 2 との関係から、設題 1 から設題 5 までのリポートを必ず一括して提出すること。分離提出されたリポートはその一切を無効とする。再提出も同様とする。
- リポートは、1・2 回設題を 1 冊、3・4 回設題を 1 冊、5 回設題 1 冊、計 3 冊を使用する。
- リポート提出票は、この科目に限り、1 枚の提出票にすべての提出する設題の該当する回数の欄に新提出は「1」、再提出の場合は「5」を記入すること。なお第 5 回設題については「※」の欄に記入すること。また、提出票は機械で直接読み取るため、鉛筆を使用して楷書で丁寧に記入し、汚損しないように注意すること。
- 再提出を求められた場合は、再提出リポートともに、必ず再提出を求められた元のリポートをも添えて提出すること。ただし、再提出は求められた設題のみ作成すること。
- テキストを十分に読んだ上でリポートに取り組むこと。各設題の作業はもちろん、考察を記述する箇所では的はずれの内容にならないように、設題の意味や指示を理解すること。
- 文章などで答える設題に対して、必ずペン（インク）を用いて、横書き、かつ楷書で綴ること。ワープロを使用する場合には、横書きで、適当な字詰めで打ち出した上で、原稿用紙に貼り付けること。
- グラフは適当な方眼紙を利用して作成してください。作業は色鉛筆でよく、墨入れまでする必要はありません。
- 色鉛筆での彩色は、濃すぎないように注意すること（硬筆の色鉛筆が望ましい）。
- 設題 2、設題 3 でいう「統計」とは、総務省「国勢調査」や農林水産省「農林業センサス」、経済産業省「工業統計調査」、同「商業統計」などがその代表例であるが、それ以外にも各種の「統計」が存在する。それら各種の統計を使用して設題に答えること。

【注意】※ この科目での修得単位が、即座に卒業に関わってくる可能性のある最終学年在籍の学生は以下の期日までに通信教育部必着でこの科目のリポートを提出すること。

2017 年度の 9 月卒業予定の学生は、7 月単位修得試験のリポート締切日に準ずる。但し、再提出リポートのみ 7 月 21 日の年度最終リポート受付日までを卒業判定（当該期間）の成績対象とする。

2017 年度の 3 月卒業予定の学生は、1 月単位修得試験のリポート締切日に準ずる。但し、再提出リポートのみ 1 月 12 日の年度最終リポート受付日までを卒業判定（当該期間）の成績対象とする。

- 【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 （横書き）
◆ワープロ使用の可否 （不可）

【地理調査法（自然編）のレポートおよび試験について】

この科目には専用のレポートノートが通教テキストに付属しています（テキスト配本・購入時のみ）。再提出となった場合はレポートノートを購入してください。

レポートはⅠ～Ⅴ設題のすべてを同時に提出し、そのすべてに合格することにより、試験に合格したとみなし、単位が与えられます。つまり、レポートそのものが試験なのです。

したがって、5 設題のうち一つでも再提出（不合格）の場合には、当該設題について再度提出を行い、その合格の評価が出るまで、この科目の単位の修得とはなりません。

【2017 年度に使用できるレポートノートについて】

2017 年度に使用できるレポートノートは、表紙が「オレンジ色」（2016 年度改訂）のレポートノートです。旧レポートノート（白茶色）での再提出は、2017 年 3 月で終了しました。2017 年 4 月以降は必ず上記レポートノート（オレンジ色）で提出してください。

なお、旧レポートノート（白茶色）で再提出指示がある設題回（Ⅰ～Ⅴ）については、新レポートノートで同じ設題回（Ⅰ～Ⅴ）の設題全てに解答し提出してください。

（例）旧レポートノート（白茶色）で、【Ⅰ 設題 6】について再提出指示があった場合

→レポートノート（オレンジ色）の【Ⅰ（設題 1～設題 10）】全てを解答し提出する。

【試験結果通知について】

レポートの総合評価がそのまま履修成績となりますが、試験の結果としてお知らせする際は、レポートを受付けた日を試験登録日とみなし、その試験登録受付期間に対応する試験日を受験日として設定し、「試験結果通知書」（ハガキ）を送付します。レポート受付日が試験登録受付期間でない場合は、その次の試験登録受付期間の試験登録とみなします。したがって、再提出の場合はレポートの返却と試験結果通知送付の時間差により、返却されたレポートより前の評価による試験結果通知が届く場合がありますので注意してください。

◎地理調査法（自然編）のレポート作成にあたっての注意事項

1. この科目では、その性格上、単位修得試験は実施しない。
2. この科目の単位は、設題Ⅰから設題Ⅴまでのレポートすべてが合格することにより与えられる。
3. この科目は、上記 2 との関係から、設題Ⅰから設題Ⅴまでのレポートを必ず一括して提出すること。分離提出は提出されたレポートの一切を無効とする。
4. この科目の成績は、全レポート（設題Ⅰ～Ⅴ）の内容によって総合的に評価をする。
5. この科目の性格から、各設題ともおよそ 8 割の正解率、および正確さを合格の基準とする。
6. 再提出を求められた場合には、再提出レポートとともに、必ず再提出を求められた元のレポートをも添えて提出すること。ただし、再提出は求められた設題のみ作成すること。
7. レポート提出票は 1 冊につき 1 枚を使用し、提出する設題の該当する回数の欄に、新提出の場合は「1」、再提出の場合は「5」を記入すること。なお設題Ⅴについては「※」の欄に記入のこと。
8. テキストを十分に読んだ上でレポートに取り組むこと。各課題の作業はもちろん、考察を記述する箇所では的はずれの内容にならないように、設題の意味や指示を理解すること。
9. 文章などで答える設問に対して、必ずペン（インク）を用いて、横書き、かつ楷書で綴ること。
10. 作図では、特に指示されている設問以外は、製図用インク（200 円程度の簡易インクペンでも良い）を用いて正確に、かつきれいに作成すること。
11. 色鉛筆での彩色は、濃すぎないように注意すること（硬質の色鉛筆が好ましい）。
12. 他人のレポートをそのまま模写したことが判明した場合には、レポートの一切を無効とする。

【注意】※ この科目での修得単位が、即座に卒業に関わってくる可能性のある最終学年在籍の学生は以下の期日まで

に通信教育部必着でこの科目のレポートを提出すること。
2017 年度の 9 月卒業予定の学生は、7 月単位修得試験のレポート締切日に準ずる。但し、再提出レポートのみ 7 月 21 日の年度最終レポート受付日までを卒業判定の成績対象（当該期間）とする。

2017 年度の 3 月卒業予定の学生は、1 月単位修得試験のレポート締切日に準ずる。但し、再提出レポートのみ 1 月 12 日の年度最終レポート受付日までを卒業判定の成績対象（当該期間）とする。

参考文献

- 大森八四郎『最新地形図の本—地図の基礎から利用まで—』国際地学協会、1991 年、¥1,000
- 鈴木隆介『建設技術者のための地形図読図入門 第 1 巻 読図の基礎』古今書院、1997 年、¥4,200
- 日本陸水学会編『川と湖を見る・知る・探る 陸水学入門』地人書館、2011 年、¥2,400
- 佐藤典人『自然地理学（気候・気象）』法政大学通信教育部テキスト、2015 年

例えば、地形図の読図については大森（1991）のような比較的初歩的なものから鈴木（1997）のような専門家向けのもの

のまで幅広く存在している。実際に手に取って読んでみるのが望ましい。陸水学や気候学についても同様で、上に挙げたものはほんの一例に過ぎない(設題によってはこのような文献を読んだ上で解答することが望ましい)。

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.181 参照のこと。

44511 人文地理学概論 (2)

1 設題 (2 単位)

- 【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (横書き厳守)
◆ワープロ使用の可否 ワープロ使用が望ましい。その場合、別紙にプリントアウトしたものを、レポートノートに貼り付けるとよい。

第1回 (1) 以下の設題のうちから「一つを選んで」レポートを作成せよ。

- ① 地方都市における中心市街地空洞化のミクロ要因について整理し、あなたの身近な(よく知っている)地方都市の一つを選んで、その中心市街地空洞化の現状を、整理したミクロ要因ごとに説明せよ。
- ② 日本の農業の近年の変容について、「グローバル化」、「アグリビジネス」、「WTO 体制」の三つの術語のうちのひとつと関連付けて述べよ。
- ③ 日本の代表的な環境問題を一つ挙げ、その問題の発生と経過、残された問題点について、人文地理学的な視点に留意しながら述べよ。
- ④ 文化庁の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された場所(または地域)のうちから一つを選んで、どのような特徴が「重要」と評価されたのか、またそれを保存するうえでの具体的問題点は何か、を論ぜよ。各場所(または地域)については、文化庁のHPを参照すること。

設題解答にあたっての解説・注意等

- (1) 長々と書かれたレポートは、往々にして出来の悪いことが多い。書きあげた後の推敲が不十分だから、レポートが長々しいものになるのである。設題が要求しているものに対しての答えとして必然性がない部分は、できるだけ削ってしまう勇気を持つこと。
- (2) テキストや参考文献から引用する場合には、レポートの文章中の引用部分をカッコで明瞭にくくって示し、その出典(執筆者名、著作名、引用部分の該当ページ数など)を明示したうえで、自分のレポートの文章中に適切に位置づけること。テキストから引用する場合は、引用部分末尾にカッコ書きで「(テキスト p.〇〇より)」としておけばよい。

参考文献

テキスト各章末の参考文献一覧を参照してほしい。

44699 指・経済地理学

2 設題 (4 単位)

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

第1回 (1) わが国の工業の変化について、ある特定の業種(例ー繊維産業)を取り上げて説明しなさい。その際、当該業種の変化の理由とともに、当該業種の地域集積の特徴についても説明すること。

第2回 (1) わが国の地域間経済格差について説明しなさい。その上で地域の衰退から抜け出す試みを行っている地域事例を具体的に紹介しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

レポート作成にあたって使用した参考(引用)文献は、レポートの最後に提示するだけでなく、本文中の使用したところでも必ず提示してください。

参考文献

- 藤田佳久・阿部和俊編『日本の経済地理学 50 年』古今書院、2014 年、¥7,000
- 竹内淳彦・小田宏信編『日本経済地理読本』第 9 版、東洋経済新報社、2014 年、¥2,300
- 青山裕子ほか『経済地理学キーコンセプト』古今書院、2014 年、¥3,000
- 藤田佳久編『山村政策の展開と山村の変容』原書房、2011 年、¥3,600
- 富田和暁『地域と産業ー経済地理学の基礎ー』新版、原書房、2006 年、¥2,000

44617 指①・人文地理学（都市） 2 設題 （4 単位）

※テキスト経過措置期間：～ 2019 年 3 月迄

- 第 1 回 (1) 第二次世界大戦後における日本の都市（群）システムの変化について特定の指標に基づいて論じなさい。なお、論じる際には具体的なデータを示した上で分析を行うようにしてください。
- 第 2 回 (1) 現代社会においては様々な都市問題が発生しているが、その中から一つを選び、その問題の背景や要因、問題の本質、そしてその解決策について、具体的な事例をあげて説明しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

レポートの作成には幅広く情報収集することが不可欠です。それゆえ、指定書だけでなく、関連する文献を探し、積極的に活用してください。そして、設題の文章にもあるように、具体的な事例やデータを図表などで示して論じてください。

また、文献から引用する際には該当箇所を「 」で明記するなどして、引用文と自分の論とが明確に区別できるように留意してください。引用だけでなく、多くの内容を参照する際にも、本文中で明示するようにしてください。

なお、レポートには論題を付けてください。

参考文献

- 加藤政洋・大城直樹編著『都市空間の地理学』ミネルヴァ書房、2006 年、¥3,000
- 高橋伸夫・村山祐司・菅野峰明・伊藤悟著『新しい都市地理学』東洋書林、1997 年、¥2,500
- 林上著『現代都市地理学』原書房、2012 年、¥3,800

44617 指②・人文地理学（都市） 2 設題 （4 単位）

- 第 1 回 (1) 第二次世界大戦後における日本の都市（群）システムの変化について特定の指標に基づいて論じなさい。なお、論じる際には具体的なデータを示した上で分析を行うようにしてください。
- 第 2 回 (1) 日本におけるインナーシティ問題について、特定の都市を取り上げ、特定の指標に基づいて論じなさい。なお、論じる際には具体的なデータを示した上で分析を行うようにしてください。

設題解答にあたっての解説・注意等

レポートの作成には幅広く情報収集することが不可欠です。それゆえ、指定書だけでなく、関連する文献を探し、積極的に活用してください。そして、設題の文章にもあるように、具体的な事例やデータを図表などで示して論じてください。

また、文献から引用する際には該当箇所を「 」で明記するなどして、引用文と自分の論とが明確に区別できるように留意してください。引用だけでなく、多くの内容を参照する際にも、本文中で明示するようにしてください。

なお、レポートには論題を付けてください。

参考文献

- 加藤政洋・大城直樹編著『都市空間の地理学』ミネルヴァ書房、2006 年、¥3,000
- 高橋伸夫・村山祐司・菅野峰明・伊藤悟著『新しい都市地理学』東洋書林、1997 年、¥2,500
- 林上著『現代都市地理学』原書房、2012 年、¥3,800

44616 指・人文地理学（農業） 2 設題 （4 単位）

- 【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (横書き)
- ◆一括提出 (1 回・2 回) の可否 全一括提出
- ◆記述字数 「3,000 ～ 4,000 字程度」。
- 3,000 ～ 4,000 字程度というのは、あくまでも許容される最低限度の字数であって、それ以上記すことは何ら問題はない。
- ◆レポート用紙が足りない場合は、市販の原稿用紙を使用してください。
- ◆参考にした記事等の出典 (新聞の場合: 「A 新聞」東京本社版等、年月日、第何面等、雑誌の場合: 著者名、論題 (タイトル)、雑誌名、巻・号数、刊行年、掲載ページ等、著書の場合: 著者名、書名、出版社、出版年等) を必ず明記すること。参考にした新聞記事、雑誌論文・記事、書籍等に記されている内容に、必ずしも忠実に従う必要はない。論文、記事を批判的に検討することが、むしろ望まれる場合もある。

- 第1回 (1) 農林水産物のグローバル化は「何」を意味するのか、近年の農産物の輸入・輸出実態を踏まえて具体的に論じよ。またそのグローバル化は、「誰」に対して「何」をもたらすのか併せて論じよ（ここでいう「誰」とは企業を指す場合もあれば、生産者・農家を指す場合、あるいは消費者を指す場合もある。TPP に関する議論も、「誰」に関する議論かを不問にして、あるいはそれを意図的に隠蔽していると思われる場合が見受けられる）。(3,000 ～ 4,000 字程度)
- 第2回 (1) 近年の農業、農村、食料をめぐる政策について、政策や事業の創設、改正等に関する具体的な事例を挙げ、その背景と問題点について論じよ。新聞、雑誌記事等を参考にすること。(3,000 ～ 4,000 字程度)

設題解答にあたっての解説・注意等

- (1) テキストや他の文献の「丸写し」は進歩につながりません。記載されている「現象」を大きな仕組み、たとえば日本の社会・経済、世界の経済の中に位置づけて、その「現象」が「何」を反映しているのか考えながらレポートを作成してください。自分で文章を書くことが重要です。
- (2) テキスト以外の文献も読むようにしてください。その際は、参考・引用した文献名を明記して下さい（著者、編者、文献名、発行・出版年、発行・出版社、ページ数等）。
- (3) 以下の文献はあくまでも「参考」であって、記載されていることを鵜呑みにしないようにしてください。

参考文献

- 檜原正澄・江尻彰『現代の食と農をむすぶ』大月書店、2006 年、¥2,000
- 生源寺眞一『日本農業の真実』筑摩書房（ちくま新書）、2011 年、¥740
- 生源寺眞一『農業と人間―食と農の未来を考える―』岩波書店、2013 年、¥2,100

44613

指・人文地理学特講（地域・産業・生活）

2 設題 （4 単位）

- 第1回 (1) 1959 年、イギリスのフランクス卿は講演で「世界の均衡は…北の工業諸国と南の発展途上諸国との適切な関係に向けられている」と述べた。（テキスト『南北・南南問題』pp.4-6）この「適切な関係」とは何か。テキストの内容をよく読んで各自の考えを述べよ。
- 第2回 (1) 以下のあげた (a) ～ (d) の民族問題から一つを選び、その経緯、内容、各自の感じとったことをそれぞれ記せ。（『民族』の意味をよく踏まえること）
- (a) イスラエル・パレスチナ問題 (b) 旧ユーゴスラビア解体にみる民族間対立
- (c) 中国の民族問題 (d) ヨーロッパ内のマイノリティ問題（具体的に）

設題解答にあたっての解説・注意等

- ① 他の文献や資料、インターネットなどから引用する際は、必ず引用符（「…」）をつけて直接引用し、そのつど出所を明らかにすること。
- ② ウィキペディアからの安易な引用は認めない。参考にした際は必ず他の資料で裏付けすること。
- ③ レポートの末尾に引用・参考文献を明記すること。『自立学習の手引き』を参照。これができていないと例外なく不合格にする。

参考文献

- 『新詳資料 地理の研究』帝国書院
- 財団法人矢野恒太記念会『日本国勢図会』
- 財団法人矢野恒太記念会『世界国勢図会』
- 柄谷行人『世界共和国へ―資本＝ネーション＝国家を超えて』岩波新書 1001、2006 年
- 西川潤『新・世界経済入門』岩波新書 1482、2014 年

44700

指・文化地理学

2 設題 （4 単位）

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

- 【特記事項】 ◆ リポートノートの使い方 （横書き厳守）
- ◆ ワープロ使用が望ましい。その場合、別紙にプリントアウトしたものを、リポートノートに貼りつけるとよい。
- ◆ 一括提出の可否 （第1回 (1) 合格後、第2回 (1) を提出。）

- 第1回 (1) テキスト p.23 にある「図2-1 C.O.Sauer による景観形成モデル」に示されている内容を、詳しく説明せよ。そのモデルがどのような意図をもって作られたのかについても示すこと。
- 第2回 (1) 自分の居住地の近辺などで見かけられる「シンボルとしての建築物」（テキスト pp.170-171 参照）を1枚の写真におさめたうえで、①その建築物がシンボライズしているものは何かを考察せよ。単にその建築物が生まれた経緯

を記すのではない。また、②その建築物を含む景観についてのあなたの評価をまとめよ。①と②とを分けて論述すること。写真は、ごく普通のサイズ（L判）を添付してもよいし、あるいは本文中に図像として取り込んでもよい。ただし、自分で撮影したものに限る（ほかの媒体からの転用は不可）。なお、撮影日時とおおよその撮影地点の説明も必ず付すこと。

設題解答にあたっての解説・注意等

- (1) 長々と書かれたリポートは、往々にして出来の悪いことが多い。書きあげた後の推敲が不十分だと、リポートが長々しいものになるのである。設題が要求しているものに対しての答えとして必然性がない部分は、できるだけ削ってしまう勇気を持つこと。
- (2) テキストや参考文献から引用する場合には、リポートの文章中の引用部分をカッコで明瞭にくくって示し、その出典（執筆者名、著作名、引用部分の該当ページ数など）を明示したうえで、自分のリポートの文章中に適切に位置づけること。テキストから引用する場合は、引用部分末尾にカッコ書きで「(テキスト p. ○○より)」としておけばよい。

参考文献

テキスト各章末の参考文献一覧を参照してほしい。

44512

指・自然地理学概論（2）

1 設題 （2 単位）

【特記事項】 ◆リポートノートの使い方

（横書き）

パソコン（ワープロ）使用を原則とする（指定された形式を守ること）

◆記述字数

1 設題につき、3000 字～6000 字（図表含む）

A 4（1600 字）2～4 枚程度

第 1 回 (1) 以下の設題から一つを選び、示された形式に従ってリポートを提出せよ。

- ①日本の気候の特徴を世界の気候区分との比較のもとに示し、日本における気候学的な課題について具体的なテーマと地域を選定して、データを収集し、解析した上で考察した結果を示せ。
- ②日本の地形の特徴を、大地形と地形発達史の観点から示し、具体的な地域を選定して、自然災害と地形の関係について考察した結果を示せ。
- ③日本の水環境の特徴を、水文学的視点から示し、具体的な課題と地域を選定して、データを収集し、解析した上で考察した結果を示せ。
- ④日本の植生の特徴を生物地理学的視点から示し、具体的な課題と地域を選定して、データを収集し、解析した上で考察した結果を示せ。

設題解答にあたっての解説・注意等

- (1) 一般的な学術論文の形式・体裁に従って記述すること（特に、「地理学評論」を参照）
- (2) テキスト以外の複数の文献も参照して記述すること。文献は、末尾に整理して掲載すること。
- (3) テキスト・文献からの直接的な引用は行わず、要約して記述する場合も出典を明確にすること。
- (4) 扱う資料・データは、できるだけ一次資料とし、HP や文献に掲載された加工済みのものの使用は避けること。
- (5) 饒舌な文章で記述せず、データをもとに、オリジナルの図表を作成した上で、自らの考察結果を示すこと。
- (6) できる限り、以下の形式（「地理学評論」に準ずる）に沿って記述すること。

【余 白】：上下 25mm、左右 20mm 【段・文字数】：2 段組（1 段 20 文字×40 行）、1 ページ 1,600 字（図表含む）

【フォント】：タイトル 14 ポイント、氏名など 12 ポイント、本文 10.5 ポイント

【要 旨】：200 字前後で、タイトル・氏名の下、本文の上にセンタリングしてまとめる（1 段組）。

参考文献

指定しないので、テーマにあわせて自ら選択すること。

一般書や教科書ではなく、できるだけ学術論文を数多く参照すること。

44603

指・地学概論

2 設題 （4 単位）

【特記事項】 ◆一括提出の可否

（第 1 回(1)合格後、第 2 回(1)提出）

第 1 回 (1) 日本におけるプレートテクトニクスと地震・火山活動の関わりについてまとめなさい。

第 2 回 (1) 第四紀における気候変動の特徴についてまとめなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①教科書や参考資料から文章を引用する際は、該当箇所をカッコ付けで示すこと。教科書の丸写しでは合格できません。
- ②レポートの末尾に、参考文献のリストを必ず付けること（インターネット上の情報を参照した際は、ウェブサイト名、URL、閲覧日を記載すること）。

44607

自然地理学（地形）

2 設題 （4 単位）

第1回 (1) 地形をつくる作用についてまとめなさい。

第2回 (1) 火山地形についてまとめなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

必要に応じて図や表を引用、もしくは自作してもよい。引用の場合は出典を明記すること。オーソライズされていない引用元（ウィキペディアなど）から直接コピーペーストしないこと。教科書や参考書の丸写しでは合格できません。参考文献の「理科系の作文技術」を読んで、事実と推定をはっきり区別し、段落構成や言葉の使い方、全体の構成についてよく勉強した上でレポート作成に取り掛かることをおすすめします。

参考文献

- 貝塚爽平『日本の地形』岩波新書、1977 年、¥800
- 貝塚爽平ほか『写真と図でみる地形学』東京大学出版会、2007 年、¥4,800
- 太田陽子ほか『日本列島の地形学』東京大学出版会、2010 年、¥4,500
- 木下是雄『理科系の作文技術』中央公論社、1981 年、¥700

44619

指・自然地理学（生物・土壌）

2 設題 （4 単位）

※指定テキスト「世界の土壌」（古今書院）は、本学生協書籍部のみで販売しています。

【特記事項】 ◆一括提出の可否 （第1回(1)合格後、第2回(1)提出）

第1回 (1) 土壌の生成作用にはどのようなものがあるか、まとめよ。それぞれの作用は、どの地域に、どのような気候と植生のところに出現しているのか、テキストにそってまとめよ。

第2回 (1) 北半球における中緯度の複数の土壌特性を、大陸西岸、大陸内陸部、大陸東岸にわけて説明せよ。また、3地域において、なぜ土壌特性がことなるのか、植生と気候の観点から考察し、まとめよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①教科書や参考文献から文章を引用する際は、該当箇所をカッコ付けで示すこと。
- ②レポートの末尾に、参考文献のリストを必ず付けること（インターネット上の情報を参照した際は、ウェブサイト名、URL、閲覧日を記載すること）。

44620

自然地理学（気候・気象）

2 設題 （4 単位）

第1回 (1) 次の2つの設題のどちらか一方を任意に選択してレポートを作成しなさい。

- ①『気候学』は学問としての成立過程から、長い間、大気現象を「相加平均値」で捉えて説明することに努めてきた。この視座に立脚した場合、問題となる点に関して数値的な実例を挙げながら説明を試みなさい。
- ②北半球を対象にして、気温、降水量、ないし風系などの分布における地域差について述べた上で、そのような地域差が生ずる背景について説明を試みなさい。

第2回 (1) 次の2つの設題のどちらか一方を任意に選択してレポートを作成しなさい。

- ①まず「ベルゲン学派」について知っている内容を述べなさい。その上で、北半球を対象にして、気団と前線、および低気圧の出現における地域性について説明を試みなさい。
- ②気候の分類を踏まえて、気候地域区分に関する2つに大別される視点について述べなさい。その上で、各々を代表する気候地域区分の実例を挙げながら、それらの要点について説明を試みなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

各自のレポートの構成を適正に意識して作成すること。

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.181 参照のこと。

【特記事項】 ◆リポートノートの使い方

- ◆パソコン（ワープロ）使用の可否
- ◆一括提出（1 回・2 回）の可否
- ◆記述字数

一般的な学術論文の形式・体裁に従って記述したものを貼り付けて提出。（特に、「地理学評論」、「陸水学雑誌」を参照のこと）

原則として、ワープロを用いること。

原則として、1 回目合格後に 2 回目を提出のこと。

A4（1,600 字）2～4 枚程度（図表含む）

< 3,000 ～ 6,000 字程度 >

- 第 1 回** (1) 海洋陸水学の諸問題の中からテーマを選定し、関連論文のリスト（15 編以上）を作成した上で、先行研究のレビューを行い、該当テーマに関する研究の現状と課題についてまとめよ。また、具体的な調査・研究対象地域を選定して、その地域の「水文誌」を作成した上で、調査・研究計画についても示し、小論文の中間報告として提出せよ。

（参考文献は、一般書や教科書ではなく、学術論文を多く参照すること）

- 第 2 回** (1) 第 1 回で提出したテーマにしたがって、対象地域の水環境データを収集・整理・解析し、図表などを作成した上で考察し、その結果をまとめて小論文として提出せよ。

（第 1 回で提示した参考文献をさらに吟味して取捨選択し、レビューや地域概略についても記述し、第 1 回目のリポートも含めて小論文として完成させること）

設題解答にあたっての解説・注意等

できる限り、以下の形式（「地理学評論」に準ずる）に従って記述すること。

【余 白】：上下 25mm、左右 20mm

【段・文字数】：本文 2 段組（1 段 20 文字×40 行、1 ページ 1600 字程度）

【フォント】：タイトル 14 ポイント、氏名など 12 ポイント、本文 10.5 ポイント

【要旨】：タイトル・氏名の下にセンタリングして 200 文字前後でまとめる

【キーワード】：要旨の下に、4～6 程度のキーワードをセンタリングして記入

参考文献

指定しないので、テーマにあわせて自ら選択すること。

一般書や教科書ではなく、できるだけ学術論文を数多く参照すること。

- 第 1 回** (1) インドにおける 1960 年代以降の農業と農村の変化について述べよ。具体的な裏づけとして、農業や農村の変化に関する数値等も示すこと。

- 第 2 回** (1) ①現在のマレーシアにおける民族構成の概略と、19 世紀後半以降の半島マレーシアにおける多民族社会の形成について、1,200 字程度で述べよ。

- ②ムスリムの主要な居住地域を白地図＜A 4 サイズ＞に色鉛筆で着色し、彼らに共通する生活様式について 800 字程度で説明文をつけよ。分布図作成において、参考にした文献・資料等は、文章作成の際のものと区別して明記すること。なお、白地図は通信教育部文学部担当に請求して下さい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①参考・引用文献を必ず明記すること（執筆者・編者、文献名、発行年、発行所、引用頁など）。

- ②参考文献の丸写しは不可。引用の場合はその部分をカッコで明確に示し、自分の文章のなかに適切に位置づけること。

- ③リポートは長いばかりが能ではない。必然性のある文章のみにとどめ、不要な部分は思い切って削ってしまうこと。

- ④第 2 回設題①②の分布図の作成では、出来るだけ最新の文献・資料にもとづく、詳細な地図を求めます。

参考文献

- ヴァンダナ・シヴァ著・浜谷喜美子訳『緑の革命とその暴力』オンデマンド版、日本経済評論社、1997 年、¥3,800

- 内藤正典『ヨーロッパとイスラーム』岩波新書、2004 年、¥740

- 二宮書店編集部編『データブック・オブ・ザ・ワールド 2017』二宮書店、2017 年、¥650

【特記事項】 ◆この科目は全部で6問ありますが、そのうち4つを選択しそれぞれ2,000 字程度で解答してください。(一冊につき2設題、計2冊を提出)

第1回(1)、第1回(2)、第2回(1)、第2回(2)でそれぞれ1つずつ選択。

- ① 地球スケールから見て、日本の気候・気象現象の個性・特異性を示していると考えられる大気現象を任意に1つ取り上げて説明を試みよ。ただし、その際、その特異性の事実、背景にある要因、および世界の他地域との相違などに関する各自の考察内容を必ず含むこと。
- ② 日本列島スケールから見て、地域性を保有していると考えられる気候・気象現象を任意に1つ取り上げて説明を試みよ。ただし、その際、その地域性の事実・実態、それを招来している背景＝要因、および他の地理的事象との関連性などに関する各自の考察内容を含むこと。
- ③日本の台地と平野の特徴について説明しなさい。
- ④日本の土壌の特徴について説明しなさい。
- ⑤日本の河川の平均的水質の特徴とその決定要因、また、2～3の地域別河川の平均水質（テキスト p.234 表Ⅲ-9 参照）について説明せよ。
- ⑥地下水の過剰揚水による地盤沈下と地下水の塩水化現象について、具体的地域事例を挙げて説明せよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

①②について

- (1): 何か適当な参考書を探して、それを転記したような内容のレポートで合格を望むのは無理である。あくまで、自分の内容として理解をした上で作成し、レポート全体の構成も意識すること。
- (2): 各設題で何が問われているのかを熟慮し、それから構想を練って取り組むこと。なお、必要に応じて図表や写真をもとに説明を試みることは認めるが、引用明記は遵守すること。
- (3): レポートの構成（起承転結）を十分に考えて、かつ下書きを少なくとも数回、吟味してから清書すること。鉛筆書きは認めないが、ワープロの使用は可とする。ただし、いずれも横書きとし、形式は所定の原稿用紙に準ずること。
- (4): 2設題一括の提出でも良い。ただし、単に受験資格を得るためだけの『出せば良い』式の安易なりポートは添削・評価をしないので、注意すること。
- (5): 原稿用紙の使い方をきちんと習得した上で、横書きで清書すること。

③④について

必要に応じて図や表を引用、もしくは自作してもよい。引用の場合は出典を明記すること。オーソライズされていない引用元（ウィキペディアなど）から直接コピーペーストしないこと。教科書や参考書の丸写しでは合格できません。

⑤⑥について

- (1) 単にテキストや参考文献を引用するだけでなく、理解した内容を図表化したりして、独創性の発揮につとめること。
なお、図表等は別紙に書いて添付すること（資料・参考書のコピーの添付は不可）。
- (2) 参考文献名を最後に明記すること。

参考文献

③④について

- 貝塚爽平『日本の地形』岩波新書、1977 年、¥840
- 貝塚爽平ほか『日本の自然 1 巻～8 巻』岩波書店、1995 年、¥3,883
- 久馬一剛『土とは何だろうか?』京都大学学術出版会、2005 年、¥1,500
- 山野井徹『日本の土』築地書館、2015 年、¥2,300

⑤⑥について

テキストの「引用・参考文献〔第Ⅲ編〕」を参照すること（pp. 375-376）。

- 第1回 (1) 「東京・大阪・名古屋」と「札幌・仙台・広島・福岡」と「横浜・神戸」の三タイプの都市について、比較しながらそれぞれの経済成長の特徴を説明しなさい。そしてそれらのことが今日の日本社会にとってどのような意味を有するのか、人口の偏在や地域格差などに関連づけて説明しなさい。
- 第2回 (1) わが国の交通体系の発達について、旅客輸送と貨物輸送に分けて説明しなさい。その上で、旅客輸送と貨物輸送それぞれが抱える問題について説明しなさい。海・陸・空の輸送形態があることに留意すること。

設題解答にあたっての解説・注意等

レポート作成にあたって使用した参考（引用）文献は、レポートの最後に提示するだけでなく、本文中の使用したと

ころでも必ず提示してください。また、一度書き上げてからの推敲も、様々な発見の機会となるため、大切な学びの時間としていただきたい。

参考文献

- 竹内淳彦・小田宏信編『日本経済地理読本』第9版、東洋経済新報社、2014年、¥2,300
- 林上著『現代都市地理学』原書房、2012年、¥3,800
- 伊藤喜栄・藤塚吉浩編『図説 21 世紀日本の地域問題』古今書院、2008年、¥2,500
- 三木理史著『近代日本の地域交通体系』大明堂、1999年、¥5,000

44525

世界地誌（１）（アジア）

2 設題 （4 単位）

第1回 (1) アジアの自然地理学的大区分（中央アジア・東アジア・西北アジア・西アジア・南アジア）に従って、各々の地域の特色を明らかにせよ。

ただし、東アジアは中国本土のみの記述で良く、南アジアには東南アジアを含めて論述すること。

第2回 (1) ① アジアのモンスーンの形成機構および季節的変動について説明せよ。

② 上の①に続いて、東アジア（特に中国）・東南アジア・南アジアの農業立地論を展開せよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

第1回 (1) 通教テキストの該当ページを参照し、要点を簡潔にまとめること。

第2回 (1) ①モンスーンの成因としては地球規模の大気大循環系における収束帯や発散帯の季節的南北移動、大陸と海洋の気圧（温）差の季節的変動、地球自転による転向力、山脈の障壁の存在のような地形的条件などの観点からまとめること。

②あくまでもモンスーンとの係りの中で農業立地論を展開すること。

参考文献

- 倉嶋厚著『モンスーン 季節をはこぶ風』河出書房新社、1972年、¥580
 - 朝倉正他著『新版気象ハンドブック』朝倉書店、1995年、¥32,000
 - 鈴木秀夫著『風土の構造』講談社、1988年、¥800
 - 河野通博編『世界地誌ゼミナールⅠ 東アジア』大明堂、1974年、¥1,800
 - 岩田慶治編『世界地誌ゼミナールⅡ 南アジア』大明堂、1972年、¥2,175
- ※現在入手困難な出版物も含まれますので、図書館等も利用してください。

44526

指・世界地誌（２）（アメリカ・大洋州）

2 設題 （4 単位）

第1回 (1) アメリカ合衆国の産業・社会・政治の特徴について、具体的な事例を挙げて論じなさい。なお、何故その事例を選択したのか、その理由を必ず記しなさい。

第2回 (1) ラテンアメリカ諸国・オセアニア諸国の産業・社会・政治の特徴について、具体的な事例を挙げて論じなさい。なお、何故その事例を選択したのか、その理由を必ず記しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

レポートの作成には幅広く情報収集することが不可欠です。それゆえ、指定書だけでなく、関連する文献を探し、積極的に活用してください。そして、設題の文章にもあるように、具体的な事例やデータを図表などで示して論じてください。

また、文献から引用する際には該当箇所を「 」で明記するなどして、引用文と自分の論とが明確に区別できるように留意してください。引用だけでなく、多くの内容を参照する際にも、本文中で明示するようにしてください。

なお、レポートには論題を付けてください。

参考文献

- 熊谷圭知・片山一道編『オセアニア 朝倉世界地理講座 15』朝倉書店、2010年、¥19,000
- 小塩和人・岸上伸啓編『アメリカ・カナダ 朝倉世界地理講座 13』朝倉書店、2006年、¥16,000
- 小林泉・加藤めぐみ・石川栄吉ほか監修『オセアニアを知る事典』新版、平凡社、2010年、¥5,200
- 坂井正人・鈴木紀・松本栄次編『ラテンアメリカ 朝倉世界地理講座 14』朝倉書店、2007年、¥18,000

44527

指・世界地誌（３）（欧・アフリカ）

2 設題 （4 単位）

【特記事項】 ◆第1回(1)、第2回(1)ともに、①～⑤のポイントをわかりやすく記述してください。

◆レポートノートの使い方 （横書き）

- 第1回 (1) EU加盟国28カ国(2016年現在)をすべてあげ、①EU内の地域的な経済格差およびEUという地域統合体がつつ②政治、③文化、④社会の特徴と⑤その問題点について記述しなさい。
- 第2回 (1) ロシア連邦について、①自然環境、②政治、③経済、④文化の特徴についてまとめたうえで、ロシアと周辺諸国との関係について、⑤国境線を共有する隣接国家14カ国のなかから一つ選んで、その関係について記述しなさい。

参考文献

- 加賀美雅弘編『EU(世界地誌シリーズ)』朝倉書店、2011年、¥3,400
- 加賀美雅弘ほか編『ヨーロッパ学への招待』学文社、2010年、¥2,500
- ユーラシア研究所『ロシアがわかる12章』改訂版、東洋書店、2005年、¥600
- 廣瀬陽子『ロシア苦悩する大国 多極化する世界』アスキー新書、2011年、¥743

44514

地図学

2 設題 (4 単位)

【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (横書き)

- 第1回 (1) ①日本における2万5千分の1地形図の、作成の経緯と特色についてまとめよ。また、②2017年度現在発行されている2万5千分の1地形図のうち任意の1枚を選び、図幅名を明記した上で、図幅内の地形・植生・土地利用の分布状況について読み取り、わかりやすく記述せよ。
- 第2回 (1) ①三角点とは何か、地図作成における三角測量の役割と関連づけて説明せよ。また、②日本国内の任意の三角点(等級や場所を問わない)1か所を、地形図などで探して実際に見学に行き、その等級や設置されている場所の状況(地形・植生・土地利用など)を報告せよ。レポートには、見学した三角点の位置を示す地図(地形図のコピーなど)と見取り図、標石を撮影した写真を添えること。周辺の風景写真などを加えてもよい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・資料のある場合は、本文とは別ページに添付して提出のこと。
- ・参考文献は本文の末尾に必ず記載すること。インターネットの参照も認めるが、ウェブサイト名、URL、閲覧日などの必要情報を記載すること。ただし、インターネットの参照情報だけでレポートを組み立てているものは認めない。

34504

指・史学概論

2 設題 (4 単位)

- 第1回 (1) 歴史小説と歴史研究者が書いた歴史書のちがいについて論じなさい。
- 第2回 (1) 「歴史は書きかえられる」とは何を意味しているのか論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

第1回(1)

「根拠を問いつける」ことの意味をよく考えながら、「史料批判」に踏み込んで論じること。

第2回(1)

カー『歴史とは何か』および溪内謙『現代史を学ぶ』をあわせ読んでまとめること。

参考文献

- E・H・カー『歴史とは何か』岩波書店、1962年、¥820
- 溪内謙『現代史を学ぶ』岩波新書、1995年、¥820
- 遅塚忠躬『史学概論』東京大学出版会、2010年、¥6,800
- 良知力『青きドナウの乱痴気』平凡社ライブラリー、1993年、¥1,068

34501

日本史概説

2 設題 (4 単位)

- 第1回 (1) 2つのうち1つを選択し回答
- ① 律令制度下の地方制度について述べよ。
 - ② 荘園の構造について述べよ。
- 第2回 (1) 2つのうち1つを選択し回答
- ① 幕藩体制の構造について述べよ。
 - ② 自由民権運動について述べよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・それぞれの事項がどのような事実であるかを述べ、それらが各時代でどのような意義をもつものであるかを指摘し、

- その後の歴史にどのように関連していくのかを考えて記述すること。
- ・持論を展開するのではなく、先行研究の流れを理解して整理すること。
- ・指定テキストの他に複数の参考文献を用いること。
- ・参考文献は、啓蒙書・概説書・インターネット等に依らず、学術論文・研究書等から探すこと。
- ・指定テキストや参考文献、インターネットの記述をそのまま記載する等の行為は厳禁である。
- ・レポート末尾に参照した文献を列挙すること。

参考文献

- 大津透・桜井英治・藤井謙治・吉田裕・李成市編『岩波講座 日本歴史』全22巻、岩波書店、2013年～2016年、¥3,200
- 『要説日本歴史』東京創元社、¥2,800
- 『概説日本歴史』吉川弘文館、¥1,900
- 『日本歴史大系』全18巻、山川出版社、¥2,913～¥3,398
- 『国史大辞典』全15巻、吉川弘文館、¥18,000

34502

旧／指・東洋史概説

2 設題 (4 単位)

※ (旧・東洋史概説) テキスト経過措置期間：～2019年3月迄

第1回 (1) 官制、法制、軍制、財政、農業のうち1つ以上選んで、隋から宋までの変遷過程における隋の果たした役割と歴史的意義について述べなさい。

第2回 (1) 明朝成立の背景について、宋から元までの歴史を踏まえて述べなさい。ただし、明の歴史について述べる必要はない。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①指示された王朝(隋・唐・宋(北宋のみで可)あるいは北宋・金・南宋・元)のそれぞれの特徴と変遷過程を明記した上で、隋または元について論ずること。参考文献は公共の図書館で利用できる。
- ②箇条書き、体言止め、文学的表現、参考図書の丸写し、新聞・雑誌・小説・随筆などにみられる婉曲・誇張・修飾的な表現を不可とする。
- ③レポートを書く前に、一つ以上の史学関係の学術論文(『史学雑誌』『東洋史研究』『法政史学』等の雑誌掲載の論文)を読み、論の展開の仕方、結論の導き方、文章表現、年号表記、参考文献の書き方を理解したうえで、自分のレポートを完成させる。レポートの場合、目次、章立て、章の題名、先行研究、脚注、図表は省略していいが、最後に参考文献を明記する。
- ④レポートを書いた後、全く事情の知らない人が自分のレポートを読んで理解できるか、誤字・脱字・重複表現・接続詞の連続使用がないか、推敲した上で提出する。

参考文献

(旧・東洋史概説)

●富谷至・森田憲司編『概説 中国史(上)』昭和堂、2016年、¥2,300

●富谷至・森田憲司編『概説 中国史(下)』昭和堂、2016年、¥2,300

(共通)

●布目潮風・栗原益男『中国の歴史 第4巻 隋唐帝国』初版、講談社、1974年

●周藤吉之・中嶋敏『中国の歴史 第5巻 五代・宋』初版、講談社、1974年

●愛宕松男・寺田隆信『中国の歴史 第六巻 元・明』初版、講談社、1974年

●愛宕元・富谷至『中国の歴史 上 古代・中世』初版、昭和堂、2005年、¥2,300

●愛宕元・森田憲司『中国の歴史 下 近世・近現代』初版、昭和堂、2005年、¥2,300

※参考文献の上記3冊は古いため現在出版されていないものですが、図書館で利用可能で、参考にするには最適な本です。

34503

指・西洋史概説

2 設題 (4 単位)

第1回 (1) ドイツにおける叙任権闘争の経緯とその意義、その結果がドイツ史、ヨーロッパ史に与えた影響について述べなさい。

第2回 (1) フランス絶対主義の時代について、その特徴を、その社会構造と王権の関わりに注目しつつ、述べなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

指定テキスト以外に参考文献を3冊以上用いる。テーマについて十分詳細に扱っているものを選ぶ。文献の選択に際しては、下記文献巻末の文献一覧も参照する。
使用した文献をレポート末尾に列挙する。

参考文献

- 成瀬治『ドイツ史1』（世界歴史大系）山川出版社、1997年、¥5,619
- 柴田三千雄『フランス史2』（世界歴史大系）山川出版社、1996年、¥5,343

54518

指・社会経済学 A

2 設題 (2 単位)

- 第1回 (1) 市場による生産と分配の調整について述べよ。労働の社会性、労働生産物と商品との違い、貨幣の役割について言及すること。(テキストの序章、第1章が参考になる。)
- 第1回 (2) 剰余価値の生産について説明せよ。労働力商品の特殊性、可変資本と不変資本、労働過程と価値増殖過程について言及すること。(テキストの第1章、第2章が参考になる。)

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①テキストの内容を十分に理解した上で、全体の論理構成をよく練って解答すること。
- ②文献からの引用・抜粋にあたっては、括弧で括った上で典拠を明記すること。
- ③論旨にそった見出しなどを用いて、読みやすくすること。

参考文献

- 大谷禎之介『経済原論』（通信教育部、旧テキスト）
- 大谷禎之介『図解 社会経済学』桜井書店、2002年

54519

指・社会経済学 B

2 設題 (2 単位)

- 第1回 (1) 資本主義社会における人口法則と失業との関連について述べよ。相対的過剰人口論と絶対的過剰人口論との違い、有機的構成の高度化と産業予備軍、現代の労働市場の動向に言及すること。
- 第1回 (2) 価値の生産価格への転化について述べよ。費用価格、利潤、剰余価値率の利潤率への転化、平均利潤率の形成について言及すること。(テキストの第5章が参考になる。)

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①テキストの内容を十分に理解した上で、全体の論理構成をよく練って解答すること。
- ②文献からの引用・抜粋にあたっては、括弧で括った上で典拠を明記すること。
- ③論旨にそった見出しなどを用いて、読みやすくすること。

参考文献

- 大谷禎之介『経済原論』（通信教育部、旧テキスト）
- 大谷禎之介『図解 社会経済学』桜井書店、2002年

44533

旧／指・日本史特講（日本仏教史）

2 設題 (4 単位)

※（旧・日本史特講（日本仏教史））テキスト経過措置期間：～2019年3月迄

【特記事項】 ◆レポートの最後に必ず参考文献を記すこと。ワープロ（パソコン）使用の場合は字数を明記すること。

- 第1回 (1) 鎌倉～室町時代の僧を1人取り上げて、その行動と思想を説明し、中世仏教における位置づけを論述せよ。
- 第2回 (1) 江戸幕府や藩の仏教統制と、特徴的な人物や集団を1つ取り上げて説明し、そのうえで近世仏教の特質を論述せよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

（旧・日本史特講（日本仏教史））

第1回は、テキストの第3部をよく読み、参考文献も参照すること。事実関係だけでなく、歴史的な位置づけを考えて記すこと。第2回は、テキストの第4部をよく読み、参考文献も必ず参照し、具体例を示したうえで、近世仏教の特質を考察すること。取り上げる人物や事例によっては、参考文献を自身で探す必要がある。参考文献とテキストで記述や評価が異なる場合は、その点を明記し、依拠した書籍を示すこと。

（指・日本史特講（日本仏教史））

テキスト（第1回は5～7章、第2回は8章）およびスタディガイドをよく読み、参考文献も参照すること。第1回は、特定の僧の行動（事績）と思想（著作その他）を紹介したうえで、同時代の他の僧との対比などの考察を通して、特徴や位置づけを論じること。第2回は、幕府・藩の仏教統制と、特徴的な人物・集団とを紹介したうえで、近世仏教の特質を自身の言葉で論じること。第1回・第2回とも、取り上げる対象によって、参考文献を自身で探す必要がある。

参考文献

- 中尾堯編『日本の名僧 重源』吉川弘文館、2004年、¥2,600
- 松尾剛次編『日本の名僧 叡尊・忍性』吉川弘文館、2004年、¥2,600
- 寺尾英智ほか編『日本の名僧 日親・日奥』吉川弘文館、2004年、¥2,600
- 末木文美士『近世の仏教』吉川弘文館、2010年、¥1,700
- 圭室文雄『日本仏教史 近世』吉川弘文館、1987年、¥2,800

44534

指・日本史特講（日本思想史）

2 設題 （4 単位）

【特記事項】 ◆レポートの最後に必ず参考文献を記すこと。ワープロ（パソコン）使用の場合は字数を明記すること。

第1回 (1) 日本思想の形成を、律令国家の成立、外来思想の受容との関係から説明せよ。

第2回 (1) 日本中世の思想と、日本近世の思想との相違を、仏教・神道・儒教の3者の関係を軸に据えて説明せよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

第1回については、テキストの第1章だけでなく、I「古代の思想」（概説と第1～第5章）全体をよく読み、日本の古代国家形成に強い影響を与えた外来思想と、その日本における受容について考察すること。第2回については、テキストの第8章以降（特に第9・14・16・19章）をよく読み、仏教・神道・儒教の关系到留意し、中世と近世の思想が大局的にみてどのように異なるのかを説明すること。

参考文献

- 苅部直ほか編『日本思想史講座 1 古代』ベリカン社、2012年、¥3,800
- 苅部直ほか編『日本思想史講座 2 中世』ベリカン社、2012年、¥3,800
- 小倉慈司ほか編『天皇の歴史 9 天皇と宗教』講談社、2011年、¥2,600
- 岡田莊司編『日本神道史』吉川弘文館、2010年、¥3,500
- 今井淳ほか編『日本思想論争史』ベリカン社、1979年、¥2,200

34541

東洋史特講（中国現代史）

2 設題 （4 単位）

※ 2015年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

【特記事項】 ◆記述字数 (2,000 字から 3,000 字程度)
◆ワープロ使用の可否 (可。ただし、総字数を明記すること)
◆レポート用紙が足りない場合は、市販の A4 判原稿用紙を使用し、講評欄の前に貼付すること。

第1回 (1) 第2次世界大戦（日中戦争）終結前後から中華人民共和国成立までの期間の中国に関する歴史的事項（例えば、政治・社会・経済的な事件、運動や対外関係など。あるいは、この時期に活躍した人物の行動や思想についてなど）を取り上げて、その概略、背景、歴史的意義などについて論じなさい。

第2回 (1) 辛亥革命から中華人民共和国成立までの期間の中国に関する歴史的事項（同上。ただし第1回で設定した主題は除く）を取り上げて、その概略、背景、歴史的意義などについて論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- (1) レポートのテーマは、2,000～3,000字という制限字数をよく考慮して、焦点をしぼること。
- (2) 「タイトル」を冒頭に必ず明示し、「はじめに」「本文」「おわりに」「注一覧」「参考文献一覧」等に分けて叙述すること。「はじめに」ではレポートのテーマや目的などを、「おわりに」にはレポートの結論、残された課題などを記すこと。「本文」は小見出し（章立て）を整えて、結論に関わる重要な箇所には「注」を付けて根拠となる先行研究や史料を明示すること（5箇所以上）。活用した文献は「参考文献一覧」に明記すること。
- (3) 執筆に際しては、テキスト以外に少なくとも3つの文献（書籍、論文、史料等）をよく読み比べること。法政大学図書館や地元の図書館を活用して、選定したレポートのテーマについてできるだけ詳しく言及している文献を探し出してください。
- (4) テキスト・参考文献からの抜き書きや漠然とした感想ではなく、自分の言葉による叙述と先行研究・史料に基づいた実証的な考察（根拠を示した論証）を心がけること。

参考文献

- 石川禎浩著『革命とナショナリズム 1925 - 1945』岩波書店、2010年、¥820
- 礪波護・岸本美緒・杉山正明編『中国歴史研究入門』名古屋大学出版会、2006年、¥3,800
- 横山宏章著『中華民国一賢人支配の善政主義』中央公論社、1997年、¥820
- 小島晋治・並木頼寿編『近代中国研究案内』岩波書店、1993年、¥4,466

●姫田光義・阿部治平・石井明ほか著『中国 20 世紀史』東京大学出版会、1993 年、¥2,800

*現在入手困難な出版物も含まれますので、図書館等も利用してください。

44531 旧／新・西洋史特講（西洋哲学史）

2 設題 （4 単位）

※（旧・西洋史特講（西洋哲学史））テキスト経過措置期間：～2019 年 3 月迄

- 第 1 回 (1) プラトン、アリストテレス、アウグスティヌス、トマス・アクィナスの思想が、哲学史の中でどのような意味をもっているのか、まず記すこと。
次にその思想形成にそれ以前のどのような哲学者の思想が影響を与えたのか、その思想の背景を調べて記すこと。
最後にその哲学者の思想が、後世の哲学史にどのような影響を及ぼしたかを記すこと。
かならず四人をレポートすること。
- 第 2 回 (1) デカルト、ロック、カント、ヘーゲルの思想が、哲学史の中でどのような意味をもっているのか、まず記すこと。
次にその思想形成にそれ以前のどのような哲学者の思想が影響を与えたのか、その思想の背景を調べて記すこと。
最後にその哲学者の思想が、後世の哲学史にどのような影響を及ぼしたかを記すこと。
かならず四人をレポートすること。

参考文献

- 今道友信『西洋哲学史』第 1 版、講談社学術文庫、1987 年、¥1,100
- 木田元『反哲学史』第 1 版、講談社学術文庫、2000 年、¥920
- 岩田靖夫『西洋思想のあゆみ』第 1 版、有斐閣 S シリーズ、1993 年、¥2,200

44532 指・西洋史特講（キリスト教史）

4 設題 （4 単位）

【特記事項】 ◆一括提出の可否 (第 1 回(1)(2)合格後、第 2 回(1)(2)提出)
◆記述字数 (1 設題につき 2400 字程度)

- 第 1 回 (1) 預言者エリヤ、アモス、イザヤ、第 2 イザヤについて、それぞれの活動の時代背景に触れつつ、それぞれの使信（メッセージ）についてまとめよ。
- 第 1 回 (2) モーセ五書全体が読者に伝えようとしている使信（メッセージ）について、その編纂の時代背景と歴史観に触れつつ論じよ。
- 第 2 回 (1) 史的イエスの活動と思想について、いくつかの聖書箇所を分析しつつ論じよ。
- 第 2 回 (2) キリスト教がユダヤ教から分離するプロセスについて、パウロ神学とローマのユダヤ人に対する政策に触れつつ論じよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①第 1 回の参考文献
上村静『宗教の倒錯』第 I 部
上村静『旧約聖書と新約聖書』第一章
- ②第 2 回の参考文献
上村静『宗教の倒錯』第 III 部、第 IV 部
- ③聖書記事については、書名、章節への言及で十分であり、引用は最小限にとどめること。
- ④上記以外の文献を参照してよいが、言及、引用する際は出典（著者、書名、ページ数）を明記すること。インターネットの記事は使用しないこと。
- ⑤聖書の各文書と箇所は、略記してよい（例：マタイによる福音書 20 章 1-16 節＝マタ 20：1-16、ローマの信徒への手紙 7 章 1-20 節＝ロマ 7：1-20、コリントの信徒への手紙一 15 章 3-5 節＝I コリ 15：3-5 等）。

テキスト

旧新約聖書（推奨：『聖書 新共同訳 旧約聖書続編つき』日本聖書協会）

参考文献

- 上村静著『宗教の倒錯——ユダヤ教・イエス・キリスト教』岩波書店、2008 年、¥2,800
- 上村静著『旧約聖書と新約聖書——「聖書」とはなにか』新教出版社、2011 年、¥2,000
- 『聖書 新共同訳 旧約聖書続編つき』日本聖書協会、標準サイズ（小型）、¥3,600、ハンディタイプ、¥3,100

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

第 1 回 (1) 1905 年革命後に帝政ロシア政府が行った諸改革の内容とその意義について述べなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

加納先生の著作を含めて、教科書以外に参考文献を 3 冊以上用いる。テーマについて十分詳細に扱っているものを選ぶ。文献の選択に際しては、下記文献巻末の文献一覧も参照する。

使用した文献をレポート末尾に列挙する。

参考文献

- 加納格『ニコライ二世とその治世』東洋書店（ユーラシア・ブックレット）、2009 年、¥600
- 田中陽児『ロシア史』2（世界歴史大系）、山川出版社、1994 年、¥5,343
- 木畑洋一・南塚信吾・加納格『帝国と帝国主義』有志舎、2012 年、¥2,400

— 指定テキストおよびリポートノートの追加・訂正・補足 —

以下の科目は追加・訂正・補足があります。配本されたテキストはすでに訂正されているものもあります。
新たに明らかになった追加・訂正・補足は、随時『法政通信』に掲載します。

科目名	種別	掲載更新
地理調査法（自然編）	通教テキスト	2012 年 3 月
自然地理学（気候・気象）	通教テキスト	2016 年 3 月

[通教テキスト]

■地理調査法（自然編）	（東郷正美 佐藤典人 井上奉生）

p.232 13 行目

$$\text{(誤)} Sk = \frac{\bar{x} - Mo}{\sigma (\text{標準偏差})}$$

$$\text{(正)} Sk = \frac{\bar{x} - Me}{\sigma (\text{標準偏差})}$$

2012 年 3 月現在

■自然地理学（気候・気象） (2015 年発行)	(佐藤典人)

p.53 最下行

(誤) (p.38)

(正) (p.39)

p.73 閑話④右下端

(誤) ϕ

(正) ω

p.214 下から 6 行目

(誤) ～発見する。

(正) ～発現する。

p.220 下から 13 行目

(誤) 図 6.36 に

(正) 図 6.35 に

p.227 下から 8 行目

(誤) 地形に多量の～

(正) 地域に多量の～

p.230 上から 6 行目、および 10 行目

(誤) ～を超えて

(正) ～を越えて

p.231 下から 11 行目

(誤) ～切り放たれた

(正) ～切り離された

p.252 上から 1 行目

(誤) (佐藤:1990)

(正) (佐藤:1991)

p.265 下から 11 行目

(誤) Matsubara,T

(正) Matsura,T

p.294 下から 8 行目

(誤) ～はずであると

(正) ～はずであると

p.324 上から 1 行目

(誤) (1979) である。

(正) (1879) である。

p.361 上から 1 行目

(誤) レジームである気候要素

(正) レジームで、 ある気候要素

p.409 下から 12 行目

(誤) 他でもないいこの～

(正) 他でもないくこの～

p.418 上から 12 行目

(誤) 現在の 4 倍に

(正) 1980 年時点の 4 倍に

2016 年 3 月現在

2017年度 単位修得試験の出題範囲

【留意事項】

- 試験範囲は担当教員が認めた科目に限り公表しています。
- 試験範囲が公表される場合であっても、その科目のテキスト全体を熟読することが前提となりますので、科目によってはここに記載された内容以外からも出題される場合があります。
- ここに発表されていない科目（テキスト）は、原則テキスト全体からの出題となります。ただし、科目によっては学習範囲がテキストの一部に限定されている場合があります。詳細は、シラバスで確認してください。
※経過措置テキストの場合は、経過措置テキストに対応した過年度のシラバスを参照してください。
- 記載内容の意味など、出題範囲に関する質問は一切受け付けません。また、試験終了後に試験問題と範囲に関する照会も受け付けません。
- この表の科目名の表記は、「設題総覧」及び単位修得試験の表記に合わせています。

科目名	出題範囲	
自然地理学概論（１）	毎回、テキスト全体からテーマを選定して２題出題するので、テキスト全体をバランスよく学習すること。テキストで示されている事例にとどまらず、関連する具体的な課題について学習しておくことも必要である。	
指・自然地理学概論（２）	毎回、15章全体からまんべんなく出題するので、テキスト全体をバランスよく学習すること。テキストで示されている事例にとどまらず、関連する具体的な課題について学習しておくことも必要である。	
自然地理学（海洋・陸水）	試験範囲は、毎回、テキストの全範囲とするので、まんべんなく学習すること。 特に、「海洋」、「湖沼」、「地下水」、「陸水学・水文学」、「水循環・水収支」の中から３題問いがあるので、バランスよく学習すること。	
日本地誌（1）（自然編）	※水文分野のみ公開 テキストで示されている事例にとどまらず、関連する具体的な課題について学習しておくことも必要である。	
	4月	日本と世界の河川特性
	5月	日本の湖沼
	6月	日本の地下水
	7月	人為にともなう河床変動
	10月	東北地方の陸水
	11月	関東地方の陸水
	12月	渡良瀬川
	1月	近畿地方の陸水
世界地誌（１）（アジア）	毎回、テキスト全体からテーマを選定して２題出題するので、テキスト全体をバランスよく学習すること。テキストで示されている事例にとどまらず、関連する具体的な課題について学習しておくことも必要である。	
地図学	2題のうち、1題は教科書『地図学Ⅰ』の範囲から、もう1題は同じく『地図学Ⅱ』の範囲から出題する。	
旧／指・東洋史概説	4月	清の対外政策と国内政策
	5月	宋の国際関係
	6月	漢の対外政策
	7月	清末民国
	10月	秦の国内政策
	11月	唐の国際関係
	12月	元の国内政策
	1月	明の対外政策

科目名	出題範囲	
指・西洋史概説	4月	古代オリエント、ギリシャ、ローマ
	5月	古代オリエント、ギリシャ、ローマ
	6月	ヨーロッパ中世
	7月	ヨーロッパ中世
	10月	ヨーロッパ近世
	11月	ヨーロッパ・ブルジョア革命と産業革命
	12月	ナショナリズムと帝国主義
	1月	20世紀
指・社会経済学A	4月	市場経済
	5月	貨幣の成立と諸機能
	6月	資本と生産、賃労働
	7月	資本と生産、剰余価値の生産
	10月	過剰人口
	11月	産業循環、失業
	12月	資本蓄積
	1月	現代の労働市場
指・社会経済学B	4月	再生産過程の分析
	5月	利潤と価格①
	6月	利潤と価格②
	7月	利潤率の動態過程
	10月	信用論と金融システム
	11月	農業と土地所有
	12月	世界市場の成立と恐慌・産業循環
	1月	国家と経済政策
東洋史特講（中国現代史）	テキストで扱っている内容を試験範囲とし、1910～20年代を中心に1問、1930～40年代を中心に1問の計2問を出題する。	
指・西洋史特講（キリスト教史）	古代ユダヤ史（前10～後2世紀）および旧約聖書（モーセ五書、歴史書、預言書）。初期キリスト教史（後1～2世紀）および新約聖書（共観福音書、使徒言行録、パウロの手紙）。	
西洋史特講（ロシア史Ⅱ）	4月	18世紀ロシア
	5月	農奴解放
	6月	反体制思想
	7月	第1次世界大戦と二月革命
	10月	十月革命
	11月	初期のソ連
	12月	スターリン体制
	1月	第2次世界大戦とソ連

経済学部 経済学科 専門教育科目

Contents

●2017年度 通信学習科目 指定テキスト・科目掲載ページ一覧……	186
● 2017年度 通信学習シラバス ……………	189
●2017年度 設題総覧	
・レポート設題と参考文献……………	206
・指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足……………	222
●2017年度 単位修得試験の出題範囲 (p.225 に記載した留意事項を必ず確認して下さい) ……	225

2017年度 通信学習科目 指定テキスト・科目掲載ページ一覧

科目名	履修 学年	構成 単位	テキスト 種別 (入手方法)	2017年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社（市販 本のみ）／発行年／定価（税抜）	備考	教科書 コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
								シラバス	設題	試験範囲
指・社会経済学A	1	2	指定市販本 (各自購入)	『現代経済と経済学』（新版） 増田壽男・沢田幸治編 有斐閣、2007年、¥2,800	同一テキスト	S-088	¥2,826	189	206	225
指・社会経済学B	1	2						189	206	225
指・統計学A	1	2	指定市販本 (各自購入)	『調査と分析のための統計』（第2版） 上藤一郎・森本栄一・常包昌宏・ 田浦元著 丸善、2013年、¥2,500	同一テキスト ※初版（2006年）も 使用可 スタディガイドあり	S-089	¥2,525	189	206	—
指・統計学B	1	2						190	206	—
指・経済史A	1	2	指定市販本 (各自購入)	『図説西洋経済史』 飯田 隆著 日本経済評論社、2005年、¥2,500	スタディガイドあり	S-090	¥2,545	190	207	—
指・経済史B	1	2	指定市販本 (各自購入)	『日本経済史』（改訂新版） 宮本又郎編著 放送大学教育振興会、2012年、 ¥2,700		S-091	¥2,729	190	207	—
旧・簿記Ⅰ (～2019年3月迄)	1	2	通教テキスト (一)*2	『簿記Ⅰ』永野則雄、第2版、 1997年	専用リポートノート (サーモン色)*1 (テキスト改訂： ～2019年3月迄) 経過措置テキスト	—	—	—	207	—
新・簿記Ⅰ (2017年4月～)	1	2	通教テキスト (配本)	『簿記Ⅰ』永野則雄、第3版、 2017年	専用リポートノート (白茶色)*1 (テキスト改訂：2017 年4月～) 最新の指定テキスト	—	—	191	207	—
旧・簿記Ⅱ (～2019年3月迄)	1	2	通教テキスト (一)*2	『簿記Ⅱ』永野則雄、第2版、 1997年	専用リポートノート (赤色)*1 (テキスト改訂： ～2019年3月迄) 経過措置テキスト	—	—	—	207	—
新・簿記Ⅱ (2017年4月～)	1	2	通教テキスト (配本)	『簿記Ⅱ』永野則雄、第3版、 2017年	専用リポートノート (黄色)*1 (テキスト改訂：2017 年4月～) 最新の指定テキスト	—	—	191	207	—
指・財政学A	2	2	指定市販本 (各自購入)	『基礎コース 財政学』（第3版） 林 宜嗣 新世社、2011年、¥2,350	同一テキスト スタディガイドあり	S-092	¥2,399	191	208	225
指・財政学B	2	2						192	208	225
指・金融論A	2	2	指定市販本 (各自購入)	『金融論をつかむ』 前多康男、鹿野嘉昭、酒井良清 有斐閣、2006年、¥2,400	同一テキスト	S-094	¥2,437	193	209	—
指・金融論B	2	2						193	209	—
指・経済政策論A	3	2	指定市販本 (各自購入)	『マクロ経済学入門』 麻生良文著 ミネルヴァ書房、2009年、¥3,500		S-095	¥3,527	193	209	—
指・経済政策論B	3	2	指定市販本 (各自購入)	『公共経済学』（有斐閣アルマ） 林 正義・小川 光・別所俊一郎 有斐閣、2010年、¥2,300		S-096	¥2,330	193	210	—
外国語経済学	3	2	通教テキスト (一)*2	『外国語経済学』第1版 絵所秀紀、2006年	※2016年4月～新規 履修不可	—	—	194	210	225
農業論	3	4	通教テキスト (一)*2	『農業論』第1版 大島 清、1976年	※2016年4月～新規 履修不可	—	—	194	210	—
指・経済学史	3	4	指定市販本 (各自購入)	『コア・テキスト経済学史』 井上義朗著 新世社、サイエンス社（発売）、 2004年、¥2,650	※2016年4月～新規 履修不可	S-098	¥2,700	195	211	—
指・社会政策	3	4	指定市販本 (各自購入)	『はじめての社会保障』（第13版） 掠野美智子・田中耕太郎著 有斐閣、2016年、¥1,800	※2016年4月～新規 履修不可 ※第9版（2012年） 以降も使用可。 2冊使用します	S-099	¥1,844	195	211	—
				『福祉の総合政策』新訂五版 駒村康平著 創成社、2011年、¥3,000		S-100	¥3,031			
指・工業論	3	4	指定市販本 (各自購入)	『アジアの経済発展と産業技術』 馬場敏幸、ナカニシヤ出版、2013 年、¥2,500	※2016年4月～新規 履修不可	S-101	¥2,535	195	211	225

* 1) 旧・簿記Ⅰ／旧・簿記Ⅱのリポートノートの新規提出・再提出は2019年3月迄です。再提出の場合は同じ版（帯封が同じ色）のリポートノートを購入し再提出してください。

* 2) 原則「教材交付願」での購入のみ。

科目名	履修学年	構成単位	テキスト種別 (入手方法)	2017年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社（市販本のみ）／発行年／定価（税抜）	備考	教科書コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
								シラバス	設題	試験範囲
指①・経営学総論Ⅰ (～2018年3月迄)	1	2	指定市販本 (各自購入)	『経営学への招待』〔新装版〕 坂下昭宣著 白桃書房、2014年、¥2,600	※第3版（2007年）も使用可 (テキスト変更：～2018年3月迄) 経過措置テキスト	S-104	¥2,642	—	211	—
指②・経営学総論Ⅰ (2016年4月～)	1	2	指定市販本 (各自購入)	『グロービス MBA マネジメント・ブック〔改訂3版〕』グロービス 経営大学院、 ダイヤモンド社、2008年、¥2,800	(テキスト変更：2016年4月～) 最新の指定テキスト	S-136	¥2,836	196	212	—
指①・経営学総論Ⅱ (～2018年3月迄)	1	2	指定市販本 (各自購入)	『経営学への招待』〔新装版〕 坂下昭宣著 白桃書房、2014年、¥2,600	※第3版（2007年）も使用可 (テキスト変更：～2018年3月迄) 経過措置テキスト	S-104	¥2,642	—	212	—
指②・経営学総論Ⅱ (2016年4月～)	1	2	指定市販本 (各自購入)	『グロービス MBA マネジメント・ブック〔改訂3版〕』グロービス 経営大学院、 ダイヤモンド社、2008年、¥2,800	(テキスト変更：2016年4月～) 最新の指定テキスト	S-136	¥2,836	196	212	—
簿記Ⅲ	2	2	通教テキスト (配本)	『簿記Ⅲ』第1版 神谷健司・市川佳功、2013年	専用リポートノート	—	—	196	213	—
旧・簿記Ⅳ (～2018年3月迄)	2	2	通教テキスト (—)*2	『簿記Ⅳ』第1版 神谷健司・市川佳功、2013年	専用リポートノート (テキスト改訂：～2018年3月迄) 経過措置テキスト	—	—	—	213	226
新・簿記Ⅳ (2016年4月～)	2	2	通教テキスト (配本)	『簿記Ⅳ』第2版 神谷健司・市川佳功、2016年*3	専用リポートノート (テキスト改訂：2016年4月～) 最新の指定テキスト	—	—	197	213	226
指・日本経済論A	3	2	指定市販本 (各自購入)	『概説 日本経済史 近現代』〔第3版〕三和良一著 東京大学出版会、2012年、¥2,500		S-097	¥2,535	197	213	—
指①・日本経済論B (～2018年3月迄)	3	2	指定市販本 (各自購入)	『概説 日本経済史 近現代』〔第3版〕三和良一著 東京大学出版会、2012年、¥2,500	(テキスト変更：～2018年3月迄) 経過措置テキスト	S-097	¥2,535	—	214	—
指②・日本経済論B (2016年4月～)	3	2	指定市販本 (各自購入)	『日本経済史 近世一現代』 杉山 伸也、岩波書店、2012年、¥4,000	(テキスト変更：2016年4月～) 最新の指定テキスト	S-137	¥4,043	197	214	—
指・財務会計論Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『財務会計講義』(第18版) 桜井久勝 中央経済社、2017年3月発行予定	同一テキスト (※毎年3月には改訂版が出版されています。最新版を入手してください)	S-108	生協に 問合せて 下さい	197	214	226
指・財務会計論Ⅱ	3	2						198	214	226
指①・原価計算論Ⅰ (～2018年3月迄)	3	2	指定市販本 (各自購入)	『原価計算テキスト』 佐藤康男・福田淳児著 中央経済社、2006年、¥2,100	(テキスト変更：～2018年3月迄) 経過措置テキスト	S-109	¥2,136	—	215	226
指②・原価計算論Ⅰ (2016年4月～)	3	2	指定市販本 (各自購入)	『ファーストステップ原価計算を学ぶ』山北晴雄・福田淳児、中央 経済社、2016年、¥2,400	(テキスト変更：2016年4月～) 最新の指定テキスト	S-138	¥2,427	198	215	226
指①・原価計算論Ⅱ (～2018年3月迄)	3	2	指定市販本 (各自購入)	『原価計算テキスト』 佐藤康男・福田淳児著 中央経済社、2006年、¥2,100	(テキスト変更：～2018年3月迄) 経過措置テキスト	S-109	¥2,136	—	215	226
指②・原価計算論Ⅱ (2016年4月～)	3	2	指定市販本 (各自購入)	『ファーストステップ原価計算を学ぶ』山北晴雄・福田淳児、中央 経済社、2016年、¥2,400	(テキスト変更：2016年4月～) 最新の指定テキスト	S-138	¥2,427	199	215	226
管理会計論Ⅰ	3	2	通教テキスト (申告制)	『管理会計論』第2版 佐藤康男、2003年	同一テキスト	—	—	199	216	—
管理会計論Ⅱ	3	2						200	216	—
指・国際金融論Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『国際金融のしくみ』〔第4版〕 (有斐閣アルマ) 秦 忠夫・本田敬吉・西村陽造著 有斐閣、2012年、¥2,000	同一テキスト	S-113	¥2,039	200	216	226
指・国際金融論Ⅱ	3	2						200	217	226
指・憲法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『現代日本の憲法』〔第2版〕 元山健・建石真公子編 法律文化社、2016年、¥2,800	※初版（2009年）も使用可	S-026N	¥2,836	201	217	226

* 3) 「簿記Ⅳ」の2016年度に配本したテキストには、奥付が「2015年3月1日第2版第1刷」と記載されている場合がありますが、正しくは「2016年3月1日第2版第1刷」です。お詫びし訂正します。

科目名	履修 学年	構成 単位	テキスト 種別 (入手方法)	2017年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社（市販 本のみ）／発行年／定価（税抜）	備考	教科書 コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
								シラバス	設題	試験範囲
指・民法一部（総則・物権法）	3	4	指定市販本 (各自購入)	『民法 総則・物権』（第5版） (有斐閣アルマ) 山野目章夫著、有斐閣、2012年、 ¥1,800	※第4版（2007年） も使用可	S-102	¥1,834	201	217	—
指①・民法二部（債権法） (～2019年3月迄)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『スタートライン債権法』（第5版） 池田真朗著 日本評論社、2010年、¥2,400	(テキスト変更： ～2019年3月迄) 経過措置テキスト	S-103	¥2,437	—	218	—
指②・民法二部（債権法） (2017年4月～)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『債権（エッセンシャル民法3）』 永田真三郎、松本恒雄、松岡久和、 横山美夏 有斐閣、2010年、¥2,500	(テキスト変更：2017 年4月～) 最新の指定テキスト	S-145	¥2,535	202	218	—
指・商法総則・商行為法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『商法総則・商行為法（第4版）』 田邊光政著 新世社、2016年、¥2,980		S-032	¥3,011	202	219	227
指・会社法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『会社法詳解』（第2版） 柴田 和史著 商事法務、2015年、¥5,400	スタディガイドあり	S-033N	¥5,383	203	220	—
指・手形法・小切手法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『商法Ⅲ手形・小切手』（第4版） (有斐閣Sシリーズ) 大塚 龍児・林 靖・福瀧 博之 著 有斐閣、2011年、¥2,100		S-045	¥2,136	204	220	227
指・労働法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『基礎から学ぶ労働法Ⅰ労働法総 論・個別的労働関係法』（第3版） 金子 征史・藤本 茂・ 大場 敏彦・高野 敏春著 エイデル研究所、2012年、¥2,381	2017年に第4版 発行予定 2冊使用します	S-040	¥2,439	204	221	227
				『基礎から学ぶ労働法Ⅱ集团的労 働関係法・社会保障法』（第2版） 金子 征史・藤本 茂・ 大場 敏彦編、 エイデル研究所、2016年、¥2,300		S-041	¥2,370			
社会経済思想史	3	4	通教テキスト (配本)	『社会思想史』（第2版） 濱田 義文、加来 彰俊、湯川 桂一郎、牧野 英二、星野 勉、 安孫子 信、笠原 賢介、酒井 健、2010年		—	—	205	221	—
指・経済地理	3	4	指定市販本 (各自購入)	『経済地理学入門—地域の経済発 展』（新版） 山本健児 原書房、2005年、¥2,800		S-078	¥2,816	205	221	—

2017年度 通信学習シラバス

社会経済学 A

教科担当責任者：原 伸子

担当者：相沢 裕紀、原 伸子
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 1. 資本主義経済システムの歴史的な性格を理解すること。
2. 現代資本主義において生起する諸問題を基礎理論にまでさかのぼって理解するための概念を習得すること。

2 科目の概要 社会経済学の対象は歴史的に存在し発展する資本主義社会の経済システムです。したがって社会経済学の内容を理解するためには歴史的視点が重要になってきます。歴史的視点とは、われわれが生活する資本主義社会およびそれを理論化する体系を動的にとらえ、展開することです。すなわち、18 世紀末から 19 世紀初頭の産業革命によって成立した資本主義社会、20 世紀初頭の独占資本の成立と国家の介入、戦後の福祉国家体制、グローバリゼーションと福祉国家の変容などを理解するための理論体系を学びます。社会経済学 A では、価値・商品（市場システム）、資本の生産の基礎理論に重点をおきます。

3 成績評価基準 成績は規定にもとづいて、レポートと試験で評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『現代経済と経済学 [新版]』、有斐閣、増田壽男・沢田幸治編、2007 年、¥ 2,800+税

5 学習指導、注意点等 学習は本来、受動的なものではなく、主体的に行われるものです。通信教育課程はそのような本来の学問姿勢がまさに試される場です。日頃から現実に対する問題関心を持ちながら勉学に励むことによって、充実した学生生活を送ることができるでしょう。レポート作成にさいしては、テキストをよく読んで与えられた課題に正確に答えることがまず前提になりますが、それとともに、現実に対する自らの問題意識との関連性が問われる場でもあります。質問も含めて積極的な取り組みに努めてください。

社会経済学 B

教科担当責任者：原 伸子

担当者：相沢 裕紀、原 伸子
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 1. 資本主義経済システムの歴史的な性格を理解すること。
2. 現代資本主義において生起する諸問題を基礎理論にまでさかのぼって理解するための概念を習得すること。

2 科目の概要 社会経済学の対象は歴史的に存在し発展する資本主義社会の経済システムです。したがって社会経済学の内容を理解するためには歴史的視点が重要になってきます。歴史的視点とは、われわれが生活する資本主義社会およびそれを理論化する体系を動的にとらえ、展開することです。すなわち、18 世紀末から 19 世紀初頭の産業革命によって成立する資本主義社会、20 世紀初頭の独占資本の成立と国家の介入、戦後の福祉国家体制、グローバリゼーションと福祉国家の変容などを理解するための理論体系を学びます。社会経済学 B では、資本蓄積（雇用・失業・成長）、社会的再生産、競争と価格、信用、農業、産業循環、福祉国家の危機（新保守主義の登場）などを理解

するための基礎理論に重点をおきます。

3 成績評価基準 成績は規定にもとづいて、レポートと試験で評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『現代経済と経済学 [新版]』、有斐閣、増田壽男・沢田幸治編、2007 年、¥ 2,800+税

5 学習指導、注意点等 学習は本来、受動的なものではなく、主体的に行われるものです。通信教育課程はそのような本来の学問姿勢がまさに問われる場です。日頃から現実に対する問題関心を持ちながら勉学に励むことによって、充実した学生生活を送ることができるでしょう。レポート作成にさいしては、テキストをよく読んで与えられた課題に正確に答えることがまず前提になりますが、それとともに、現実に対する自らの問題意識とその関連性が問われる場でもあります。質問も含めて積極的な取り組みに努めてください。

統計学 A

教科担当責任者：森 博美

担当者：森 博美
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 2007 年に改正された統計法では、その第 1 条で政府統計が「国民にとって合理的な意思決定を行うための基盤となる貴重な情報である」と謳われています。本科目では、受講者が統計についての学習を通してデータに基づいて現状に関する客観的認識を行ない、またデータに基づいて合理的な行動できるようになること、統計を使って様々説明されている点について、統計利用が適切に行われているかどうかを吟味できる能力を身につけるようになることを目的としています。

2 科目の概要 データを適切に利用するためには、解析手法だけでなく、必要なデータの適切な選び方、統計データの処理の仕方、その結果の正しい読み方、分析結果の適切な表現といったことが求められます。このため設題では、様々な今日的な社会・経済問題の中からテーマを選び、それについて具体的な統計データを用いて分析してもらうことにしています。

3 成績評価基準 論文作成にあたっては、論点の絞り込みや論文構成、さらには個々の論点に対応する統計データが適切に使用されているかなどを中心に提出された論文の記述内容を評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『調査と分析のための統計』第 2 版、丸善、上藤一郎・森本栄一・常包昌宏・田浦元著、2013 年、¥ 2,500+税
※初版（2006 年）の使用も可
※【スタディガイド（学習指導書）】あり

テキストの学習範囲は、第 2 版では第 1 章～第 11 章（第 4 章を除く）です。初版では第 1 章～第 10 章です。スタディガイドは、初版をもとに作成しているため学習範囲は第 1 章～第 10 章として記載しています。また第 2 版の第 4 章は特に範囲として追加はしませんが、統計利用の際に大変参考になる内容を持っているので、一読することをお勧めします。

各種の白書、論文、雑誌記事、政府その他が統計報告書、ウェブ、統計年鑑などによって公表している統計を参考にしながら論文を作成してもらうことにしています。なお、統計データの読み方については、多数の本が市販されています。

5 学習指導、注意点等 論文を執筆する際には、必ず予め

全体の構成について十分練り上げて、そのそれぞれの部分をどのような資料を参考にしながら自分の考えを展開するかを検討してください。また、論文の冒頭には、設定された課題に対してどのような視角からアプローチするかを、また結びには考察の結果得られたことに関する自分の考えを必ず述べるようにして下さい。

統計学 B

教科担当責任者：森 博美

担当者：森 博美
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 この講義では、データに基づく論旨の展開能力、データを用いた主張等について、データが適切に使用されているかどうかの判別能力を身に付けてもらうことを学習の到達目標として考えています。

2 科目の概要 日常生活の中には様々な情報があふれています。そのような現代の生活の中で、私たちには、あふれる情報の中から新に意味のある情報をすくい取り、それらを適切に使うことによって、適切な認識に基づく判断や行動をすることが求められています。

統計学は、正確な統計がどのようにしたら作れるか、また作成公表される統計データを正しく読み取るにはどのようにすればよいといったことに関する学問です。このため設題では、様々な社会問題を取り上げ、それについて具体的な統計データを用いて分析を行ってもらうようにしています。

3 成績評価基準 提出された論文の評価については、論点が適切に絞り込まれているか、論旨の展開にデータが有効に活用されているか、論旨が首尾一貫したストーリー性をもって展開されているかどうか、という点から評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『調査と分析のための統計』第2版、丸善、上藤一郎・森本栄一・常包昌宏・田浦元著、2013年、¥ 2,500+税
※初版（2006年）の使用も可
※【スタディガイド（学習指導書）】あり

テキストの学習範囲は、第2版では第1章～第11章（第4章を除く）です。初版では第1章～第10章です。スタディガイドは、初版をもとに作成しているため学習範囲は第1章～第10章として記載しています。また第2版の第4章は特に範囲として追加はしませんが、統計利用の際に大変参考になる内容を持っているので、一読することをお勧めします。

その他にも統計データの読み方に関しては、多数の書籍が市販されていますのでそれらを参考にしてください。

5 学習指導、注意点等 論文を執筆する際には、必ず予め全体の構成について十分練り上げて、そのそれぞれの部分をどのような資料を参考にしながら自分の考えを展開するかを検討してください。また、論文の冒頭には、設定された課題に対してどのような視角からアプローチするかを、また結びには考察の結果得られたことに関する自分の考えを必ず述べるようにして下さい。

経済史 A

教科担当責任者：杉浦 未樹

担当者：杉浦 未樹
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 1) 市場経済がどのように発展していったかを理解する。
2) またそれには様々な類型があったことを理解する。
3) 論理的な文章が書けるようになること。

2 科目の概要 本科目の目的は、その成立以来200年以上に及ぶ市場経済の歴史を概観することによって、経済社会の仕組みを理解するとともに経済学の考え方を身に付けることにある。その主要素材として、市場経済システムが最初に確立した欧米の経済史を取り上げる。経済史である以上、生産・流通・金融・財政の各方面の動きを追っていくが、企業経営の歴史にも留意する。

3 成績評価基準 リポート評価に当たっては、下記を重視する。
1) 教科書、参考書等の丸写しは不可。必ず自分の考えを盛り込む。
2) リポート作成に使用した参考文献は脚注で明記する。
3) 誤字、脱字に注意すること。
4) 字数の標準を遵守すること。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『図説西洋経済史』、日本経済評論社、飯田隆著、2005年、¥ 2,500+税
※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 テキストだけでなく、その中で引用されている関連文献なども積極的に学習すること。
現代的視点から歴史を理解する態度を身につけてほしい。

経済史 B

教科担当責任者：牧野 文夫

担当者：牧野 文夫
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 1) 日本における市場経済がどのように発展していったかを理解する。
2) またそれに対し、国内的、国際的要因がどのように作用したか理解する。
3) 論理的な文章が書けるようになること。

2 科目の概要 本科目の目的は、近世（徳川時代初期）から現在に至る時期までの日本の経済の発展の過程を概観することによって、日本の経済・社会の発展の仕組みを理解し、また現在の日本経済の到達点やそれが抱えている問題を歴史的経路から理解することにある。

3 成績評価基準 リポート評価に当たっては、下記を重視する。
1) 教科書、参考書等の丸写しは不可。必ず自分の考えを盛り込む。
2) リポート作成に使用した参考文献は脚注で明記する。
3) 誤字、脱字に注意すること。
4) 字数の標準を遵守すること。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『日本経済史』改訂新版、放送大学教育振興会、宮本二郎編著、2012年、¥2,700+税

5 学習指導、注意点等 テキストだけでなく、その中で引用されている関連文献なども積極的に学習すること。現代的視点から歴史を理解する態度を身につけてほしい。

簿記Ⅰ
教科担当責任者：筒井 知彦
担当者：筒井 知彦 単位数：2 単位 ※ 2017 年 4 月よりテキスト（通教テキスト）改訂

1 学習の到達目標 簿記Ⅰ・Ⅱは、会計（特に財務会計）への入門として、簿記を初めて学ぶ学生を対象として簿記の基礎を学ぶことにします。簿記のレベルとしては、日本商工会議所の簿記検定3級と同じです。したがって、簿記検定3級レベルの理解ができることを目標としています。

2 科目の概要 簿記は会計（特に財務会計）の一部です。会計は「ビジネスの言語」といわれています。このビジネスの言語は、企業によって使われている社会的な技術です。身近な商店から世界的な会社に至るまで、その複雑さと難しさは大きく異なりますが、会計の基本的な仕組みは同じです。

「簿記Ⅰ・Ⅱ」は、会計の入門として、簿記の基本的な仕組みを学ぶことになっています。まず、「簿記Ⅰ」は、事業活動における基本的な出来事を対象として、簿記の基本的な仕組みと記帳方法を重点的に学びます。次に、「簿記Ⅱ」は、「簿記Ⅰ」の理解を前提として、さらに詳しい事業活動を対象としてその処理と詳しい記帳の仕方を学びます。「簿記Ⅰ・Ⅱ」は、商店などの個人企業の簿記を扱っています。株式会社の簿記あるいは会計については、その事業活動が複雑になるので、「簿記Ⅲ・Ⅳ」や「会計学入門Ⅰ・Ⅱ」などで学ぶことになります。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価します。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『簿記Ⅰ』第3版、永野則雄、2017年

5 学習指導、注意点等 簿記は頭で理解するだけでなく、手を動かすことによって体得するということが重要です。まず、①テキストを良く読んで復習問題を解く（1回目）、②1つの章が終わったらその章の復習問題を再度解く（2回目）、③全体を終えたら全体の復習問題を再度解く（3回目）、④レポートを作成して提出する。簿記Ⅰをこの手順で理解してから簿記Ⅱに取り掛かるようにしてください。テキスト以外の本で学んだ人では、テキストの復習問題を全部解いてからレポートを作成してください。

勘定科目名が多く出てきますが、誤字のないようにきちんと覚えることが大切です。各種の帳簿や表を作成する際には自分で合計線や締切線などを引くことになります。その際、テキストの例を真似て線を引くようにしてください。

簿記Ⅱ

教科担当責任者：筒井 知彦

担当者：筒井 知彦
単位数：2 単位

※ 2017 年 4 月よりテキスト（通教テキスト）改訂

1 学習の到達目標 簿記Ⅰ・Ⅱは、会計（特に財務会計）への入門として、簿記を初めて学ぶ学生を対象として簿記の基礎を学ぶことにします。簿記のレベルとしては、日本商工会議所の簿記検定3級と同じです。したがって、簿記検定3級レベルの理解ができることを目標としています。

2 科目の概要 簿記は会計（特に財務会計）の一部です。会計は「ビジネスの言語」といわれています。このビジネスの言語は、企業によって使われている社会的な技術です。身近な商店から世界的な会社に至るまで、その複雑さと難しさは大きく異なりますが、会計の基本的な仕組みは同じです。

「簿記Ⅰ・Ⅱ」は、会計の入門として、簿記の基本的な仕組みを学ぶことになっています。まず、「簿記Ⅰ」は、事業活動における基本的な出来事を対象として、簿記の基本的な仕組みと記帳方法を重点的に学びます。次に、「簿記Ⅱ」は、「簿記Ⅰ」の理解を前提として、さらに詳しい事業活動を対象としてその処理と詳しい記帳の仕方を学びます。「簿記Ⅰ・Ⅱ」は、商店などの個人企業の簿記を扱っています。株式会社の簿記あるいは会計については、その事業活動が複雑になるので、「簿記Ⅲ・Ⅳ」や「会計学入門Ⅰ・Ⅱ」などで学ぶことになります。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価します。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『簿記Ⅱ』第3版、永野則雄、2017年

5 学習指導、注意点等 簿記は頭で理解するだけでなく、手を動かすことによって体得するということが重要です。まず、①テキストを良く読んで復習問題を解く（1回目）、②1つの章が終わったらその章の復習問題を再度解く（2回目）、③全体を終えたら全体の復習問題を再度解く（3回目）、④レポートを作成して提出する。簿記Ⅰをこの手順で理解してから簿記Ⅱに取り掛かるようにしてください。テキスト以外の本で学んだ人では、テキストの復習問題を全部解いてからレポートを作成してください。

勘定科目名が多く出てきますが、誤字のないようにきちんと覚えることが大切です。各種の帳簿や表を作成する際には自分で合計線や締切線などを引くことになります。その際、テキストの例を真似て線を引くようにしてください。

財政学 A

教科担当責任者：廣川 みどり

担当者：大澤 覚、廣川 みどり
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 日本財政の現状を把握し、どうあるべきかについて考えるための基礎的な知識と論理的思考力を身につけることが目標になります。

2 科目の概要 財政学とは政府の経済活動について考える学問領域です。政府の経済活動にはどのようなものがあるか、ど

れだけの規模か、そもそも政府が経済介入することの意味とは
 なにか、消費税率をあげることの意味はあるのか、租税と公債
 とでは効果が異なるのかどうか、赤字国債の発行の長所や短所
 は何なのか、等について考えていくことになります。財政学の
 学習には制度・現状の把握のほかに理論を学ぶことが必要にな
 ります。財政学を学ぶことで経済理論の使い方をも修得し、現
 実の経済をながめるようになっていただければ幸いです。

財政学 A では特に、(1) 経済活動における政府の役割の理解、(2)
 日本の財政制度や財政問題の把握、(3) 政府支出や租税の理論の
 習得、の3点が中心になります。指定テキストの第1章から第
 5章までが習得範囲ということになります。

3 成績評価基準 単位修得試験の結果が成績になります。(1)
 基本用語を把握すること、(2) 論理的な流れを理解すること、(3)
 各章末問題を解くこと、(4) 参考書（またはネットの情報）をも
 とにデータについての最新の値を把握しておくこと、そのうえ
 で、(5) 自分なりの財政についての考え方を持てば、単位が賦与
 されることになります。試験問題の回答にあたっては、テキス
 トの内容を反映させるのはもちろんのこと、ネットや図書館を
 利用して調べた情報をもとに、テーマにどう答えたらよいかよ
 く考えて書いて下さい。

4 テキスト名および詳細 テキストとインターネット上の
 データ（またはネットにアクセスできない人は参考書のデータ）
 を用いて学習して下さい：

テキスト：指定市販本 林宜嗣『基礎コース財政学 第3版』新
 世社、2011年、¥2,350+税

※【スタディガイド（学習指導書）】あり

参考書：

・矢野恒太記念会『日本国勢図会』国勢社、最新年度版。

・『図説日本の財政』東洋経済新報社、最新年度版。

ホームページ上の情報

・日本の財政関係資料（最新年度版）：http://www.mof.go.jp/budget/fiscal_condition/related_data/201610.html

・財政投融资リポート：http://www.mof.go.jp/filp/publication/filp_report/zaito2016/index.htm

テキストは10章からなります。財政学 A では、その第1章から
 第5章までの内容を範囲とします。

5 学習指導、注意点等 学習については以下の形で進めて
 下さい：

(1) ノートを用意してください。

(2) テキストを開く前に、自分がいま「政府の経済活動」につい
 てどのような知識を持っているか、ノートの第一頁に書いて下
 さい。単語だけ（消費税とかダム工事など）でもいいし、自分
 なりの意見でもかまいません。

(3) テキストをもとに自分でノートを作成してください。そのさ
 い、データについてはホームページまたは参考書から、新しい
 ものを確認しておくこと。また、新聞やTVのニュースにも敏
 感になってください。

(4) 理論的な部分についてはミクロ経済学（あるいは経済学入門）
 の教科書を参考にしてください。

(5) 各章末の問題を解き、内容を理解しているか確認して下さい。

(6) 最初の頁に、自分が理解したことを書き込み、何を得たかを
 チェックしましょう。

(7) その後、設題に取り組んで下さい。以上の作業ができていれ
 ば、できるはず。教科書やネット情報の丸写しでなく、自
 分のことばでまとめてください。

財政学 B

教科担当責任者：廣川 みどり

担当者：大澤 覚、廣川 みどり

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 財政学 A の知識を前提としたうえで、税
 制の問題、社会保障問題、マクロ経済政策、地方財政問題等の、
 政府が実施している様々な政策を眺めていくことで、現実の経
 済を見る目を養います。

2 科目の概要 財政学とは政府の経済活動について考える学
 問領域です。政府の経済活動にはどのようなものがあるか、ど
 れだけの規模か、そもそも政府が経済介入することの意味とは
 なにか、消費税率をあげることの意味はあるのか、租税と公債
 とでは効果が異なるのかどうか、赤字国債の発行の長所や短所
 は何なのか、等について考えていくことになります。財政学の
 学習には制度・現状の把握のほかに理論を学ぶことが必要にな
 ります。財政学を学ぶことで経済理論の使い方をも修得し、現
 実の経済をながめるようになっていただければ幸いです。

財政学 B では特に、(1) 日本の税制と税制改革、(2) 社会保障の
 財政問題、(3) マクロ経済政策、(4) 地方財政の4点が中心にな
 ります。指定テキストの第6章から第10章までが習得範囲と
 いうことになります。

3 成績評価基準 単位修得試験の結果が成績になります。(1)
 基本用語を把握すること、(2) 論理的な流れを理解すること、(3)
 各章末問題を解くこと、(4) 参考書（またはネットの情報）をも
 とにデータについての最新の値を把握しておくこと、そのうえ
 で、(5) 自分なりの財政についての考え方を持てば、単位が賦与
 されることになります。試験問題の回答にあたっては、テキス
 トの内容を反映させるのはもちろんのこと、ネットや図書館を
 利用して調べた情報をもとに、テーマにどう答えたらよいかよ
 く考えて書いて下さい。

4 テキスト名および詳細 テキストとインターネット上の
 データ（またはネットにアクセスできない人は参考書のデータ）
 を用いて学習して下さい：

テキスト：指定市販本 林宜嗣『基礎コース財政学、第3版』新
 世社、2011年、¥2,350+税

※【スタディガイド（学習指導書）】あり

参考書：

・矢野恒太記念会『日本国勢図会』国勢社、最新年度版。

・『図説日本の財政』東洋経済新報社、最新年度版。

ホームページ上の情報

・日本の財政関係資料（最新年度版）：http://www.mof.go.jp/budget/fiscal_condition/related_data/201610.html

・財政投融资リポート：http://www.mof.go.jp/filp/publication/filp_report/zaito2016/index.htm

テキストは10章からなります。財政学 B では、その第6章から
 第10章までの内容を範囲とします。

5 学習指導、注意点等 学習については以下の形で進めて
 下さい：

(1) 財政学 A の知識を前提としています。復習を行ってから取
 り組んで下さい。

(2) ノートを用意してください。

(3) 財政学 B で何を学んだかを考えて、それをノートの第一頁
 に書いて下さい。

(4) テキストをもとに自分でノートを作成してください。そのさ
 い、データについてはホームページまたは参考書から、新しい

ものを確認しておくこと。また、新聞や TV のニュースにも敏感になってください。

(5) 理論的な部分についてはミクロ経済学やマクロ経済学（あるいは経済学入門）の教科書を参考にしてください。

(6) 各章末の問題を解き、内容を理解しているか確認して下さい。

(7) 最初の頁に、自分が理解したことを書き込み、何を得たかをチェックしましょう。

その後、設題に取り組んで下さい。以上の作業ができていれば、できるはずです。教科書やネット情報の丸写しでなく、自分のことばでまとめてください。

金融論 A
教科担当責任者：武田 浩一
担当者：武田 浩一 単位数：2 単位

- 1 学習の到達目標** この科目の最終的な目標は、現実の金融問題を理解し考察するために必要になる基本的な金融の考え方の枠組みを修得することである。
- 2 科目の概要** この科目では金融論の基礎を学習する。現実の金融現象の仕組みを理解するために必要となる金融理論の学習にウェイトを置きつつ、金融制度についても併せて学習する。
- 3 成績評価基準** 金融論の基礎が理解できていることをレポート、単位修得試験によって評価する。
- 4 テキスト名および詳細** 指定市販本 前多康男・鹿野嘉昭・酒井良清『金融論をつかむ』有斐閣、2006 年、¥2,400+税
- 5 学習指導、注意点等** 現実の金融事情は変化が著しいため、本科目のテキストを用いた基本的な理論や制度の学習と併せて、日本経済新聞や一般紙の経済面に日々掲載される金融関連記事を読むことを心掛けてほしい。

金融論 B
教科担当責任者：武田 浩一
担当者：武田 浩一 単位数：2 単位

- 1 学習の到達目標** この科目の最終的な目標は、現実の金融問題を理解し考察するために必要になる基本的な金融の考え方の枠組みを修得することである。
- 2 科目の概要** この科目では金融論の基礎を学習する。現実の金融現象の仕組みを理解するために必要となる金融理論の学習にウェイトを置きつつ、金融制度についても併せて学習する。
- 3 成績評価基準** 金融論の基礎が理解できていることを、レポート、単位修得試験によって評価する。
- 4 テキスト名および詳細** 指定市販本 前多康男・鹿野嘉昭・酒井良清『金融論をつかむ』有斐閣、2006 年、¥2,400+税
- 5 学習指導、注意点等** 現実の金融事情は変化が著しいため、本科目のテキストを用いた基本的な理論や制度の学習と併せて、日本経済新聞や一般紙の経済面に日々掲載される金融関連記事を読むことを心掛けてほしい。

経済政策論 A

教科担当責任者：小黒 一正

担当者：小黒 一正、持元 江津子
単位数：2 単位

- 1 学習の到達目標** ①古典派の理論を学び、経済成長の諸要因を理解する。②ケインジアン理論を学び、景気変動の諸要因を理解する。③財政金融政策がマクロ経済に及ぼす短期的・長期的影響を理解する。
- 2 科目の概要** 経済政策は非常に範囲が広いが、その理解や考察には「マクロ経済学」「公共経済学」の知識が必要不可欠である。このうち前者の「マクロ経済学」には二つの対立する考え方が存在する。一つは市場の円滑な機能を前提に組み立てられた「古典派」の理論であり、もう一つは（少なくとも短期的には市場が円滑に機能しないことを前提に）財に対する総需要の大きさが財の総供給や経済全体の所得を決定すると仮定する「ケインジアン」の理論である。このどちらの理論が妥当かという判断によって、財政政策・金融政策をはじめ、マクロ経済政策の処方箋が異なってくる。そこで、「経済政策論 A」では、財政政策・金融政策との関係を含め、現代的な「マクロ経済学」の基礎的な内容を学んで欲しい。
- 3 成績評価基準** 成績評価は 100 % 「単位修得試験」による。
- 4 テキスト名および詳細** 指定市販本『マクロ経済学入門』ミネルヴァ書房、麻生良文著、2009 年、¥ 3,500+税

- 5 学習指導、注意点等** 現在のマクロ経済学は応用ミクロ経済学の色彩を強めており、本来はミクロ経済学の基礎知識が履修の前提となるが、本科目のテキスト（『マクロ経済学入門』麻生良文、ミネルヴァ書房、2009 年）は、そのような知識がない初学者でも学習できるように構成されている。なお、本テキストには一定の数式が登場するが、「古典派」「ケインジアン」の理論が対立する形式で記載されている良書であるため、意欲的に取り組んで欲しい。
- なお、以下の書籍も有益である。
- マンキュー『マンキュー経済学 II マクロ編』東洋経済新報社（入門用）
- マンキュー『マクロ経済学 I・II』東洋経済新報社（中級）
- 福田慎一・照山博司『マクロ経済学・入門』有斐閣アルマ
- スティグリッツ『スティグリッツ マクロ経済学』東洋経済新報社

経済政策論 B

教科担当責任者：小黒 一正

担当者：小黒 一正、持元 江津子
単位数：2 単位

- 1 学習の到達目標** ①「政府の役割」や「価格メカニズムの役割」を理解する。②公共財の供給決定メカニズムや外部性の解決方法を理解する。③課税や公債の負担、財政政策の効果について理解する。
- 2 科目の概要** 経済政策は非常に範囲が広いが、その理解や考察には「マクロ経済学」「公共経済学」の知識が必要不可欠である。このうち後者の「公共経済学」では「政府の役割」「価格メカニズムの役割」を考察しつつ、政府はどの分野に関与すべき

で、どの分野は市場に任せておけば良いのかという議論を扱う。また、「政府の失敗」「市場の失敗」が起こる原因や解決方法、課税や公債の負担、財政政策の効果についての理解も重要である。そこで、「経済政策論B」では、公共財の供給決定メカニズムを含め、現代的な「公共経済学」の基礎的な内容を学んで欲しい。

3 成績評価基準 成績評価は100%「単位修得試験」による。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『公共経済学』（有斐閣アルマ）、有斐閣、林 正義・小川 光・別所俊一郎、2010年、¥2,300+税

5 学習指導、注意点等 理論経済学と財政学の学際分野である「公共経済学」は応用ミクロ経済学の一分野として位置づけられ、本来はミクロ経済学の基礎知識が履修の前提となるが、本科目のテキスト（『公共経済学』（林正義・小川光・別所俊一郎、有斐閣、2010年）は、そのような知識がない初学者でも学習できるように構成されている。なお、本テキストには一定の数式が登場するが、所得税や消費税といった税制の根本問題や公債の負担に関する議論を丁寧に考察している良書であるため、意欲的に取り組んで欲しい。

なお、以下の書籍も有益である。

ステイグリッツ『公共経済学 上』東洋経済（入門用）

ステイグリッツ『公共経済学 下』東洋経済（入門用）

麻生良文『公共経済学』有斐閣（中級）

井堀利宏『基礎コース公共経済学』新世社（中級）

井堀利宏『公共経済の理論』有斐閣（上級）

外国語経済学

教科担当責任者：絵所 秀紀

担当者：絵所 秀紀

単位数：2 単位

※ 2016 年 4 月より新規履修はできません。

1 学習の到達目標 開発経済学を英文の原文で理解すること。

2 科目の概要 第1部は、経済学の古典からアダム・スミスとアルフレッド・マーシャル経済開発にかかわる文章を、第2部は経済史からの開発問題へのアプローチを代表するロストウとガーシェンクロンの文章を、第3部は開発経済学を代表する4人の研究者の著作を、そして第4部は経済開発に携わっている世界銀行と国連開発計画の報告書を抜粋した。

3 成績評価基準 英文和訳のリポート1回（テキストの中から抜粋）、試験1回（出題範囲はテキストの中から抜粋）を合格すること。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト 絵所秀紀『外国語経済学』第1版、2006年

5 学習指導、注意点等 ただ単に英文翻訳するのではなく、書かれている内容をよく理解し、関連文献を自ら探し出して、内容の理解を深めておくことが必要です。

農業論

教科担当責任者：神山 安雄

担当者：神山 安雄

単位数：4 単位

※ 2016 年 4 月より新規履修はできません。

1 学習の到達目標 現代日本で生じている食糧・農業問題が、世界政治経済の動向と深く関連していることを理解するとともに、日本の農業問題の現状について、農業生産政策・農産物価格政策・農産物貿易・食糧政策と食生活の変化との関係で把握し、日本の食糧・農業・農村政策が問題解決のために有効であるかについて理解を深めることを目標にする。

2 科目の概要 ① 資本主義と農業問題（資本制商品経済の下での農業の特質、農民的家族経営の位置、環境と農業との関連）

② 現代世界の食糧問題（先進国の食糧の過剰と開発途上国の食糧の不足との併存、とくに東南アジア諸国における高収量品種の導入（緑の革命）の意義と限界について）

③ 現代日本の食糧・農業問題

a. 第二次世界大戦後の日本農業の出発点としての戦後農地改革のもつ意味

b. 高度経済成長期における日本農業・農家の変化（〈米の単作+兼業〉形態への変容、米政策と農産物価格政策、農業生産政策、農産物貿易政策、食生活の変化と食糧政策、農山村の過疎化）

c. 農業生産と農家、農産物流通と農産物価格、農地価格と農地政策、農産物貿易

3 成績評価基準 リポートについては、農業問題と食糧問題との関連、農業政策（農業生産政策・農産物価格政策・農業構造政策）と農産物貿易政策・食糧政策（食生活の変化等）との関連をとらえて理解していることを評価の基準とする。

科目全体の評価は、単位修得試験結果による。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『農業論』第1版、大島 清、1976年

資本主義と農業問題について、1970年代半ばの高度経済成長終焉までを分析している。世界の食糧・農業問題については、東南アジアの「緑の革命」の意義と限界を中心に分析。日本の農業問題については、日本資本主義の高度成長下での農業問題を中心に分析している。

5 学習指導、注意点等 ※教科書の内容が古いため下記の参考書を必ず読んで、今日までの農業政策・食糧政策の動向を把握することが大切である。

[参考文献]（各項目とも刊行年が近い順）

1. 世界と日本の農業問題・農業政策関連

神山安雄「食糧問題」農林統計出版（2016年5月刊行予定）

田代洋一「農業・食料問題入門」大月書店

豊田隆「農業政策」日本経済評論社

生源寺真一外「農業経済学」東京大学出版会

佐伯尚美「農業経済学講義」東京大学出版会

磯辺俊彦外編「日本農業論【新版】」有斐閣

2. 世界の食糧問題関連

ポール・ロバーツ（神保哲生訳）「食の終焉」ダイヤモンド社

ヴァンダナ・シヴァ（浦本昌紀監訳）「食糧テロリズム」明石書店

スーザン・ジョージ（小南祐一郎外訳）「なぜ世界の半分が飢

えるのか」朝日新聞社

3. 定期刊行物等

農林水産省「図説食料・農業・農村白書」各年度

農林水産省「食料・農業・農村白書参考統計表」各年度

日本農業年報（農林統計協会）；毎年度、テーマを設定して発行

経済学史

教科担当責任者：平瀬 友樹

担当者：岡本 利光、平瀬 友樹

単位数：4 単位

※ 2016 年 4 月より新規履修はできません。

1 学習の到達目標 本講義は、経済理論の歴史について解説を行うものである。経済理論の形成過程が市場原理について肯定的な思想とそれに否定的な思想との対立によって生み出されてきたものであるということを理解することが目標とされる。

2 科目の概要 学習によって、①主流派だけではなく非主流派についても詳細な解説を行う、②対象の学説と最新の理論との関連性についても明らかにする、という2つの観点から身につけられよう。これは、その歴史が新しい（異質な）思考の「積み重ね」というよりも、いくつかの思考の「繰り返し」として表現されうるのである。

3 成績評価基準 純粋に身につけた知識によって評価される。なお、個別の事情などは一切考慮しないので注意すること。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『コア・テキスト経済学史』、新世社、井上義朗著、サイエンス社（発売）、2004 年、¥ 2,650+税

5 学習指導、注意点等 本科目は経済史ではなく、経済学史=理論の歴史である。そのため、『現代経済学の基礎』を履修しておくか、あるいはミクロ経済学・マクロ経済学について同等の予備知識がなければ単位の習得は困難であると思われる。

社会政策

教科担当責任者：菅原 琢磨

担当者：菅原 琢磨

単位数：4 単位

※ 2016 年 4 月より新規履修はできません。

1 学習の到達目標 本科目では社会政策に関する基本的な内容、特に少子高齢化が進展する中でわが国が直面する社会政策上の課題とその背景を概説し、それへの制度対応、政策動向について基礎的知識の習得、理解を深めることを主たる目的とする。より具体的には以下の各点を本科目の到達目標とする。
・社会政策論で扱われる対象を理解し、社会政策の歴史的経緯の概要を説明できる。
・現代日本の雇用問題、労働政策の概要を理解し説明できる。
・わが国の医療・介護・年金制度（政策）の現状と課題の概要を理解し説明できる。
・わが国の社会福祉制度（政策）の現状と課題の概要を理解し説明できる。

2 科目の概要 急激に変容する社会において社会政策でカ

バーされる領域は広がりをみせているが、人々の「仕事」と「生活」を取り巻く環境や福祉全般の改善とともに生活水準全般の向上を図っていくことを目的とした諸政策を総称したものと捉えられる。ここには雇用・労働政策、生活保護、医療・介護・年金・福祉といった社会保障政策など人生の様々な局面に関わる政策が含まれる。

本科目では、社会政策の領域と現代の経済社会において果たすべき基本的な役割について理解した後、各分野の個別の政策・制度を概観する。また同時にそれらが対象としている問題、課題について、それらが生じた社会的背景、原因についても理解を深める。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし当然、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 【テキスト】（2冊使用）
・指定市販本『はじめての社会保障』第13版、有斐閣、椋野美智子・田中耕太郎著、2016年、¥1,800+税
※第9版（2012年）以降の使用も可とする
・指定市販本『福祉の総合政策』新訂5版、創成社、駒村康平著、2011年、¥3,000+税
【参考文献】

駒村康平『最低所得保障』岩波書店、2010年。

小塩隆士『人口減少時代の社会保障改革』日本経済新聞社、2005年。

松谷明彦『人口減少経済の新しい公式』日本経済新聞社、2004年。

5 学習指導、注意点等 本科目で扱う内容はきわめて幅広い。テキスト以外にも日頃から新聞・雑誌などで触れられる社会政策をめぐる時事的トピックスについては、自発的に関心をもって目を通しておくこと。

工業論

教科担当責任者：馬場 敏幸

担当者：馬場 あゆみ、馬場 敏幸

単位数：4 単位

※ 2016 年 4 月より新規履修はできません。

1 学習の到達目標 アジアの経済発展を工業・産業技術の観点で学び、理解を深める。

2 科目の概要 本科目では、発展の著しいアジアの経済発展を工業・産業技術の観点で学んでもらいたいと考えている。具体的にはアジアの経済発展・工業化をいくつかの視点から学び、さらに産業別にも理解を深めてもらいたい。また、アジアのキャッチアッププロセスとイノベーションへの転換についても理解を深めてもらいたい。

まずアジアの工業化についていくつかのフレームワークの中で概観する。具体的には、開発経済学からみたアジアの工業化とイノベーション、世界経済的フレームワークの中でのアジア工業化・経済発展の位置づけと経緯、技術論・学習論の視点によるアジアのキャッチアップメカニズム、アジアの産業集積、経済発展・イノベーションと裾野産業（サポーティング・インダストリー）の貢献である。

そして各論で、アジア経済発展・工業化の代表的推進産業である自動車産業と電気電子、さらにそれらを支援する鉄鋼産業、工作機械産業、金型産業などについても理解を深めてもらいたい。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたレポートの内容も考慮する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『アジアの経済発展と

産業技術』、ナカニシヤ出版、馬場敏幸編著、2013 年、¥2,500+税

5 学習指導、注意点等 本科目は、基本的にはテキストを読んで、理解を深めるというスタイルで取り組んで頂きたい。日常的にも、今日的なアジアや世界経済の情勢を考える時、産業間の関係、技術、サポーティング産業などの問題意識を持って、眺めて頂きたいと思う。

経営学総論Ⅰ

教科担当責任者：佐野 哲

担当者：佐野 哲

単位数：2 単位

※ 2016 年 4 月よりテキスト（指定市販本）変更

1 学習の到達目標 経営学は、非常に奥が深くて幅の広い学問です。経営哲学のような極めて抽象的な理論から、工程管理のような日々の活動を効率的にする実践的なノウハウまで、様々なテーマを包摂しています。経営学総論では、それらの中から「実践的な経営の場面で活用されている理論・ノウハウ」をバランス良く選び、各自が自律的に学習して行けるような道筋を提示します。

「企業経営者が日常使っている専門的な概念を、正確に理解できる」。これが、当科目の学習到達目標です。

2 科目の概要 経営学総論Ⅰでは、①経営戦略（競争優位を築く基本戦略と業界分析手法）、②広告・マーケティング（マーケティング及び製品特性の分析と広告・流通戦略）、③ビジネス思考と交渉の理論（ロジカルシンキング及び営業交渉ノウハウの理論と実際）、の 3 テーマを取り上げます。

3 成績評価基準 リポートと単位修得試験の結果から、総合的に評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『グロービス MBA マネジメント・ブック（改訂 3 版）』（ダイヤモンド社、2008 年、¥2,800+税）の第 1 部「経営戦略」、第 2 部「マーケティング」、第 7 部「ゲーム理論・交渉術」を範囲とします。

5 学習指導、注意点等 専門的な概念を正確に理解・使用して、実践的な場面がイメージできる、解りやすいリポートを作成して下さい。

経営学総論Ⅱ

教科担当責任者：佐野 哲

担当者：佐野 哲

単位数：2 単位

※ 2016 年 4 月よりテキスト（指定市販本）変更

1 学習の到達目標 経営学は、非常に奥が深くて幅の広い学問です。経営哲学のような極めて抽象的な理論から、工程管理のような日々の活動を効率的にする実践的なノウハウまで、様々なテーマを包摂しています。経営学総論では、それらの中から「実践的な経営の場面で活用されている理論・ノウハウ」をバランス良く選び、各自が自律的に学習して行けるような道筋を提示します。「企業経営者が日常使っている専門的な概念を、正確に理解できる」。これが、当科目の学習到達目標です。

2 科目の概要 経営学総論Ⅱでは、①会計・アカウンティン

グ（財務諸表の構造と読み方及び経営分析手法）、②投資・ファイナンス（企業の資金調達と投資意思決定に関する理論）、③人材・組織マネジメント（リーダーシップやモチベーションに関する理論と組織設計のあり方）、の 3 テーマを取り上げます。

3 成績評価基準 リポートと単位修得試験の結果から、総合的に評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『グロービス MBA マネジメント・ブック（改訂 3 版）』（ダイヤモンド社、2008 年、¥2,800+税）の第 3 部「アカウンティング」、第 4 部「ファイナンス」、第 5 部「人・組織」を範囲とします。

5 学習指導、注意点等 専門的な概念を正確に理解・使用して、実践的な場面がイメージできる、解りやすいリポートを作成して下さい。

簿記Ⅲ

教科担当責任者：神谷 健司

担当者：神谷 健司

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 日商簿記検定試験 2 級（商業簿記）の範囲についての内容を理解して、実際にさまざまな取引の会計処理等ができるようになることが、この科目の到達目標です。実際に日商簿記 2 級（商業簿記）の過去問題を解くことによって、この目標が達成されているかどうかかわかると思います。

2 科目の概要 日商簿記 3 級程度の知識がある方を対象に、日商簿記 2 級（商業簿記）レベルの内容を学習します。テキストに即して学習を進めますが、テキストは全 15 章から構成されています。主な内容は、財務諸表の作成、特殊商品売買、手形取引、有価証券取引、固定資産取引、社債の会計、引当金の会計、純資産の会計、支店会計、特殊仕訳帳等です。1 章ずつ学習を進め、各章の学習が終了したら章末問題を解いて、理解度を確かめて欲しい。すべての学習が終了したらリポートを作成することになります。リポートはテキストの幅広い範囲に渡って問題が出題されています。なお平成 29 年 6 月からの日商 2 級試験範囲に入る「外貨建取引」「リース取引」「課税所得の計算」「圧縮記帳」「連結会計の基礎」についてはテキストでは解説していません。この部分については下記に示した参考書等で補ってください。また為替手形取引が 3 級の出題範囲から除外され、簿記Ⅰ・簿記Ⅱの通教テキスト改訂時（2017 年）にそれについては削除されました。この部分についてはこちらのテキストでは触れていませんので、別書で補っていただきたいと思います。以上の点については簿記Ⅲのテキストを今後改訂する際に付け加えたいと思います。

3 成績評価基準 最終的に実施する単位習得試験によって成績評価を行います。

4 テキスト名および詳細 テキストは、通教テキスト 神谷健司・市川佳功『簿記Ⅲ』第 1 版、2013 年です。参考書として『検定簿記講義（2 級商業簿記）』中央経済社と『合格テキスト（2 級商業簿記）』TAC 出版、桑原知之『サクッとわかる日商簿記 2 級（商業簿記）』、桜井久勝『財務会計講義』中央経済社をあげておきます。問題集としては各社から出されている過去問の問題集や『合格トレーニング（2 級商業簿記）』TAC 出版や『検定簿記 2 級（商業簿記）トレーニング』中央経済社等が入手容易だと思います。

5 学習指導、注意点等 簿記の学習は単にテキストを読

むだけでなく、実際に記帳したり、問題を解くことが必要です。テキストを順番に読み進め、例題などを実際に解くことが必要です。

簿記Ⅳ
教科担当責任者：神谷 健司
担当者：市川 佳功、神谷 健司 単位数：2 単位 ※ 2016 年 4 月よりテキスト（通教テキスト）改訂

1 学習の到達目標 日商簿記2級程度の学習を修了された学生を対象に、日商簿記1級（商業簿記）程度の簿記会計処理を習得することがこの科目の到達目標です。

2 科目の概要 すでに日商簿記2級まで学習されている方を対象に、さらに日商簿記1級（商業簿記）レベルの内容をこの科目では学習します。ただし2単位の科目であり、テキストの紙幅の関係上、特殊商品販売については範囲から外し、また連結会計の部分については基本的な事項の説明にとどめております。テキストは15章構成です。内容は有価証券、デリバティブ取引、ヘッジ会計、為替予約の会計処理、固定資産の会計、退職給付会計、税効果会計、組織再編の会計等について学習を進めます。今回の改定にあたって、連結会計の部分削除しました。2単位ということと、テキストのボリュームを考えてのことです。

3 成績評価基準 最終的に実施する単位修得試験によって成績評価を行います。

4 テキスト名および詳細 テキストは通教テキスト 神谷健司・市川佳功『簿記Ⅳ』第2版、2016年です。参考書として、『合格テキスト（1級商業簿記・会計学）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』TAC出版をあげておきます。具体的会計処理の裏づけとなる会計理論については、桜井久勝『財務会計講義（最新版）』中央経済社、等を参考にしてください。問題集としては日商簿記1級試験の過去問題や各種1級テキストに対応している問題集を利用してください。なお連結会計については、『財務会計講義』の該当箇所では連結会計に基本的な考えを学び、さらに連結会計の基本書、たとえば斎藤真哉編『ニューベーシック連結会計』中央経済社、2013年のようなものを学ぶことによって連結会計の基本を習得できるかと思えます。なお単位修得試験においては連結会計の部分は出題しません。

5 学習指導、注意点等 簿記の学習はテキストに従って記帳処理の練習をしたり、総合問題を解くことが必要です。数多くの問題を解くことによって理解を深めてください。

日本経済論 A
教科担当責任者：長原 豊
担当者：長原 豊 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 日本経済の「史的展開」とその「理論」的な理解（日本経済論Bの基礎理論）

2 科目の概要 1 明治期から戦間期における日本資本主義の形成過程を跡づけることを課題とする。
2 その際、第一に支配的な資本蓄積様式における変化をつねに意識した理解を求める。また第二に、したがって、それぞれ

の蓄積様式に即した政策展開を具体的に理解できるような視点を確立する。

3 戦前期における蓄積様式と戦後期におけるそれとの連続性と断続性が理解できるような視点を確立する。したがって「現状分析」がつねに意識されている。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験によって評価する（ただし、レポート学習もしっかり行うこと）。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 三和良一『概説 日本経済史 近現代』第3版、東京大学出版会、2012年、¥2,500+税（戦前期については本書）

5 学習指導、注意点等 指定されたテキストをしっかりと読み、ノートを作るだけでなく、指定しなかった文献も上記二書から必要なものを探し出し、学習すること。

日本経済論 B
教科担当責任者：長原 豊
担当者：長原 豊 単位数：2 単位 ※ 2016 年 4 月よりテキスト（指定市販本）変更

1 学習の到達目標 戦後日本資本主義の展開を俯瞰的に把握すること。

2 科目の概要 1 敗戦後における経済システムを史的に把握すること。
2 1の過程を政治経済過程として理解する視点を獲得すること。
3 いわゆる「失われた20年」に到る過程の必然性を理解すること。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験によって評価する（ただし、レポート学習もしっかり行うこと）。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 杉山伸也『日本経済史 近世－現代』岩波書店、2012年、4,000円+税（マクロな視点によって「バブル期」まで記述した日本経済史＝日本経済論）。

5 学習指導、注意点等 指定されたテキストをしっかりと読み、ノートを作るだけでなく、指定しなかった文献も上記二書から必要なものを探し出し、学習すること。

財務会計論 I
教科担当責任者：川島 健司
担当者：川島 健司 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 株主や債権者など企業外部の利害関係者に対して経営成績や財政状態を報告する目的で行われている財務会計について、企業会計原則および企業会計基準を中心としながら関係諸法令についても視野に収めながら、体系的に学習することを目標とします。

2 科目の概要 財務会計論では会計基準について学習します。会計ビッグバン以降、企業の実態をよりいっそう的確に描写した透明度の高い財務諸表の作成と公表を促進するため、会計基準が続々と新設・改訂されてきています。この会計基準の改定作業は、国際会計基準とのコンバージェンスを進める過程で加速されてきました。

本科目では、既存の会計基準とともに、新設・改訂されてきた会計基準についても学習することにより、現段階における日本の会計基準を包括的に理解することを目標としています。財務会計論Ⅰでは財務会計の概念や構造を学び、基礎固めをしたうえで、いわゆる各論を学習します。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『財務会計講義』（第18版）桜井久勝 中央経済社 2017年3月発売予定（毎年3月には改訂版が出版されています。最新版を入手してください）財務会計論Ⅰの範囲はテキストの第1章「財務会計の機能と制度」から第9章「無形固定資産と繰延資産」までとなります。財務会計論Ⅰでは全体の範囲をテキストをほぼ二分したうちの前半となります。財務会計の機能と制度を概観したうえで、利益計算の仕組みについて簿記の構造を含めて学習します。つづいて企業会計原則の全体について俯瞰し、利益計算と資産評価の概念について学びます。それを踏まえて各論に移ります。有価証券の評価、デリバティブ、キャッシュフロー計算書、収益認識基準、棚卸資産の原価配分、固定資産の減価償却および減損、リース会計、無形固定資産、繰延資産までが財務会計論Ⅰで取り上げるトピックとなります。

5 学習指導、注意点等 本テキストは財務会計の教科書として定評のあるベストセラーであり、大学学部はもとより資格試験やビジネスマンにも多く利用されています。テキストは平易な文章で記述され、必要十分な設例がもうけられており、通信教育課程の自習書として最適であると思います。本文で400ページ強ありますが、分量としては標準的であり、これよりページ数を減らすと、必要な記述がカットされてしまいます。このテキストを財務会計論ⅠとⅡで学習することになりますので、それぞれ200ページ強となります。

レポート作成にあたっては、テキストを学習することはもとより、「設題総覧」にあげた参考文献、あるいはその他の文献を利用しながら、単なる引用にとどまることなく、設題の趣旨をくみ取って、御自身の意見を述べてください。参考文献やインターネットで「正解」に近いものを探するのはやめてください。

財務会計論Ⅱ

教科担当責任者：川島 健司

担当者：川島 健司
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 株主や債権者など企業外部の利害関係者に対して経営成績や財政状態を報告する目的で行われている財務会計について、企業会計原則および企業会計基準を中心としながら関係諸法令についても視野に収めながら、体系的に学習することを目標とします。

2 科目の概要 財務会計論では会計基準について学習します。企業の実態を的確に描写した透明度の高い財務諸表の作成と公表を促進するため、会計基準は常に新設・改訂されています。この会計基準の改定作業は、国際財務報告基準とのコンバージェンスを進める過程で加速されてきました。本科目では、既存の会計基準とともに、新設・改訂されてきた会計基準についても学習することにより、現段階における日本の会計基準を包括的に理解することを目標としています。財務会計論Ⅱでは、負債の会計、資本および純資産の会計、財務諸表の作成と公開、連結財務諸表の作成、外貨建取引の会計など、財務会計の各論を学習します。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『財務会計講義』（第18版）桜井久勝 中央経済社 2017年3月発売予定（毎年3月には改訂版が出版されています。最新版を入手してください）財務会計論Ⅱでは全体の範囲をテキストをほぼ二分したうちの後半となります。第10章「負債」では引当金、税効果会計、退職給付会計、資産除去債務、第11章「株主資本と純資産」では、純資産の構成、資本剰余金、合併、株式交換と株式移転、会社の分割、配当制限、第12章「財務諸表の作成と公開」では、包括利益、注記（継続企業の前提に関する注記など）、四半期財務諸表、第13章「連結財務諸表」では、連結の範囲、連結貸借対照表の作成手続、連結損益計算書の作成手続、連結株主資本等変動計算書、持分法、連結キャッシュフロー計算書、セグメント情報、第14章「外貨建取引等の換算」では、換算方法、外貨建取引の換算、為替予約などを学習します。

5 学習指導、注意点等 本テキストは平易な文章で記述され、必要十分な設例がもうけられており、通信教育課程の自習書として最適であると思います。本文で400ページ強ありますが、分量としては標準的であり、これよりページ数を減らすと、必要な記述がカットされてしまいます。このテキストを財務会計論ⅠとⅡで学習することになりますので、それぞれ200ページ強となります。レポート作成にあたっては、テキストを学習することはもとより、「設題総覧」にあげた参考文献、あるいはその他の文献を利用しながら、単なる引用にとどまることなく、設題の趣旨をくみ取って、ご自身の意見を述べてください。

原価計算論Ⅰ

教科担当責任者：福田 淳児

担当者：福田 淳児
単位数：2 単位

※ 2016年4月よりテキスト（指定市販本）変更

1 学習の到達目標 原価計算論Ⅰでは、原価計算論を学習する上で必要となる基本的な概念や専門用語を自分なりの言葉で簡潔に説明できること、および原価計算の一連の手続きおよびその意味内容を理解し、基本的な計算プロセスが説明できること、さらに基本的な計算問題が解けることを目標としています。

2 科目の概要 原価計算論Ⅰでは、テキストならびに参考文献において、原価計算論の学習を進めていく上で必要となる概念や専門用語の説明を行なっています。今後、原価計算を学習する上で前提となることも多いので、必ず理解してください。その上で、原価計算の一連の計算手続きについて、費目別原価計算、部門別原価計算および製品別原価計算（個別原価計算・総合原価計算）の順番で計算メカニズムの説明およびその理論的な意味についての解説を行っています。テキストで示したような手続きがなぜ必要となるのかについても考えながら読み進めてください。原価計算論Ⅰでは、主に以下の項目について学習します。

1. 原価計算の意義と目的：原価計算の意義および原価計算基準に従いその目的について学習します。
2. 原価の本質と分類：原価とは何か、また原価を形態別、製品との関連性および操業度との関連性で分類し、それぞれの内容について学習します。
3. 原価計算の手続と種類：原価計算の一連の手順、費目別原価計算、部門別原価計算、製品別原価計算について簡単に学習します。具体的な内容はこれ以降の章で学習します。

4. 費目別原価計算：材料費、労務費、経費、製造間接費についてそれぞれの計算方法について学習します。
5. 原価計算の部門別計算：原価の部門別計算の意義およびその計算手続きについて学習します。
6. 製品別原価計算（個別原価計算）：受注生産形態の工場で利用される個別原価計算についてその特徴および計算手続きについて学習します。
7. 製品別原価計算（総合原価計算）：見込み生産形態の工場で利用される総合原価計算についてその特徴、種類ならびに計算手続きについて学習します。

受講者は各項目についてテキストや参考文献の説明を単に読むだけでなく、そこに示されている例題を必ず解いて理解を確認しながら学習を進めてください。

3 成績評価基準 原価計算論Ⅰの学習範囲から出題された単位修得試験に基づいて評価を行います。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 山北晴雄・福田淳児著『ファーストステップ 原価計算を学ぶ』中央経済社（2016年、¥2,400+税）の第1章から第11章まで。

5 学習指導、注意点等 テキストの指定範囲の全部または参考文献を必ず熟読してください。さらに、各章の例題を解いてみる。例題が解けないときには、テキストや参考文献の該当箇所に戻り、もう一度読んでみる。原価計算、特に原価計算の一連の計算プロセスを理解する上では、ひとつひとつの内容およびその手続きを確実に理解して進んでいくことが必要となります。

また、レポートの提出にあたっては、テキストや参考文献の該当箇所をもう一度熟読し、必ず自分の言葉でまとめてください。その際になぜそういったことがいえるのかを考え、明示してください。引用は必要最低限度にとどめ、きちんと引用箇所を明記すること。講評に基づいて、再提出する場合には、単に指摘のあった箇所だけを補足・修正するのではなく、もう一度全体の文章もきちんと見直し、意味の通るレポートにしてください。

原価計算論Ⅱ
教科担当責任者：福田 淳児
担当者：福田 淳児 単位数：2 単位
※ 2016 年 4 月よりテキスト（指定市販本）変更

1 学習の到達目標 原価計算論Ⅱでは、経営管理目的に原価計算システムがどのような情報を提供することができるのか、またその具体的な役割を理解することを目指します。経営管理目的での原価計算の役立ちとして標準原価計算による原価管理への役立ち、また短期の利益計画に対する直接原価計算や CVP 分析の役立ちについて理解することを目指します。さらに、製造間接費の配賦に関連して、伝統的な製造間接費の配賦方法の問題点が顕在化した理由、新たに提唱された Activity-Based Costing と伝統的な製造間接費の配賦方法との差異を説明できることを目標とします。

2 科目の概要 原価計算論Ⅱでは、原価計算システムが経営管理目的にどのような情報を提供しているのか、またその役割について学習します。さらに、近年における原価計算の発展、およびその背後にある製造環境の変化についても学習します。具体的には以下の項目について学習します。

1. 標準原価計算：標準原価計算の意義や目的の学習に続いて、

原価標準の設定ならびに標準原価と実際発生原価との差異分析について学習します。また、現在の製造環境のもとでの標準原価計算の役立ちについても検討します。

2. 直接原価計算：全部原価計算との比較で直接原価計算を説明した後に、両者での営業利益の相違について検討します。

3. CVP 分析：短期利益計画を設定する上で有用な情報を提供するツールとして原価、営業量、利益の関係を分析する CVP 分析について学習します。損益分岐点での売上高、またある一定の目標利益を達成するための売上高などを計算できるようにします。

4. Activity-Based Costing（活動原価計算）：製造環境の変化が原価の構成や製造間接費の中身に大きな変化をもたらしたこと、それによって伝統的な製造間接費の配賦方法が許容できなくなってきたことから ABC が提唱されたことを紹介しています。その後、ABC の計算手続きや近年 ABC に対する批判に 대응するために提唱された TDABC を紹介しています。

経営管理目的に有用な原価計算について、それぞれの原価計算手法の持つ意味、またその役立ちについてしっかりと理解してください。さらに、そのような原価手法がどのような製造環境の求めに応じて出現したのか、さらに製造環境の変化のもとでどのような影響を受けてきたのかも理解できるようにしてください。

3 成績評価基準 原価計算論Ⅱの範囲から出題された単位修得試験の結果に基づいて評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 山北晴雄・福田淳児著『ファーストステップ 原価計算を学ぶ』中央経済社（2016年、¥2,400+税）の第12章から第15章まで。

5 学習指導、注意点等 テキストの指定範囲の全体または参考文献を必ず熟読してください。さらに、各章の例題を解いてみてください。例題が解けないときには、テキストや参考文献の該当箇所に戻り、もう一度読んでみてください。原価計算、特に原価計算の一連の計算プロセスを理解する上では、ひとつひとつの内容を確実に理解して進んでいくことが必要となります。また、レポートの提出にあたっては、テキストや参考文献の該当箇所をもう一度熟読し、必ず自分の言葉でまとめてください。レポートの作成にあたっては、なぜそういった手続きが必要となるのかまで考えてレポートの作成を行ってください。引用は必要最低限度にとどめ、きちんと引用箇所を明記すること。また、講評に基づいてレポートを再提出する場合には、単に指摘のあった箇所だけを補足・修正するのではなく、もう一度全体の文章もきちんと見直し、意味の通るレポートにしてください。

管理会計論Ⅰ
教科担当責任者：北田 皓嗣
担当者：北田 皓嗣 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 経営管理問題と管理会計との関係についての知識の習得を目指します。管理会計情報が経営管理における問題ごとに異なる会計情報が利用されること、またそのときに必要となる財務・非財務情報について理解することを目指します。また関連した計算方法を使えるようにすることを目指します。

2 科目の概要 会計学の領域は財務会計と管理会計の二つに区分される。管理会計は企業の管理者がさまざまな意思決定を行なうさいに必要な会計情報を作成することを目的としている。財務諸表を作成することを目的としている財務会計とはか

なり異なっているが、きわめて実践的な学問ですので会社に勤めている方には役立つであろう。

3 成績評価基準 管理会計論Ⅰ／Ⅱでは記述を中心としたレポート課題と、計算問題の2つの課題を出題しています。両方の課題が合格水準に達することが求められます。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『管理会計論』第2版、佐藤康男、2003年
※【申告制】テキスト

5 学習指導、注意点等 管理会計論Ⅰと管理会計論Ⅱは、いずれの学習範囲も上記指定テキスト全般とします。

レポートは、特定の領域において十分な知識が習得できるように設定しています。ただ単位修得試験は、テキスト全体が試験範囲となっています。レポートで学習したことを踏まえたうえで、それぞれのトピックについても学習するようにしてください。

管理会計論Ⅱ

教科担当責任者：北田 皓嗣

担当者：北田 皓嗣
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 経営管理問題と管理会計との関係についての知識の習得を目指します。管理会計情報が経営管理における問題ごとに異なる会計情報が利用されること、またそのときに必要となる財務・非財務情報について理解することを目指します。また関連した計算方法を使えるようにすることを目指します。

2 科目の概要 会計学の領域は財務会計と管理会計の二つに区分される。管理会計は企業の管理者がさまざまな意思決定を行なうさいに必要な会計情報を作成することを目的としている。財務諸表を作成することを目的としている財務会計とはかなり異なっているが、きわめて実践的な学問ですので会社に勤めている方には役立つであろう。

3 成績評価基準 管理会計論Ⅰ／Ⅱでは記述を中心としたレポート課題と、計算問題の2つの課題を出題しています。両方の課題が合格水準に達することが求められます。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『管理会計論』第2版、佐藤康男、2003年
※【申告制】テキスト

5 学習指導、注意点等 管理会計論Ⅰと管理会計論Ⅱは、いずれの学習範囲も上記指定テキスト全般とします。

レポートは、特定の領域において十分な知識が習得できるように設定しています。ただ単位修得試験は、テキスト全体が試験範囲となっています。レポートで学習したことを踏まえたうえで、それぞれのトピックについても学習するようにしてください。

国際金融論Ⅰ

教科担当責任者：横内 正雄

担当者：横内 正雄
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 国際金融論Ⅰは、現実の世界における様々な国際金融現象をとらえるための基礎的な理論を学び、その意味を理解することを目標とする。まず、外国為替、外国為替相場、国際収支など国際金融の基礎概念を修得し、次に外国為替相場の決定理論と国際収支の決定理論、デリバティブなどについて理解を進める。こうした概念と理論の修得を通じて、現在進行している金融グローバル化現象の背後にある基本的なメカニズムの理解を目標とする。

2 科目の概要 国際金融論が扱う外国為替相場や国際収支の問題は、日々のニュースで頻繁に伝えられ、議論されている。そして、その意味するところを知ることは今日グローバル化した社会を理解することは出来ないと言ってよいほどである。しかし、国際金融現象は年々複雑化してきている。国際金融論Ⅰでは、現代の国際金融の問題を考えるにあたって、その概念と基礎理論を学ぶことによって現実の問題を深く理解しようとするものである。具体的には、外国為替の概念、外国為替相場、外国為替市場、国際収支の概念を理解し、それを前提として外国為替相場や国際収支の決定に関する理論を学ぶ。テキストでは主に第1章～第7章がこの分野に相当する。ただし、テキストはあくまで入門レベルのものであるので、設題に対する解答などより深く国際金融を理解するためには参考文献を利用した学習が不可欠となる。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。(ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。)

4 テキスト名および詳細 指定市販本『国際金融のしくみ』第4版(有斐閣アルマ)、有斐閣、秦 忠夫・本田敬吉・西村陽造著、2012年、¥ 2,000+税

5 学習指導、注意点等 国際金融論Ⅰにおける基礎的な理論の修得には金融論の理解が不可欠である。また、マクロ経済的な知識や国際経済に関する知識も同様に必要とされる。そのため、国際金融に関する理論のみの修得を目指すのではなく、広くマクロ経済、金融、国際経済の理論の修得もあわせて行うことが望ましい。他の社会科学と同様に国際金融論でも論理的な思考が不可欠である。経済現象には理論によって説明される論理必然的な因果関係が存在すると言ってもよい。例えば、金利の上昇がなぜ円高をもたらすのかと考えるとき、その背後における理論から導き出される論理的な帰結を考える必要がある。このような理論的な連鎖の関係を理解することが重要であり、学習する上で常に論理的に考えることが求められる。

国際金融論Ⅱ

教科担当責任者：横内 正雄

担当者：横内 正雄
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 国際金融論Ⅱは、国際金融論Ⅰで修得した基礎的な概念と理論を前提として、現実の国際金融に関わる現象を解説していくことを課題とする。まず、国際金融の歴

史をたどり、国際通貨体制や国際通貨がいかに変遷してきたのかを学ぶ。次に、国際金融の場面で現実が生じつつある金融危機、通貨危機、通貨統合などの問題を考察する。こうした作業を通じて現在進行している金融グローバル化現象の本質と意味を理解することを目標とする。

2 科目の概要 国際金融論が扱う国際通貨体制や通貨金融危機の問題は、日々のニュースで頻繁に伝えられ、議論されている。そして、その意味するところを知ることなしには今日のグローバル化した社会を理解することは出来ないと言ってよいほどである。しかし、国際金融現象は年々複雑化してきている。国際金融論Ⅱでは、現代の国際金融の問題を考えるにあたって、その歴史から掘り起こし、大きな流れの中で国際金融の問題がいかに変遷してきたのかを捉えることによって、現実の問題を深く理解しようとするものである。具体的には、第一次大戦前の国際金本位制、第二次大戦後のブレトンウッズ体制、EU 通貨統合、円の国際化、通貨金融危機、グローバルインバランスなどの問題を扱う。テキストでは、主に第8章以降がこの分野に相当する。ただし、テキストはあくまで入門レベルのものであるので、設題に対する解答などより深く国際金融を理解するためには参考文献を利用した学習が不可欠となる。また、日々の国際金融に関するニュースとその解説に関心を持つことも、最新の国際金融の問題を理解する上で欠かせないものである。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。(ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。)

4 テキスト名および詳細 指定市販本『国際金融のしくみ』第4版(有斐閣アルマ)、有斐閣、秦 忠夫・本田敬吉・西村陽造著、2012年、¥ 2,000+税

5 学習指導、注意点等 国際金融論Ⅱは国際金融論Ⅰにおける基礎的な理論が修得できていることが必要となる。また、マクロ経済的な知識や国際経済に関する知識も同様に必要とされる。そのため、国際金融の歴史や制度に関する知識の習得に専念するのではなく、幅広く国際金融の現象を考えることが肝要である。また、他の社会科学と同様に国際金融論でも論理的な思考が不可欠である。経済現象には理論によって説明される論理必然的な因果関係が存在すると言ってもよい。例えば、金利の上昇がなぜ円高をもたらすのかと考えるとき、その背後における理論から導き出される論理的な帰結を考える必要がある。このような論理的な連鎖の関係を理解することが重要であり、学習する上で常に論理的に考えることが求められる。

憲法
教科担当責任者：建石 真公子
担当者：建石 真公子、土屋 仁美 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 第1に、近代憲法の原理を学ぶとともに、日本の憲法の特徴は何かを理解する
第2に、日本国憲法の保護している人権の内容、その保障の現状および課題について理解する
第3に、日本国憲法における統治機構、三権分立、違憲審査制、地方自治について理解する

2 科目の概要 この科目では、憲法という法を支えている「原理」、憲法制定の目的である「人権」、及び統治機構の原理と運用及びその課題について理解することを目的としている。
現在の国際社会の約 190 カ国において、ほぼどの国も「憲法」

を制定している。しかし、具体的な内容や実際の運用においては、各国の歴史や社会、宗教、国際関係などの影響により多様である。

日本は、最初の明治期の大日本帝国憲法、敗戦後の日本国憲法ともに、西欧の立憲主義を受容したものであり、それまでの日本の社会を制度的にも思想的にも大きく変えたという特徴を持っている。

この科目では、このように歴史や社会のあり方、国際社会などとの関係によって影響を受ける憲法について、憲法という法を支えている基本的な「原理」である国民主権や民主主義、権力分立、また人権の概念やその保障について理解することを目的とする。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたりポートの内容を考慮する。

4 テキスト名および詳細 ・指定市販本『現代日本の憲法[第2版]』、法律文化社、元山 健・建石真公子編、2016年、¥ 2,800+税
※初版(2009年)も使用可

【参考文献】
『(別冊ジュリスト) 憲法判例百選Ⅰ 第6版』有斐閣、2013年
『(別冊ジュリスト) 憲法判例百選Ⅱ 第6版』有斐閣、2013年

5 学習指導、注意点等 憲法の学習としては、まず、教科書を読み理解し、次に、教科書で参照されている判例について判例集を読んで具体的な事件との関係で理解する、というのが基本である。

まずは、近代憲法の原理、人権の基本原則をつかんだうえで、人権を保障し民主主義を維持する、という目的に照らして、裁判所や国会、行政などの仕組みを学ぶと理解しやすいだろう。

より深く学習するには、教科書に紹介されている論文や専門書を読み、また法学セミナー、法律時報、法学教室、ジュリストなどの法律雑誌に掲載されている関連する論文等を読むと興味が深まるだろう。

憲法は政治や歴史、国際関係と密接な関連を持っているため、日ごろから新聞などに目を通し、国内政治や国際政治等に関心を持ってください。

民法一部(総則・物権法)

教科担当責任者：大澤 彩

担当者：大久保 慎太郎、大澤 彩
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 契約、物、家族といった私達の生活の基本的なルールを定めている民法のうち、民法全体に共通するルールからなる「民法総則」部分、および、物についての規範である「物権」部分を中心に、基本的な内容を理解することを目標とする。

2 科目の概要 民法には、契約(売買、賃貸借など)、物(所有権、担保)といった取引社会の基本要素に関するルールが設けられている。経済活動のあり方を考える上では、法律による取引活動の規律がいかなるものであるかを学ぶ必要があるが、その際に民法を学ぶことは非常に重要である。本科目では民法のうち、民法全体に共通する規範である「民法総則」および物権に関する規範である「物権法」を学習する。具体的には、民法総則では、通則、権利の主体・客体、法律行為、時効制度などについて、物権では、所有権等の各種物権や担保物権などについての理解を深める。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたレポートの内容を考慮する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『民法 総則・物権』第5版（有斐閣アルマ）、有斐閣、山野目章夫著、2012年、¥1,800+税
※第4版（2007年）の使用も可

5 学習指導、注意点等 学習にあたっては、必ず六法を傍らに置くこと。民法を勉強する上で、とりわけ民法全体に共通するルールである民法総則の知識は不可欠であるが、民法総則の条文には抽象的なものが多いので、条文を見ただけでは具体的な要件・効果が判然としないことがほとんどである。そこで、テキストを熟読し、各条文の要件・効果を判例や学説をふまえて具体的に理解することが必要となる。その際、判例や学説は必ずしも単一ではないことから、指定されたテキストはもちろん、推薦されている参考書や『民法判例集（総則・物権）』『民法判例百選』（いずれも有斐閣より発売）等で判例や学説の理解を深めることが大切である。また、民法を勉強する上で判例は非常に重要な素材である。判例を理解するにあたっては、単に判例の結論のみにとらわれず、当該事案の具体的な内容や争点をふまえながらなぜそのような結論が提示されたのかを考察するよう努めてほしい。

なお、総則の一部は改正が予定されている。審議経過や法案等につき、法務省のHPで確認すること。

民法二部（債権法）

教科担当責任者：大澤 彩

担当者：明石 真昭、大澤 彩
単位数：4 単位

※ 2017 年 4 月よりテキスト（指定市販本）変更

1 学習の到達目標 民法のうち、取引に直接関係する債権総論、債権各論部分について、基本的な内容を理解することを目標とする。

2 科目の概要 民法には、契約（売買、賃貸借など）、物（所有権、担保）といった取引社会の基本要素に関するルールが設けられているが、本科目では民法のうち、取引に直接関係する債権総論、債権各論部分を学習する。具体的には、債権の目的、効力、譲渡、消滅、さらには多数当事者の債権・債務について定める債権総論部分についてはもちろん、債権の発生原因として重要な契約、事務管理、不当利得、不法行為について学ぶ。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたレポートの内容も考慮する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『債権（エッセンシャル民法3）』有斐閣、永田真三郎・松本恒雄・松岡久和・横山美夏著、2010年、¥2,500+税

5 学習指導、注意点等 学習にあたっては、必ず六法を傍らに置くこと。しかし、民法の条文には抽象的なものが多いので、条文を見ただけでは具体的な要件・効果が判然としないことがほとんどである。そこで、テキストを熟読し、各条文の要件・効果を判例や学説をふまえて具体的に理解することが必要となる。その際、判例や学説は必ずしも単一ではないことから、指定されたテキストはもちろん、推薦されている参考書や『民法判例集（債権各論）』『民法判例集（債権総論・担保物権）』『民法判例百選（債権）』（いずれも有斐閣より発売）等で判例や学説の理解を深めることが大切である。また、民法を勉強する

上で判例は非常に重要な素材である。判例を理解するにあたっては、単に判例の結論のみにとらわれず、当該事案の具体的な内容や争点をふまえながらなぜそのような結論が提示されたのかを考察するよう努めてほしい。

また、債権総論部分の条文には、債務不履行、相殺、債権譲渡など、直ちにはイメージがわからず、とっつきにくいものが多いので、まずは日常生活に身近であり、債権の発生原因として重要な契約、不法行為を最初に勉強することをおすすめする。

さらに、債権法については改正が予定されている。審議経過や法案など、法務省のHPを見て確認すること。

商法総則・商行為法

教科担当責任者：椋川 泰史

担当者：松谷 秀祐
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 企業組織・企業取引に関してわが国ではどのようなルール・仕組みが用意されているかについて基本的な知識を修得しており、それらルール・仕組みの概要を説明することができる。

2 科目の概要 本科目は、商法（明治32年法律48号）第1編総則（第1条から第32条）、第2編商行為（第501条から第628条）を主たる対象とします。

具体的には、上記2編における重要な規定、および関連する重要判例について出題を行い、企業組織および企業取引の法的特色、基本的なルール・仕組みについて理解することを目標とします。

3 成績評価基準 レポートの完成度および単位修得試験の成績で評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『商法総則・商行為法』第4版、新世社、田邊光政著、2016年、¥2,980+税

5 学習指導、注意点等 本科目の学習に際しては、以下の5点について注意しながら学習を進めるよう心がけてください。

(1) 概念や法技術の「つながり」を意識しながら学習を進める。

商法は他の法分野と比較して、なじみが浅く興味が持ちにくいと考えられがちです。確かに、商法の中には、特有な意味を有する特殊な概念や法技術が多く用いられています。しかし、それらの概念や法技術は、当然、一定の目的を達成するために、商法の中に用いられているのです。そこで、テキストを通読する際には、商法上の概念や法技術はそれぞれどのような目的や狙いを持っているのか、それぞれの概念や法技術は相互にどのような関連性を有しているのかという点に留意しながら読み進めていってください。そうすれば学習を進めていくにつれて、理解も深まり、商法の学習に興味を持てるようになるでしょう。

(2) テキストを自分だけの本に加工する。

ただ、漫然とテキストを読んでいるだけでは、情報が右から入って左から出ていくだけです。そこで、テキストを通読する際には、必ずペンなど筆記用具を持ちながら、読み進めていってください。

その際、たとえば、条文の内容など、重要そうな概念を説明した箇所には赤のアンダーラインを引く、条文の文言が曖昧なために、判例・学説上争いがある箇所（このような箇所を「論点」とも言います。）には青のアンダーラインを引く、一読して意味がよくわからなかった箇所には「？」マークを余白に鉛筆で書く、というように、テキストを自分だけの本に加工していきましょう。最初は「？」マークだらけ、あるいは1ページ読み

進めるのに1日かかることもあるでしょうが（私も法律の勉強を始めたころにはそうでした。）、着実に一步一步、歩みを進めていってください。

(3) 常に傍らに六法、法律学小事典などを置いてテキストを通読する。

テキストを読み進める際に、条文が出てきたら六法で該当条文を調べる、また、意味がわからない用語が出てきたら、有斐閣の『法律学小辞典』などの法律学辞典を調べるというくせをつけるようにして下さい。ごくまれに、テキストに書いてある文章を丸写しして、該当条文も調べない、自身で意味がよくわかっていない用語も調べていないレポートに出会いますが、そのような「手抜き」レポートは見た瞬間にわかります。一語一語、調べながら読み進めることは一見すると遠回りのようですが、実は、レポート合格、単位修得試験合格への一番の近道なのです。

(4) 当事者の関係図などをメモにとりながらテキストを読み進める。

テキストを読んでいると、多数の当事者が出てくる事例にも遭遇します。たとえば、次のような事例があります。「XはA会社に対する貸金債権の担保のためA会社からアンゴラ毛糸を譲渡担保にとっていた。A会社の倒産後、Xはこれを換価処分しようとしたが、Xは金融業者であり、自ら買主を探すことはできなかったで、A会社の代表に毛糸の売却を依頼し、BはこれをYに売却した。Bは毛糸の売買の際、Xのためにすることを示さず、また、Y会社はその毛糸がA会社よりXに譲渡担保に供されていたことを知らなかった。XがY会社に代金を請求したところ、Y会社はA会社に対する反対債権と売買代金債務を相殺したと主張した（テキスト179ページ）。」どうでしょうか。一読して、当事者関係および事案の流れを明確に把握できたでしょうか。テキストではこのような複雑な事例が多く出てきますので、そのような事例に遭遇した際には、頭の中だけで悩むのではなく、実際に当事者関係の図（例：X→A会社代表B→Y）や、時系列の図（例：譲渡担保→倒産→代理行為）を付箋やノートに書きながら読みすすめていってください。

(5) 商法総則・商行為法はそれ自体で完結した科目ではないことに注意する。

シラバス冒頭で商法総則・商行為法は企業の組織および取引に関する科目であると説明しましたが、企業の組織および取引に関する規定の全てが商法・会社法に定められているわけではありません。

そのため、テキストを読み進める際、また、レポート作成の際、あるいは単位修得試験の対策の際には、他分野、特に、私人間の関係について広く一般的に規定した民法に関する知識が必要不可欠になります。

通学部あるいは通信教育部を問わず、受講生から、商法総則・商行為法の内容が難しい、理解できないという質問をよく受けるのですが、実はその悩みの主たる原因は、基本となる民法の知識及び思考方法が身につけていないことである場合が多いと感じています。ですから、遠回りのように感じるかもしれませんが、まずは民法各科目のテキストあるいは、たとえば、野村豊弘『民事法入門〔第6版〕』（有斐閣、2014年）などを通読し、民法の規定についてひととおり学習（復習）した上で、本科目の学習を始めると理解度が全く異なったものになるでしょう。

会社法

教科担当責任者：柴田 和史

担当者：笹久保 徹

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 会社法の重要かつ基礎的な知識を習得すること。

① 株式会社および持分会社に関する会社法上の制度の基本を正確に理解すること。

② 上記の知識を活用して、具体的な問題を解決する能力を身につけること。

2 科目の概要 株式会社に関する会社法上の基礎知識を学習する。

「会社法」は、2005年（平成17年）に単独法典として成立したものであり、株式会社および持分会社について規定する。それ以前においては、1899年（明治32年）以来、現行商法典の中に株式会社および持分会社に関する多くの規定が存在していた。したがって、会社法が成立する以前に株式会社や持分会社を勉強した人は、株式会社・持分会社に関する規定は、会社法〇〇条ではなく、商法〇〇条として記憶している。

会社法において重要かつ基本的なことを述べておこう。

株主になろうとする者が、通常、一定の金額の金銭を出資すると、株式会社に対する請求権の束としての「株式」が生じる。株式を表章する有価証券が株券である。株券を持つ者は、正当に株式を有するということが推定される。正当に株式を有する者を「株主」という。株主は、出資した金銭の集積されたものをうまく運用してその金額を増加させるために「取締役」を選任する。取締役は、①法令・定款・株主総会決議を遵守し、②善管注意義務を尽くし、③忠実義務を遵守しながら、株式会社の経営を行なわなければならない。取締役は会社の経営をうまく行い、剰余金を産出しなければならない。取締役が会社を営んだ結果として剰余金を産出した場合、株主は、その剰余金をさらなる出資に当てることもできるし、また、自分たちが受け取り、個人的に消費することもできる。この産出された剰余金のうち、株主が受け取る場所の金銭を「配当」という。わが国には、約250万社の株式会社が存在し、その中の約4000社の株式会社の株式のみが金融商品取引所に上場され、常に売買されている。このような株式を上場株式という。上場株式は、多くの場合、その需要供給のバランスから株価が定まる。上場株式を有する株主にとっては、配当が増加すること、および、上場株式の株価が上昇することが、利益となる。

会社法は、比較的、まとまった法体系を規定しており、その意味では、学習しやすい法律といえることができる。なお、条文のほかに、判例によって形成された部分も少なからず存在するので、判例法についても十分に注意を払わなければならない。

3 成績評価基準 最終評価は単位修得試験で評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 柴田和史著『会社法詳解〔第2版〕』（商事法務、2015年）、¥5,400+税
※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 六法等を開いて会社法の条文を参照しつつ、指定したテキスト（柴田和史著『会社法詳解〔第2版〕』）をていねいに読み込むこと。また、電車の中など時間のあるときに、参考図書の柴田和史著『ビジュアル 図でわかる会社法（日経文庫）』（日本経済新聞出版社、2014年）を見てほしい。
① 会社法に限らず、およそ商法・民法・会社法・手形法などを学ぶ際には、必ず条文を参照する習慣をつけること。六

法を愛用し、ともかく、六法の必要なページを開く習慣を身につけて欲しい。このようにして物事の根拠となる条文を使いこなす能力を習得していることが、法学部生の最大の長所である。

② 会社法で用いられている基本的な概念を正確に理解すること。たとえば、「株式」とは何か、「忠実義務」とはいかなる義務か、「株式」と「株券」の違いを正確に説明できるか、「吸収合併」と「株式交換」はどこが異なるか、などの基本的理解に関わる問いに答えることができるためには、テキストに述べてある各概念の定義や説明を丁寧に注意深く読むことが必要である。

③ 会社法は、比較的、ほかの法律の知識を必要としないで理解することのできる法律といえる。もちろん、民法における契約や債権債務関係の知識、不法行為に関する知識などは当然の前提として要求される。しかし、もっとも大きな問題は、全文で 979 条もあり、そのうえ、各条文が長い、六法のページ数を比較すれば、民法典の約 2.5 倍の分量があるということである。したがって、会社法に関しては、各条文がどのような内容を規定しているかを理解することが最初の大きな仕事となる。

④ 会社法においては、「株主」、「取締役」、「監査役」、「会社債権者」などが、基本的な登場人物である。取締役が具体的に会社法上のなんらかの行為をするとき、場合によっては、株主の利益を増加させ、同時に、会社債権者の不利益を増加させることがある。また、場合によっては、その逆のことがある。さらに、場合によっては、株主の不利益を増加させ、取締役の利益を増加させることがある。このように、会社法で規定されているさまざまな事象は、誰かと誰かの利害関係を緊張させる場合が多く、会社法は、その問題をさまざまな法的テクニックを駆使することによりバランスの取れた結論が導かれるように条文を設定している。学生は、条文の定めた内容をただ丸暗記するのではなく、ぜひそのあたりを理解した上で、会社法を内容豊かなものとして学んで欲しい。

学習に際して、指定テキスト(柴田和史『会社法詳解〔第 2 版〕』(商事法務、2015 年))以外にも以下の図書が参考となる。

- 柴田和史著『ビジュアル 図でわかる会社法(日経文庫)』(日本経済新聞出版社、2014 年)、¥1,000 (税抜)
- 柴田和史著『類型別 中小企業のための会社法〔第 2 版〕』(三省堂、2015 年)、¥2,800 (税抜)
- 北村雅史＝柴田和史＝山田純子著『現代会社法入門〔第 4 版〕』(有斐閣、2015 年)、¥2,900 (税抜)
- 近藤光男＝柴田和史＝野田博著『ポイントレクチャー会社法〔第 2 版〕』(有斐閣、2015 年)、¥3,800 (税抜)
- 岩原伸作ほか編『会社法判例百選〔第 3 版〕』(別冊ジュリスト 229 号)(有斐閣、2016 年)、¥2,400 (税抜)

なお、以上の参考図書を利用する場合に改訂版が出版されているときは、改訂版を参考にすること。

手形法・小切手法

教科担当責任者：椋川 泰史

担当者：金尾 悠香、清水 真人
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 手形も小切手もそれ自体は徐々に使われなくなっている道具ですが、そこで用いられている解釈技術は、民法(特に債権法)の理解を深め、現代的な決済システムにも応用できる有用な知識ですので、これを身につけるように努めていただきたいと思います。

2 科目の概要 手形には約束手形及び為替手形があります。わが国では、約束手形が主に利用されています。

手形(以下、小切手も含む)の総論(たとえば、手形行為など)を学び、さらに手形の振出、譲渡及び支払などを勉強します。

3 成績評価基準 最終成績は、単位修得試験により評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『商法Ⅲ手形・小切手』第 4 版(有斐閣 S シリーズ)、有斐閣、大塚龍児・林靖・福瀧博之著、2011 年、¥ 2,100+税

5 学習指導、注意点等 民法総則・債権法を履修していることが望ましい。

労働法

教科担当責任者：藤本 茂

担当者：沼田 雅之、藤本 貴史、山本 圭子
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 (労働法総論・労働契約法) 労働法の意義、目的を正確に把握し、労働契約法の仕組みを理解することが望まれる。

(労働基準法) 労働基準法、最低賃金法など労働法規における労働条件基準を正確に理解することが目標である。

(労働組合法) 労働組合の機能、団体交渉、争議行為等団体行動の法的保障と限界を正確に理解することが目標である。

2 科目の概要 労働者と使用者との労働関係を規律する労働法を個別的労働関係法と集団的労働関係法の二つに分けて学習する。近年、前者の個別労働関係法領域において、労働契約法や労働審判法などの新しい法律が制定されたり、労働基準法の大きな法改正がなされたりするなど、動きが激しい。他方、後者の集団的労働関係法領域についても、最近、労働組合法の改正がなされている。こうした絶えず法制度の改編が進む労働法のダイナミックな動きを具体的テーマに即してテキストをよく読んで、理解を深めてほしい。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。(ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。)

4 テキスト名および詳細 ・指定市販本『基礎から学ぶ労働法Ⅰ労働法総論・個別的労働関係法』第 3 版、エイデル研究所、金子征史・藤本 茂・大場敏彦・高野敏春著、2012 年、¥2,381+税・指定市販本『基礎から学ぶ労働法Ⅱ集団的労働関係法・社会保障法』第 2 版、エイデル研究所、金子征史・藤本 茂・大場敏彦編、2016 年、¥2,300+税

なお、上記指定テキスト『基礎から学ぶ労働法Ⅰ』は 2017 年に第 4 版が発行される予定である。学習開始時に第 4 版が発行されている場合は、その版を使用すること。

5 学習指導、注意点等 労働法は憲法 25 条の生存権保障理念の実現を労働者に保障することを目的とする一連の法体系である。こうした目的の実現を図るために、憲法では、労働者に対して、27 条で、労働権保障・労働条件基準の法定化要求などを定めるとともに、28 条で、団結権、団体交渉権、その他団体行動権を保障している。こうした労働者の権利の実現を具体的に定める法が労働法である。こうした労働法は、大別すれば、憲法 27 条に基づく個別的労働関係法(労働基準法、最低賃金法、労働契約法など)の法体系と、憲法 28 条に基づく集団的労働関係法(労働組合法、労働関係調整法など)の法体系によって構成されているが、今日の労働者の置かれた状況を見ると、雇用保障法領域や社会保障法領域なども、労働者の生存権保障にとっては重要な意義を有する労働法のもう一つの法体系となっている。

・労働法の学習は、まず、労働法の意義をあきらかにし、労働者に保障されている具体的労働法の内容を理解するところから始めなければならない。大学での限られた時間のなかで学ぶ労働法の対象は、そのすべてに及ぶわけではないが、少なくとも個別的労働関係法の中心となっている労働基準法、労働契約法、さらに、集团的労働関係法の中心となっている労働組合法は必ず学ばなければならない。

そのうえで、余力があれば、社会保障法や雇用保障法にまで手を伸ばして勉強できればさらに充実した労働法の学習になると思われる。使用テキストは、社会保障法など労働法の関連法領域にまで意を尽くして記述しているので、テキストを丁寧に読んで学ぶことを心掛けてほしい。学問に王道はないといわれるが、労働法の世界でもまったくそのとおりであるので、テキストを熟読したうえで、レポートを作成してほしい。

社会経済思想史

教科担当責任者：伊海 孝充

担当者：伊藤 直樹

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 古代から 20 世紀にまでおよぶヨーロッパを中心とした社会思想史について、各時代ごとの思想の特徴を理解し、一定程度自分の言葉で語ることができるようにすることにある。

2 科目の概要 社会思想史とは、社会について、あるいは国家について、ひとがどのように考えてきたかを、歴史的にたどるものである。私たちは「個」として生きている。だが、その「個」は、逃れようもなく社会のなかに生きている。だとすれば、その「個」が生きているところの「社会」は、どのようなものであろうか。思想家たちが、古代において、16,17 世紀において、また 19 世紀において、それぞれに社会をとらえ、またあるべき社会の姿を提示しようとしてきた。そうした社会についての思想をとらえることが、本科目の課題である。ただし、その社会のあり方は、現在私たちがもっているイメージと、共通している点もあれば、そうでない点もある。「歴史」という目を持ってみれば、おのずとそうなる。社会思想「史」であるとは、社会についての思想を歴史的に見ることであり、現在の私たちの状況と、過去のそれとを見比べながら学ぶこともまた必要である。

3 成績評価基準 ・レポート評価

ごく基本的なこととして、誤字脱字、文章の主部と述部が乱れていないか、また段落のつけ方が適切であるかといった点には注意されたい。ときおり、口語調の文体で、そうした点に無頓着な文章を見かける。これらのことは、内容の理解と密接に関係していると思われるからである。

次に、課題についてよく考えることである。その課題がなにを要求しているかを、自分なりに見極めること。よく調べ、丁寧に論述されていても、課題に相応しくなければダメである。

また、学ぶ内容は、過去の思想である。したがって、けっして自分の思い込みでレポートを書くことはできないはずである。まずは、自分の思い込みを脇に置いて、通教テキストに沿って理解してゆくことが大切である。だから、「自分なりの理解」は重要であるが、それは、レポートをまとめるさいの、その「まとめ方」や、ときとして必要になるはずの自分の言葉での「要約」に現われてくる。評価のさいには、そこに注目する。自分なりの「意見」を加えてもよいが、それは、そうした「自分なりの理

解」を踏まえてのものであるだろう。

・筆記試験

レポートでの課題と関連した内容を問う。思想内容を客観的に理解できているかどうか、評価の基準となる。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『社会思想史』第 2 版、濱田義文・加来彰俊・湯川桂一郎・牧野英二・星野勉・安孫子信・笠原賢介・酒井健、2010 年

まずは、通教テキストを、精読してもらいたい。そのうえで、章末に掲載されている参考文献、あるいは入手可能な関連文献などにあたってもらいたい。

5 学習指導、注意点等 レポートを書く際には、『自立学習の手引き』などを参照してもらいたい。

上述したが、まずは、通教テキストを精読して欲しい。テキストの精読を踏まえて課題を考え抜くことで、どのような内容と構成をもったレポートを書くべきかが、見えてくるはずである。その内容を決めてはじめて、参考文献にあたって欲しい。このような手順を踏んだかどうかは、レポートに如実に現われる。あえて言うと、この手順を逆にして作成されたレポート、つまり、課題をちらっと見て、関係ありそうな参考文献から抜き書きしただけのもの、そういうものは、書き手の理解がともなわない、ただ難しいだけのものになってしまう。これでは、学びとは言えない。

経済地理

教科担当責任者：伊藤 達也

担当者：伊藤 達也

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 経済地理学の基本的な考え方、方法を学ぶことによって、社会・経済現象に対して経済地理学からどのように捉えることができるのかについて理解することを目的とする。

2 科目の概要 経済地理学は人文地理学の中で、特に経済現象を地理学的視角からとらえていくことを目的とする。テキストとして山本健児『経済地理学入門－地域の経済発展』（新版）を使用する。本テキストは経済地理学の基本的な考え方、方法論を最も適切かつ簡潔に記している。

3 成績評価基準 成績評価は設題に対するレポートと単位修得試験による。

レポートについては、特に引用文献を適切に提示することに注意すること。

単位修得試験の場合、必ずテキストをすべて理解した上で臨むこと。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 山本健児『経済地理学入門－地域の経済発展』（新版）、原書房、2005 年、¥ 2,800+税

5 学習指導、注意点等 成績評価基準に書いた通り。レポートは適切な引用と、自らのオリジナルな調査結果によって記述されるものである。その際、多くのレポートは引用によって成り立つものであるため、必ず、どの文献のどの部分を引用したかがわかるように本文中に記述すること。引用の仕方がわからない場合は、専門論文などを参考にして欲しい。

単位修得試験は解答者の意見を聞く場ではなく、解答者の適切な理解度を問う場である。テキストをしっかり理解した上で臨むこと。

2017年度 設題総覧

— リポート設題と参考文献 —

54518

指・社会経済学 A

2 設題 (2 単位)

- 第 1 回 (1) 市場による生産と分配の調整について述べよ。労働の社会性、労働生産物と商品との違い、貨幣の役割について言及すること。(テキストの序章、第 1 章が参考になる。)
- 第 1 回 (2) 剰余価値の生産について説明せよ。労働力商品の特殊性、可変資本と不変資本、労働過程と価値増殖過程について言及すること。(テキストの第 1 章、第 2 章が参考になる。)

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①テキストの内容を十分に理解した上で、全体の論理構成をよく練って解答すること。
- ②文献からの引用・抜粋にあたっては、括弧で括った上で典拠を明記すること。
- ③論旨にそった見出しなどを用いて、読みやすくすること。

参考文献

- 大谷禎之介『経済原論』(通信教育部、旧テキスト)
- 大谷禎之介『図解 社会経済学』桜井書店、2002 年

54519

指・社会経済学 B

2 設題 (2 単位)

- 第 1 回 (1) 資本主義社会における人口法則と失業との関連について述べよ。相対的過剰人口論と絶対的過剰人口論との違い、有機的構成の高度化と産業予備軍、現代の労働市場の動向に言及すること。
- 第 1 回 (2) 価値の生産価格への転化について述べよ。費用価格、利潤、剰余価値率の利潤率への転化、平均利潤率の形成について言及すること。(テキストの第 5 章が参考になる。)

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①テキストの内容を十分に理解した上で、全体の論理構成をよく練って解答すること。
- ②文献からの引用・抜粋にあたっては、括弧で括った上で典拠を明記すること。
- ③論旨にそった見出しなどを用いて、読みやすくすること。

参考文献

- 大谷禎之介『経済原論』(通信教育部、旧テキスト)
- 大谷禎之介『図解 社会経済学』桜井書店、2002 年

54522

指・統計学 A

1 設題 (2 単位)

【特記事項】 ◆資料は本文とは別に添付すること。

- 第 1 回 (1) 高齢者の交通事故の特徴について、具体的なデータに基づいて論ぜよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

ネット上にある図表をただそのままコピペするのではなく、図表は自分で独自に作成すること。

参考文献

- 交通事故総合分析センター『交通事故統計年報』各年度版、¥3,000

54523

指・統計学 B

1 設題 (2 単位)

- 第 1 回 (1) 最近急増している海外からの観光客について、どのような特徴が見られまたどういった課題が存在するかについて、具体的なデータに基づいて論ぜよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

- (1)『観光白書』はウェブからも見るができます。

(2) ウェブから得られた図表を使用する場合には、必ず URL を明記するようにしてください。

参考文献

- 『観光白書』各年度版

54524

指・経済史 A

1 設題 (2 単位)

第 1 回 (1) 経済政策を支えた経済理論が、1960 年代の「ケインズ経済学」から、1980 年代の「サプライサイド経済学」に転換した背景を当時の経済状況の変化から説明しなさい。

題解答にあたっての解説・注意等

引用箇所を、脚注を使用するか、本文にて明示してください。

参考文献

- 猪木武徳著『戦後世界経済史：自由と平等の視点から』中公新書、2009 年、¥940
- ポール・クルーグマン著『経済政策を売り歩く人々』ちくま学芸文庫、2009 年、¥1,400

54525

指・経済史 B

1 設題 (2 単位)

第 1 回 (1) 明治維新期の様々な経済的制度改革を江戸時代の制度と比較しながら、何がどう変わり、どのような結果を招いたか説明しなさい。

参考文献

- 南亮進著『日本の経済発展』第 3 版、東洋経済新報社、2002 年、¥3,600
- 速水融・他編『日本経済史 全 8 巻』岩波書店、1988 年、各 ¥3,000 ～ 3,300
- 杉山伸也著『日本経済史』岩波書店、2012 年、¥4,000

64516

旧／新・簿記 I (専用レポート)

1 設題 (2 単位)

※ (旧・簿記 I) テキスト／レポートノート (サーモン色) 経過措置期間：～ 2019 年 3 月迄

※この科目は、科目専用のレポートノートを用いる。

学習上の注意

- (1) まず『経済学部のしおり』の簿記 I を参照し、簿記がどういった科目なのかを把握すること。
- (2) 次いで、テキストの精読を心がけ、特に復習問題へは積極的に取り組むこと。これが十分に消化できていればレポートの再提出は防げるはずである。
- (3) 他人のレポートなどを丸写しする人もいるが、こうした人は単位修得試験では 0 点を取ったりする。レポート設題の問題ができれば単位修得試験も容易にできるはずである。

レポート作成上の諸注意

この科目のレポートは、テキストとセットになった以下の専用レポートノートを用いる。指定レポート以外のものは受理しないので注意すること。

- (1) (旧・簿記 I) サーモン色 (2015 年 4 月改訂) ※藤色のレポートノートは使用不可。
- (2) (新・簿記 I) 白茶色 (2017 年 4 月改訂)

単位修得試験について

- (1) テキスト復習問題・レポート設題をよく理解していれば解答は難しくないはずである。したがって、テキストでの学習・レポートの作成での手抜きは禁物である。
- (2) 受験に際し、電卓の使用を認める。なお、電卓機能付きの機器 (携帯電話など) は認めない。

参考文献

- 日本商工会議所主催、簿記検定 3 級受験用の各種参考書・ワークブック類

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

(旧・簿記 I) 本誌 p.222 参照のこと。

64517

旧／新・簿記 II (専用レポート)

1 設題 (2 単位)

※ (旧・簿記 II) テキスト／レポートノート (赤色) 経過措置期間：～ 2019 年 3 月迄

※この科目は、科目専用のレポートノートを用いる。

学習上の注意

- (1) まず『経済学部』のしおり』の簿記Ⅱを参照し、簿記がどういった科目なのかを把握すること。
- (2) 次に、テキストの精読を心がけ、特に復習問題へは積極的に取り組むこと。これが十分に消化できていればレポートの再提出は防げるはずである。
- (3) 他人のレポートなどを丸写しする人もいるが、こうした人は単位修得試験では0点を取ったりする。レポート設題の問題ができれば単位修得試験も容易にできるはずである。

レポート作成上の諸注意

この科目のレポートは、テキストとセットになった以下の専用レポートノートを用いる。指定レポート以外のものは受理しないので注意すること。

- (1) (旧・簿記Ⅱ) 赤色 (2015年4月改訂) ※若竹色のレポートノートは使用不可。
- (2) (新・簿記Ⅱ) 黄色 (2017年4月改訂)

単位修得試験について

- (1) テキスト復習問題・レポート設題をよく理解していれば解答は難しくはないはずである。したがって、テキストでの学習・レポートの作成での手抜きは禁物である。
- (2) 受験に際し、電卓の使用を認める。なお、電卓機能付きの機器 (携帯電話など) は認めない。

参考文献

- 日本商工会議所主催、簿記検定3級受験用の各種参考書・ワークブック類

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

(旧・簿記Ⅱ) 本誌 p.222 参照のこと。

54534

指・財政学 A

2 設題 (2 単位)

第1回 (1) 経済活動において政府が果たす役割と、政府支出のあり方について論じなさい。

第1回 (2) 日本の財政の現状とその問題点を、データをふまえて論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

テキストは10章からなります。財政学 A では、その第1章から第5章までの内容を範囲とします。設題数が少ないため、必ずしも設題に沿った問題が単位修得試験問題になるとは限りません。設題に関わる部分以外にもきちんと学習し、把握しておくこと。そのさい、押さえるべきポイントの手がかりとして、テキストの各章の問題をチェックしておくとういでしょう。また、必要に応じて (テキスト以降の最新の) 現状のデータをチェックしておいてください。なお、本やネット上のホームページの文章を丸写しすることは絶対に避けてください。

参考文献

- 矢野恒太記念会『日本国勢図会』国勢社、最新年度版
- (年により著者が異なる)『図説日本の財政』東京経済新報社、最新年度版
- 日本の財政関係資料 (最新年度版)
http://www.mof.go.jp/budget/fiscal_condition/related_data/201610.html
- 財政投融资レポート
http://www.mof.go.jp/filp/publication/filp_report/zaito2016/index.htm
(なお、インターネットにアクセスできない人、および財務省のデータが更新されていないときは『日本国勢図会』、『図説日本の財政』等で最新データを確認してください。なお、単位修得試験問題は2016年度(2017年度予算を含む)までのデータに基づき出題し、2017年度(2018年度予算を含む)にその数値が大きく変化した場合には採点時に考慮します。)

54535

指・財政学 B

2 設題 (2 単位)

第1回 (1) 消費税増税が持つ意味について論じなさい。なお、(i) 他の税と比較しての長所や短所、(ii) 税収に占める割合についての他国との比較、(iii) 景気への影響等を盛り込み、論じること。

第1回 (2) 日本の社会保障の現状とその問題点について論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

テキストは10章からなります。財政学 B では、その第6章から第10章までの内容を範囲とします。設題数が少ないため、必ずしも設題に沿った問題が単位修得試験問題になるとは限りません。設題に関わる部分以外にもきちんと学習し、把握しておくこと。そのさい、押さえるべきポイントの手がかりとして、テキストの各章の問題をチェックしておくとういでしょう。また、必要に応じて (テキスト以降の最新の) 現状のデータをチェックしておいてください。なお、本やネット上のホームページの文章を丸写しすることは絶対に避けてください。

参考文献

- 矢野恒太記念会『日本国勢図会』国勢社、最新年度版
- (年により著者が異なる)『図説日本の財政』東京経済新報社、最新年度版
ネット上の資料
- 日本の財政関係資料(最新年度版)
http://www.mof.go.jp/budget/fiscal_condition/related_data/201610.html
- 財政投融资レポート
http://www.mof.go.jp/filp/publication/filp_report/zaito2016/index.htm
(なお、インターネットにアクセスできない人、および財務省のデータが更新されていないときは『日本国勢図会』、『図説日本の財政』等で最新データを確認してください。なお、単位修得試験問題は2016年度(2017年度予算を含む)までのデータに基づき出題し、2017年度(2018年度予算を含む)にその数値が大きく変化した場合には採点時に考慮します。)

54536

指・金融論 A

1 設題 (2 単位)

- 第1回 (1) 1株あたりの配当をD、配当の成長率をg、安全資産の金利をr、株式のリスク・プレミアムをdとしたとき、配当割引モデルに基づいて株価を導出し、さらに税引き後企業収益がすべて配当として支払われるときの株式回りと安全資産の金利との間のイールド・スプレッドを導出せよ。(テキスト第5章が参考になる)

設題解答にあたっての解説・注意等

レポートの執筆にとりかかる前に、テキストの全体、特に第1章から第5章までを熟読してください。各設問の論点が金融論の全体系の中でどういう位置を占めるかに留意しながら、レポートを仕上げる姿勢が大切です。したがって、各設問の後に括弧で示した参考箇所は、あくまでも1つの目安にとどまると考えてください。参考文献は、設問に関連する主題についてテキストでは詳細に論じられていない内容を含む優れた文献です。参照すれば内容豊富な答案が書けるでしょう。進んだ勉強を望む方は挑戦してください。

参考文献

- リチャード・A・ブリーリー、スチュワート・C・マイヤーズ、フランクリン・アレン『コーポレート・ファイナンス下』第10版、日経BP社、2014年、¥6,000

54537

指・金融論 B

1 設題 (2 単位)

- 第1回 (1) コーポレート・ガバナンスにおいて、株式、銀行借り入れ、社債の3つの資金調達手段の利用が企業経営に与える効果を、それぞれの効果の相違に留意しつつ説明せよ。(テキスト第7章が参考になる)

設題解答にあたっての解説・注意等

レポートの執筆にとりかかる前に、テキストの全体、特に第6章から第9章までを熟読してください。各設問の論点が金融論の全体系の中でどういう位置を占めるかに留意しながら、レポートを仕上げる姿勢が大切です。したがって、各設問の後に括弧で示した参考箇所は、あくまでも1つの目安にとどまると考えてください。参考文献は、設問に関連する主題についてテキストでは詳細に論じられていない内容を含む優れた文献です。参照すれば内容豊富な答案が書けるでしょう。進んだ勉強を望む方は挑戦してください。

参考文献

- 小佐野広『コーポレート・ガバナンスの経済学』日経経済新聞社、2001年、¥2,000

54538

指・経済政策論 A

1 設題 (2 単位)

- 【特記事項】 ◆パソコン(ワープロ)使用の可否 (不可)
◆記述字数(1設題) (5000字程度)
◆レポート用紙が足りない場合は、市販のA4判原稿用紙を使用し、講評欄の前に貼付すること。

- 第1回 (1) 古典派モデルとケインジアン・モデルの概要を説明したうえで、財政政策(政府支出の増加と減税)の効果に違いが発生する理由について整理してまとめなさい。必要ならば図を用いてもよい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①教科書や参考文献の丸写しをしないこと。
- ②引用は該当箇所をカッコで括り、引用文献各ページを明記すること。

参考文献

- 田代洋一・萩原伸次郎・金澤史男編『現代の経済政策』有斐閣、2011年、¥2,900
- 岩田規久男・飯田泰之著『ゼミナール経済政策入門』日本経済新聞出版社、2006年、¥3,200
- 林正義・小川光・別所俊一郎著『公共経済学』有斐閣、2010年、¥2,300

54539

指・経済政策論B

1 設題 (2 単位)

- 【特記事項】 ◆パソコン（ワープロ）使用の可否 (不可)
◆記述字数（1 設題） (5000 字程度)
◆レポート用紙が足りない場合は、市販の A4 判原稿用紙を使用し、講評欄の前に貼付すること。

- 第 1 回 (1) リカード＝バローの中立命題が成立する場合、政府支出を課税で賄っても、公債で調達しても、経済全体に及ぼす影響は変わらない。この命題の内容と中立命題が成り立つ条件を説明したうえで、子どものいない世帯が存在したり、子どもの数が内生的に決まったりするケースでは、なぜ中立命題が成立しないのか論じなさい。必要ならば図や数式を用いてもよい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①教科書や参考文献の丸写しをしないこと。
- ②引用は該当箇所をカッコで括り、引用文献各ページを明記すること。

参考文献

- 田代洋一・萩原伸次郎・金澤史男編『現代の経済政策』有斐閣、2011年、¥2,900
- 岩田規久男・飯田泰之著『ゼミナール経済政策入門』日本経済新聞出版社、2006年、¥3,200
- 麻生良文著『マクロ経済学入門』ミネルヴァ書房、2009年、¥3,500

54503

外国語経済学

1 設題 (2 単位)

※ 2016 年 4 月以降、新規履修不可

- 第 1 回 (1) 以下の英文を翻訳しなさい。

The inducement to invest is limited by the size of the market. That is essentially what Allyn Young brought out in his reinterpretation of Adam Smith's famous thesis. What determines the size of the market? Not simply money demand, nor mere numbers of people, nor physical area. Transport facilities, which Adam Smith singled out for special emphasis, are important; reductions in transport costs (artificial as well as natural) do enlarge the market in the economic as well as the geographical sense. But reductions in any cost of production tend to have that effect. So the size of the market is determined by the general level of productivity. Capacity to buy means capacity to produce. In its turn, the level of productivity depends - not entirely by any means, but largely - on the use of capital in production. But the use of capital is inhibited, to start with, by the small size of the market.

54505

農業論

2 設題 (4 単位)

※ 2016 年 4 月以降、新規履修不可

- 第 1 回 (1) 現代世界の食糧問題が、先進諸国の食糧の過剰と開発途上諸国の食糧の不足との併存として現れている要因について分析しなさい。その場合、同じ開発途上国であっても、なぜサハラ以南アフリカや南アジア諸国において「飢餓」問題が生じているのか、考察しなさい。

- 第 2 回 (1) 戦後日本の高度成長期の農業・農家の変化について、食糧政策（食生活の変化など）・農業政策（生産政策・農産物価格政策など）・農産物貿易政策との関係から分析しなさい。その場合、高度経済成長期以降の日本の農家が、なぜ一般的に〈米の単作プラス兼業〉の形態になっていったのか、要因について考察しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①教科書の内容が古いので、必ず参考文献を使用すること。
- ②教科書や参考文献を丸写ししないこと。
- ③レポートは小項目をつけ整理して書くこと。

参考文献

- ポール・ロバーツ著（神保哲生訳）『食の終焉』ダイヤモンド社、2012年、¥2,800
- ヴァンダナ・シバ著（浦本昌紀監訳）『食糧テロリズム』明石書店、2006年、¥2,500

- 田代洋一著『農業・食料問題入門』、大月書店、2012年、¥2,600
- 佐伯尚美著『農業経済学講義』東京大学出版会、1989年、¥2,800
- 神山安雄著『食糧問題』農林統計出版社、2017年4月刊

54510 指・経済学史

2 設題 (4 単位)

※ 2016 年 4 月以降、新規履修不可

第 1 回 (1) 有効需要の原理に基づく経済政策について説明せよ。

第 2 回 (1) 新古典派経済学の経済政策について説明せよ。

54511 指・社会政策

2 設題 (4 単位)

※ 2016 年 4 月以降、新規履修不可

第 1 回 (1) ① 日本の公的年金制度について、保険者、被保険者、財源構成、給付などの基本的な仕組みについて説明しなさい。また公的な医療保険制度との共通点、相違点について述べなさい。

② 日本の社会福祉制度では、どのような人々を対象とし、どのようなサービスが提供されているか説明しなさい。またその費用を誰が負担し、サービス対象者の決定がどのようにおこなわれるのかについても併せて記述しなさい。

第 2 回 (1) ① 社会保障制度が果たす「機能」について、「セーフティネット」、「再分配」、「経済の安定」という言葉を必ず利用して説明しなさい。

② 「確定給付年金」と「確定拠出年金」について各々のメリット、デメリットを踏まえてその特徴を説明しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

テキスト全体を熟読し、社会保障領域全般について包括的に理解してください。

参考文献

- 駒村康平著『福祉の総合政策』新訂 5 版、創成社、2011 年、¥3,000

54509 指・工業論

2 設題 (4 単位)

※ 2016 年 4 月以降、新規履修不可

第 1 回 (1) アジアの工業化と裾野産業の役割について論ぜよ。その上で 1970 ～ 80 年代、90 年代、2000 年代のアジアを題材に議論を展開せよ。

第 2 回 (1) 後発国の工業化について、キャッチアップと学習、イノベーションの観点で論ぜよ。

テキスト

- 馬場敏幸編『アジアの経済発展と産業技術』ナカニシヤ出版、2013 年

参考文献

- 馬場敏幸著『アジアの裾野産業』白桃書房、2005 年、¥3,200
- アレクサンダー・ガーシェンクロン著（絵所・雨宮他訳）『後発工業国の経済史』ミネルヴァ書房、2005 年、¥4,000
- 末廣昭著『キャッチアップ型工業化論—アジア経済の奇跡と展望—』名古屋大学出版会、¥3,500

64522 指①・経営学総論Ⅰ

1 設題 (2 単位)

※テキスト経過措置期間：～2018 年 3 月迄

- 【特記事項】 ◆リポートノートの使い方 (横書き)
◆ワープロを使用し、文末に字数を明記すること。
◆記述字数は、2000 文字以上 2500 文字未満とする。

第 1 回 (1) 「カンパニー制組織と持株会社 (テキスト p.159)」とはいかなる企業運営形態か。その構造と機能について、「実在する著名な企業 (グループ)」を例にあげながら説明しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

インターネットなどで著名な企業のホームページや有価証券報告書を調べ、自ら解りやすい組織図を描き、個別の組織が全体の中でどのような機能を持ち、全体がどのような構造になっているのか解説して下さい。既に「解りやすい組織図」が提示されている場合は、その出所を明確にして下さい。

64522

指②・経営学総論Ⅰ

1 設題 (2 単位)

- 【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (横書き)
◆ワープロを使用し、文末に字数を明記すること。
◆記述字数は、2000 文字以上 2500 文字未満とする。

- 第 1 回 (1) アンゾフの「事業拡大マトリクス (テキスト p.17)」とはいかなる経営戦略か。その理論的フレームについて、「実在する著名な企業の事業活動 (事業・商品展開)」を例にあげながら説明しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

インターネットなどで著名な企業の事業・製品ラインナップを調べ、それらがそれぞれ、①「既存製品×既存市場」、②「既存製品×新市場」、③「新製品×既存市場」、④「新製品×新市場」、⑤「新製品×新市場×新技術・新流通等」の、どの戦略的枠組みに当てはまるのか整理して下さい。さらに、それらが「どのような順番で事業・製品展開されてきたのか？」解説を加えて下さい。

64523

指①・経営学総論Ⅱ

1 設題 (2 単位)

※テキスト経過措置期間：～ 2018 年 3 月迄

- 【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (横書き)
◆ワープロを使用し、文末に字数を明記すること。
◆記述字数は、2000 文字以上 2500 文字未満とする。

- 第 1 回 (1) 働くあなたの「モチベーション (テキスト p.218 ～)」は、あなたの職場が用意する「インセンティブ (同 p.231 ～)」によって、どのように高められているだろうか。「仕事報酬」、「業績評価基準」、「理念的インセンティブ」、「自己実現的インセンティブ」の全ての概念を使って、そのプロセスを具体的に説明して下さい。

設題解答にあたっての解説・注意等

あなたのモチベーションについて、テキスト (p.219 ～) にある理論的概念を用い、「どのような構造になっているか?」、「なぜ、そうなのか?」を説明して下さい。また、あなたの職場が用意するインセンティブについてはテキスト (p.251 ～) にある概念を用いて、その有効性 (あるいは制度的欠落) を具体的に評価するとともに、評価できない場合は「なぜ、そうできないのか?」、それぞれの背景を説明して下さい。なお、就業経験のない方は、周囲の親族や知人等のケースをヒアリングし、レポートして下さい。

64523

指②・経営学総論Ⅱ

1 設題 (2 単位)

- 【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (横書き)
◆ワープロを使用し、文末に字数を明記すること。
◆記述字数は、2000 文字以上 2500 文字未満とする。

- 第 1 回 (1) 働くあなたの「モチベーション (テキスト p.194)」は、あなたの職場が用意する「インセンティブ (同)」によって、どのように高められているだろうか。「金銭的動機と金銭的報奨」、「社会的動機と社会的評価」、「自己実現動機と自己実現機会の提供」の全ての概念を使って、そのプロセスを具体的に説明して下さい。

設題解答にあたっての解説・注意等

あなたのモチベーションについて金銭的、社会的、自己実現面の 3 つをそれぞれ具体的に例示し、「なぜ、そうなのか?」、自身の特性 (特徴) とその背景を説明して下さい。また、あなたの職場が用意するインセンティブについて金銭面、社会面、自己実現の 3 点から、「あなたに合った仕組み (あり方) なのか?」を具体的に評価し、評価できない場合は「なぜ、そうできないのか?」、それぞれの背景を説明して下さい。なお、就業経験のない方は、周囲の親族や知人等のケースをヒアリングし、レポートして下さい。

※この科目は、科目専用のレポートノートを用いる。

学習上の注意

- (1) この科目で学習する範囲は日商簿記2級（商業簿記）程度のものである。この科目を学習することによって「会計学入門Ⅰ・Ⅱ」、「財務会計論Ⅰ・Ⅱ（旧「会計学」）」といった科目を履修した場合の学習が比較的スムーズに進められると思います。
- (2) まずテキストを丁寧に読み、理解し、テキストの問題を解いてテキスト全体を理解した上で、レポート設題の問題を解いてください。レポート設題の問題が解けるレベルに達していれば、単位修得試験の問題も十分できるはずです。
- (3) 日商2級（工業簿記）の学習も行い、検定試験にチャレンジすることもお勧めします。
日商簿記2級の試験は、毎年2月、6月、11月に実施されています。
通信教育部の「原価計算論」の学習で「日商簿記（2級工業簿記）」の多くの部分がカバーされていると思います。

単位修得試験について

- (1) テキストの例題、問題、レポートノートの問題と同程度の問題から出題する。
したがってテキストの基本的学習が十分なされていれば問題はありません。
- (2) 普通の電卓のみ使用を認めます。

参考文献

この科目の通教テキスト以外の参考文献として、渡部他編『検定簿記講義（2級商業簿記）』中央経済社、TAC 簿記検定講座編『合格テキスト（日商簿記2級商業簿記）』TAC 出版、桜井久勝『財務会計講義（最新版）』中央経済社をあげておきます。問題集としては、各社から出版されている過去問の日商簿記2級の題集や『合格トレーニング（日商簿記2級商業簿記）』TAC 出版や『検定簿記ワークブック2級（商業簿記）』中央経済社をあげておきます。

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.223 参照のこと。なお、専用レポートノート（第1版第1刷）の p.11 については、『通信学習シラバス・設題総覧 2017』に掲載したレポート差し替え用紙を貼付して使用すること。

※（旧・簿記Ⅳ）テキスト経過措置期間：～2018年3月迄

※この科目は、科目専用のレポートノートを用いる。

学習上の注意

この科目では日商簿記2級程度の学習を修了された学生を対象に、日商簿記1級（商業簿記）程度の簿記会計の知識を習得する。したがって簿記の中級レベルまでの知識があることが学習を開始するにあたって必要とされる。2016年度の新テキストからは2単位科目であることと、紙幅を考えて連結財務諸表に関する章を削除した。

単位修得試験について

- (1) テキスト全体からまんべんなく出題しているので、テキストの内容を十分理解するように努めてください。例題、練習問題は丁寧に学習しておいてください。レポート設題はテキストの中でも重要な箇所であると考えてください。
- (2) 連結会計に関する試験問題は出題しません。
- (3) 通常の電卓のみ使用を認めます。

参考文献

通教テキスト以外に、参考書として渡部裕巨他編『新検定簿記講義（1級商業簿記）各年度版』中央経済社、『合格テキスト日商簿記1級（商業簿記・会計学）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』TAC 出版、渡部裕巨他編『テキスト上級簿記（第5版）』中央経済社、2015年、斎藤真哉編『エッセンシャル連結会計』中央経済社、2013年、桜井久勝『財務会計講義（最新版）』中央経済社をあげておきます。各会計処理の会計理論的な裏づけについては、『財務会計講義』を参照してください。また連結会計を学習する参考書として『エッセンシャル連結会計』を示します。問題集としては日商簿記1級試験の過去問題集や各種の1級テキストに対応している問題集を利用してください。

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.223 参照のこと。

第1回 (1)「戦間期」における日本経済を「恐慌」という視点から整理しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

単なる事例の羅列ではなく、史実それぞれの「意味」とその相互連関を「論理」的に整理して書くこと。

参考文献

- 杉山伸也『日本経済史 近世一現代』第1版、岩波書店、2012年、¥4,000

54541

指①／指②・日本経済論B

1 設題 (2 単位)

※(指①・日本経済論B) テキスト経過措置期間：～2018年3月迄

第1回 (1) 1945年～1980年代までの日本社会を戦後日本経済の成長という視点から整理しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

単なる事例の羅列ではなく、史実それぞれの「意味」とその相互連関を「論理」的に整理して書くこと。

参考文献

- (指①・日本経済論B 学習者対象)
- 杉山伸也『日本経済史 近世一現代』第1版、岩波書店、2012年、¥4,000
- (指②・日本経済論B 学習者対象)
- 三和良一『概説 日本経済史 近現代』第3版、東京大学出版会、2012年、¥2,500

64540

指・財務会計論I

1 設題 (2 単位)

第1回 (1) A君は私に次のような質問をした。「単に現金の収入から支出を引けば儲けが計算できる。会社の利益も同じように計算すればよいはずだ。なぜ、収支計算書(キャッシュフロー計算書)だけでなく、損益計算書が存在するのか。」私に代わってA君に分かりやすく回答しなさい。ただし、回答のなかで少なくとも財務会計の機能、および発生主義会計について触れること。

設題解答にあたっての解説・注意等

文献やインターネットから文章を引用する際には、必ず出所を正確に明示すること。明示していない場合は、再提出となる。なお、文献やインターネットから得られる文章をそのまま引用しても、A君には難しくてほとんど分かってもらえないはずである。専門用語はすべて丁寧に定義し、筋道を立てて(説明の構成を考えて)説明すること。

参考文献

- 桜井久勝『財務会計講義』第18版、中央経済社、2017年、¥3,800
- 伊藤邦雄『新ゼミナール現代会計入門』第2版、日本経済新聞社、2016年、¥3,780
- 佐藤信彦・齋藤真哉他『スタンダードテキスト財務会計・財務会計I・基本論点編』第9版、中央経済社、2015年、¥5,200
- 中央経済社『新版・会計法規集』第8版、中央経済社、2015年、¥2,100

64541

指・財務会計論II

1 設題 (2 単位)

第1回 (1) Bさんは次のような質問をした。「なぜ将来の資産除去義務に伴う費用が見込まれると、資産が増えるのか。費用が見込まれるのだからむしろ資産を減らさなければならないのではないか。」私に代わってBさんに分かりやすく回答しなさい。ただし、回答のなかで少なくとも負債の概念、および「引当金処理」「資産負債の両建処理」の考え方について触れること。

設題解答にあたっての解説・注意等

文献やインターネットから文章を引用する際には、必ず出所を正確に明示すること。明示していない場合は、再提出となる。なお、文献やインターネットから得られる文章をそのまま引用しても、Bさんには難しくてほとんど分かってもらえないはずである。専門用語はすべて丁寧に定義し、筋道を立てて(説明の構成を考えて)説明すること。

参考文献

- 桜井久勝『財務会計講義』第18版、中央経済社、2017年、¥3,800
- 伊藤邦雄『新ゼミナール現代会計入門』第2版、日本経済新聞社、2016年、¥3,780
- 佐藤信彦・齋藤真哉他『スタンダードテキスト財務会計・財務会計I・基本論点編』第9版、中央経済社、2015年、¥5,200
- 中央経済社『新版・会計法規集』第8版、中央経済社、2015年、¥2,100

※ (指①・原価計算論Ⅰ) テキスト経過措置期間：～2018年3月迄

第1回 (1) 直接労務費の計算について、2,400字程度で論ぜよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

設題への解答にあたっては、必ずテキストと参考文献の内容をしっかりと読んでください。その上で、自分なりに理解した内容を、自分の言葉を用いて説明してください。引用文献および参考文献がある場合にはそれらを必ず明記してください。なお、引用は必要最低限にとどめること。設題を講評に基づいて加筆・修正する場合には、指摘された箇所だけではなく、全体の構成を必ずもう一度見直してください。

参考文献

廣本敏郎・挽文子『原価計算論』第3版、中央経済社、2015年、¥6,300

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

(指②・原価計算論Ⅰ) 本誌 p.224 参照のこと。

※ (指①・原価計算論Ⅱ) テキスト経過措置期間：～2018年3月迄

第1回 (1) Activity-Based Costing の意義とその特徴について、2,400字程度で論ぜよ。また、下記の問題を別紙に解いて、レポート用紙の設題1の最後のページに貼付しなさい。なお、解答にあたっては必ず計算のプロセスを明示すること。

甲製造企業では2種類の製品AとBを製造している。この2種類の製品について以下のデータが与えられている。このとき、(1) 製造間接費を直接作業時間で配賦するときの製品AとBの1個あたりの製造原価、および(2) ABCを適用した場合の製品AとBの1個あたりの製造原価を求めなさい。コスト・ドライバー (アクティビティ・ドライバー) は適切なものを選択すること。なお、解答にあたっては計算の過程も示すこと。

	製品 A	製品 B
生産数量	500 個	50 個
直接材料費	3,000,000 円	500,000 円
直接労務費	1,500,000 円	300,000 円
直接作業時間	1,000 時間	200 時間
設計回数	1 回	1 回
段取回数	5 回	1 回
マテハン回数	14 回	2 回
検査時間	25 時間	25 時間

* 直接材料費以下のデータはそれぞれ製品Aを500個、製品Bを50個製造したときの実績データである。

〔製造間接費実際発生額〕

設計費用	200,000 円
段取費用	420,000 円
マテハン費用	120,000 円
検査費用	625,000 円
	<u>1,365,000 円</u>

設題解答にあたっての解説・注意等

設題への解答にあたっては、必ずテキストと参考文献の内容をしっかりと読んでください。その上で、自分なりに理解した内容を、自分の言葉を用いて説明してください。引用文献および参考文献がある場合にはそれらを必ず明記してください。なお、引用は必要最低限にとどめること。設題を講評に基づいて加筆・修正する場合には、指摘された箇所だけではなく、全体の構成を必ずもう一度見直してください。

参考文献

廣本敏郎・挽文子『原価計算論』第3版、中央経済社、2015年、¥6,300

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

(指②・原価計算論Ⅱ) 本誌 p.224 参照のこと。

64544

管理会計論Ⅰ

1 設題 (2 単位)

- 第 1 回 (1) テキスト第 3 部の「設題例 3」(pp.252-253)の問題を解きなさい。なお、レポートは 2400 字程度でまとめなさい。計算問題の解は計算のプロセス(式)を明示すること。

設題解答にあたっての解説・注意等

設題への解答にあたってはテキストや参考文献の内容をうつしただけではいけません。テキストの内容を自分なりに理解した上で、それらをできるだけ自分の言葉で書いてください。

参考文献

テキストに基づいてレポートを作成すること。

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.222 参照のこと。

64545

管理会計論Ⅱ

1 設題 (2 単位)

- 第 1 回 (1) テキスト第 4 部の「設題例 4」(pp.319-320)の問題を解きなさい。なお、レポートは 2400 字程度でまとめなさい。計算問題の解は計算のプロセス(式)を明示すること。

設題解答にあたっての解説・注意等

設題への解答にあたってはテキストや参考文献の内容をうつしただけではいけません。テキストの内容を自分なりに理解した上で、それらをできるだけ自分の言葉で書いてください。

参考文献

テキストに基づいてレポートを作成すること。

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.222 参照のこと。

64552

指・国際金融論Ⅰ

1 設題 (2 単位)

- 第 1 回 (1) 国際収支の決定に関する弾力性アプローチを概説し、それとの関連で J カーブ効果と企業の市場別価格設定について説明せよ。また、貯蓄投資バランスアプローチを概説し、それとの関連で 1990 年代以降に生じたグローバルインバランスの問題について説明せよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

- (1) レポートの課題はどれも国際金融論では基本的で重要なテーマであるが、同時に様々な議論が提起されているテーマでもある。それゆえ、レポート作成にあたっては単にテキストのみを読むだけでなく、参考文献等を参照して作成することが要求される。
- (2) 日頃新聞等のニュースで報道される国際金融の現象に注意し、その意味をテキストや参考文献を使って考える訓練を行ってれば、レポートの作成に有益である。
- (3) テキスト、参考文献、インターネットからそのまま写し取ることは絶対にしないこと。必ず、自分が理解したことを自分の言葉で論ずること。文献の引用を行う場合には、文献名と引用箇所を明記すること。
- (4) 為替相場や経常収支等に関するデータをレポートで使うことは歓迎されるが、意味のないデータの羅列や出所の明記されないデータの引用はさけること。
- (5) 当たり前のことであるが、レポートは正確な日本語で書き、必ず推敲すること。ワープロの変換ミスに関しても注意すること。手書きの場合は、必ずレポートの下書きを作り、レポート用紙にはそれを清書すること。
- (6) レポートの作成に利用したすべての参考文献(インターネットを含む)をレポートの末尾に明記すること。参考文献からの引用箇所は必ず注で指摘すること。

参考文献

- 上川孝夫・藤田誠一編『現代国際金融論』第 4 版、有斐閣、2012 年、¥3,200
- 藤井英次『コア・テキスト国際金融論』第 2 版、新世社、2014 年、¥2,900
- 中條誠一『現代の国際金融を学ぶ』第 2 版、勁草書房、2015 年、¥2,600
- 川本明人『外国為替・国際金融入門』中央経済社、2012 年、¥2,600
- 岩本武和『国際経済学：国際金融編』ミネルヴァ書房、2012 年、¥3,000
- 高木信二『入門／国際金融』第 4 版、日本評論社、2011 年、¥3,000
- 神田真人編『図説 国際金融 (2015 - 2016 年版)』財経詳報社、2015 年、¥2,400

- 第1回 (1) 国際通貨システムのトリレンマ（自由な資本移動、外国為替相場の安定、金融政策の独立性は鼎立しない）について説明し、その観点から、①第一次大戦前の国際金本位制、②戦後のブレトンウッズ体制、③現代の変動為替相場制度の特徴を比較せよ。また、国際金融システムのトリレンマの考え方から 2009 年のギリシャ財政問題に端を発するユーロ圏の問題がどのように捉えることができるか述べよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

- (1) リポートの課題はどれも国際金融論では基本的で重要なテーマであるが、同時に様々な議論が提起されているテーマでもある。それゆえ、リポート作成にあたっては単にテキストのみを読むだけでなく、参考文献等を参照して作成することが要求される。
- (2) 日頃新聞等のニュースで報道される国際金融の現象に注意し、その意味をテキストや参考文献を使って考える訓練を行っていれば、リポートの作成に有益である。
- (3) テキスト、参考文献、インターネットからそのまま写し取るとは絶対にしないこと。必ず、自分が理解したことを自分の言葉で論ずること。文献の引用を行う場合には、文献名と引用箇所を明記すること。
- (4) 為替相場や経常収支等に関するデータをリポートで使うことは歓迎されるが、意味のないデータの羅列や出所の明記されないデータの引用はさけること。
- (5) 当たり前のことであるが、リポートは正確な日本語で書き、必ず推敲すること。ワープロの変換ミスに関しても注意すること。手書きの場合は、必ずリポートの下書きを作り、リポート用紙にはそれを清書すること。
- (6) リポートの作成に利用したすべての参考文献（インターネットを含む）をリポートの末尾に明記すること。参考文献からの引用箇所は必ず注で指摘すること。

参考文献

- 上川孝夫・藤田誠一編『現代国際金融論』第4版、有斐閣、2012年、¥3,200
- 藤井英次『コア・テキスト国際金融論』第2版、新世社、2014年、¥2,900
- 中條誠一『現代の国際金融を学ぶ』第2版、勁草書房、2015年、¥2,600
- 川本明人『外国為替・国際金融入門』中央経済社、2012年、¥2,600
- 岩本武和『国際経済学：国際金融編』ミネルヴァ書房、2012年、¥3,000
- 上川孝夫・矢後和彦編『国際金融史』有斐閣、2007年、¥3,100
- 神田真人編『図説 国際金融（2015 - 2016 年版）』財経詳報社、2015年、¥2,400

- 第1回 (1) 自己決定権とはどのような権利ですか。解釈、判例をあげて説明しなさい。
- 第2回 (1) 「統治行為」について、違憲審査制の意義、三権分立に留意し、判例をあげて説明しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- 第1回 (1) の自己決定権については、憲法13条の解釈を理解したうえで、人格権については指定テキストに掲載の判決を参照し、また「エホバの証人輸血拒否事件」（最高裁判決2000年2月29日）、「外国での代理懐胎による出産における子と依頼母との親子関係」に関する最高裁判決（2007年3月23日）などの参照が望ましい。
- 第2回 (1) の「統治行為」に関しては、テキストの「司法権」の定義から「司法権の限界」が合理性をもつかを記述してください。
- またテキストの「憲法訴訟」の項目を勉強し、「統治行為」は違憲審査制の意義から見て合理性をもつかについても検討してみてください。

参考文献

- 芦部信喜著・高橋和之編『憲法』第6版、岩波書店、2015年、¥3,100
- 長谷部恭男ほか編『ケースブック憲法』第4版、弘文堂、2013年、¥4,900

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

- 第1回 (1) 時効の中断と停止について、現在の民法の規定の内容を学説・判例もふまえて説明し、その上で民法改正法案においてはどのように規定内容が修正されているかについて論じなさい。
- 第2回 (1) A、B、C（いずれも大学院生で26歳）は3人で1台の自動車を共同所有することにした。この場合、民法の規定によれば3人にはどのような権利義務が発生するかについて、この3人の事例に当てはめるとどうなるかの具体例をあげながら論じなさい。

参考文献

概説書として、

- 佐久間毅『民法の基礎 1 総則』（第3版）有斐閣、2008年、¥3,000
- 佐久間毅『民法の基礎 2 物権』有斐閣、2006年、¥2,400
- 大村敦志『基本民法Ⅰ 総則・物権』（第3版）有斐閣、2007年、¥2,800
- 大村敦志『基本民法Ⅲ 債権総論・担保物権』有斐閣、2005年、¥2,800
- 大村敦志『新基本民法 2 物権編 財産の帰属と変動の法』有斐閣、2015年、¥1,700
- 大村敦志『新基本民法 3 担保編 物的担保・人的担保の法』有斐閣、2016年、¥1,900
- 内田貴『民法Ⅰ 総則・物権総論』（第4版）東京大学出版会、2008年、¥3,300
- 内田貴『民法Ⅲ 債権総論・担保物権』（第3版）東京大学出版会、2005年、¥3,500
- 佐久間毅ほか『リーガルクエスト民法1 総則』有斐閣、2010年、¥2,600
- 石田剛ほか『リーガルクエスト民法2 物権』有斐閣、2010年、¥2,700
- 四宮和夫・能見善久『民法総則』（第8版）弘文堂、2010年、¥3,300
- 河上正二『民法総則講義』日本評論社、2007年、¥3,900
- 河上正二『物権法講義』日本評論社、2012年、¥3,300
- 河上正二『担保物権法講義』日本評論社、2015年、¥3,700
- 安永正昭『講義 物権・担保物権法』（第2版）有斐閣、2014年、¥3,800
- 山野目章夫『物権法』（第5版）日本評論社、2012年、¥3,700
- 道垣内弘人『担保物権法』（第3版）有斐閣、2008年、¥3,200
- 鎌田薫『民法ノート物権法①』（第3版）日本評論社、2007年、¥2,500

判例教材として、

- 内田・山田・大村・森田『民法判例集総則・物権』（第2版）有斐閣、2014年、¥2,900
- 瀬川・内田・森田『民法判例集担保物権・債権総論』（第3版）有斐閣、2014年、¥2,900
- 潮見・道垣内編『民法判例百選Ⅰ 総則・物権』（第7版）有斐閣、2015年、¥2,100
- 奥田・安永・池田編『判例講義民法1』（第2版）悠々社、2014年、¥3,600

論点ごとの発展的な学習のために

- 内田・大村編『民法の争点』有斐閣、2007年、¥3,000
- 鎌田薫ほか編『民事法（1） 総則・物権』（第2版）日本評論社、2010年、¥3,900
- 鎌田薫ほか編『民事法（3） 債権総論・担保物権』（第2版）日本評論社、2010年、¥4,000
- 山野目章夫ほか『ひとりで学ぶ民法』（第2版）有斐閣、2012年、¥2,600

民法改正法案の内容については、法務省法制審議会民法（債権関係）改正部会のサイトや法案、および、民法改正に関する書籍を参考にすること。

54591

指①／指②・民法二部（債権法）

2 設題 （4 単位）

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

※（指①・民法二部（債権法））テキスト経過措置期間：～ 2019 年 3 月迄

第 1 回 (1) 売買契約において売主が負う担保責任につき、現在の民法の規定の内容およびその法的性質をめぐる学説・判例、さらには、民法改正法案において規定の内容がどのように修正されているかもふまえて論じなさい。

第 2 回 (1) 次の 2 つの事案において、被害者は誰にどのような法的請求ができるかについて、民法の規定の内容および判例（最新のものだけではなく、過去の判例も参照すること）および学説をふまえて論じなさい。

① X（60 歳男性）が D 公園の横の道を自転車で走行していたところ Y₁・Y₂ 夫婦の子 A（10 歳）が蹴ったサッカーボールが X の自転車を直撃し、X は自転車ごと横転して両腕および両足を骨折し、右足に麻痺が残る後遺症を負った。A は小学校の同級生 B 10 名と D 公園でサッカーをして遊んでおり、ボールを蹴ったところボールが公園の外まで飛んでしまい、X の自転車を直撃したという事故である。

② Y（85 歳）は認知症に罹患しており、普段は Y の妻 A（84 歳）および Y と同居はしておらず Y 宅から車で 3 時間ほどの場所に住んでいた長男 B（60 歳）、および B の妻 C（58 歳）の介護を受けて Y 宅で生活していた。Y が時々 A らの目を盗んで徘徊するようになったため、A らは Y 宅玄関に人の気配を感じたら鳴動するアラームを設置していた。ある日、A が昼寝をしている間に（その間、B、C とともに Y 宅にはいなかった）、Y が勝手に外を徘徊し、X 社が運行していた鉄道にはねられ死亡した。X 社はこの鉄道事故によって約 10 万人の乗客が影響を受け、また、他の鉄道会社に振り替え輸送を依頼したことから、本件鉄道事故による財産的損害を被った。

参考文献

(1) 指定テキスト

(2) (鳥瞰しやすいコンパクトなものとして)

- 野村豊弘他著『民法Ⅲ 債権総論』（第3版補訂版）、有斐閣 S シリーズ、2012 年、¥1,700

●藤岡康宏他著『民法Ⅳ債権各論』（第3版補訂版）、有斐閣Sシリーズ、2009年、¥2,400

(3) (標準的な教科書として)

●内田貴『民法Ⅱ 債権各論』（第3版）、東京大学出版会、2011年、¥3,600

●大村敦志『基本民法Ⅱ 債権各論』（第2版）、有斐閣、2005年、¥2,800

●大村敦志『新基本民法4 債権編』有斐閣、2016年、¥1,900

●大村敦志『新基本民法5 契約編』有斐閣、2016年、¥1,900

●大村敦志『新基本民法6 不法行為編』有斐閣、2015年、¥1,700

●窪田充見『不法行為法』有斐閣、2007年、¥3,400

●吉村良一『不法行為法』（第4版）、有斐閣、2010年、¥2,500

●潮見佳男『入門民法（全）』有斐閣、2007年、¥3,800

●橋本佳幸ほか『リーガルクエスト民法Ⅴ事務管理・不当利得・不法行為』有斐閣、2011年、¥2,700

●永田眞三郎ほか『債権－エッセンシャル民法3』有斐閣、2010年、¥2,500

(4) (債権法の概説書として)

●中田裕康『債権総論』（第3版）岩波書店、2013年、¥4,500

●山本敬三『民法講義4－1 契約』有斐閣、2005年、¥5,500

●平井宜雄『債権総論』（第2版）、弘文堂、1994年、（品切れ）

●平井宜雄『債権各論Ⅱ 不法行為』弘文堂、1992年、（品切れ）

●平井宜雄『債権各論Ⅰ 上 契約総論』弘文堂、2008年、¥2,300

●潮見佳男『プラクティス民法 債権総論』（第4版）、信山社、2012年、¥4,800

●潮見佳男『不法行為法Ⅰ』（第2版）、信山社、2011年、¥4,800

●潮見佳男『不法行為法Ⅱ』（第2版）、信山社、2011年、¥4,600

●鈴木祿弥『債権法講義』（5訂版）、創文社、2007年、¥5,500

●藤岡康宏『不法行為法』信山社、2013年、¥4,800

●北川善太郎『債権総論（民法講義）』（第3版）、有斐閣、2004年、¥2,300

●北川善太郎『債権各論（民法講義）』（第3版）、有斐閣、2003年、¥2,900

以上のほか債権法の代表的な概説書。

(5) (事例をもとにした学習のために)

●別冊ジュリスト『民法判例百選Ⅱ 債権』（第7版）、有斐閣、2015年、¥2,200

●瀬川信久・内田貴『民法判例集債権各論』（第3版）、有斐閣、2008年、¥2,600

また、論点ごとの発展的な学習のために、

●内田貴・大村敦志編『民法の争点』有斐閣、2007年、¥3,000

●大村敦志『もうひとつの基本民法2』有斐閣、2007年、¥2,200

●鎌田薫他編『民事法2 担保物権・債権総論』（第2版）日本評論社、2010年、¥4,000の債権総論部分

●鎌田薫他編『民事法3 債権各論』（第2版）日本評論社、2010年、¥4,000

14519

指・商法総則・商行為法

2 設題 (4 単位)

第1回 (1) (架空の事例であり、実在の企業・施設名とは一切関係ない。)

X 株式会社は、「金沢ハイランド」という名称で長年経営していた遊園地事業（遊園地自体は会社ではない。）を Y 株式会社に譲渡した。Y は当該遊園地の名称を「新金沢ハイランド」に変更した一方で、「金沢ハイランド」に対して債権を有する者に対しては、「この度、弊社は X 株式会社様が経営されておりました遊園地事業を譲り受け、この金沢の地にて新たに遊園地事業を展開することとなりましたので、よろしくお願い致します。」などと記載された挨拶状を出した。「金沢ハイランド」に対して買掛金債権を有している Z は、この挨拶状を受け取った数日後に、Y に対して債務の履行を求めた。しかし、Y はそれぞれ以下のような主張をして Z の請求を拒んだ。これらの場合の Y の主張の当否について検討しなさい（それぞれ独立した問いである。）。)

①「自身が譲り受けたのは、ジェットコースターなどの営業財産のみであり、債務などのマイナス財産は譲り受けていない。」

②「商号の続用はないので、譲渡前の債務について責任を負うことはない。」

第2回 (1) (架空の事例であり、実在の企業・事業内容とは一切関係ない。)

X は、冷蔵倉庫業を営んでいる。8 月のある日、通販業者 Y は、冷凍マグロ 1 トン（時価 3000 万円相当）を 1 ヶ月間 X の倉庫内で保管してもらうことにし、X と倉庫寄託契約を締結し、冷凍マグロ 1 トンを X の倉庫内に搬入した。しかし、預け入れてから 1 週間後、冷凍装置の故障で倉庫内の温度が上がり、冷凍マグロは解凍マグロになってしまい、故障に気づいたときには売り物にならなくなってしまっていた。これらの事実関係を前提にして、以下の問いに答えなさい（それぞれ独立した問いである。）。)

① Y が X に対して損害賠償請求する際の法的構成について検討しなさい。

② Y が X に対して損害賠償請求したところ、X は倉庫寄託約款の中に「寄託中の物品に毀損が生じたとしても当社は一切の責任を負わないものとします。」という条項があることを根拠に請求を拒んだ。この場合の XY 間の法律関係について検討しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・下記記載の参考文献も最低1冊は用いてレポートを作成すること。
- ・引用元 URL の記載がない、インターネット上の文章のコピー＆ペーストは不正行為とみなす。
- ・ここ数年、インターネット上の質問サイトで、設題に対する回答を求める投稿を行う受講生があり、さらには返ってきた回答が模範解答であると勘違いしてそのまま貼り付けて提出する受講生も見受けられるが、出題の意図および模範解答から大きくかけ離れた答えしか返ってこない。また、提出されたレポートは全てコピーして保存しているので、他人の合格済みレポートを名前の部分やフォントだけ変えて提出してもすぐにわかる。これらのレポートは一律「不受理」とする。レポートは自身の力で作成すること。

参考文献

- 江頭憲治郎・山下友信『商法(総則・商行為)判例百選』第5版、有斐閣、2008年、¥2,400
- 近藤光男『商法総則・商行為法(有斐閣法律学叢書)』第6版、有斐閣、2013年、¥2,800
- 弥永真生『リーガルマインド商法総則・商行為法』第2版補訂版、有斐閣、2014年、¥2,000

14520

指・会社法

2 設題 (4 単位)

- 【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (横書き)
◆パソコン(ワープロ)使用の可否 (不可) パソコン(ワープロ)を使用した場合は採点せずに不可とする。

第1回 (1) 取締役の忠実義務の意義を論じ、その類型およびそれらの規制について論ぜよ。

第2回 (1) 吸収合併における少数株主の保護について説明しなさい。

(前提として吸収合併に関する説明もすること)

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・指定教科書(柴田和史『会社法詳解[第2版]』)をよく読んで解答すること。
- ・根拠条文を必ず確認し、必要に応じて条文番号を示すこと。
- ・箇条書きやレジュメのような記載をしないこと。

参考文献

- 柴田和史『ビジュアル 図でわかる会社法(日経文庫)』日本経済新聞社、2014年、¥1,000
- 北村雅史・柴田和史・山田純子『現代会社法入門』第4版、有斐閣、2015年、¥2,900
- 近藤光男・柴田和史・野田博『ポイントレクチャー会社法』第2版、有斐閣、2015年、¥3,800
- 柴田和史『類型別 中小企業のための会社法』第2版、三省堂、2015年、¥2,800
- 岩原紳作ほか編『会社法判例百選』(別冊ジュリスト229号)第3版、有斐閣、2016年、¥2,400

14528

指・手形法・小切手法

2 設題 (4 単位)

第1回 (1) 約束手形の裏書の効力について説明せよ。

①裏書の一般的効果の原則と例外について説明し、その説明においては、②裏書の連続ある約束手形の所持人が手形金請求を認められない場合、③約束手形の裏書譲渡が、手形外に存在する保証債務へ与える影響、にも留意・言及しながら、論述すること。

第2回 (1) Aは、Bとの間で鋼材1トンの売買契約を締結し、その買掛金債務の支払いのため、Bを受取人とする10万円の約束手形を振り出した。Bは、友人Cから、車を譲り受ける約束をし、その売買代金支払いのため、当該約束手形をCに裏書譲渡した。しかし、その後、Cは車を手放すことが惜しくなり、引渡期日になっても車を引き渡さなかったため、BはCに対して車の売買契約を解除するに至り、当該約束手形がCの手元にあるまま、約束手形の満期日を迎えた。Cは、Aに対して、手形金を請求することができるか、検討せよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・ここ数年、レポートのなかに、テキストの剽窃や検討なくしてリーディングケースの存在を指摘するだけのものが増加しています。このようなレポートの評価は厳しいものとお考えください。
- ・各問とも、関連条文を必ず参照・引用しながら(条文番号の指摘は必要。解釈対象となる条文文言の指摘が必要な場合はあるが、条文文言をすべて長々と引用することは不要)、基礎的理解を示してください。
- ・問題の所在を明確にしたうえで、各見解については根拠・内容・それに対する批判を含めた検討を要します。
- ・判例理論を指摘する場合は、事案概要・判旨を踏まえた検討を要します。

第 1 回 (1) 労働条件の不利益変更について論じなさい。

第 2 回 (1) 労働契約上の権利・義務について論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

第 1 回 (1) については、労働協約による労働条件の不利益変更についても検討すること。また、山梨県民信用組合事件・最 2 小判平 28・2・19 民集 70 巻 2 号 123 頁でおもな争点となった点についても検討すること。なお、変更解約告知については検討しなくてよい。

第 2 回 (1) については、使用者・労働者のそれぞれにわけて論ずること。また、付随義務（附随義務）についても検討すること。

参考文献

- 村中孝史・荒木尚志編『労働判例百選』第 9 版、有斐閣、2016 年、¥2,400
- 土田道夫・山川隆一編『労働法の争点』有斐閣、2014 年、¥2,600

第 1 回 (1) 「古代ギリシアにおける正義と国家」というテーマでレポートを作成せよ。

第 1 回 (2) 「社会契約論とはなにか」というテーマでレポートを作成せよ。

第 2 回 (1) 以下のテーマのうちいずれかを選んで論ぜよ。

○「18 世紀後半のドイツ社会思想」について論ぜよ。

○「ドイツ観念論の社会思想」について論ぜよ。

第 2 回 (2) 「18 世紀末から 19 世紀フランスの社会思想」について論ぜよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

設題の「 」内の言葉について、よく考え、なにが問われているのかに注意を払うこと。シラバスも参照のこと。

参考文献

- 通教テキスト『社会思想史』（第 2 版）の各章、末尾の文献表を参照のこと。

第 1 回 (1) わが国の工業の変化について、ある特定の業種（例—繊維産業）を取り上げて説明しなさい。その際、当該業種の変化の理由とともに、当該業種の地域的集積の特徴についても説明すること。

第 2 回 (1) わが国の地域間経済格差について説明しなさい。その上で地域の衰退から抜け出す試みを行っている地域事例を具体的に紹介しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

レポート作成にあたって使用した参考（引用）文献は、レポートの最後に提示するだけでなく、本文中の使用したところでも必ず提示してください。

参考文献

- 藤田佳久・阿部和俊編『日本の経済地理学 50 年』古今書院、2014 年、¥7,000
- 竹内淳彦・小田宏信編『日本経済地理読本』第 9 版、東洋経済新報社、2014 年、¥2,300
- 青山裕子ほか『経済地理学キーコンセプト』古今書院、2014 年、¥3,000
- 藤田佳久編『山村政策の展開と山村の変容』原書房、2011 年、¥3,600
- 富田和暁『地域と産業—経済地理学の基礎—』新版、原書房、2006 年、¥2,000

— 指定テキストおよびリポートノートの追加・訂正・補足 —

以下の科目は追加・訂正・補足があります。配本された教材の中にはすでに訂正されているものもあります。
新たに明らかになった追加・訂正・補足は、随時『法政通信』に掲載します。

科目名	種別	掲載更新
管理会計論Ⅰ／管理会計論Ⅱ	通教テキスト	2014 年 3 月
簿記Ⅰ／簿記Ⅱ（第2版、1997年）	通教テキスト	2017 年 3 月
簿記Ⅲ	通教テキスト	2014 年 3 月
簿記Ⅲ	リポートノート	2016 年 3 月
簿記Ⅳ	リポートノート	2017 年 3 月
（指②）原価計算論Ⅰ／原価計算論Ⅱ（ファーストステップ原価計算を学ぶ）	指定市販本	2017 年 3 月

【通教テキスト】

■管理会計論	（佐藤康男）

- p.17 上から 6 行目
 （誤）前世紀末から今世紀にかけて～
 （正）19 世紀末から 20 世紀にかけて～
- p.20 下から 8 行目
 （誤）修士号（M&A）を得ても～
 （正）修士号（MBA）を得ても～
- p.97 下から 3 行目
 （誤）ベース・アップにより 10% の増加～
 （正）ベース・アップにより 20% の増加～
- p.322 〔複利表〕年金現価係数 4 年
 （誤）2.4651
 （正）3.4651

2007 年 3 月現在

- p.5 下から 4 行目
 （誤）半年あるいは 1 年
 （正）四半期、半年あるいは 1 年
- p.6 1 行目から 2 行目
 （誤）株主配当金や役員賞与など
 （正）株主配当金など

- p.6 12 行目
 （誤）法令（商法）
 （正）法令（会社法施行規則）

- p.7 4 行目
 （誤）商法によって
 （正）会社法によって

- p.8 下から 8 行目
 （誤）商法の規定
 （正）会社法の規定

- p.8 下から 6 行目
 （誤）証券取引法
 （正）金融商品取引法

- p.8 下から 5 行目
 （誤）商法会計、税務会計および証券取引法会計
 （正）会社法会計、税務会計および金融商品取引法会計

- p.154 上から 13 行目
 （誤）必要な配当金、役員賞与金および留保額などを
 （正）必要な配当金および留保額などを

- p.165 例題 8-3
 （誤）・内部留保（将来の拡張準備） 200
 ・役員賞与 150
 （税引後純利益） 2,000

- ・法人税（税率 50%） 2,000
 （年間必要利益） 4,000
 （正）・内部留保（将来の拡張準備） 350
 （税引後純利益） 2,000
 ・法人税（税率 50%） 2,000
 （年間必要利益） 4,000

p.251 から p.252

- （誤）（ハ）将来準備の為の内部留保は 300 万円
 （ニ）役員賞与は 200 万円
 （ホ）法人税の税率は 40%
 （正）（ハ）将来準備の為の内部留保は 500 万円
 （ニ）法人税の税率は 40%

2013 年 3 月現在

p.209 上から 10 行目及び下から 1 行目（共通）

- （誤） $x_2 = -\frac{2}{3}x_1 + z$
 （正） $x_2 = -\frac{2}{3}x_1 + \frac{z}{3}$

2014 年 3 月現在

■簿記Ⅰ／簿記Ⅱ（共通）（第2版、1997年）（永野則雄）

会計基準の改定により、貸借対照表の「資本の部」が「純資産の部」と表示されるようになりました。テキストの該当箇所を変更してください。

この変更に伴って、本文における証明では「資本」は 2 つの意味で使われることになります。1 つは、経営者の出資分（利益の蓄積分も含む）という意味です。もう 1 つは、貸借対照表における資産と負債の差額としての純資産という意味です。簿記Ⅰ・簿記Ⅱの範囲では、個人企業の簿記を扱っているので資本金勘定（引出金勘定も含む）によって経営者の出資分が表示されます。これ以外の「純資産」の項目は出てきませんから、両者は同じものと理解して学習してください。

2007 年 3 月現在

【簿記Ⅰ】 p.69 最下部《例》

- （誤）
 （借）買掛金 2,000
 （貸）仕入 2,000
 （正）
 （借）買掛金 20,000
 （貸）仕入 20,000

2015 年 3 月現在

p.107 <例>の文中

- （誤）受取利息勘定
 （正）受取家賃勘定

2017 年 3 月現在

【簿記Ⅱ】 p.33 【復習問題 12】

(誤) 45,000 売掛金

(正) 450,000 売掛金

2017 年 3 月現在

■簿記Ⅲ

(神谷健司・市川佳功)

p.18 上から 19 行目

(誤) ② B (貸方) 買掛金 100,000

(正) ② B (貸方) 当座預金 100,000

p.44 上から 1 行目

(誤) 受託買付 受託買付

(正) 委託買付 委託買付

p.88 上から 6,7 行目

(誤) ③

(貸方) 売 上 500

仮払消費税 250

(正) ③

(貸方) 仮払消費税 500

未払消費税 250

p.113 下から 1 行目

(誤) (借方) 割引手形義務見返 500,000

(正) (貸方) 割引手形義務見返 500,000

p.332 上から 6 行目及び下から 1 行目

(誤) 固定資産売却損 40,000

(正) 固定資産除却損 40,000

p.358 仕訳日計表

(誤)

借方	元丁	勘定科目
<中略>		
21,000	省略	売買目的有価証券
:		備品
2,000		未払金
		前受金
<後略>		

(正)

借方	元丁	勘定科目
<中略>		
21,000	省略	売買目的有価証券
:		備品
2,000		未払金
		前受金
<後略>		

2014 年 3 月現在

【レポートノート】

◆「簿記Ⅲ」のレポートノート

●奥付*が第 1 版第 1 刷を使用する場合 (*裏表紙に記載)

p.2 4. ①

(誤)

買付計算書	
<中略>	
請求金額	833,000 円

(正)

買付計算書	
<中略>	
請求金額	870,500 円

p.10 上から 6 行目

(誤) 実地棚卸高: 数量 360 個 (うち 300 個の時価@ ¥390、60 個の時価 350)

(正) 実地棚卸高: 数量 360 個 (うち 300 個の時価@ ¥390、60 個の時価@ ¥350)

p.10 下から 1 行目

(誤) 8. 税引前等純利益…

(正) 8. 税引前当期純利益…

p.11 損益計算書「6 消耗品費」の下に「7 貸倒引当金繰入」を追加*

(誤)

Ⅲ 販売費及び一般管理費	
<中略>	
6 消耗品費	() ()
()	()

※ p.11 は本誌 p.283 の差替用紙を貼付し使用できます。

(正)

Ⅲ 販売費及び一般管理費	
<中略>	
6 消耗品費	() ()
7 貸倒引当金繰入	() ()
()	()

p.13 貸借対照表 ※「商品」の下に「前払費用」を追加

(誤)

資 産	金 額
<中略>	
商 品	()
	()
備 品	()
<後略>	

(正)

資 産	金 額
<中略>	
商 品	()
前払費用	()
備 品	()
<後略>	

pp.14-15 課題Ⅳ

全てを設問対象から除く。(解答は不要です。)

※再提出の場合も同様に解答不要とする。

※レポートの解答範囲からは除外するが、指定の通教テキストで当該範囲の学習を進めること。

●奥付*が第 1 版第 2 刷～第 4 刷を使用する場合 (*裏表紙に記載)

pp.14-15 課題Ⅳ

全てを設問対象から除く。(解答は不要です。)

※再提出の場合も同様に解答不要とする。

※レポートの解答範囲からは除外するが、指定の通教テキストで当該範囲の学習を進めること。

2016 年 3 月現在

◆「簿記Ⅳ」のレポートノート

p.4 上から 12 行目

(誤) 資本金等増加限度額の金額を資本金とする

(正) 払込資本の全額を資本金とする

p.5 下から 7 行目

(誤) 当期の輸出売上 (150 ドル)

(正) 当期の輸出売上 (150 千ドル)

pp.10-11 課題Ⅲ

全てを設問対象から除く。(解答は不要です。)

※連結財務諸表の簿記会計処理は、桜井久勝 (2015)『財務会計講義』第 16 版、中央経済社、第 13 章第 1 節～第 6 節までを各自で学習することが望まれる。

2016 年 3 月現在

p.7 上から 6～8 行目

(誤) 年金資産の期待運用収益 410 千円

未認識会計基準変更時差異 950 千円
 会計基準変更時差異の残存償却年数 5 年（費用処理）
 (正) 年金資産の期待運用収益 220 千円
 (7 行目及び 8 行目を削除)

2017 年 3 月現在

[指定市販本]

●ファーストステップ原価計算を学ぶ

〈指②・原価計算論Ⅰ／Ⅱ〉

p.147 損益計算書（直接原価計算）

(誤) 省略
 (正) 訂正箇所は下線部

損益計算書（直接原価計算）

	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期
売上高	45,000	45,000	45,000
変動売上原価			
期首製品棚卸高	0	0	<u>5,000</u>
当期製品製造原価	25,000	<u>30,000</u>	<u>22,500</u>
合 計	25,000	<u>30,000</u>	<u>27,500</u>
期末製品棚卸高	0	<u>5,000</u>	<u>2,500</u>
製造差益	20,000	20,000	20,000
変動販売費	1,500	1,500	1,500
限界利益	18,500	18,500	18,500
固定費			
固定製造原価	15,000	15,000	15,000
固定販管費	2,000	2,000	2,000
営業利益	1,500	1,500	1,500

2017 年 3 月現在

2017年度 単位修得試験の出題範囲

【留意事項】

- 試験範囲は担当教員が認めた科目に限り公表しています。
- 試験範囲が公表される場合であっても、その科目のテキスト全体を熟読することが前提となりますので、科目によってはここに記載された内容以外からも出題される場合があります。
- ここに発表されていない科目（テキスト）は、原則テキスト全体からの出題となります。ただし、科目によっては学習範囲がテキストの一部に限定されている場合があります。詳細は、シラバスで確認してください。
※経過措置テキストの場合は、経過措置テキストに対応した過年度のシラバスを参照してください。
- 記載内容の意味など、出題範囲に関する質問は一切受け付けません。また、試験終了後に試験問題と範囲に関する照会も受け付けません。
- この表の科目名の表記は、「設題総覧」及び単位修得試験の表記に合わせています。

科目名	出題範囲	
指・社会経済学 A	4 月	市場経済
	5 月	貨幣の成立と諸機能
	6 月	資本と生産、賃労働
	7 月	資本と生産、剰余価値の生産
	10 月	過剰人口
	11 月	産業循環、失業
	12 月	資本蓄積
	1 月	現代の労働市場
指・社会経済学 B	4 月	再生産過程の分析
	5 月	利潤と価格①
	6 月	利潤と価格②
	7 月	利潤率の動態過程
	10 月	信用論と金融システム
	11 月	農業と土地所有
	12 月	世界市場の成立と恐慌・産業循環
	1 月	国家と経済政策
指・財政学 A	全ての回について、テキスト第 1 章～第 5 章（および、それに関連した参考書の内容やネット情報）が範囲となります。（なお、第 1 章は「財政の役割」、第 2 章は「財政制度」、第 3 章は「日本の財政問題」、第 4 章は「政府支出の理論と実際」、第 5 章は「租税の原則と経済効果」です。）	
指・財政学 B	全ての回について、テキスト第 6 章～第 10 章（および、それに関連した参考書やネット情報）が範囲となります。（なお、第 6 章は「日本の税制と税制改革」、第 7、8 章は「社会保障の財政問題」、第 9 章は「景気変動と財政政策」、第 10 章は「地方の財政問題」です。）	
外国語経済学	4 月	テキスト第 2 章
	5 月	テキスト第 3 章
	6 月	テキスト第 4 章
	7 月	テキスト第 5 章
	10 月	テキスト第 6 章
	11 月	テキスト第 7 章
	12 月	テキスト第 8 章
	1 月	テキスト第 9 章
指・工業論	4 月	テキスト 1～2 章
	5 月	テキスト 1～2 章
	6 月	テキスト 3～4 章
	7 月	テキスト 3～4 章
	10 月	テキスト 5～6 章
	11 月	テキスト 5～6 章
	12 月	テキスト 7～8 章
	1 月	テキスト 7～8 章

科目名	出題範囲	
旧／新・簿記Ⅳ	新・旧どちらにおいても通教テキスト『簿記Ⅳ』全体の内容から出題する。なお、連結財務諸表に関するものは出題しない。	
指・財務会計論Ⅰ	4月	財務会計の機能と制度
	5月	利益計算の仕組み
	6月	会計理論と会計基準
	7月	利益測定と資産評価の基礎概念
	10月	現金預金と有価証券
	11月	売上高と売上債権
	12月	棚卸資産と売上原価
	1月	有形固定資産と減価償却
指・財務会計論Ⅱ	4月	負債の会計：負債の概念と引当金
	5月	負債の会計：税効果会計、社債の会計処理
	6月	株主資本と純資産
	7月	財務諸表の作成と公開
	10月	連結財務諸表：一般原則
	11月	連結財務諸表：連結貸借対照表の作成
	12月	連結財務諸表：連結損益計算書の作成
	1月	外貨建取引等の換算
指①／指②・原価計算論Ⅰ	原価計算論Ⅰの出題範囲は、原価計算論Ⅰの学習範囲です。	
指①／指②・原価計算論Ⅱ	原価計算論Ⅱの出題範囲は、原価計算論Ⅱの学習範囲です。	
指・国際金融論Ⅰ	4月	外国為替
	5月	外国為替相場
	6月	外国為替市場
	7月	デリバティブ
	10月	国際収支・国際収支表
	11月	国際収支の理論
	12月	外国為替相場の決定理論
	1月	外国為替相場の決定理論
指・国際金融論Ⅱ	4月	国際通貨制度と国際通貨
	5月	第二次大戦前の国際通貨制度
	6月	第二次大戦後の国際通貨制度
	7月	ヨーロッパ通貨統合
	10月	国際通貨制度
	11月	アジア通貨圏
	12月	世界金融危機
	1月	アジア通貨危機
指・憲法	4月	憲法とは何か、憲法の保障・憲法改正
	5月	憲法史
	6月	国民主権、参政権、選挙制度
	7月	地方自治、憲法訴訟
	10月	平和主義、外国人の人権
	11月	私人間適用、非嫡出子の権利
	12月	平等、思想・良心の自由
	1月	信教の自由、生存権

科目名	出題範囲	
指・商法総則・商行為法	4月	商法総則の分野から出題する。
	5月	商行為法の分野から出題する。
	6月	商法総則の分野から出題する。
	7月	商行為法の分野から出題する。
	10月	商法総則の分野から出題する。
	11月	商行為法の分野から出題する。
	12月	商法総則の分野から出題する。
	1月	商行為法の分野から出題する。
指・手形法・小切手法	4月	手形・小切手の法的構造、手形・小切手の完全有価証券性、手形・小切手の経済的機能
	5月	手形行為の意義と成立要件
	6月	手形行為の性質、手形行為と原因関係
	7月	他人による手形行為、手形の偽造
	10月	手形の変造、抹消・毀損・喪失、白地手形
	11月	約束手形の裏書
	12月	約束手形の支払
	1月	支払拒絶と遡求、利得償還請求権、手形訴訟
指・労働法	指定した範囲が1問目になるのか2問目になるかまでは公表しない。 『基礎から学ぶ労働法Ⅰ 労働法総論・個別的労働関係法』（第3版）2012年を「労働法Ⅰ」と『基礎から学ぶ労働法Ⅱ 集団的労働関係法・社会保障法』（第2版）2016年を「労働法Ⅱ」と略称する。 「労働法Ⅰ」にあつては「編」単位、「労働法Ⅱ」にあつては「編」または「章」単位で示している。	
	4月	「労働法Ⅰ」雇用平等、多様な雇用・就労形態 「労働法Ⅱ」労働組合の活動
	5月	「労働法Ⅰ」労働条件論 「労働法Ⅱ」労働条件の決定システム
	6月	「労働法Ⅰ」労働契約論 「労働法Ⅱ」労働組合の法的地位
	7月	「労働法Ⅰ」労働法総論 「労働法Ⅱ」労働組合の活動
	10月	「労働法Ⅰ」労働条件論 「労働法Ⅱ」労働条件の決定システム
	11月	「労働法Ⅰ」雇用平等、多様な雇用・就労形態 「労働法Ⅱ」労働組合の法的地位
	12月	「労働法Ⅰ」労働契約論 「労働法Ⅱ」労働組合の活動
	1月	「労働法Ⅰ」労働条件論 「労働法Ⅱ」公務員労働

経済学部 商業学科 専門教育科目

Contents

●2017年度 通信学習科目 指定テキスト・科目掲載ページ一覧……	230
●2017年度 通信学習シラバス ……………	233
●2017年度 設題総覧	
・レポート設題と参考文献……………	254
・指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足……………	275
●2017年度 単位修得試験の出題範囲 (p.285 に記載した留意事項を必ず確認して下さい) ……	285

2017年度 通信学習科目 指定テキスト・科目掲載ページ一覧

科目名	履修 学年	構成 単位	テキスト 種別 (入手方法)	2017年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社（市販 本のみ）／発行年／定価（税抜）	備考	教科書 コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
								シラバス	設題	試験範囲
旧・簿記Ⅰ (～2019年3月迄)	1	2	通教テキスト (一)*2	『簿記Ⅰ』永野則雄、第2版、 1997年	専用レポートノート*1 (サーモン色) (テキスト改訂： ～2019年3月迄) 経過措置テキスト	—	—	—	254	—
新・簿記Ⅰ (2017年4月～)	1	2	通教テキスト (配本)	『簿記Ⅰ』永野則雄、第3版、 2017年	専用レポートノート (白茶色) (テキスト改訂：2017 年4月～) 最新の指定テキスト	—	—	233	254	—
旧・簿記Ⅱ (～2019年3月迄)	1	2	通教テキスト (一)*2	『簿記Ⅱ』永野則雄、第2版、 1997年	専用レポートノート*1 (赤色) (テキスト改訂： ～2019年3月迄) 経過措置テキスト	—	—	—	254	—
新・簿記Ⅱ (2017年4月～)	1	2	通教テキスト (配本)	『簿記Ⅱ』永野則雄、第3版、 2017年	専用レポートノート (黄色) (テキスト改訂：2017 年4月～) 最新の指定テキスト	—	—	233	254	—
指①・経営学総論Ⅰ (～2018年3月迄)	1	2	指定市販本 (各自購入)	『経営学への招待』（新装版） 坂下昭宣著 白桃書房、2014年、¥2,600	※第3版（2007年） も使用可 (テキスト変更： ～2018年3月迄) 経過措置テキスト	S-104	¥2,642	—	255	—
指②・経営学総論Ⅰ (2016年4月～)	1	2	指定市販本 (各自購入)	『グロービス MBA マネジメント・ ブック [改訂3版]』グロービス 経営大学院、 ダイヤモンド社、2008年、¥2,800	(テキスト変更：2016 年4月～) 最新の指定テキスト	S-136	¥2,836	233	255	—
指①・経営学総論Ⅱ (～2018年3月迄)	1	2	指定市販本 (各自購入)	『経営学への招待』（新装版） 坂下昭宣著 白桃書房、2014年、¥2,600	※第3版（2007年） も使用可 (テキスト変更： ～2018年3月迄) 経過措置テキスト	S-104	¥2,642	—	255	—
指②・経営学総論Ⅱ (2016年4月～)	1	2	指定市販本 (各自購入)	『グロービス MBA マネジメント・ ブック [改訂3版]』グロービス 経営大学院、 ダイヤモンド社、2008年、¥2,800	(テキスト変更：2016 年4月～) 最新の指定テキスト	S-136	¥2,836	234	256	—
指・経営管理論Ⅰ	2	2	指定市販本 (各自購入)	『組織の解釈学』 稲垣保弘、 白桃書房、2002年、¥3,200	同一テキスト	S-105	¥3,225	234	256	—
指・経営管理論Ⅱ	2	2						234	256	—
指・金融論Ⅰ	2	2	指定市販本 (各自購入)	『金融論をつかむ』 前多康男、鹿嘉昭、酒井良清 有斐閣、2006年、¥2,400	同一テキスト	S-094	¥2,437	234	256	—
指・金融論Ⅱ	2	2						235	257	—
簿記Ⅲ	2	2	通教テキスト (配本)	『簿記Ⅲ』第1版 神谷健司・市川佳功、2013年	専用レポートノート	—	—	235	257	—
旧・簿記Ⅳ (～2018年3月迄)	2	2	通教テキスト (一)*2	『簿記Ⅳ』第1版 神谷健司・市川佳功、2013年	専用レポートノート (テキスト改訂： ～2018年3月迄) 経過措置テキスト	—	—	—	257	285
新・簿記Ⅳ (2016年4月～)	2	2	通教テキスト (配本)	『簿記Ⅳ』第2版 神谷健司・市川佳功、2016年*3	専用レポートノート (テキスト改訂：2016 年4月～) 最新の指定テキスト	—	—	235	257	285
外国語経営学	3	2	通教テキスト (一)*2	『外国語経営学』第2版 遠田 雄志、2008年	※2016年4月～ 新規履修不可	—	—	236	258	285
指・人的資源管理論Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『よくわかる産業社会学』 上林 千恵子編著 ミネルヴァ書房、2012年、 ¥2,600	同一テキスト	S-107	¥2,642	236	258	—
指・人的資源管理論Ⅱ	3	2						236	259	—
指・財務会計論Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『財務会計講義』（第18版） 桜井久勝 中央経済社、2017年3月発行予 定	同一テキスト (※毎年3月には改訂 版が出版されていま す。最新版を入手し てください)	S-108	生協に 問合せて 下さい	237	259	285
指・財務会計論Ⅱ	3	2						237	259	285

* 1) 旧・簿記Ⅰ / 旧・簿記Ⅱのレポートノートの新規提出・再提出は2019年3月迄です。再提出の場合は同じ版（帯封が同じ色）のレポートノートを購入し再提出して下さい。

* 2) 原則「教材交付願」での購入のみ。

* 3) 「簿記Ⅳ」の2016年度に配本したテキストの中に、奥付が「2015年3月1日第2版第1刷」と記載されている場合がありますが、正しくは「2016年3月1日第2版第1刷」です。お詫びし訂正します。

科目名	履修 学年	構成 単位	テキスト 種別 (入手方法)	2017年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社（市販 本のみ）／発行年／定価（税抜）	備考	教科書 コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
								シラバス	設題	試験範囲
指①・原価計算論Ⅰ (～2018年3月迄)	3	2	指定市販本 (各自購入)	『原価計算テキスト』 佐藤康男・福田淳児著 中央経済社、2006年、¥2,100	(テキスト変更： ～2018年3月迄) 経過措置テキスト	S-109	¥2,136	—	260	285
指②・原価計算論Ⅰ (2016年4月～)	3	2	指定市販本 (各自購入)	『ファーストステップ原価計算を 学ぶ』山北晴雄・福田淳児、中央 経済社、2016年、¥2,400	(テキスト変更： 2016年4月～) 最新の指定テキスト	S-138	¥2,427	238	260	285
指①・原価計算論Ⅱ (～2018年3月迄)	3	2	指定市販本 (各自購入)	『原価計算テキスト』 佐藤康男・福田淳児著 中央経済社、2006年、¥2,100	(テキスト変更： ～2018年3月迄) 経過措置テキスト	S-109	¥2,136	—	260	285
指②・原価計算論Ⅱ (2016年4月～)	3	2	指定市販本 (各自購入)	『ファーストステップ原価計算を 学ぶ』山北晴雄・福田淳児、中央 経済社、2016年、¥2,400	(テキスト変更： 2016年4月～) 最新の指定テキスト	S-138	¥2,427	238	260	285
管理会計論Ⅰ	3	2	通教テキスト (申告制)	『管理会計論』第2版 佐藤康男、2003年	同一テキスト	—	—	239	261	—
管理会計論Ⅱ	3	2						239	261	—
指・監査論Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『ベーシック監査論』（七訂版） 伊豫田隆俊・松本祥尚・林隆敏著 同文館、2015年、¥3,800	同一テキスト	S-110	¥3,828	239	261	285
指・監査論Ⅱ	3	2						240	261	285
税務会計Ⅰ	3	2	通教テキスト (申告制)	『税務会計Ⅰ・Ⅱ』第1版 大下勇二、2013年	同一テキスト	—	—	240	262	286
税務会計Ⅱ	3	2						241	263	286
指①・経営分析論Ⅰ (～2018年3月迄)	3	2	指定市販本 (各自購入)	『経営分析入門第4版（ビジネス ゼミナール）』 森田松太郎著、日本経済新聞出版 社、2009年、¥3,200	(テキスト変更： ～2018年3月迄) 経過措置テキスト	—	取扱い できません	—	264	286
指②・経営分析論Ⅰ (～2016年4月～)	3	2	指定市販本 (各自購入)	『要説 経営分析 五訂版』 青木茂男著、森山書店、2016年、 ¥4,400	(テキスト変更： 2016年4月～) 最新の指定テキスト ※四訂版（2012年） も使用可	S-112	¥4,411	241	264	286
指①・経営分析論Ⅱ (～2018年3月迄)	3	2	指定市販本 (各自購入)	『経営分析入門第4版（ビジネス ゼミナール）』 森田松太郎著、日本経済新聞出版 社、2009年、¥3,200	(テキスト変更： ～2018年3月迄) 経過措置テキスト	—	取扱い できません	—	264	286
指②・経営分析論Ⅱ (～2016年4月～)	3	2	指定市販本 (各自購入)	『要説 経営分析 五訂版』 青木茂男著、森山書店、2016年、 ¥4,400	(テキスト変更： 2016年4月～) 最新の指定テキスト ※四訂版（2012年） も使用可	S-112	¥4,411	241	264	286
指・国際金融論Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『国際金融のしくみ』（第4版） (有斐閣アルマ) 秦 忠夫・本田敬吉・西村陽造著 有斐閣、2012年、¥2,000	同一テキスト	S-113	¥2,039	242	264	286
指・国際金融論Ⅱ	3	2						242	265	286
指・社会経済学Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『現代経済と経済学』（新版） 増田壽男・沢田幸治編 有斐閣、2007年、¥2,800	同一テキスト	S-088	¥2,826	243	266	286
指・社会経済学Ⅱ	3	2						243	266	286
指・経済史Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『図説西洋経済史』 飯田 隆著、日本経済評論社、 2005年、¥2,500	スタディガイドあり	S-090	¥2,545	243	266	—
指・経済史Ⅱ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『日本経済史』（改訂新版） 宮本又郎編著、放送大学教育振興 会、2012年、¥2,700		S-091	¥2,729	244	266	—
指・統計学Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『調査と分析のための統計』 (第2版) 上藤一郎・森本栄一・常包昌宏・ 田浦元著 丸善、2013年、¥2,500	同一テキスト ※初版（2006年）も 使用可 スタディガイドあり	S-089	¥2,525	244	267	—
指・統計学Ⅱ	3	2						244	267	—
指・財政学Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『基礎コース 財政学』（第3版） 林 宜嗣 新世社、2011年、¥2,350	同一テキスト スタディガイドあり	S-092	¥2,399	245	267	287
指・財政学Ⅱ	3	2						245	267	287
指・経済政策論Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『マクロ経済学入門』 麻生良文著、ミネルヴァ書房、 2009年、¥3,500		S-095	¥3,527	246	268	—
指・経済政策論Ⅱ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『公共経済学』（有斐閣アルマ） 林 正義・小川 光・別所俊一郎 有斐閣、2010年、¥2,300		S-096	¥2,330	246	268	—
指・日本経済論Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『概説 日本経済史 近現代』（第 3版）三和良一著 東京大学出版会、2012年、¥2,500		S-097	¥2,535	247	269	—

科目名	履修 学年	構成 単位	テキスト 種別 (入手方法)	2017年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社（市販 本のみ）／発行年／定価（税抜）	備考	教科書 コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
								シラバス	設題	試験範囲
指①・日本経済論Ⅱ (～2018年3月迄)	3	2	指定市販本 (各自購入)	『概説 日本経済史 近現代』〔第3版〕三和良一著 東京大学出版会、2012年、¥2,500	(テキスト変更： ～2018年3月迄) 経過措置テキスト	S-097	¥2,535	—	269	—
指②・日本経済論Ⅱ (2016年4月～)	3	2	指定市販本 (各自購入)	『日本経済史 近世～現代』 杉山 伸也、岩波書店、2012年、 ¥4,000	(テキスト変更：2016 年4月～) 最新の指定テキスト	S-137	¥4,043	247	269	—
指・経済学史	3	4	指定市販本 (各自購入)	『コア・テキスト経済学史』 井上義朗著、新世社、サイエンス 社（発売）、2004年、¥2,650	※2016年4月～ 新規履修不可	S-098	¥2,700	247	269	—
指・工業論	3	4	指定市販本 (各自購入)	『アジアの経済発展と産業技術』 馬場敏幸、ナカニシヤ出版、2013 年、¥2,500	※2016年4月～ 新規履修不可	S-101	¥2,535	247	269	287
指・社会政策	3	4	指定市販本 (各自購入)	『はじめての社会保障』（第13版） 棕野美智子・田中耕太郎著 有斐閣、2016年、¥1,800	※2016年4月～ 新規履修不可 ※第9版（2012年） 以降も使用可。 2冊使用します	S-099	¥1,844	248	269	—
				『福祉の総合政策』新訂5版 駒村康平著 創成社、2011年、¥3,000		S-100	¥3,031			
指・憲法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『現代日本の憲法』〔第2版〕 元山健・建石真公子編 法律文化社、2016年、¥2,800	※初版（2009年）も 使用可	S-026N	¥2,836	248	270	287
指・民法一部（総則・物権法）	3	4	指定市販本 (各自購入)	『民法 総則・物権』〔第5版〕 (有斐閣アルマ) 山野目章夫著、有斐閣、2012年、 ¥1,800	※第4版（2007年） も使用可	S-102	¥1,834	249	270	—
指①・民法二部（債権法） (～2019年3月迄)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『スタートライン債権法』〔第5版〕 池田真朗著 日本評論社、2010年、¥2,400	(テキスト変更： ～2019年3月迄) 経過措置テキスト	S-103	¥2,437	—	271	—
指②・民法二部（債権法） (2017年4月～)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『債権（エッセンシャル民法3）』 永田眞三郎、松本恒雄、松岡久和、 横山美夏 有斐閣、2010年、¥2,500	(テキスト変更：2017 年4月～) 最新の指定テキスト	S-145	¥2,535	249	271	—
指・商法総則・商行為法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『商法総則・商行為法〔第4版〕』 田邊光政著 新世社、2016年、¥2,980		S-032	¥3,011	249	272	287
指・会社法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『会社法詳解』〔第2版〕 柴田 和史著 商事法務、2015年、¥5,400	スタディガイドあり	S-033N	¥5,383	250	273	—
指・手形法・小切手法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『商法Ⅲ手形・小切手』〔第4版〕 (有斐閣Sシリーズ) 大塚龍児・林嶋・福瀧博之著 有斐閣、2011年、¥2,100		S-045	¥2,136	251	273	287
指・労働法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『基礎から学ぶ労働法Ⅰ労働法総 論・個別的労働関係法』〔第3版〕 金子 征史・藤本 茂・ 大場 敏彦・高野 敏春著 エイデル研究所、2012年、¥2,381	2017年に第4版発行 予定 2冊使用します	S-040	¥2,439	251	273	288
				『基礎から学ぶ労働法Ⅱ集团的労 働関係法・社会保障法』〔第2版〕 金子 征史・藤本 茂・ 大場 敏彦編 エイデル研究所、2016年、¥2,300		S-041	¥2,370			
社会思想史	3	4	通教テキスト (配本)	『社会思想史』（第2版） 濱田 義文、加来 彰俊、湯川 桂一郎、牧野 英二、星野 勉、 安孫子 信、笠原 賢介、 酒井 健、2010年		—	—	252	274	—
指・経済地理	3	4	指定市販本 (各自購入)	『経済地理学入門―地域の経済発 展』（新版）、山本健児 原書房、2005年、¥2,800		S-078	¥2,816	252	274	—

2017年度 通信学習シラバス

簿記Ⅰ

教科担当責任者：筒井 知彦

担当者：筒井 知彦
単位数：2 単位

※ 2017 年 4 月よりテキスト（通教テキスト）改訂

1 学習の到達目標 簿記Ⅰ・Ⅱは、会計（特に財務会計）への入門として、簿記を初めて学ぶ学生を対象として簿記の基礎を学ぶことにします。簿記のレベルとしては、日本商工会議所の簿記検定3級と同じです。したがって、簿記検定3級レベルの理解ができることを目標としています。

2 科目の概要 簿記は会計（特に財務会計）の一部です。会計は「ビジネスの言語」といわれています。このビジネスの言語は、企業によって使われている社会的な技術です。身近な商店から世界的な会社に至るまで、その複雑さと難しさは大きく異なりますが、会計の基本的な仕組みは同じです。

「簿記Ⅰ・Ⅱ」は、会計の入門として、簿記の基本的な仕組みを学ぶことになっています。まず、「簿記Ⅰ」は、事業活動における基本的な出来事を対象として、簿記の基本的な仕組みと記帳方法を重点的に学びます。次に、「簿記Ⅱ」は、「簿記Ⅰ」の理解を前提として、さらに詳しい事業活動を対象としてその処理と詳しい記帳の仕方を学びます。「簿記Ⅰ・Ⅱ」は、商店などの個人企業の簿記を扱っています。株式会社の簿記あるいは会計については、その事業活動が複雑になるので、「簿記Ⅲ・Ⅳ」や「会計学入門Ⅰ・Ⅱ」などで学ぶことになります。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価します。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『簿記Ⅰ』第3版、永野則雄、2017 年

5 学習指導、注意点等 簿記は頭で理解するだけでなく、手を動かすことによって体得することが重要です。まず、①テキストを良く読んで復習問題を解く（1 回目）、②1 つの章が終わったらその章の復習問題を再度解く（2 回目）、③全体を終えたら全体の復習問題を再度解く（3 回目）、④レポートを作成して提出する。簿記Ⅰをこの手順で理解してから簿記Ⅱに取り掛かるようにしてください。テキスト以外の本で学んだ人では、テキストの復習問題を全部解いてからレポートを作成してください。

勘定科目名が多く出てきますが、誤字のないようにきちんと覚えることが大切です。各種の帳簿や表を作成する際には自分で合計線や締切線などを引くことになります。その際、テキストの例を真似て線を引くようにしてください。

簿記Ⅱ

教科担当責任者：筒井 知彦

担当者：筒井 知彦
単位数：2 単位

※ 2017 年 4 月よりテキスト（通教テキスト）改訂

1 学習の到達目標 簿記Ⅰ・Ⅱは、会計（特に財務会計）への入門として、簿記を初めて学ぶ学生を対象として簿記の基礎を学ぶことにします。簿記のレベルとしては、日本商工会議

所の簿記検定3級と同じです。したがって、簿記検定3級レベルの理解ができることを目標としています。

2 科目の概要 簿記は会計（特に財務会計）の一部です。会計は「ビジネスの言語」といわれています。このビジネスの言語は、企業によって使われている社会的な技術です。身近な商店から世界的な会社に至るまで、その複雑さと難しさは大きく異なりますが、会計の基本的な仕組みは同じです。

「簿記Ⅰ・Ⅱ」は、会計の入門として、簿記の基本的な仕組みを学ぶことになっています。まず、「簿記Ⅰ」は、事業活動における基本的な出来事を対象として、簿記の基本的な仕組みと記帳方法を重点的に学びます。次に、「簿記Ⅱ」は、「簿記Ⅰ」の理解を前提として、さらに詳しい事業活動を対象としてその処理と詳しい記帳の仕方を学びます。「簿記Ⅰ・Ⅱ」は、商店などの個人企業の簿記を扱っています。株式会社の簿記あるいは会計については、その事業活動が複雑になるので、「簿記Ⅲ・Ⅳ」や「会計学入門Ⅰ・Ⅱ」などで学ぶことになります。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価します。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『簿記Ⅱ』第3版、永野則雄、2017 年

5 学習指導、注意点等 簿記は頭で理解するだけでなく、手を動かすことによって体得することが重要です。まず、①テキストを良く読んで復習問題を解く（1 回目）、②1 つの章が終わったらその章の復習問題を再度解く（2 回目）、③全体を終えたら全体の復習問題を再度解く（3 回目）、④レポートを作成して提出する。簿記Ⅰをこの手順で理解してから簿記Ⅱに取り掛かるようにしてください。テキスト以外の本で学んだ人では、テキストの復習問題を全部解いてからレポートを作成してください。

勘定科目名が多く出てきますが、誤字のないようにきちんと覚えることが大切です。各種の帳簿や表を作成する際には自分で合計線や締切線などを引くことになります。その際、テキストの例を真似て線を引くようにしてください。

経営学総論Ⅰ

教科担当責任者：佐野 哲

担当者：佐野 哲
単位数：2 単位

※ 2016 年 4 月よりテキスト（指定市販本）変更

1 学習の到達目標 経営学は、非常に奥が深くて幅の広い学問です。経営哲学のような極めて抽象的な理論から、工程管理のような日々の活動を効率的にする実践的なノウハウまで、様々なテーマを包摂しています。経営学総論では、それらの中から「実践的な経営の場面で活用されている理論・ノウハウ」をバランス良く選び、各自が自律的に学習して行けるような道筋を提示します。

「企業経営者が日常使っている専門的な概念を、正確に理解できる」。これが、当科目の学習到達目標です。

2 科目の概要 経営学総論Ⅰでは、①経営戦略（競争優位を築く基本戦略と業界分析手法）、②広告・マーケティング（マーケット及び製品特性の分析と広告・流通戦略）、③ビジネス思考と交渉の理論（ロジカルシンキング及び営業交渉ノウハウの理論と実際）、の3テーマを取り上げます。

3 成績評価基準 レポートと単位修得試験の結果から、総合

的に評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『グロービスMBA マネジメント・ブック（改訂3版）』（ダイヤモンド社、2008年、¥2,800+税）の第1部「経営戦略」、第2部「マーケティング」、第7部「ゲーム理論・交渉術」を範囲とします。

5 学習指導、注意点等 専門的な概念を正確に理解・使用して、実践的な場面がイメージできる、解りやすいレポートを作成して下さい。

経営学総論Ⅱ

教科担当責任者：佐野 哲

担当者：佐野 哲
単位数：2 単位

※ 2016 年 4 月よりテキスト（指定市販本）変更

1 学習の到達目標 経営学は、非常に奥が深く幅の広い学問です。経営哲学のような極めて抽象的な理論から、工程管理のような日々の活動を効率的にする実践的なノウハウまで、様々なテーマを包摂しています。経営学総論では、それらの中から「実践的な経営の場面で活用されている理論・ノウハウ」をバランス良く選び、各自が自律的に学習して行けるような道筋を提示します。「企業経営者が日常使っている専門的な概念を、正確に理解できる」。これが、当科目の学習到達目標です。

2 科目の概要 経営学総論Ⅱでは、①会計・アカウンティング（財務諸表の構造と読み方及び経営分析手法）、②投資・ファイナンス（企業の資金調達と投資意思決定に関する理論）、③人材・組織マネジメント（リーダーシップやモチベーションに関する理論と組織設計のあり方）、の3テーマを取り上げます。

3 成績評価基準 レポートと単位修得試験の結果から、総合的に評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『グロービスMBA マネジメント・ブック（改訂3版）』（ダイヤモンド社、2008年、¥2,800+税）の第3部「アカウンティング」、第4部「ファイナンス」、第5部「人・組織」を範囲とします。

5 学習指導、注意点等 専門的な概念を正確に理解・使用して、実践的な場面がイメージできる、解りやすいレポートを作成して下さい。

経営管理論Ⅰ

教科担当責任者：稲垣 保弘

担当者：稲垣 保弘
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 経営管理（マネジメント）の基本的な知識を習得し、組織での現実の活動に生かせるようにする。構成と論述の展開のしっかりしたレポートを書けるようにする。

2 科目の概要 組織と経営管理の基本的な理論について検討し、経営管理についての理解を深める。経営管理（マネジメント）については、組織の階層の関係の中で効率性を追求する活動という捉え方から、全体と部分の効果的なバランスを追求し、効率性のほかに創造性の確保も目指す活動として理解する方向に変容してきている。この流れの中で重要な理論を検討する。

3 成績評価基準 レポートと試験の結果で総合的に評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『組織の解釈学』、稲垣保弘、白桃書房、2002年、¥3,200+税
経営管理の内容とその基本的な理論が示されている。主としてその第1章から第6章までを範囲とする。

5 学習指導、注意点等 テキストの内容をよく理解し、テーマに合った内容をレポートとしてまとめること。

経営管理論Ⅱ

教科担当責任者：稲垣 保弘

担当者：稲垣 保弘
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 マネジメントについての重要なやや応用的な理論について、現実への適用可能性を理解する。

2 科目の概要 マネジメントについてのやや応用的な理論について検討する。経営管理論Ⅰでは、効率性の追求を目指す合理的な理論の検討が中心だったが、Ⅱでは効率性のほかに創造性も視野に入れた理論を中心に検討する。

3 成績評価基準 レポートと試験によって総合的に評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『組織の解釈学』、稲垣保弘、白桃書房、2002年、¥3,200+税
(第6～10、12章)

マネジメントの重要なテーマについての理解には、稲垣保弘『経営の解釈学』白桃書房、2013年、が参考になる。

5 学習指導、注意点等 理論の検討によって、マネジメントについての思考に論理の連鎖（サイエンス面）と論理の飛躍（アート面）の二面性のあることを理解すること。経営管理論Ⅱでは、アート面の重要性がポイントになる。

金融論Ⅰ

教科担当責任者：武田 浩一

担当者：武田 浩一
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 この科目の最終的な目標は、現実の金融問題を理解し考察するために必要になる基本的な金融の考え方の枠組みを修得することである。

2 科目の概要 この科目では金融論の基礎を学習する。現実の金融現象の仕組みを理解するために必要となる金融理論の学習にウェイトを置きつつ、金融制度についても併せて学習する。

3 成績評価基準 金融論の基礎が理解できていることをレポート、単位修得試験によって評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 前多康男・鹿野嘉昭・酒井良清『金融論をつかむ』有斐閣、2006年、¥2,400+税

5 学習指導、注意点等 現実の金融事情は変化が著しいため、本科目のテキストを用いた基本的な理論や制度の学習と併せて、日本経済新聞や一般紙の経済面に日々掲載される金融関連記事を読むことを心掛けてほしい。

金融論Ⅱ

教科担当責任者：武田 浩一

担当者：武田 浩一
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 この科目の最終的な目標は、現実の金融問題を理解し考察するために必要になる基本的な金融の考え方の枠組みを修得することである。

2 科目の概要 この科目では金融論の基礎を学習する。現実の金融現象の仕組みを理解するために必要となる金融理論の学習にウェイトを置きつつ、金融制度についても併せて学習する。

3 成績評価基準 金融論の基礎が理解できていることを、レポート、単位修得試験によって評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 前多康男・鹿野嘉昭・酒井良清『金融論をつかむ』有斐閣、2006 年、¥2,400+税

5 学習指導、注意点等 現実の金融事情は変化が著しいため、本科目のテキストを用いた基本的な理論や制度の学習と併せて、日本経済新聞や一般紙の経済面に日々掲載される金融関連記事を読むことを心掛けてほしい。

簿記Ⅲ

教科担当責任者：神谷 健司

担当者：神谷 健司
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 日商簿記検定試験 2 級（商業簿記）の範囲についての内容を理解して、実際にさまざまな取引の会計処理等ができるようになることが、この科目の到達目標です。実際に日商簿記 2 級（商業簿記）の過去問題を解くことによって、この目標が達成されているかどうかかわかると思います。

2 科目の概要 日商簿記 3 級程度の知識がある方を対象に、日商簿記 2 級（商業簿記）レベルの内容を学習します。テキストに即して学習を進めますが、テキストは全 15 章から構成されています。主な内容は、財務諸表の作成、特殊商品売買、手形取引、有価証券取引、固定資産取引、社債の会計、引当金の会計、純資産の会計、本支店会計、特殊仕訳帳等です。1 章ずつ学習を進め、各章の学習が終了したら章末問題を解いて、理解度を確かめて欲しい。すべての学習が終了したらレポートを作成することになります。レポートはテキストの幅広い範囲に渡って問題が出題されています。なお平成 29 年 6 月からの日商 2 級試験範囲に入る「外貨建取引」「リース取引」「課税所得の計算」「圧縮記帳」「連結会計の基礎」についてはテキストでは解説していません。この部分については下記に示した参考書等で補ってください。また為替手形取引が 3 級の出題範囲から除外され、簿記Ⅰ・簿記Ⅱの通教テキスト改訂時（2017 年）にそれについては削除されました。この部分についてはこちらのテキストでは触れていませんので、別書で補っていただきたいと思います。以上の点については簿記Ⅲのテキストを今後改訂する際に付け加えたいと思います。

3 成績評価基準 最終的に実施する単位習得試験によって成績評価を行います。

4 テキスト名および詳細 テキストは、通教テキスト

神谷健司・市川佳功『簿記Ⅲ』第 1 版、2013 年です。参考書として『検定簿記講義（2 級商業簿記）』中央経済社と『合格テキスト（2 級商業簿記）』TAC 出版、桑原知之『サクッとわかる日商簿記 2 級（商業簿記）』、桜井久勝『財務会計講義』中央経済社をあげておきます。問題集としては各社から出されている過去問の問題集や『合格トレーニング（2 級商業簿記）』TAC 出版や『検定簿記 2 級（商業簿記）トレーニング』中央経済社等が入手容易だと思います。

5 学習指導、注意点等 簿記の学習は単にテキストを読むだけでなく、実際に記帳したり、問題を解くことが必要です。テキストを順番に読み進め、例題などを実際に解くことが必要です。

簿記Ⅳ

教科担当責任者：神谷 健司

担当者：市川 佳功、神谷 健司
単位数：2 単位

※ 2016 年 4 月よりテキスト（通教テキスト）改訂

1 学習の到達目標 日商簿記 2 級程度の学習を修了された学生を対象に、日商簿記 1 級（商業簿記）程度の簿記会計処理を習得することがこの科目の到達目標です。

2 科目の概要 すでに日商簿記 2 級まで学習されている方を対象に、さらに日商簿記 1 級（商業簿記）レベルの内容をこの科目では学習します。ただし 2 単位の科目であり、テキストの紙幅の関係上、特殊商品販売については範囲から外し、また連結会計の部分については基本的な事項の説明にとどめております。

テキストは 15 章構成です。内容は有価証券、デリバティブ取引、ヘッジ会計、為替予約の会計処理、固定資産の会計、退職給付会計、税効果会計、組織再編の会計等について学習を進めます。今回の改定にあたって、連結会計の部分を削除しました。2 単位ということと、テキストのボリュームを考えてのことです。

3 成績評価基準 最終的に実施する単位修得試験によって成績評価を行います。

4 テキスト名および詳細 テキストは通教テキスト 神谷健司・市川佳功『簿記Ⅳ』第 2 版、2016 年です。参考書として、『合格テキスト（1 級商業簿記・会計学）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』TAC 出版をあげておきます。具体的会計処理の裏づけとなる会計理論については、桜井久勝『財務会計講義（最新版）』中央経済社、等を参考にしてください。問題集としては日商簿記 1 級試験の過去問題や各種 1 級テキストに対応している問題集を利用してください。なお連結会計については、『財務会計講義』の該当箇所で連結会計に基本的な考えを学び、さらに連結会計の基本書、たとえば斎藤真哉編『ニューベシック連結会計』中央経済社、2013 年のようなものを学ぶことによって連結会計の基本を習得できるかと思います。なお単位修得試験においては連結会計の部分は出題しません。

5 学習指導、注意点等 簿記の学習はテキストに従って記帳処理の練習をしたり、総合問題を解くことが必要です。数多くの問題を解くことによって理解を深めてください。

外国語経営学

教科担当責任者：藤澤 利治

担当者：藤澤 利治
単位数：2 単位

※ 2016 年 4 月より新規履修はできません。

1 学習の到達目標 経営学における基本的な英語の文献を精読することによって、経営学の基礎や基本概念を深く理解すること、これがこの科目における学習の到達目標である。経営学はもともとアメリカで誕生し、発展してきた学問である。そのため、アメリカで発表されたオリジナルの文章に触れることで、基礎学習の助けになると思うし、経営学への興味を一層増すことになると思う。

2 科目の概要 経営学における発展をそれぞれの時代において担い、リードしてきた代表的な経営学研究者の著わした著書の一部を精読していく。まず最初の Chapter 1 では、科学的管理法を提唱した F.W.Taylor, *Shop Management*, 1903 を取り上げる。次に Chapter 2 では、経営組織における意思決定過程を分析した H.A.Simon, *Administrative Behavior*, 1945 を取り上げている。そして最後の Chapter 3 では、社会心理学の側面から経営組織を分析した K.E.Weick, *The Social Psychology of Organizing*, 1979 を取り上げている。これらの文献は、必ずしも易しい内容とはいえない。しかし、どれも経営学を代表する基本的な文献であることは間違いなく、その一部を精読しながらこの学問の雰囲気と直接触れていただきたい。

なお、Chapter 3 は 2014 年度以降のリポート設題範囲及び単位修得試験の出題範囲から除外する。（※ 2013 年度までのリポート設題で再提出期間中の場合は、再提出となった設題で提出すること。）

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、リポート学習もしっかりと行うこと。）

また、リポートについても単位修得試験の場合も、以下の評価基準によって成績を評価する。

- ①何よりも基礎的概念を理解できているかどうかを見る。
- ②そして英語の理解力を見る。英文を正確に読みこなせているかどうか、重要である。
- ③原典の内容の理解度をみる。著者の見解や主張を経営学として把握できているかどうかを見る。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『外国語経営学』第 2 版、遠田雄志、2008 年

5 学習指導、注意点等 。訳文は、最初は意識せずに、直訳してください。そして自分の訳文を自分で読んでみて、訳文の意味が理解できるかどうか、チェックしてみてください。もし意味が不明のときは、あなたの訳が間違っていますから、文法に従ってもう一度訳しなおしてください。その上で、専門用語をチェックしてください。この手続きを経てから、リポートを作成してください。

。単位修得試験もテキストをよく読んで理解しておくことが、何よりも重要です。全訳のノートを作成し、文章の内容を繰り返し検討してみてください。

人的資源管理論Ⅰ

教科担当責任者：佐野 嘉秀

担当者：山口 壘
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 人的資源管理の基礎について理解することを学習目標とします。そのための到達目標として、人的資源管理論Ⅰでは、以下の①②③を設定しました。

- ①人的資源管理の基本的な考え方を習得する。
- ②人的資源管理にかかわる論点を知る。
- ③日本企業における人的資源管理の現状と変化について理解する。

2 科目の概要 人的資源管理 (Human Resource Management) は、経営学・商学のなかで、経営資源としてのヒトの管理を扱う学問分野です。本科目では、そうした人的資源管理の基礎として、①人的資源管理の基本的考え方、②人的資源管理にかかわる課題や論点、③日本企業の人的資源管理の現状や変化について学びます。人的資源管理の基礎を学ぶことで、会社や職場でのヒトの管理に関わる制度や慣行の内容や理由について、理解を深めることができます。

3 成績評価基準 リポート及び単位修得試験では、①人的資源管理の基本的な考え方を理解・習得しているかだけでなく、②課題・設問の趣旨を的確に理解し、それに対応する記述となっているか、③論拠を示しつつ論理的な記述がなされているか、④事実と意見が明確に区別されているかを重要な評価基準とします。

4 テキスト名および詳細 指定市販本：『よくわかる 産業社会学』ミネルヴァ書房、上林千恵子編著、2012 年、¥2,600+税
テキストのタイトルに「人的資源管理」の文字はないですが、テキストの内容の多くは、人的資源管理に関するものです。とくに 3 章「企業内キャリアと人事管理」(教科担当責任者が執筆)は人的資源管理の基礎に当たります。まずは、3 章の内容を理解しましょう。さらに、リポート課題や関心に応じ、他の章も読み進めてください。

5 学習指導、注意点等 人的資源管理の分野の学術論文としては、労働政策研究・研修機構が発行している『日本労働研究雑誌』が参考になります。同雑誌のバックナンバーは、ホームページ (<http://www.jil.go.jp/institute/zassi/>) にも掲載されており便利です。

人的資源管理論Ⅱ

教科担当責任者：佐野 嘉秀

担当者：山口 壘
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 人的資源管理の基礎を踏まえ、日本企業が直面する人的資源管理にかかわる諸課題について深く理解することを学習目標とします。そのための到達目標として、人的資源管理論Ⅱでは、以下の①②を設定しました。

- ①日本企業が直面する人的資源管理上の諸課題について理解する。
- ②人的資源管理の課題に対して、企業がどのようにすべきかについて、説得的で建設的な提案ができるようになる。

2 科目の概要 人的資源管理 (Human Resource Management) は、ヒトの管理についての実践的学問です。本科目では、①日本企業が直面する人的資源管理上の諸課題について理解し、

②そうした課題を解決するうえで、企業がどのようにすべきかを学びます。雇用や仕事に関する報道や記事の情報のほか、身近な会社や職場での人事管理について考えてみることも、科目の理解につながります。

3 成績評価基準 リポート及び単位修得試験では、①人的資源管理の考え方や論点を理解しているかだけでなく、②課題・設問の趣旨を的確に理解し、それに対応する記述となっているか、③論拠を示しつつ論理的な記述がなされているか、④事実と意見が明確に区別されているかを重要な評価基準とします。

4 テキスト名および詳細 指定市販本：『よくわかる 産業社会学』ミネルヴァ書房、上林千恵子編著、2012年、¥2,600+税
テキストのタイトルに「人的資源管理」の文字はないですが、テキストの内容の多くは、人的資源管理に関するものです。
とくに3章「企業内キャリアと人事管理」(教科担当責任者が執筆)は人的資源管理の基礎に当たります。まずは、3章の内容を理解しましょう。さらに、リポート課題や関心に応じ、他の章も読み進めてください。

5 学習指導、注意点等 人的資源管理の分野の学術論文としては、労働政策研究・研修機構が発行している『日本労働研究雑誌』が参考になります。同雑誌のバックナンバーは、ホームページ（<http://www.jil.go.jp/institute/zasshi/>）にも掲載されており便利です。

財務会計論Ⅰ
教科担当責任者：川島 健司
担当者：川島 健司 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 株主や債権者など企業外部の利害関係者に対して経営成績や財政状態を報告する目的で行われている財務会計について、企業会計原則および企業会計基準を中心としながら関係諸法令についても視野に収めながら、体系的に学習することを目標とします。

2 科目の概要 財務会計論では会計基準について学習します。会計ビッグバン以降、企業の実態をよりいっそう的確に描写した透明度の高い財務諸表の作成と公表を促進するため、会計基準が続々と新設・改訂されてきています。この会計基準の改定作業は、国際会計基準とのコンバージェンスを進める過程で加速されてきました。
本科目では、既存の会計基準とともに、新設・改訂されてきた会計基準についても学習することにより、現段階における日本の会計基準を包括的に理解することを目標としています。
財務会計論Ⅰでは財務会計の概念や構造を学び、基礎固めをしたうえで、いわゆる各論を学習します。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『財務会計講義』（第18版）桜井久勝 中央経済社 2017年3月発売予定（毎年3月には改訂版が出版されています。最新版を入手してください）
財務会計論Ⅰの範囲はテキストの第1章「財務会計の機能と制度」から第9章「無形固定資産と繰延資産」までとなります。財務会計論Ⅰでは全体の範囲をテキストをほぼ二分したうちの前半となります。財務会計の機能と制度を概観したうえで、利益計算の仕組みについて簿記の構造を含めて学習します。つづいて企業会計原則の全体について俯瞰し、利益計算と資産評価の概念について学びます。それを踏まえて各論に移ります。有

価証券の評価、デリバティブ、キャッシュフロー計算書、収益認識基準、棚卸資産の原価配分、固定資産の減価償却および減損、リース会計、無形固定資産、繰延資産までが財務会計論Ⅰで取り上げるトピックとなります。

5 学習指導、注意点等 本テキストは財務会計の教科書として定評のあるベストセラーであり、大学学部はもとより資格試験やビジネスマンにも多く利用されています。テキストは平易な文章で記述され、必要十分な設例がもうけられており、通信教育課程の自習書として最適であると思います。本文で400ページ強ありますが、分量としては標準的であり、これよりページ数を減らすと、必要な記述がカットされてしまいます。このテキストを財務会計論ⅠとⅡで学習することになりますので、それぞれ200ページ強となります。

リポート作成にあたっては、テキストを学習することはもとより、「設題総覧」にあげた参考文献、あるいはその他の文献を利用しながら、単なる引用にとどまることなく、設題の趣旨をくみ取って、御自身の意見を述べてください。参考文献やインターネットで「正解」に近いものを探すのはやめてください。

財務会計論Ⅱ
教科担当責任者：川島 健司
担当者：川島 健司 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 株主や債権者など企業外部の利害関係者に対して経営成績や財政状態を報告する目的で行われている財務会計について、企業会計原則および企業会計基準を中心としながら関係諸法令についても視野に収めながら、体系的に学習することを目標とします。

2 科目の概要 財務会計論では会計基準について学習します。企業の実態を的確に描写した透明度の高い財務諸表の作成と公表を促進するため、会計基準は常に新設・改訂されています。この会計基準の改定作業は、国際財務報告基準とのコンバージェンスを進める過程で加速されてきました。本科目では、既存の会計基準とともに、新設・改訂されてきた会計基準についても学習することにより、現段階における日本の会計基準を包括的に理解することを目標としています。
財務会計論Ⅱでは、負債の会計、資本および純資産の会計、財務諸表の作成と公開、連結財務諸表の作成、外貨建取引の会計など、財務会計の各論を学習します。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『財務会計講義』（第18版）桜井久勝 中央経済社 2017年3月発売予定（毎年3月には改訂版が出版されています。最新版を入手してください）
財務会計論Ⅱでは全体の範囲をテキストをほぼ二分したうちの後半となります。第10章「負債」では引当金、税効果会計、退職給付会計、資産除去債務、第11章「株主資本と純資産」では、純資産の構成、資本剰余金、合併、株式交換と株式移転、会社の分割、配当制限、第12章「財務諸表の作成と公開」では、包括利益、注記（継続企業の前提に関する注記など）、四半期財務諸表、第13章「連結財務諸表」では、連結の範囲、連結貸借対照表の作成手続、連結損益計算書の作成手続、連結株主資本等変動計算書、持分法、連結キャッシュフロー計算書、セグメント情報、第14章「外貨建取引等の換算」では、換算方法、外貨建取引の換算、為替予約などを学習します。

5 学習指導、注意点等 本テキストは平易な文章で記述され、必要十分な設例がもうけられており、通信教育課程の自習書として最適であると思います。本文で 400 ページ強ありますが、分量としては標準的であり、これよりページ数を減らすと、必要な記述がカットされてしまいます。このテキストを財務会計論ⅠとⅡで学習することになりますので、それぞれ 200 ページ強となります。レポート作成にあたっては、テキストを学習することはもとより、「設題総覧」にあげた参考文献、あるいはその他の文献を利用しながら、単なる引用にとどまることなく、設題の趣旨をくみ取って、ご自身の意見を述べてください。

原価計算論Ⅰ

教科担当責任者：福田 淳児

担当者：福田 淳児
単位数：2 単位

※ 2016 年 4 月よりテキスト（指定市販本）変更

1 学習の到達目標 原価計算論Ⅰでは、原価計算論を学習する上で必要となる基本的な概念や専門用語を自分なりの言葉で簡潔に説明できること、および原価計算の一連の手続きおよびその意味内容を理解し、基本的な計算プロセスが説明できること、さらに基本的な計算問題が解けることを目標としています。

2 科目の概要 原価計算論Ⅰでは、テキストならびに参考文献において、原価計算論の学習を進めていく上で必要となる概念や専門用語の説明を行なっています。今後、原価計算を学習する上で前提となることも多いので、必ず理解してください。その上で、原価計算の一連の計算手続きについて、費目別原価計算、部門別原価計算および製品別原価計算（個別原価計算・総合原価計算）の順番で計算メカニズムの説明およびその理論的な意味についての解説を行っています。テキストで示したような手続きがなぜ必要となるのかについても考えながら読み進めてください。原価計算論Ⅰでは、主に以下の項目について学習します。

1. 原価計算の意義と目的：原価計算の意義および原価計算基準に従いその目的について学習します。
2. 原価の本質と分類：原価とは何か、また原価を形態別、製品との関連性および操業度との関連性で分類し、それぞれの内容について学習します。
3. 原価計算の手続と種類：原価計算の一連の手順、費目別原価計算、部門別原価計算、製品別原価計算について簡単に学習します。具体的な内容はこれ以降の章で学習します。
4. 費目別原価計算：材料費、労務費、経費、製造間接費についてそれぞれの計算方法について学習します。
5. 原価計算の部門別計算：原価の部門別計算の意義およびその計算手続きについて学習します。
6. 製品別原価計算（個別原価計算）：受注生産形態の工場で利用される個別原価計算についてその特徴および計算手続きについて学習します。
7. 製品別原価計算（総合原価計算）：見込み生産形態の工場で利用される総合原価計算についてその特徴、種類ならびに計算手続きについて学習します。

受講者は各項目についてテキストや参考文献の説明を単に読むだけでなく、そこに示されている例題を必ず解いて理解を確認しながら学習を進めてください。

3 成績評価基準 原価計算論Ⅰの学習範囲から出題された単位修得試験に基づいて評価を行ないます。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 山北晴雄・福田淳児著『ファーストステップ 原価計算を学ぶ』中央経済社（2016 年、¥2,400+税）の第 1 章から第 11 章まで。

5 学習指導、注意点等 テキストの指定範囲の全部または参考文献を必ず熟読してください。さらに、各章の例題を解いてみる。例題が解けないときには、テキストや参考文献の該当箇所に戻り、もう一度読んでみる。原価計算、特に原価計算の一連の計算プロセスを理解する上では、ひとつひとつの内容およびその手続きを確実に理解して進んでいくことが必要となります。

また、レポートの提出にあたっては、テキストや参考文献の該当箇所をもう一度熟読し、必ず自分の言葉でまとめてください。その際になぜそういったことがいえるのかを考え、明示してください。引用は必要最低限度にとどめ、きちんと引用箇所を明記すること。講評に基づいて、再提出する場合には、単に指摘のあった箇所だけを補足・修正するのではなく、もう一度全体の文章もきちんと見直し、意味の通るレポートにしてください。

原価計算論Ⅱ

教科担当責任者：福田 淳児

担当者：福田 淳児
単位数：2 単位

※ 2016 年 4 月よりテキスト（指定市販本）変更

1 学習の到達目標 原価計算論Ⅱでは、経営管理目的に原価計算システムがどのような情報を提供することができるのか、またその具体的な役割を理解することを目標とします。経営管理目的での原価計算の役立ちとして標準原価計算による原価管理への役立ち、また短期の利益計画に対する直接原価計算や CVP 分析の役立ちについて理解することを目標とします。さらに、製造間接費の配賦に関連して、伝統的な製造間接費の配賦方法の問題点が顕在化した理由、新たに提唱された Activity-Based Costing と伝統的な製造間接費の配賦方法との差異を説明できることを目標とします。

2 科目の概要 原価計算論Ⅱでは、原価計算システムが経営管理目的にどのような情報を提供しているのか、またその役割について学習します。さらに、近年における原価計算の発展、およびその背後にある製造環境の変化についても学習します。具体的には以下の項目について学習します。

1. 標準原価計算：標準原価計算の意義や目的の学習に続いて、原価標準の設定ならびに標準原価と実際発生原価との差異分析について学習します。また、現在の製造環境のもとでの標準原価計算の役立ちについても検討します。
2. 直接原価計算：全部原価計算との比較で直接原価計算を説明した後に、両者での営業利益の相違について検討します。
3. CVP 分析：短期利益計画を設定する上で有用な情報を提供するツールとして原価、営業量、利益の関係を分析する CVP 分析について学習します。損益分岐点での売上高、またある一定の目標利益を達成するための売上高などを計算できるようします。
4. Activity-Based Costing（活動原価計算）：製造環境の変化が原価の構成や製造間接費の中身に大きな変化をもたらしたことから、それによって伝統的な製造間接費の配賦方法が許容できなくなってきたことから ABC が提唱されたことを紹介しています。その後、ABC の計算手続きや近年 ABC に対する批判に 대응するために提唱された TDABC を紹介しています。

経営管理目的に有用な原価計算について、それぞれの原価計

算手法の持つ意味、またその役立ちについてしっかりと理解してください。さらに、そのような原価手法がどのような製造環境の求めに応じて出現したのか、さらに製造環境の変化のもとでどのような影響を受けてきたかも理解できるようにしてください。

3 成績評価基準 原価計算論Ⅱの範囲から出題された単位修得試験の結果に基づいて評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 山北晴雄・福田淳児著『ファーストステップ 原価計算を学ぶ』中央経済社（2016年、¥2,400+税）の第12章から第15章まで。

5 学習指導、注意点等 テキストの指定範囲の全体または参考文献を必ず熟読してください。さらに、各章の例題を解いてみてください。例題が解けないときには、テキストや参考文献の該当箇所に戻り、もう一度読んでみてください。原価計算、特に原価計算の一連の計算プロセスを理解する上では、ひとつひとつの内容を確実に理解して進んでいくことが必要となります。また、レポートの提出にあたっては、テキストや参考文献の該当箇所をもう一度熟読し、必ず自分の言葉でまとめてください。レポートの作成にあたっては、なぜそういった手続きが必要となるのかまで考えてレポートの作成を行なってください。引用は必要最低限度にとどめ、きちんと引用箇所を明記すること。また、講評に基づいてレポートを再提出する場合には、単に指摘のあった箇所だけを補足・修正するのではなく、もう一度全体の文章もきちんと見直し、意味の通るレポートにしてください。

管理会計論Ⅰ

教科担当責任者：北田 皓嗣

担当者：北田 皓嗣

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 経営管理問題と管理会計との関係についての知識の習得を目指します。管理会計情報が経営管理における問題ごとに異なる会計情報が利用されること、またそのときに必要となる財務・非財務情報について理解することを目指します。また関連した計算方法を使えるようにすることを目指します。

2 科目の概要 会計学の領域は財務会計と管理会計の二つに区分される。管理会計は企業の管理者がさまざまな意思決定を行なうさいに必要な会計情報を作成することを目的としている。財務諸表を作成することを目的としている財務会計とはかなり異なっているが、きわめて実践的な学問ですので会社に勤めている方には役立つであろう。

3 成績評価基準 管理会計論Ⅰ／Ⅱでは記述を中心としたレポート課題と、計算問題の2つの課題を出題しています。両方の課題が合格水準に達することが求められます。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『管理会計論』第2版、佐藤康男、2003年
※【申告制】テキスト

5 学習指導、注意点等 管理会計論Ⅰと管理会計論Ⅱは、いずれの学習範囲も上記指定テキスト全般とします。

レポートは、特定の領域において十分な知識が習得できるように設定しています。ただ単位修得試験は、テキスト全体が試験範囲となっています。レポートで学習したことを踏まえたうえで、それぞれのトピックについても学習するようにしてください。

管理会計論Ⅱ

教科担当責任者：北田 皓嗣

担当者：北田 皓嗣

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 経営管理問題と管理会計との関係についての知識の習得を目指します。管理会計情報が経営管理における問題ごとに異なる会計情報が利用されること、またそのときに必要となる財務・非財務情報について理解することを目指します。また関連した計算方法を使えるようにすることを目指します。

2 科目の概要 会計学の領域は財務会計と管理会計の二つに区分される。管理会計は企業の管理者がさまざまな意思決定を行なうさいに必要な会計情報を作成することを目的としている。財務諸表を作成することを目的としている財務会計とはかなり異なっているが、きわめて実践的な学問ですので会社に勤めている方には役立つであろう。

3 成績評価基準 管理会計論Ⅰ／Ⅱでは記述を中心としたレポート課題と、計算問題の2つの課題を出題しています。両方の課題が合格水準に達することが求められます。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『管理会計論』第2版、佐藤康男、2003年
※【申告制】テキスト

5 学習指導、注意点等 管理会計論Ⅰと管理会計論Ⅱは、いずれの学習範囲も上記指定テキスト全般とします。

レポートは、特定の領域において十分な知識が習得できるように設定しています。ただ単位修得試験は、テキスト全体が試験範囲となっています。レポートで学習したことを踏まえたうえで、それぞれのトピックについても学習するようにしてください。

監査論Ⅰ

教科担当責任者：坂上 学

担当者：坂上 学

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 監査の基本知識として、理論的な基礎と制度の概要を理解することを目指している。

2 科目の概要 株式会社の監査制度の基礎知識を、体系的に理解することを課題としている。株式会社監査の基礎概念の理解に始まり、監査の担い手である監査人（公認会計士や監査法人）の制度、監査意見形成のプロセスについて学習する。

3 成績評価基準 レポートの内容が単によくまとまっているだけでなく、以下の点についても、条件を満たしているかどうかをチェックし、成績評価の重要な要素とするので、必ず守ること。

- (1) レポートの構成がしっかりとしているか。（構成がわかるように、適宜見出しなどを付けるとよい）
- (2) 参考にした文献や Web ページについて、引用箇所を文中に明示しているか。（引用がまったく示されていない場合は即再提出となる）
- (3) 参考文献、参考 URL の一覧を最後に明記しているか。（無い場合は即再提出となる）

(4) 与えられた字数を十分に用いているか (2,000 字)。(多過ぎる場合も減点対象とする)

上記の項目が2つ以上満たされていない場合は、再提出の対象となるので注意されたい。なお、最終成績は単位修得試験により評価する。(ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。)

4 テキスト名および詳細 【指定市販本】伊豫田隆俊・松本祥尚・林隆敏著『ベーシック監査論』七訂版、同文館、2015年、¥3,800 + 税 (もしくは最新版)

以下の章が学習範囲である。

第1章「監査のフレームワーク」

第2章「監査制度のフレームワーク」

第3章「監査規範の意義とわが国の監査基準」

第4章「監査意見形成のプロセス」

※改訂版の出版により上記記載の版が入手できない場合は、最新版を使用すること。

5 学習指導、注意点等 成績評価基準にも書いたが、ただ調べたものを書き連ねるだけでなく、問題の意図を正しく理解し、構成をしっかりたて、レポートを作成して欲しい。その際、参考にした文献や Web ページなどは、必ず引用箇所を明記するとともに、最後に参考文献・参考 URL の一覧を付すこと。

レポートの書き方については、『学習支援ハンドブック』(<http://www.hoseikyoiku.jp/fd/handbook/>)を参考にするとよい。

近年気になるのは、安易に Web ページの記述をコピー＆ペーストしただけのもの、関係のない事項について多くの字数を割いているもの、引用箇所が明記されていないもの、等々が多く見られるようになったことである。多くの文献や Web ページを参考にするのは良いことであるが、自分なりに咀嚼し、自分の言葉でレポートを書くようにして欲しい。

監査論Ⅱ

教科担当責任者：坂上 学

担当者：坂上学
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 監査の基本知識として、理論的な基礎と制度の概要を理解することを目標としている。

2 科目の概要 株式会社の監査制度の基本的な知識について、体系的に理解することを課題としている。監査のうち、リスク・アプローチに基づく監査の計画と実施のプロセス、監査報告書と情報提供機能等について学習する。

3 成績評価基準 レポートの内容が単によくまとまっているかだけでなく、以下の点についても、条件を満たしているかどうかをチェックし、成績評価の重要な要素とするので、必ず守ること。

- (1) レポートの構成がしっかりとしているか。(構成がわかるように、適宜見出しなどを付けるとよい)
- (2) 参考にした文献や Web ページについて、引用箇所を文中に明示しているか。(引用がまったく示されていない場合は即再提出となる)
- (3) 参考文献、参考 URL の一覧を最後に明記しているか。(無い場合は即再提出となる)
- (4) 与えられた字数を十分に用いているか (2,000 字)。(多過ぎる場合も減点対象とする)

上記の項目が2つ以上満たされていない場合は、再提出の対象となるので注意されたい。なお、最終成績は単位修得試験により評価する。(ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。)

4 テキスト名および詳細 【指定市販本】伊豫田隆俊・松本祥尚・林隆敏著『ベーシック監査論』七訂版、同文館、2015年、¥3,800 + 税 (もしくは最新版)

以下の章が学習範囲である。

第5章「リスク・アプローチと監査戦略」

第6章「リスク評価、リスク対応および監査の完了」

第7章「監査報告書と情報提供機能」

第8章「開示情報の多様化と保障機能」

※改訂版の出版により上記記載の版が入手できない場合は、最新版を使用すること。

5 学習指導、注意点等 成績評価基準にも書いたが、ただ調べたものを書き連ねるだけでなく、問題の意図を正しく理解し、構成をしっかりたて、レポートを作成して欲しい。その際、参考にした文献や Web ページなどは、必ず引用箇所を明記するとともに、最後に参考文献・参考 URL の一覧を付すこと。

レポートの書き方については、『学習支援ハンドブック』(<http://www.hoseikyoiku.jp/fd/handbook/>)を参考にするとよい。

近年気になるのは、安易に Web ページの記述をコピー＆ペーストしただけのもの、関係のない事項について多くの字数を割いているもの、引用箇所が明記されていないもの、等々が多く見られるようになったことである。多くの文献や Web ページを参考にするのは良いことであるが、自分なりに咀嚼し、自分の言葉でレポートを書くようにして欲しい。

税務会計Ⅰ

教科担当責任者：大下 勇二

担当者：大下 勇二
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 会社の中心的な税金である法人税の基本的な計算プロセスの基礎的思考方を理解することにより、会計分野の重要な領域としての税務会計の基礎を修得し、財務会計との関係および違いを理解することを目指します。

2 科目の概要 法人税法の課税所得計算の基礎、益金計算および原価配分領域を中心とした損金の計算について、次の項目を学習します。法人税の基礎 (1)・(2)、課税所得計算の基礎 (1)・(2)、売買損益の計算、営業外収益および特別利益、売上原価の計算と棚卸資産の期末評価、有価証券の譲渡原価と期末評価、固定資産の減価償却 (1)、繰延資産の償却

3 成績評価基準 単位修得試験の結果により評価します。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト 大下勇二著『税務会計Ⅰ・Ⅱ』第1版、2013年

※【申告制】テキスト

5 学習指導、注意点等 税法の条文には可能な限り目を通して下さい。また、テキストはこれを単に読むだけでなく、例題の付いているところはその例題を自分で解いてみるのが重要です。

税務会計Ⅱ

教科担当責任者：大下 勇二

担当者：大下 勇二
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 「税務会計Ⅰ」において法人税の課税所得計算の基礎的な内容を理解した上で、「税務会計Ⅱ」では法人税課税の応用的な個別問題領域を学習し、現代社会において、法人税課税上いかなる問題が生じているのかを深く理解することを目指します。

2 科目の概要 次の項目を中心に学習します。事業形態の多様化と課税問題、企業の社会的責任と寄附金・交際費課税、給与の支給形態の多様化と課税問題、不良債権の償却の課税問題、固定資産の減価償却 (2)、企業活動の集団化と課税問題 (1)・(2)、企業活動の国際化と課税問題 (1)・(2)・(3)

3 成績評価基準 単位修得試験の結果により評価します。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト 大下勇二著『税務会計Ⅰ・Ⅱ』第1版、2013年
※【申告制】テキスト

5 学習指導、注意点等 「税務会計Ⅱ」は応用的な個別問題領域を中心に学習しますので、必ず「税務会計Ⅰ」を学習した上で、履修して下さい。

経営分析論Ⅰ

教科担当責任者：福多 裕志

担当者：福多 裕志
単位数：2 単位
※ 2016 年 4 月よりテキスト（指定市販本）変更（2015 年度の代替テキストを指定）

1 学習の到達目標 経営分析論Ⅰ（ここでは「経営分析」を「財務諸表分析」と同義として使用）では、企業の財務体質を判定する財務諸表分析を学習します。企業が有する財務体質の的確な把握によって、財務上の問題点とその解決策を明らかにし、経済合理的意思決定を促進することが目標です。そのためには、受講者自らがインターネット上より企業の有価証券報告書入手し、電卓をたたいて企業の比率・指標等を算出し、その差異を比較・検討し、自らの解釈を加えることが重要となります。

2 科目の概要 経営分析は、「比較に始まり、比較に終わる」といってもよいほど、比較・検討することが要請されます。効率的な経営管理と経済合理的な意思決定を追求するために、同業他社と比較し、業界平均と比較し、そして過去と比較するという手続きを通して、どのような要因から差が生じたのか、あるいは生じなかったのかを突き止めます。

経営分析論Ⅰでは指定教科書の、第1章、第2章、第5章、第6章、第7章、第12章までを試験範囲とします。連続した章ではありませんので注意してください。

指定教科書には、第1、2章において各種財務諸表の掲載があり、経営分析の全般的な内容の要約が含まれていますので、経営分析論Ⅰであってもそうした財務諸表に記載されている事項を含め包括的学習を進めてください。

なお、経過措置テキスト『経営分析入門 [第4版] (ビジネスゼ

ミナール)』で学習する場合は、2015 年度通信学習シラバスに記載した学習範囲や試験範囲を参照してください。

3 成績評価基準 【注意】

レポートの添削について：

設題にたいし、①的確に答えているか、②示された分量が守られているか、③誤字・脱字がないかどうか、④引用文献・参考文献が適切に示されているかどうかを評価項目とします。

最終試験について：

「科目の概要」の中に示した通りですが、必ずしも指定教科書内に示されている問題や語句が一言一句そのまま出題されるということではなく、各章のテーマに関連する問題が出題されます。計算問題、論述問題とも、計算結果の正確さや定義・説明内容の的確性を評価項目とします。

4 テキスト名および詳細

指定市販本『要説 経営分析 五訂版』青木茂男著、森山書店、2016 年、¥4,400+税
なお、本書四訂版を教科書として使用されている方は、そのままご使用ください。最終試験問題は、経過措置テキストの『経営分析入門 [第4版] (ビジネスゼミナール)』を含めいずれの教科書においても取り扱われている内容とします。

5 学習指導、注意点等

受講者には初級程度（日商簿記検定 3 級程度）の簿記知識が必要なので、会計関連科目を学習したことのない方は、事前に「簿記」「財務会計」等を学習されることを強くお勧めします。
学習の分量が多くなりますので、継続的、計画的に学習を進め、最終試験を突破してください。

経営分析論Ⅱ

教科担当責任者：福多 裕志

担当者：福多 裕志
単位数：2 単位
※ 2016 年 4 月よりテキスト（指定市販本）変更（2015 年度の代替テキストを指定）

1 学習の到達目標 経営分析論Ⅱでは、経営分析Ⅰに引き続いて「財務諸表分析」を学習対象とし、企業の財務体質を的確に把握することを目標とします。企業が有する財務上の特徴に基づく効率的な経営管理を実践し、経済合理的意思決定を促進することが「財務諸表分析」の目的です。受講者自らがインターネット上より企業の有価証券報告書入手し、電卓をたたいて企業の比率・指標等を算出し、その差異を比較・検討し、自らの解釈を加えることが重要となります。（経営分析論Ⅱは、経営分析論Ⅰと比較し学習する項目は異なりますが、最終的に財務報告書を正確に理解し、分析し、解釈するという過程は同じです。その意味で、到達目標も経営分析論Ⅰと同様の記載がなされております。）

2 科目の概要 経営分析は、「比較に始まり、比較に終わる」といってもよいほど、比較・検討することが要請されます。効率的な経営管理と経済合理的な意思決定を追求するために、同業他社と比較し、業界平均と比較し、そして過去と比較するという手続きを通して、どのような要因から差が生じたのか、あるいは生じなかったのかを突き止めます。

経営分析論Ⅱでは指定教科書（『要説 経営分析』）の第9章、第10章、第11章、第13章、第15章を試験範囲とします。連続した章ではありませんので注意してください。

なお、経過措置テキスト『経営分析入門 [第4版] (ビジネスゼミナール)』で学習する場合は、2015 年度通信学習シラバスに

記載した学習範囲や試験範囲を参照してください。

3 成績評価基準 【注意】

レポートの添削について：

設題にたいし、①的確に答えているか、②示された分量が守られているか、③誤字・脱字がないかどうか、④引用文献・参考文献が適切に示されているかどうかを評価項目とします。

最終試験について：

「科目の概要」の中に示した通りですが、必ずしも指定教科書内に示されている問題や語句が一言一句そのまま出題されるということではなく、各章のテーマに関連する問題が出題されます。計算問題、論述問題とも、計算結果の正確さや定義・説明内容的確性を評価項目とします。

4 テキスト名および詳細

指定市販本『要説 経営分析 五訂版』青木茂男著、森山書店、2016 年、¥4,400+税
なお、本書四訂版を教科書として使用されている方は、そのままご使用ください。最終試験問題は、経過措置テキストの『経営分析入門〔第 4 版〕（ビジネスゼミナール）』を含めいずれの教科書においても取り扱われている内容とします。

5 学習指導、注意点等

受講者には初級程度（日商簿記検定 3 級程度）の簿記知識が必要なので、会計関連科目を学習したことのない方は、事前に「簿記」、「財務会計」等を学習してください。学習の分量が多くなりますので、継続的、計画的に学習を進め、最終試験を突破してください。

国際金融論 I

教科担当責任者：横内 正雄

担当者：横内 正雄

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 国際金融論 I は、現実の世界における様々な国際金融現象をとらえるための基礎的な理論を学び、その意味を理解することを目標とする。まず、外国為替、外国為替相場、国際収支など国際金融の基礎概念を修得し、次に外国為替相場の決定理論と国際収支の決定理論、デリバティブなどについて理解を進める。こうした概念と理論の修得を通じて、現在進行している金融グローバル化現象の背後にある基本的なメカニズムの理解を目標とする。

2 科目の概要 国際金融論が扱う外国為替相場や国際収支の問題は、日々のニュースで頻繁に伝えられ、議論されている。そして、その意味するところを知ることなしには今日のグローバル化した社会を理解することは出来ないと言ってよいほどである。しかし、国際金融現象は年々複雑化してきている。国際金融論 I では、現代の国際金融の問題を考えるにあたって、その概念と基礎理論を学ぶことによって現実の問題を深く理解しようとするものである。具体的には、外国為替の概念、外国為替相場、外国為替市場、国際収支の概念を理解し、それを前提として外国為替相場や国際収支の決定に関する理論を学ぶ。テキストでは主に第 1 章～第 7 章がこの分野に相当する。ただし、テキストはあくまで入門レベルのものであるので、設題に対する解答などより深く国際金融を理解するためには参考文献を利用した学習が不可欠となる。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 指定市販本『国際金融のしくみ』第 4 版（有斐閣アルマ）、有斐閣、秦 忠夫・本田敬吉・西村陽

造著、2012 年、¥ 2,000+税

5 学習指導、注意点等

国際金融論 I における基礎的な理論の修得には金融論の理解が不可欠である。また、マクロ経済的な知識や国際経済に関する知識も同様に必要とされる。そのため、国際金融に関する理論のみの修得を目指すのではなく、広くマクロ経済、金融、国際経済の理論の修得もあわせて行うことが望ましい。他の社会科学と同様に国際金融論でも論理的な思考が不可欠である。経済現象には理論によって説明される論理必然的な因果関係が存在すると言ってもよい。例えば、金利の上昇がなぜ円高をもたらすのかと考えるとき、その背後における理論から導き出される論理的な帰結を考える必要がある。このような理論的な連鎖の関係を理解することが重要であり、学習する上で常に論理的に考えることが求められる。

国際金融論 II

教科担当責任者：横内 正雄

担当者：横内 正雄

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 国際金融論 II は、国際金融論 I で修得した基礎的な概念と理論を前提として、現実の国際金融に関わる現象を解説していくことを課題とする。まず、国際金融の歴史をたどり、国際通貨体制や国際通貨がいかに変遷してきたのかを学ぶ。次に、国際金融の場面で現実が生じつつある金融危機、通貨危機、通貨統合などの問題を考察する。こうした作業を通じて現在進行している金融グローバル化現象の本質と意味を理解することを目標とする。

2 科目の概要 国際金融論が扱う国際通貨体制や通貨金融危機の問題は、日々のニュースで頻繁に伝えられ、議論されている。そして、その意味するところを知ることなしには今日のグローバル化した社会を理解することは出来ないと言ってよいほどである。しかし、国際金融現象は年々複雑化してきている。国際金融論 II では、現代の国際金融の問題を考えるにあたって、その歴史から掘り起こし、大きな流れの中で国際金融の問題がいかに変遷してきたのかを捉えることによって、現実の問題を深く理解しようとするものである。具体的には、第一次大戦前の国際金本位制、第二次大戦後のブレトンウッズ体制、EU 通貨統合、円の国際化、通貨金融危機、グローバルインバランスなどの問題を扱う。テキストでは、主に第 8 章以降がこの分野に相当する。ただし、テキストはあくまで入門レベルのものであるので、設題に対する解答などより深く国際金融を理解するためには参考文献を利用した学習が不可欠となる。また、日々の国際金融に関するニュースとその解説に関心を持つことも、最新の国際金融の問題を理解する上で欠かせないものである。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 指定市販本『国際金融のしくみ』第 4 版（有斐閣アルマ）、有斐閣、秦 忠夫・本田敬吉・西村陽造著、2012 年、¥ 2,000+税

5 学習指導、注意点等 国際金融論 II は国際金融論 I における基礎的な理論が修得できていることが必要となる。また、マクロ経済的な知識や国際経済に関する知識も同様に必要とされる。そのため、国際金融の歴史や制度に関する知識の習得に専念するのではなく、幅広く国際金融の現象を考えることが肝要である。また、他の社会科学と同様に国際金融論でも論理的

な思考が不可欠である。経済現象には理論によって説明される論理必然的な因果関係が存在すると言ってもよい。例えば、金利の上昇がなぜ円高をもたらすのかと考えると、その背後における理論から導き出される論理的な帰結を考える必要がある。このような理論的な連鎖の関係を理解することが重要であり、学習する上で常に論理的に考えることが求められる。

社会経済学Ⅰ

教科担当責任者：原 伸子

担当者：相沢 裕紀、原 伸子

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 1. 資本主義経済システムの歴史的性格を理解すること。

2. 現代資本主義において生起する諸問題を基礎理論にまでさかのぼって理解するための概念を習得すること。

2 科目の概要 社会経済学の対象は歴史的に存在し発展する資本主義社会の経済システムです。したがって社会経済学の内容を理解するためには歴史的視点が重要になってきます。歴史的視点とは、われわれが生活する資本主義社会およびそれを理論化する体系を動態的にとられ、展開することです。すなわち、18 世紀末から 19 世紀初頭の産業革命によって成立した資本主義社会、20 世紀初頭の独占資本の成立と国家の介入、戦後の福祉国家体制、グローバリゼーションと福祉国家の変容などを理解するための理論体系を学びます。社会経済学Ⅰでは、価値・商品（市場システム）、資本の生産の基礎理論に重点をおきます。

3 成績評価基準 成績は規定にもとづいて、レポートと試験で評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『現代経済と経済学（新版）』、有斐閣、増田壽男・沢田幸治編、2007 年、¥ 2,800+税

5 学習指導、注意点等 学習は本来、受動的なものではなく、主体的に行われるものです。通信教育課程はそのような本来の学問姿勢がまさに試される場です。日頃から現実に対する問題関心を持ちながら勉学に励むことによって、充実した学生生活を送ることができるでしょう。レポート作成にさいしては、テキストをよく読んで与えられた課題に正確に答えることがまず前提になりますが、それとともに、現実に対する自らの問題意識との関連性が問われる場でもあります。質問も含めて積極的な取り組みに努めてください。

社会経済学Ⅱ

教科担当責任者：原 伸子

担当者：相沢 裕紀、原 伸子

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 1. 資本主義経済システムの歴史的性格を理解すること。

2. 現代資本主義において生起する諸問題を基礎理論にまでさかのぼって理解するための概念を習得すること。

2 科目の概要 社会経済学の対象は歴史的に存在し発展する資本主義社会の経済システムです。したがって社会経済学の内容を理解するためには歴史的視点が重要になってきます。歴史的視点とは、われわれが生活する資本主義社会およびそれを理

論化する体系を動態的にとらえ、展開することです。すなわち、18 世紀末から 19 世紀初頭の産業革命によって成立する資本主義社会、20 世紀初頭の独占資本の成立と国家の介入、戦後の福祉国家体制、グローバリゼーションと福祉国家の変容などを理解するための理論体系を学びます。社会経済学Ⅱでは、資本蓄積（雇用・失業・成長）、社会的再生産、競争と価格、信用、農業、産業循環、福祉国家の危機（新保守主義の登場）などを理解するための基礎理論に重点をおきます。

3 成績評価基準 成績は規定にもとづいて、レポートと試験で評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『現代経済と経済学（新版）』、有斐閣、増田壽男・沢田幸治編、2007 年、¥ 2,800+税

5 学習指導、注意点等 学習は本来、受動的なものではなく、主体的に行われるものです。通信教育課程はそのような本来の学問姿勢がまさに問われる場です。日頃から現実に対する問題関心を持ちながら勉学に励むことによって、充実した学生生活を送ることができるでしょう。レポート作成にさいしては、テキストをよく読んで与えられた課題に正確に答えることがまず前提になりますが、それとともに、現実に対する自らの問題意識とその関連性が問われる場でもあります。質問も含めて積極的な取り組みに努めてください。

経済史Ⅰ

教科担当責任者：杉浦 未樹

担当者：杉浦 未樹

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 1) 市場経済がどのように発展していったかを理解する。

2) またそれには様々な類型があったことを理解する。

3) 論理的な文章が書けるようになること。

2 科目の概要 本科目の目的は、その成立以来 200 年以上に及ぶ市場経済の歴史を概観することによって、経済社会の仕組みを理解するとともに経済学の考え方を身に付けることにある。その主要素材として、市場経済システムが最初に確立した欧米の経済史を取り上げる。経済史である以上、生産・流通・金融・財政の各方面の動きを追っていくが、企業経営の歴史にも留意する。

3 成績評価基準 レポート評価に当たっては、下記を重視する。

1) 教科書、参考書等の丸写しは不可。必ず自分の考えを盛り込む。

2) レポート作成に使用した参考文献は脚注で明記する。

3) 誤字、脱字に注意すること。

4) 字数の標準を遵守すること。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『図説西洋経済史』、日本経済評論社、飯田隆著、2005 年、¥ 2,500+税

※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 テキストだけでなく、その中で引用されている関連文献なども積極的に学習すること。

現代的視点から歴史を理解する態度を身につけてほしい。

経済史Ⅱ

教科担当責任者：牧野 文夫

担当者：牧野 文夫
単位数：2 単位

- 1 学習の到達目標** 1) 日本における市場経済がどのように発展していったかを理解する。
2) またそれに対し、国内的、国際的要因がどのように作用したか理解する。
3) 論理的な文章が書けるようになること。

2 科目の概要 本科目の目的は、近世（徳川時代初期）から現在に至る時期までの日本の経済の発展の過程を概観することによって、日本の経済・社会の発展の仕組みを理解し、また現在の日本経済の到達点やそれが抱えている問題を歴史的経路から理解することにある。

- 3 成績評価基準** リポート評価に当たっては、下記を重視する。
1) 教科書、参考書等の丸写しは不可。必ず自分の考えを盛り込む。
2) リポート作成に使用した参考文献は脚注で明記する。
3) 誤字、脱字に注意すること。
4) 字数の標準を遵守すること。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『日本経済史』改訂新版、放送大学教育振興会、宮本又郎編著、2012 年、¥ 2,700+税

5 学習指導、注意点等 テキストだけでなく、その中で引用されている関連文献なども積極的に学習すること。
現代的視点から歴史を理解する態度を身につけてほしい。

統計学Ⅰ

教科担当責任者：森 博美

担当者：森 博美
単位数：2 単位

- 1 学習の到達目標** 2007 年に改正された統計法では、その第 1 条で政府統計が「国民にとって合理的な意思決定を行うための基盤となる貴重な情報である」と謳われています。本科目では、受講者が統計についての学習を通してデータに基づいて現状に関する客観的認識を行ない、またデータに基づいて合理的な行動できるようになること、統計を使って様々説明されている点について、統計利用が適切に行われているかどうかを吟味できる能力を身につけるようになることを目的としています。

2 科目の概要 データを適切に利用するためには、解析手法だけでなく、必要なデータの適切な選び方、統計データの処理の仕方、その結果の正しい読み方、分析結果の適切な表現といったことが求められます。

このため設題では、様々な今日の社会・経済問題の中からテーマを選び、それについて具体的な統計データを用いて分析してもらうことにしています。

3 成績評価基準 論文作成にあたっては、論点の絞り込みや論文構成、さらには個々の論点に対応する統計データが適切に使用されているかなどを中心に提出された論文の記述内容を評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『調査と分析のための統計』第 2 版、丸善、上藤一郎・森本栄一・常包昌宏・田浦元著、2013 年、¥ 2,500+税

※初版（2006 年）の使用も可

※【スタディガイド（学習指導書）】あり

テキストの学習範囲は、第 2 版では第 1 章～第 11 章（第 4 章を除く）です。初版では第 1 章～第 10 章です。スタディガイドは、初版をもとに作成しているため学習範囲は第 1 章～第 10 章として記載しています。また第 2 版の第 4 章は特に範囲として追加はしませんが、統計利用の際に大変参考になる内容を持っていますので、一読することをお勧めします。

各種の白書、論文、雑誌記事、政府その他が統計報告書、ウェブ、統計年鑑などによって公表している統計を参考にしながら論文を作成してもらうことにしています。なお、統計データの読み方については、多数の本が市販されています。

5 学習指導、注意点等 論文を執筆する際には、必ず予め全体の構成について十分練り上げて、そのそれぞれの部分をどのような資料を参考にしながら自分の考えを展開するかを検討してください。また、論文の冒頭には、設定された課題に対してどのような視角からアプローチするかを、また結びには考察の結果得られたことに関する自分の考えを必ず述べるようにして下さい。

統計学Ⅱ

教科担当責任者：森 博美

担当者：森 博美
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 この講義では、データに基づく論旨の展開能力、データを用いた主張等について、データが適切に使用されているかどうかの判別能力を身に付けてもらうことを学習の到達目標として考えています。

2 科目の概要 日常生活の中には様々な情報があふれています。そのような現代の生活の中で、私たちには、あふれる情報の中から新に意味のある情報をすくい取り、それらを適切に使うことによって、適切な認識に基づく判断や行動をすることが求められています。

統計学は、正確な統計がどのようにしたら作れるか、また作成公表される統計データを正しく読み取るにはどのようにすればよいかといったことに関する学問です。このため設題では、様々な社会問題を取り上げ、それについて具体的な統計データを用いて分析を行ってもらうようにしています。

3 成績評価基準 提出された論文の評価については、論点が適切に絞り込まれているか、論旨の展開にデータが有効に活用されているか、論旨が首尾一貫したストーリー性をもって展開されているかどうか、という点から評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『調査と分析のための統計』第 2 版、丸善、上藤一郎・森本栄一・常包昌宏・田浦元著、2013 年、¥ 2,500+税

※初版（2006 年）の使用も可

※【スタディガイド（学習指導書）】あり

テキストの学習範囲は、第 2 版では第 1 章～第 11 章（第 4 章を除く）です。初版では第 1 章～第 10 章です。スタディガイドは、初版をもとに作成しているため学習範囲は第 1 章～第 10 章として記載しています。また第 2 版の第 4 章は特に範囲として追加はしませんが、統計利用の際に大変参考になる内容を持っ

ていますので、一読することをお勧めします。

その他にも統計データの読み方に関しては、多数の書籍が市販されていますのでそれらを参考にしてください。

5 学習指導、注意点等 論文を執筆する際には、必ず予め全体の構成について十分練り上げて、そのそれぞれの部分をどのような資料を参考にしながら自分の考えを展開するかを検討してください。また、論文の冒頭には、設定された課題に対してどのような視角からアプローチするかを、また結びには考察の結果得られたことに関する自分の考えを必ず述べるようにして下さい。

財政学 I

教科担当責任者：廣川 みどり

担当者：大澤 覚、廣川 みどり

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 日本財政の現状を把握し、どうあるべきかについて考えるための基礎的な知識と論理的思考力を身につけることが目標になります。

2 科目の概要 財政学とは政府の経済活動について考える学問領域です。政府の経済活動にはどのようなものがあるか、どれだけの規模か、そもそも政府が経済介入することの意味とはなにか、消費税率をあげることの意味はあるのか、租税と公債とでは効果が異なるのかどうか、赤字国債の発行の長所や短所は何なのか、等について考えていくことになります。財政学の学習には制度・現状の把握のほかに理論を学ぶことが必要になります。財政学を学ぶことで経済理論の使い方をも修得し、現実の経済をながめるようになっていただければ幸いです。財政学 I では特に、(1) 経済活動における政府の役割の理解、(2) 日本の財政制度や財政問題の把握、(3) 政府支出や租税の理論の習得、の3点が中心になります。指定テキストの第1章から第5章までが習得範囲ということになります。

3 成績評価基準 単位修得試験の結果が成績になります。(1) 基本用語を把握すること、(2) 論理的な流れを理解すること、(3) 各章末問題を解くこと、(4) 参考書（またはネットの情報）をもとにデータについての最新の値を把握しておくこと、そのうえで、(5) 自分なりの財政についての考え方を持てば、単位が賦与されることになります。試験問題の回答にあたっては、テキストの内容を反映させるのはもちろんのこと、ネットや図書館を利用して調べた情報をもとに、テーマにどう答えたらよいかよく考えて書いて下さい。

4 テキスト名および詳細 テキストとインターネット上のデータ（またはネットにアクセスできない人は参考書のデータ）を用いて学習して下さい：

テキスト：指定市販本 林宜嗣『基礎コース財政学、第3版』新世社、2011年、¥2,350+税

※【スタディガイド（学習指導書）】あり

参考書：

・矢野恒太記念会『日本国勢図会』国勢社、最新年度版。

・『図説日本の財政』東洋経済新報社、最新年度版。

ホームページ上の情報

・日本の財政関係資料（最新年度版）：http://www.mof.go.jp/budget/fiscal_condition/related_data/201610.html

・財政投融资リポート：http://www.mof.go.jp/filp/publication/filp_report/zaito2016/index.htm

テキストは10章からなります。財政学 I では、その第1章か

ら第5章までの内容を範囲とします。

5 学習指導、注意点等 学習については以下の形で進めて下さい：

(1) ノートを用意してください。

(2) テキストを開く前に、自分がいま「政府の経済活動」についてどのような知識を持っているか、ノートの第一頁に書いて下さい。単語だけ（消費税とかダム工事など）でもいいし、自分なりの意見でもかまいません。

(3) テキストをもとに自分でノートを作成してください。そのさい、データについてはホームページまたは参考書から、新しいものを確認しておくこと。また、新聞やTVのニュースにも敏感になってください。

(4) 理論的な部分についてはミクロ経済学（あるいは経済学入門）の教科書を参考にしてください。

(5) 各章末の問題を解き、内容を理解しているか確認して下さい。

(6) 最初の頁に、自分が理解したことを書き込み、何を得たかをチェックしましょう。

(7) その後、設題に取り組んで下さい。以上の作業ができていれば、できるはずです。教科書やネット情報の丸写しでなく、自分のことばでまとめてください。

財政学 II

教科担当責任者：廣川 みどり

担当者：大澤 覚、廣川 みどり

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 財政学 I の知識を前提としたうえで、税制の問題、社会保障問題、マクロ経済政策、地方財政問題等の、政府が実施している様々な政策を眺めていくことで、現実の経済を見る目を養います。

2 科目の概要 財政学とは政府の経済活動について考える学問領域です。政府の経済活動にはどのようなものがあるか、どれだけの規模か、そもそも政府が経済介入することの意味とはなにか、消費税率をあげることの意味はあるのか、租税と公債とでは効果が異なるのかどうか、赤字国債の発行の長所や短所は何なのか、等について考えていくことになります。財政学の学習には制度・現状の把握のほかに理論を学ぶことが必要になります。財政学を学ぶことで経済理論の使い方をも修得し、現実の経済をながめるようになっていただければ幸いです。財政学 II では特に、(1) 日本の税制と税制改革、(2) 社会保障の財政問題、(3) マクロ経済政策、(4) 地方財政の4点が中心になります。指定テキストの第6章から第10章までが習得範囲ということになります。

3 成績評価基準 単位修得試験の結果が成績になります。(1) 基本用語を把握すること、(2) 論理的な流れを理解すること、(3) 各章末問題を解くこと、(4) 参考書（またはネットの情報）をもとにデータについての最新の値を把握しておくこと、そのうえで、(5) 自分なりの財政についての考え方を持てば、単位が賦与されることになります。試験問題の回答にあたっては、テキストの内容を反映させるのはもちろんのこと、ネットや図書館を利用して調べた情報をもとに、テーマにどう答えたらよいかよく考えて書いて下さい。

4 テキスト名および詳細 テキストとインターネット上のデータ（またはネットにアクセスできない人は参考書のデータ）を用いて学習して下さい：

テキスト：指定市販本 林宜嗣『基礎コース財政学、第3版』新

世社、2011 年、¥2,350+税

※【スタディガイド（学習指導書）】あり

参考書：

・矢野恒太記念会『日本国勢図会』国勢社、最新年度版。

・『図説日本の財政』東洋経済新報社、最新年度版。

ホームページ上の情報

・日本の財政関係資料（最新年度版）：http://www.mof.go.jp/budget/fiscal_condition/related_data/201610.html

・財政投融资リポート：http://www.mof.go.jp/filp/publication/filp_report/zaito2016/index.htm

テキストは 10 章からなります。財政学Ⅱでは、その第 6 章から第 10 章までの内容を範囲とします。

5 学習指導、注意点等 学習については以下の形で進めて下さい：

(1) 財政学Ⅰの知識を前提としています。復習を行ってから取り組んで下さい。

(2) ノートを用意してください。

(3) 財政学Ⅱで何を学んだかを考えて、それをノートの第一頁に書いて下さい。

(4) テキストをもとに自分でノートを作成してください。そのさい、データについてはホームページまたは参考書から、新しいものを確認しておくこと。また、新聞や TV のニュースにも敏感になってください。

(5) 理論的な部分についてはミクロ経済学やマクロ経済学（あるいは経済学入門）の教科書を参考にしてください。

(6) 各章末の問題を解き、内容を理解しているか確認して下さい。

(7) 最初の頁に、自分が理解したことを書き込み、何を学んだかを確認しましょう。

その後、設題に取り組んで下さい。以上の作業ができていれば、できるはずです。教科書やネット情報の丸写しでなく、自分のことばでまとめてください。

経済政策論Ⅰ

教科担当責任者：小黒 一正

担当者：小黒 一正、持元 江津子

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 ①古典派の理論を学び、経済成長の諸要因を理解する。②ケインジアン理論を学び、景気変動の諸要因を理解する。③財政金融政策がマクロ経済に及ぼす短期的・長期的影響を理解する。

2 科目の概要 経済政策は非常に範囲が広いが、その理解や考察には「マクロ経済学」「公共経済学」の知識が必要不可欠である。このうち前者の「マクロ経済学」には二つの対立する考え方が存在する。一つは市場の円滑な機能を前提に組み立てられた「古典派」の理論であり、もう一つは（少なくとも短期的には市場が円滑に機能しないことを前提に）財に対する総需要の大きさが財の総供給や経済全体の所得を決定すると仮定する「ケインジアン」の理論である。このどちらの理論が妥当かという判断によって、財政政策・金融政策をはじめ、マクロ経済政策の処方箋が異なってくる。そこで、「経済政策論Ⅰ」では、財政政策・金融政策との関係を含め、現代的な「マクロ経済学」の基礎的な内容を学んで欲しい。

3 成績評価基準 成績評価は 100 %「単位修得試験」による。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『マクロ経済学入門』ミネルヴァ書房、麻生良文著、2009 年、¥ 3,500+税

5 学習指導、注意点等 現在のマクロ経済学は応用ミクロ経済学の色を強めており、本来はミクロ経済学の基礎知識が履修の前提となるが、本科目のテキスト（『マクロ経済学入門』麻生良文、ミネルヴァ書房、2009 年）は、そのような知識がない初学者でも学習できるように構成されている。なお、本テキストには一定の数式が登場するが、「古典派」「ケインジアン」の理論が対立する形式で記載されている良書であるため、意欲的に取り組んで欲しい。

なお、以下の書籍も有益である。

マンキュー『マンキュー経済学Ⅱ マクロ編』東洋経済新報社（入門用）

マンキュー『マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ』東洋経済新報社（中級）
福田慎一・照山博司『マクロ経済学・入門』有斐閣アルマ
スティグリッツ『スティグリッツ マクロ経済学』東洋経済新報社

経済政策論Ⅱ

教科担当責任者：小黒 一正

担当者：小黒 一正、持元 江津子

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 ①「政府の役割」や「価格メカニズムの役割」を理解する。②公共財の供給決定メカニズムや外部性の解決方法を理解する。③課税や公債の負担、財政政策の効果について理解する。

2 科目の概要 経済政策は非常に範囲が広いが、その理解や考察には「マクロ経済学」「公共経済学」の知識が必要不可欠である。このうち後者の「公共経済学」では「政府の役割」「価格メカニズムの役割」を考察しつつ、政府はどの分野に関与すべきで、どの分野は市場に任せておけば良いのかという議論を扱う。また、「政府の失敗」「市場の失敗」が起こる原因や解決方法、課税や公債の負担、財政政策の効果についての理解も重要である。そこで、「経済政策論Ⅱ」では、公共財の供給決定メカニズムを含め、現代的な「公共経済学」の基礎的な内容を学んで欲しい。

3 成績評価基準 成績評価は 100 %「単位修得試験」による。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『公共経済学』（有斐閣アルマ）、有斐閣、林 正義・小川 光・別所俊一郎、2010 年、¥ 2,300+税

5 学習指導、注意点等 理論経済学と財政学の学際分野である「公共経済学」は応用ミクロ経済学の一分野として位置づけられ、本来はミクロ経済学の基礎知識が履修の前提となるが、本科目のテキスト（『公共経済学』（林正義・小川光・別所俊一郎、有斐閣、2010 年）は、そのような知識がない初学者でも学習できるように構成されている。なお、本テキストには一定の数式が登場するが、所得税や消費税といった税制の根本問題や公債の負担に関する議論を丁寧に考察している良書であるため、意欲的に取り組んで欲しい。

なお、以下の書籍も有益である。

スティグリッツ『公共経済学 上』東洋経済（入門用）

スティグリッツ『公共経済学 下』東洋経済（入門用）

麻生良文『公共経済学』有斐閣（中級）

井堀利宏『基礎コース公共経済学』新世社（中級）

井堀利宏『公共経済の理論』有斐閣（上級）

日本経済論Ⅰ

教科担当責任者：長原 豊

担当者：長原 豊
単位数：2 単位**1 学習の到達目標** 日本経済の「史的展開」とその「理論」的な理解（日本経済論Ⅱの基礎理論）**2 科目の概要** 1 明治期から戦間期における日本資本主義の形成過程を跡づけることを課題とする。

2 その際、第一に支配的な資本蓄積様式における変化をつねに意識した理解を求める。また第二に、したがって、それぞれの蓄積様式に即した政策展開を具体的に理解できるような視点を確立する。

3 戦前期における蓄積様式と戦後期におけるそれとの連続性と断続性が理解できるような視点を確立する。したがって「現状分析」がつねに意識されている。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験によって評価する（ただし、レポート学習もしっかり行うこと）。**4 テキスト名および詳細** 指定市販本 三和良一『概説 日本経済史 近現代』第3版、東京大学出版会、2012年、¥2,500+税（戦前期については本書）**5 学習指導、注意点等** 指定されたテキストをしっかり読み、ノートを作るだけでなく、指定しなかった文献も上記二書から必要なものを探し出し、学習すること。

日本経済論Ⅱ

教科担当責任者：長原 豊

担当者：長原 豊
単位数：2 単位

※ 2016 年 4 月よりテキスト（指定市販本）変更

1 学習の到達目標 戦後日本資本主義の展開を俯瞰的に把握すること。**2 科目の概要** 1 敗戦後における経済システムを史的に把握すること。

2 1の過程を政治経済過程として理解する視点を獲得すること。

3 いわゆる「失われた20年」に到る過程の必然性を理解すること。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験によって評価する（ただし、レポート学習もしっかり行うこと）。**4 テキスト名および詳細** 指定市販本 杉山伸也『日本経済史 近世－現代』岩波書店、2012年、4,000円+税（マクロな視点によって「バブル期」まで記述した日本経済史＝日本経済論）。**5 学習指導、注意点等** 指定されたテキストをしっかり読み、ノートを作るだけでなく、指定しなかった文献も上記二書から必要なものを探し出し、学習すること。

経済学史

教科担当責任者：平瀬 友樹

担当者：岡本 利光、平瀬 友樹
単位数：4 単位

※ 2016 年 4 月より新規履修はできません。

1 学習の到達目標 本講義は、経済理論の歴史について解説を行うものである。経済理論の形成過程が市場原理について肯定的な思想とそれに否定的な思想との対立によって生み出されてきたものであるということを理解するが目標される。**2 科目の概要** 学習によって、①主流派だけではなく非主流派についても詳細な解説を行う、②対象の学説と最新の理論との関連性についても明らかにする、という2つの観点が身につけられよう。これは、その歴史が新しい（異質な）思考の「積み重ね」というよりも、いくつかの思考の「繰り返し」として表現されるためである。**3 成績評価基準** 純粋に身につけた知識によって評価される。なお、個別の事情などは一切考慮しないので注意すること。**4 テキスト名および詳細** 指定市販本『コア・テキスト経済学史』、新世社、井上義朗著、サイエンス社（発売）、2004年、¥2,650+税**5 学習指導、注意点等** 本科目は経済史ではなく、経済学史＝理論の歴史である。そのため、『現代経済学の基礎』を履修しておくか、あるいはミクロ経済学・マクロ経済学について同等の予備知識がなければ単位の習得は困難であると思われる。

工業論

教科担当責任者：馬場 敏幸

担当者：馬場 あゆみ、馬場 敏幸
単位数：4 単位

※ 2016 年 4 月より新規履修はできません。

1 学習の到達目標 アジアの経済発展を工業・産業技術の観点で学び、理解を深める。**2 科目の概要** 本科目では、発展の著しいアジアの経済発展を工業・産業技術の観点で学んでもらいたいと考えている。具体的にはアジアの経済発展・工業化をいくつかの視点から学び、さらに産業別にも理解を深めてもらいたい。また、アジアのキャッチアッププロセスとイノベーションへの転換についても理解を深めてもらいたい。

まずアジアの工業化についていくつかのフレームワークの中で概観する。具体的には、開発経済学からみたアジアの工業化とイノベーション、世界経済的フレームワークの中でのアジア工業化・経済発展の位置づけと経緯、技術論・学習論の視点によるアジアのキャッチアップメカニズム、アジアの産業集積、経済発展・イノベーションと裾野産業（サポーティング・インダストリー）の貢献である。

そして各論で、アジア経済発展・工業化の代表的推進産業である自動車産業と電気電子、さらにそれらを支援する鉄鋼産業、工作機械産業、金型産業などについても理解を深めてもらいたい。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたりポートの内容も考慮する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『アジアの経済発展と産業技術』、ナカニシヤ出版、馬場敏幸編著、2013 年、¥2,500+税

5 学習指導、注意点等 本科目は、基本的にはテキストを読んで、理解を深めるというスタイルで取り組んで頂きたい。日常的にも、今日的なアジアや世界経済の情勢を考える時、産業間の関係、技術、サポーティング産業などの問題意識を持って、眺めて頂きたいと思う。

社会政策

教科担当責任者：菅原 琢磨

担当者：菅原 琢磨

単位数：4 単位

※ 2016 年 4 月より新規履修はできません。

1 学習の到達目標 本科目では社会政策に関する基本的な内容、特に少子高齢化が進展する中でわが国が直面する社会政策上の課題とその背景を概説し、それへの制度対応、政策動向について基礎的知識の習得、理解を深めることを主たる目的とする。より具体的には以下の各点を本科目の到達目標とする。

- ・社会政策論で扱われる対象を理解し、社会政策の歴史的経緯の概要を説明できる。
- ・現代日本の雇用問題、労働政策の概要を理解し説明できる。
- ・わが国の医療・介護・年金制度（政策）の現状と課題の概要を理解し説明できる。
- ・わが国の社会福祉制度（政策）の現状と課題の概要を理解し説明できる。

2 科目の概要 急激に変容する社会において社会政策でカバーされる領域は広がりを見せているが、人々の「仕事」と「生活」を取り巻く環境や福祉全般の改善とともに生活水準全般の向上を図っていくことを目的とした諸政策を総称したものと捉えられる。ここには雇用・労働政策、生活保護、医療・介護・年金・福祉といった社会保障政策など人生の様々な局面に関わる政策が含まれる。

本科目では、社会政策の領域と現代の経済社会において果たすべき基本的な役割について理解した後、各分野の個別の政策・制度を概観する。また同時にそれらが対象としている問題、課題について、それらが生じた社会的背景、原因についても理解を深める。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし当然、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 【テキスト】（2冊使用）

- ・指定市販本『はじめての社会保障』第 13 版、有斐閣、棕野美智子・田中耕太郎著、2016 年、¥1,800+税
- ※第 9 版（2012 年）以降の使用も可とする
- ・指定市販本『福祉の総合政策』新訂五版、創成社、駒村康平著、2011 年、¥3,000+税

【参考文献】

駒村康平『最低所得保障』岩波書店、2010 年。

小塩隆士『人口減少時代の社会保障改革』日本経済新聞社、2005 年。

松谷明彦『人口減少経済の新しい公式』日本経済新聞社、2004 年。

5 学習指導、注意点等 本科目で扱う内容はさわめて幅広い。テキスト以外にも日頃から新聞・雑誌などで触れられる社会政策をめぐる時事的トピックスについては、自発的に関心をもって目を通しておくこと。

憲法

教科担当責任者：建石 真公子

担当者：建石 真公子、土屋 仁美

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 第 1 に、近代憲法の原理を学ぶとともに、日本の憲法の特徴は何かを理解する

第 2 に、日本国憲法の保護している人権の内容、その保障の現状および課題について理解する

第 3 に、日本国憲法における統治機構、三権分立、違憲審査制、地方自治について理解する

2 科目の概要 この科目では、憲法という法を支えている「原理」、憲法制定の目的である「人権」、及び統治機構の原理と運用及びその課題について理解することを目的としている。

現在の国際社会の約 190 カ国において、ほぼどの国も「憲法」を制定している。しかし、具体的な内容や実際の運用においては、各国の歴史や社会、宗教、国際関係などの影響により多様である。

日本は、最初の明治期の大日本帝国憲法、敗戦後の日本国憲法ともに、西欧の立憲主義を受容したものであり、それまでの日本の社会を制度的にも思想的にも大きく変えたという特徴を持っている。

この科目では、このように歴史や社会のあり方、国際社会などとの関係によって影響を受ける憲法について、憲法という法を支えている基本的な「原理」である国民主権や民主主義、権力分立、また人権の概念やその保障について理解することを目的とする。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたレポートの内容を考慮する。

4 テキスト名および詳細 ・指定市販本『現代日本の憲法 [第 2 版]』、法律文化社、元山 健・建石真公子編、2016 年、¥2,800+税

※初版（2009 年）も使用可

【参考文献】

『(別冊ジュリスト) 憲法判例百選Ⅰ 第 6 版』有斐閣、2013 年

『(別冊ジュリスト) 憲法判例百選Ⅱ 第 6 版』有斐閣、2013 年

5 学習指導、注意点等 憲法の学習としては、まず、教科書を読み理解し、次に、教科書で参照されている判例について判例集を読んで具体的な事件との関係で理解する、というのが基本である。

まずは、近代憲法の原理、人権の基本原則をつかんだうえで、人権を保障し民主主義を維持する、という目的に照らして、裁判所や国会、行政などの仕組みを学ぶと理解しやすいだろう。

より深く学習するには、教科書に紹介されている論文や専門書を読み、また法学セミナー、法律時報、法学教室、ジュリストなどの法律雑誌に掲載されている関連する論文等を読むと興味が深まるだろう。

憲法は政治や歴史、国際関係と密接な関連を持っているため、日ごろから新聞などに目を通し、国内政治や国際政治等に関心を持ってください。

民法一部（総則・物権法）

教科担当責任者：大澤 彩

担当者：大久保 慎太郎、大澤 彩
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 契約、物、家族といった私達の生活の基本的なルールを定めている民法のうち、民法全体に共通するルールからなる「民法総則」部分、および、物についての規範である「物権」部分を中心に、基本的な内容を理解することを目標とする。

2 科目の概要 民法には、契約（売買、賃貸借など）、物（所有権、担保）といった取引社会の基本要素に関するルールが設けられている。経済活動のあり方を考える上では、法律による取引活動の規律がいかなるものであるかを学ぶ必要があるが、その際に民法を学ぶことは非常に重要である。本科目では民法のうち、民法全体に共通する規範である「民法総則」および物権に関する規範である「物権法」を学習する。具体的には、民法総則では、通則、権利の主体・客体、法律行為、時効制度などについて、物権では、所有権等の各種物権や担保物権などについての理解を深める。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたレポートの内容を考慮する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『民法 総則・物権』第 5 版（有斐閣アルマ）、有斐閣、山野目章夫著、2012 年、¥1,800+税
※第 4 版（2007 年）の使用も可

5 学習指導、注意点等 学習にあたっては、必ず六法を傍らに置くこと。民法を勉強する上で、とりわけ民法全体に共通するルールである民法総則の知識は不可欠であるが、民法総則の条文には抽象的なものが多いので、条文を見ただけでは具体的な要件・効果が判然としないことがほとんどである。そこで、テキストを熟読し、各条文の要件・効果を判例や学説をふまえて具体的に理解することが必要となる。その際、判例や学説は必ずしも単一ではないことから、指定されたテキストはもちろん、推薦されている参考書や『民法判例集（総則・物権）』『民法判例百選』（いずれも有斐閣より発売）等で判例や学説の理解を深めることが大切である。また、民法を勉強する上で判例は非常に重要な素材である。判例を理解するにあたっては、単に判例の結論のみにとらわれず、当該事案の具体的な内容や争点をふまえながらなぜそのような結論が提示されたのかを考察するよう努めてほしい。

なお、総則の一部は改正が予定されている。審議経過や法案等につき、法務省の HP で確認すること。

民法二部（債権法）

教科担当責任者：大澤 彩

担当者：明石 真昭、大澤 彩
単位数：4 単位

※ 2017 年 4 月よりテキスト（指定市販本）変更

1 学習の到達目標 民法のうち、取引に直接関係する債権総論、債権各論部分について、基本的な内容を理解することを目標とする。

2 科目の概要 民法には、契約（売買、賃貸借など）、物（所有権、担保）といった取引社会の基本要素に関するルールが設けられているが、本科目では民法のうち、取引に直接関係する債権総論、債権各論部分を学習する。具体的には、債権の目的、効力、譲渡、消滅、さらには多数当事者の債権・債務について定める債権総論部分についてはもちろん、債権の発生原因として重要な契約、事務管理、不当利得、不法行為について学ぶ。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたレポートの内容も考慮する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『債権（エッセンシャル民法 3）』有斐閣、永田眞三郎・松本恒雄・松岡久和・横山美夏著、2010 年、¥2,500+税

5 学習指導、注意点等 学習にあたっては、必ず六法を傍らに置くこと。しかし、民法の条文には抽象的なものが多いので、条文を見ただけでは具体的な要件・効果が判然としないことがほとんどである。そこで、テキストを熟読し、各条文の要件・効果を判例や学説をふまえて具体的に理解することが必要となる。その際、判例や学説は必ずしも単一ではないことから、指定されたテキストはもちろん、推薦されている参考書や『民法判例集（債権各論）』『民法判例集（債権総論・担保物権）』『民法判例百選（債権）』（いずれも有斐閣より発売）等で判例や学説の理解を深めることが大切である。また、民法を勉強する上で判例は非常に重要な素材である。判例を理解するにあたっては、単に判例の結論のみにとらわれず、当該事案の具体的な内容や争点をふまえながらなぜそのような結論が提示されたのかを考察するよう努めてほしい。

また、債権総論部分の条文には、債務不履行、自殺、債権譲渡など、直ちにはイメージがわからず、とっつきにくいものが多いので、まずは日常生活に身近であり、債権の発生原因として重要な契約、不法行為を最初に勉強することをおすすめする。

さらに、債権法については改正が予定されている。審議経過や法案など、法務省の HP を見て確認すること。

商法総則・商行為法

教科担当責任者：楢川 泰史

担当者：松谷 秀祐
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 企業組織・企業取引に関してわが国ではどのようなルール・仕組みが用意されているかについて基本的な知識を修得しており、それらルール・仕組みの概要を説明することができる。

2 科目の概要 本科目は、商法（明治 32 年法律 48 号）第 1 編総則（第 1 条から第 32 条）、第 2 編商行為（第 501 条から第 628 条）を主たる対象とします。

具体的には、上記 2 編における重要な規定、および関連する重要判例について出題を行い、企業組織および企業取引の法的特色、基本的なルール・仕組みについて理解することを目標とします。

3 成績評価基準 レポートの完成度および単位修得試験の成績で評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『商法総則・商行為法』第 4 版、新世社、田邊光政著、2016 年、¥2,980 + 税

5 学習指導、注意点等 本科目の学習に際しては、以下の 5 点について注意しながら学習を進めるよう心がけてください。

- (1) 概念や法技術の「つながり」を意識しながら学習を進める。
- 商法は他の法分野と比較して、なじみが浅く興味が持ちにくいと考えられがちです。確かに、商法の中には、特有な意味を有する特殊な概念や法技術が多く用いられています。しかし、それらの概念や法技術は、当然、一定の目的を達成するために、商法の中に用いられているのです。そこで、テキストを通読する際には、商法上の概念や法技術はそれぞれどのような目的や狙いを持っているのか、それぞれの概念や法技術は相互にどのような関連性を有しているのかという点に留意しながら読み進めていってください。そうすれば学習を進めていくにつれて、理解も深まり、商法の学習に興味を持てるようになるでしょう。
- (2) テキストを自分だけの本に加工する。
- ただ、漫然とテキストを読んでいるだけでは、情報が右から入って左から出ていくだけです。そこで、テキストを通読する際には、必ずペンなど筆記用具を持ちながら、読み進めていってください。
- その際、たとえば、条文の内容など、重要そうな概念を説明した箇所には赤のアンダーラインを引く、条文の文言が曖昧なために、判例・学説上争いがある箇所（このような箇所を「論点」とも言います。）には青のアンダーラインを引く、一読して意味がよくわからなかった箇所には「？」マークを余白に鉛筆で書く、というように、テキストを自分だけの本に加工していってください。最初は「？」マークだらけ、あるいは1ページ読み進めるのに1日かかることもあるでしょうが（私も法律の勉強を始めたころにはそうでした。）、着実に一步一步、歩みを進めていってください。
- (3) 常に傍らに六法、法律学小事典などを置いてテキストを通読する。
- テキストを読み進める際に、条文が出てきたら六法で該当条文を調べる、また、意味がわからない用語が出てきたら、有斐閣の『法律学小辞典』などの法律学辞典を調べるというくせをつけるようにして下さい。ごくまれに、テキストに書いてある文章を丸写しして、該当条文も調べない、自身で意味がよくわかっていない用語も調べていないリポートに出会いますが、そのような「手抜き」リポートは見た瞬間にわかります。一語一語、調べながら読み進めることは一見すると遠回りのようですが、実は、リポート合格、単位修得試験合格への一番の近道なのです。
- (4) 当事者の関係図などをメモにとりながらテキストを読み進める。

テキストを読んでいると、多数の当事者が出てくる事例にも遭遇します。たとえば、次のような事例があります。「**X**は**A**会社に対する貸金債権の担保のため**A**会社からアンゴラ毛糸を譲渡担保にとっていた。**A**会社の倒産後、**X**はこれを換価処分しようとしたが、**X**は金融業者であり、自ら買主を探すことはできなかったので、**A**会社の代表に毛糸の売却を依頼し、**B**はこれを**Y**に売却した。**B**は毛糸の売買の際、**X**のためにすることを示さず、また、**Y**会社はその毛糸が**A**会社より**X**に譲渡担保に供されていたことを知らなかった。**X**が**Y**会社に代金を請求したところ、**Y**会社は**A**会社に対する反対債権と売買代金債務を相殺したと主張した（テキスト 179 ページ）。」どうでしょうか。一読して、当事者関係および事案の流れを明確に把握できたでしょうか。テキストではこのような複雑な事例が多く出てきますので、そのような事例に遭遇した際には、頭の中だけで悩むのではなく、実際に当事者関係の図（例：**X**→**A**会社代表**B**→**Y**）や、時系列の図（例：譲渡担保 → 倒産 → 代理行為）を付箋やノートに書きながら読みすすめていってください。

(5) 商法総則・商行為法はそれ自体で完結した科目ではないことに注意する。

シラバス冒頭で商法総則・商行為法は企業の組織および取引

引に関する科目であると説明しましたが、企業の組織および取引に関する規定の全てが商法・会社法に定められているわけではありません。

そのため、テキストを読み進める際、また、リポート作成の際、あるいは単位修得試験の対策の際には、他分野、特に、私人間の関係について広く一般的に規定した民法に関する知識が必要不可欠になります。

通学部あるいは通信教育部を問わず、受講生から、商法総則・商行為法の内容が難しい、理解できないという質問をよく受けるのですが、実はその悩みの主たる原因は、基本となる民法の知識及び思考方法が身につけていないことである場合が多いと感じています。ですから、遠回りのように感じるかもしれませんが、まずは民法各科目のテキストあるいは、たとえば、野村豊弘『民事法入門〔第6版〕』（有斐閣、2014年）などを通読し、民法の規定についてひととおり学習（復習）した上で、本科目の学習を始めると理解度が全く異なったものになるでしょう。

会社法

教科担当責任者：柴田 和史

担当者：笹久保 徹

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 会社法の重要かつ基礎的な知識を習得すること。

- ① 株式会社および持分会社に関する会社法上の制度の基本を正確に理解すること。
- ② 上記の知識を活用して、具体的な問題を解決する能力を身につけること。

2 科目の概要 株式会社に関する会社法上の基礎知識を学習する。

「会社法」は、2005 年（平成 17 年）に単独法典として成立したものであり、株式会社および持分会社について規定する。それ以前においては、1899 年（明治 32 年）以来、現行商法典の中に株式会社および持分会社に関する多くの規定が存在していた。したがって、会社法が成立する以前に株式会社や持分会社を勉強した人は、株式会社・持分会社に関する規定は、会社法〇〇条ではなく、商法〇〇条として記憶している。

会社法において重要かつ基本的なことを述べておこう。

株主になろうとする者が、通常、一定の金額の金銭を出資すると、株式会社に対する請求権の束としての「株式」が生じる。株式を表章する有価証券が株券である。株券を持つ者は、正当に株式を有するということが推定される。正当に株式を有する者を「株主」という。株主は、出資した金銭の集積されたものをうまく運用してその金額を増加させるために「取締役」を選任する。取締役は、①法令・定款・株主総会決議を遵守し、②善管注意義務を尽くし、③忠実義務を遵守しながら、株式会社の経営を行なわなければならない。取締役は会社の経営をうまく行い、剰余金を産出しなければならない。取締役が会社を営んだ結果として剰余金を産出した場合、株主は、その剰余金をさらなる出資に当てることもできるし、また、自分たちが受け取り、個人的に消費することもできる。この産出された剰余金のうち、株主が受け取る場所の金銭を「配当」という。わが国には、約 250 万社の株式会社が存在し、その中の約 4000 社の株式会社の株式のみが金融商品取引所に上場され、常に売買されている。このような株式を上場株式という。上場株式は、多くの場合、その需要供給のバランスから株価が定まる。上場株式を有する株主にとっては、配当が増加すること、および、上

場株式の株価が上昇することが、利益となる。

会社法は、比較的、まとまった法体系を規定しており、その意味では、学習しやすい法律といえることができる。なお、条文のほかに、判例によって形成された部分も少なからず存在するので、判例法についても十分に注意を払わなければならない。

3 成績評価基準 最終評価は単位修得試験で評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 柴田和史著『会社法詳解〔第2版〕』（商事法務、2015年）、¥5,400+税
※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 六法等を開いて会社法の条文を参照しつつ、指定したテキスト（柴田和史著『会社法詳解〔第2版〕』）をていねいに読み込むこと。また、電車の中など時間のあるときに、参考図書の柴田和史著『ビジュアル 図でわかる会社法（日経文庫）』（日本経済新聞出版社、2014年）を見てほしい。

① 会社法に限らず、およそ商法・民法・会社法・手形法などを学ぶに際しては、必ず条文を参照する習慣をつけること。六法を愛用し、とくは、六法の必要なページを開く習慣を身につけて欲しい。このようにして物事の根拠となる条文を使いこなす能力を習得していることが、法学部生の最大の長所である。

② 会社法で用いられている基本的な概念を正確に理解すること。たとえば、「株式」とは何か、「忠実義務」とはいかなる義務か、「株式」と「株券」の違いを正確に説明できるか、「吸収合併」と「株式交換」はどこが異なるか、などの基本的理解に関わる問いに答えることができるためには、テキストに述べてある各概念の定義や説明を丁寧に注意深く読むことが必要である。

③ 会社法は、比較的、ほかの法律の知識を必要としないで理解することのできる法律といえる。もちろん、民法における契約や債権債務関係の知識、不法行為に関する知識などは当然の前提として要求される。しかし、もっとも大きな問題は、全文で979条もあり、そのうえ、各条文が長いこと、六法のページ数を比較すれば、民法典の約2.5倍の分量があるということである。したがって、会社法に関しては、各条文がどのような内容を規定しているかを理解することが最初の大きな仕事となる。

④ 会社法においては、「株主」、「取締役」、「監査役」、「会社債権者」などが、基本的な登場人物である。取締役が具体的に会社法上のなんらかの行為をするとき、場合によっては、株主の利益を増加させ、同時に、会社債権者の不利益を増加させることがある。また、場合によっては、その逆のことがある。さらに、場合によっては、株主の不利益を増加させ、取締役の利益を増加させることがある。このように、会社法で規定されているさまざまな事象は、誰かと誰かの利害関係を緊張させる場合が多く、会社法は、その問題をさまざまな法的テクニックを駆使することによりバランスの取れた結論が導かれるように条文を設定している。学生は、条文の定めた内容をただ丸暗記するのではなく、ぜひそのあたりを理解した上で、会社法を内容豊かなものとして学んで欲しい。

学習に際して、指定テキスト（柴田和史『会社法詳解〔第2版〕』（商事法務、2015年））以外にも以下の図書が参考となる。

1. 柴田和史著『ビジュアル 図でわかる会社法（日経文庫）』（日本経済新聞出版社、2014年）、¥1,000（税抜）
2. 柴田和史著『類型別 中小企業のための会社法〔第2版〕』（三省堂、2015年）、¥2,800（税抜）
3. 北村雅史＝柴田和史＝山田純子著『現代会社法入門〔第4版〕』（有斐閣、2015年）、¥2,900（税抜）
4. 近藤光男＝柴田和史＝野田博著『ポイントレクチャー会社法〔第2版〕』（有斐閣、2015年）、¥3,800（税抜）
5. 岩原伸作ほか編『会社法判例百選〔第3版〕』（別冊ジュリスト229号）（有斐閣、2016年）、¥2,400（税抜）

なお、以上の参考図書を利用する場合に改訂版が出版されているときは、改訂版を参考にすること。

手形法・小切手法

教科担当責任者：櫛川 泰史

担当者：金尾 悠香、清水 真人
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 手形も小切手もそれ自体は徐々に使われなくなってきた道具ですが、そこで用いられている解釈技術は、民法（特に債権法）の理解を深め、現代的な決済システムにも応用できる有用な知識ですので、これを身につけるように努めていただきたいと思います。

2 科目の概要 手形には約束手形及び為替手形があります。わが国では、約束手形が主に利用されています。

手形（以下、小切手も含む）の総論（たとえば、手形行為など）を学び、さらに手形の振出、譲渡及び支払などを勉強します。

3 成績評価基準 最終成績は、単位修得試験により評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『商法Ⅲ手形・小切手』第4版（有斐閣Sシリーズ）、有斐閣、大塚龍児・林靖・福瀧博之著、2011年、¥2,100+税

5 学習指導、注意点等 民法総則・債権法を履修していることが望ましい。

労働法

教科担当責任者：藤本 茂

担当者：沼田 雅之、藤本 貴史、山本 圭子
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 （労働法総論・労働契約法）労働法の意義、目的を正確に把握し、労働契約法の仕組みを理解することが望まれる。

（労働基準法）労働基準法、最低賃金法など労働法規における労働条件基準を正確に理解することが目標である。

（労働組合法）労働組合の機能、団体交渉、争議行為等団体行動の法的保障と限界を正確に理解することが目標である。

2 科目の概要 労働者と使用者との労働関係を規律する労働法を個別的労働関係法と集団的労働関係法の二つに分けて学習する。近年、前者の個別労働関係法領域において、労働契約法や労働審判法などの新しい法律が制定されたり、労働基準法の大きな法改正がなされたりするなど、動きが激しい。他方、後者の集団的労働関係法領域についても、最近、労働組合法の改正がなされている。こうした絶えず法制度の改編が進む労働法のダイナミックな動きを具体的テーマに即してテキストをよく読んで、理解を深めてほしい。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 ・指定市販本『基礎から学ぶ労働法Ⅰ労働法総論・個別的労働関係法』第3版、エイデル研究所、金子征史・藤本 茂・大場敏彦・高野敏春著、2012年、¥2,381+税
・指定市販本『基礎から学ぶ労働法Ⅱ集団的労働関係法・社会保

障法』第2版、エイデル研究所、金子征史・藤本 茂・大場敏彦編、2016年、¥2,300+税

なお、上記指定テキスト『基礎から学ぶ労働法Ⅰ』は2017年に第4版が発行される予定である。学習開始時に第4版が発行されている場合は、その版を使用すること。

5 学習指導、注意点等 労働法は憲法25条の生存権保障理念の実現を労働者に保障することを目的とする一連の法体系である。こうした目的の実現を図るために、憲法では、労働者に対して、27条で、労働権保障・労働条件基準の法定化要求などを定めるとともに、28条で、団結権、団体交渉権、その他団体の行動権を保障している。こうした労働者の権利の実現を具体的に定める法が労働法である。こうした労働法は、大別すれば、憲法27条に基づく個別的労働関係法（労働基準法、最低賃金法、労働契約法など）の法体系と、憲法28条に基づく集団的労働関係法（労働組合法、労働関係調整法など）の法体系によって構成されているが、今日の労働者の置かれた状況をみると、雇用保障法領域や社会保障法領域なども、労働者の生存権保障にとっては重要な意義を有する労働法のもう一つの法体系となっている。労働法の学習は、まず、労働法の意義をあきらかにし、労働者に保障されている具体的労働法の内容を理解するところから始めなければならない。大学での限られた時間のなかで学ぶ労働法の対象は、そのすべてに及ぶわけではないが、少なくとも個別的労働関係法の中心となっている労働基準法、労働契約法、さらに、集団的労働関係法の中心となっている労働組合法は必ず学ばなければならない。そのうえで、余力があれば、社会保障法や雇用保障法にまで手を伸ばして勉強できればさらに充実した労働法の学習になると思われる。使用テキストは、社会保障法など労働法の関連法領域にまで意を尽くして記述しているので、テキストを丁寧に読んで学ぶことを心掛けてほしい。学問に王道はないといわれるが、労働法の世界でもまったくそのとおりであるので、テキストを熟読したうえで、レポートを作成してほしい。

社会思想史

教科担当責任者：伊海 孝充

担当者：伊藤 直樹

単位数：4単位

1 学習の到達目標 古代から20世紀にまでおよぶヨーロッパを中心とした社会思想史について、各時代ごとの思想の特徴を理解し、一定程度自分の言葉で語ることができるようにすることにある。

2 科目の概要 社会思想史とは、社会について、あるいは国家について、ひとがどのように考えてきたかを、歴史的にたどるものである。私たちは「個」として生きている。だが、その「個」は、逃れようもなく社会のなかに生きている。だとすれば、その「個」が生きているところの「社会」は、どのようなものであろうか。思想家たちが、古代において、16,17世紀において、また19世紀において、それぞれに社会をとらえ、またあるべき社会の姿を提示しようとしてきた。そうした社会についての思想をとらえることが、本科目の課題である。ただし、その社会のあり方は、現在私たちがもっているイメージと、共通している点もあれば、そうでない点もある。「歴史」という目を持ってみれば、おのずとそうなる。社会思想「史」であるとは、社会についての思想を歴史的に見ることであり、現在の私たちの状況

と、過去のそれとを見比べながら学ぶこともまた必要である。

3 成績評価基準 ・レポート評価

ごく基本的なこととして、誤字脱字、文章の主部と述部とが乱れていないか、また段落のつけ方が適切であるかといった点には注意されたい。ときおり、口語調の文体で、そうした点に無頓着な文章を見かける。これらのことは、内容の理解と密接に関係していると思われるからである。

次に、課題についてよく考えることである。その課題がなにを要求しているかを、自分なりに見極めること。よく調べ、丁寧に論述されていても、課題に相応しくなければダメである。

また、学ぶ内容は、過去の思想である。したがって、けっして自分の思い込みでレポートを書くことはできないはずである。まずは、自分の思い込みを脇に置いて、通教テキストに沿って理解してゆくことが大切である。だから、「自分なりの理解」は重要であるが、それは、レポートをまとめるさいの、その「まとめ方」や、ときとして必要になるはずの自分の言葉での「要約」に現われてくる。評価のさいには、そこに注目する。自分なりの「意見」を加えてもよいが、それは、そうした「自分なりの理解」を踏まえてのものであるだろう。

・筆記試験

レポートでの課題と関連した内容を問う。思想内容を客観的に理解できているかどうか、評価の基準となる。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『社会思想史』第2版、濱田義文・加来彰俊・湯川桂一郎・牧野英二・星野勉・安孫子信・笠原賢介・酒井健、2010年

まずは、通教テキストを、精読してもらいたい。そのうえで、章末に掲載されている参考文献、あるいは入手可能な関連文献などにあたってもらいたい。

5 学習指導、注意点等 レポートを書く際には、『自立学習の手引き』などを参照してもらいたい。

上述したが、まずは、通教テキストを精読して欲しい。テキストの精読を踏まえて課題を考え抜くことで、どのような内容と構成をもったレポートを書くべきかが、見えてくるはずである。その内容を決めてはじめて、参考文献にあたって欲しい。このような手順を踏んだかどうかは、レポートに如実に現われる。あえて言うと、この手順を逆にして作成されたレポート、つまり、課題をちらっと見て、関係ありそうな参考文献から抜き書きしただけのもの、そういうものは、書き手の理解がともなわない、ただ難しいだけのものになってしまう。これでは、学びとは言えない。

経済地理

教科担当責任者：伊藤 達也

担当者：伊藤 達也

単位数：4単位

1 学習の到達目標 経済地理学の基本的な考え方、方法を学ぶことによって、社会・経済現象に対して経済地理学からどのように捉えることができるかについて理解することを目的とする。

2 科目の概要 経済地理学は人文地理学の中で、特に経済現象を地理学的視角からとらえていくことを目的とする。テキストとして山本健児『経済地理学入門－地域の経済発展』（新版）を使用する。本テキストは経済地理学の基本的な考え方、方法論を最も適切かつ簡潔に記している。

3 成績評価基準 成績評価は設題に対するレポートと単位修

得試験による。

レポートについては、特に引用文献を適切に提示することに注意すること。

単位修得試験の場合、必ずテキストをすべて理解した上で臨むこと。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 山本健児『経済地理学入門－地域の経済発展』（新版）、原書房、2005年、¥2,800+税

5 学習指導、注意点等 成績評価基準に書いた通り。レポートは適切な引用と、自らのオリジナルな調査結果によって記述されるものである。その際、多くのレポートは引用によって成り立つものであるので、必ず、どの文献のどの部分を引用したかがわかるように本文中に記述すること。引用の仕方がわからない場合は、専門論文などを参考にして欲しい。

単位修得試験は解答者の意見を聞く場ではなく、解答者の適切な理解度を問う場である。テキストをしっかりと理解した上で臨むこと。

2017年度 設題総覧

— リポート設題と参考文献 —

64516 旧／新・簿記Ⅰ（専用リポート）

1 設題 （2 単位）

※（旧・簿記Ⅰ）テキスト／リポートノート（サーモン色）経過措置期間：～2019年3月迄

※この科目は、科目専用のリポートノートを用いる。

学習上の注意

- (1) まず『経済学部のおしり』の簿記Ⅰを参照し、簿記がどういった科目なのかを把握すること。
- (2) 次に、テキストの精読を心がけ、特に復習問題へは積極的に取り組むこと。これが十分に消化できていればリポートの再提出は防げるはずである。
- (3) 他人のリポートなどを丸写しする人もいるが、こうした人は単位修得試験では0点を取ったりする。リポート設題の問題ができれば単位修得試験も容易にできるはずである。

リポート作成上の諸注意

この科目のリポートは、テキストとセットになった以下の専用リポートノートを用いる。指定リポート以外のものは受理しないので注意すること。

- (1)（旧・簿記Ⅰ）サーモン色（2015年4月改訂）※藤色のリポートノートは使用不可。
- (2)（新・簿記Ⅰ）白茶色（2017年4月改訂）

単位修得試験について

- (1) テキスト復習問題・リポート設題をよく理解していれば解答は難しくないはずである。したがって、テキストでの学習・リポートの作成での手抜きは禁物である。
- (2) 受験に際し、電卓の使用を認める。なお、電卓機能付きの機器（携帯電話など）は認めない。

参考文献

●日本商工会議所主催、簿記検定3級受験用の各種参考書・ワークブック類

指定テキストおよびリポートノートの追加・訂正・補足

（旧・簿記Ⅰ）本誌 p.276 参照のこと。

64517 旧／新・簿記Ⅱ（専用リポート）

1 設題 （2 単位）

※（旧・簿記Ⅱ）テキスト／リポートノート（赤色）経過措置期間：～2019年3月迄

※この科目は、科目専用のリポートノートを用いる。

学習上の注意

- (1) まず『経済学部のおしり』の簿記Ⅱを参照し、簿記がどういった科目なのかを把握すること。
- (2) 次に、テキストの精読を心がけ、特に復習問題へは積極的に取り組むこと。これが十分に消化できていればリポートの再提出は防げるはずである。
- (3) 他人のリポートなどを丸写しする人もいるが、こうした人は単位修得試験では0点を取ったりする。リポート設題の問題ができれば単位修得試験も容易にできるはずである。

リポート作成上の諸注意

この科目のリポートは、テキストとセットになった以下の専用リポートノートを用いる。指定リポート以外のものは受理しないので注意すること。

- (1)（旧・簿記Ⅱ）赤色（2015年4月改訂）※若竹色のリポートノートは使用不可。
- (2)（新・簿記Ⅱ）黄色（2017年4月改訂）

単位修得試験について

- (1) テキスト復習問題・リポート設題をよく理解していれば解答は難しくないはずである。したがって、テキストでの学習・リポートの作成での手抜きは禁物である。
- (2) 受験に際し、電卓の使用を認める。なお、電卓機能付きの機器（携帯電話など）は認めない。

参考文献

●日本商工会議所主催、簿記検定3級受験用の各種参考書・ワークブック類

指定テキストおよびリポートノートの追加・訂正・補足

（旧・簿記Ⅱ）本誌 p.276 参照のこと。

64522

指①・経営学総論Ⅰ

1 設題 (2 単位)

※テキスト経過措置期間：～2018 年 3 月迄

- 【特記事項】 ◆リポートノートの使い方 (横書き)
 ◆ワープロを使用し、文末に字数を明記すること。
 ◆記述字数は、2000 文字以上 2500 文字未満とする。

第 1 回 (1) 「カンパニー制組織と持株会社 (テキスト p.159)」とはいかなる企業運営形態か。その構造と機能について、「実在する著名な企業 (グループ)」を例にあげながら説明しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

インターネットなどで著名な企業のホームページや有価証券報告書を調べ、自ら解りやすい組織図を描き、個別の組織が全体の中でどのような機能を持ち、全体がどのような構造になっているのか解説して下さい。既に「解りやすい組織図」が提示されている場合は、その出所を明確にして下さい。

64522

指②・経営学総論Ⅰ

1 設題 (2 単位)

- 【特記事項】 ◆リポートノートの使い方 (横書き)
 ◆ワープロを使用し、文末に字数を明記すること。
 ◆記述字数は、2000 文字以上 2500 文字未満とする。

第 1 回 (1) アンゾフの「事業拡大マトリクス (テキスト p.17)」とはいかなる経営戦略か。その理論的フレームについて、「実在する著名な企業の事業活動 (事業・商品展開)」を例にあげながら説明しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

インターネットなどで著名な企業の事業・製品ラインナップを調べ、それらがそれぞれ、①「既存製品×既存市場」、②「既存製品×新市場」、③「新製品×既存市場」、④「新製品×新市場」、⑤「新製品×新市場×新技術・新流通等」の、どの戦略的枠組みに当てはまるのか整理して下さい。さらに、それらが「どのような順番で事業・製品展開されてきたのか？」解説を加えて下さい。

64523

指①・経営学総論Ⅱ

1 設題 (2 単位)

※テキスト経過措置期間：～2018 年 3 月迄

- 【特記事項】 ◆リポートノートの使い方 (横書き)
 ◆ワープロを使用し、文末に字数を明記すること。
 ◆記述字数は、2000 文字以上 2500 文字未満とする。

第 1 回 (1) 働くあなたの「モチベーション (テキスト p.218～)」は、あなたの職場が用意する「インセンティブ (同 p.231～)」によって、どのように高められているだろうか。「仕事報酬」、「業績評価基準」、「理念的インセンティブ」、「自己実現的インセンティブ」の全ての概念を使って、そのプロセスを具体的に説明して下さい。

設題解答にあたっての解説・注意等

あなたのモチベーションについて、テキスト (p.219～) にある理論的概念を用い、「どのような構造になっているか?」、「なぜ、そうなのか?」を説明して下さい。また、あなたの職場が用意するインセンティブについてはテキスト (p.251～) にある概念を用いて、その有効性 (あるいは制度的欠落) を具体的に評価するとともに、評価できない場合は「なぜ、そうできないのか?」、それぞれの背景を説明して下さい。なお、就業経験のない方は、周囲の親族や知人等のケースをヒアリングし、レポートして下さい。

64523

指②・経営学総論Ⅱ

1 設題 (2 単位)

- 【特記事項】 ◆レポートノートの使い方 (横書き)
 ◆ワープロを使用し、文末に字数を明記すること。
 ◆記述字数は、2000 文字以上 2500 文字未満とする。

- 第 1 回 (1) 働くあなたの「モチベーション (テキスト p.194)」は、あなたの職場が用意する「インセンティブ (同)」によって、どのように高められているだろうか。「金銭的動機と金銭的報奨」、「社会的動機と社会的評価」、「自己実現動機と自己実現機会の提供」の全ての概念を使って、そのプロセスを具体的に説明して下さい。

設題解答にあたっての解説・注意等

あなたのモチベーションについて金銭的、社会的、自己実現面の 3 つをそれぞれ具体的に例示し、「なぜ、そうなのか?」、自身の特性 (特徴) とその背景を説明して下さい。また、あなたの職場が用意するインセンティブについて金銭面、社会面、自己実現の 3 点から、「あなたに合った仕組み (あり方) なのか?」を具体的に評価し、評価できない場合は「なぜ、そうできないのか?」、それぞれの背景を説明して下さい。なお、就業経験のない方は、周囲の親族や知人等のケースをヒアリングし、レポートして下さい。

64524

指・経営管理論Ⅰ

1 設題 (2 単位)

- 第 1 回 (1) テキストの 1-6 章、11 章を読んで、経営管理とはどのような活動か説明してください。ただし、テキストにある 2 つ以上の理論にもとづいて論述すること。

設題解答にあたっての解説・注意等

構成を明確にするために、いくつかの節に分けて論述すること。たとえば、Ⅰ 経営管理の定義 Ⅱ バーナード理論による経営管理…のように。

参考文献

- 稲垣保弘『経営の解釈学』初版、白桃書房、2013 年、¥3,300

64525

指・経営管理論Ⅱ

1 設題 (2 単位)

- 第 1 回 (1) テキストの 3 章、5 章、7-9 章、12 章を読んで、公式 (フォーマル) 組織の成立条件と非公式 (インフォーマル) 組織の形成条件について説明してください。ただし、論述には以下の用語を必ず用いること (同質化、模倣欲望、スケープゴート・メカニズム)。

設題解答にあたっての解説・注意等

構成を明確にするために、いくつかの節に分けて論述すること。たとえば、Ⅰ 経営管理の定義 Ⅱ バーナード理論による経営管理…のように。

参考文献

- 稲垣保弘『経営の解釈学』初版、白桃書房、2013 年、¥3,300

64530

指・金融論Ⅰ

1 設題 (2 単位)

- 第 1 回 (1) 1 株あたりの配当を D 、配当の成長率を g 、安全資産の金利を r 、株式のリスク・プレミアムを d としたとき、配当割引モデルに基づいて株価を導出し、さらに税引き後企業収益がすべて配当として支払われるときの株式益回りと安全資産の金利との間のイールド・スプレッドを導出せよ。(テキスト第 5 章が参考になる)

設題解答にあたっての解説・注意等

レポートの執筆にとりかかる前に、テキストの全体、特に第 1 章から第 5 章までを熟読してください。各設問の論点が金融論の全体系の中でどういう位置を占めるかに留意しながら、レポートを仕上げる姿勢が大切です。したがって、各設問の後に括弧で示した参考箇所は、あくまでも 1 つの目安にとどまると考えてください。参考文献は、設問に関連する主題についてテキストでは詳細に論じられていない内容を含む優れた文献です。参照すれば内容豊富な答案が書けるでしょう。進んだ勉強を望む方は挑戦してください。

参考文献

リチャード・A・ブリーリー, スチュワート・C・マイヤーズ, フランクリン・アレン『コーポレート・ファイナンス 下』第10版、日経BP社、2014年、¥6,000

64531

指・金融論Ⅱ

1 設題 (2 単位)

第1回 (1) コーポレート・ガバナンスにおいて、株式、銀行借り入れ、社債の3つの資金調達手段の利用が企業経営に与える効果を、それぞれの効果の相違に留意しつつ説明せよ。(テキスト第7章が参考になる)

設題解答にあたっての解説・注意等

レポートの執筆にとりかかる前に、テキストの全体、特に第6章から第9章までを熟読してください。各設問の論点が金融論の全体系の中でどういう位置を占めるかに留意しながら、レポートを仕上げる姿勢が大切です。したがって、各設問の後に括弧で示した参考箇所は、あくまでも1つの目安にとどまると考えてください。参考文献は、設問に関連する主題についてテキストでは詳細に論じられていない内容を含む優れた文献です。参照すれば内容豊富な答案が書けるでしょう。進んだ勉強を望む方は挑戦してください。

参考文献

●小佐野広『コーポレート・ガバナンスの経済学』日経経済新聞社、2001年、¥2,000

64534

簿記Ⅲ (専用レポート)

1 設題 (2 単位)

※この科目は、科目専用のレポートノートを用いる。

学習上の注意

- (1) この科目で学習する範囲は日商簿記2級(商業簿記)程度のものである。この科目を学習することによって「会計学入門Ⅰ・Ⅱ」、「財務会計論Ⅰ・Ⅱ(旧「会計学」)」といった科目を履修した場合の学習が比較的スムーズに進められると思います。
- (2) まずテキストを丁寧に読み、理解し、テキストの問題を解いてテキスト全体を理解した上で、レポート設題の問題を解いてください。レポート設題の問題が解けるレベルに達していれば、単位修得試験の問題も十分できるはずです。
- (3) 日商2級(工業簿記)の学習も行い、検定試験にチャレンジすることもお勧めします。
日商簿記2級の試験は、毎年2月、6月、11月に実施されています。
通信教育部の「原価計算論」の学習で「日商簿記(2級工業簿記)」の多くの部分がカバーされていると思います。

単位修得試験について

- (1) テキストの例題、問題、レポートノートの問題と同程度の問題から出題する。
したがってテキストの基本的学習が十分なされていれば問題はありません。
- (2) 普通の電卓のみ使用を認めます。

参考文献

この科目の通教テキスト以外の参考文献として、渡部他編『検定簿記講義(2級商業簿記)』中央経済社、TAC 簿記検定講座編『合格テキスト(日商簿記2級商業簿記)』TAC出版、桜井久勝『財務会計講義(最新版)』中央経済社をあげておきます。問題集としては、各社から出版されている過去問の日商簿記2級の題集や『合格トレーニング(日商簿記2級商業簿記)』TAC出版や『検定簿記ワークブック2級(商業簿記)』中央経済社をあげておきます。

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.276 と p.280 参照のこと。なお、専用レポートノート(第1版第1刷)の p.11 については、『通信学習シラバス・設題総覧 2017』に掲載したレポート差し替え用紙を貼付して使用すること。

64535

旧／新・簿記Ⅳ (専用レポート)

1 設題 (2 単位)

※(旧・簿記Ⅳ)テキスト経過措置期間: ~ 2018 年 3 月迄

※この科目は、科目専用のレポートノートを用いる。

学習上の注意

この科目では日商簿記2級程度の学習を修了された学生を対象に、日商簿記1級(商業簿記)程度の簿記会計の知識を習得する。したがって簿記の中級レベルまでの知識があることが学習を開始するにあたって必要とされる。2016 年度の新テキストからは2単位科目であることと、紙幅を考えて連結財務諸表に関する章を削除した。

単位修得試験について

- (1) テキスト全体からまんべんなく出題しているので、テキストの内容を十分理解するように努めてください。例題、

練習問題は丁寧に学習しておいてください。レポート設題はテキストの中でも重要な箇所であると考えてください。

- (2) 連結会計に関する試験問題は出題しません。
- (3) 通常の電卓のみ使用を認めます。

参考文献

通教テキスト以外に、参考書として渡部裕巨他編『新検定簿記講義（1級商業簿記）各年度版』中央経済社、『合格テキスト日商簿記1級（商業簿記・会計学）I・II・III』TAC出版、渡部裕巨他編『テキスト上級簿記（第5版）』中央経済社、2015年、斎藤真哉編『エッセンシャル連結会計』中央経済社、2013年、桜井久勝『財務会計講義（最新版）』中央経済社をあげておきます。各会計処理の会計理論的な裏づけについては、『財務会計講義』を参照してください。また連結会計を学習する参考書として『エッセンシャル連結会計』を示します。問題集としては日商簿記1級試験の過去問題集や各種の1級テキストに対応している問題集を利用してください。

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.280 参照のこと。

64504

外国語経営学

2 設題 (2 単位)

※ 2016 年 4 月以降、新規履修不可

【特記事項】 ◆テキストは Chapter 1 と Chapter 2 を使用する。
それゆえ、Chapter 3 は使用しない。

- 第 1 回 (1) テキストの Chapter 1 をよく読んで、次の設問に答えなさい。文字数は合計 2000 文字程度とする。
- ① テイラーは、high wages and (with) low labor cost について論じているが、それは何が問題で、どうすればそれを解決できると考えているか。根拠となるテキストの英文とその訳文を示しながら、日本語で説明しなさい。
 - ② テイラーの言う scientific management とはどういう概念であるか。根拠となるテキストの英文とその訳文を示しながら、その内容を日本語で説明しなさい。
- 第 1 回 (2) テキストの Chapter 2 をよく読んで、次の設問に答えなさい。文字数は 2000 文字程度とする。
- サイモンは、本文中で「経営の過程は決定の過程である」(the administrative processes are decisional processes) と言っているが、それはどういう意味か。根拠となるテキストの英文とその訳文を示しながら、日本語で説明しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

最初に『経営管理論』等の概説書を読み、経営管理の発達史を理解してから解答に取り組むと分りやすいかもしれない。とにかくテキストの英文をよく理解すること。そのために、抜書きしたり丸写ししない限りで、訳本を参照しても構わない。

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.276 参照のこと。

64537

指・人的資源管理論 I

1 設題 (2 単位)

- 第 1 回 (1) 大企業と中小企業では、人事管理の方法はどのように異なるか。また、なぜそのような違いが生まれるのかを論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

まず、テキストを熟読して人事管理のポイントをおさえること。次に、厚生労働省が発表する各種統計資料などから、企業規模と人事制度の導入実態の関係を調べること。
レポートを書く際は、参考文献・資料を必ず明記すること。

参考文献

- 指定のテキスト
- 厚生労働省が発表している各種統計資料
- 労働政策研究・研修機構（JILPT）が発行している『日本労働研究雑誌』、『ビジネス・レーパー・トレンド』（両方とも JILPT のホームページに PDF で掲載されており、ダウンロードが可能です）

- 第1回 (1) 女性や高齢者、外国人など多様な人材を活かすことを目的とした、いわゆるダイバーシティ・マネジメントの現状と課題についてまとめなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

多様な人材の活用促進を目的とした政策の展開にも配慮しつつ、論述をすすめること。
リポートを書く際は、参考文献・資料を必ず明記すること。

参考文献

- 指定のテキスト
- 厚生労働省が発表している各種統計資料
- 労働政策研究・研修機構（JILPT）が発行している『日本労働研究雑誌』、『ビジネス・レーパー・トレンド』（両方とも JILPT のホームページに PDF で掲載されており、ダウンロードが可能です）

- 第1回 (1) A 君は私に次のような質問をした。「単に現金の収入から支出を引けば儲けが計算できる。会社の利益も同じように計算すればよいはずだ。なぜ、収支計算書（キャッシュフロー計算書）だけでなく、損益計算書が存在するのか。」私に代わって A 君に分かりやすく回答しなさい。ただし、回答のなかで少なくとも財務会計の機能、および発生主義会計について触れること。

設題解答にあたっての解説・注意等

文献やインターネットから文章を引用する際には、必ず出所を正確に明示すること。明示していない場合は、再提出となる。なお、文献やインターネットから得られる文章をそのまま引用しても、A 君には難しくてほとんど分かってもらえないはずである。専門用語はすべて丁寧に定義し、筋道を立てて（説明の構成を考えて）説明すること。

参考文献

- 桜井久勝『財務会計講義』第18版、中央経済社、2017年、¥3,800
- 伊藤邦雄『新ゼミナール現代会計入門』第2版、日本経済新聞社、2016年、¥3,780
- 佐藤信彦・齋藤真哉他『スタンダードテキスト財務会計・財務会計Ⅰ・基本論点編』第9版、中央経済社、2015年、¥5,200
- 中央経済社『新版・会計法規集』第8版、中央経済社、2015年、¥2,100

- 第1回 (1) B さんは次のような質問をした。「なぜ将来の資産除去義務に伴う費用が見込まれると、資産が増えるのか。費用が見込まれるのだからむしろ資産を減らさなければならないのではないか。」私に代わって B さんに分かりやすく回答しなさい。ただし、回答のなかで少なくとも負債の概念、および「引当金処理」「資産負債の両建処理」の考え方について触れること。

設題解答にあたっての解説・注意等

文献やインターネットから文章を引用する際には、必ず出所を正確に明示すること。明示していない場合は、再提出となる。なお、文献やインターネットから得られる文章をそのまま引用しても、B さんには難しくてほとんど分かってもらえないはずである。専門用語はすべて丁寧に定義し、筋道を立てて（説明の構成を考えて）説明すること。

参考文献

- 桜井久勝『財務会計講義』第18版、中央経済社、2017年、¥3,800
- 伊藤邦雄『新ゼミナール現代会計入門』第2版、日本経済新聞社、2016年、¥3,780
- 佐藤信彦・齋藤真哉他『スタンダードテキスト財務会計・財務会計Ⅰ・基本論点編』第9版、中央経済社、2015年、¥5,200
- 中央経済社『新版・会計法規集』第8版、中央経済社、2015年、¥2,100

64542

指①／指②・原価計算論Ⅰ

1 設題 (2 単位)

※ (指①・原価計算論Ⅰ) テキスト経過措置期間：～2018 年 3 月迄

第 1 回 (1) 直接労務費の計算について、2,400 字程度で論ぜよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

設題への解答にあたっては、必ずテキストと参考文献の内容をしっかりと読んでください。その上で、自分なりに理解した内容を、自分の言葉を用いて説明してください。引用文献および参考文献がある場合にはそれらを必ず明記してください。なお、引用は必要最低限にとどめること。設題を講評に基づいて加筆・修正する場合には、指摘された箇所だけではなく、全体の構成を必ずもう一度見直してください。

参考文献

廣本敏郎・挽文子『原価計算論』第3版、中央経済社、2015 年、¥6,300

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

(指②・原価計算論Ⅰ) 本誌 p.281 参照のこと。

64543

指①／指②・原価計算論Ⅱ

1 設題 (2 単位)

※ (指①・原価計算論Ⅱ) テキスト経過措置期間：～2018 年 3 月迄

第 1 回 (1) Activity-Based Costing の意義とその特徴について、2,400 字程度で論ぜよ。また、下記の問題を別紙に解いて、レポート用紙の設題 1 の最後のページに貼付しなさい。なお、解答にあたっては必ず計算のプロセスを明示すること。

甲製造企業では 2 種類の製品 A と B を製造している。この 2 種類の製品について以下のデータが与えられている。このとき、(1) 製造間接費を直接作業時間で配賦するときの製品 A と B の 1 個あたりの製造原価、および (2) ABC を適用した場合の製品 A と B の 1 個あたりの製造原価を求めなさい。コスト・ドライバー (アクティビティ・ドライバー) は適切なものを選択すること。なお、解答にあたっては計算の過程も示すこと。

	製品 A	製品 B
生産数量	500 個	50 個
直接材料費	3,000,000 円	500,000 円
直接労務費	1,500,000 円	300,000 円
直接作業時間	1,000 時間	200 時間
設計回数	1 回	1 回
段取回数	5 回	1 回
マテハン回数	14 回	2 回
検査時間	25 時間	25 時間

* 直接材料費以下のデータはそれぞれ製品 A を 500 個、製品 B を 50 個製造したときの実績データである。

〔製造間接費実際発生額〕

設計費用	200,000 円
段取費用	420,000 円
マテハン費用	120,000 円
検査費用	625,000 円
	<u>1,365,000 円</u>

設題解答にあたっての解説・注意等

設題への解答にあたっては、必ずテキストと参考文献の内容をしっかりと読んでください。その上で、自分なりに理解した内容を、自分の言葉を用いて説明してください。引用文献および参考文献がある場合にはそれらを必ず明記してください。なお、引用は必要最低限にとどめること。設題を講評に基づいて加筆・修正する場合には、指摘された箇所だけではなく、全体の構成を必ずもう一度見直してください。

参考文献

廣本敏郎・挽文子『原価計算論』第3版、中央経済社、2015 年、¥6,300

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

(指②・原価計算論Ⅱ) 本誌 p.281 参照のこと。

64544

管理会計論Ⅰ

1 設題 (2 単位)

第1回 (1) テキスト第3部の「設題例3」(pp.252-253)の問題を解きなさい。なお、レポートは2400字程度でまとめなさい。
計算問題の解は計算のプロセス(式)を明示すること。

設題解答にあたっての解説・注意等

設題への解答にあたってはテキストや参考文献の内容をうつしただけではいけません。テキストの内容を自分なりに理解した上で、それらをできるだけ自分の言葉で書いてください。

参考文献

テキストに基づいてレポートを作成すること。

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.275 参照のこと。

64545

管理会計論Ⅱ

1 設題 (2 単位)

第1回 (1) テキスト第4部の「設題例4」(pp.319-320)の問題を解きなさい。なお、レポートは2400字程度でまとめなさい。
計算問題の解は計算のプロセス(式)を明示すること。

設題解答にあたっての解説・注意等

設題への解答にあたってはテキストや参考文献の内容をうつしただけではいけません。テキストの内容を自分なりに理解した上で、それらをできるだけ自分の言葉で書いてください。

参考文献

テキストに基づいてレポートを作成すること。

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.275 参照のこと。

64546

指・監査論Ⅰ

1 設題 (2 単位)

第1回 (1) 2つのうち1つを選択し回答。
①監査の経済的機能について説明しなさい。
②監査手続における監査技術の種類とその証明力について説明しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ◆レポートの構成(序論、本論、結論)を、しっかりとて、適宜見出しなどを付けること。
- ◆参考にした文献やWebページは、必ず引用箇所を文中に明示すること。ない場合は、再提出となる。
- ◆文末に参考文献、参考URLの一覧を必ず明記すること。ない場合は、再提出となる。
- ◆与えられた字数(2,000字)を十分に用い、少なすぎず多すぎず仕上げること。

参考文献

●盛田良久・蟹江章・長吉真一編『スタンダードテキスト監査論』第4版、中央経済社、2016年、¥4,600

64547

指・監査論Ⅱ

1 設題 (2 単位)

第1回 (1) 2つのうち1つを選択し回答。
①監査におけるリスクアプローチの基本的な考え方と、監査計画を立てる際の戦略的な役割について説明しなさい。
②金融商品取引法に基づく監査における短文式の監査報告書の構造を段階的に示し、「二重責任の原則」と「除外事項の記載方法」などと絡めて説明しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ◆レポートの構成(序論、本論、結論)を、しっかりとて、適宜見出しなどを付けること。
- ◆参考にした文献やWebページは、必ず引用箇所を文中に明示すること。ない場合は、再提出となる。
- ◆文末に参考文献、参考URLの一覧を必ず明記すること。ない場合は、再提出となる。
- ◆与えられた字数(2,000字)を十分に用い、少なすぎず多すぎず仕上げること。

64548

税務会計 I

2 設題 (2 単位)

第1回 (1) 法人税法上の減価償却制度の特徴を説明し、財務会計における考え方と比較しなさい。

第1回 (2) ① A建設会社は橋の建設を請け負い、その工事の契約および進捗状況は次のとおりである。各期において工事進行基準を適用した場合に計上すべき収益の額、費用の額および工事利益の額を計算しなさい(計算の過程を示すこと)。なお、A社の会計期間は4月1日～3月31日である。金額の単位はすべて千円とし、計算過程で生ずる千円未満の端数は四捨五入するものとする。

- ①契約による請負対価：×0年8月1日締結の契約書によれば 50,000 千円
×1年11月1日に資材値上りにより 55,000 千円に改定
②工事の進行状況：×0年9月1日に着工、×2年11月30日完成・引渡し

(千円)

各期末における金額	×1年3月期	×2年3月期	×3年3月期
見積り工事原価総額	35,000	40,000	-
実際工事原価累計額	7,700	26,700	42,000

(注)「×1年3月期」とは×0年4月1日から×1年3月31日までの会計年度を意味する。

- 1) ×1年3月期
収益の額＝
費用の額＝
工事利益＝
2) ×2年3月期
収益の額＝
費用の額＝
工事利益＝
3) ×3年3月期
収益の額＝
費用の額＝
工事利益＝

② 次の資料により、B社の当期(×3年4月1日～×4年3月31日)における受取配当等の益金不算入額を計算しなさい。計算過程も示すこと。なお、益金不算入割合はテキスト執筆時点の割合と2016年末時点の割合(各自調べること)の両方を用いて計算し、結果を比較するものとする。

[資料1]

有価証券	配当等の額 (うち源泉徴収税額)	区 分	摘 要
H株式	1,200,000 円 (240,000 円)	確定配当	保有割合：H社発行済株式数の3% 100%子会社である。
I株式	700,000 円 (140,000 円)	確定配当	
J株式	1,050,000 円 (210,000 円)	確定配当	保有割合：J社発行済み株式数の0.1%
K協同組合出資	15,000 円	事業分量分配金	公社債投資信託以外のオープン型投資信託
L証券投資信託	300,000 円 (60,000 円)	収益分配金	
M公社債投資信託	230,000 円 (46,000 円)	収益分配金	

[資料2] J株式の移動状況

年月日	株式数	摘 要
×3年1月31日	40,000 株	当該時点の保有株式数
×3年2月10日	10,000 株	取得株式数
×3年2月20日	15,000 株	譲渡株式数
×3年3月15日	7,000 株	取得株式数
×3年4月13日	12,000 株	譲渡株式数

なお、J株式の確定配当の計算期間は×2年3月1日～×3年2月28日である。

①配当等の額＝

内訳：

1) 連結法人株式等に係る配当等の金額＝

2) 連結法人株式等・関係法人株式等以外の株式等に係る配当等の金額＝
計算の過程：

3) 短期所有株式数＝
計算の過程：

4) 短期所有株式に係る配当金＝
計算の過程：

②益金不算入額＝
計算の過程：

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.275 参照のこと。

64549

税務会計Ⅱ

2 設題 (2 単位)

第1回 (1) ①役員給与の損金算入制限について説明し、②役員給与の支給形態に関して、わが国の上場企業における最近の傾向を説明し、③法人税課税上、いかなる点が問題となるかを論じなさい。その際、上場企業1社を任意に選び、有価証券報告書などから当該企業の役員報酬制度を例として用いること。

第1回 (2) 当法人の当期中（1年間）における次のデータに基づいて、当期の寄附金の損金不算入額を計算せよ。なお、当期末の資本金等の金額は 30,000 千円、当期利益金は 2,000 千円である。

①地方公共団体への寄附金（期中支出）	600 千円	
②大学への寄附金（指定寄附金）（期中支出）	400 千円	
③特定公益増進法人への寄附金（仮払処理）	1,000 千円	
④その他の寄附金		
・ 当期支出額	600 千円	
・ 当期末払額	300 千円	900 千円

⑤前期に未払金処理していたその他の寄附金の
当期支払額 400 千円

1) 仮計の金額の算出
計算の過程：
仮計の金額＝

2) 支払寄附金の額
計算の過程：
支払寄附金の額＝

3) 一般寄附金の損金算入限度額
計算の過程：
一般寄附金の損金算入限度額＝

4) 特定公益増進法人への寄附金の損金算入限度額
計算の過程：
特定公益増進法人への寄附金の損金算入限度額＝

5) 寄附金の損金不算入額
計算の過程：
当期の寄附金の損金不算入額＝

設題解答にあたっての解説・注意等

解答にあたっては、テキストの内容を良く理解した上で解答して下さい。また、計算問題は、テキストの例題が参考になりますので、必ず関連する例題を自分で解いてみて下さい。

参考文献

テキストの「主要参考文献」を参照。

指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足

本誌 p.275 参照のこと。

64550

指①／指②・経営分析論Ⅰ

1 設題 (2 単位)

※ (指①・経営分析論Ⅰ) テキスト経過措置期間：～2018 年 3 月迄

【特記事項】 ◆パソコン (ワープロ) 使用の可否

(ワープロ書きで提出する場合は、最後に字数を示しておくこと。字数制限を超過した場合は減点する。)

◆記述字数

(字数は、注、参考文献、データ、図表等の合計で 2,000 字以内とし、その範囲内において自分の意見をまとめること。)

- 第 1 回 (1) ほぼ同様の業界に属する任意の 5 社を取り上げ、有価証券報告書 (インターネット上の EDINET より無料で入手可) のデータに基づき、固定長期適合率を比較・検討し、どの企業が当該比率の観点から財務上安全といえるかを論じてください。入手可能な財務データを利用すればよく、必ずしもインターネット上の情報や最新データに限定する必要はありません。(2,000 字以内厳守)

設題解答にあたっての解説・注意等

引用、参照した文献は、必ず末尾に示しておくこと。

参考文献

- 伊藤邦雄『新・現代会計入門』第 2 版、日本経済新聞出版社、2016 年、¥3,500
- 國貞克則『財務 3 表実践活用法 会計でビジネスの全体像をつかむ』朝日新書、朝日新聞出版、2012 年、¥720
- 國貞克則『財務 3 表図解分析法』朝日新書、朝日新聞出版、2016 年、¥780

64551

指①／指②・経営分析論Ⅱ

1 設題 (2 単位)

※ (指①・経営分析論Ⅱ) テキスト経過措置期間：～2018 年 3 月迄

【特記事項】 ◆パソコン (ワープロ) 使用の可否

(ワープロ書きで提出する場合は、最後に字数を示しておくこと。字数制限を超過した場合は減点する。)

◆記述字数

(字数は、注、参考文献、データ、図表等の合計で 2,000 字以内とし、その範囲内において自分の意見をまとめること。)

- 第 1 回 (1) ほぼ同様の業界に属する任意の 5 社を取り上げ、連結キャッシュ・フロー計算書 (インターネット上の EDINET より無料で入手可) の数値に基づき、現金管理を比較・検討し、どの企業が連結キャッシュ・フロー計算書の観点から最も良いといえるかを論じてください。入手可能な財務データを利用すればよく、必ずしもインターネット上の情報や最新データに限定する必要はありません。(2,000 字以内厳守)

設題解答にあたっての解説・注意等

引用、参照した文献は、必ず末尾に示しておくこと。

参考文献

- 伊藤邦雄『新・現代会計入門』第 2 版、日本経済新聞出版社、2016 年、¥3,500
- 國貞克則『財務 3 表実践活用法 会計でビジネスの全体像をつかむ』朝日新書、朝日新聞出版、2012 年、¥720
- 國貞克則『財務 3 表図解分析法』朝日新書、朝日新聞出版、2016 年、¥780

64552

指・国際金融論Ⅰ

1 設題 (2 単位)

- 第 1 回 (1) 国際収支の決定に関する弾力性アプローチを概説し、それとの関連で J カーブ効果と企業の市場別価格設定につ

いて説明せよ。また、貯蓄投資バランスアプローチを概説し、それとの関連で1990年代以降に生じたグローバルインバランスの問題について説明せよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

- (1) リポートの課題はどれも国際金融論では基本的で重要なテーマであるが、同時に様々な議論が提起されているテーマでもある。それゆえ、リポート作成にあたっては単にテキストのみを読むだけでなく、参考文献等を参照して作成することが要求される。
- (2) 日頃新聞等のニュースで報道される国際金融の現象に注意し、その意味をテキストや参考文献を使って考える訓練を行っていれば、リポートの作成に有益である。
- (3) テキスト、参考文献、インターネットからそのまま写し取るとは絶対にしないこと。必ず、自分が理解したことを自分の言葉で論ずること。文献の引用を行う場合には、文献名と引用箇所を明記すること。
- (4) 為替相場や経常収支等に関するデータをリポートで使うことは歓迎されるが、意味のないデータの羅列や出所の明記されないデータの引用はさけること。
- (5) 当たり前のことであるが、リポートは正確な日本語で書き、必ず推敲すること。ワープロの変換ミスに関しても注意すること。手書きの場合は、必ずリポートの下書きを作り、リポート用紙にはそれを清書すること。
- (6) リポートの作成に利用したすべての参考文献（インターネットを含む）をリポートの末尾に明記すること。参考文献からの引用箇所は必ず注で指摘すること。

参考文献

- 上川孝夫・藤田誠一編『現代国際金融論』第4版、有斐閣、2012年、¥3,200
- 藤井英次『コア・テキスト国際金融論』第2版、新世社、2014年、¥2,900
- 中條誠一『現代の国際金融を学ぶ』第2版、勁草書房、2015年、¥2,600
- 川本明人『外国為替・国際金融入門』中央経済社、2012年、¥2,600
- 岩本武和『国際経済学：国際金融編』ミネルヴァ書房、2012年、¥3,000
- 高木信二『入門／国際金融』第4版、日本評論社、2011年、¥3,000
- 神田真人編『図説 国際金融（2015 - 2016年版）』財経詳報社、2015年、¥2,400

64553

指・国際金融論Ⅱ

1 設題 (2 単位)

- 第1回 (1) 国際通貨システムのトリレンマ（自由な資本移動、外国為替相場の安定、金融政策の独立性は鼎立しない）について説明し、その観点から、①第一次大戦前の国際金本位制、②戦後のブレトンウッズ体制、③現代の変動為替相場制度の特徴を比較せよ。また、国際金融システムのトリレンマの考え方から2009年のギリシャ財政問題に端を発するユーロ圏の問題がどのように捉えることができるか述べよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

- (1) リポートの課題はどれも国際金融論では基本的で重要なテーマであるが、同時に様々な議論が提起されているテーマでもある。それゆえ、リポート作成にあたっては単にテキストのみを読むだけでなく、参考文献等を参照して作成することが要求される。
- (2) 日頃新聞等のニュースで報道される国際金融の現象に注意し、その意味をテキストや参考文献を使って考える訓練を行っていれば、リポートの作成に有益である。
- (3) テキスト、参考文献、インターネットからそのまま写し取るとは絶対にしないこと。必ず、自分が理解したことを自分の言葉で論ずること。文献の引用を行う場合には、文献名と引用箇所を明記すること。
- (4) 為替相場や経常収支等に関するデータをリポートで使うことは歓迎されるが、意味のないデータの羅列や出所の明記されないデータの引用はさけること。
- (5) 当たり前のことであるが、リポートは正確な日本語で書き、必ず推敲すること。ワープロの変換ミスに関しても注意すること。手書きの場合は、必ずリポートの下書きを作り、リポート用紙にはそれを清書すること。
- (6) リポートの作成に利用したすべての参考文献（インターネットを含む）をリポートの末尾に明記すること。参考文献からの引用箇所は必ず注で指摘すること。

参考文献

- 上川孝夫・藤田誠一編『現代国際金融論』第4版、有斐閣、2012年、¥3,200
- 藤井英次『コア・テキスト国際金融論』第2版、新世社、2014年、¥2,900
- 中條誠一『現代の国際金融を学ぶ』第2版、勁草書房、2015年、¥2,600
- 川本明人『外国為替・国際金融入門』中央経済社、2012年、¥2,600
- 岩本武和『国際経済学：国際金融編』ミネルヴァ書房、2012年、¥3,000
- 上川孝夫・矢後和彦編『国際金融史』有斐閣、2007年、¥3,100
- 神田真人編『図説 国際金融（2015 - 2016年版）』財経詳報社、2015年、¥2,400

64561

指・社会経済学Ⅰ

2 設題 (2 単位)

- 第 1 回 (1) 市場による生産と分配の調整について述べよ。労働の社会性、労働生産物と商品との違い、貨幣の役割について言及すること。(テキストの序章、第 1 章が参考になる。)
- 第 1 回 (2) 剰余価値の生産について説明せよ。労働力商品の特殊性、可変資本と不変資本、労働過程と価値増殖過程について言及すること。(テキストの第 1 章、第 2 章が参考になる。)

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①テキストの内容を十分に理解した上で、全体の論理構成をよく練って解答すること。
- ②文献からの引用・抜粋にあたっては、括弧で括った上で典拠を明記すること。
- ③論旨にそった見出しなどを用いて、読みやすくすること。

参考文献

- 大谷禎之介『経済原論』(通信教育部、旧テキスト)
- 大谷禎之介『図解 社会経済学』桜井書店、2002 年

64562

指・社会経済学Ⅱ

2 設題 (2 単位)

- 第 1 回 (1) 資本主義社会における人口法則と失業との関連について述べよ。相対的過剰人口論と絶対的過剰人口論との違い、有機的構成の高度化と産業予備軍、現代の労働市場の動向に言及すること。
- 第 1 回 (2) 価値の生産価格への転化について述べよ。費用価格、利潤、剰余価値率の利潤率への転化、平均利潤率の形成について言及すること。(テキストの第 5 章が参考になる。)

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①テキストの内容を十分に理解した上で、全体の論理構成をよく練って解答すること。
- ②文献からの引用・抜粋にあたっては、括弧で括った上で典拠を明記すること。
- ③論旨にそった見出しなどを用いて、読みやすくすること。

参考文献

- 大谷禎之介『経済原論』(通信教育部、旧テキスト)
- 大谷禎之介『図解 社会経済学』桜井書店、2002 年

64563

指・経済史Ⅰ

1 設題 (2 単位)

- 第 1 回 (1) 経済政策を支えた経済理論が、1960 年代の「ケインズ経済学」から、1980 年代の「サプライサイド経済学」に転換した背景を当時の経済状況の変化から説明しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

引用箇所を、脚注を使用するか、本文にて明示してください。

参考文献

- 猪木武徳著『戦後世界経済史：自由と平等の視点から』中公新書、2009 年、¥940
- ポール・クルーグマン著『経済政策を売り歩く人々』ちくま学芸文庫、2009 年、¥1,400

64564

指・経済史Ⅱ

1 設題 (2 単位)

- 第 1 回 (1) 明治維新期の様々な経済的制度改革を江戸時代の制度と比較しながら、何がどう変わり、どのような結果を招いたか説明しなさい。

参考文献

- 南亮進著『日本の経済発展』第 3 版、東洋経済新報社、2002 年、¥3,600
- 速水融・他編『日本経済史 全 8 巻』岩波書店、1988 年、各 ¥3,000 ~ 3,300
- 杉山伸也著『日本経済史』岩波書店、2012 年、¥4,000

64565

指・統計学Ⅰ

1 設題 (2 単位)

【特記事項】 ◆資料は本文とは別に添付すること。

第1回 (1) 高齢者の交通事故の特徴について、具体的なデータに基づいて論ぜよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

ネット上にある図表をただそのままコピーするのではなく、図表は自分で独自に作成すること。

参考文献

- 交通事故総合分析センター『交通事故統計年報』各年度版、¥3,000

64566

指・統計学Ⅱ

1 設題 (2 単位)

第1回 (1) 最近急増している海外からの観光客について、どのような特徴が見られまたどういった課題が存在するかについて、具体的なデータに基づいて論ぜよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

- (1) 『観光白書』はウェブからも見ることができます。
- (2) ウェブから得られた図表を使用する場合には、必ず URL を明記するようにしてください。

参考文献

- 『観光白書』各年度版

64567

指・財政学Ⅰ

2 設題 (2 単位)

第1回 (1) 経済活動において政府が果たす役割と、政府支出のあり方について論じなさい。

第1回 (2) 日本の財政の現状とその問題点を、データをふまえて論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

テキストは10章からなります。財政学Ⅰでは、その第1章から第5章までの内容を範囲とします。設題数が少ないため、必ずしも設題に沿った問題が単位修得試験問題になるとは限りません。設題に関わる部分以外もきちんと学習し、把握しておくこと。そのさい、押さえるべきポイントの手がかりとして、テキストの各章の問題をチェックしておくといでしょう。また、必要に応じて(テキスト以降の最新の)現状のデータをチェックしておいてください。なお、本やネット上のホームページの文章をマル写しすることは絶対に避けてください。

参考文献

- 矢野恒太記念会『日本国勢図会』国勢社、最新年度版
 - (年により著者が異なる)『図説日本の財政』東京経済新報社、最新年度版
- ネット上の資料
- 日本の財政関係資料(最新年度版)
http://www.mof.go.jp/budget/fiscal_condition/related_data/201610.html
 - 財政投融资レポート
http://www.mof.go.jp/filp/publication/filp_report/zaito2016/index.htm
- (なお、インターネットにアクセスできない人、および財務省のデータが更新されていないときは『日本国勢図会』、『図説日本の財政』等で最新データを確認してください。なお、単位修得試験問題は2016年度(2017年度予算を含む)までのデータに基づき出題し、2017年度(2018年度予算を含む)にその数値が大きく変化した場合には採点時に考慮します。)

64568

指・財政学Ⅱ

2 設題 (2 単位)

第1回 (1) 消費税増税が持つ意味について論じなさい。なお、(i)他の税と比較しての長所や短所、(ii)税収に占める割合についての他国との比較、(iii)景気への影響等を盛り込み、論じること。

第1回 (2) 日本の社会保障の現状とその問題点について論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

テキストは10章からなります。財政学Ⅱでは、その第6章から第10章までの内容を範囲とします。設題数が少ない

ため、必ずしも設題に沿った問題が単位修得試験問題になるとは限りません。設題に関わる部分以外もきちんと学習し、把握しておくこと。そのさい、押さえるべきポイントの手がかりとして、テキストの各章の問題をチェックしておくとういでしょう。また、必要に応じて（テキスト以降の最新の）現状のデータをチェックしておいてください。なお、本やネット上のホームページの文章をマル写しすることは絶対に避けてください。

参考文献

- 矢野恒太記念会『日本国勢図会』国勢社、最新年度版
- （年により著者が異なる）『図説日本の財政』東京経済新報社、最新年度版
ネット上の資料
- 日本の財政関係資料（最新年度版）
http://www.mof.go.jp/budget/fiscal_condition/related_data/201610.html
- 財政投融资レポート
http://www.mof.go.jp/filp/publication/filp_report/zaito2016/index.htm
（なお、インターネットにアクセスできない人、および財務省のデータが更新されていないときは『日本国勢図会』、『図説日本の財政』等で最新データを確認してください。なお、単位修得試験問題は2016年度（2017年度予算を含む）までのデータに基づき出題し、2017年度（2018年度予算を含む）にその数値が大きく変化した場合には採点時に考慮します。）

64575

指・経済政策論Ⅰ

1 設題 （2 単位）

- 【特記事項】 ◆パソコン（ワープロ）使用の可否 （不可）
◆記述字数（1 設題） （5000 字程度）
◆レポート用紙が足りない場合は、市販の A4 判原稿用紙を使用し、講評欄の前に貼付すること。

- 第 1 回 (1) 古典派モデルとケインジアン・モデルの概要を説明したうえで、財政政策（政府支出の増加と減税）の効果が違いが発生する理由について整理してまとめなさい。必要ならば図を用いてもよい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①教科書や参考文献の丸写しをしないこと。
- ②引用は該当箇所をカッコで括り、引用文献各ページを明記すること。

参考文献

- 田代洋一・萩原伸次郎・金澤史男編『現代の経済政策』有斐閣、2011 年、¥2,900
- 岩田規久男・飯田泰之著『ゼミナール経済政策入門』日本経済新聞出版社、2006 年、¥3,200
- 林正義・小川光・別所俊一郎著『公共経済学』有斐閣、2010 年、¥2,300

64576

指・経済政策論Ⅱ

1 設題 （2 単位）

- 【特記事項】 ◆パソコン（ワープロ）使用の可否 （不可）
◆記述字数（1 設題） （5000 字程度）
◆レポート用紙が足りない場合は、市販の A4 判原稿用紙を使用し、講評欄の前に貼付すること。

- 第 1 回 (1) リカード＝バローの中立命題が成立する場合、政府支出を課税で賄っても、公債で調達しても、経済全体に及ぼす影響は変わらない。この命題の内容と中立命題が成り立つ条件を説明したうえで、子どものいない世帯が存在したり、子どもの数が内生的に決まったりするケースでは、なぜ中立命題が成立しないのか論じなさい。必要ならば図や数式を用いてもよい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ①教科書や参考文献の丸写しをしないこと。
- ②引用は該当箇所をカッコで括り、引用文献各ページを明記すること。

参考文献

- 田代洋一・萩原伸次郎・金澤史男編『現代の経済政策』有斐閣、2011 年、¥2,900
- 岩田規久男・飯田泰之著『ゼミナール経済政策入門』日本経済新聞出版社、2006 年、¥3,200
- 麻生良文著『マクロ経済学入門』ミネルヴァ書房、2009 年、¥3,500

64577

指・日本経済論Ⅰ

1 設題 (2 単位)

第1回 (1) 「戦間期」における日本経済を「恐慌」という視点から整理しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

単なる事例の羅列ではなく、史実それぞれの「意味」とその相互関連を「論理」的に整理して書くこと。

参考文献

●杉山伸也『日本経済史 近世—現代』第1版、岩波書店、2012年、¥4,000

64578

指①／指②・日本経済論Ⅱ

1 設題 (2 単位)

※ (指①・日本経済論Ⅱ) テキスト経過措置期間：～2018年3月迄

第1回 (1) 1945年～1980年代までの日本社会を戦後日本経済の成長という視点から整理しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

単なる事例の羅列ではなく、史実それぞれの「意味」とその相互関連を「論理」的に整理して書くこと。

参考文献

(指①・日本経済論Ⅱ 学習者対象)

●杉山伸也『日本経済史 近世—現代』第1版、岩波書店、2012年、¥4,000

(指②・日本経済論Ⅱ 学習者対象)

●三和良一『概説 日本経済史 近現代』第3版、東京大学出版会、2012年、¥2,500

54510

指・経済学史

2 設題 (4 単位)

※ 2016年4月以降、新規履修不可

第1回 (1) 有効需要の原理に基づく経済政策について説明せよ。

第2回 (1) 新古典派経済学の経済政策について説明せよ。

54509

指・工業論

2 設題 (4 単位)

※ 2016年4月以降、新規履修不可

第1回 (1) アジアの工業化と裾野産業の役割について論ぜよ。その上で1970～80年代、90年代、2000年代のアジアを題材に議論を展開せよ。

第2回 (1) 後発国の工業化について、キャッチアップと学習、イノベーションの観点で論ぜよ。

テキスト

●馬場敏幸編『アジアの経済発展と産業技術』ナカニシヤ出版、2013年

参考文献

●馬場敏幸著『アジアの裾野産業』白桃書房、2005年、¥3,200

●アレクサンダー・ガーシェンクロン著 (絵所・雨宮他訳)『後発工業工の経済史』ミネルヴァ書房、2005年、¥4,000

●末廣昭著『キャッチアップ型工業化論—アジア経済の奇跡と展望—』名古屋大学出版会、¥3,500

54511

指・社会政策

2 設題 (4 単位)

※ 2016年4月以降、新規履修不可

第1回 (1) ① 日本の公的年金制度について、保険者、被保険者、財源構成、給付などの基本的な仕組みについて説明しなさい。また公的な医療保険制度との共通点、相違点について述べなさい。

② 日本の社会福祉制度では、どのような人々を対象とし、どのようなサービスが提供されているか説明しなさい。またその費用を誰が負担し、サービス対象者の決定がどのようにおこなわれるのかについても併せて記述しなさい。

第2回 (1) ① 社会保障制度が果たす「機能」について、「セーフティネット」、「再分配」、「経済の安定」という言葉を必ず

利用して説明しなさい。

- ② 「確定給付年金」と「確定拠出年金」について各々のメリット、デメリットを踏まえてその特徴を説明しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

テキスト全体を熟読し、社会保障領域全般について包括的に理解してください。

参考文献

- 駒村康平著『福祉の総合政策』新訂5版、創成社、2011年、¥3,000

14501

指・憲法

2 設題 (4 単位)

第1回 (1) 自己決定権とはどのような権利ですか。解釈、判例をあげて説明しなさい。

第2回 (1) 「統治行為」について、違憲審査制の意義、三権分立に留意し、判例をあげて説明しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

第1回 (1) の自己決定権については、憲法13条の解釈を理解したうえで、人格権については指定テキストに掲載の判決を参照し、また「エホバの証人輸血拒否事件」(最高裁判決2000年2月29日)、「外国での代理懐胎による出産における子と依頼母との親子関係」に関する最高裁判決(2007年3月23日)などの参照が望ましい。

第2回 (1) の「統治行為」に関しては、テキストの「司法権」の定義から「司法権の限界」が合理性をもつかを記述してください。

またテキストの「憲法訴訟」の項目を勉強し、「統治行為」は違憲審査制の意義から見て合理性をもつのかについても検討してみてください。

参考文献

- 芦部信喜著・高橋和之編『憲法』第6版、岩波書店、2015年、¥3,100
- 長谷部恭男ほか編『ケースブック憲法』第4版、弘文堂、2013年、¥4,900

54590

指・民法一部(総則・物権法)

2 設題 (4 単位)

※ 2015年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

第1回 (1) 時効の中断と停止について、現在の民法の規定の内容を学説・判例もふまえて説明し、その上で民法改正法案においてはどのように規定内容が修正されているかについて論じなさい。

第2回 (1) A、B、C(いずれも大学院生で26歳)は3人で1台の自動車を共同所有することにした。この場合、民法の規定によれば3人にはどのような権利義務が発生するかについて、この3人の事例に当てはめるとどうなるかの具体例をあげながら論じなさい。

参考文献

概説書として、

- 佐久間毅『民法の基礎1 総則』(第3版)有斐閣、2008年、¥3,000
- 佐久間毅『民法の基礎2 物権』有斐閣、2006年、¥2,400
- 大村敦志『基本民法I 総則・物権』(第3版)有斐閣、2007年、¥2,800
- 大村敦志『基本民法III 債権総論・担保物権』有斐閣、2005年、¥2,800
- 大村敦志『新基本民法2 物権編 財産の帰属と変動の法』有斐閣、2015年、¥1,700
- 大村敦志『新基本民法3 担保編 物的担保・人的担保の法』有斐閣、2016年、¥1,900
- 内田貴『民法I 総則・物権総論』(第4版)東京大学出版会、2008年、¥3,300
- 内田貴『民法III 債権総論・担保物権』(第3版)東京大学出版会、2005年、¥3,500
- 佐久間毅ほか『リーガルクエスト民法1 総則』有斐閣、2010年、¥2,600
- 石田剛ほか『リーガルクエスト民法2 物権』有斐閣、2010年、¥2,700
- 四宮和夫・能見善久『民法総則』(第8版)弘文堂、2010年、¥3,300
- 河上正二『民法総則講義』日本評論社、2007年、¥3,900
- 河上正二『物権法講義』日本評論社、2012年、¥3,300
- 河上正二『担保物権法講義』日本評論社、2015年、¥3,700
- 安永正昭『講義 物権・担保物権法』(第2版)有斐閣、2014年、¥3,800
- 山野目章夫『物権法』(第5版)日本評論社、2012年、¥3,700
- 道垣内弘人『担保物権法』(第3版)有斐閣、2008年、¥3,200
- 鎌田薫『民法ノート物権法①』(第3版)日本評論社、2007年、¥2,500

判例教材として、

- 内田・山田・大村・森田『民法判例集総則・物権』（第2版）有斐閣、2014年、¥2,900
- 瀬川・内田・森田『民法判例集担保物権・債権総論』（第3版）有斐閣、2014年、¥2,900
- 潮見・道垣内編『民法判例百選Ⅰ総則・物権』（第7版）有斐閣、2015年、¥2,100
- 奥田・安永・池田編『判例講義民法Ⅰ』（第2版）悠々社、2014年、¥3,600

論点ごとの発展的な学習のために

- 内田・大村編『民法の争点』有斐閣、2007年、¥3,000
- 鎌田薫ほか編『民事法（1）総則・物権』（第2版）日本評論社、2010年、¥3,900
- 鎌田薫ほか編『民事法（3）債権総論・担保物権』（第2版）日本評論社、2010年、¥4,000
- 山野目章夫ほか『ひとりで学ぶ民法』（第2版）有斐閣、2012年、¥2,600

民法改正法案の内容については、法務省法制審議会民法（債権関係）改正部会のサイトや法案、および、民法改正に関する書籍を参考にすること。

54591

指①／指②・民法二部（債権法）

2 設題 （4 単位）

※ 2015 年度以降に復籍・再入学した方で教員免許状取得のために再履修する場合は p.309 参照

※（指①・民法二部（債権法））テキスト経過措置期間：～2019 年 3 月迄

第1回 (1) 売買契約において売主が負う担保責任につき、現在の民法の規定の内容およびその法的性質をめぐる学説・判例、さらには、民法改正法案において規定の内容がどのように修正されているかもふまえて論じなさい。

第2回 (1) 次の2つの事案において、被害者は誰にどのような法的請求ができるかについて、民法の規定の内容および判例（最新のもののだけでなく、過去の判例も参照すること）および学説をふまえて論じなさい。

① X（60歳男性）がD公園の横の道を自転車で走行していたところY₁・Y₂夫婦の子A（10歳）が蹴ったサッカーボールがXの自転車を直撃し、Xは自転車ごと横転して両腕および両足を骨折し、右足に麻痺が残る後遺症を負った。Aは小学校の同級生Bら10名とD公園でサッカーをして遊んでおり、ボールを蹴ったところボールが公園の外まで飛んでしまい、Xの自転車を直撃したという事故である。

② Y（85歳）は認知症に罹患しており、普段はYの妻A（84歳）およびYと同居はしておらずY宅から車で3時間ほどの場所に住んでいた長男B（60歳）、およびBの妻C（58歳）の介護を受けてY宅で生活していた。Yが時々Aらの目を盗んで徘徊するようになったため、AらはY宅玄関に人の気配を感じたら鳴動するアラームを設置していた。ある日、Aが昼寝をしている間に（その間、B、CともにY宅にはいなかった）、Yが勝手に外を徘徊し、X社が運行していた鉄道にはねられ死亡した。X社はこの鉄道事故によって約10万人の乗客が影響を受け、また、他の鉄道会社にも振り替え輸送を依頼したことから、本件鉄道事故による財産的損害を被った。

参考文献

(1) 指定テキスト

(2) (鳥瞰ししやすいコンパクトなものとして)

- 野村豊弘他著『民法Ⅲ債権総論』（第3版補訂版）、有斐閣Sシリーズ、2012年、¥1,700
- 藤岡康宏他著、『民法Ⅳ債権各論』（第3版補訂版）、有斐閣Sシリーズ、2009年、¥2,400

(3) (標準的な教科書として)

- 内田貴『民法Ⅱ 債権各論』（第3版）、東京大学出版会、2011年、¥3,600
- 大村敦志『基本民法Ⅱ 債権各論』（第2版）、有斐閣、2005年、¥2,800
- 大村敦志『新基本民法4 債権編』有斐閣、2016年、¥1,900
- 大村敦志『新基本民法5 契約編』有斐閣、2016年、¥1,900
- 大村敦志『新基本民法6 不法行為編』有斐閣、2015年、¥1,700
- 窪田充見『不法行為法』有斐閣、2007年、¥3,400
- 吉村良一『不法行為法』（第4版）、有斐閣、2010年、¥2,500
- 潮見佳男『入門民法（全）』有斐閣、2007年、¥3,800
- 橋本佳幸ほか『リーガルクエスト民法Ⅴ事務管理・不当利得・不法行為』有斐閣、2011年、¥2,700
- 永田眞三郎ほか『債権－エッセンス民法3』有斐閣、2010年、¥2,500

(4) (債権法の概説書として)

- 中田裕康『債権総論』（第3版）岩波書店、2013年、¥4,500
- 山本敬三『民法講義4－1 契約』有斐閣、2005年、¥5,500
- 平井宜雄『債権総論』（第2版）、弘文堂、1994年、（品切れ）
- 平井宜雄『債権各論Ⅱ 不法行為』弘文堂、1992年、（品切れ）
- 平井宜雄『債権各論Ⅰ上 契約総論』弘文堂、2008年、¥2,300
- 潮見佳男『プラクティス民法 債権総論』（第4版）、信山社、2012年、¥4,800
- 潮見佳男『不法行為法Ⅰ』（第2版）、信山社、2011年、¥4,800

- 潮見佳男『不法行為法Ⅱ』（第2版）、信山社、2011年、¥4,600
 - 鈴木祿弥『債権法講義』（5訂版）、創文社、2007年、¥5,500
 - 藤岡康宏『不法行為法』信山社、2013年、¥4,800
 - 北川善太郎『債権総論（民法講要）』（第3版）、有斐閣、2004年、¥2,300
 - 北川善太郎『債権各論（民法講要）』（第3版）、有斐閣、2003年、¥2,900
- 以上のほか債権法の代表的な概説書。

(5) (事例をもとにした学習のために)

- 別冊ジュリスト『民法判例百選Ⅱ債権』（第7版）、有斐閣、2015年、¥2,200
 - 瀬川信久・内田貴『民法判例集債権各論』（第3版）、有斐閣、2008年、¥2,600
- また、論点ごとの発展的な学習のために、
- 内田貴・大村敦志編『民法の争点』有斐閣、2007年、¥3,000
 - 大村敦志『もうひとつの基本民法2』有斐閣、2007年、¥2,200
 - 鎌田薫他編、『民事法2 担保物権・債権総論』（第2版）日本評論社、2010年、¥4,000の債権総論部分
 - 鎌田薫他編、『民事法3 債権各論』（第2版）日本評論社、2010年、¥4,000

14519

指・商法総則・商行為法

2設題 (4単位)

※経済学部商業学科で2013年3月31日時点で、履修途中の場合 【科目コード：64579】

第1回 (1) (架空の事例であり、実在の企業・施設名とは一切関係ない。)

X株式会社は、「金沢ハイランド」という名称で長年経営していた遊園地事業（遊園地自体は会社ではない。）をY株式会社に譲渡した。Yは当該遊園地の名称を「新金沢ハイランド」に変更した一方で、「金沢ハイランド」に対して債権を有する者に対しては、「この度、弊社はX株式会社様が経営されておりました遊園地事業を譲り受け、この金沢の地に新たに遊園地事業を展開することとなりましたので、よろしく願い致します。」などと記載された挨拶状を出した。「金沢ハイランド」に対して買掛金債権を有しているZは、この挨拶状を受け取った数日後に、Yに対して債務の履行を求めた。しかし、Yはそれぞれ以下のような主張をしてZの請求を拒んだ。これらの場合のYの主張の当否について検討しなさい（それぞれ独立した問いである。）。

- ①「自身が譲り受けたのは、ジェットコースターなどの営業財産のみであり、債務などのマイナス財産は譲り受けていない。」
- ②「商号の続用はないので、譲渡前の債務について責任を負うことはない。」

第2回 (1) (架空の事例であり、実在の企業・事業内容とは一切関係ない。)

Xは、冷蔵倉庫業を営んでいる。8月のある日、通販業者Yは、冷凍マグロ1トン（時価3000万円相当）を1ヶ月間Xの倉庫内で保管してもらうことにし、Xと倉庫寄託契約を締結し、冷凍マグロ1トンをXの倉庫内に搬入した。しかし、預け入れてから1週間後、冷凍装置の故障で倉庫内の温度が上がり、冷凍マグロは解凍マグロになってしまい、故障に気づいたときには売り物にならなくなってしまっていた。これらの事実関係を前提にして、以下の問いに答えなさい（それぞれ独立した問いである。）。

- ①YがXに対して損害賠償請求する際の法的構成について検討しなさい。
- ②YがXに対して損害賠償請求したところ、Xは倉庫寄託約款の中に「寄託中の物品に毀損が生じたとしても当社は一切の責任を負わないものとします。」という条項があることを根拠に請求を拒んだ。この場合のXY間の法律関係について検討しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・下記記載の参考文献も最低1冊は用いてレポートを作成すること。
- ・引用元URLの記載がない、インターネット上の文章のコピー＆ペーストは不正行為とみなす。
- ・ここ数年、インターネット上の質問サイトで、設題に対する回答を求める投稿を行う受講生があり、さらには返ってきた回答が模範解答であると勘違いしてそのまま貼り付けて提出する受講生も見受けられるが、出題の意図および模範解答から大きくかけ離れた答えしか返ってこない。また、提出されたレポートは全てコピーして保存してあるので、他人の合格済みレポートを名前の部分やフォントだけ変えて提出してもすぐにわかる。これらのレポートは一律「不受理」とする。レポートは自身の力で作成すること。

参考文献

- 江頭憲治郎・山下友信『商法（総則・商行為）判例百選』第5版、有斐閣、2008年、¥2,400
- 近藤光男『商法総則・商行為法（有斐閣法律学叢書）』第6版、有斐閣、2013年、¥2,800
- 弥永真生『リーガルマインド商法総則・商行為法』第2版補訂版、有斐閣、2014年、¥2,000

- 【特記事項】 ◆リポートノートの使い方 (横書き)
 ◆パソコン (ワープロ) 使用の可否 (不可) パソコン (ワープロ) を使用した場合は採点せず不可とする。

第1回 (1) 取締役の忠実義務の意義を論じ、その類型およびそれらの規制について論ぜよ。

第2回 (1) 吸収合併における少数株主の保護について説明しなさい。
 (前提として吸収合併に関する説明もすること)

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・指定教科書(柴田和史『会社法詳解〔第2版〕』)をよく読んで解答すること。
- ・根拠条文を必ず確認し、必要に応じて条文番号を示すこと。
- ・箇条書きやレジュメのような記載をしないこと。

参考文献

- 柴田和史『ビジュアル 図でわかる会社法(日経文庫)』日本経済新聞社、2014年、¥1,000
- 北村雅史・柴田和史・山田純子『現代会社法入門』第4版、有斐閣、2015年、¥2,900
- 近藤光男・柴田和史・野田博『ポイントレクチャー会社法』第2版、有斐閣、2015年、¥3,800
- 柴田和史『類型別 中小企業のための会社法』第2版、三省堂、2015年、¥2,800
- 岩原紳作ほか編『会社法判例百選』(別冊ジュリスト229号)第3版、有斐閣、2016年、¥2,400

第1回 (1) 約束手形の裏書の効力について説明せよ。

①裏書の一般的效果の原則と例外について説明し、その説明においては、②裏書の連続ある約束手形の所持人が手形金請求を認められない場合、③約束手形の裏書譲渡が、手形外に存在する保証債務へ与える影響、にも留意・言及しながら、論述すること。

第2回 (1) Aは、Bとの間で鋼材1トンの売買契約を締結し、その買掛金債務の支払いのため、Bを受取人とする10万円の約束手形を振り出した。Bは、友人Cから、車を譲り受ける約束をし、その売買代金支払いのため、当該約束手形をCに裏書譲渡した。しかし、その後、Cは車を手放すことが惜しくなり、引渡期日になっても車を引き渡さなかったため、BはCに対して車の売買契約を解除するに至り、当該約束手形がCの手元にあるまま、約束手形の満期日を迎えた。Cは、Aに対して、手形金を請求することができるか、検討せよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

- ・ここ数年、リポートのなかに、テキストの剽窃や検討なくしてリーディングケースの存在を指摘するだけのものが増加しています。このようなリポートの評価は厳しいものとお考えください。
- ・各問とも、関連条文を必ず参照・引用しながら(条文番号の指摘は必要。解釈対象となる条文文言の指摘が必要な場合はあるが、条文文言をすべて長々と引用することは不要)、基礎的理解を示してください。
- ・問題の所在を明確にしたうえで、各見解については根拠・内容・それに対する批判を含めた検討を要します。
- ・判例理論を指摘する場合は、事案概要・判旨を踏まえた検討を要します。

第1回 (1) 労働条件の不利益変更について論じなさい。

第2回 (1) 労働契約上の権利・義務について論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

第1回 (1) については、労働協約による労働条件の不利益変更についても検討すること。また、山梨県民信用組合事件・最2小判平28・2・19民集70巻2号123頁でおもな争点となった点についても検討すること。なお、変更解告知については検討しなくてよい。

第2回 (1) については、使用者・労働者のそれぞれにわけて論ずること。また、付随義務(附随義務)についても検討すること。

参考文献

- 村中孝史・荒木尚志編『労働判例百選』第9版、有斐閣、2016年、¥2,400
- 土田道夫・山川隆一編『労働法の争点』有斐閣、2014年、¥2,600

第 1 回 (1) 「古代ギリシアにおける正義と国家」というテーマでレポートを作成せよ。

第 1 回 (2) 「社会契約論とはなにか」というテーマでレポートを作成せよ。

第 2 回 (1) 以下のテーマのうちいずれかを選んで論ぜよ。

○「18 世紀後半のドイツ社会思想」について論ぜよ。

○「ドイツ観念論の社会思想」について論ぜよ。

第 2 回 (2) 「18 世紀末から 19 世紀フランスの社会思想」について論ぜよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

設題の「 」内の言葉について、よく考え、なにが問われているのかに注意を払うこと。シラバスも参照のこと。

参考文献

●通教テキスト『社会思想史』（第 2 版）の各章、末尾の文献表を参照のこと。

第 1 回 (1) わが国の工業の変化について、ある特定の業種（例—繊維産業）を取り上げて説明しなさい。その際、当該業種の変化の理由とともに、当該業種の地域的集積の特徴についても説明すること。

第 2 回 (1) わが国の地域間経済格差について説明しなさい。その上で地域の衰退から抜け出す試みを行っている地域事例を具体的に紹介しなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

レポート作成にあたって使用した参考（引用）文献は、レポートの最後に提示するだけでなく、本文中の使用したところでも必ず提示してください。

参考文献

●藤田佳久・阿部和俊編『日本の経済地理学 50 年』古今書院、2014 年、¥7,000

●竹内淳彦・小田宏信編『日本経済地理読本』第 9 版、東洋経済新報社、2014 年、¥2,300

●青山裕子ほか『経済地理学キーコンセプト』古今書院、2014 年、¥3,000

●藤田佳久編『山村政策の展開と山村の変容』原書房、2011 年、¥3,600

●富田和暁『地域と産業—経済地理学の基礎—』新版、原書房、2006 年、¥2,000

— 指定テキストおよびリポートノートの追加・訂正・補足 —

以下の科目は追加・訂正・補足があります。配本された教材の中にはすでに訂正されているものもあります。
新たに明らかになった追加・訂正・補足は、随時『法政通信』に掲載します。

科目名	種別	掲載更新
税務会計Ⅰ／税務会計Ⅱ	通教テキスト	2017年3月
管理会計論Ⅰ／管理会計論Ⅱ	通教テキスト	2014年3月
簿記Ⅰ／簿記Ⅱ（共通）（第2版、1997年）	通教テキスト	2017年3月
簿記Ⅲ	通教テキスト	2014年3月
外国語経営学	通教テキスト	2017年3月
簿記Ⅲ	リポートノート	2016年3月
簿記Ⅳ	リポートノート	2017年3月
（指②）原価計算論Ⅰ／原価計算論Ⅱ（ファーストステップ原価計算を学ぶ）	指定市販本	2017年3月

[通教テキスト]

■税務会計Ⅰ・Ⅱ (2013年)

(大下勇二)

- p.163 上から6行目
(誤) 計算技術として方法となる。
(正) 計算技術としての方法となる
- p.269 上から3行目
(誤) 応用したもの
(正) 応用したものが
- p.272 上から14行目
(誤) 民法上の任意組合等における
(正) (削除)
- p.289 上から16行目
(誤) 例えばン位
(正) 例えば
- p.342 下から1行目
(誤) 耐「耐用年数の短縮」
(正) 「耐用年数の短縮」
- p.375 上から11行目
(誤) 図表16-2示すような
(正) 図表16-3に示すような
- p.385 下から12行目
(誤) 制度であるでは
(正) 制度である点では
- 2014年3月現在
- p.279 上から1行目
(誤) 貸付金の利息を安く行為は
(正) 貸付金の利息を安くする行為は
- p.285 下から4行目 「当期の寄附金の損金不算入額＝」に続く計算式
(誤) $1,000,000 - (112,500 + 437,50000) = 450,000$ 円
(正) $1,000,000 - (112,500 + 300,000) = 587,500$ 円
- p.309 上から3行目
(誤) …算入しない(法 52 ②)。
(正) …算入しない(法 54 ②)。

■管理会計論

(佐藤康男)

- p.17 上から6行目

- (誤) 前世紀末から今世紀にかけて～
(正) 19世紀末から20世紀にかけて～

p.20 下から8行目

- (誤) 修士号 (M&A) を得ても～
(正) 修士号 (MBA) を得ても～

p.97 下から3行目

- (誤) ベース・アップにより 10% の増加～
(正) ベース・アップにより 20% の増加～

p.322 〔複利表〕年金現価係数4年

- (誤) 2.4651
(正) 3.4651

2007年3月現在

p.5 下から4行目

- (誤) 半年あるいは1年
(正) 四半期、半年あるいは1年

p.6 1行目から2行目

- (誤) 株主配当金や役員賞与など
(正) 株主配当金など

p.6 12行目

- (誤) 法令 (商法)
(正) 法令 (会社法施行規則)

p.7 4行目

- (誤) 商法によって
(正) 会社法によって

p.8 下から8行目

- (誤) 商法の規定
(正) 会社法の規定

p.8 下から6行目

- (誤) 証券取引法
(正) 金融商品取引法

p.8 下から5行目

- (誤) 商法会計、税務会計および証券取引法会計
(正) 会社法会計、税務会計および金融商品取引法会計

p.154 上から13行目

- (誤) 必要な配当金、役員賞与金および留保額などを
(正) 必要な配当金および留保額などを

p.165 例題8-3

(誤) ・内部留保（将来の拡張準備）	200
・役員賞与	150
(税引後純利益)	2,000
・法人税（税率50%）	2,000
(年間必要利益)	4,000

(正)・内部留保 (将来の拡張準備)	350
(税引後純利益)	2,000
・法人税 (税率 50%)	2,000
(年間必要利益)	4,000

p.251 から p.252

- (誤) (ハ) 将来準備の為の内部留保は 300 万円
 (二) 役員賞与は 200 万円
 (ホ) 法人税の税率は 40 %
 (正) (ハ) 将来準備の為の内部留保は 500 万円
 (二) 法人税の税率は 40 %

2013 年 3 月現在

p.209 上から 10 行目及び下から 1 行目 (共通)

$$(誤) x_2 = -\frac{2}{3}x_1 + z$$

$$(正) x_2 = -\frac{2}{3}x_1 + \frac{z}{3}$$

2014 年 3 月現在

■簿記Ⅰ／簿記Ⅱ (共通) (第2版・1997年) (永野則雄)

会計基準の改定により、貸借対照表の「資本の部」が「純資産の部」と表示されるようになりました。テキストの該当箇所を変更してください。

この変更に伴って、本文における証明では「資本」は2つの意味で使われることになります。1つは、経営者の出資分 (利益の蓄積分も含む) という意味です。もう1つは、貸借対照表における資産と負債の差額としての純資産という意味です。簿記Ⅰ・簿記Ⅱの範囲では、個人企業の簿記を扱っているので資本金勘定 (引出金勘定も含む) によって経営者の出資分が表示されます。これ以外の「純資産」の項目は出てきませんから、両者は同じものと理解して学習してください。

2007 年 3 月現在

[■簿記Ⅰ] p.69 最下部《例》

- (誤)
 (借) 買掛金 2,000
 (貸) 仕入 2,000
 (正)
 (借) 買掛金 20,000
 (貸) 仕入 20,000

2015 年 3 月現在

p.107 <例>の文中

- (誤) 受取利息勘定
 (正) 受取家賃勘定

2017 年 3 月現在

[■簿記Ⅱ] p.33 【復習問題 12】

- (誤) 45,000 売掛金
 (正) 450,000 売掛金

2017 年 3 月現在

■簿記Ⅲ (神谷健司・市川佳功)

p.18 上から 19 行目

- (誤) ② B (貸方) 買掛金 100,000
 (正) ② B (貸方) 当座預金 100,000

p.44 上から 1 行目

- (誤) 受託買付 受託買付
 (正) 委託買付 委託買付

p.88 上から 6,7 行目

- (誤) ③
 (貸方) 売 上 500
 仮払消費税 250
 (正) ③
 (貸方) 仮払消費税 500
 未払消費税 250

p.113 下から 1 行目

- (誤) (借方) 割引手形義務見返 500,000
 (正) (貸方) 割引手形義務見返 500,000

p.332 上から 6 行目及び下から 1 行目

- (誤) 固定資産売却損 40,000
 (正) 固定資産除却損 40,000

p.358 仕訳日計表

(誤)

借方	元丁	勘定科目
＜中略＞		
<u>21,000</u>	省略	売買目的有価証券
:		備品
:		:
<u>2,000</u>		未払金
		前受金
＜後略＞		

(正)

借方	元丁	勘定科目
＜中略＞		
21,000	省略	売買目的有価証券
:		備品
:		:
2,000		未払金
		前受金
＜後略＞		

2014 年 3 月現在

■外国語経営学

(遠田雄志)

p.7 上から 2 行目

- (誤) Management
 (正) Management
 i を e にする。

p.7 上から 12 行目

- (誤) Management
 (正) Management
 i を e にする。

p.9 上から 13 行目

- (誤) 3 comercial
 (正) commercial
 m を加える。

p.10 上から 4 行目

- (誤) paint
 (正) point
 a を o にする。

p.11 上から 12 行目

- (誤) of business
 (正) of the business
 the を加える。

p.12 上から 23 行目

- (誤) nāmely
 (正) namely
 á を a にする。

p.12 上から 27 行目

- (誤) protection
 (正) protection
 e を c にする。

p.14 上から 1 行目

- (誤) ssystem
 (正) system
 s をとる。

p.14 上から 25 行目

- (誤) Any, one
 (正) Any one

- , をとる。
p.15 上から 10 行目
(誤) 5 forman
(正) foreman
e を入れる
p.19 上から 5 行目
(誤) 2 these two elements these two conditions
(正) 2 these two elements
これは上述の these two conditions のこと。
p.23 上から 6 行目
(誤) 3 the work the amount of work.
(正) 3 the work
これは上述の the amount of work と並ぶ言葉。
p.26 上から 16 行目
(誤) requiring'
(正) requiring
'をとる。
p.28 上から 5 行目
(誤) became
(正) become
a を o にする。
p.28 上から 5 行目
(誤) ar
(正) or
a を o にする。
p.28 上から 11 行目
(誤) for _ example
(正) for example
- (ハイフン) をとる。
p.28 上から 13 行目
(誤) money , _
(正) money,
. をとる。
p.28 上から 27 行目
(誤) lowerpriced
(正) lower _ priced
- (ハイフン) を入れる。
p.29 上から 8 行目
(誤) trademan
(正) tradesman
s を入れる。
p.30 上から 4 行目
(誤) nut
(正) not
u を o にする。
p.30 上から 15 行目
(誤) da
(正) do
a を o にする。
p.30 上から 32 行目
(誤) first
(正) first _
- (ハイフン) を入れる。
p.32 上から 4 行目
(誤) according_
(正) according
, をとる
p.33 上から 3 行目
(誤) 1 them companies
(正) them
これは companies をさす。
p.34 上から 29 行目
(誤) thought₁
(正) though

- , をとる。
p.35 上から 5 行目
(誤) 人間
(正) 人間
間 を 間 にする。
p.38 上から 8 行目
(誤) they
(正) they
v を y にする。
p.40 上から 8 行目
(誤) pace₁
(正) pace₂
, を . にする。
p.40 上から 11 行目
(誤) employs
(正) employés
é を入れる。
p.40 上 13 から行目
(誤) niece.
(正) piece
n を p にする。
p.40 上から 24 行目
(誤) observa-tion
(正) observation
- (ハイフン) とる。
p.41 上から 5 行目
(誤) 1 he employer
(正) he
employer のこと。
p.41 上から 6 行目
(誤) 2 him workman
(正) him
workman のこと。
p.46 上から 7 行目
(誤) mans
(正) man
s をとる。
p.46 上から 8 行目
(誤) before
(正) before
e を入れる。
p.47 上から 3 行目
(誤) 3 phlematic
(正) phlegmatic
g を入れる。
p.48 上から 17 行目
(誤) teaghing
(正) teaching
o を c にする。
p.48 上から 24 行目
(誤) an
(正) on
a を o にする。
p.48 上から 26 行目
(誤) time
(正) times
s を入れる。
p.51 上から 1 行目
(誤) 1 guess work 当推量
(正) 当て推量
て を入れる。
p.52 上から 16 行目
(誤) ¹easy
(正) easy

¹ をとる。

p.52 上から 25 行目

(誤) laser

(正) loser

a を o にする。

p.53 上から 2 行目

(誤) appliamce

(正) appliance

m を n にする。

p.54 上から 11 行目

(誤) he

(正) be

h を b にする。

p.55 上から 4 行目

(誤) 4 retum

(正) return

m を rn にする。

p.56 上から 2 行目

(誤) etc.,

(正) etc.,

c を e にする。

p.58 上から 17 行目

(誤) workmen,

(正) workmen,

. をとる。

p.58 上から 31 行目

(誤) or a ⁴templet

(正) or ⁴templet

a をとる。

p.59 上から 1 行目

(誤) 1 foundray

(正) foundry

a をとる。

p.60 上から 27 行目

(誤) ; and

(正) , and

; を , にする。

p.62 上から 31 行目

(誤) shortperiod

(正) short period

二語に切り離す。

p.64 上から 6 行目

(誤) cap

(正) can

p を n にする。

p.68 上から 4 行目

(誤) ordiriarily

(正) ordinarily

ri を n にする。

p.69 上から 4 行目

(誤) 4 detemining of

(正) determining of

r を入れる。

p.71 上から 1 行目

(誤) 1 adminlstrative

(正) administrative

l を i にする。

p.71 上から 4 行目

(誤) lebel

(正) level

b を v にする。

p.71 上から 5 行目

(誤) gumer

(正) gunner

m を nn にする。

p.71 上から 11 行目

(誤) 中間監督者

(正) 中間監督者

間 を 間 にする。

p.73 上から 6 行目

(誤) perfomance

(正) performance

r を入れる。

p.80 上から 15 行目

(誤) thetnselves

(正) themselves

tn を m にする。

p.82 上から 3 行目

(誤) layout,

(正) layout

. をとる。

p.82 上から 4 行目

(誤) taxpayers_

(正) taxpayers,

. を入れる。

p.82 上から 10 行目

(誤) and,

(正) and_

, をとる。

p.84 上から 25 行目

(誤) founda-tion

(正) foundation

- (ハイフン) をとる。

p.84 上から 27 行目

(誤) division, of

(正) division of

, をとる。

p.84 上から 31 行目

(誤) in-Ruence

(正) influence

-R を fl にする。

p.84 上から 35 行目

(誤) coordination,

(正) coordination

. をとる。

p.85 上から 1 行目

(誤) 1 decision

(正) decisional

al を入れる。

p.86 上から 5 行目

(誤) accnuntable

(正) accountable

n を o にする。

p.86 上から 10 行目

(誤) the_ adoption

(正) the_ adoption

. をとり、スペースを入れる。

p.86 上から 32 行目

(誤) orgatization

(正) organization

t を n にする。

p.87 上から 3 行目

(誤) 2 communlcation

(正) communicate

l と ion をそれぞれ i と e にする。

p.88 上から 23 行目

(誤) hier-archy

(正) hierarchy

- (ハイフン) をとる。

p.88 上から 26 行目

(誤) behavior

(正) behavior

l をとる。

p.88 上から 31 行目

(誤) reacted

(正) reached

t を h にする。

p.89 上から 5 行目

(誤) 4 subordinate

(正) subordinate

a を入れる

p.90 上から 10 行目

(誤) malting

(正) making

lt を k にする。

p.90 上から 23 行目

(誤) de-cision

(正) decision

- (ハイフン) をとる。

p.91 上から 10 行目

(誤) 1 recom~~m~~ndation

(正) recommendation

e を入れる。

p.92 上から 24 行目

(誤) Berkelcyans

(正) Berkeleyans

c を e にする。

p.95 上から 4 行目

(誤) 1 institutionah~~z~~ed

(正) institutionalized

h を li にする。

p.95 上から 7 行目

(誤) agensy

(正) agency

s を c にする。

p.96 上から 10 行目

(誤) valuepre~~m~~ises

(正) value-premises

- (ハイフン) を入れる。

p.96 上から 22 行目

(誤) influences (the

(正) influences the

(をとる。

p.96 上から 28 行目

(誤) organization, unless

(正) organization unless

, をとる。

p.96 上から 31 行目

(誤) offi~~j~~ces

(正) offices

i をとる。

p.96 上から 33 行目

(誤) ⁴proper

(正) proper

4 をとる。

p.96 上から 33 行目

(誤) number o~~f~~ these

(正) number of these

o f を of にする。

p.96 上から 34 行目

(誤) in the proper

(正) in the ⁴proper

4 をつける。

p.97 上から 13 行目

(誤) they bulletins (広報)

(正) they bulletins (広報) のこと。

p.98 上から 2 行目

(誤) affi~~j~~cts

(正) afflicts

最初の i を l にする。

p.98 上から 7 行目

(誤) organi-~~z~~ation

(正) organization

- (ハイフン) をとる。

p.98 上から 16 行目

(誤) Training_ Like

(正) Training_ Like

. を入れる。

p.98 上から 24 行目

(誤) ar~~_~~

(正) an~~_~~

r を n にする。

p.98 上から 33 行目

(誤) subordinate~~s~~training

(正) subordinates training

二語に切り離す。

p.98 上から 34 行目

(誤) ~~t~~ivork

(正) w~~o~~rk

tiv を w にする。

p.98 上から 35 行目

(誤) particular_ the

(正) particular positions, the

positions, を入れる。

p.99 上から 13 行目

(誤) 7 personal 人件費

(正) personal cost 人件費

cost の一語を入れる。

p.101 上から 5 行目

(誤) 2 entrepre~~n~~ur

(正) entrepreneur

e を入れる。

p.101 上から 7 行目

(誤) 4 in retu~~m~~ for

(正) in return~~_~~

m を rn にする。

p.102 上から 6 行目

(誤) scontracts

(正) contracts

s をとる。

p.102 上から 27 行目

(誤) po~~s~~t

(正) po~~s~~it

i を入れる。

p.103 上から 6 行目

(誤) 9 equi~~_~~librium

(正) equilibrium

一語にする。

p.103 上から 12 行目

(誤) 5 d~~er~~ection

(正) direction

e を i にする。

p.103 上から 14 行目

(誤) 7 this “making

(正) 7 this

これは上述の “making

- p.103 上から 14 行目
(誤) as possible
(正) as possible” をさす。
o を i にして、「をさす。」を入れる。
- p.104 上から 7 行目
(誤) then as he
(正) then, as he
, を入れる。
- p.104 上から 19 行目
(誤) rotes
(正) roles
t を l にする。
- p.104 上から 21 行目
(誤) TEIS
(正) THIS
E を H にする。
- p.109 上から 2 行目
(誤) Organizing
(正) Organizing
a をとる。
- p.109 上から 3 行目
(誤) Organizing
(正) Organizing
a をとる。
- p.109 上から 15 行目
(誤) Schalarily
(正) Scholarly
a を o にし i をとる。
- p.109 上から 15 行目
(誤) achievemeut
(正) achievement
u を n にする。

2013 年 3 月現在

- p.9 下から 1 行目
(誤) establishment
(正) establishment
h を入れる。

2015 年 3 月現在

- p.69 上から 3 行目
(誤) 的をえた
(正) 的を射た
- p.72 下から 8 行目
(誤) refers simply to the fact fhat, (略)
(正) refers simply to the fact that, (略)

2017 年 3 月現在

[リポートノート]

◆「簿記Ⅲ」のリポートノート

●奥付*が第 1 版第 1 刷を使用する場合 (*裏表紙に記載)

- p.2 4. ①
(誤)

買付計算書
<中略>
請求金額 833,000 円

(正)

買付計算書
<中略>
請求金額 870,500 円

- p.10 上から 6 行目
(誤) 実地棚卸高: 数量 360 個 (うち 300 個の時価@ ¥390、
60 個の時価 350)
(正) 実地棚卸高: 数量 360 個 (うち 300 個の時価@ ¥390、60

個の時価@ ¥350)

- p.10 下から 1 行目
(誤) 8. 税引前等純利益…
(正) 8. 税引前当期純利益…

- p.11 損益計算書 「6 消耗品費」の下に「7 貸倒引当金繰入」を追加*
(誤)

Ⅲ 販売費及び一般管理費		
<中略>		
6 消耗品費	()	()
()	()	()

(正)

Ⅲ 販売費及び一般管理費		
<中略>		
6 消耗品費	()	()
7 貸倒引当金繰入	()	()
()	()	()

※ p.11 は本誌 p.283
の差替用紙を貼付
し使用できます。

- p.13 貸借対照表 ※「商品」の下に「前払費用」を追加
(誤)

資 産	金 額
<中略>	
商 品	()
	()
備 品	()
<後略>	

(正)

資 産	金 額
<中略>	
商 品	()
前払費用	()
備 品	()
<後略>	

pp.14-15 課題Ⅳ

全てを設問対象から除く。(解答は不要です。)

※再提出の場合も同様に解答不要とする。

※リポートの解答範囲からは除外するが、指定の通教テキストで
当該範囲の学習を進めること。

●奥付*が第 1 版第 2 刷～第 4 刷を使用する場合 (*裏表紙に記載)

pp.14-15 課題Ⅳ

全てを設問対象から除く。(解答は不要です。)

※再提出の場合も同様に解答不要とする。

※リポートの解答範囲からは除外するが、指定の通教テキストで
当該範囲の学習を進めること。

2016 年 3 月現在

◆「簿記Ⅳ」のリポートノート

- p.4 上から 12 行目
(誤) 資本金等増加限度額の金額を資本金とする
(正) 払込資本の全額を資本金とする

- p.5 下から 7 行目
(誤) 当期の輸出売上 (150 ドル)
(正) 当期の輸出売上 (150 千ドル)

pp.10-11 課題Ⅲ

全てを設問対象から除く。(解答は不要です。)

※連結財務諸表の簿記会計処理は、桜井久勝 (2015) 『財務会計講義』第 16 版、中央経済社、第 13 章第 1 節～第 6 節まで
を各自で学習することが望まれる。

2016 年 3 月現在

- p.7 上から 6～8 行目
(誤) 年金資産の期待運用収益 410 千円
未認識会計基準変更時差異 950 千円

会計基準変更時差異の残存償却年数 5 年（費用処理）

（正）年金資産の期待運用収益 220 千円

（7 行目及び 8 行目を削除）

2017 年 3 月現在

[指定市販本]

●ファーストステップ原価計算を学ぶ

〈指②・原価計算論Ⅰ／Ⅱ〉

p.147 損益計算書（直接原価計算）

（誤）省略

（正）訂正箇所は下線部

損益計算書（直接原価計算）

	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期
売上高	45,000	45,000	45,000
変動売上原価			
期首製品棚卸高	0	0	<u>5,000</u>
当期製品製造原価	25,000	<u>30,000</u>	<u>22,500</u>
合 計	25,000	<u>30,000</u>	<u>27,500</u>
期末製品棚卸高	0	<u>5,000</u>	<u>2,500</u>
製造差益	20,000	20,000	20,000
変動販売費	1,500	1,500	1,500
限界利益	18,500	18,500	18,500
固定費			
固定製造原価	15,000	15,000	15,000
固定販管費	2,000	2,000	2,000
営業利益	1,500	1,500	1,500

2017 年 3 月現在

解答用紙

損益計算書

自 X3 年 4 月 1 日 至 X4 年 3 月 31 日

(単位：円)

I	売上高	(	)
II	売上原価		
	1 期首商品棚卸高	(	)
	2 当期商品仕入高	(	)
	合 計	(	)
	3 期末商品棚卸高	(	)
	差 引	(	)
	4 棚卸減耗損	(	)
	5 商品評価損	(	)
	(	)	(
III	販売費及び一般管理費		
	1 給 料	(	)
	2 支 払 地 代	(	)
	3 支 払 保 険 料	(	)
	4 水 道 光 熱 費	(	)
	5 減 価 償 却 費	(	)
	6 消 耗 品 費	(	)
	7 貸倒引当金繰入	(	)
	(	)	(
IV	営業外収益		
	1 受 取 利 息	(	)
	2 有価証券利息	(	)
	3 受 取 配 当 金	(	)
V	営業外費用		
	1 支 払 利 息	(	)
	2 有価証券評価損	(	)
	3 雑 損 失	(	)
	(	)	(
VI	特別損失		
	1 固定資産除却損	(	)
	税引前当期純利益	(	)
	法人税・住民税及び事業税	(	)
	(	)	(

2017年度 単位修得試験の出題範囲

【留意事項】

- 試験範囲は担当教員が認めた科目に限り公表しています。
- 試験範囲が公表される場合であっても、その科目のテキスト全体を熟読することが前提となりますので、科目によってはここに記載された内容以外からも出題される場合があります。
- ここに発表されていない科目（テキスト）は、原則テキスト全体からの出題となります。ただし、科目によっては学習範囲がテキストの一部に限定されている場合があります。詳細は、シラバスで確認してください。
※経過措置テキストの場合は、経過措置テキストに対応した過年度のシラバスを参照してください。
- 記載内容の意味など、出題範囲に関する質問は一切受け付けません。また、試験終了後に試験問題と範囲に関する照会も受け付けません。
- この表の科目名の表記は、「設題総覧」及び単位修得試験の表記に合わせています。

科目名	出題範囲	
旧／新・簿記Ⅳ	新・旧どちらにおいても通教テキスト『簿記Ⅳ』全体の内容から出題する。なお、連結財務諸表に関するものは出題しない。	
外国語経営学	テキストの Chapter 1 と Chapter 2 を出題範囲とする。それゆえ、Chapter 3 は出題範囲としないので注意すること。	
指・財務会計論Ⅰ	4 月	財務会計の機能と制度
	5 月	利益計算の仕組み
	6 月	会計理論と会計基準
	7 月	利益測定と資産評価の基礎概念
	10 月	現金預金と有価証券
	11 月	売上高と売上債権
	12 月	棚卸資産と売上原価
	1 月	有形固定資産と減価償却
指・財務会計論Ⅱ	4 月	負債の会計：負債の概念と引当金
	5 月	負債の会計：税効果会計、社債の会計処理
	6 月	株主資本と純資産
	7 月	財務諸表の作成と公開
	10 月	連結財務諸表：一般原則
	11 月	連結財務諸表：連結貸借対照表の作成
	12 月	連結財務諸表：連結損益計算書の作成
	1 月	外貨建取引等の換算
指①／指②・原価計算論Ⅰ	原価計算論Ⅰの出題範囲は、原価計算論Ⅰの学習範囲です。	
指①／指②・原価計算論Ⅱ	原価計算論Ⅱの出題範囲は、原価計算論Ⅱの学習範囲です。	
指・監査論Ⅰ	4 月	監査のフレームワーク
	5 月	監査制度のフレームワーク
	6 月	監査規範の意義とわが国の監査基準
	7 月	監査意見形成のプロセス
	10 月	監査のフレームワーク
	11 月	監査制度のフレームワーク
	12 月	監査規範の意義とわが国の監査基準
	1 月	監査意見形成のプロセス
指・監査論Ⅱ	4 月	監査リスク・アプローチと監査戦略
	5 月	リスク評価、リスク対応および監査の完了
	6 月	監査報告書と情報提供機能
	7 月	開示情報の多様化と保証機能
	10 月	監査リスク・アプローチと監査戦略
	11 月	リスク評価、リスク対応および監査の完了
	12 月	監査報告書と情報提供機能
	1 月	開示情報の多様化と保証機能

科目名	出題範囲	
税務会計Ⅰ	4月	第1章・第2章
	5月	第3章・第4章
	6月	第3章・第4章
	7月	第3章・第4章
	10月	第5章・第6章
	11月	第5章・第6章
	12月	第7章・第8章
	1月	第9章・第10章
税務会計Ⅱ	4月	第11章・第12章
	5月	第11章・第12章
	6月	第13章・第14章
	7月	第13章・第14章
	10月	第15章・第16章
	11月	第17章・第18章
	12月	第19章・第20章
	1月	第19章・第20章
指①／指②・経営分析論Ⅰ	経営分析論Ⅰの学習範囲とする。	
指①／指②・経営分析論Ⅱ	経営分析論Ⅱの学習範囲とする。	
指・国際金融論Ⅰ	4月	外国為替
	5月	外国為替相場
	6月	外国為替市場
	7月	デリバティブ
	10月	国際収支・国際収支表
	11月	国際収支の理論
	12月	外国為替相場の決定理論
	1月	外国為替相場の決定理論
指・国際金融論Ⅱ	4月	国際通貨制度と国際通貨
	5月	第二次大戦前の国際通貨制度
	6月	第二次大戦後の国際通貨制度
	7月	ヨーロッパ通貨統合
	10月	国際通貨制度
	11月	アジア通貨圏
	12月	世界金融危機
	1月	アジア通貨危機
指・社会経済学Ⅰ	4月	市場経済
	5月	貨幣の成立と諸機能
	6月	資本と生産、賃労働
	7月	資本と生産、剰余価値の生産
	10月	過剰人口
	11月	産業循環、失業
	12月	資本蓄積
	1月	現代の労働市場
指・社会経済学Ⅱ	4月	再生産過程の分析
	5月	利潤と価格①
	6月	利潤と価格②
	7月	利潤率の動態過程
	10月	信用論と金融システム
	11月	農業と土地所有
	12月	世界市場の成立と恐慌・産業循環
	1月	国家と経済政策

科目名	出題範囲	
指・財政学Ⅰ	全ての回について、テキスト第1章～第5章（および、それに関連した参考書の内容やネット情報）が範囲となります。（なお、第1章は「財政の役割」、第2章は「財政制度」、第3章は「日本の財政問題」、第4章は「政府支出の理論と実際」、第5章は「租税の原則と経済効果」です。）	
指・財政学Ⅱ	全ての回について、テキスト第6章～第10章（および、それに関連した参考書やネット情報）が範囲となります。（なお、第6章は「日本の税制と税制改革」、第7, 8章は「社会保障の財政問題」、第9章は「景気変動と財政政策」、第10章は「地方の財政問題」です。）	
指・工業論	4月	テキスト1～2章
	5月	テキスト1～2章
	6月	テキスト3～4章
	7月	テキスト3～4章
	10月	テキスト5～6章
	11月	テキスト5～6章
	12月	テキスト7～8章
	1月	テキスト7～8章
指・憲法	4月	憲法とは何か、憲法の保障・憲法改正
	5月	憲法史
	6月	国民主権、参政権、選挙制度
	7月	地方自治、憲法訴訟
	10月	平和主義、外国人の人権
	11月	私人間適用、非嫡出子の権利
	12月	平等、思想・良心の自由
	1月	信教の自由、生存権
指・商法総則・商行為法	4月	商法総則の分野から出題する。
	5月	商行為法の分野から出題する。
	6月	商法総則の分野から出題する。
	7月	商行為法の分野から出題する。
	10月	商法総則の分野から出題する。
	11月	商行為法の分野から出題する。
	12月	商法総則の分野から出題する。
	1月	商行為法の分野から出題する。
指・手形法・小切手法	4月	手形・小切手の法的構造、手形・小切手の完全有価証券性、手形・小切手の経済的機能
	5月	手形行為の意義と成立要件
	6月	手形行為の性質、手形行為と原因関係
	7月	他人による手形行為、手形の偽造
	10月	手形の変造、抹消・毀損・喪失、白地手形
	11月	約束手形の裏書
	12月	約束手形の支払
	1月	支払拒絶と遡求、利得償還請求権、手形訴訟

科目名	出題範囲
指・労働法	指定した範囲が1問目になるのか2問目になるかまでは公表しない。 『基礎から学ぶ労働法Ⅰ労働法総論・個別的労働関係法』（第3版）2012年を「労働法Ⅰ」と『基礎から学ぶ労働法Ⅱ集団的労働関係法・社会保障法』（第2版）2016年を「労働法Ⅱ」と略称する。 「労働法Ⅰ」にあつては「編」単位、「労働法Ⅱ」にあつては「編」または「章」単位で示している。
	4月 「労働法Ⅰ」雇用平等、多様な雇用・就労形態 「労働法Ⅱ」労働組合の活動
	5月 「労働法Ⅰ」労働条件論 「労働法Ⅱ」労働条件の決定システム
	6月 「労働法Ⅰ」労働契約論 「労働法Ⅱ」労働組合の法的地位
	7月 「労働法Ⅰ」労働法総論 「労働法Ⅱ」労働組合の活動
	10月 「労働法Ⅰ」労働条件論 「労働法Ⅱ」労働条件の決定システム
	11月 「労働法Ⅰ」雇用平等、多様な雇用・就労形態 「労働法Ⅱ」労働組合の法的地位
	12月 「労働法Ⅰ」労働契約論 「労働法Ⅱ」労働組合の活動
	1月 「労働法Ⅰ」労働条件論 「労働法Ⅱ」公務員労働

教職に関する科目

— 教職に関する科目・教科に関する別置専門科目 —

Contents

●2017年度 通信学習科目 指定テキスト・科目掲載ページ一覧……	290
●2017年度 通信学習シラバス ……………	292
●2017年度 設題総覧 ・レポート設題と参考文献……………	299
●2017年度 単位修得試験の出題範囲 (p.308 に記載した留意事項を必ず確認して下さい) ……	308
●その他 ・(2015 年度以降の復籍・再入学者対象) 科目コードに関する注意事項	309

2017年度 通信学習科目 指定テキスト・科目掲載ページ一覧

●教職に関する科目

科目名	構成単位	テキスト 種別 (入手方法)	2017年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社（市販 本のみ）／発行年／定価（税別）	備考	教科書 コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
							シラバス	設題	試験範囲
指・教職入門	2	指定市販本 (各自購入)	『新しい時代の教職入門』[改訂版] (有斐閣アルマ) 秋田喜代美・佐藤学編著 有斐閣 2015年、¥1,900	※初版（2006年）も 使用可	S-114	¥1,941	292	299	—
指・教育原理	2	指定市販本 (各自購入)	『教育を原理する』 筒井 美紀、遠藤 野ゆり 法政大学出版局、2013年、¥2,400		S-116	¥2,427	292	299	—
指・教育の制度・経営	2	指定市販本 (各自購入)	『学校経営』（教師教育テキスト） 小島弘道編、学文社、2009年、 ¥1,800		S-117	¥1,854	292	299	—
指・教育心理学	2	指定市販本 (各自購入)	『子どもと親と教師をそだてる教 育心理学入門』 古川聡・福田由紀共著 丸善、2006年、¥2,600	スタディガイドあり	S-118	¥2,622	293	299	—
指・教育課程論	2	指定市販本 (各自購入)	『学校と人間形成—学力・カリキュ ラム・市民形成』 佐賀 浩 法政大学出版局、2005年、 ¥2,500	スタディガイド 2009 年度末に増補改訂しま した。 スタディガイドあり	S-115	¥2,535	293	300	308
指・国語科教育法Ⅰ	4	指定市販本 (各自購入)	『あたらしい国語科指導法』 [四訂版] 柴田義松・阿部 昇・ 鶴田清司編著 学文社、2014年、¥1,900	※三訂版（2010年） も使用可 他、必須資料あり	S-123	¥1,941	293	300	308
指・国語科教育法Ⅱ	4	指定市販本 (各自購入)	『新たな時代を拓く中学校高等学 校国語科教育研究』 全国大学国語科教育学会編 学芸図書、2010年、¥2,200	他、必須資料あり	S-124	¥2,233	294	301	308
社会・地歴科教育法	4	通教テキスト (配本)	『社会科教育法』第1版 佐賀 浩・石渡延男、1999年 『地理歴史科教育法』第1版 松村吉郎・井原正純、1992年	2冊使用します	—	—	295	302	—
		(その他必須 文献：資料) (各自購入)	『地理授業で使いたい教材資料』 地理教育研究会編、清水書院、 2014年、¥2,000		SS-01	¥2,069			
社会・公民科教育法	4	通教テキスト (配本)	『社会・公民科教育法』第1版 笠原浩之・八木橋正之・ 木村宏一郎・渡辺賢二、2007年		—	—	295	302	—
商業科教育法	4	通教テキスト (配本)	『商業科教育法』第1版 木村良成、2003年	2冊使用します	—	—	296	303	—
		指定市販本 (各自購入)	『高等学校学習指導要領解説 商 業編』 文部科学省 実教出版、2010年、¥459		S-125	¥541			
指①・道徳教育指導論 (～2019年3月迄)	2	指定市販本 (各自購入)	『道徳教育の教科書』貝塚茂樹、 学術出版会、2009年、¥1,900	(テキスト変更： ～2019年3月迄) 経過措置テキスト	S-119	¥2,535	—	303	—
指②・道徳教育指導論 (2017年4月～)	2	指定市販本 (各自購入)	松下良平（編著）『道徳教育論』 (新・教職課程シリーズ)、一藝社、 2014年、¥2,200	(テキスト変更：2017 年4月～) 最新の指定テキスト	S-146	¥2,233	296	303	—
指・教育方法論	2	指定市販本 (各自購入)	『教育の方法』 佐藤 学 左右社、2010年、¥1,524		S-120	¥1,566	296	304	—
指・教育相談	2	指定市販本 (各自購入)	『要説発達・学習・教育臨床の心 理学』 内田照彦・増田公男編著 北大路書房、2000年、¥2,500	スタディガイドあり	S-126	¥2,535	297	304	—
指・生徒・進路指導論	2	指定市販本 (各自購入)	『最新生徒指導・進路指導論—ガ イダンス とキャリア教育の理論と実践』 (教育課程シリーズ) 吉田辰雄、図書文化社、2009年、 ¥2,000		S-121	¥2,049	297	305	—
指・特別活動論	2	指定市販本 (各自購入)	『特別活動』 (教師教育シリーズ12) 折出健二編 学文社、2008年、¥1,800		S-122	¥1,844	297	306	—

●教科に関する別置専門科目

科目名	構成単位	テキスト種別 (入手方法)	2017年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社（市販本のみ）／発行年／定価（税別）	備考	教科書コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
							シラバス	設題	試験範囲
倫理学	4	通教テキスト (配本)	『倫理学』（第2版） 村上 恭一、鶴岡 健、2011年		—	—	298	306	308
旧・職業指導 (～2018年3月迄)	4	通教テキスト (—)※	『職業指導』第1版 大根田充男、1996年	(テキスト変更： ～2018年3月迄) 経過措置テキスト ※原則、「教材交付願」 での購入のみ	—	—	—	307	—
指・職業指導 (2016年4月～)	4	指定市販本 (各自購入)	『最新生徒指導・進路指導論－ガイダンスとキャリア教育の理論と実践』（教育課程シリーズ） 吉田辰雄、図書文化社、2009年、 ¥2,000	(テキスト変更：2016 年4月～) 最新の指定テキスト	S-121	¥2,049	298	307	—

2017年度 通信学習シラバス

教職入門

教科担当責任者：遠藤 野ゆり

担当者：遠藤 野ゆり

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 教師の姿、授業の意味、子どもに寄り添うことの必要性といった現代社会の個別の問題に加え、歴史の中での教師の役割、意味を考察する力をつける。このことをとおして、教員の職務内容（研修や服務規程、身分保障、権利など）に関する基礎的知識を理解し、現代社会における教職の意義及び教員の役割を理解する。こうした知識と理解に基づいて、教職を目指す意識を確固たるものにする。

2 科目の概要 教師の生活・生涯と教職の意義及び教員の役割

授業やカリキュラム・学校文化の生成

子どもに寄り添う教師の意義

時代や社会の中の教師像

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 指定市販本『新しい時代の教職入門〔改訂版〕』（有斐閣アルマ）、有斐閣、秋田喜代美・佐藤学編著、2015 年、¥ 1,900+税

教職とは何か、子どもとどのような関係を作るのか、教師として生きるの意味はなんなのか、初学者向けにわかりやすく解説したテキスト。

※初版（2006 年）も使用可

5 学習指導、注意点等 ①日本の教職の現状、その概要について、歴史的な観点も含め把握、理解する。②教師という職業、人生、生活を知り、自分の目標とする教師像、教育像を持つ。③現代学校の持っている基本的な性格を理解し、教育とは何かについて自分の考えを持つ。④子どもをどう捉えるかについて、教育学で探求されている課題を知り、一定のイメージを持つ。⑤教職を目指す意識を高める。

[参考文献]

『学習指導要領』（文部科学省）

教育原理

教科担当責任者：遠藤 野ゆり

担当者：遠藤 野ゆり

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 公教育成立の歴史が社会変化との関連でとらえられ、学校教育成立を支える社会思想や、教育の根本理念を理解できる。

公教育をめぐる現代の諸問題、特に大人と子どもの関係、発達論、教師の在り方を、自分自身に引きつけつつ考えることができる。

考えたことを適切に文章で表現できる。

2 科目の概要 古代ギリシャ・ローマ時代の教育とその背景
中世ヨーロッパ社会におけるキリスト教の影響と教育
近代社会の成立と公教育成立前夜
産業革命による社会変化が公教育成立に至るまで
歴史における子ども観の変化
現代教育における発達と個性
おとなと子どもの関係のとらえ直し

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

公教育成立の歴史が適切に理解できること、その成立を支えた社会思想と、現代における教育の理念が理解できること、現代社会の教育問題について、その理念に基づき検討できることを評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 筒井美紀・遠藤野ゆり『教育を原理する』法政大学出版局、2013 年、¥2,400+税

歴史の中の教育史を単独で取り出すのではなく、社会の産業変化や階層構造の変化などの中での教育の成立と変化とを読み解くことを通して、現代の教育問題を検討する。

5 学習指導、注意点等 指定されたテキスト部分の読解
[参考文献]

『学習指導要領』（文部科学省）

教育の制度・経営

教科担当責任者：高野 良一

担当者：高野 良一

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 「学校づくりをデザインする」が授業テーマである。学習目標は、学校を成り立たせている諸要素の基礎知識をテキストなどを通じて習得すること、その上に立って、学校づくりと関わる具体的なテーマを自ら設定し、自ら調べた知識やデータも活用して、自らのテーマを論述する力をつけることである。

2 科目の概要 導入として、学校づくりとはどんなことを示す。つぎに、日本の学校を存立させている法制度、行財政システムという組織環境を紹介し、その上で学校内部に視点を移し、学校組織やその基礎単位の学級、さらには学習環境やカリキュラムという構造的要素について考える。

続いて、学校を構成するコアの人的要素である校長や教師について、勤務条件・環境や職能開発、教員文化について考察を加える。最後に、学校の当事者として不可欠とされている地域住民や親、それにスクールカウンセラーなどの新しい教育専門職のあり方を検討する。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）レポートは、次の三つの基準から評価する。①テキストを読み込み、これを参考にしながら自らテーマを設定できているか。②テーマに即して、インターネットや文献、さらには新聞などから、論述に必要なデータや資料を収集しているか。③自らたてたテーマや問いに対して、的確に事実や論理を駆使して回答しているか。

4 テキスト名および詳細 テキストは、指定市販本『学校経営』（教師教育テキストシリーズ）小島弘道編、学文社、2009 年出版、¥ 1,800+税である。このテキストは、学校づくりという視点から、教育の制度・経営を論じている。

学校づくりが、どのような広がり（領域）を持つのか、また、個々の領域や主題にはどんな事態や論点、課題があるのか、それらについて基礎知識を取得するだけでなく、レポート・テーマの素材選びにも活用してほしい。

5 学習指導、注意点等 まず、テキストを通読して、基礎知識を得ると共に、興味や関心を持った章やその中に記述されたキーワードをノートに書きとめ、優先順位などをつけて整理

することが必要である。その上で、レポートのテーマを選定するために、ナマおよび最新の情報、事例などの論述に必要な情報をえるために、インターネットで事項検索してほしい。また、参考文献は、アマゾンなどの書籍サイトでも、キーワード検索で探せるのでは非行ってほしい。なお、気に入ったものを一冊でもいいので、参考書として読んでほしい。

レポート論述に際しては、まず、簡単でよいので章立て（論述の構成）を考えること。そして、①なぜそれをテーマに選んだか、②何を論点にし、裏付けになる事実やデータはなにか、③自分の体験や考え、批評を盛り込んで論じることができたか、という三点を含んで論述内容を精査してほしい。

単位修得試験の際には、テキストを再読するだけでなく、それに関連する事項について、話題や問題になっていることや論点に関する知識を整理するとともに、それらに対応する自分の体験や見解などをまとめておくなどの準備をしてほしい。

【参考文献】

『学習指導要領』（文部科学省）

教育心理学
教科担当責任者：田澤 実
担当者：田澤 実 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 教育心理学は【発達】【パーソナリティ】【学習】【臨床】など幅広い分野があるのが特徴である。

基本的には、学校において教える場面で必要となる心理学的なトピックについて学ぶ。ただし、扱う内容は学校外でも応用可能なものも含む。たとえば、民間企業においても「教える」場面は多々ある。具体例は学校におけるものが多いが、民間企業においてもこの枠組が使えることがある。

2 科目の概要 教育心理学は独自の理論と方法を持ち、広義の教育の課程と教育活動を解明し、有効ならしめる心理学である。学校教育、家庭教育、社会教育に関連して、発達（児童・青年、生涯発達）、学習・教授（動機づけ、授業）、パーソナリティ・適応（性格、道徳発達）、測定・評価（教育評価、テスト）、対人関係・集団（学級集団、教師・生徒関係）や臨床・障害（教育相談、障害児の心理）を研究対象とする。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『子どもと親と教師をそだてる教育心理学入門』丸善、古川聡・福田由紀共著、2006年、¥ 2,600+税
※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 計画的に学習を進めることがのがぞましい。

また、教科書で出てくる専門用語は数行で構わないので説明が可能になっていることががぞましい。

テキストのみならず、心理学の辞書などの併用があるとなお良い。

【参考文献】

『学習指導要領』（文部科学省）

教育課程論

教科担当責任者：遠藤 野ゆり

担当者：飯窪 真也

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 教育課程に関する基本問題をテキストに即して理解し、各自の考えを形成する。具体的には以下の論点について基礎理解を獲得すると共に各自の考えを形成する。

- ①教育課程の歴史を理解し各自の考えを持つ。
- ②学力と学習意欲のあり方について理解し各自の考えを形成する。
- ③教育課程を規律する制度と法的仕組みを理解し各自の考えを形成する。
- ④教育課程を教材として作成する方法を理解し、各自のスキルを身につける。
- ⑤教育課程において子どもの人権を保障するための視点と考えを獲得する。
- ⑥学習指導要領についてきちんとした理解を持つ。

2 科目の概要 ①まず、テキストをよく読み、基本的な理解を獲得する。次にテキストを熟読し、理解を深める。

- ②設題にしたがってレポートを提出する。その際に、関連した文献を読み、より広い視野を獲得する。
- ③添削において書き直しを指示された時は、もういちどテキストをよく読み、検討を重ねて再提出する。
- ④単位修得試験を受ける。

3 成績評価基準 ①設題の指示にしたがってレポートを作成、提出する。＜テキスト理解＞＜各自の主張の確かさ＞＜問いへの的確な応答＞＜他の論者の主張の読み取り＞＜文章表現＞を総合的に勘案してレポートの評価を行う。

②単位修得試験を受けて合格する。試験の評価は、各問に 700 字以上の記述を最低要件とし、＜問いへの的確な応答＞＜テキスト理解＞＜文章の出来具合と正確さ＞＜主張の説得力＞を総合的に判断して評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 佐貫浩『学校と人間形成－学力・カリキュラム・市民形成』法政大学出版社、2005年、¥2,500+税

※【スタディガイド（学習指導書）】（2009 年度末に改訂）あり。
※学習の際は必ずスタディガイドも参照すること（単位取得試験の範囲にはスタディガイドも含まれる）。

5 学習指導、注意点等 ①テキストの熟読が基本である。
②設題へのレポートは、テキストの論点を各自が自分なりに整理し、それを基に各自の意見を積極的に展開し、各自の考えをまとめるためのものである。

③単位修得試験においては問題に指示されている字数を守ること。
【参考文献】

『学習指導要領』（文部科学省）

国語科教育法 I

教科担当責任者：遠藤 野ゆり

担当者：福田 淑子

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 中学校・高等学校の国語の指導に必要な基礎知識と授業技術の学習の到達目標は以下の通りです。

- ①文章表現、文学教材を通して生徒に読む力、考える力、聞く力、伝える力を身につけさせるための知識と方法を習得する。

② 言語表現を通して自己や他者と出会い、多様な世界に視野を広げながら、自己を対象化する認識力を育てる言葉の力を身につけさせる方法を習得する。

③ 言語学習を共にする生徒たちの教室空間を、他者との豊かな出会いの場として、共に学び合い他者を理解し合うコミュニケーションの空間として機能させる力を身につける。

2 科目の概要 今日子ども観、発達観は歴史的に大きく発展してきました。それに基づく国語教育における学力観、指導観や方法もまた多様に展開され、その中での教師の実践を基に国語教育の理論化も深められてきました。国語教育の実践と理論を学ぶことを通して、子ども・生徒をどうとらえ、同僚教師との同僚性を育てながらどのように指導計画を組み、どのように指導していくのかという、国語科教育の基本的理論と応用力、実践力を身に付けることをねらいとします。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたりポートの内容を考慮します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 柴田義松・阿部昇・鶴田清司編著『あたらしい国語科指導法』四訂版、学文社、2014年、¥1,900+税 ※三訂版（2010年）も使用可
【必須資料】

なお、上記指定テキストの他、以下の資料を必ず参照すること。
・福田淑子「国語科（高校）の授業と学習指導案」『三訂 教育実習の手引き』法政大学教職課程委員会、2015年、pp.26-33
・（設題第2回（1）の課題） 鈴木孝夫「相手依存の自己規定」『精選現代文B』東京書籍

<資料の入手方法>

① 2017年度以降に履修登録する場合：資料は履修登録後のリポートノート配本時に送付します。

② 2016年度までに履修登録済みの場合：通信教育部リポート担当宛に請求してください。（電話／郵送／窓口で受付）
※郵送請求の場合は、自由書式に学生証番号、氏名、請求資料名、送付先住所を記載のこと

5 学習指導、注意点等 学習にあたって何よりもまず、テキストをしっかりと読み、理解することが大事です。テキストでは実践例が多く紹介されていますが、実践は授業者と学習者の相互の関係の上で成り立ちます。以下に挙げる参考文献は学部の講義で使用しているものです。少なくとも3冊以上は手に取って精読し、自分ならどうするかという具体的な指導方法をイメージしながら学ぶようにして下さい。

【参考文献】
『学習指導要領 国語編』（中・高「国語」）、文部科学省
『読むことの教育』竹内常一（山吹書店）2005年
『学力と新自由主義』佐貫浩（大月書店）2009年
『文学が教育にできること』田中実・須貝千里編（教育出版）、2012年
『〈新しい作品論〉へ、〈新しい教材論〉へ』田中実・須貝千里編、2003年
『国語科新教材の徹底分析』科学的『読み』の授業研究会編（学文社）2001年
『寝ながら学べる構造主義』内田樹、文藝春秋、2002年
『よくわかる比喩—ことばの根っこをもっと知ろう』瀬戸賢一（研究社）2005年

（ここまで国語科教育法Ⅰ・Ⅱ共通）

『カリキュラムの批評』佐藤学（世織書房）1996年
「教材研究の定説化5『舞姫』の読み方指導」大西忠治・加藤郁夫（明治図書）1991年
「教材研究の定説化6『こころ』の読み方指導」大西忠治・丸山義昭（明治図書）1991年

「教材研究の定説化7『羅生門』の読み方指導」大西忠治・薄井道正（明治図書）1991年

『小説の力』田中実（大修館）1996年

「芥川龍之介『羅生門』作品論集」（志村有弘編）クレス出版

国語科教育法Ⅱ

教科担当責任者：遠藤 野ゆり

担当者：福田 淑子

単位数：4単位

1 学習の到達目標 中学校・高等学校の国語の指導に必要な理論と授業実践技術の学習の到達目標は以下の通りです。

① 生徒の言語に対する興味関心を引き出すための教材を選択する力とテキスト分析力を習得し、多様な取り組みのできる授業案づくりの能力を身につける。

② 文学的作品の読解力、文章表現力に必要な日本語文法、文章の修辞法、表現法など身につける。

③ 作品理解のための多様な理論を学び、文学作品の複眼的な読解の可能性と深い味わいを読み取り授業展開の中で生まれるさまざまな生徒の疑問や解釈に、適切かつ豊かに対応できる力を身につける。

④ 共に学び合い、他者を理解し、自己を見つめ、社会性や共同体意識などを身につけることのできる教室空間にするために、授業者はどのような具体的な働きかけをしたらいいのかを学ぶ。

2 科目の概要 国語科教育法Ⅱでは、Ⅰの国語教育の基本的全体像とその実践理論を踏まえて、その指導についてより具体的に学んでいきます。国語科教育の意義、国語科教育の目標と内容を受けて、指導計画、教材研究、指導の方法と実際、評価の問題等、教師になったとき実際にどうするかという教育実践者としての立場と、言語とは何かという深い言語理論を基にして、教材の作品分析、その指導案づくり、教室空間づくりの力をつけていきます。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたりポートの内容を考慮します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 全国大学国語科教育学会編『新たな時代を拓く中学校高等学校国語科教育研究』学芸図書、2010年、¥2,200+税

【必須資料】

なお、上記指定テキストの他、以下の資料を必ず参照すること。
・福田淑子「国語科（高校）の授業と学習指導案」『三訂 教育実習の手引き』法政大学教職課程委員会、2015年、pp.26-33
・（設題第2回（1）の課題）ヘルマン・ヘッセ／高橋健二訳「少年の日の思い出」 光村図書

<資料の入手方法>

① 2017年度以降に履修登録する場合：資料は履修登録後のリポートノート配本時に送付します。

② 2016年度までに履修登録済みの場合：通信教育部リポート担当宛に請求してください。（電話／郵送／窓口で受付）
※郵送請求の場合は、自由書式に学生証番号、氏名、請求資料名、送付先住所を記載のこと

5 学習指導、注意点等 言語は多様な働きと奥行きを持った難解な構造をしています。実用的な生活情報としての意味言語だけではなく、まずは人間の発達にとっての「言語とは何か」を学んで欲しいと思います。以下に挙げる文献は学部で用いているものです。必ず2冊以上は精読してください。また自分でも様々な関連文献にあたって豊かな言語理論を身につけてください。また、教育実践とは何かということは、目の前にいる子供

たちの具体に対応することによってしか語れません。それぞれに状況を抱えている生徒の内面に応じた柔軟な実践が出来るようになることを目指してください。

[参考文献]

『学習指導要領 国語編』、(中・高「国語」)、文部科学省 『読むこと』 竹内常一 (山吹書店) 2005 年

『学力と新自由主義』 佐貫浩 (大月書店) 2009 年

『文字が教育にできること』 田中実・須貝千里編 (教育出版)、2012 年

『〈新しい作品論〉へ、〈新しい教材論〉へ』、田中実・須貝千里編 (右文書院)、2003 年

『寝ながら学べる構造主義』 内田樹 (文藝春秋) 2002 年

『よくわかる比喩—ことばの根っこをもっと知ろう』 瀬戸賢一 (研究社) 2005 年

『カリキュラムの批評』 佐藤学 (世識書房) 1996 年

(ここまで国語科教育法 I・II 共通)

『現代文学理論』 土田知則・神郡悦子・伊藤直哉 (新曜社) 1996 年

『現代の文章』 筑摩書房、1987 年

『高校生のための 文章読本』 筑摩書房、1986 年

『高校生のための ちくま評論選』 筑摩書房、2007 年

『高校生のための 評論入門』 筑摩書房、2009 年

『高校生のための現代思想エッセンス ちくま評論選』 改訂版、筑摩書房、2012 年

『物語の構造分析』 (ロラン・バルト) みすず書房、1979 年

『バフチンの言語理論』 (ミハエル・バフチン) せりか書房、2002 年

社会・地歴科教育法

教科担当責任者：遠藤 野ゆり

担当者：石田 素司、丸山 理

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 中学校社会・高等学校地理歴史科の目標は、①複雑な社会を筋道たてて把握する力を養う、②社会を多様にみることが出来る力をつける、③人間への関心と愛着をはぐくみ、自ら行動するために何が必要か、を考えることにある。そこで、本講座は教師として授業を行うにあたり身につけておきたい教材研究の理念と方法を、授業案作成という作業を通じて学ぶこととする。

2 科目の概要 地歴科の中で地理教育は、中学において世界と日本の諸地域を主に地誌的に学習してきたことを受けて、高校では、現代世界を系統的に取り扱う。共通している視点は、人々の生活の実態に迫ることである。授業では、課題をとらえ解決への糸口を考察することが必要となる。ここでは一つの地域を地誌的にとりあげ、そのための教材づくり、授業展開を学習する。歴史教育は第2次大戦後社会科の中の世界史・日本史であったが、1989年には社会科は解体され、地理歴史科として世界史必修、日本史選択となった(今後、日本史必修の可能性もある)。その背景も考えておくことが大切である。歴史学習を展開するには様々な形態があり、ある学習形態を通して授業をどのように展開したらよいか、学習指導案(授業案)の作成とその成果をどのように評価したらよいかを学習する。

3 成績評価基準 ・レポートについて

地理では(1)授業が単元の中でどのように構成されているか(単元構成)(2)授業で何を教えたいのが明確になっているか(授業者の問題意識・本時のねらい)(3)授業の展開がねらいに合っているか(発問)(4)生徒とともに考える授業になっているか(教材作成)、以上の観点から評価する。

歴史では、上記の観点に(5)具体的な史料を使って過去の事実がどのように再構成されるのかを提示できたか(史料の活用)を加えて評価する。

・単位修得試験について

地理・歴史とも設題の内容を把握し、論理的かつ自己の意見を適切に述べた文章が書けているかで評価する。

4 テキスト名および詳細 ・通教テキスト『社会科教育法』第1版、佐貫浩・石渡延男、1999年

・通教テキスト『地理歴史科教育法』第1版、松村吉郎・井原正純、1992年

5 学習指導、注意点等 ・地理に関して

(1)地誌における「歴史的背景」とは、現在に強く影響を与えた時点(多くはアジア・太平洋戦争)以降の動きに焦点化すると良い。歴史科の授業と異なる点は何か、地理独自の切り口を考え立案してもらいたい。

(2)レポートは1時間(50分)の指導案を作成する。書式は、必ずしも指導案の形式でなくても良いが、単元全体の学習計画(単元構成＝学習内容の項目と学習の順序)および本時のねらいを明記し、なおかつ導入・展開・まとめと分けて記述すること。

(3)生徒へ提示する資料を必ず添付する。また指導案、特に展開部分では、その資料に関する「発問」を記すこと。下の参考文献を熟読してほしい。

・歴史に関して

(1)レポートは中学校社会科もしくは高等学校世界史・日本史のいずれかから1時限(50分)の指導案を作成する。指導案の基本的な体裁を整えること。

(2)具体的な史料を扱い、何が読み取れるのかを示すこと。

(3)生徒に提示もしくは配布するプリント等を必ず添付すること。

[参考文献]

●木村茂光他『新編 史料でたどる日本史事典』(2012年)東京堂出版 ¥2,800+税

●江上波夫監修『新訳世界史史料・名言集』(2006年)山川出版社 ¥486+税

●地理教育研究会編『地理授業で使いたい教材資料』(2014年)清水書院 ¥2,000+税

●『学習指導要領』(文部科学省)

社会・公民科教育法

教科担当責任者：遠藤 野ゆり

担当者：笠原 浩之、八木橋 正之

単位数：4 単位

※レポート(第1回・第2回)一括提出不可

1 学習の到達目標 ① 広く社会科教育の歴史と歩みを考え、中学社会及び高校公民科で現代社会の課題をどう取り上げるかを考える。

② 社会・公民科学習の実際…その方法とイメージを考える。

2 科目の概要 中学社会科と高校公民科の二つの教育法の習得のための科目である。21世紀に入り、地球上にはなお核兵器が存在し、テロや戦争も絶えない。また憲法や民主主義をめぐる問題、地球温暖化というまさに人類の歴史はじまって以来の難問もつきつけられている。このような時代にどのような社会科教育が求められているのか。まず科目では、このような広い視点で真正面から課題を深めることを目的としている。そして、このような問題意識と視点に立って、実践的には中学と高校の発達段階の違いをふまえ、さらには科目の特徴をおさえて、学

習指導案をつくることを重視する。

3 成績評価基準 ①テキストを熟読し、参考文献等も活用し、評価対象になっている設題の課題を完成させる。
②試験を行い評価する。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『社会・公民科教育法』第1版、笠原浩之・八木橋正之・木村宏一郎・渡辺賢二、2007年

5 学習指導、注意点等 学習にあたっての注意事項はまず、テキストをよく読んで欲しい。中学・高校教育の経験者4名が共同して執筆したテキストであるので、けっして難しい内容ではない。教育実践に裏付けられた大切なことをできるだけ盛り込んでいる。盛り込みすぎたかもしれないが、ていねいに読めば理解することができるだろう。

設題にとりくむのは、あせらずに、少なくともテキストの内容がおおよそ理解できてから行ったほうが結局は早い。

参考文献は『学習指導要領』（文部科学省）のほか、テキスト中に明示している。

商業科教育法

教科担当責任者：遠藤 野ゆり

担当者：木村 良成
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 商業教育、特に高等学校の商業科教育についての正しい認識と理解を得るとともに、当該教科の教育についての学習指導能力の基礎を培うことを一番の到達目標とする。

最初に、商業教育とは、特に高等学校段階での商業教育とは一体どのような性格の教育なのか。そしてそれにはどのような効用なり、役割が期待されているのかを考えてみると良い。

初期の学習では、当該教科の学習指導を中心とした学習展開を考えてみる。一般的な商業の学習指導の概念や学習指導計画、学習形態と学習指導法などについての調査を行い、その後、高等学校の商業教科の組織上の科目群、すなわち、流通ビジネス（商業経済）、国際経済、簿記会計、経営情報（情報処理）および総合的（総合学習）の各科目群の中から幾つかの科目を選んで、それぞれの科目の性格・目標、内容などとの関連において、これらに適した学習指導法について考えてみると良い。

次に、そのような商業教育は、わが国の場合、何時ごろ、どのような社会的経済的背景の下に起こり、どのような変遷を経て今日に至ったのか、特に明治近代教育の商業学校と戦後の教育制度の下での商業高校としての変遷に大きく分けてみると更に理解が深まる。

最終的には、平成11年と平成21年に改訂された高等学校学習指導要領を用いて現行の高等学校商業科教育の目標について検討してみると良い。これは教科の目標と学科の目標について検討することになる。これらの目標は具体的には高等学校の教科・科目の履修を通して実現されるものであるため、ここで現行高等学校の商業に関する教科の種類（科目）および教育課程の編成について触れておくことが肝心なこととなる。

2 科目の概要 商業教育、特に高等学校の商業科教育についての正しい認識と理解を得ることと、当該教科の教育についての学習指導能力の基礎を培うことを目的とする。

次に商業教育はわが国の場合、いつ頃、どのような社会的経済的背景の下に起こり、変遷を経て今日に至ったのかを学習する。

その後、商業の概念とはどのようなもので、その根本となる原理や根拠は何であるかを学習していく。

最終的には、商業が現代においてどのような性格を持ち、効用があり、役割を演じているか理解してもらえればと思っている。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたりレポートの内容も考慮する。

4 テキスト名および詳細 ・通教テキスト『商業科教育法』第1版、木村良成、2003年
・指定市販本（副教材）『高等学校学習指導要領解説 商業編』実教出版、文部科学省、2010年、¥459+税

5 学習指導、注意点等 自分が教員となった立場で学習することが肝心である。

商業教育の様々な課程を考えて学習すること。

上記4に記載のとおり、通教テキストの内容に加え、副教材としての平成21年の学習指導要領改訂の内容も学習すること。

道徳教育指導論

教科担当責任者：児美川 孝一郎

担当者：児美川 孝一郎
単位数：2 単位

※2017年4月よりテキスト（指定市販本）変更

1 学習の到達目標 道徳教育とその指導について理解を深め、道徳教育を実践していく際の基礎的な力量を獲得する。

2 科目の概要 学校における道徳教育のねらい、意義、方法、指導計画、評価のあり方、担当者、校内の推進体制等について、家庭および地域社会との連携の必要性も視野に入れつつ、また、戦前・戦後の公教育における道徳教育の歴史的変遷と現状も踏まえながら、理論的および実践的に考察していく。

3 成績評価基準 現行の道徳教育の仕組み、および実践上の困難や課題について、十分に理解しているかどうかに基づいて成績評価を行う。

4 テキスト名および詳細 ・指定市販本『道徳教育論』一藝社、松下良平編、2014年、¥2200+税

5 学習指導、注意点等 現行の「学習指導要領」における第1章「総則」および第3章「道徳」を熟読することが必要である。「学習指導要領」の文言は、抽象的・一般的なものであるが、その背後にある考え方や現実の学校教育の場面での具体的な展開を、テキストを参考にしながら、理解することが重要である。

また、近年の道徳教育の実践は、以前より工夫され変化してきている。自分自身の経験を持ちだして、生半可な判断をするようなことは慎まなくてはならない。

[参考文献]

『学習指導要領』（文部科学省）

教育方法論

教科担当責任者：遠藤 野ゆり

担当者：中国 有希
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 教育の方法について、理論と実践（事例）の双方から理解することによって、将来実践を行う際に立ち戻ったり参照したりできるような基盤を養う。教育理論や実践の多様性に触れ、教育に対する見方をひらく契機を準備する。

2 科目の概要 教育の方法に関して、理論と具体的な教育実

実践事例、双方からのアプローチを通して理解することを目指す。理論からのアプローチに関しては、テキストを利用した丁寧な学習を通して、教育の方法に関する歴史や、現在の教育実践を支える諸理論を理解してもらう。また、とりわけレポート学習では、具体的な教育実践事例を自身の興味に応じて発展的に調べ、考察することで、現実の教育実践を見る視点を養ってもらう。

3 成績評価基準 リポート、単位修得試験ともに、評価は以下の5つの観点から行うものとする。

- (1) 誤字・脱字がないか。文章の構成や形式がきちんとしているか。
- (2) 概念等の明らかな誤りが存在しないか。
- (3) 論理的な一貫性がみられるか。
- (4) 説得力が存在するか。
- (5) 独創性が存在するか。

たとえ言葉足らずであっても、自身で考え、言葉にしようとした努力を大きく評価する。また、大学における学習では、形式の整った文章を作成する力も重要である。レポート学習初心者は、「レポートの書き方」をテーマとする図書を参照しつつ、執筆作業に取り組むことを強く推奨する。コピーアンドペーストや剽窃には厳しく対処する。最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたリポートの内容も考慮する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 佐藤学『教育の方法』左右社、2010年、¥1,524+税

5 学習指導、注意点等 テキストの学習では、まずは章ごとの内容を、辞書や事典なども活用しつつノートなどにまとめていくとよい。初めて触れる概念や考え方には、難しいものもあるかもしれないが、テキストP.194-195に掲載されている参考文献なども併せて読むと、内容の理解が深まると思われる。最終的には、テキストに書いてある内容に関して、概念等を正確に使いつつ自分なりに説明したり、考察を加えたりできるようになることが望ましい。

[参考文献]

学習指導要領（文部科学省）

教育相談
教科担当責任者：田澤 実
担当者：柴田 良一 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 基本的には、学校における生徒指導と教育相談における心理学的なアプローチについて学びます。ただし、扱う内容は学校外でも応用可能なものも含まれます。

2 科目の概要 「教育相談」は広く教育に関する相談に応じる専門活動であり、治療指導のほか、生徒に対する心理・福祉両面からの支援も重要な任務である。学ぶべき領域は、広く教育全般や教育心理学のほか、カウンセリングの基礎やソーシャル・ケースワークの理論と実践も重要な柱である。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『要説発達・学習・教育臨床の心理学』北大路書房、内田照彦・増田公男編著、2000年、¥2,500+税

※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 計画的に学習を進めることがのぞましい。

また、教科書で出てくる専門用語は数行で構わないので説明

が可能になっていることがのぞましい。

[参考文献]

学習指導要領（文部科学省）

生徒・進路指導論
教科担当責任者：児美川 孝一郎
担当者：岩本 俊一 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 生徒指導、進路指導について理解を深め、学校において実践していく際の基礎的な力量を獲得する。

2 科目の概要 学校における生徒指導、進路指導のねらい、意義、方法、指導計画、教員間の連携、校内の推進体制、生徒理解をどう深めるか等について、家庭および地域社会との協働、中高や高大連携、産業界との連携の必要性も視野に入れつつ、理論的および実践的に考察していく。

3 成績評価基準 生徒指導、進路指導のねらいや意義、および実践上の困難や課題について、十分に理解しているかどうかに基づいて成績評価を行う。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『最新生徒指導・進路指導論－ガイダンスとキャリア教育の理論と実践』（教育課程シリーズ）、図書文化社、吉田辰雄、2009年、¥2,000+税

5 学習指導、注意点等 生徒指導・進路指導において鍵となるポイントの一つは、生徒をどれだけ深く理解できるかという点にある。生徒理解を深めるためには、テキストを熟読するだけでなく、不登校や非行生徒への対応、集団づくり等に焦点を当てた教育実践記録（単行本や教育雑誌に掲載されたもの）を読んでみることを薦めたい。

[参考文献]

『学習指導要領』（文部科学省）

特別活動論
教科担当責任者：児美川 孝一郎
担当者：吉田 昌弘 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 特別活動とその指導について理解を深め、特別活動を指導していく際の基礎的な力量を獲得する。

2 科目の概要 学校における特別活動の歴史的変遷、そのねらい、意義、方法、活動領域、指導計画、教員間の連携、校内の推進体制等について、家庭および地域社会との連携の必要性も視野に入れつつ、また、各教科、道徳の時間、総合的な学習の時間との連携を見通しつつ、理論的および実践的に考察していく。

3 成績評価基準 特別活動のねらいや意義、仕組み、および実践上の困難や課題について、十分に理解しているかどうかに基づいて成績評価を行う。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『特別活動』（教師教育シリーズ12）、学文社、折出健二編、2008年、¥1,800+税

5 学習指導、注意点等 テキストの熟読は必須であるが、より実践的な理解を深めるためには、学校行事づくりや生徒会活動の指導等にかかわる教育実践記録（単行本や教育雑誌に掲載されたもの）を読んでみることを薦めたい。

[参考文献]

『学習指導要領』（文部科学省）

倫理学

教科担当責任者：松本 剣志郎

担当者：相原 博
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 ①倫理学の基本的な問題および歴史を理解する。②倫理学の立場から自分の行為を反省できるようになる。

2 科目の概要 倫理学とは、私たちが何をなすべきか、あるいはどのように行為すべきかを明らかにする学問です。私たちは、たんなる事実の世界に存在するわけではなく、規範に基づく世界にも存在しています。というのは、人間の行為や社会について、私たちは「あるべき」や「あるべきでない」といった判断をしているからです。こうした判断の事実、すでに私たちが多少なりとも倫理的であることを意味しています。そこで倫理学は、私たちの倫理的な判断を、その根拠にまで遡って明らかにするのです。また倫理学は、私たちにとって身近な学問でもあります。というのは、「なぜ嘘をついてはいけないのか」や「善い行為とはどのようなものか」など、私たちの誰もが直面する問いにかかわるからです。こうした、誰もが直面する問いに「真面目に」答えるためには、どうしても倫理学の基本的な知識が必要になります。したがってこの科目では、私たちの倫理的な判断にかかわる重要な考えを学んでいきます。また倫理学には長い歴史があるので、過去の哲学者や倫理学者の考え方を学ぶことにもなります。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験によって評価します。ただし、レポート学習もしっかり行う必要があります。

レポートは次の基準で評価します。①通教テキストの内容を正しく理解できているかどうか。②レポートの設題について自分で考えることができているかどうか。③学術レポートの条件を満たし、簡潔にわかりやすく書かれているかどうか。なお、通教テキストや参考文献から引用する際には、必ず出典を明記しなければなりません。

単位修得試験は次の基準で評価します。①通教テキストの内容を正しく理解できているかどうか。通教テキストにもとづいて試験を実施するので、十分な準備をして臨む必要があります。この科目は出題範囲を公表しているので、試験前に確認してください。ちなみに、通教テキストの内容を考慮せず、個人的な見解を解答されても評価対象にはなりません。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『倫理学』第2版、村上恭一・鶴岡健、2011年

通教テキストは、第一編「倫理学の基本問題」と第二編「西洋の倫理思想の歴史」、さらに第三編「生命倫理思想の歴史」から構成されています。まずは全体を精読してください。そのうえで、テキスト巻末の参考文献表をもとに学習されるとよいでしょう。

5 学習指導、注意点等 レポートを書く際には、『自立学習の手引き』などを参照してください。

すでに述べましたが、まずは通教テキストを精読してください。精読とは細かい箇所までよく注意して読むことです。それによって、倫理学の基本的な考え方が理解できるようになるはずです。そして基本的な考え方が理解できれば、どのような内容と構成のレポートを書くべきか、おのずと明らかになるでしょう。なお近年、通教テキストを精読せず、個別の参考文献をもとにレポートを書かれる方がいます。しかし、基本的な考え方が身についていなければ、たんに言葉をつなぎ合わせただけのレポートになることは必然です。

職業指導

教科担当責任者：高野 良一

担当者：森本 紀子
単位数：4 単位

※ 2016年4月よりテキスト変更（通教テキスト → 指定市販本）

1 学習の到達目標 職業指導（進路指導）の主要な理論を学びつつ、中学校・高等学校の進路指導の現状をふまえて、教師として進路指導を実践していく上で必要不可欠な事項について学び、理解を深めることをねらいとする。また、自己理解、職業観の育成を図ることを目標とする。

2 科目の概要 職業指導とは、児童・生徒が社会の一員として、自己の存在を理解し、社会での職業や勤労、学校での学習や諸活動に積極的に関わる意欲・態度を持つように、指導・援助することである。本科目では、「職業指導」が求められる背景や成立基盤を理解し、学校や行政機関の職業指導の役割や指導内容を学習する。具体的には、職業指導を支える主要な理論（職業選択理論、職業発達理論など）や自己理解、職業理解の促進方法、また、進路相談の具体的な方法を学ぶことにより、生徒の職業・進路指導にどのように活用できるかを学習する。

3 成績評価基準 最終成績は、単位修得試験によって評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 指定市販本：吉田辰雄（2009年）『最新 生徒指導・進路指導論－ガイダンスとキャリア教育の理論と実践』（教育課程シリーズ）、図書文化社、¥2,000＋税

5 学習指導、注意点等 設題への解答にあたっては、テキストや参考文献、インターネットからそのまま写すことはせず、必ず、自分が理解したことを自分の言葉で論じてください。

2017年度 設題総覧

— リポート設題と参考文献 —

95501

指・教職入門

1 設題 (2 単位)

- 第1回 (1) 「学級王国」という言葉には教職の様々な問題が含意されています。
その内容を明らかにし、社会との関係において、教師に求められることは何なのかを具体的に論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

文献を引用する際には、引用箇所を「 」で明示のうえ、引用元文献のページ数をそのつど明記すること（いわゆる「文献の引用の仕方」に準拠すること）。

参考文献

- 佐藤学著『学校改革の哲学』東京大学出版会、2012年、¥3,000
- 栗原敦雄著『開かれた学校と学習の体験化』教育開発研究所、1992年、¥3,301
- 岩田康之・高野和子編『教職論』学文社、2012年、¥1,800

95529

指・教育原理

1 設題 (2 単位)

【特記事項】 ◆字数制限なし

- 第1回 (1) 指定のテキストに沿って、欧米における現代公教育成立までの経緯を詳述しなさい。その際に、古代・中世・近代・現代それぞれにおける教育のあり方とその背景である社会思想・社会状況が明らかになるようにすること。

設題解答にあたっての解説・注意等

参考・引用文献に関しては、引用するそのつど、引用箇所を「 」で示すとともに、引用元のページ数まで記すこと。

参考文献

- 今井康雄編『教育思想史』有斐閣、2009年、¥2,200
- 広田照幸他編『福祉国家と教育』昭和堂、2013年、¥4,200
- 田嶋一他著『やさしい教育原理』有斐閣、2011年、¥1,900

95530

指・教育の制度・経営

1 設題 (2 単位)

- 第1回 (1) テキスト『学校経営』（小島弘道編著、2009年）の各章には、その末尾に「考えてみよう」というコラムがあります。これらを参考にしながら、日本における教育の経営と制度に関する問題や課題について、自分なりに自由にテーマをたて、何故そのテーマを選んだかという理由を冒頭で触れた上で、テーマに即した資料や事実を探し、先行研究などを参照して、そのテーマを論じてください。なお、論述に際しては、冒頭の1行目に20字以内で具体的なテーマを記し、次の1行をブランクにして、本文を書きはじめてください。

95503

指・教育心理学

1 設題 (2 単位)

【特記事項】 ◆記述字数

(2000字以上)

- 第1回 (1) 教育評価には様々な方法がある。それぞれの利点と欠点について比較し、あなた自身が理想とする評価の方法について論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

1. リポートの引用箇所には必ず引用文献を明記し、着実に考えを進めてください。引用に当たっては、筆者と出版年は必須であり、引用文献が図書の場合は引用ページ数も記すこと。
2. リポートの末尾に必ず引用文献を付けてください。
3. 学問的内容面と日本語の文章としての適切さの両面を評価の対象とします。
4. 教育評価の方法を分類・整理し、それぞれの利点や欠点について論じてから、あなた自身の理想とする評価方法について考察してください。

5. その評価方法が優れていると判断するにいたった理由・根拠、実現可能性についても、合理的に説明してください。

参考文献

- 若き認知心理学者の会著『認知心理学者教育評価を語る』北大路書房、1996年、¥2,500
- 田中耕治編『よくわかる教育評価（やわらかアカデミズム・わかるシリーズ）』ミネルヴァ書房、2005年、¥2,500

95504

指・教育課程論

1 設題 (2 単位)

- 【特記事項】 ◆リポートノートの使い方 (横書き)
◆パソコン (ワープロ) 使用の可否 (原則パソコン (ワープロ) 使用のこと)

- 第1回 (1) テキストの筆者は、「受験競争に勝つためにたくさんの知識や技能を身につけさせる」ような教育の在り方に対して、批判的な論を展開しています。
- ①学習意欲や学力、ヒドゥン・カリキュラム等についての筆者の論を基に、なぜ「受験競争に勝つためにたくさんの知識や技能を身につけさせる」ような教育の在り方には問題があると言えるかについての根拠を多角的に整理しなさい。(1000-1200 字程度)
- ②①で整理した筆者の論を踏まえて、あるいは批判して、「学力というものをどう考えるべきか」についてのあなたの考えを述べなさい。その際、自分の考えの根拠となるような学術論文や著書を必ず一点以上引用しなさい。(800-1000 字程度)

参考文献

- 佐貫浩『学力と新自由主義』大月書店、2009年、¥2,500
- 佐藤学『学力を問い直す 学びのカリキュラムへ』岩波書店、2001年、¥520
- 基礎学力研究開発センター『日本の教育と基礎学力』明石書店、2006年、¥2,600

95505

指・国語科教育法 I

2 設題 (4 単位)

- 【特記事項】 ◆記述字数 第1回(1) (2500 文字前後) 第2回(1) (特になし)
◆パソコン (ワープロ) 使用の可否 可 (できるだけワープロで書いてほしい)
◆2016 年度以前に科目登録し、第2回(1)の課題資料及び必須資料 (『三訂 教育実習の手引き』抜粋) が手元にない場合は事前にリポート担当へ請求すること。

- 第1回 (1) テキストの第1章「ことばを学ぶこと・ことばを教えること」をあなたはどのように読んだか、述べなさい。その際、次の点を踏まえること。
- ①「話しことばの発達と書きことばの学習」にかかわる今日的問題を具体的な事例を示して述べること。
- ② 文章は前文・本文・後文の三部構成とし、必要な段落を付け、読み易い平易な文章にすること。
- 第2回 (1) 評論「相手依存の自己規定」鈴木孝夫 (『精選現代史 B』東京書籍) の教材論と指導計画案を作成しなさい。
- 《教材論》①教材分析：特に文章構造の分析と論理展開の特徴について ②概念用語の整理：対立する概念として用いられている語句の整理など ③論旨 (100 文字前後) ④高校2年生を対象とした場合の教材価値の4点で述べなさい。
- 《指導計画案》①指導のねらい、②全体指導計画、③3時間目の学習指導案、とすること。①では、この教材で何を学習させるのかについて述べなさい。②は5時間扱いとし、各時間ごとに、指導内容を本文にそって具体的に考えること。③は、全体指導計画の第3時のみを、導入・展開・まとめの流れで [学習内容・形態・学習活動・指導上の留意点・評価] を表にして記述すること。時間配分を入れること。50 分の授業とし、実際に授業ができるものを目指すこと。『三訂 教育実習の手引き』(pp.26-33) 参照のこと。

設題解答にあたっての解説・注意等

第1回(1)のリポートでは、テキストの理解力を評価する。その証左の一つとして具体的な事例の説明を求める。テキストの文言の引用については必ず「 」で示しページと行を () で記すこと。

第2回(1)の指導案の形式においては、テキストに例があるので参考にすること。ただし、あなたの授業構想を表現しやすい独自のものでもよい。

参考文献

- 《第1回(1)設題》
- 柴田義松著『ヴィゴツキー入門』子どもの未来社
 - ヴィコツキー『思考と言語・下』明治図書
 - ミハエル・バフチン『バフチンの言語理論』せりか書房

●土田知則・神郡悦子・伊藤直哉『現代文学理論』新曜社

●佐貫浩『学力と新自由主義』大月書店

●内田樹『寝ながら学べる構造主義』文藝春秋

《第2回(1)設題》

●『三訂 教育実習の手引き』法政大学教職課程委員会 (pp.26-33 はレポート作成時に必ず参照すること)

●田中実・須貝千里編『新しい作品論へ、新しい教材論へ』右文書院、2003 年

●阿部昇著『授業づくりのための「説明的文章教材」の徹底批判』明治図書

*『高校生のための 文章読本』筑摩書房、1986 年

*『高校生のための ちくま評論選』筑摩書房、2007 年

*『高校生のための 評論入門』筑摩書房、2009 年

*『高校生のための現代思想エッセンス ちくま評論選』改訂版、筑摩書房、2012 年

95506

指・国語科教育法Ⅱ

2 設題 (4 単位)

【特記事項】 ◆記述字数 第1回(1) (2500 前後) 第2回(1) (特になし)
◆パソコン (ワープロ) 使用の可否 可 (できるだけワープロで書いてほしい)
◆2016 年度以前に科目登録し、第2回(1)の課題資料及び必須資料 (『三訂 教育実習の手引き』
抜粋) が手元にない場合は事前にレポート担当へ請求すること。

第1回 (1) あなたがこれまで受けてきた国語の説明的文章の授業を振り返り、あなたならどう改善するかを批判的な観点から述べなさい。その際、次の点を踏まえること。

- ① 批判点、改善点は2点以上示し具体的に述べること。
- ② 文章は、前文・本文・後文の三部構成とし、必要な段階を付け読みやすい文章展開を心がけること。また、適切な題名をつけること。
- ③ テキスト『新たな時代を拓く中学校高等学校国語科教育研究』の趣旨を踏まえ、下に提示した【参考文献】のいくつかにもあたること。

第2回 (1) テキスト『新たな時代を拓く中学校高等学校国語科教育研究』を参考に、次の教材の教材論と指導案を作成しなさい。

《教材》「少年の日の思い出」ヘルマン・ヘッセ／高橋健二訳 中学1年 光村図書

《教材論》①作品の構造 (導入、展開、山場、終結の4部構造に分け、クライマックスを1文で指摘し、なぜそこなのか説明すること) 分け方は、ページと行で示すこと。

②主題 (200 文字前後で述べる)

③教材価値と教材分析 (中学生の精神発達を考慮すること)

《指導案》①全体指導目標 (この教材で何を教えるか)

②全体指導計画 (8 時間扱いとし、1 時間ごとの指導目標を立てる。)

③6 時間目だけの指導案 (50 分扱い。導入、展開、まとめの流れに従って、学習内容・形態・学習活動・指導上の留意点・評価を表にして記述すること。時間配分を入れること。『三訂 教育実習の手引き』(pp.26-33) 参照のこと。実際に授業ができるものを目指すこと。)

設題解答にあたっての解説・注意等

第1回(1)のこれまで受けてきた授業の検討の対象は、中学校か高等学校の授業にすること。必要な場合は参考にしたい点を付け加えてもよい。具体的で授業づくりに役にたつ批判性、提案性、実践可能性のあるレポートを期待したい。第2回(1)の③の指導案は、テキストの「Ⅲ 国語学習のデザイン」を。教材価値と教材分析は、竹内常一著『読むことの教育』(山吹書店)より「第6章 罪は許されないのか―「少年の日の思い出」を読む 及び、第7章 語り手と語り口―教科書用指導書と子どもの読み」を参考にして、あなたの独自の解釈も入れて作成のこと。

参考文献

《第1回(1)設題》

●科学的『読み』の授業研究会編『国語の授業改革9・新学習指導要領をみすえた新しい国語授業の提案』学文社、2009 年

●田中実・須貝千里編『新しい作品論へ、新しい教材論へ』右文書院、2003 年

*『高校生のための ちくま評論選』筑摩書房、2007 年

*『高校生のための 評論入門』筑摩書房、2009 年

*『高校生のための現代思想エッセンス ちくま評論選』改訂版、筑摩書房、2012 年

●佐貫浩『学力と新自由主義』大月書店、2009 年

●内田樹『寝ながら学べる構造主義』文藝春秋、2002 年

●佐藤学『カリキュラムの批評』世識書房、1996 年

《第2回(1)設題》

- 『三訂 教育実習の手引き』法政大学教職課程委員会 (pp.26-33 はりポート作成時に必ず参照すること)
- 科学的「読み」の授業研究会編『科学的な「読み」の授業入門 文学作品編』東洋館出版社、2000 年
- 竹内常一『読むことの教育』山吹書店、2005 年
- 瀬戸賢一『よくわかる比喩—ことばの根っこをもっと知ろう』研究社、2005 年
- 土田知則・神郡悦子・伊藤直哉『現代文学理論』新曜社、1996 年
- ウンベルト・エーコ『物語における読者』青土社、2011 年

95507

社会・地歴科教育法

2 設題 (4 単位)

- 【特記事項】 ◆第1回(1)を1冊、第2回(1)を1冊に解答して提出すること (合計2冊)
◆この科目のテキストは『社会科教育法』『地理歴史科教育法』の通教テキスト2冊です。

- 第1回 (1) 中学校社会科の地理的分野もしくは高等学校地歴科の地理A、Bにおいて、具体的な資料を用いた1時限(50分)の授業案を作成せよ。なお、「具体的な資料」については以下に示す【設題解答にあたっての解説・注意等】を確認すること。
- 第2回 (1) 中学校社会科の歴史もしくは高等学校地歴科の日本史・世界史において、1時限(50分)の授業案を作成せよ。その際、生徒の主体的な学習活動および具体的な史料を用いた内容を盛り込むこと。

設題解答にあたっての解説・注意等

第1回(1)

- (1)ここでいう資料とは、地理教育研究会編『地理授業で使いたい教材資料』(2014年)清水書院¥2,000に掲載されている教材資料をさす。

この本の構成は1. 系統地理、2. 日本地誌、3. 世界地誌となっており、それぞれ15、36、36合計87項目ある。

- (2)上記構成を学習指導要領の内容にあてはめれば、1. 系統地理は、中学校地理の「世界の地域構成」「世界各地の人々の生活と環境」「世界と比べた日本の地域的特色」に、高等学校地理Aの「現代世界の特徴と諸課題の地理的考察」、地理Bでは「様々な地図と地理的技能」「現代世界の系統地理的考察」に該当する。2. 日本地誌は、おもに中学校の「日本の諸地域」「身近な地域調査」に、3. 世界地誌は、中学の「世界の諸地域」「世界の地域調査」、および高校地理Aの「生活圏の諸課題の地理的考察」と地理Bの「現代世界の地誌的考察」に対応している。上記書籍の87項目から1項目を選択し、授業案を作成すること。

- (3)授業案には、単元全体の学習計画(学習内容の項目とその順序)および本時のねらいを明記し、なおかつ導入・展開・まとめと分けて記述すること。

- (4)地理の授業でも教材資料は授業の中心となる。特に授業案の展開部分では、資料に対する「発問」を記すこと。また、上記書籍に使用している以外のいわば補足の教材を探し、添付することを期待している。

第2回(1)

- (1)授業案の体裁等はテキスト(『社会科教育法』『地理歴史科教育法』)を参照すること。

- (2)どの時代を対象としてもよいが、授業のねらいや取り上げた史料をどのように扱うのかを明確にすること。(史料とは過去を認識するための素材となる文献や遺物等をさす)

- (3)生徒へ提示もしくは配付するプリント等があれば添付すること。

必須文献

第1回(1)

- 地理教育研究会『地理授業で使いたい教材資料』清水書院、2014年、¥2,000
(本学生協で購入できます。)

参考文献

第1回(1)

- 星野朗他『地理教育をつくる50のポイント』大月書店、2004年、¥2,200
- 現行版の各社教科書

第2回(1)

- 江上波夫監修『世界史史料・名言集(新訳)』山川出版社、2006年、¥486
- 木村茂光・樋口州男編『新編 史料でたどる日本史事典』東京堂出版、2012年、¥2,800

95508

社会・公民科教育法

2 設題 (4 単位)

- 【特記事項】 ◆一括提出の可否 (第1回(1)合格後、第2回(1)提出)

- 第1回 (1) ① テキスト第1編「中学校社会科の課題と実践」をすべて読んで何を学び考え、テキストからどのように今日

の中学校社会科の課題を理解したか述べなさい。

- ② そして、その課題にこたえる内容の学習指導案（1 時間分）の一例を作成してください。指導案は地理か歴史分野のいずれかを選ぶ。必ず教材（コピー可）も一枚つけてください。

- 第 2 回 (1) ① テキスト第 2 編をすべて読んで何を学び考え、また自ら今日の若者の政治・社会意識の現状と課題を分析し、その両方から導かれる高校公民科教育の課題について述べなさい。
- ② そして、その課題にこたえる公民科の一科目の指導案（1 時間分）を作成してください。必ず教材（コピー可）も一枚つけてください。

設題解答にあたっての解説・注意等

以下 7 点を厳守すること。

- ①きちんとテキストを読み終えてから、設題にとりかかり、テキストから何を学んだのかが評者にわかるようにまとめる。
- ②各設題には課題が二つあることに注意する。欠落しないこと。
- ③指導案の作成にあたっては、第二編第 4 章「授業の指導案をどうつくるか」を読んで、形式だけでなく、留意点も確認する。
- ④指導案のテーマは学習指導要領や教科書を離れて、自由に設定してよい。
- ⑤教材は市販の副教材集などに頼らず、必ず自分のオリジナルをつくる。
- ⑥参考にした文献は必ずすべて明記する（著書名、書名、出版社、年月）。
- ⑦各設問②は字数に入れない。また①も必要なら制限 2000 字程度を越えても可。

95509

商業科教育法

2 設題 (4 単位)

- 【特記事項】 ◆リポートノートの使い方 (横書き)
- ◆パソコン (ワープロ) 使用の可否 (不可)
- ◆記述字数 (2000 字～ 2400 字程度) ※ある程度超過してもかまわない

- 第 1 回 (1) わが国における現在までの商業教育の発達について、それぞれの時代に分類し、その特徴を述べよ（一つの時代区分にこだわらず、全般的に述べる事）。

- 第 2 回 (1) 商業教育の概念と科目を中心に、アクティブラーニングを展開した例を述べよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

出題の意図をよく考え、自分が教員となった立場で書く事。テキストの他に副教材の高等学校学習指導要領解説商業編（平成 22 年 5 月発行）を必ず参考にして調べ、自分の文章でまとめる事。誤字、脱字には十分注意し、参考文献や引用箇所は必ず明記する事（盗用とされる場合があるので、十分に注意する事）。テキストや参考文献の丸写しはやめてください。副教材、参考文献を十分に活用する様に。

副教材（指定市販本）

- 高等学校学習指導要領解説商業編（平成 22 年 5 月発行）文部科学省

参考文献

- 『教職必修 最新商業科教育法 新訂版』実教出版、2011 年、¥2,200
- 河合・雲英・岡田・山田編『新商業教育論』多賀出版、1991 年、¥2,900
- 石井・大橋・岡田・澤田編『現代商業教育論』税務経理協会、1991 年、¥3,592
- 文部省『産業教育百年史』ぎょうせい、1986 年、¥3,000
- 文部省高等学校職業教科指導資料『課題研究の指導』一橋出版、1992 年、¥515
- 『「課題研究」の理論と実践—商業』実教出版、1994 年、¥3,689
- 『文部省高等学校学習指導要項』平成 11 年 3 月

※現在入手困難な出版物も含まれますので、図書館等も利用してください。

95531

指①／指②・道徳教育指導論

1 設題 (2 単位)

※（指①・道徳教育指導論）テキスト経過措置期間：～ 2019 年 3 月迄

- 第 1 回 (1) ① 現在の公教育において、道徳教育はどのように行われているか。その仕組みと特徴について述べなさい。
- ② 「道徳の時間」は、2019 年度から（中学校の場合）、特別な教科として実施されることが決まっている。なぜ、道徳の教科化が必要だったのか、その理由を述べなさい。（必ずしも必要ではなかったと考える場合は、その理由を述べなさい。）

設題解答にあたっての解説・注意等

- ◆中学校における道德教育を念頭において、解答すること。
- ◆解答にあたっては、指定のテキストのほか、必ず現行の「中学校学習指導要領」を参照すること。

参考文献

- 文部科学省『中学校学習指導要領』東山書房、2008年、¥232
- 児美川孝一郎『まず教育論から変えよう』太郎次郎社エディタス、2015年、¥2,000

95535

指・教育方法論

1 設題 (2 単位)

【特記事項】 ◆レポートには必ずテーマが分かるようなタイトルを付けること。

- 第1回 (1) 本科目の指定テキストには、世界や日本の様々な学校と教室の事例が紹介されている。これらを読んで、自分が関心を持った国または学校、あるいは教室を一つ取り上げ、そこにおける教育実践の特徴を他の文献等も利用し調べて説明しなさい。また、その教育実践が持つ課題や、教師として学ぶことができる点についても自分なりに考えて論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

執筆に当たっては、収集した文献や資料をよく読み、自らの言葉で丁寧に考えを展開するようにすること。執筆経験が少ないうちは、「レポートの書き方」を解説しているような参考書を手元に置き、代表的な形式にのっとって書くことを強く推奨する。引用は必ず引用符と注で示し、参考にしたHPや文献の一覧もつけること。なお、コピーアンドペーストや形式を満たさない引用が存在したり、参考文献等の単純な引き写しばかりで自らまとめようとした努力が見られないレポートは、低く評価され、再提出につながるので注意すること。

参考文献

- 佐藤学『教師たちの挑戦—授業を創る、学びが変わる』小学館、2003年、¥1,400
- 佐藤学『授業を変える学校が変わる—総合学習からカリキュラムの創造へ』小学館、2000年、¥1,900
- 佐藤学・北村友人・澤野由紀子編著『揺れる世界の学力マップ (未来への学力と日本の教育)』明石書店、2009年、¥2,600
- 経済協力開発機構(OECD)『図表で見る教育 OECD インディケータ』明石書店、各年度版
- 文部科学省『諸外国の教育動向』明石書店、各年度版

95526

指・教育相談

2 設題 (2 単位)

【特記事項】 ◆パソコン(ワープロ)使用の可否 可(板書などで読みやすい字を書くことを考慮して、肉筆が望ましい)
◆記述字数 (それぞれ2000字以上)

- 第1回 (1) いじめの事実を思い浮かべつつ、思いやりがあって権威に盲従しない、しっかりした人格を形成するために、教育はどのような援助が可能か考察せよ。
- 第1回 (2) カール・ロジャーズ(Carl Rogers)のカウンセリングの要点を紹介し、それらを青年期の生徒の指導に用いる場合の注意点と問題点、限界を考察せよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

1. レポートの中の引用箇所には必ず引用文献(引用ページとも)を明記し、着実に考えを進めてください。
2. レポートの末尾に必ず文献表を付けてください。
3. 学問的内容面と日本語の文章としての適切さの両面を、評価の対象とします。
4. 受講生各自の体験を書く場合も、理論的考察を重視してください。

第1回(1)

- (1) 思いやり行動とは何でしょう。心理学で「向社会的行動」という研究分野です。思いやり行動を引き起こし促進する条件はどんなものでしょう。アイゼンバーグなどから学んで、紹介してください。
- (2) 権威に盲従した人はだれでも、ミルグラムの研究にあるように、自他の予想に反して相手に残虐な仕打ちを続けがちです。この事実とそのメカニズムを概観してください。
- (3) 思いやり行動と権威への盲従という、個人の内部で拮抗する心のメカニズムを具体的に考えていただくために、例えばいじめという事実を例にあげましょう。
自分が相手をいじめないだけでなく、いじめをやめさせるように努め、いじめをなくすよう行動するためには、いじめを黙って見過ごす傍観者のあり方を乗り越えなければなりません。人はとすると傍観者になりがちだという事実を研究例(ラタネとターレイの研究を学んでください)に基いて説明し、どうしたらその傾性を乗り越えら

れるか、自分がどのような人であればそれができそうか、自分のこととして考えてください。

- (4) 次に、(1)と(3)を一般化してみましょう。思いやりが深くて盲従しないばかりか、必要と判断すれば権威に反抗することもできる人を、仮に「しっかりした人格」というとすると、それはどういう人柄のことを指しているのでしょうか。考えてみてください。例えば、いつでもどこでも必要な相手には、自分がすべきことをしてやれる人ということも含まれるかもしれません。

- (5) 道徳や道徳判断の発達と(1)(3)(4)のような人格の形成とは、どんな関連があるでしょう。

青年期には、道徳や道徳教育を押しつけと感じて、それらを嫌がり背を向けることがあります。道徳教育を強化するだけでは限界がありそうです。たとえば、正義の内容について、系統的に整理して教えるのは教育の任務でしょう。マイケル・サンデルの正義論や、コールバーグの道徳判断の発達の研究を紹介し、このようにかたくななところのある青年の内に「しっかりした人格」を育てるためには、教師として、生徒に何をどのように教えればよいのか探ってください。

第1回(2)

レポートの前半でカール・ロジャーズのカウンセリング理論と、彼のパーソナリティ理論である「自己理論」を概観してください。両者は密接に関連しています。ロジャーズのカウンセリングの①目的 ②背景となる人間観 ③共感的理解 ④受容（無条件の積極的尊重）⑤カウンセラーの自己一致（一致性）⑥「非指示的」な立場 ⑦「来談者中心」の立場など、ロジャーズ独自の考え方もはっきり説明してください。また、カウンセラーと来談者の間のさまざまな「制限」を背景とした、ユニークなカウンセリングの人間関係の創設について述べてください。

レポート後半では、学校で起こりがちないじめや無気力、不登校、反抗型と馴れ合い型の学級崩壊などから、青年期に特有のどんな感じ方や考え方が生じやすいかを考察してください。その上で、ロジャーズのカウンセリングを青年期の生徒の指導に用いる場合の注意点と問題点を考察してください。

その際、生徒「指導」とカウンセリングの適用範囲と根拠について、つまり「指導」を優先すべき「生徒の問題」と、カウンセリングを優先すべき「生徒の問題」はそれぞれどんなもので、なぜなのか考察してください。あわせて生徒「指導」とカウンセリングの原理的な対立と、その対立があるゆえに、現代の「管理社会」と言われる学校で、カウンセラーや教師がカウンセリングをしようとする場合に出会いがちな「摩擦」とその対策も考えてください。

参考文献

第1回(1)

- アイゼンバーグ著『思いやりのある子供たち』二宮ほか訳、北大路書房、1995年 絶版ですが、図書館でできるだけお読みください。
- ミルグラム著『服従の心理』山形浩生訳、河出文庫、2012年、¥1,300
- モートン・ルー著『ザ・ウェーブ』小柴訳、新樹社、2009年、¥1,200
- ラタネ&ダーレイ著『新装版 冷淡な傍観者』竹村研一他訳、ブレーン出版、1997年 絶版ですが、図書館でできるだけお読みください。
- コールバーグ著『道徳性の発達と道徳教育』岩佐信通訳、麗澤大学出版会、2000年、¥2,300
- マイケル・サンデル著『ハーバード白熱教室講義録+東大特別授業 上・下』小林ほか訳、早川書房、2010年、上・下各¥1,400

第1回(2)

- 水島恵一・田畑治・岡堂哲雄編『新版 カウンセリングを学ぶ』有斐閣選書、1987年、¥1,700
- 久能徹ほか著『ロジャーズを読む』岩崎学術出版社、2006年、¥3,400
- カール・ロジャーズ著『カウンセリング』ロジャーズ全集2、友田不二男訳、岩崎学術出版社（絶版ですが、原典を読むならこれ）
- 新井・住田・岡崎著『生徒指導』放送大学教育振興会、2006年、¥2,200
- 佐治守夫・飯長喜一郎編『ロジャーズ クライアント中心療法』新版、有斐閣、2011年、¥1,500

95528

指・生徒・進路指導論

1 設題 (2 単位)

- 第1回 (1) 学校教育において生活指導（生徒指導）が果たす役割について論じるとともに、戦後日本の学校教育における生活指導（生徒指導）の位置の変化について論じなさい。その際、教科指導や特設「道徳」の時間などのかかわりに留意すること。

設題解答にあたっての解説・注意等

「道徳」の特設によって、学習指導と生活指導との関係がいかに変化したのか、またそれが日本の学校教育にどのような影響を与えることとなったのかという点に特に留意して学習を進めるとともに、レポート作成に当たっても上記の点に留意すること。戦後日本の学校教育における生活指導の位置の変化及び、教科指導や特設「道徳」の時間などのかかわりについては、以下に示す文献①を参照するとよい。また、生活指導にかかわる資料は②を参照するとよい。

参考文献

- ①岩本俊郎編著『教育学への道—教育と自己教育—』文化書房博文社、1999年（2009年可）、¥2,800
- ②岩本・浪本編『資料 生活指導を考える』北樹出版、2005年、¥1,700

第 1 回 (1) 以下の①②を行ってください。

- ① 学校で特別活動を行う意義について論じてください。
その際、指定本と『学習指導要領解説』相互の比較を含めてください。
- ② ①を踏まえて、指定本の「実践編 2」を論評してください。

設題解答にあたっての解説・注意等

①について

学校で特別活動（の内容に相当する活動や行事）を行うことの意義について論じてほしい。

『学習指導要領解説』は、「学習指導要領」の「特別活動」の「目標」に言う「望ましい集団活動を通して」について、特別活動の特質と方法原理を示しているとし、またこの文言について、「教師にとっての指導の基本的なよりどころに当たるものと考えることが必要」と述べている。そして「望ましい」集団活動とは、基本的には、特別活動の目標に示されているような発達を児童生徒に促していくものでなければならないとされる。一方指定本では、特別活動で「一人ひとりの子ども」が「集団的活動」に「参加」という見方を示している。(p.21)

「学習指導要領」及び『学習指導要領解説』については、「小学校学習指導要領」と『小学校学習指導要領解説 特別活動編』、「中学校学習指導要領」と『中学校学習指導要領解説 特別活動編』又は「高等学校学習指導要領」と『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』の組み合わせのうちから一つを選択してほしい。各『学習指導要領解説』の、特に第 2 章第 1 節を熟読してほしい。

尚、上記の「学習指導要領」及び『学習指導要領解説』は、いずれも冊子として刊行されており (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/syuppan.htm)、文部科学省ホームページにも掲載されている (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/index.htm)。

各「学習指導要領」と『学習指導要領解説』は、2008 年告示・出版のものを用いること。ただし、新「学習指導要領」が告示され、かつ「学習指導要領解説」がホームページ等で公表された後には、そちらを用いてもよい。いずれの場合にも、引用・出典表記の際、それぞれ告示年又は出版・公表年を記すこと。

②について

①で述べた議論を踏まえて、指定本の「実践編 2」を論評してほしい。

- 【特記事項】 ◆記述字数 (2,000 字を超えてもかまいません。)
- ◆ワープロやワードなどの文書ソフトを用いた場合は、文末に総字数を明記すること。
 - ◆テキスト以外の文献を参照した場合は、レポート末尾に著者名・書名・出版社名・出版年を付記すること。
 - ◆インターネット上の情報の利用は、原則として評価の対象外とします。

第 1 回 (1) 通教テキスト『倫理学』の《第一編 倫理学の基本問題》について、第二章から第六章までの章からいずれかを選んで要点をまとめなさい。すなわち、「善とはどういう意味か」、「義務を考える」、「人格の問題」、「価値とは」、「自由の問題」のいずれかについて、その内容を整理して論じなさい。

第 2 回 (1) 通教テキスト『倫理学』の《第二編 西洋の倫理思想の歴史》について、第四章を除いて、第一章から第七章までの章からいずれかを選んで要点をまとめなさい。すなわち、「古代ギリシアの倫理思想」、「ヘレニズム時代の倫理思想」、「中世キリスト教の倫理思想」、「近世の倫理思想」、「カントとドイツ理想主義の倫理思想」、「実存の倫理」のいずれかについて、その内容を整理して論じなさい。

設題解答にあたっての解説・注意等

通教テキストを精読したうえで、設問に関連する箇所を要約すること。ただし、テキストや参考文献の文章をそのまま引用したりレポートには単位を認めません。引用する際には、必ず引用符を付して自分の文章から区別し、出典を明記しなければなりません。

参考文献

- 加藤尚武著『現代倫理学入門』講談社学術文庫、1997 年、¥920
- 永井均著『倫理とは何かー猫のアイジヒトの挑戦』ちくま学芸文庫、2011 年、¥1,100
- 宇都宮芳明・熊野純彦編『倫理学を学ぶ人のために』世界思想社、1994 年、¥1,893
- 新田孝彦著『入門講義 倫理学の視座』世界思想社、2000 年、¥2,000

※ (旧・職業指導) テキスト経過措置期間：～ 2018 年 3 月迄

- 第 1 回 (1) スーパーの職業的発達理論の特徴を述べ、この理論に基づいて、あなた自身の進路や進路決定が、どのようにされてきたのかを述べよ。
- 第 2 回 (1) 個々の生徒に自分の将来像を描けるようにサポートするには、中学校、高等学校の各教科において、どのようなキャリア教育実践が考えられるか、具体的方策を述べよ。

設題解答にあたっての解説・注意等

設題への解答にあたっては、テキストや参考文献、インターネットから、そのまま写すことはしないでください。必ず自分が理解したことを自分の言葉で論じてください。

参考文献

- 仙崎・野々村・渡辺・菊池編『生徒指導・教育相談・進路指導』田研出版、2006 年、¥2,520
- 仙崎・藤田・三村・鹿嶋・池場・下村編『キャリア教育の系譜と展開』社団法人雇用問題研究会、2008 年、¥3,000

2017年度 単位修得試験の出題範囲

【留意事項】

- 試験範囲は担当教員が認めた科目に限り公表しています。
- 試験範囲が公表される場合であっても、その科目のテキスト全体を熟読することが前提となりますので、科目によってはここに記載された内容以外からも出題される場合があります。
- ここに発表されていない科目（テキスト）は、原則テキスト全体からの出題となります。ただし、科目によっては学習範囲がテキストの一部に限定されている場合があります。詳細は、シラバスで確認してください。
※経過措置テキストの場合は、経過措置テキストに対応した過年度のシラバスを参照してください。
- 記載内容の意味など、出題範囲に関する質問は一切受け付けません。また、試験終了後に試験問題と範囲に関する照会も受け付けません。
- この表の科目名の表記は、「設題総覧」及び単位修得試験の表記に合わせています。

科目名	出題範囲	
指・教育課程論	試験範囲には指定テキスト全体の他にスタディガイドも含む。	
指・国語科教育法Ⅰ	※テキスト全体から出題。中心として出題されるのは以下のとおり。	
	4月	第1章
	5月	第2章第1節
	6月	第2章第2節
	7月	第2章第3節
	10月	第2章第4～6節
	11月	第2章第7節、第3章第1～3節
	12月	第4章
	1月	第5～6章
指・国語科教育法Ⅱ	※テキスト全体から出題。中心として出題されるのは以下のとおり。	
	4月	I、II、III
	5月	IV (1.A～C)
	6月	IV (1.A～C)
	7月	IV (1.C～D)
	10月	IV (1.D、2.A～C)
	11月	IV (1.B～C、2.C～D)
	12月	V～VII
	1月	VII
倫理学	4月	善の意味および義務について
	5月	古代ギリシアの倫理思想、およびヘレニズム時代の倫理思想
	6月	義務および人格の問題について
	7月	ヘレニズム時代の倫理思想、および中世キリスト教の倫理思想
	10月	人格の問題および価値について
	11月	近世の倫理思想、およびカントとドイツ理想主義の倫理思想
	12月	価値および自由の問題について
	1月	カントとドイツ理想主義の倫理思想、および実存の倫理

(2015 年度以降の復籍・再入学者対象) 科目コードに関する注意事項

● 2017 年度以降に復籍・再入学し教職を目指される方へ (対象科目:「法学」)

2016 年以前入学の学籍で構成単位を充たして修得した「法学」は教員免許状取得の単位として使用できません。「法学」を再度修得する必要があります。再度「法学」の履修を希望する場合は「学習のしおり」や「設題総覧」等で案内している科目コードと異なります。詳細は教職担当 (03-3264-6397) まで問い合わせてください。

● 2015 年度以降に復籍・再入学し教職を目指される方へ (対象科目: 下表参照)

2014 年以前入学の学籍で構成単位を充たして修得した以下の科目は、取得する免許種によっては教員免許状取得の単位として使用できません。同科目を再度修得する必要があります。以下の科目を再度履修することを希望する場合は「学習のしおり」や「設題総覧」等で案内している科目コードと異なります。詳細は教職担当 (03-3264-6397) まで問い合わせてください。

対象科目		
日本史	日本美術史	日本史特講 (海外交渉史)
東洋史	日本古代史	文化地理学
西洋史	日本古文書学	経済地理学
哲学	東洋史特講 (中国現代史)	民法一部 (総則・物権法)
社会学	西洋史特講 (ロシア史Ⅱ)	民法二部 (債権法)

以 上

(参考資料)

- 2017 年度単位修得試験日／メディアスクーリング試験日及び試験登録期間一覧…… 312
- 2017 年度レポート提出期間一覧 …………… 313
- 学習計画表（レポート／単位修得試験） …………… 314

2017 年度単位修得試験日／メディアスクーリング試験日及び試験登録期間一覧

試験日		試験登録受付期間				受 験 票 発送予定日		備 考	試験結果 通知時期 (目安)
		受付開始日		受付締切日					
4 月 16 日	(日)	3 月 2 日	(木)	3 月 15 日	(水)	4 月 7 日	(金)		5 月下旬
5 月 14 日	(日)	4 月 3 日	(月)	4 月 17 日	(月)	5 月 2 日	(火)		6 月下旬
6 月 11 日	(日)	5 月 8 日	(月)	5 月 22 日	(月)	6 月 2 日	(金)	前期メディアスクーリング試験	7 月下旬
7 月 16 日	(日)	6 月 9 日	(金)	6 月 23 日	(金)	7 月 7 日	(金)	前期メディアスクーリング試験	8 月下旬
10 月 1 日	(日)	8 月 24 日	(木)	9 月 7 日	(木)	9 月 22 日	(金)		11 月中旬
11 月 12 日	(日)	10 月 2 日	(月)	10 月 16 日	(月)	11 月 1 日	(水)		12 月下旬
12 月 10 日	(日)	11 月 1 日	(水)	11 月 15 日	(水)	12 月 1 日	(金)	後期メディアスクーリング試験	1 月下旬
1 月 21 日	(日)	11 月 24 日	(金)	12 月 15 日	(金)	1 月 12 日	(金)	後期メディアスクーリング試験	2 月下旬

【注意】

※単位修得試験を受験する場合は、当該科目レポートの提出だけでなく受験科目の登録が必要です。

(登録方法は、『学習のしおり 2017』 p.94 ～参照)

※提出締切日は、郵送による場合も直接提出する場合も同日です。書面で登録申請する場合は、「単位修得試験登録票」(『学習のしおり 2017』巻末に綴込あり)で申し込んでください。郵送する場合は締切日必着です(消印有効ではありません)。

大学の提出箱に直接投函する場合は締切日の 16:00 まで(厳守)に投函してください(提出箱は門外にあるため、試験登録期間内であれば何時でも提出可能です)。窓口では受付しません。

※通信教育部ホームページ上の Web 学習サービスからも試験登録ができます(締切日 23:59 まで)。締切日前日から締切日当日はアクセス件数が集中し、登録エラーが生じる可能性があります。余裕を持って登録してください。

※表中の試験結果通知時期は目安となります。科目によって発送時期が前後する場合があります。

※郵便事情、交通機関の遅れ、その他いかなる理由があっても締切日以降は一切受付しません。計画的かつ早めに提出してください。

※ 2018 年度 4 月の試験日、登録受付期間は、『法政通信』2018 年 2 月号にてお知らせします。

2017 年度レポート提出期間一覧

年度	年度内における レポート回数	提出した レポートが 対象となる 成績年度	成績対象 年度に おける レポート 回数	レポート提出受付期間				備考	添 削 リ ポ ー ト 返 却 時 期 (目 安)
				受付開始日		受付締切日			
2016 年度		2017 年度 成績	1	3 月 2 日	(木)	3 月 15 日	(水)	2016 年度設題新規提出締切／ 4 月単位修得試験締切	5 月中旬
2017 年度	1	2017 年度 成績	2	4 月 3 日	(月)	4 月 17 日	(月)	5 月単位修得試験締切	6 月中旬
	2		3	5 月 8 日	(月)	5 月 22 日	(月)	6 月単位修得試験締切	7 月下旬
	3		4	5 月 25 日	(木)	6 月 6 日	(火)		8 月上旬
	4		5	6 月 9 日	(金)	6 月 23 日	(金)	7 月単位修得試験締切	8 月下旬
	5		6	6 月 30 日	(金)	7 月 21 日	(金)	9 月卒業者最終レポート締切 (書道レポート含む)	9 月下旬
	6		7	7 月 26 日	(水)	8 月 21 日	(月)		10 月下旬
	7		8	8 月 24 日	(木)	9 月 7 日	(木)	10 月単位修得試験締切	11 月初旬
	8		9	10 月 2 日	(月)	10 月 16 日	(月)	11 月単位修得試験締切	12 月中旬
	9		10	11 月 1 日	(水)	11 月 15 日	(水)	12 月単位修得試験締切	1 月中旬
	10		11	11 月 24 日	(金)	12 月 15 日	(金)	1 月単位修得試験締切	2 月中旬
	11		12	12 月 22 日	(金)	1 月 12 日	(金)	2017 年度成績最終レポート締切 (書道レポート含む)	3 月中旬
	12	2018 年度 成績		3 月 2 日	(金)	3 月 15 日	(木)	2017 年度設題新規提出締切 4 月単位修得試験締切	5 月中旬

【注意】

※郵送する場合は締切日必着です（消印有効ではありません）。直接提出する場合は締切日の 16：00 まで（厳守）に提出箱に投函してください（提出箱は門外にあるため、レポート受付期間内であれば何時でも提出可能です）。窓口では受付しません。

※郵便事情、交通機関の遅れ、その他いかなる理由があっても締切日以降は一切受付しません。計画的かつ早めに提出してください。

※レポート提出受付期間以外は受付しません。提出前には必ず受付期間を確認してください。

※7 月 21 日（後期生）、1 月 12 日（前期生）の締切日を過ぎて提出されるレポートは翌年度の成績対象となります。

※表中の添削レポートの返却時期は目安となります。科目によって時期が前後する場合があります。

※年度内に単位修得が必要な科目は、評価が「再提出」となった際にレポートを再提出する受付期間を確保できるよう、添削レポート返却時期（目安）を考慮し計画的にレポートを提出してください。

〈例：前期生の場合〉

2017 年度成績となる最終のレポート締切日は 2018 年 1 月 12 日（金）です。2017 年度中に単位修得を目指す科目は、レポート再提出となる可能性を考慮すると、遅くとも 10 月 2 日～10 月 16 日までの受付期間内に新規提出または再提出を済ませてください。単位修得には、レポートの合格の他、単位修得試験の合格も必要です。

学 習 計 画 表

●リポート●

科 目 名	回 数	提 出 月 日	評 価	備 考
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			

学 習 計 画 表

●リポート●

科 目 名	回 数	提 出 月 日	評 価	備 考
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			
	第1回(1)			
	第1回(2)			
	第2回(1)			
	第2回(2)			

学 習 計 画 表

●単位修得試験●

月	受 験 科 目	試験登録	評 価	備 考
4 月		☐		
		☐		
		☐		
5 月		☐		
		☐		
		☐		
6 月		☐		
		☐		
		☐		
7 月		☐		
		☐		
		☐		
10 月		☐		
		☐		
		☐		
11 月		☐		
		☐		
		☐		
12 月		☐		
		☐		
		☐		
1 月		☐		
		☐		
		☐		

2017(平成29)年3月1日発行

編集者兼発行者：藤澤利治

発行所：法政大学通信教育部
東京都千代田区富士見2-17-1